ZN-33

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　桂田增三　東京都麹町區日比谷公園一番　時事通信社

昭和二十年十一月一日(水)　第　號

時事通信　海外電報

(1)

開戰當初の羅府上空來襲機

(サンフランシスコ二十九日發SF)米第四航空隊は日米開戰後間もない一九四二年二月二十四日夜から二十五日拂曉にかけ、正體不明の飛行機數目標が約五時間に亘りロスアンゼルス上空に飛來した旨二十八日公表した、西部防衛司令官聲明によると右は一機乃至五機の飛行機で、日本潛水艦から飛び立つた可能性もあるが、或ひはまた民間機の無認可飛行であつたとも考へられ、後者の公算大であると述べてゐる、右目標は多分三機程度で一萬八千呎の上空を飛行し速力はきはめて低かつたとつたへられる

【目　次】

兩巨頭原子爆彈政策を協議か……二
勞働黨印度問題で活動……〃
極東委員會、獨立問題は審議せず……三
軍國的世襲階級を絶滅せよ……〃
米、兵力行使を提案……〃
陸海空軍分立案を提唱……四
軍用機最低三千機生産を提唱……〃
ホランディア基地蘭印へ賣却……〃
製鋼勞働者も罷業投票か……〃
武力保持の要を力說……五
武器貸與食糧引渡高激減……〃
中國大使、米國々務長官と協議……〃
バルカン救濟を主張……〃
石油輸入制限撤廢……〃
【資　料】
恐るべき原子の力……六

獨戰爭犯罪公判は十一月二十日

(ニユールンベルグ二十九日發SF)ドイツ戰爭犯罪者裁判官米國側代表ジヤクソン判事は、ナチ戰爭犯罪人二十四名に對する公判を來る十一月二十日開廷する豫定と發表した

日本戰爭犯罪人の發表を歡迎

(ロンドン三十日發)BBC放送によれば芦田厚相は三十日ロイター記者ジヤツク・スミスに次の通り言明したといはれる

日本は戰爭犯罪人の最後の完全なリストの發表を歡迎する、我々は英國、ソ聯および中國からの日本戰爭犯罪人のリストに關する報道を首を長くして待つてゐる

社　告

この度同盟通信社の解散に伴ひ、從來同社において主として時事通信、經濟通信、出版等の仕事を擔當してをりました同志一千名相寄り、同盟より給與を受けました退職手當を各自均等に醵出し、株式會社時事通信社を創立、同盟通信社よりこの方面の業務を一切繼承し、十一月一日より新發足致しました

吾等微力なりと雖も、從來の如く新聞資本並びに廣告資本の制肘等を一切受けず、全職員の總意發揚と自治的運營を社業營爲の根本眼目とし、血盟の同志大同團結し、取材・編輯に懸命の努力を傾注する以上、必らずや通信事業の飛躍的發展を齎し、讀者諸賢の御期待に副ひ得るものと確信してをります

御鞭撻、御支援を賜らば幸甚これに過ぐるものはありません

昭和二十年十一月一日

時事通信社職員一同

業務種目

◇時事通信
(1)World News Service
(2)Home News Service
(3)海外電報版
(4)東亞電報版
(5)政治特報版（十二月一日發行）
(6)時事解說版

◇經濟通信
(1)海外經濟版
(2)金融財政版
(3)產業經濟版
(4)交通運輸版
(5)映畫藝能版
(6)農林水產版（十二月一日發行）

◇定期刊行物
(1)週刊「世界週報」
(2)月刊「太平」（綜合雜誌十二月一日刊行）
(3)月刊「時事月報」
(4)年刊「時事年鑑」
(5)隔週刊「時事英語通信」（十一月中發刊）

◇不定期刊行物
＝時事叢書＝
(1)原子爆彈　武井武夫著
(2)ポツダム宣言　嘉納履方著（以上既刊）
(3)日本農業の再建　木村昇著
(4)新日本外交論　大屋久壽雄著
(5)デモクラシー　賀川豐彥著
(6)終戰の前夜　大屋久壽雄著（以下續刊）

◇寫眞業務
(1)時事寫眞の頒賣
(2)應需出寫

東京都麹町區日比谷公園市政會館（三階）
時事通信社
電話銀座(57)六一六一―五

兩巨頭原子爆彈政策を協議か

＝會談は十一月十一日から＝

（ロンドン三十日發）アトレー英國首相が近くワシントンを訪問することに決定したとのニューズと同首相が二十九日下院で原子爆彈に關する聲明を行つたことは、何らかの有機的關聯があるものとして世界の耳目をあつめてゐるが、BBC放送はアトレー首相の訪米と原子爆彈管理問題を結びつけて三十日夜次の内容の解說放送を行つた

「ワシントンにおけるトルーマン＝アトレー會談の最中心議題は原子爆彈であると解される、このことはホワイト・ハウス當局が三十日行つた發表と、アトレー首相が同日下院で行つた聲明でも明瞭だ、ホワイト・ハウスの發表次の通り

英國首相アトレー氏は原子エネルギーの發見に伴つて生起する諸問題につきトルーマン大統領およびマツケンジー＝キング・カナダ首相と協議するため來月早々ワシントンを訪問する、アトレー首相は會談が十一月十一日頃開催出來るやうに米國に到着する豫定である

下院におけるアトレー首相の聲明も右ホワイト・ハウス發表と同巧異曲だが、更に相談役の資格で英原子エネルギー諮問委員長サー・ジョン・アンダーソン氏が同伴する事實を明かにした

三十日夜のワシントンからの報道によれば、アトレー首相は訪米中の大部分をホワイト・ハウスで過す豫定だが、このことはトルーマン＝アトレー會談が從來ワシントン及びケベックで行はれたチャーチル前首相と故ルーズヴエルト大統領との間の會談のごとき程度のものに發展することは、まづないとみられてゐる、ロイター外交記者シルヴエン・マンジョットの見解では、原子爆彈政策をこれ以上宙に浮かせたままではおけぬといふのが今回の兩巨頭會談の動機となつたものだといふが、正しい解釋かどうかは別問題として、英國の輿論は米國が原子エネルギーの祕密を他國にも分つことを益々嫌ふ傾向にあるのにたいして、ソヴエト政府は祕密を公開しないことは國際協力關係の雰圍氣を毒するものだと確信するに至つてゐると解してゐるやうだ、そこからしてロンドンでは原子爆彈政策を明確化することが焦眉の必要だといふ考へが支配的で、アトレー首相及びスターリン議長の兩者が三頭會談開催のため招待されたが現在までのところアトレー首相だけが出席を受諾したとの臆測も行はれてゐる

他方英國言論界の一部ではアトレー首相の訪米はいままでの三頭會談の決定にとらはれずに獨自の立場で米英關係を再調整するにあるといふ見解を表明してゐるが、この見方はトルーマン大統領の新聞祕書ロスが三十日スターリン議長がワシントンに招待されたかどうかは一切知らぬと言明したことで裏書されてゐる

原子爆彈につぐ歐洲政界の大問題はパレスチナの猶太問題だが、パレスチナに關する英國政府の最後的態度は、アトレー首相がトルーマン大統領と會談した後に決定されるものと解される、尤も英國の一般政策は既に決定をみてをり、每月二萬の猶太人をパレスチナに入國を許可する方針は既に決定されてゐると期待されるが、この問題に關聯してアラブ聯盟書記長アツザム・ベイが最近ロンドン滯在中

英國政府はパレスチナ白書を遵守して、パレスチナ問題につきアラブ諸國との意思疎通を止めぬことを希望すると言明したことは種々の點で注目に價する、ロイター外交記者ジョン・キムチの見解ではパレスチナをアラブ民族と猶太人との間に折半し、エルサレムを二種の中立地帶とする解決方針だといはれる」

勞働黨、印度問題で活動

（ロンドン三十日發）英國勞働黨議員團七十二名は佛印及びインドネシアの現狀に關し意見書を作成、新設の勞働黨外務委員會に附議する筈である右勞働黨議員團はこのほか在英印度主要獨立運動團體による民衆大會の開催、議會における質問提起等をも計畫してゐるといはれる

昭和二十年十一月一日(木)　第一號
時事通信　海外電報　(第三種郵便物認可)

【戰後處理】

極東委員會、獨立問題は審議せず

(ワシントン二十九日發SF)聯合國極東諮問委員會第一次會合はいよいよ三十日より開催されることとなりこれに關する手筈も完了したが、ソ聯の參加は依然期待出來ない、諮問委員會の主たる使命は今後の日本管理政策につき勸告を行ふことにある、ソ聯側は極東諮問委員會を創設する前に實際の管理權限をもつた四ケ國の日本管理々事會を東京に設置すべしと主張し紛議を來したが、米國側當局も右の主張からしてソ聯が諮問委員會に出られない立場にあることは了解してゐる、米國よりの諮問委員會招請を應諾するものと期待される國は英國、中國、濠洲、カナダ、フランス、ニユージーランド、オランダ、比島、印度の十ケ國ですでに印度政廳は招請を受諾せる旨發表された比島のロムロ代將は各國代表に對し印度支那、オランダ、東印度の獨立計畫審議方を提案する豫定といはれるが、米國當局の見解によればロムロ代將がこのやうな提案をしたところで、それが諮問委員會の權限以外にあるとの理由から採り上げられないだらうとのことである、けだし諮問委員會が日本の降伏以外の事項につき勸告し得るのは全く參加各國政府の取決めによりかかる事項の審議方を命ぜられた場合にかぎるからである、このやうに委員會の權能が限られてゐる上に一部の參加國政府がこの種の問題をさして重要なものだと考へてゐないとみられる節がある

米國代表決まる

(ワシントン二十九日發SF)米國務省は二十九日米國政府よりの極東諮問委員會出席要請を印度が受諾した旨發表した、なほ印度代表にはワシントン在任のギルジヤ・シヤンカー・バジパイ卿が選ばれた、印度をも招請することになつたのは英國側からの提案によるもので、米國政府は英國の申入れをソ華兩國に傳達し、それぞれの意向を確めたところ、中國政府は應諾の旨通知して來たがソ聯からは目下のところ何等の回答にも接してゐない、國務省の發表によると極東諮問委員會米國代表はかつて駐支米國大使たりしフランク・ネルソン少將で、これに顧問としてC・スタントン・バブコツク大佐他一名がつくことになつてゐる

軍國的世襲階級を絶滅せよ

フイラデルフイア二十九日發SF)ウエンライト將軍は二十九日當地において演說を行ひ、マツカーサー元帥の日本占領政策を讃へるとともに日本に軍國的な世襲階級が存在するかぎり、彼等は再び戰爭機構を作り上げるであらう、われわれはこのやうな世襲階級がなくなり、彼等が再び戰爭機構を作り上げることのないやうになるまで、軍隊を日本に置いておかなくてはならないと述べた

【國際機關】

米、兵力行使を提案

(ワシントン二十九日發SF)米國々務省は國際安全保障理事會の平和維持活動を援助するため大統領をして一定數の米國兵力を自由に行使させる法案を上院に提示した、つたへられるところによれば內容は次の通りである

一、大統領の代理機關として大使の地位を持つ米國代表を任命すること

二、右代表に對し米國兵力の使用に關する投票權を與へること、兵力使用は大統領より指令するもので議會はこれを覆へすことはできない

三、右票決後大統領は議會にその經緯を報告すること

四、議會は共同決議又は協定をもつて安全保障理事會に對する米國兵力派遣數をそのまま承認すべきこと

米賠償委員パリ着

(パリ二十九日發SF)聯合國賠償委員會米國代表ジエームズ・エンゼル氏は國務省財政專門家フエルプス氏等を帶同二十八日パリに到着した、エンゼル氏はドイツの物資及び原料品を各聯合國向に分割する仕事に從事する旨發表した、なほ賠償會議は十一月九日開催の筈

陸海空軍分立案を提唱

（ワシントン二十九日發SF）二十八日の上院海軍委員會において前陸海軍々需委員長にして戰時生産局次長たりしF・エバースタット氏の陸海空軍分立に關する報告が發表された、因に右報告は海軍長官フオレスタル氏の命令により作成されたものである、要旨左の通り

「もし海軍が陸軍から獨立した本來の形で運營されてゐたならば、日本の眞珠灣攻撃の效果は大部違つたものになつたであらう、余は單一の頭首の下に陸海軍を統合することは國防の改善に何等益するところがないと思ふ、陸海軍の統合の代りにむしろ空軍を統轄する一省を設けた方が良く、これら三省の活動の調整は正式に連絡機構を設置することによつて解決される、國防の萬全を期するためにはさらに政府の治政、軍事、經濟各擔當機關の間に組織的な連絡を作ることも必要である

陸海空三省連絡機關には世界的規模における軍事行動、原子爆彈その他科學の振興及び近代戰においていちぢるしく增大した戰闘の規模及び速度に伴つて生ずる必要な措置などについての權限を持たすべきであり、軍政經各機關間の連絡組織としては國防評議會ともいふべきものを設け、これに政治、外交、軍事の一致に關する仕事を司らしむるのが至當である、陸軍航空隊の大部及び軍事航空輸送は空軍省に移管せしめ、海軍はそのままとするが、陸軍にも觀測機や連絡機の如き特殊任務の航空隊は保持せしむべきだ、また一旦緩急あれば工業力及び人的資源の急速動員を可能ならしめるため、これが研究機關として國防資源局の如きものを設置することも望ましい」

軍用機最低三千機生産を提唱

（ワシントン二十九日發SF）國務省、陸軍省、海軍省及び商務省により形成される航空問題連絡委員會は議會に八項目より成る國防計畫を提案したが、これによると米國は平時において最低三千機の軍用機生産を維持すべきこととなつてゐる

ホランデイア基地蘭印へ賣却

（ワシントン二十九日發SF）海軍省はニューギニアのホランデイア基地を六百八十三萬弗で蘭領東印度政府へ賣却した旨發表した、右は太平洋地域における海軍省餘剩資産處分計畫の第一回實施である

製鋼勞働者も罷業投票か

（ワシントン二十九日發SF）最近の全米勞働關係情報左の通り

△AFL會長グリーン氏は二十八日マサチユセツツ州AFL大會に臨みつぎの如く述べた

「勞働階級はいかなる政府に對しても罷業權を引渡す心算はない、現在資本家は日勞者の賃金引上要求を十分容れ得る立場にあり、勞働者はただ利潤に對する正當な分け前を要求してゐただけなのだ」

△製鋼會社は勞働者側の一日二弗の賃金引上要求を拒否し、これがためCIO系製鋼勞働組合は全米勞働關係局に罷業投票を要請すべく準備を進めてゐる

△サンフランシスコのCIO及びAFL系機械工は二十九日より三〇%賃金引上要求貫徹を目指して總罷業に入る豫定であるが、この結果同地の造船所は閉鎖の止むなきに至るものとみられる

△米國電機ラジオ工組合はゼネラル・エレクトリツク社五十四工場における十七萬人の從業員の罷業投票を行ふこととなつた、なほゼネラル・エレクトリツク社は一日二弗の賃金引上要求を拒否してゐる

軍事訓練計畫公聽會近く開始

（ワシントン二十五日發SF）下院陸軍委員長メイ氏の發表によれば、同委員會はさきにトルーマン大統領が提案した一般軍事訓練計畫の公聽會を十一月八日より開催する豫定といはれる

時事通信　海外電報

武力保持の要を力說

(ニューヨーク二十九日發SF)米陸軍參謀總長ジョージ・C・マーシャル元帥は二十九日夜「ヘラルド・トリビューン」紙主催の時事問題討論會の開會に際し、原子力の出現によつて米國は協調的世界秩序を維持するためにどうしても強大な軍事力を持たねばならなくなつた旨次のやうな演說を行つた

「米國人は今日、祖國の運命と世界全般に對し如何に重大な責任を負つてゐるかといふことを未だ嘗てないほど痛切に自覺させられてゐる、時間と空間とが著しく縮められてしまつた結果として、余は今や世界的法規といふものが必要となつてきたと考へてゐる、一社會乃至は一國家の法規では最早不十分である、これ等の社會、國家單位の法規は現實に卽しないものとなつてしまつたのである、米國及びわが聯合諸國は世界秩序維持のための協調的思想を推進する機構として國際聯合の設置を決定した、この原則この組織を支持する諸國家は嘗てヒトラーが試みたやうに征服によつて秩序を生み出さうとしてゐるのでもなければ、自己の利益のために諸國民の內政に干涉する積りもないのである、これらの諸國家が提案してゐるのは主として侵略及び國際間の暴力行使を禁ずる諸規則よりなる世界的作法書ともいふべき一群の法則なのである、若しこの國際聯合が效果を發揮するとすれば、それは一にこれを支持する諸國家のこれを成功させたいと願ふ一念の强さに懸つてゐるのである」

武器貸與食糧引渡高激減

(ワシントン二十七日發SF)農務省二十七日の發表によれば十月中の武器貸與食糧並びに農產物引渡高は一九四一年同法實施當時以來の最低記錄を示した、卽ち十月の引渡高は三億三千三百十三萬千八十四封度で、七月に比し約半分にすぎない米國食糧、農產物生產高の約五六%は武器貸與に向けられたが、引渡し總額は依然大幅の減少を示してゐる、救濟復興會議向け引渡高は數量において第二位で、七月中の引渡高の二七%に達してゐる一方現金引渡高は七%に減少、カリブ海地域及びハワイ向け引渡高も減少してゐる

中國大使、米國務次官と協議

(ワシントン二十九日發SF)米國駐劄中國大使魏道明氏は二十九日バーンズ國務長官と長時間にわたり協議を遂げた

バルカン救濟を主張

(ワシントン二十九日發SF)諸外國を視察して最近歸米した議員團一行はバルカン諸國の復興に技術的援助を與ふべきであると論じ、その代表者は次の通り述べた

過般のロンドン會議においてはバルカンの國境問題、少數民族問題、戰略的地位などに餘り重點を置きすぎたやうである、今後はバルカンの食糧及び石炭生產乃至通貨安定等の計畫にもつと考慮を拂はねばならない

輸入制限撤廢

(ワシントン二十八日發SF)米戰時石油統制局は十一月一日以降石油及び同製品の輸入制限を廢止する旨二十八日發表した、右に關しデーヴイス石油統制局次長は次の通り述べた

海外よりの石油輸入に關しては海軍、戰時海運局及び英國政府の協力によつて油槽船の運航を統制する委員會が設けられてゐたが、これは今月末を以て機能を停止し、これに代つて商業機關が石油の輸送統制に當ることになる、但し國內輸送に關しては個々の政府の統制を受ける

デーヴイス次長は今回の措置をもつて十月末以降油槽船が十分利用出來得ることになつた結果であると說明してゐる

資料

恐るべき原子の力

The Mighty Atom

終戰の直接のキツカケとなつた原子爆彈は、原子の恐るべき破壞力を示すと同時に平時における其の效用の將來性についても世界に大きな期待を投げかけた、以下に紹介するのは米國將兵の自ら編輯してゐる前線雜誌「ヤンク」九月二十八日號に揭載された同誌專屬記者ジョナサン・キルバーン伍長の解說である（武井武夫）

一、原子とは

何か頭で考へられるだけ小さなものを考へて、それを二十億に割つてみる、世界最大の破壞兵器原子爆彈のエネルギーの源泉たる原子の大きさは大たいそんなものだ

廣島と長崎とを荒廢に歸した爆彈は數十億の原子を含んでゐた

一原子は殆ど想像のつかない位微細な陰陽の電氣を帶びた微粒子と中性の微粒子から成る

すべてある「もの」の一定量は原子——ちようど海濱の砂子のやうに數知れぬ——から成る、諸君の周圍にあるものは、眼に映るものも手に觸れるものも悉く原子から出來てゐる、諸君自身からしてさうだ

一つ一つの原子は太陽系をうんと小さくしたやうなもので、中央には太陽に當る原子核があり、その周圍を電子と呼ぶ遊星がまはつてゐる、但しその回轉はわれわれの世界などより何十億倍となく早い

科學は原子世界の太陽を更にその構成部分に分裂せしめた、この原子核は二種の個々の微粒子、卽ちプロトン（陽子）及びニュートロン（中性子）の凝塊から成る、陽子は陽電氣を帶び、中性子は中性だ

電子の太陽系はそれを結びつけてゐる力がなかつたらバラバラに破裂するわけだ、この力は原子核中の一つまたはそれ以上の陽子と陰電氣を帶びた遊星電子との間の引力によつて與へられるので

ある

二、放出されたエネルギー

この小さな原子體系の連繫を保つには莫大な力が要る、このエネルギーが放出されるといふことは原子世界の終末であるのみならず、その周圍に最後の審判の雛型ともいふべき大混亂を生ずることになる、數百萬度の熱が生じ、その風壓は遠距離に嘗て例のない猛烈な反應を齎す、この反應が初めて發見された時まで、人類はそんな力の存在を考へることさへ出來なかつたのである

反應は決して化學的爆發要素によるものではない、全く自己維持的なものだ、崩壞的破壞は全原子太陽系が分裂して了ふまで續く

では爆發した微粒子はどうなる、この小型激變はいかにして起るのか、爆發が忽ち終るため——わづか百萬分の一秒——反應の詳細を調べることは容易でない、そして原子は固く包まれてゐるのではないからこの激變を齎すことも確かに困難だアルベルト・アインシュタインの言つた通り、分子または物質片中のどんな古い原子でも紛碎するといふことは、鴨の少い土地で暗夜に鴨を射止めようとするに等しい、一回成功するのに數百萬回失敗することもあらう

原子世界の構成部分も數が少く、相互に離れてゐる、この太陽系同樣、原子の內部は大部分が空間なのだ、原子の太陽は、原子太陽系の範圍の十億分の一の百萬分の一ぐらゐを占めてゐるにすぎない

もし體重百五十封度の人間を構成する數千億の原子太陽系から遊星電子と空間とを除いて原子核だけを殘したとすれば、鹿彈一個位の塊しか殘らないことにならう

しかしながらこの百五十封度といふ小さな人體の太陽系から電子と空間をとり去つて極く小さい塊を殘すといふことは、必ず想像を絕する爆發を伴ふことになる、卽ち原子の崩壞とは決してわれわれの從來知るやうな爆發ではないのだ、普通の爆發とか發火とかは分子相互の分離または再結合から起る、分子そのものは完全な形で殘るが、それを結合してゐたエネルギーが熱、光あるひは爆

力として放出されるのである

われわれは毎日原子爆發を見てゐるが、それは遠くからのことで、餘り遠いためにその性質をよく知らない、太陽の熱と光、そして太陽から放たれる多數の線はさうした爆發——單なる分子群の分離だけではない爆發——から生ずる、原子が相互に分離し、分解が更に續き、原子自身さへ破壞されるのである

三、中性子の役割

生ずる熱と光の量は信じ難いほど大きい、他にも力が放出されるが、そのあるものは空想以外に考へやうのないほどの力を持つ

研究所における原子一つの分解は原子の太陽系に破壞を齎すが、部屋そのものには何の害も來さない、これは原子世界（莫大な數の原子）の鎖が爆發しなければ肝癪玉の破裂程度にもならないからである、しかも豌豆一粒の原子の結合物は恐しい破壞を生ずる、何百千億といふ原子が含まれてゐるためである

かかる結合物を作りその結合物を破壞し得べき好條件を創り出すといふことは、原子破壞者及び原子爆彈製作者にとつて第一の問題だつた、原子を出鱈目に衝撃することは、豌豆を扇風器に投げつけるに等しい、電子の自己の活動範圍内における速度は原子をほとんど通過不能ならしめてゐるが、更に電子は極めて荷電量の大きな陽子に對しても十分な抵抗力を示す

ところが中性子は全然荷電してをらず、他の助力なしには動くことも出來ない、且つ荷電してゐないために、この防備完全な原子世界に打入らうとする科學者はその巨大な原子破壞器サイクロトンや原子爆彈において中性子をそれ自身の力により運動させるわけにはゆかない

されば科學者は中性子に運動力を與へるためにしばしば重水素原子を使用するが、この原子には陽子と中性子の結合した原子核が含まれてゐる、この重水素原子がサイクロトンの磁場に捲き込まれる、そして重水素原子が目標物（粉碎さるべきウラニウム原子）に命中すると水素原子は分裂し中性子がウラニウム原子の中に突入する

中性子の目標となる原子はウラニウム二三五、卽ちウラニウム原子の一種で最も電氣防禦が嚴重な原子だ、U二三五の原子核には極めて荷電量の大きな陽子九十二個が含まれてゐて、その世界に闖入しようとする他の世界の陽子をすべて撃退してゐるのである、また周圍には同じく九十二個の電子が回轉してをり、これが他の世界からの電子を悉く撃退するといふわけだ

四、U二三五

それでは何故科學者がもつと手強くない物質を利用せずにそんな始末に惡いウラニウムを使用するかといふに、ウラニウム原子の一たる、U二三五（數字は原子量）はその內部に中性子一個が打込まれ一單位だけ原子量を增しても忽ち不安定になるからである、このことはプルトニウムにおいても同樣だ、プルトニウムは超原子力源として科學が創造した人工化學元素で、原子量は二三九と現存原子中で最も重い

中性子によつて組織體系內の平衡が破られるとU二三五乃至プルトニウムは殆ど同量の二部分に分たれる

原子が重ければ重いほど、その結合を保つに要するエネルギーは大きい、ウラニウム原子が二部分に分たれ二個の輕い原子が形成される場合、この二原子の自己結合に要するエネルギーは二個がそれまで形成してゐた原子の要したものに比べて少ない、殘餘は過剩エネルギーとなつて放出され——それが爆發する、そして殘餘といふのが二億電子ボルトである

かういふと大變な數字だが、實はこれは原子世界においてもマツチの閃きぐらゐにすぎない、その直接範圍においてこそ、その作用たるや正しく破壞的だが、原子系の崩壞が他の原子系に波及しない限り、人間の肉眼では認めることも出來ない

高速度で運動する中性子がU二三五に命中しても、普通の意味では何事も起らない、高速度ではU二三五は平氣なのだ、ところが中性子の速度が少し遲くなると原子は分裂する、卽ち中性子は空

中を漂ふ場合には極めて簡單にU二三五を透徹するのである

十分な連鎖反應を生ぜしめるためには、科學者は自由中性子が本來の急速度を緩和するやうに裝置しなければならない

中性子は冷凍パラフインと衝突するやうにすることが出來る、すると中性子とほぼ同重量で活動力を有するパラフイン中の水素原子は、事實上中性子をその場に停止せしめる、これはちようど玉突の球が他の球に當るにその場で靜止するのと同じことだ

さて中性子がU二三五に向つて射撃され、連鎖反應が始つたとする、ウラニウム原子を二個に分裂せしめる爆發からはガンマ線も出る、これは時に原子中の電子を分離し、或ひはこれを粉碎して破片や殘骸を飛散させるほどの强裂な放射線だ、一旦連鎖反應が始ると、分裂した一つ一つの原子から放出される無數の中性子によつて繼續されるそして中性子は前後に撥ね返つて現象の繼續に好都合な程度に遲緩され、莫大なエネルギーが放出されるのである

日本に大混亂を齎したのはこのエネルギーだ、そしてこの同じエネルギーが新世紀の可能性を—原子爆彈にその例をみる通り順致された莫大な原子エネルギーが人類に前代未聞の大きな力を與へるやうな原子力時代の可能性を—齎したのである

原子力利用研究機關設置

（ロンドン二十九日發SF）アトレー英首相は下院において政府が原子力利用に關するあらゆるを問題を處理すべき研究機關を設置する方針なる旨明かにした

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯兼發行人　松田增三　東京都麹町區日比谷公園二番地　時事通信社

昭和二十年十一月二日(金)　第二號　時事通信　海外電報　(2)

時事通信社は新聞界の革命兒である、事業の内容において、運營の樣式において、前人未踏の處女地を開拓しようといふのが同人の抱負である、米國のAPと英國のPAとは企業合理化の原則に立つ新聞組合であり、ロイテル通信社はユダヤの天才兒ユリウス・ロイテルが少數の財界人を相手として經濟ニユーズを賣り込んだのが始りだ、タス通信社やDNBは國家乃至黨の宣傳機關として出發してゐる、時事通信社は經濟、時事の兩分野に亘り、月刊の專門通信を發行してゐる意味に於て新聞社の性格を帶びてゐるが、購讀料と讀者數とから見て從來の新聞とは著しくその趣きを異にしてゐる、しかも從來の經濟通信が極めて少數の高額讀者に限定されてゐたのに比べれば、讀者層は相當廣汎だと言つて差支へあるまい、獨り經濟界といはず、官界その他各界の指導層に、紙面の制約を受けぬ豐富なニユーズを繼續的に提供して、正しい報道の任務を全うするとともに、これらの讀者層の支持によつて財政的基礎を確保し、民主自治の原則に立つて社業を運營するところに新時代に先驅する革命兒の本領が存する、勿論日本商法の要請に基き株式會社としての一切の條件を整へたが、女子職員を含めて社員の各々が二株の株式を持ち、しかも二株以上は誰れも持つことが出來ない、したがつて時事通信社には資本と勞働との對立はあり得ないが、商法に基く取締役會に併行して、比例代表制によつて職員が互選する執行委員會が出來るので、職員の總意は遺憾なく社業の運營に反映されよう、執行委員會と取締役會との意見が對立する場合には、株主總會即ち職員總會において討議し、表決に付して最後の斷案を下す、勿論取締役會の主張が容れられぬ場合には、取締役が退陣して新な取締役が總會で選任される段取りだ

世界の焦点

日本戰爭犯罪裁判機構成る

（ホノルル三十一日）米國陸軍次官ジョン・マクロイが三十一日言明したところによれば、日本における戰爭犯罪人の審理機構は既に確立され、近く訊問が開始される段取りである、もつとも最初に裁判されるのは殘虐手段等固有の戰爭犯罪に關するもので、聯合國の一國以上に對する戰爭犯罪等、高度の範疇に屬する戰爭犯罪人に對する裁判は後廻しになる筈である

【目　次】

バーンズ互讓精神を要請……一〇
明年六月に獨を民政に……〃
英新聲兩首相激論……〃
極東諮問委員會開催……一一
米、氷島綠島を要求……〃
軍用機年產三千を確保……〃
米軍統合新提案……〃
米代表の權限を規定……一二
保障理事會に兵力供與案……〃
米外交十二原則試鍊に直面……〃
財務長官、公債消化を要請……〃
伯大統領失踪……一三
伯政變の原因は軍部の反對……〃
アリアス元大統領を逮捕……〃
米、新ヴエネズエラ政府を承認……〃
【資　料】
亞國におけるヒトラーの遺言執行人……一四

ソ聯、伊に三億弗の賠償要求

（モスクワ三十一日）タス通信社の報道によればソヴエト政府は、米英兩國がイタリアにたいして賠償の要求を行はない意向であるのに鑑み、單獨で三億弗の賠償を要求したといはれる、以上の總額のうち三分の一はソ聯が受け取り、殘餘はユーゴスラヴイア、ギリシヤ、アルバニアの三國間で公平に分ける手筈で、ソヴエト政府はイタリアが今日までに米英兩國に渡した貴重品その他の資產に比較すれば少額だとの見解を持してゐる、因みにユーゴスラヴイア、ギリシヤ、アルバニアの三國はイタリアに要求すべき賠償額を既に發表してゐる

バーンズ、互讓精神を要請

＝華濠兩國ソ聯の參加を希望＝

（ワシントン三十一日）極東諮問委員會は幾多の迂餘曲折を經た後、ソ聯の參加を俟たずに米國以下九ケ國代表出席の下に三十日國務省において第一回會議を開催したが、バーンズ國務長官は次のやうな簡單な挨拶を述べた

「極東諮問委員會の任務は極めて困難なものであらうが、大いに能率をあげて仕事を進めて行くことを信じて疑はない、なぜならばわれわれが戰爭に勝つために協力出來たのだから、降伏條件履行に當つても必ずや協力出來るであらうからだ、そもそもの戰爭の初めから今次大戰爭において勝利を收め、その後の平和を關係各聯合國の共同動作によつて維持することが米國の目標であつた、米國政府の希ふところは、平和を愛好する諸國の軍事上の安全を保障するため適當とする方策を講ずると同時に、日本政府および國民に對して、將來の日本は他國と手に手をとつて平和に暮すことが出來る事實を悟らせ、その精神と抱負を一變させることである、多くの參加國を有するばかりでなく、特異の性格を持つ諮問委員會の設置は一つの興味ある實驗ともいふことが出來よう、諸氏はそれぞれ違つた政府を代表してゐるのであるから日本占領に關する諸問題についても利害關係を異にし、見解も異るであらう、從つて諮問委員會を有效に動かすためには、各代表は同僚の見解を進んで理解する態度を持し、協調精神をもつて互ひに讓り合はねばならない」

次いで臨時に議長に選ばれた米國代表フランク・マツコイ少將は

諸氏の多くは、既に極東問題について協力して仕事を進めた經驗を持つてをられるから、これからの會議は和氣靄々裡に進められることと確信する、今日までは米國政府は極東においていろんな緊急事態に對處しなければならなかつたが、これからはわれわれは力をあはせて仕事を片付けて行くことを望む

と述べて議事に入つたが、中國代表のワシントン駐劄大使魏道明が

本委員會の附議事項について新たな提案があるため、委員會が仕事を進めるに曩立つて、米英華ソ聯の四國が意見の一致をみるやう多少の時日をおく必要がある

と緊急動機を提起、濠洲代表ハーヴアート・エヴアットが

附議事項を變更する場合には、委員會へ參加するやう招請された國が、全部集つて討議すべきである

との意見を述べた結果、會議は一週間延期され、來る十一月六日第一回組織會議を開催するに決定した、以上によつて極東諮問委員會の參加諸國なかんづく中國はソ聯の參加をあくまで希望してをり、一週間の休會期間中にソ聯が參加の回答を寄せることを望んでゐることは明瞭であり、かかる態度に對してソ聯がいかなる態度をとるかは多大の關心に價する

明年六月に獨を民政に

（ワシントン三十一日）AP報道によれば、トルーマン大統領は明年六月一日をもつてドイツの軍政を民政に切り換へる旨三十一日發表したといはれる

英新舊兩首相激論

（ロンドン三十一日）前英國首相チヤーチルは野に下つて以來再び曾つての闘將振りを發揮し、屢屢下院においてアトレー首相やベヴイン外相等と激論を闘はせてゐるが、三十日の下院においてチヤーチルが英本國、歐洲、極東における陸軍および空軍兵員の配備狀況に關する情報を要求したのに對し、アトレー首相は一般の關心外だといふことを理由に拒否した結果兩者の間に火花を散らす論爭が展開された、チヤーチルの論點は詮じつめればアトレーの申し立てる理由は首肯出來ないといふにあるが、結局後刻兩者だけで會見して、どの程度まで兵員配備の數字を公表出來るか檢討することにして鬼となつた

他方英國政界ではチヤーチルが下院から引退して爵位を承け、上院に入る意向だといふ噂が執拗に流布されてゐるが、保守黨の事務當局は三十一日以上の噂を否定した

昭和二十年十一月二日(金)
第二號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

【戰後處理】

極東諮問委員會開催

(ワシントン三十日)日本占領政策に關する極東諮問委員會は三十日國務省において第一回會議を開催、米、英、佛、中國、濠洲、ニユージーランド、カナダ、オランダ、比島、印度の十ケ國代表が一堂に會し、バーンズ米國務長官が簡單な開會の挨拶を述べた、委員會は會議の結果來る十一月六日に第一回組織會議を開催するに決定した、ソ聯はまだ諮問會議に參加するとも否とも回答を寄せてゐない

多量の麻藥を沒收

(ロンドン三十日)BBC三十日の放送によれば米軍當局はこの程中部日本の長野市において多量の麻藥ストツクの沒收を行つたが、その際數量四噸價格約百五十萬磅に上る阿片を入手したといはれる

これらの麻藥は郊外の一倉庫から發見されたものであるが、其他にもキニーネ三十二噸價格五十萬磅、モルヒネ及びコカイン價格五萬磅が含まれてゐる

【米　國】

米、氷島、綠島を要求

(ワシントン三十日)カリフオルニア州選出共和黨下院議員バートランド・ジアハートは米國の債權を決濟するためアイスランド、グリーンランドその他太平洋およびカリブ海の諸島嶼を米國が取得することを要求した、決議を三十日下院に提出した以上に關聯して同議員は次の通り言明した

米國が供與した弗クレヂツトに對して反對給付を要求するときが來た、われわれは以上の方針を二十ケ國以上に擴大する計畫だ、米國はソ聯フランス、英國等と同じやうに現實的な態度をとる必要がある、われわれにとつて實際的な價値のあるものは唯一つ、それは土地だ

軍用機年産三千を確保

(ワシントン二十九日)國務、陸海、商務四省の航空協力委員會は二十九日議會に對し軍用機最低年産三千機確保を含む國防計畫八項目を提案した

陸軍省顧問ジョージ・ベーカー博士は同委員會を代表し上院軍事委員會餘剩財産處分々科委員會において上記提案を說明したが、右八項目の要旨は次の通り

一、航空兵器の十分なる試驗及び改良を行ひ、必要なる場合に直ちに大量生産を可能ならしむること

二、軍用機最低年産を三千機、機體重量を三千萬封度とし、更に技師及び工具の技術保存を計ること

三、政府所有の航空機製作工場中餘分のものを有利な條件で民間側に移讓すること

四、航空機生産工場の分散——商業用航空機生産は東部及び西部沿岸地方でこれを續行するが、軍用機生産は奥地に移轉せしむること

五、必要な場合に增産を可能ならしむるための組織を直ちに完備し、その費用として陸海軍に年五百萬弗以上を支出せしむること

六、航空機々體及び發動器製作工場のうち、少くとも二千六百萬平方呎の工場敷地を有するものを政府所有とすること

七、一般工作機械六萬五千臺を豫備として保有し置くこと

八、有力なる情報網を組織することにより、敵の攻撃を豫知し得るやうにすること

ベーカー博士は右提案を說明するに當りこの計畫は新しい武器の發達を待つまでもなく直に實行に移すべきであると述べ「若し我々が何時までも新兵器の發達を徒らに待つてゐるならば、いざといふ場合に何も作り出す用意がないことになり萬事休すと云ふ事態を招來するかも知れぬ」と語つた

米軍統合新提案

(ワシントン三十日)米陸軍地上部隊參謀長ロートン・コリンズ中將は三十日陸軍省スポークスマンとして議會に出席、陸海空三軍を文官たる「總軍省長官」(Secretary of Armed Forces)の統轄下に置く提案を行つた

同中將の說明によれば新提案が實現されたとしても空陸海各部門はいづれも妥當な自主性を確保し得るので、決して三軍を統合して一丸とする計畫ではないといはれる、卽ち各軍が互ひに別箇の地位を保ちつつ文官たる一長官の下に置かれ、該長官は各軍の參謀長並びに文官たる輔佐官達に輔佐されて所管事務を處理することになるといふにある

米代表の權限を規定

（ワシントン三十日）米國務次官デイーン・アチソンは二十九日、上院外交委員會に對して國際聯合安全保障理事會の米國代表の義務および權限を規定する法案草稿を提出した、新聞報道によれば米國代表は大統領の代理人として大使の資格で安全保障理事會に臨み、大統領の訓令に基いて軍事制裁その他の制裁行爲を發動するための表決を行ひ、投票內容を議會に報告することを大統領に要請しその際議會は共同決議乃至は條約の形で承認し、理事會に配屬する米軍を編成するを必要とすることを規定したものである、但しアチソン次官補が上院外交委員會に提出した法案は最初の草案である

保障理事會に兵力供與案

（ワシントン三十日發）米國々務次官デイーン・アチソンは三十日、上院外交委員會兩黨合同會議に對して、世界平和維持を目的とする世界平和保障理事會を援助するため一定數の米國兵力の使用を自由に命令し得る權限を大統領に與へんとする法律案を提出した、同委員會議長トム・コナリーは、右法案は來週中に本會議の審議に付せられる筈であるが、クリスマス以前に上院通過を希望すると述べてゐる

米外交十二原則試練に直面

（ワシントン三十日）ワシントン外交界では米國を繞る國際情勢は米ソ關係の好轉により著しく明朗化したと觀測してゐるが、これは先週モスクワ駐劄米國大使ハリマンがスターリン元帥にトルーマン大統領の親書を手交した際極めて友交的待遇を受けたことに端を發してゐる、この大統領親書及びスターリン元帥の返書の內容は未だ明かにされてゐないが、歐洲における媾和條約問題及び對日管理問題等につき、兩國間に交涉が依然進められてゐるとのワシントン一部での觀測はこの間の事情を窺はしめるものがある

とにかく今回の米ソ文書交換の目的とするところが世界平和を確保するための主要國間の現在及び將來の協力關係に確乎たる基礎を與へんとするにあることは明かである

トルーマン大統領がこの程發表した米國外交政策十二原則が近い將來において幾多の國際問題の處理に當り、嚴しい試練を受けるであらうことは止むを得ないが、現在トルーマン大統領が直面する未解決問題には次の如きものがある

一、大統領が發表した諸原則中外的勢力によつて强制的に樹立された政府の不承認の原則をバルカン諸國に對しいかに適用するかが問題で、ソ聯の勢力下にあるバルカン諸國の承認問題をいかに處理するかは大統領に課せられた一大問題である

二、パレスチナへの猶太人入國許可の問題、これに附隨してアラビア人の勢力下にある油田地帶たる中東地方の治安維持

三、ダーダネルス海峽問題、來週ソ土友交不侵略條約が期限滿了となるが、これは黑海と地中海を結ぶこの海峽に基地を求めんとするソ聯の壓迫を增加させることになり、これに伴ひこの問題も重大化すると思はれる

四、米國が太平洋において獲得した戰略基地をどの程度まで國際化するかといふ問題

財務長官、公債消化を要請

（ワシントン二十八日）ヴインソン財務長官は第八次戰勝公債百十億弗の消化運動開始に當り二十八日夜ラジオ演說を行ひ、大要左の通り述べた

今や海外において米國は勝利を得たが、われわれは國內の敵インフレにも打ち勝たねばならない、インフレとそは諸君が隆々辛苦の末得た金の價値を無に等しくする恐るべき魔物である、我々の眼前に差迫つたインフレの脅威は深刻なものがあり、戰爭が終つた後このインフレを克服することは一層困難である、蓋し戰爭進行中は我々はお互に固く團結してゐたからだ、併し我々はなほ鞏固に團結してインフレを跳ね返し完全雇傭、完全操業及び高水準の收入への障碍を除去しなければならない、もし之が實現できれば米國は繁榮するだらうし、且つこの繁榮こそは永遠の平和への前提をなすものだ

昭和二十年十一月二日(金)
第二號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【中南米】

伯大統領失踪

(ブエノスアイレス三十日)ブラジル首都一帶では數日來革命機運擡頭し、果然大統領ゼトリオ・ドルネレス・ヴアルガス博士は自ら辭表に署名の上、三十日午前一時四十五分、リヴエラよりブラジルとウルグワイの國境方面に走つた、他方ヴアルガス政權打倒を目指して蹶起した軍隊は陸軍省の大廣間に新大統領擁立式を開催し、リパレス將軍を新大統領とする旨宣言した、陸軍は今次無血革命に伴ふ國内の治安については、十分自信ある樣子で、軍代表グスターヴオ・コルデイロ・デ・フアリア將軍は、新聞記者團に對して、陸相は全國軍隊と直接の聯絡を保つてをり、各地部隊何れも首都における軍隊の行動を支持してゐる旨言明した、同時に警視總監も更迭し、新にジョアン・アルベルト・リンス・デ・バロスが總監に、クルシジオ・カルドーソが次長に夫々就任した

伯政變の原因は軍部の反對

ブラジルの政變は突如であり、詳細な報道がないため事情が判然としないが、斷片的な情報を綜合すると、大統領ゼトリオ・ドルネラス・ヴアルガスに對する一部軍部の反對が政變の根本因子と思はれる、ヴアルガス博士は一九三〇年十月の軍部革命により、十一月三日政權を掌握して以來憲法を停止し議會を解散して獨裁政權を確立、今日に至つたもので、その間一九三七年十一月十日發布の新憲法により、大統領の權限を一層擴大する等、縱横の權勢發揮により他面には相當の反對を作つたものと思はれる

最近の情報によれば、こゝ數日來ブラジル首都のリオ・デ・ジヤネイロでは軍部革命の機運濃厚で、ヴアルガス大統領は直系の軍隊を動員して、市内の要衝に配置したのであるが、時既に遲く自ら辭表に署名した後、三十日早朝自動車で官邸を引揚げるほかなかつた樣子である

ブラジルの政變と關聯して陸相ペドロ・アウレリオ・モンテイロ將軍は辭職してシナート・パクエツト將軍に椅子を譲つたこと、ジョアン・アルベルト・デ・バロスが新警視總監に任命されたことが報ぜられてゐる

アリアス元大統領を逮捕

(パナマ三十日)パナマ市長は三十日元大統領アルヌルフア・アリアスに對し逮捕令を發した、アリアスは元國民革命黨の領袖で、一九四〇年十月一日、大統領に就任したものであるが、一九四〇年九月二十二日の新憲法が大統領の任期を四年から六年に延長したに拘らず、任期滿了に先立ち反對派のため地位を追はれ、過去四年間國外に亡命してゐたものである、この程亡命先から歸國したのであるが、革命使嗾及び警察誹謗の廉により逮捕を命ぜられたものと傳へられる

亞政府はかりそめの存在

(サンフランシスコ三十日)米國旅行中のチリ大統領ホアン・アストニオ・リオスはアルゼンチン政府の性格について二十九日サンフランシスコにおいて次の通り言明した

アルゼンチンのごとく暴力に基礎をおく政府は概して一時的な存在を許されるだけだが、民主主義的政府はかかる政府よりも遙かに搖ぎない存在である

米、新ヴエネズエラ政府を承認

(ワシントン三十日)バーンズ國務長官は三十日米國は十日前に樹立されたヴエネズエラ新政府を完全に承認する旨發表した、國務省當局の發表によれば、米國はロムロ・ベタンクールを首班とするヴエネズエラ政府を承認するに先立ち米洲各國と商議したといはれ、現在まで同政府を承認した國はグワテマラ、パラグワイ、キユーバ、ウルグワイ、エクワドル、ボリヴイア、メキシコの七ケ國で米國は八番目に當る

亞國における
ヒトラーの遺言執行人

「イズヴエスチヤ」紙
六月十三日

△軍需王マンドル

世界の新聞紙上に時をりヒトラーの兵器工場主フリツツ・マンドルの名がみられるが、このドイツ・ファシズムの祕密の番犬は多年の間アルゼンチンで活躍しアルゼンチン軍需工業の眞の中心人物となつてゐる、アルゼンチンを支配するファシスト軍人團はマンドルをヒトラー政策の積極的遂行者と見做してゐるばかりでなく、アルゼンチン經濟の軍事化と國のファシズム化にとつてまたとない相談相手と考へてゐる

その意味で米誌「アメリカン・マガジーン」の最近號に掲載されたマンドルに關する論説は注目に價する、論説の筆者スタンレー・ロスによればフリツツ・マンドルは一九三六年にオーストリアからブエノスアイレスに移り、到着後二週間にしてアルゼンチンの市民權を獲得して、フェデリコ・マンドルと改名したといふことだ、ロスによればマンドルはアルゼンチン最大の、そして恐らくはラテン・アメリカ最大の軍需工業家となり、新たな「祖國」の炎熱下に自己のお氣に入りの仕事に沒頭するために、オーストリアから數百萬弗に上る巨額の資本を持ち込んだ

マンドルの所有する主な工場の一に、ブエノスアイレスのIMIA（インドウストリア・メタルールヒカ・イ・プラスチカ・アルヘンチナ）工場があるが、これは元來齒磨を作つてゐたのだが、現在では飛行機と砲彈を生産してゐるのだ、彼はまたサン・マルチンに「コメツト」自轉車工場を持つてゐるが、この工場は現在アルゼンチン軍のために殆ど全部の、從つて極めて豐富に機關銃を供給してゐる、そのほかにマンドルはアルゼンチンのファシスト政府と共同で一聯の工場を管理してをり、更にアルゼンチンの軍首腦部は軍需品を生産する國内の九十工場の全般的監督をマンドルに委任してゐる

△ナチの秘密會議

ロスによればムツソリーニは曾てファシズムに對する數々の功績の故をもつてマンドルに勳章を授與し、マンドルは今日に至るもムツソリーニを「偉大な政治家であり、余の個人的友人である」と語つてゐるといふことである

ロスは米國戰時情報局の一官吏の言葉を利用してゐるが、それによるとマンドルは世界で最も危險な人物の一人だといふことだ、この官吏は次の通り語つてゐる

余はマンドルが西半球の民主々義に對するあらゆる陰謀に加擔してをり、ラテン・アメリカにナチの資本を持ち込むことにも關係してゐると確信する

一九四五年四月上旬、アルゼンチンの現在のファレル＝ペロン政權はマンドルを逮捕して彼の邸宅に軟禁し、彼の主要工場たる(IMPA)を接收した、しかしながら以上の措置は直ちに米國輿論によつて見拔かれてしまつた、四月五日のサンフランシスコ放送はマンドルの逮捕が單なる見せ掛けのために行はれた事實を素破拔いてゐる

アルゼンチンにおけるナチストたる「死の商人」の「逮捕」やファレル＝ペロン政權の民主々義的衣更へはドイツから送られた覺書に基いて行はれたものである、新聞報道によれば、ドイツの首腦はアルゼンチンのファシスト軍人一派に對して樞軸への形式的な宣戰が必要だといふ指示を與へたといふことだ、米國通信社のアライド・レイボア・ニユース記者がモンテヴイデオから報ずるところによると、アルゼンチンが宣戰する一週間ばかり前に、ブエノスアイレスでドイツ・ファシスト指導者連の祕密會議が開催され、ラテン・アメリカにおけるナチズムの本據を維持する爲にアルゼンチンが樞軸に對して宣戰する必要があると決議したといはれる、この會議にはアルゼンチンの外相アメギノ、ファレル大統領祕書グレゴリア・

昭和二十年十一月二日(金)
第二號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

タウベル大佐のほかにマンドルも參加し、更にアルゼンチンにおけるドイツ諜報機關の主任で同國に居住するカール・フオン・リユクスブルグも出席した

△スパイ大學の設置

アルゼンチンに張り渡したドイツ諜報網の指導は、リユクスブルグと有名なドイツ・ナチストたるウイルヘルム・フオン・フアウペル將軍の「分業」に基いて行はれてゐる

米紙「ニユー・マツセス」の最近號はアンドレアス・ニブアの記事を揭載してゐるが、それによると、ドイツ將校團がヒトラーのドイツから西半球南部に續々派遣され、アルゼンチンその他ラテン・アメリカの若干の共和國において軍隊や警察内の最高地位を占めるのに成功したといふことだこのフアシスト將校達のうちでも特にウイルヘルム・フオン・フアウペル將軍が傑出し、今日までアルゼンチンにおけるドイツ第五部隊の首腦の地位を確保してゐる、この生粹のナチストは最近數年間ベルリンの「イベロ＝アメリカ研究所」の所長をつとめてゐたのだが、この研究所はヒトラー・ヒムラー諜報網の中核體であり、スペインおよびラテン・アメリカ全土の攪亂工作の中心體であつた、ブラジルの有力紙「アノイト」が最近報ずるところによれば、今年のはじめ赤軍がヒトラー一味の巢窟間際まで迫つたとき、この「研究所」はベルリンからマドリードに大急ぎで移され、ヒトラー一派の本部は「アメリカ總管理局」といふ新しい看板を揭げて活動を續けたといふことである

フアウペルは大部前からスペインに深く根をおろしてゐた、米國記者アレン・チエイズは最近出刊した「パタゴニアからパナマまで」と題する著書において、フアウペルが「イベロ＝アメリカ研究所」に任命された直後、スペインに諜報機關の支部を設置した事實を物語つてゐる、それはフアシスト達の「アルゼンチン人のための大學」はスペインのサン・セバスチアンに設置された、「大學」は最新の諜報攪亂「技術」に基いて組織されたもので、未來の攪亂工作者達に無電技術、顯微鏡寫眞術、暗號數字および地圖作製等を講義し、更に「攪亂工作大學卒業者」達を派遣する國の歷史、經濟、風俗習慣、國語方言等も研究した、アレン・チエイズによれば、サン・セバスチアンにあるスパイ大學は特にアルゼンチン人やスペインのフアランヘストを優先的に入學させたといふことである

△ナチの避難所

フアウペルは以前からラテン・アメリカ諸國、特にアルゼンチンに關するドイツ切つての「專門家」と見做されてゐた、彼はアルゼンチンにおいてまづヴエノスアイレスの陸軍大學教授としてデヴイユーし、次いでアルゼンチン參謀本部の主席顧問の地位を占めた、彼はこのポストを利用してドイツから派遣された多數の軍事「專門家」をアルゼンチンに引き入れることに成功したのである米國の進步的な新聞はアルゼンチンにおけるナチの影響を素破抜いて、アルゼンチン參謀總長カール・フオン・デア・ベツケ將軍のほかに、アルゼンチン軍にはドイツ生れの將官が六名、大佐が五名のほか多數の將校が勤務してゐる事實を報じてゐる

新聞の報道によれば、ヒトラー一派は戰後解體されたドイツ參謀本部の地下活動の足場をアルゼンチンに作つてゐることは疑問の餘地がない、米紙「クリスチアン・サイエンス・モニター」は次の通り論じてゐる

最近數ケ月にわたるアルゼンチン政府の政策はフアシスト・ドイツの殘存勢力のための避難所をアルゼンチンに設置することに集中されてゐる

米國のオーヴアシー・ニユーズ通信の報道によれば、ナチ第五部隊はブエノスアイレスに設置された新ドイツ本部から指令を受けてゐるといふことだ

△看板だけの民主々義

攪亂工作の基地をアルゼンチンに選んだ上記三名のヒトラー一味の戰爭挑發者の頭目マンドル、

リユクスブルグ、フアウペルの工作を曝露する材料はそのままアルゼンチン首腦部の罪狀を明かにする材料となり得る、それらはこのドイツ・フアシズムの海外禁獵區がどんなものであるかを、あらゆる醜惡な面まであますところなく曝露してゐるのだ

ドイツ・フアシスト共はアルゼンチンの經濟および政治生活のあらゆる領域に喰ひ入り、まるで生れ故郷にでも住んでゐるやうな氣持でゐる、彼等はアルゼンチン政府自體の政策を支配し、決定してゐる、「ニューヨーク・タイムズ」紙は次のやうな結論に到達した

フアレル、ペロン合作の現アルゼンチン政府は公然たるフアシスト政府であり、僅か數週間前に樞軸に對して宣戰を布告したにも拘らず、ナチの活動を抑へるための方策は一つとしてとつてゐない

米國の全國法曹家協會は、最近アルゼンチンの看板だけの樞軸「斷交」を曝露して

アルゼンチン政權はトロイの馬であり、これが聯合國陣營內に參加してゐることは、徒らに邪魔が起るばかりだ

と述べてゐる

アルゼンチンにはフアシスト體制が一指も染められずに健在してゐる、フアレル＝ペロン政府は國內の一切の民主々義的自由を抑壓し、進步的な公共機關を閉鎖し、民主々義的活動家を獄に投じてゐる、數日前米紙「P・M」はアルゼンチンにおける政治犯の數が一萬四千五百名に達したと報じてゐる

アルゼンチンを支配する軍部一味が萬能の「民主々義的」言辭や一握りの政治犯を釋放してジエスチユアを示して、親ナチ政策を隱蔽しても全然無駄だ、彼等の表面だけのトリツクの價値は米國新聞の報道が明確に評價してゐる、たとへば「クリスチアン・サイエンス・モニター紙」は六月八日次の通り述べてゐる

ブエノスアイレスの政府が最近示した民主々義へのジエスチユアは、第三次世界大戰の準備を可能とするあらゆる避難所とあらゆる基地を救はうと努めるナチ・ドイツの驅引と緊密に結び付くものだ

アルゼンチンのフアシスト軍部の翼の下で、札つきのナチ・スパイ、ゲシユタポ機關員および崩解したドイツ參謀本部の殘黨共は、住み心地のよい巢をつくり、民衆の平和と安全を脅威する地下工作のための西半球の本據を南部に設置してゐることは全世界の進步的分子に嚴重な警戒の念を抱かせずにはおかない

レーダーを盲人の杖に

（ワシントン三十日）米國では最近、近代戰の花形電波探知機を盲人の「生きた眼」として利用する研究が行はれてゐるが米國陸軍省は三十日次のやうな發表を行つた

この「感覺補助器」とも稱すべき器具は一民間學者ローレンス・クランベルグ氏が陸軍々醫當局の命により製作したもので、電波の代りに光線を用ひ重さ九封度の辨當箱大の携帶用ケースの前部からこの光線を放射し、この光は前方にある物體に反射したのち再び前記のケース內の電氣寫眞電池により捕捉される、この有效距離は二呎から二十呎に及び、光が捕捉されるところの電池が電流を起し、ケースに電線により結び付けられた一個の聽音器に記號を送る、この記號は距離の長短により異つた音となり、例へば一呎前方にある物體はダツシユ一つの記號を送り、八呎前方のものは點二ケと云ふ具合で、使用者はこのケースを自己の好む方向に向けて前方に何があるかを知ることが出來、又これを左右に振ることにより自分の步む道を精しく調べることが出來る譯である

ブレイドン國務次官補に

（ワシントン三十日）元アルゼンチン駐劄米國大使スプルイル・ブレイドンは、二十九日、國務省ラテン・アメリカ事務專任の國務次官補として正式に就任した

大正十五年十二月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　桂田增三　東京都麹町區日比谷公園一番　時事通信社

昭和二十年十一月五日(月)　第三號

時事通信　海外電報

聯合國最高司令部は十一月一日午後七時半次の聲明を發表した

「日本憲法の修正について近衛公が現在演じてゐる役割に關し大きな思ひ違ひがあるらしい、近衛公は以上の目的のために聯合國當局によつて選任されたのではない

東久邇宮內閣の崩壞に先立ち、近衛公は首相を代表する副首相として「日本政府は憲法の修正を要求されるだらう」との通告を受けた、翌日東久邇宮內閣は崩壞したが、聯合國當局の關する限り近衛公はそれ以上右事項と何等關係がない

最高司令官は新首相幣原男に對し、憲法修正に關する指令を傳達した、近衛公がその後右事項と關係を持つに至つたのは全く公と宮廷との關聯に由來し、聯合國當局からは何等の後援をも受けてゐない、以上の線に添ふ豫備的工作は日本政府によつて進められてをり、適當な期間の後、全主題は日本國民に充分且つ徹底的に討議した後、修正の最終樣式が國民の採擇するところとならう」

附議事項變更は招請國が決定

(ワシントン一日發)極東諮問委員會は三十一日第一回會議を開催、附議事項の變更につき正規の手續をとるため六日まで休會となつたが、會議において濠洲代表ハーバート・エヴアツト博士が附議事項の變更は委員會參加國の全部に諮るべきであると主張したのに對して、國務省當局は一日次の見解を表明した

「米國政府は極東諮問委員會の附議事項變更の問題についてはソ聯、中國、英國の三國政府以外には諮らない、他の關係國政府は勿論以上の問題に關する協議の結果について通告を受ける、委員會の附議事項變更の問題は委員會そのものによつて決定されるべきでなく、米英ソ華の四招請國によつて決定さるべきだ、このことはソ聯に對して依然招請國の手中に權限があることを示すためのものである」

【目　次】

三國會談後他國と協議か……一八
米ソ友好關係を阻むバルカン問題……〃
山下大將公判續開……〃
【戰後處理】
皇室財産を賠償に充當……一九
日本統治方式を民政形態へ……〃
ソ聯も近く參加……〃
英ソ中國軍も進駐か……〃
日本艦艇を四國で分割……〃
【西　亞】
アラブ聯盟秘密會議……〃
【歐　洲】
獨在外資産を接收……二〇
占領と軍政を區別……〃
マルクス、辯護を拒否……〃
聯合國空軍の對獨爆擊成果……〃
ア元帥、第三次月報發表……〃
デンマーク內閣總辭職……二一
波農民黨領袖死去……〃
【米　洲】
マーシヤル、軍事力の强化を主張……〃
戰後海軍力提案上院へ……〃
ソ聯のモンロー主義を承認……二二
罷業禁止の新法案……〃
原子爆彈九人委員會成立か……〃
アーノルド、訪墨……〃
伯選擧は豫定通り實施……〃
【今日の話題】
艦隊處理問題等を闡明……二三
アルゼンチンの三頭政治……〃
歐洲戰を決定せる空軍……二四

國際憲章早くも時代遲れ

(デス・モインズ三十一日)上院領袖外交委員アルベン・W・バークレーは三十一日アイオワ銀行協會總會席上において次の通り言明した

原子爆彈並びに原子エネルギーの出現は國際憲章を時代遲れならしめた、今や世界諸國民が戰爭防止と平和維持のために團結することはいよいよ重大である、また憲章はすべての國をしてその大小に關りなく權利を享受せしめるものでなければならない

三國會談後他國と協議か

（ワシントン三十一日）トルーマン大統領は三十一日の新聞記者團會見において

英國首相アトレー及びカナダ首相マツケンジー＝キングとの來るべき會談はその後に開催される聯合國大國頭首會談の前觸れをなすものかとの質問を受け次の通り答へた

この質問に直接の返答を與へることは出來ないが、原子爆彈の國際管理政策に關し米英加三國の間に意見の一致を見れば、次には他國政府と討議する段取りにならう、また英國下院における報告の問題だが、原子爆彈について故ルーズヴエルト大統領とチヤーチル前首相との間に祕密協定が結ばれてゐたといふ話は眞實だとは思はない、米英加三國は原子爆彈發明において同等の役割を果し、その製作方法についても同樣の知識を有する

米ソ友好關係を阻むバルカン問題

（ワシントン一日）ロンドンにおける五ケ國外相理事會の第一回會議では、米ソ兩國間にバルカン問題について意見の對立が生じ、日本占領問題でも微妙な喰ひ違ひがみられるが、AP報道によれば米ソ協力關係の重大障碍となつてゐるのは、中歐及び東歐における親ソ政權を繞る諸問題に關する兩國間の意見の喰ひ違ひに歸結するとみられてゐる、トルーマン大統領の親書に對するスターリン議長の回答は種々の理由から明かにされてゐないが、主として以上の問題が取扱はれてゐると傳へられ、「民主々義的手續」とか「自由な拘束のない選擧」といふ用語にしても、米ソ兩國が全く別樣に理解してゐる點に眼目があり、從つて民主主義そのものについても米ソ兩國間に異つた理解の仕方がある點に米ソ兩國間の根本問題が伏在するものと解される、AP電報は米ソ兩國間の意見對立を拂拭するためには、ソ聯に對しては友好的であり、しかも米國の承認出來るやうな政府を樹立することだと述べてゐるが、この問題が解決不能といふ性質のものでないから、米ソ兩國間に完全な諒解が成りたつのも遠い將來ではないとみられてゐる

山下大將公判續開

（マニラ三十一日）山下奉文大將に關する戰爭犯罪裁判第三次公判は三十一日行はれ、各方面の證人について審問が行はれた、先づマニラの葬儀執行人マリアノ・デル・ロサリオは拷問、婦人に對する暴行、虐殺等一九四五年二、三月における日本人の暴虐により斃れた者八千人を埋葬した事實を證言、續いて他の證人が同年二月國立精神病院で日本兵が僧侶一名と二十一名の患者を虐殺し、同病院の女醫を暴行の上殺害した旨を證言した、同病院の事務員ルシオ・マリアノの證言によれば日本將校の一團は病院の建物に不法侵入、發砲し入院患者全部の退去を命じたが、その際一婦人患者が倒れたところ將校はこれを蹴りとばし他の患者は「柔道」の稽古臺に使はれ、蹴られた上巴投げの結果、頭部を床に打ちつけられた、醫官トリビオ・ホソンの談では多くの患者は病院背後の斷崖から崖下に投込まれ、その死體は燒却された、アンナ・デ・エズスその他數名の男女は聖ポール加特力大學の破壞、その節行はれた數百名の殺害事件について證言したが、一證人は日本兵が飢えた比島人の群を食堂に追込み、菓子をばらまいて比島人が爭つてこれを拾はうとした時、手榴彈を投げ込んで多數の人間を殺傷し、逃出さうとしたものは入口で待構へてゐた日本兵によつて機關銃で掃射され又は銃劍で刺殺された旨を證言した

三十一日の公判の壓卷はロザリオ・ユーロ孃の證言で同人は二月七日自宅にゐた時日本兵が約一百名の比島人男子婦女子を射殺又は燒殺したのを目擊したが、その際同人の夫及び二名の子供も犧牲者の中にゐた旨を述べた、公判開始以來初めて三十一日法廷は公判の一部の傍聽を禁止したが、右は日本兵の暴行を受けた多數の比島人少女が證言を行ふことになつたためである

昭和二十年十一月五日(月)
第五號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【戰後處理】

皇室財産を賠償に充當

(ワシントン三十一日)聯合國賠償委員會米國代表エドウイン・ポーレイは日本が聯合國に對し支拂ふべき賠償金の額及び支拂方法を調査する任務を帶びて近く日本を訪問するが、三十一日トルーマン大統領と協議した後記者團と會見、日本が支拂ふべき賠償金の內には一億六百萬弗以上と推定される皇室の私有財産の大部分も包含されるであらうと言明、次の通り述べた

皇室の私有財産は賠償金支拂に充當すべき日本の資産の一部をなすものであり、賠償問題に關しては天皇と政府との間に何等の區別をつける譯にはいかぬ、余は日本における任務が終了して歸米すれば直に極東諮問委員會に諮り聯合各國の受領すべき賠償額の決定を行ふ積りである

一方H・D・マクスウエルを團長とする賠償委員會米國代表團の一部は三十一日、日本へ向け出發する

日本統治方式を民政形態へ

(ワシントン三十一日)トルーマン大統領は三十一日の記者團會見において米國政府は日本の統治方式を出來るだけ早く現在の軍政形態から民政形態に切り換へたい意向であると言明した

ソ聯近く參加か

(ワシントン三十一日)日本占領政策に關する極東諮問委員會はソ聯の參加を俟たずに設置されたが、トルーマン大統領は三十一日の記者團會見において次の樂觀的見解を表明した

モスクワ駐劄米國大使ハリマンがクリミヤで休暇を送るスターリン議長に余の親書を手交したところ、余はスターリン議長から極めて滿足すべき回答を受け取つた、余はソ聯が間もなく極東諮問委員會に參加するものと期待する、但しいろんな理由でスターリン議長の回答をいま發表するわけにはゆかない

英、ソ、中國軍も進駐か

(ワシントン三十一日)情報によれば、英ソ及び中國の各軍隊も日本の進駐に參加することとなりここ數週間米國當局を中心に關係一同に打合が進められてゐる模樣であるが、聯合軍總司令マツカーサー元帥とも聯絡し、同元帥の見解も考慮に入れられてゐると解される、大體各國軍隊は夫々別の區域に進駐することとなる模樣で、特にソ聯軍は日本々土に屬する獨立島嶼を占據することとなるやうである、最も緊急解決を要する重要問題は聯合國の共同管理機構につき妥結に到達することで、米、英、華の三國は、ソ聯との諒解に近づいたといはれるが、未だ最終的決定段階には至つてゐない、然し結局東京に四國管理々事會を設け、各國理事の意見が一致しなかつた場合にはマツカーサー元帥に決定權を與へることになるのではないかと見られる

日本艦船を四國で分割

(ワシントン三十一日)バーンズ國務長官は三十一日次の通り言明した

米英ソ及び中國は日本の小型殘存艦艇を均等に分割することになつた、この種殘存艦艇は驅逐艦三十八隻に明白ではないが哨戒用小艦艇八、九百噸が加へられてゐる、更に日本艦艇のうちには自沈させる必要のあるものもあり、このうちには戰艦一、空母四(うち三隻は破損)巡洋艦四(うち破損三)潛水艦五一で、米國海軍は大型艦艇は自沈とし、小型艦艇は潛水艦の外は四國間で分割するやう提案したが、他の三國も之に贊成した

【西亞】

アラブ聯盟秘密會議

(カイロ三十一日)アラブ聯盟はパレスチナ問題を檢討するため三十一日祕密會議を開催した、アラブ聯盟は猶太人のパレスチナ入國に全面的反對の意を表してゐる

獨在外資産を接收

（ベルリン三十一日）聯合國ドイツ管理々事會は過般中立國にあるナチ・ドイツの在外資産を接收することに決定、スエーデン、スイス、スペイン、アルゼンチンの四國に對してドイツ資産の目錄作製方を依賴してゐたが、理事會は三十一日以上の資産を接收する法令に正式に調印を了した、以上の措置は中立國に對して管理々事會をドイツの合法的政府として承認することを要求する效果を持つものだが、以上四中立國にあるドイツ資産の總額は十億弗と評價されてゐる

占領と軍政を區別

（ワシントン三十一日）トルーマン大統領は三十一日の記者團會見においてドイツの統治方式について次の通り言明した

ドイツ占領地域の米軍々政長官アイゼンハワー元帥は余に書簡を寄せて、英國、ソ聯、フランスの三國と協定を締結して、ドイツの政府を軍政から民間の手に引き移すやう提案してきたが余は全く贊成であり、明年六月一日までには以上の切換へをも斷行したい、余もアイゼンハワー元帥も軍事占領と軍政を別個のものとして考へることに意見の一致をみてゐる、從つてドイツにおける軍政を撤廢しても、軍事占領は必要な限り繼續すべきだ、陸軍省も國務省も各國占領軍政府を軍人の手から民間行政官の手に引き渡すべきであるといふ見解を持してゐる

マルクス、辯護を拒否

（ニユールンベルグ三十一日）ニユールンベルグのドイツ檢事ハンス・マルクスは、來る十一月二十日、ニユールンベルグで開廷のドイツ戰爭犯罪人審理に關する國際戰爭犯罪裁判所において、ユダヤ人虐待犯人ユリウス・ストライヒヤーの辯護人となるやう命令されたが、ストライヒヤーが一九三六年、祕密結社に關係があつたとの廉でマルクスを投獄した事實を指摘して、スイトライヒヤーの辯護人となることを拒否した

被告ストライヒヤーは、ドイツ反ユダヤ新聞として有名だつた「突擊者」（Stürmer）紙の主宰者でニユールンベルグにおけるナチ黨支部長であつた

聯合國空軍の對獨爆擊成果

（ワシントン三十日發）米國政府は三十日「米國戰略爆擊調査」結果なるものを公表、大戰中のドイツ各地爆擊の數字的成果を發表したが、主なる數字は左の通りである

△聯合軍空爆によるドイツ一般市民の死傷
一、〇八〇、〇〇〇人
△全壞又は大破した住宅三、六〇〇、〇〇〇戸
△住居を失つた市民　七、五〇〇、〇〇〇人
△米英空軍により使用された爆彈數
二、七〇〇、〇〇〇個
△米空軍損害
七九、二六五名
△英空軍損害
七九、二八一名
△西部戰線最大使用機數
二八、〇〇〇機

尙米國政府は同樣調査を日本々土爆擊についても進めてゐるが、日本においては燒夷彈一噸破壞力は爆彈一噸の四乃至五倍に達した點を指摘してゐる

ア元帥、第三次月報發表

（フランクフルト三十一日）ドイツ進駐米國軍政長官は、三十一日、進駐業績に關する第三次月報（九月分）を發表した、要旨次の通りである

ドイツにおける重要問題の處理はとかく遲延してゐるが、これはあらゆる重要措置について四國間に全的一致を必要とする建前だからである米國の政策も四國管理々事會及び聯絡委員會で他の三國が一致した決定に適合するか否かを承認することであつた、ポツダム協定ではドイツを一の經濟的單位として取扱ふ必要上、ドイツの中央行政機構を確立することになつてゐるがフランスが依然應諾に難色を示してゐることは遺憾である

昭和二十年十一月五日(月)
第五號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

デンマーク内閣總辭職

(コペンハーゲン三十一日)デンマークは三十日總選擧を實施したが、從來下院において過半數を占めてきた社會民主黨は議席總數百四十八のうち六十六議席から四十七議席に轉落した、以上に鑑み社會民主黨主ウイルヘルム・ブールを首相とし社會民主黨員閣僚が多數を占めてゐる聯立内閣は三十一日夜總辭職を行ひ、ブールは次の聲明を發表した

社會民主黨は三十日の總選擧において敗北したため、新内閣の組織をこの際斷念する、恐らく新内閣は前内閣の社會主義化政策に反對した諸政黨によつて組織されることとならう

三十一日の總選擧の結果は判明しないが、自由黨か保守黨の進出が當然豫想される、但し社會民主黨以外の政黨で壓倒的多數を占めたものはないといはれるから、デンマーク政界の今後の動きは注目に價する

波農民黨領袖死亡

(ロンドン三十一日)BBC放送によれば、ポーランド國民會議副議長ヴインチエンチ・ヴイトスは三十一日クラカウにおいて死亡したといはれる死因は判然としない、ヴイトスは現ポーランド副首相ミコライチクとともに農民黨の指導者であつたが、ミコライチクがロンドンに亡命したのに對して、ヴイトスはドイツ軍のポーランド占領中本國に踏み留まり、反ナチ地下工作を指導してゐた

【米　洲】

マーシヤル、軍事力の强化を主張

(ニューヨーク三十日)陸軍參謀總長ジョージ・マーシヤル元帥は二十九日夜から開催された「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙主宰の討論界において米國の復員狀況を批判し「米國軍の解體を意味するばかりでなく、國際責任觀念の崩壞を意味する」と痛論し、米國の安全のみならず國際聯合の將來を保障するため戰後軍事政策を即時確立する必要を强調した、演說要旨次の通り

「將來出來るだけ早くなんらかの恒常的な平時計畫を樹立しない限り、現在の復員率では現存軍事制度が米國の安全を永久に確保することが不可能なのは明瞭である、もしもわれわれが國際聯合を育成して、將來穩健な世界秩序を確立しようといふ意圖ならば、米國の戰後軍事政策のすくなくとも根本原則を決定するために、即刻確乎たる措置を講じなければならない、僅か數ケ月前までは世界は米國の威力と勇氣を固く信じてゐた、今日世界の民衆は米國が馴染の平和時の習慣に逆戻りをしてゐる事實を看取してゐる、米國は第一次大戰終了後に軍事費をすたすたに削減したが、當時米國の經濟はかかる軍事費の支出を賄ふことが出來ぬといふ議論が出たし、かうした議論は間もなく再燃するものと豫想される、米國の經濟が三千億弗以上の負債を負つた結果敗戰かあるひは勝利にすら堪へることが出來ないのに對して、國家の安全を保障するための經費を賄ふことが出來ると考へるならば、これに過ぎる謬見はない、フランスが崩壞した年に、米國は煙草および酒類の生產に五十五億弗を費したが、以上は米國が世界史上最も危い瀨戸際に米國の安全のために費した金額の約三倍に相當する、既に一九三七年にも米國の國防費が煙草錢程度になつたため、我々は樞軸のギヤング共が戰爭準備に骨を折る必要が全然ないのではないかとさへ考へたほどだ、もしも米國が國防に十分な注意を拂つたならば、樞軸諸國は戰爭を始めはしなかつたであらうと確信する、米國が强力な武力を維持し、この威力を世界秩序を促進するために使用するならば、原子爆彈は未曾有の威力を發揮し得ることとならう」

戰後海軍力提案上院へ

(ワシントン三十日)下院は三十一日海軍は平時主力艦一〇八二隻を含む戰鬪艦並びに補助艦艇六〇八四隻を所有すべしとの提案を可決、上院に廻附した、現實の艦隊は戰鬪用艦艇二九七隻、補助艦艇一六七二隻をもつて構成されよう、下院も上院も戰後艦隊勢力を決定する法的强制力をもつてゐるわけではないが、國會は國家安全保障に十分な最低海軍力に關する海軍及び議會の最善の意見を代表するものとみられてゐる

ソ聯のモンロー主義を承認

（ニューヨーク三十一日）バーンズ國務長官は三十一日「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙の討論會第三日目において米ソ友好關係を強化する必要を強調して次の通り述べた

現下の如き原子時代には世界はわれわれにとつて一つでなければならない、もしも一つでないならば全然ない方がましだ、從つて現在われわれの眼につく地域的機構は國際聯合の機構に完全に融合すべきである、米國は東歐および中歐諸國におけるソ聯の安全保障上の特殊利害を認め、ソ聯に對する隱謀に參加しないが、ソ聯も亦米國から手を引くべきである、米國は東歐および中歐においてソ聯を指導者とする一種のモンロー主義的方式を認めるに吝かでないが、如何なる國に對してもソヴエト體制を强制的に押し付けることには斷乎反對する

罷業禁止の新法案

（ワシントン三十一日）下院軍事委員會は三十一日、スミス＝コナリー法の罷業表決並びに工場占領の規定を廢止する新法案を承認した、同法案は勞働組合の政治活動に對する法律上の拘束を一層嚴重にし、契約に違反する罷業に關し勞働組合に對する處罰を規定してゐる、卽ち雇傭主との協定に背き罷業に入つた組合はすべて向ふ一年間團體交涉權を喪失し、市民の損害に對しては組合が責任を有す、一方雇傭主は契約により組合に對して有する自己の責務を免れるといふのである

原子爆彈九人委員會成立か

（ワシントン三十一日）下院軍事委員會は三十一日、米國における原子エネルギー研究の管理に當る九人委員會の設置を要求する政府支持のメイ＝ジョンソン法案を可決した、委員會は上院同意の下に大統領によつて任命される筈である、同法が成立すれば科學者は國家的危險を賭す程の規模に非るかぎり自由に實驗を行ふことが出來る、同法案が下院本會議にかけられるのは來週になるが、一方陸海軍、國務、商務各省の專門家は上院軍事委員會專門委員會への共同報告において、現在原子爆彈が空軍力に代るものでなく寧ろ空軍力を補ふものと考へられてゐる實狀に鑑み、米國における國防の基礎を强力なる空軍に求むべしとしてゐる、更に同報告は米國が戰時航空機生產力の少くとも四分の一を保持し、年產三千乃至五千七百の軍用機を製作すべきことを提案してゐる

× × ×

しかしながら右の報告は決して原子爆彈の威力を輕視してゐるわけではなく、現に九人委員會法案がそれを實證してゐるが、科學界の趨勢はこの傾向に絕對反對で、三十一日には百五十名の原子爆彈專門家が管理案に對する反對決議を行ひ、國際管理を要求してゐるくらゐだ、去る二十九日には下院軍事委員會で管理法修正案が承認され、原子科學分野における「將來の」祕密を發表する自由を認めようとしてゐるが、問題は同法案が過去における最も基本的な祕密の發表を儼として拒否してゐる點に殘されてゐる

アーノルド、訪墨

（メキシコ・シテイ三十日）陸軍航空本部長ヘンリー・アーノルド元帥は二十九日午後メキシコ・シテイに到着、メキシコ駐劄米國大使ジョージ・メツサースミスと協議を行つたが、三十日にはカマチョ大統領に謁見、米國最高の勳章を捧呈する豫定である

伯選擧は豫定通り實施

（リオ・デ・ジヤネイロ三十一日）ブラジルにおける政變は三十日前大統領ゼトリオ・ヴアルガスの後任として、主席判事ホセ・リニヤレス（既報リパレス將軍は誤り）の襲任により一段落を告げ目下のところ事態は落ちつきを見せてゐる、リニヤレス大統領はヴアルガス政權時代の閣員は一名をとどめ、他は全部罷免した、かくてリニヤスレ新政權は十五年の永きに及ぶヴアルガス政權に代つて新發足するが、來る十二月二日の選擧は豫定通り行はれる筈である

時事通信　海外電報　第三種郵便物認可

【今日の話題】

艦隊處理問題等を闡明

＝米國々務長官新聞記者團會見＝

米國々務長官ジエームズ・バーンズは三十一日の新聞記者團會見において、米國當面の諸國策に關し要旨次の通り言明した

一、日本艦隊の主力艦は米國海軍の手により破壞される筈である、敵艦艇の殘餘（驅逐艦及び小艦艇三十八隻）は中國、ソヴエト聯邦、英國、米國の四ケ國において等分される、軍の實際の處理に關する計畫は知らないが戰艦一隻、航空母艦四隻、巡洋艦三隻並びに潛水艦五十一隻を含む日本の主力艦が、破壞計畫にのせられてゐるものと考へてゐる、日本の商船の處理については日米兩國軍兵士の日本向け輸送が必要であるところから、いまだに何らの協定も結ばれてゐない

一、ドイツ艦艇の處理はポツダムにおいて檢討されたがいまだ全然計畫は出來てゐない、イタリア艦隊の問題も、イタリアとの最後的平和條約によつて決定をみよう

一、北支における米國海兵隊の狀態について何の報告にも接してゐない、北支にある日本軍隊の全部が降伏したわけではないが、その完全降伏と復員を實現することは米國の責務の一部だといへよう

一、極東諮問委員會の問題だが余もソヴエト聯邦の參加を望むことは、トルーマン大統領と變らない、但しもしソヴエト聯邦の代表が十一月六日の次回會議までに任命されないならば委員會はそれにかかはりなく仕事を續行することが期待されてゐる

一、最近發見された日本艦隊の文書により、眞珠灣攻擊に關しては元國務長官コーデル・ハルになんの責任もないことが明かになつた、沈沒せる日本巡洋艦那智艦内から發見され、二十七日海軍長官ジエームズ・フオレスタルから發表された艦隊命令をみてもわかるが、日本海軍は一九四一年十一月五日及び七日に米國時間十二月七日を期してハワイを攻擊すべき特別命令を受けた、陸軍調査委員會が戰爭誘發の原因なりとしたハル國務長官の對日通牒は十一月二十六日に至つて初めて發せられたものなのである

一、一九四三年の對伊休戰條約の諸條項は次週のうちに發表される筈である

一、米英貿易會談は過去十日間に相當な進捗を示し、未決定の問題は四乃至五項目殘されてゐるに過ぎない

一、ロンドン外相理事會は、豫定の諸問題につき殆ど進捗の跡をみせてゐない、余の代理として出席中のジエームズ・ダン國務次官補は駐英米國大使ジョン・ワイナントを米國代表として殘し、ワシントンに歸還することになつてゐる

一、米國はダーダネルス海峽の將來の管理に關しトルコに交涉したが、米國政府は、英國乃至ソヴエト聯邦のトルコに對する提案が如何なるものであるかをいまだ知つてゐない

一、米國政府はバルト諸國に對し今後ソヴエト聯邦と討議する計畫を持つてゐない

一、ドイツのルール工業地帶を國際管理化しようとするフランスの提案は聯合國が對獨平和條約を完成するまで待つべきであらう

一、昨三十日、前大統領ゲチユリオ・ヴアルガスから政權を引繼いだ新ブラジル政府については米國並びに他の米洲諸國の間において現在論議檢討が行はれてゐる

アルゼンチンの三頭政治

アルゼンチンの獨裁大佐ホアン・D・ペロンに對する反感は戰爭終結以來急激に昂りつつあつた「俺の首の欲しい奴は澤山ゐるらしいが、まだ、この首はつながつてゐる」とは大佐の豪語だつた彼の豪語の背景が軍部だつたことは云ふまでもない、然し、その軍部が民衆の聲に押流される日が來てペロン政權の終末が來ることになつた、事件が起つたのは十月八日の夜で、ブエノスアイレス

郊外のカンポ・デ・マヨの陸軍飛行場が「反亂軍」によつて占領されるに至つて事態は急轉直下したペロンの副大統領、陸相、勞働相、厚生相の長い肩書が一夜で消え去つたことが内相J・ホルテンシオ・キハノの名で九日發表された、しかし、反亂軍の首領エヴアルド・アヴアロス將軍もまた、滔々たる民主々義潮流をば滿足させる人物ではなくこれもまたペロンと同類項の軍國主義者であるといふのが左翼の見方である、かくてアルゼンチンの内爭は更に紛糾への路を驀進することになつた

問題は國家主義と民主々義との紛爭であると共に軍内部における大佐派と少壯派の抗爭である處に複雜性がある、卽ち「大佐派」が一九四三年六月の革命以來政治に深入りをして、軍本來の使命を離脫しつつあるといふのが少壯派の主張でありペロンの政敵アヴアロスは、この少壯派に便乘したにすぎない、軍の分裂はペロン辭職と共に表面化し、フアレル大統領政權はその支柱を失つてしまつた結果、遂に十月十二日總辭職するに至つた

陸軍の一部は海軍と協力して、政權を一時、大審院に渡し明年四月七日に豫定されてゐる總選擧を行はしめようと主張したが、アヴアロス一派はフアレルの留任を主張しつづけ、十三日に至つて遂にアヴアロスと海相ヘクトル・ヴエルネンゴ・リマの妥協が出來て、フアレルと共に三頭政治が成立した、同時にフアレル反對派の陸軍首腦の一齊逮捕を斷行した、かくてアルゼンチンの政情は一時安定するに至つたが、ペロンに反對した分子は新政權を、要するにペロン獨裁のカムフラージユにすぎないと考へてをり、問題はなほ今後に殘されてゐる

歐洲戰を決定せる空軍力

（ワシントン三十一日ANS）陸軍省三十日の發表によれば、或る民間人委員會は、歐洲戰における決定的要素は空軍力であつたが、方面によつてはもつと違つた或はもつとよい活用法があつたかも知れないといふ結論に達したといはれる、この結論の基礎として同委員會は次の諸理由をあげてゐる

一、聯合軍の勝利は空中戰において完璧であつた

二、海上においても空軍力は海軍と協力してUボートの脅威を除き去つた

三、陸上においては屢到的に態勢をくつがへして聯合國地上軍を有利に導くに當つて力があつた

四、歐洲侵攻の成功を可能ならしめた

五、ドイツ武裝兵力を維持してゐた經濟力を事實上の崩壞に導いた、勿論この崩壞の影響が完全に現はれたのは敵軍の前線が聯合軍によつて席卷された時になつての事である

この空軍の勝利は米國に航空要員七九、二六五名、航空機一八、〇〇〇機の犧牲を要求した、それに對し英國の損失は人員七九、二八一名、航空機二二、〇〇〇に達してゐる、ドイツ軍は聯合國空軍の爲に約三十萬人を失つてゐる

獨逸の主要都市においては住宅總計三百六十萬戸が破壞され爆擊の被害を修復するには五百萬人のドイツ人が使用されなければならなかつた、ところで報告書はかう述べてゐる

「後になつて調査したところによると、空軍力は決定的であつたにも拘らずある方面においてはもつと違つた、またはもつと良い活用方があつたかも知れないといふことがわかる

前陸軍長官ヘンリー・スチムソンは故ルーズヴエルト大統領の發議に基き、對獨空襲の效果に對し公正無私な研究を行ふ鑑定者を任命した、その結論によれば、ドイツは一九四四年の初期において空中戰を失ふことによつて戰爭を失つた以後は聯合國軍の空中總攻擊に對しその資源はことごとく曝露されてゐたのである

爆彈は、爆擊機延百四十四萬機、戰鬪機延二百六十八萬機の出擊において二百七十萬噸に垂んとする量が投下された、戰鬪用機の使用されたものは絕頂時二萬八千機に達し、戰鬪部隊においては最高三十萬人が動かされた

工業爆擊は地域爆擊卽ち都市爆擊よりも效果的であつたが明かにされた、都市爆擊は一九四三年八月初旬における英空軍のハンブルグ爆擊がドイツに對して最も大きな衝擊を與へた、この時は六萬人以上の死者を出し、全市家屋の約三分の一が破壞されたのである」

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　桂田增三　東京都麹町區日比谷公園二番　時事通信社

昭和二十年十一月六日(火)　第四號

時事通信　海外電報

(4)

世界の焦点

パレスチナを繞るアラブ、ユダヤ兩民族の紛爭は最近急速に激化の兆を示し去る一日にはパレスチナ全土に亘るユダヤ人團體のテロ行動勃發を契機として西亞のアラブ諸國はシオニスト運動に對する反對の態度を明確にし、まづエヂプトにおいてアラブ人のユダヤ人襲撃事件が發生、各地各國に波及する形勢を示してゐる

パレスチナ紛爭の原因はいふまでもなくユダヤ人入植を許すか許さぬかにあるのだが、米英兩國政府が大體においてパレスチナを折半し、ユダヤ人とアラブ人との居住地域を明確に劃定し、エルサレムを一種の中立地帶とする案に傾いてゐるのに對して、アラブ諸國はパレスチナからのユダヤ人の掃蕩を主張し、トランスヨルダン國王エミール・アブドウラ・アマンは四日立法會議において「全アラブ民族はパレスチナの聖地を保護するためシオニストの侵略を斷乎阻止しなければならぬ」と極言し、カイロのアラブ聯盟會議は二日以來秘密會議を開いてユダヤ人排撃の對策を考究中と傳へられる

他方世界各地のシオニスト運動もパレスチナの確保を目指して猛烈な宣傳工作を展開、情勢は刻々に緊迫の度を加へてをり、英國政府は不慮の事態を顧慮してハイファに巡洋艦一隻、驅逐艦四隻を急派してゐる實狀だ、パレスチナの紛爭は先づ第一に宗教の對立を根源とする民族の對立として現はれてゐるが、事態はしかく簡單でない、現在パレスチナに居住するユダヤ人とアラブ人との色分けは極めて明確となつてをりユダヤ人が概して金融界と商業界の主導權を握り徐ろに政治上の實權を掌中に收めつつあるのに對し、アラブ人は小商人及び農民層を構成しユダヤ人に對して常に頭の上らぬ實狀にある、この變形された一種の階級對立に加ふるにアラブ諸國においても企業心に富むユダヤ人によつて土着資本は着々蠶食されてゐるため、これ以上ユダヤ人が西亞において勢力を占めることは、アラブ人資本家のみならず一般民衆にとつても堪へ難いといふのが紛爭の解き難い因子と解すべきであらうか

【目次】

【日　洲】
日本戰爭犯罪人米首席檢事決る……二六
駐瑞日本公使館を閉鎖……〃
米紙、ソ聯の協力を要望……〃
モントルー協約の修正を提案か……〃
近海の石油資源を保有……二七
陸軍二百萬を復員……〃
十六州に知事を任命……〃
勞働黨、市會選擧でも勝利……〃
【歐　洲】
希、アルバニア國境で衝突……二八
希新內閣成立……〃
白國王と總統との會見記錄を公表……〃
獨銀行家は全て戰爭犯罪人……〃
獨國有財產、黨資產を沒收……〃
ソ聯檢閱制度を維持……〃
報道制限國をアンカラから閉出し……〃
【戰後處理】
ポーレーを大統領個人代表に……二九
【西　亞】
パレスチナ情勢緊迫……〃
【米　國】
減稅法案下院を通過……〃
政府改組問題紛糾……三〇
【原子爆彈】
ア博士、世界政府を提唱……〃
英國でも原子研究……〃
【特　輯】
軍票の法理論（七）……三一
【資　料】
賃銀と物價問題……三三

パレスチナ高等辨務官辭任

（ロンドン二日）パレスチナ英高等辨務官ゴート卿は健康を理由に辭表を提出中であつたが二日、英國政府は下院においてゴート卿の辭任を聽許した旨を正式に發表した、植民相ジョージ・ホールの言明によれば後任決定まで高等辨務官の事務は書記官長J・P・ショウが管掌する筈である

日本戰爭犯罪人米首席檢事決る

（ワシントン四日）日本戰爭犯罪の審理に關して一部の消息によれば、元檢事次長ジョゼフ・W・キーナンは米國首席檢事として、案件の處理に當ることとなる模樣である、正式決定の上は軍司令部管下にある案件はキーナンの處理に移ることとならう

駐瑞日本公使館を閉鎖

（ストツクホルム二日）ストツクホルム駐劄米英ソ華四國公使館の代表團は、日本の在外公館の一切を閉鎖すべしとするマツカーサー元帥の指令の線に沿ひ、二日ストツクホルムの日本公使館を閉鎖した、AP報道によれば、日本公使館からは既に一切の書類および文書が運び出されてゐたといはれる

米紙、ソ聯の協力を要望

（ニューヨーク一日）「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙」は一日付社說で極東諮問委員會會合には是非ともソ聯の參加を求めねばならぬと力說大要次の通り述べてゐる

「極東諮問委員會の會合は一週間の休會をみるに至つたが、この一週間の間に米國としてはソ聯に對し必要な讓歩を行ひソ聯が諮問委員會の今後の會合に出席し得るやうに努力することが希ましい、ソ聯の參加を見ざる諮問委員會が無意味なことは東歐においてソ聯が單獨行動を採らうとすることが無意味なのと同然である、極東政策の樹立につきソ聯の協力を必要とすることは同國の勢力及び利害關係からしても當然である、ソ聯はアジア大陸で最大の軍隊を支配してゐる、若し聯合國の政策がソ聯にとり不滿足なものであつた場合にはソ聯は唯默つて待つてゐればよいのだ、ソ聯はたとへ自己の日本及び中國に於る權益が米國が同地域に有する權益と同程度又はそれ以上の重要性を有してゐやうとも唯時機を待つてゐればよいのだ、何となれば米國軍がアジアからゐなくなる時が來た場合そこに殘るのはソ聯軍隊であり、その大軍の存在は如何なる國際紛爭においても大いにものを云ふ筈だからである、ソ聯の協力を求めるに當つては、アジアは東歐よりも米國にとり遙かに重大な關係を有すると云ふことを留意しなければならぬ

その半面の理由としては米ソ兩國の根本的政策は世界の他の地域においてよりもアジアにおいて最も衝突する可能性があるからである、もし兩國がアジアに關し了解點に到達し得るならば兩國は如何なる問題についてもそれが兩國間に戰爭を惹起せしめはせぬか等との懸念を持つ必要はないのである、歐洲においてはソ聯の非妥協的態度が大きな障害をなしてゐる樣に見えるが、アジアにおいては非妥協的態度は米國側に見られるのではなからうか、ソ聯から見れば、米國が日本問題につき最終的決定權を獲得し、蔣介石の權力を中國各省の隅々まで擴大せんとしてゐることは何でも思ひ通りにやらねば氣が濟まぬといふ非妥協主義に見える、アジアにおいても歐洲においても米ソ間に必要な協力關係は存在しない、この際この双方の缺點を同時に除去することが兩國の利益となると思はれる」

モントルー協約の修正を提案か

（ロンドン四日）過般ロンドンにおける外相理事會では、米國代表ジエームズ・バーンズが歐洲における水路の國際化等を提案、討議に入らずに終つたが「サンデー・タイムズ」紙は四日付の紙上で次の通り報道してゐる

米國政府が今回モントルー協約の修正を提案したのは、歐洲の水路國際化案の方針に出てゐると解される、ソヴエト政府が去る三月トルコ政府との友好條約を破棄して以來、ソ土兩國の關係は緊張を呈してゐるが、今回の提案で兩國關係の困難は克服されるかも知れない、當時ソヴエト政府は

一、ダーダネルス海峽の地步修正

二、國境の修正によりトルコ政府がカラ並びにアルダハン兩地方をソヴエト聯邦に割讓すること

三、トルコ國内における自由主義政權の確立

を要求、第二項についてはトルコ大統領が絶對讓歩しないと突つぱねて現在に及んでゐる

時事通信

海外電報

第三種郵便物認可

近海の石油資源を保有

(ワシントン四日)トルーマン大統領は「合衆國領土の近海における地下石油資源」を米國政府が支配する旨言明したが、内相ハロルド・イツキーネは四日次の通り語つた

「合衆國並びはアラスカ地方近海の資源は將來必ずや米國の國内における偉大な石油資源とならう米國が國家としての偉大なゆゑんはその工業上における潜在力に負ふところが少くない、この資源があつたればこそ、米國は史上空前の凄慘な戰に勝つことが出來た、すべての經濟條件が指摘する通り、國家の工業力は主として石炭と鐵と石油との供給に依存してゐる、幸ひ自然は米國に尨大な石炭と鐵鑛とを惠んでくれた、今度の戰爭で米國の鑛物資源は少からず消耗し或る種の石炭は不足を告げてゐるが、大體において石炭の供給には支障がない、また現在の使用量が續けば米國内に最も優秀な鐵山もあまり長續きしないかも知れぬが依然多量の鐵鑛を供給出來る、しかし米國の工業上における偉大さと世界國家としての地歩の基盤に最も大事な三要素のうち、米國が一番不足してゐるのは石油であらう、勿論今後も國内で油田が次々に發見されるだらうが、唯今まで發見されてゐる石油の貯藏量は戰時米國の石油産額の約十四倍に過ぎない、全世界には今後多年に亘り米國の正常な石油所要量に應ずる廣大な油田地域が殘されてをり、米國は此ら外國の資源を活用する方針である、しかし米國の國家的利益から見れば、國内手近な所に將來一旦緩急ある場合、國家の所要に應ずるに足る石油の資源を保持しておかねばならない、近海の地下油田によつて米國が石油の戰略豫備を充實出來ると余は確信する」

陸軍二百萬を復員

(ワシントン二日)パターソン陸軍長官は一日カリフオルニア州選出上院議員ウイリアム・ノーランドに宛てた書簡で陸軍の復員狀況を報告、次の通り述べてゐる

陸軍は十月二十二日までに將兵二百五萬三千六百九十六名を復員させた、VEデーからVJデー以後は百五十九萬六千六十三名である

また歐洲からの歸還兵數は百七十四萬三千、太平洋からは二十萬八千に達する、また現在軍隊輸送船その他軍艦五百十二隻が再展開作業に從事し、輸送機は一ケ月に四百六十五回大西洋を横斷、一機につき九千の兵員を運んでゐる、太平洋では一ケ月七百二十回横斷し、一機當り一萬三千五百名を運んでゐる

十六州に知事を任命

(リオデジヤネイロ四日)ブラジル新大統領ホセ・リニアレスは四日國内十六州の新知事を任命した但しミナス・ヘライス州知事に任命されて物議を醸した前藏相オヴイデイオ・アブルーは知事の任命から除外されてをり、その他の知事の名前もまだ發表されるに至らない

科學者代表を顧問に

(ワシントン三十一日)新設された上院原子エネルギー委員會議長上院議員ブライアン・マクメーホンは三十一日二十五名の著名科學人が科學界の指導者を同委員會科學顧問として指名した旨發表した

勞働黨市會選擧でも勝利

(ロンドン二日)英國の市會議員選擧は一日全國一齊に行はれたが、主な百三十選擧區中百十三區における開票の結果、勞働黨が壓倒的勝利を占めて六百八十八議席を占めたことが二日明かとなつた、一方保守黨は前回よりも三百十八議席を失ひ自由黨及び無所屬候補者も枕をならべて討死、結局主要市の市會のすべてにおいて勞働黨が多數を占めることは確實視されるに至つた、今回の市會選擧における勞働黨の勝利は過般の總選擧における壓倒的勝利を裏付けるものである

【歐　洲】

希、アルバニア國境で衝突

（チューリツヒ四日）アテネ情報によれば、ギリシヤ、アルバニア國境に沿つて各地點で衝突事件が突發し、國境守備隊は增援部隊の派遣を急請してゐると傳へられる、AP報道によれば衝突事件の詳細はまだ判明しないが、ギリシヤ正規軍部隊とアルバニアの民兵部隊との間に熾烈な戰鬪が續けられてゐる模樣だ、ギリシヤ、アルバニア兩國は歐洲戰終了以來相互に領土要求を掲げ、ギリシヤはアルバニア領エピルスを要求するに對して、アルバニアはギリシヤ領エピルスの一部に對する主權を主張、睨み合を續けてきたものである

希新內閣成立

（アテネ一日）新たに成立したギリシヤのパナオイチス・カネロプロス內閣は一日宣誓式を終へて正式に成立した、カネロプロス新首相は國民黨の黨首で一九四二年まで副首相の地位にあつたがその後國外に亡命し、一九四五年四月再びギリシヤにかへり右翼の指導者として活躍してゐた

白國王と總統との會見記錄を公表

（ブリユツセル二日）ベルギー首相フアン・アツケルは一九四〇年十一月十九日國王レオポルド三世がベルヒテスガーデンの山莊においてヒトラーと會見した經緯に關する報告を二日公表し、ベルギーがドイツによつて征服された後にレオポルド三世がヒトラーと極めて親密な關係にあつた事實を曝露した、これにたいしレオポルド三世は直ちに聲明を發表、會見に上席して速記をとつたポール・シユミツトの記錄は不正確であり、事實と相違する點が多々あると辯明したが、アツケル首相が殊更に以上の會見記錄を發表した狙ひは、これを以て國民にたいする國王の信用を失墜せしめて國王の復歸を不可能としようとするにあると解される

獨銀行家は全て戰爭犯罪人

（フランクフルト二日）ドイツ占領地域の米軍政府カルテル調査部次長R・A・ニクソンはナチ政權下における銀行家の役割について二日次の通り言明した

余はドイツの銀行家を戰爭犯罪人として裁判にかけるやう進言する積りだ、一九三五年ヒトラーがドイツの再軍備に着手したとき、六名のドイツ銀行家が財政的援助を與へ、戰爭中は經濟政治問題についてスパイの役割を果してきた、米軍は既に二十一名の銀行家を逮捕、さらに搜査の手をひろげてゐる

獨國有財產、黨資產を沒收

（ベルリン一日發）ドイツ占領地域のソ聯軍政長官ジューコフ元帥は、ソ聯占領地帶にあるドイツ國有財產、ナチ黨資產および舊黨指導者の財產の一切を沒收するやう一日命令を發した

ソ聯檢閱制度を維持

（モスクワ一日）ソヴエト政府が依然として嚴重な報道檢閱を實施してゐることは米英その他の諸國で國際報道の自由の原則に反するとして問題となつてゐるが、米英記者聯盟が文書をもつて檢閱制度の廢止を要求したのに對し、モロトフ外務人民委員は一日首肯し得る理由を認め難いとして右要求を拒絕した

報道制限國をアンラから閉出し

（ワシントン一日）第二次世界大戰の終結に伴ひ米國では國際報道の自由を要求する聲が大いにたかまつてゐるが、共和黨下院議員團は一日米國新聞報道の自由を制限するやうな國に對してはアンラ資金を供與しない旨の提案を一日下院に提出、あくまでも貫徹を期すこととなつた、この問題に關し提案代表提出者のオハイオ州選出議員ブラウンは共和黨運用委員會の支持を得て、アンラに對する米國の新醵出額五億五千萬弗に以上の附帶事項を附すことを要求する旨言明した、因に下院豫算委員會は既に以上の修正案を拒否してゐる、共和黨の狙ひは東歐および中歐におけるソ聯勢力圈諸國にあると解される

昭和二十年十一月六日(火)
第四號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【戰後處理】

ポーレーを大統領個人代表に

(ワシントン一日)トルーマン大統領は聯合國賠償委員會米國代表エドウイン・ポーレーを日本へ派遣する件について一日次の通り發表した

「エドウイン・ポーレーは余の個人代表として大使の資格で十一月上旬極東に向つて出發する、ポーレー大使の使命は日本の賠償額を決定するにある、日獨兩國をどうするかといふ問題は恒久的平和を樹立する事業の最大の試金石である、ポーレー大使が作製し、ポツダム會議において承認を受けたドイツ賠償案は、ドイツから再び戰爭を開始する手段を剝奪するといふ意味で、ドイツに對する完全な勝利を收めるために與つて大いに力があらう、ポーレー大使が將來作製する日本賠償案は日本の侵略行動を永久に阻止するといふ意味で、基本目標を等しくするものだ、ポーレー大使を首班とする委員團はマツカーサー元帥と緊密に協力して仕事を進め、マツカーサー司令部の工業專門家達によつて既に作製されてゐる調査資料を十分に利用する筈である」

【西　亞】

パレスチナ情勢緊迫

(ロンドン一日)パレスチナ問題を繞るアラブ、ユダヤ兩民族間の對立は日を追つて激化するに至り特に一日にはテロ事件が隨所に勃發して險惡な空氣を醸し出してゐるが、英國樞相ハーバート・モリソンは一日下院においてパレスチナ問題に關して

アトレー首相が來週ワシントンを訪問する前に行はれる下院外交討論にはパレスチナ問題は取り上げられない、政府はいづれ同問題に關して聲明を行ふ筈だが、その後に必要とあれば討論が行はれよう、但しアトレー首相の出發前に聲明が行はれるかどうかは分らない

と言明した、他方ロンドンのアラブ聯盟事務所はテロ事件に關して一日次の聲明を發表した

パレスチナにおける非常事態はアラブ、ユダヤ人兩民族間の對立に直接起因するよりも、寧ろシオニスト運動指導層がユダヤ人にとつて有利に英國政府の干渉をさそひ込むために謀らんだ、とみるべきだ

これに對抗してロンドンの新シオニスト組織はいづれにしても暴力行爲は避けるべきだが、英國の勞働黨政府が總選擧前に行つた公約を實行に移す意圖がない限り避け難いことであると聲明した、シオニストの新團體は過激な國家主義を標榜し、ユダヤ人のパレスチナ支配を提唱してゐるが、新シオニスト運動の政治執行機關であるユダヤ當局は一日夜

パレスチナ問題が今日のごとく激化したことは一の悲劇だ、政府は鬪爭の武器として暴力を行使することは避けたいが、ユダヤ人の運命が懸つてゐる場合には已むを得まい

と述べた

【米　國】

減稅法案下院を通過

(ワシントン一日)現行の稅率を全面的に改訂すると同時に第二次世界大戰出征兵士に特典を賦與することを規定した減稅法案は一日下院において二百三十七票對三十三票の絕對多數をもつて通過上院に廻附された、減稅法案が下院を通過したのは十六年振りのことである、上院では二日表決の豫定だが、同法案は一九四六年一月一日をもつて個人所得稅二十六億四千四百萬弗、法人超過利得稅三十一億三千六百萬弗その他約六十億弗の減稅を骨子とするもので、徵集兵の俸給に對する所得稅は全面的に免除され、低收入者千二百萬の納稅を免除し年收五萬弗までの所得者の稅金を四〇%方減免する、以上に關し下院歲入委員長ロバート・ドートンは產業轉換の一助とするためと言明してゐるが同法案が實施されるならば、一九四四年度の稅額四百五十億弗に對して二百六十五億弗の稅收入を得ることとなり、戰前の年稅收入額より百億弗下廻ることとなる

政府改組問題紛糾

（ワシントン三十一日）トルーマン大統領に合衆國政府改組の權限を認めるとの提案を繞り、一日の上院には激烈な論爭が展開された

上院法制委員會から本會議に提出された原案に全く滿足してゐる者は一人もない模樣で、與黨は大統領が議會に提出したいかなる改組案をも上院乃至下院が無效ならしめ得るとする修正案とは最後まで戰ふ意圖を示してゐる、民主黨議員ハツチは出來るだけ大統領の希望に近いものを實現することを望む民主黨議員ハツチは原案にあまりにも多くの特免が含まれてゐると主張し、一方他の議員たちは同案が大統領に餘り大きな權限を與へすぎると論じてゐる

【原子爆彈】

世界政府を提唱

（ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙三十一日）世界的科學者アルベルト・アインシュタイン博士は「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙記者ロバート・S・バード氏との會見に於て米英ソ三國による世界政府の樹立をみざる限り原子戰爭が不可避なる旨警告、原子爆彈の秘密に關する米英兩國政府の政策を强く非難した、會見における博士の言明要旨次の通り

「原子エネルギーの秘密は國際聯合機構とか、ソヴエト聯邦とかに提供すべきでなく、世界三大國の樹立する世界政府に對してのみ許さるべきだこの政府には世界の全軍事力が附與されなければならない

ソヴエト聯邦は原子爆彈における米國の秘密政策に反對なのだから、さうした世界政府の第一草案の起草はソヴエト聯邦に委ねるべきではなからうか、新政府の憲法は米英ソ三國から各一名を出して三人で協議すべきである

三人ならば三國のいづれをも納得せしむるごとき立派な憲法を書くことが出來ると信ずる、六人、七人或ひはそれ以上になると、失敗する可能性が多くなる

また世界政府は少數者が多數者を壓迫してゐるごとき諸國に干渉する權利をもつことにならう

現在議會で審議中のメイ＝ジョンソン法案には余も特に關心を有するが、現在の形態における原子エネルギーは科學に對し、米國及び世界全般の福祉に對し直接の脅威をなすと考へる、メイ＝ジョンソン法案は强國間の相互不信を助長し、確かに將來戰爭を惹起する原因となるものだ、かかる心理狀態において秘密兵器を有する限り、たとへ科學的研究が自由に發表されようとも戰爭の危險は常に存在する

これは原子爆彈の問題ではない、將來における戰爭の可能性を防止することをかくも絶對的ならしめる今日の全般的技術水準が問題なのだ、諸國に對し無制限の優越性を維持する限り、我々は戰爭を行ふことにならう、但し他にも選び得る道が一つある、一國家が他の國家を究極において屈服させる場合だ、悲しむべきことだが、自由な同意によつて超國民的政府が創立されない限りさうならう

もし諸國民が戰爭によつては諸種の問題が解決されないことをさとれば、他の考へ方を採るやうになる、要するに戰爭における各國の主張は戰爭の慘禍に比すれば大したことではないのである」

英國でも原子研究所

（ロンドン三十日發）英首相アトレーは二十九日の下院で大規模な原子研究所を建設する計畫を發表したが、最初に建設されたのはバークシヤー州デイドコツト附近ハーウエルの研究所で、これは比較的に規模は小さい豫定である、最初の原子爆彈製造に協力した英國科學者達も一應このデイドコツト研究所に所屬して、今度は原子エナージーの建設的方面への利用方法について研究する筈であるが、研究所の責任擔當者の名前は近く發表されることになつてゐる、英政府は戰時中原子研究において米國に立遲れたのを取返すため、研究所の建設その他について第一優先權を與へる筈である

昭和二十年十一月六日(火)
第四號
時事通信 海外電報 第三種郵便物認可

特輯

軍票の法理論（七）

△特定ポーランド銀行券の回収

ポーランドにおけるドイツ軍票の一種であるドイツ信用金庫券の發行流通に關しては以上を以て概要を終つたのであるが、尙ほこの外にも軍票と目されるものあり以下關係事項とともにこれを補說することとする

ヒトラー總統は一九三九年十月十二日の總統令を以て、ドイツに併合された地域以外のポーランド進駐地域に對して統監制を布き、これにより統監府（Generalgouvernement）を設けて、統監（Generalgouverneur）として國務相ハンス・フランク博士、副統監としてザイス・インクアルト博士を任命したのである、本總統令第九條第一項によれば、この統監制は、軍事占領に伴ふ軍政（Militärverwaltung）に代るもので、總統が軍政の終結を布告するとともに統監政治に移行することが規定され、別の總統令により軍政は一九三九年十月二十五日を以て終止し、十月二十六日より統監政治に移されたのであるが、フランク統監は上述十月十二日の總統令に基き、一九四〇年一月十日、特定ズロチー券の流通引揚に關する要旨次の命令を發した

（一）ポーランド銀行（バンク・ポルスキー）發行に係る一九一九年二月二十八日發行日付の五百ズロチー券並びに一九一九年二月二十八日、一九三二年六月二日及び一九三四年十一月九日發行日付の百ズロチー券は、一九四〇年一月二十二日より一月三十一日の間に、所在ドイツ信用金庫に供託することを要する、供託に對しては全的對價を以て賠償する

（二）特別の理由ある場合は、當該ドイツ信用金庫の決定により、供託の代りにその一部または全部を即時他のポーランド銀行券に引換へることを得る

（三）供託または引換期限である右一九四〇年一月三十一日以後は、當該銀行券は法律的支拂手段としての性質を失ひ、爾後何人もこれを支拂において受理する義務はない

（四）供託金の總額が一千ズロチーを超えぬ場合は、外國爲替銀行として指定せられた信用機關にこれを供託し得る、右外國爲替銀行は受託銀行券をドイツ信用金庫に引渡すことを要する

ここに特定ポーランド銀行券の供託につき述べたのは、やがてこの方式で引揚げられた同一銀行券が、ドイツ信用金庫券とは別形式の軍票として再び流通場裡に復歸する順序となるからである、次項において改めてこれを述べよう

△ポーランド銀行券の軍票化

ポーランド占領地ドイツ統監ハンス・フランク博士は、一九四〇年一月二十九日、ポーランド銀行百ズロチー券の加刷再發行に關する統監令を發した、內容次の通りである

（一）一九四〇年一月十日の供託令に基き供託されたズロチー券中、一九三二年六月二日及び一九三四年十一月九日發行日付の百ズロチー券は加刷の上再發行される、（第一條）ここに加刷とは固有の券面に他の色彩若くは他の文字を加刷することで、具體的には次に述べる第二條が規定する

（二）加刷券（Die abgestempelten Noten）はその表面左上隅及び右下隅に數字「百」に加へ左下隅より右上隅に亘つて、赤色により「ポーランド占領地域統監府（Generalgouvernement für die besetzten polnischen Gebiete）と加刷する（第二條）

（三）前二項によるポトランド銀行百ズロチー加刷券は、一九四〇年二月一日より法律上の支拂手段とする、（第三條）

（四）何人もその權限なくて加刷（Apstempelung）の所爲に出で又は僞造加刷券を造出し若くは流通に齎す企圖に出た者は、三年を下らぬ禁錮に處する、（第四條第一項）少しく說明を加へれば、その權限なくて加刷の所爲に出ることも、僞造加刷券を造出することも、共に僞造である、唯前者は眞正の銀行券に對し、權限ないに拘らず、定められだ加刷條件そのものを印刷することであり、後者は加刷條件を帶有する銀行券自體を造出することである、共に製造發

行に關する特權を害する點において、刑法上の僞造なのである

（五）僞造加刷券及び僞造に用ひられ、若しくは備へられた物は、何人も有罪の判決を受けぬ場合でも沒收される（第四條第二項）これは善意の僞造加刷券所持者、僞造設備または材料の所有者は、その善意が證明されても右僞造加刷券や僞造用目的物が沒收される意味である

（六）以上兩項に關する裁判は、特別裁判所の管轄に屬する、（第四條第三項）特別裁判所（Sondergericht）に關しては既に一言したところで本件は同裁判所構成命令第二條第一項に揭げた管轄に屬する

（七）本令は一九四〇年二月一日より發效する（第五條）

本令に基く百ヅロチー券の强制流通は、後に述べるやうに比較的短期間ではあつたが、均しくその價値表示において百ヅロチーであつても、ポーランド銀行券は單に新貨の材料となつたものに過ぎず、發行者もポーランド銀行券ではなく、ドイツ統監府である、從つて本券は純粹の軍票であると先に指摘した支那事變初期におけるわが軍用手票「乙號」が、日本銀行券を基礎としてこれに「軍用手票」と朱で印刷されたものと同樣である

△ポーランド發券銀行の新設

ポーランド占領地域ドイツ統監は、一九三九年十二月十五日、在ポーランド發券銀行に關する命令を發した、この發券銀行は全くドイツの機關銀行で、その發行に係る銀行券も新方式の軍票であるが、まづ同行がポーランド占領地における純ドイツ機關銀行である事實を示すため、命令中の銀行機關に關する條項を摘出しよう

（一）ポーランド占領地域に於ける貨幣取引、支拂取引及び信用取引を確保するため、在ポーランド發券銀行（Emissionsbank in Polen Bank Emisyjny w Polsce）を設置する（第一條第一項）同銀行はクラカウに本店を置く法人とする、但しポーランド占領地域ドイツ統監は右の本店を他に移轉することを決定し得る、（同第二項）同行は統監府管區內に支店を設置し得る（同第三項）

（二）銀行は總裁一名、副總裁一名乃至二名により指導管理せられる、必要により恒常的に或は臨時的に副總裁を增員する（第二條第一項）總裁並に副總裁はポーランド占領地域統監において之を任命する（同第二項）總裁及び副總裁は何時でも免職し得る（同第三項）

（三）ポーランドにある發券銀行に銀行監理官（Bankdirigent）一名を置く、銀行監理官はポーランド領地域統監に直隷し、統監により任免される、統監は直接在ポーランド發券銀行に對して監督を行ひ、銀行監理官を通じてこれを行使する、銀行監理官は銀行の凡る處置に關して常時報告を受け、銀行の全營業に關して情報を獲得し得る、また各月末に發行された銀行券並びに手許準備金につき計算書の提出を受ける、（第三條第一項、本項は一九四〇年四月八日の在ポーランド發券銀行に關する命令の變更に關する命令第一條によりかく修正）

總裁、副總裁その他決定權を有する者は、信用の許與、銀行との取引に適用される利率の確定等總て重要處置に當つて、銀行監理官の同意を要する、銀行監理官は一團の營業に對して全般的に同意を與へ得べく、又右同意を撤回し得る、（第三條第二項）

銀行監理官に對してはその必要とする人員、事務所及び事務設備は、何等の對價なくこれを提供することを要する（同第三項）

（四）銀行に管理委員會（Vernaltungsrat）を置くことを得る、管理委員會は意見を具して總裁を援助し、總裁は同委員會の意見を徵することを得る、總裁は委員會に對して每營業年度の經過後、一年間の報告を提出する（第四條第一項）管理委員會委員は統監において任免する、（同第二項）

（五）銀行に對する訴は銀行所在地の管轄ドイツ裁判所においてのみこれを提起し得る、（第六條第六項）

（六）銀行は統監の管理に係る一切の銀行事務並びに信用事務を營み、又ポーランド占領地域內における公金庫相互間の支拂取引を仲介する義務を有する、右は自己の費用において行ふものとする（第十二條）

（入江啓四郎）

昭和二十年十一月六日(火)
第四號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

資料

賃銀と物價問題

＝トルーマン大統領の放送演說＝

ワシントン三十日

去る八月十八日、すなはち日本の降伏の四日後に大統領令第九五九九號が公布されたが、その内容は戰爭から平和への移行期間における米國政府の指導政策を規定したものだつた、これらの政策を要約すると次の通りである

一、民需物資の最大限の生産を助成する

二、出來るだけ早く政府の統制を廢止し、集團契約制及び自由市場を復活する

三、インフレーション、デフレーションともに回避する

右は現在なほ我が政府の堅持してゐる政策なのである

△賃銀と購賣力

ところで我々がこれ等の政策の遂行に成功するか否かを決する最大要因の一は物價問題なのである、もしも賃銀が大幅に低落するならば、我々はその結果デフレーションに直面する、また物價が大幅に昂騰すればインフレーションが起る、我々は我々の擁護に當り、この二つの危險から身を避けねばならない、賃銀情勢に起る變化は、我々は勿論、賃銀生活をしてゐない者にも甚大な關係を持つてゐると同時にそれはまた一般商業とも重大な關係をもつてゐる、たとへば賃銀は生産コストの主要項目となつてゐるばかりでなく、一般の賃銀が不十分ならば、それだけ一般の購買力が減少するのである、賃銀情勢の變化はまた農業にも重大關係をもつてゐる、なぜならば農家の收入は工場、商店、會社などで働く勞働者の賃銀及び購買力に大いに依存してゐるからである、もしも勞働者が十分な賃銀の支給を受けなければ彼等は農産物を自由に購入し得ないであらう、かういふわけで我が國の經濟安定に深甚な關心をもつ我々は賃銀問題の動向を特に重視せざるを得ないのである

これは極めて分りきつた道理である、ところがすべての分りきつた道理と同樣に、このこともとかく世間から忘却されがちなのである、商店の經營者達は往々にして、十分な賃銀の支給を受け懷中に金をもつてゐる顧客がゐないと、彼等の商買が繁昌せぬことを忘れてゐる、一方、勞働者の方でもややもすれば、產業が繁榮し、利益が擧がらねば彼等に就職の機會がなく賃銀も昂らぬことを忘れがちである

諸君の大部分と同樣、自分は過去數週間の勞働爭議を憂慮してゐる、これ等の困難は產業再轉換政策の遂行を妨害するものである、すなはち歸還軍人及び軍需工業の失業者の平和時代の職業への復歸がこれによつて大いに遲延するのである、われわれはもつと物分りがよく、合理的であり、他人の立場に理解をもち、われわれが戰爭中に示したチームワークを維持せねばならない、自分の過去の經驗からいふとわれわれが他人の立場を理解することに努力を拂ひ、相互の利益並びに公平を基礎とする解決策を圖るならば困難な問題といふものは殆どないといふことができる、自分は正にこの精神で賃銀問題を檢討しようと思ふのである

△勞働者の現地位

自分はまづ勞働問題を諸君の前に提起しよう、自分は勞働者全體が戰時產業から平和產業への轉換に當つて苦難を嘗めたとは思はない、なるほど突然の全面的勝利によつて數百萬の戰時勞働者が極めて短期間の豫告または全く豫告なしに解雇されたことは事實である、われわれは今後數ケ月間に、この情勢が改善されることを希望するとともに、失業は出征軍人と軍需勞働者とが勝利の獲得に向つてなした寄與に對する適當な褒賞だとは決して考へない、自分は數ケ月前に議會に對し失業補償法を修正するやう要請した、自分は下院豫算委員會が國民に對する義務を勵行し、速かに下院議員に對し、この重要法律案の投票を行ふ機會を與へんことを希望する、我々は產業再轉換が完了するまでの間、勞働者の購買力を支持する法律は獨り勞働者のみならず、商人、農夫、白カラー勞働者及びその他の經濟社會人に利益を齎すものであることを確信する

米國の勞働者は自分が議會に提案し、今なほ審議未了狀態にある全員就業法の成行きに深甚な關心をもつてゐる、國民は今や政府の目標が「繁榮」と「就職」にあつて「不況」と「救濟」にな

いことがはつきりしたので、全員就業法案の成行きについて詳細な報告を要求する權利を有してゐる、この法律案の採擇を遲らせてゐる責任は下院支出委員會に歸さるべきである

また聯邦雇傭機關を州政府へ復歸せしめる法律案は現下の實情に卽さないものであるから、自分は同機關が當分聯邦政府の直轄下に存置されることを希望する

勞働者が家庭へ持ち歸る給金の減少は四十八時間制から四十時間制への移行の傾向を促進しつつあるが、これは失業者を必然的に增加せしめるものである、賃銀の引上げは勞働者に十分の購買力をもたせるために、また國家の收入を增加させるために甚だ必要なことではあるが、物價引上げを條件とする賃銀の增率はいかなる事情の下にも許さるべきではない、それを許すことはインフレーションを誘導することであり、その結果恐るべき災厄を招來する

生活費の昂騰を伴ふ賃銀引上げは勞働者そのものをも援護する所以ではない、かれ等の賃銀袋に封入される特別給金は物價騰貴に所因する生計費の增加のため一弗もかれ等の手に殘らぬであらうかかる賃銀と物價の鼬ごつこは何の問題をも解決せず、また何者をも救濟しない、その結果、無統制のインフレーションがわれわれを襲ふこと必定である

△惡性インフレの防止

インフレーションと生活費とが螺旋狀の上昇を開始すると殆どすべての人が苦しまねばならなくなる、さうした狀態下における賃金の引上げは、引上げの目的を抹殺し、勞働者に何の利益をも與へない、白カラー勞働者は彼らの定つた俸給が、以前よりも少量の食糧と衣料しか買へぬやうになることを知るであらう

彼らの購入する物品に對して以前よりも高額を支拂はねばならぬ結果農民の收入は必然的に減少するだらう、また收益の增加は商業經營者その者にも恩惠を與へなくなる、戰時公債、保險證書、養老金、年金、その他總ての證券の價値は萎縮し、それから生ずる收入の購買力は減退するだらう

故に物價の騰貴がインフレ的傾向をもつ時には我々は何を措いてもその抑制に努力せねばならない、我々はインフレーションに對する防禦に敢闘せねばならない、我々が一九四三年の春以來死守した物價水準を今後も固守せねばならない、もしも我々がこの效果的な物價統制を拋棄し、障壁を取除くならば、物價の奔騰は止るところを知らなくなるだらう、米國民は前大戰後にも今日と同樣の問題に直面した、我々は當時施行されてゐた若干の統制を簡單に撤廢し、物價をして自然の行程を辿らせたその結果、我々は有益な教訓を學んだ筈である、目まぐるしい賃銀と生活費の螺旋狀の昂進は一九二九年の大恐慌となつて爆發した、この恐慌が全國に破產、抵當流れ及び失業を蔓延ならしめたことは周知の事實である

もしも我々の企畫する物價の安定と賃銀の高率確保の二重の目的が相調和せず、一方の目的が他方を犧牲にせずして達せられぬならば、我々勞働者、事業經營者、農家等の前途は甚だ暗澹だといはねばならない、ところで幸ひにして現實の事態はさうではない、各種產業の經營狀態には大きな差違があるといへ、現在の物價機構には未だに事業界全體として賃銀引上げをなし得る餘地が殘つてゐるのである、そして若しも我々すべてが合理的な、與へて取る主義の精神でこの問題の解決を圖り、我々が一堂に會してある特定の會社又は產業がある特定の時期にどの位の賃銀引上げをなし得るかの決定を試みるならば、自分は大部分の事業家が賃銀引上げの可能性について一致するだらうことを信ずる、事實多數の事業家既に製品價格を吊上げることなく賃銀の大幅引上げについて交涉を開始してゐるのである

△產業界現況

自分が何故に產業全體が製品價格を增加することなく、大幅の賃銀引上げをなし得る狀態にあることを信ずるかについては諸種の理由があるのである、すなはち第一は時間外勞働に對する一倍半の手當が撤廢された結果時間當りの勞務費が減少したことである、第二は就職希望者の增加が多數の產業において、全國の多くの地方において勞務の下降的再編成を可能ならしめてゐることである、第三の信ずべき理由は時間當りの生產量の增加、すなはち一般に生產力の增加と呼ばれてゐる事實である、生產の增加は結局勞働力如何にかかるものだが、機械及製造方法の發達が必ず時間當りの生產增加と賃銀引上げのために追加的餘

昭和二十年十一月六日(火)
第四號
時事通信
海外電報

地を生ずるであらうことを知る時期が必ず近い將來に到來することを自分は信ずる、第四の理由は事業界が今日甚だ順調に利益を擧げてをり、前途もまた有望なことである、すべての會社がしかりとはいへないが、產業界全般を通じていふとこれまで利益が擧げられてをり、現在も甚だ好調なのである

最後に議會は今や自分の要請に基き過當利得稅の廢止を考慮しつつある、われわれの稅法中には平和時代の平均額以下に收益が低下した會社をして、彼等が過去二ケ年間に納付した過當利得稅の大部分を再獲得し得るやうな條項が既に附加されてゐる、稅法中のこれ等及びその他の條項は產業再轉換に當つて生ずる危險を最少限度に喰ひとめるために設けられたもので、その目的をたしかに達しつつある、これ等の條項はまた產業の賃銀引上げ能力を增加せしめる役目をも果しつつある

產業が物價騰貴を伴はない賃銀引上げをなし得る能力をもつてゐることを證明するために自分は產業界の現況を說明しよう

產業は勞働者が知つてをらねばならぬ多くの危險と困難な問題を前途に有してゐる、多數の會社は彼等に甚だ有利だつた戰時生產からさまで有利でない民需生產に轉換を餘儀なくされるであらうまた工場の再設備、新市場の開拓、未熟練工の養成、原料及び資材高の對應策などの諸問題があるこれ等のことはすべて最初の間は生產量が少くて生產單價が高いことを意味する、これ等の問題と困難は特に米國の競爭制度の脊柱たる小企業の場合において痛切だといふことができる、しかし自分はすべての會社がさうだとはいはない、自分は今なほ高率の賃銀並に時間外手當を繼續してをり再轉換に際して勞働者に何等の苦痛をも與へぬ會社があることを指摘したい、勞働者はこれ等の相違を認識し、現在の物價情勢下に支給し得る以上を會社に要求してはならない、勞働者は彼等の賃銀引上げに對する要求が合理的であることを確かめる峻嚴な責任をもつてゐる、過當の要求は產業に對してその合理的利益の獲得並びに生產能力の擴大を否定することになる、われわれは黃金の卵を產む鵝鳥を殺してはならない

勞働者は產業をしてこの增產及び就業者增加の目標を達せしめるために助力を與へる責任を有してゐる、勞働者は常に能率の向上と生產力の增加に努力を拂はねばならない、よき賃銀が支拂はれてゐる所によき仕事がなされる、この方法によつてのみわれわれは米國をして世界工業國の最先頭に立たしめるに至つた大量生產の理想に達し得るのである

勞働者はまた絕へずかれ等自身の間で缺勤の防止、事故の減少、裁判事件及び「山猫」罷業の回避に努めねばならない、勞働者と經營者はともに事業をなす效果的かつ確實な方法として集團契約制を採用せねばならない、產業が物價を引上げずに賃銀の增加を斷行し得る程度は會社により、產業によつて異つてゐる、また今日支拂はれる額は明年支拂はれる額とは異つてをり、市場が設立され收益が確實となつた年の翌年のそれとも異るであらう、經營者も勞働者もともにこれらの發展を注視し、時とどれだけ生產費が減少したか、どれだけ利益が增加したか、またどの程度までこれらの利益を賃銀引上げに振向け得るかを決定せねばならない

△賃銀引上げ問題

そこで自分はここでいかにして賃銀を增加せしむるかの問題に轉じよう、從來多くの人々が政府に對し、政府が仲に入つて誰が賃銀を引上げるかまたどの位引上げるかについて決定を下さんことを要求した、自分は自分が產業と勞働者のために法律制定の勞をとらなかつたとて非難を受けた、余がこれを拒絕したのは熟慮を廻らした上のことだつたのである、不思議なことには余に向つて賃銀調整を決するために戰時統制機關の利用を强請した人々が、他の場合において政府の繼續的干涉はわれわれの自由企業制度を破壞するものであることを指摘した最初の人々であつたことである

自分は國民ができるだけ早く政府の統制から離脫し、われわれの自由競爭制度に復歸せねばならぬことを信じてゐる、しかして賃銀に關する限りこのことはわれわれが自由かつ公正な集團契約に復歸すべきことを意味してゐる、われわれは自由人として平和的眞摯的な取引をなす良心をもたねばならない

しかしながら集團契約によつて到達した決定は政府の賃銀及び物價政策に規定された範圍内に留められねばないことをも自分は強調したい

政府のこの政策はすでに述べたとほり去る八月の大統領令に明記されてゐる、簡單にいふと事業家は政府の承認なくとも賃銀引上げを行ひ得るがその賃銀引上げが商品の最高價格に影響を及ぼすものである時は政府の承認を要することになつてゐる、これは今なほ米國政府の政策である、自分は勞働者及び事業家をしてこの政令の意味を明確に理解せしめるために本日修正條項を公布したが諸君は恐らくそれを明日の新聞で注意深く讀まれることと信ずる、その内容は八月の政令を敷衍し最高價格の引上げを伴ふ賃銀引上げが許可される三つの場合を規定したものである、それらはいづれも物價に及ぼす影響の如何に拘らず賃金引上げを必要とする場合であり、同時にそれらは多くの物價引上げを馴致するものではないと思はれる場合である

△重要な二修正

この修正は右のほかに自分がここで特に説明しようとする二つの重要點をもつてゐる、第一の點はもし事業家が賃金の引上げを行つた時は、そのあとで政府に向つて最高價格引上げに關する政府の考慮を要求し得ることである、この要求は賃銀引上げの前或は後に行はれるを論ぜず、一樣に考慮されるであらう、第二の點は事業家から賃銀引上げの承認を請求せぬ場合、又は請求がなされ、政府から否定された場合、右産業は政府から無理な賃銀引上げの命令を受けぬであらうことである

特別の場合を除き六ケ月と定められてゐる試驗期間の後、もしもその産業が適正な利益とともに生産をなし得ない時には、最高價格引上げの適用に移るに當り全體的な賃銀引上げが考慮されるであらう、その際物價局はすべての物價引上げに對する請願に對し迅速な考慮を與へることになつてゐる、これが政府の賃銀、物價政策である

諸君も知るとほり、自分はワシントンに事業家と勞働者の代表會議を召集した、同會議は來週から開催されるはずである、その任務の一つは、集團契約が履行されない時の調停または紛議の仲裁機關を推薦することにある、余は米國民がこの會議の重要性を明確に把握せんことを切望する、この會議を通じ産業の融和、産業界における人的關係への新しい道を成就する方法が生れて來る、この機關が設立されるまで、余は勞働、産業兩方面に對し、かれ等の問題に協力して當らんことを强調する、輿論は事業家または勞働者が正當な結末に到達するために平和的な自由な民主的な方法で進むことを拒否することを許さぬであらう

今日はわれわれが戰爭中に學んだ教訓を活かすべき時である、國家は産業と勞働者とが、勞働者は産業の適正利潤に對する權利を認め、産業は勞働者が氣品ある生活水準を必要としてゐることを認め、良心的な商議を行はんことを期待してゐる勞資双方がこれを自覺するとき、我等はデフレーションにもインフレーションにも直面しないであらう

自分はもし勞働者と經營者とか彼等の恒久的利益のために彼等の紛爭を解決する決心をもつて互ひに接近するならば、我々が産業鬪爭を我々の背後に置去りにし得るのは遠い將來のことではないと信ずる、勞働者は經營者にとつて最大の顧客であり、事業家は勞働者にとつて生活の源泉である双方ともに全的に相手に依存してゐる、國家はまた彼等の双方に依存してゐるのである

米國民は常に國家の要請に應じて起つて來た、彼等は戰爭中に奇蹟を遂行した、彼等は今や彼等の恒久的平和と安泰への路上に横はる諸困難を克服することができ、また必ず克服するであらうことを自分は信ずる

（石田）

大正十五年十月十九日第三種郵便物認可　編輯發行人　桂田增三　東京芝區田町四丁目廿六番地　時事通信社

昭和二十年十一月七日(水)　第五號

時事通信　海外電報　(5)

アンラの經濟專門委員によれば、歐洲の都市地區だけでこの冬には九千萬人が飢餓線上を彷徨するだらうといふ、ドイツ人を救濟するだけでも七十六萬二千噸の食糧が必要で、アンラは七千萬弗支拂はねばならぬとは統計の示すところだが、ドイツ人の平均榮養一日一千三百五十カロリー、聯合國衞生班の報告によれば、ドイツ人は平均四ポンドから二十ポンド目方が減つたといふのだからナチ政權の侵略政策に對する代償は眞に高價だ、食糧不足にインフレーションはつきものだ、ボール・アインチツヒ博士は最近煙草を交換の媒體、卽ち通貨に使つては如何と提案してゐるが、「ニューズ・ウイーク」誌の特派員が歐洲各都市の實狀を傳へてゐるのが面白い、煙草を通貨とすればウイーンでは新しいライカが煙草十二箱（packages）で手に入るし、ローマの女性一夜の代償が十箱、ベルリンではスキー用長靴が一箱、旅行鞄が十箱、パリでは煙草一箱でパン二十封度、トマト三封度乃至は一九四〇年の赤葡萄酒一本といふ勘定だ、遠く歐洲を尋ねるまでもない、お膝下の東京でも紙幣が交換の媒體としての王座から追ひ出され物々交換でなければ食糧が入手出來ぬ實狀だし、支那の螺旋狀インフレーションが終戰後も依然停止するところを知らぬことは先刻御承知の通りだ今世界でインフレーションを知らぬ國々は恐らく米洲各國、ソヴエト聯邦、英帝國だらうが、米國ですらインフレーションの徵候が多少見え出したといふから、終戰後の世界は悉くインフレーションの渦卷のなかに捲き込まれさうな形勢だ、尤も米國のインフレーションは全く初期の段階に過ぎず、サンフランシスコが典型的だといつて「ニューズ・ウイーク」誌が引用してゐるところでも、一九四〇年當時に比べて生活費が三三・六%上つただけだといふから所謂インフレーションの範疇には入り兼ねる譯だが、トルーマン大統領は記者團との會見で、物價賃銀政策について近く聲明を出すといつてゐるから米國でも物價政策が政治問題化しようとしてゐることは確だ

【目　次】

米英ソのみで獨中央政府樹立か……三八
獨流民の處置問題化……〃
ソ聯、自由ドイツ委員會を解散……〃
太平洋貿易はどうなる……三九
米大統領パリ訪問か……〃
バークレー、猶太人問題を論ず……〃
【米　洲】
大減稅案上院も通過……四〇
米英石油協定の批准を慫慂……〃
九月中の罷業五百五十件……〃
歸還實現のため船舶罷業……〃
人造ゴムタイヤの大量生産……〃
ブラジルで騷擾……〃
【歐　洲】
獨の中央政府設置に反對……四一
ナチ司法制度を廢止……〃
ルール炭田復活……〃
北露內陸水路近く完成……〃
歐洲でも九千萬人餓死線上……〃
「報道自由」修正案下院通過と反響……四二
對獨戰と空軍力……〃
勃總選擧後國家形態を決定……四三
瑞西、墺政府を承認……〃
波の貿易回復は五年後……〃
【英　國】
英、對ソ關係調整へ動く……〃
下院、トルーマン政策を討議……四四
濠洲兵の復員狀況……〃
【國際機關】
食糧農業管理會の世界政策……四五
【戰後處理】
泰緬鐵道建設の犧牲者……〃
【解　說】
パレスチナ紛爭とその背景……〃
完全雇傭の途……〃
【今日の話題】
今年のワールド・シリーズ……四六
第二回北海道＝華府無着陸飛行成功……〃

米英ソのみで獨中央政府樹立か

（ベルリン五日）フランス外相ジョルジュ・ビドーが四日の人民共和黨議員大會においてドイツに中央政府を樹立することに反對したことは、フランス政府の公式態度を示すものとして果然問題となつたが、AP報道によれば聯合國ドイツ管理々事會當局は五日ポツダム宣言にドイツの中央政府樹立が規定されてゐることを理由に、米英ソ三國のみで中央政府の樹立計畫を進めるとの決意を明かにしたと傳へられる、フランス政府はポツダム宣言の署名國でないため、當然中央政府の樹立に反對することが出來るわけだが、過般來機會ある毎に、ルール及びラインランドを國際管理の下におき、ドイツを經濟的に數單位に解體することを主張、ドイツの經濟的統一に反對してきた、以上のフランスの主張は自國の安全保障を確保する建前において、ドイツの國力回復を危惧する觀念から出發したものである

獨流民の處置問題化

（ロンドン五日）ロンドン各紙は五日の紙上で、終戰前ドイツ西部から東部地區へ避難したドイツ人流民約百萬が赤軍の占領地區から退去せしめられ、英軍の占領地區に雪崩れ込むだらうとの報道を大々的に掲載したが、勞働黨議員リチヤード・スークスは五日下院の質問時間に際して、右報道を取上げ

赤軍の措置に鑑み且つソヴエト政府が機宜の措置を講ずればドイツ人の强制移動を阻止出來る事實に鑑み、英國政府が極めて嚴重にソヴエト政府に申入れすることを要求する

旨を述べた

以上の質問に對し、外務次官ヘクター・マクネールは次の通り釋明した

ポーランド、チエコスロヴアキア並びにハンガリー各國政府が、一日三萬人の割合で四百五十萬人のドイツ人を自國領土から退去させるに決定したとか、赤軍が從前西部地區に居住してゐた多數のドイツ人を自軍の占領地域より退出させる事に決定したとかいふ報道については、英國外務省へは何等公報が入つてゐない、外相としては之等難民に對し同情してゐないやうに見られることを望まないが、同時に公報がない以上質問の趣旨に同意し兼ねよう、したがつて外相は之等の報道についても卽時報告するやう在外使臣に命令した

ロイター通信社の外交記者は、以上下院の討議に關聯し

ソヴエト大使館筋ではドイツ人難民が東部から西部へ流れ込んでゐるとの報道は明に誇張だと斷定してゐる、要するに難民の管理はベルリンにおける四國管理々事會の政治調製委員會の所管で、ソヴエト政府に直接抗議する筋合ではない

と報道してゐる

ソ聯、自由ドイツ委員會を解散

（モスクワ五日發）ソヴエト政府機關紙「イズヴエスチヤ」の五日付報道によれば、一九四三年八月ソ聯において創設された「自由ドイツ國民委員會」および「ドイツ軍將校同盟」はその使命を果し終へ、今回正式に解散されたといはれる、「自由ドイツ國民委員會」は一名「ザイドリツツ委員會」とも稱ばれ、ナチス・ドイツからの亡命政客およびドイツ軍の捕虜將官よりなり、ヒトラー・ドイツの打倒と民主々義ドイツの再建を目標に主として前線のドイツ軍將兵に働きかけて政治宣傳活動を展開してきたもので、後者の「ドイツ軍將校同盟」は一名パウルス委員會ともいはれ、スターリングラードで捕虜となつたパウルス元帥を首班とする、後者は純然たるドイツ軍の捕虜將校よりなるが、「自由ドイツ國民委員會」と同じ目的を追求してゐたため、從來屢々混同されて考へられ勝であつた、今回ソ聯が自發的に兩團體を解散したことは、米英兩國言論界の一部がソ聯は「自由ドイツ國民委員會」をもつてドイツの中央政府を組織し、ドイツの管理を勝手に切り廻さうと企圖してゐると論じてゐるだけに、何等の野心もないことを示すものとして好感をもつて迎へられてゐる

昭和二十年十一月七日(水)
第五號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

太平洋貿易はどうなる

(ワシントン五日)「クリスチヤン・サイエンス・モニター」紙特派員ウイリアム・ストリンガーは三十日附の延着電において民間航空局における太平洋横斷航空貿易交通路に關する公聽會の模様を次の通り報じてゐる

どんな空路をどこに開くかについて完全な決定權を議會から委ねられてゐる民間航空局は、北大西洋における配置を夏のうちに完了し、現在は同局の太平洋空路調査官の提案について口頭説明を聽取してゐる、同局が決定に到達すれば、以後の訴願は法廷を通じなければならなくなる

民間航空局の原案によれば、現在太平洋航空權を握る唯一の會社たる汎米世界空路會社に空路延長を許可し、一方大陸横斷航空權を保持する北西空路會社には太平洋空路新設を許可することになつてゐる

卽ちこの結果、汎米世界空路會社はその空路をミドウエーから東京、上海、香港、バンコック、カルカツタへと延ばし、マニラからシンガポールバタヴイアへと延長する他、ホノルル＝ウエーキ島間、ニューカレドニア＝シドニー間の無着陸飛行をも許可される

北西空路會社の方はニューヨーク及びシカゴからエドモントン(カナダ)、アンカレツジ(アラスカ)、幌莚、東京、上海、香港を經由してマニラに至る空路を許可されるが、この新空路によりシカゴは大圓周を描く新太平洋「東方」空路の出發點たり終點たることにならう

現在論議の中心となつてゐるのはシカゴから東方へ(セント・ポール及びミネアポリスの双子都市を經てアラスカに亘り、千島から東京へ行く)の最も重要な「大圓周空路」を開設するといふ提案である

西海岸諸都市はこれを目して太平洋航路をその本來の資源(卽ち西海岸諸市)既に産業の集中し過ぎてゐる東部に移さうとする、人爲的な企圖であると主張し、特に太平洋航路がカリフオルニアとハワイを經て西方に向ふことを望んでゐる、カリフオルニアの諸都市の如きは、大演習空路が氣候的觀點よりみるも霧と氷に閉されて相當危險である點を强調してゐる

現在檢討されてゐる原案のうちで、北太平洋空路の開設を望む當局は、ニューヨーク乃至シカゴから上海に至る距離がシカゴを關門とすれば他のいかなる中央太平洋空路より、一五六七哩短くなる點を指摘してゐる、もしシアトルを關門として選べば更に四三一哩短縮されるわけである、北太平洋における戰爭中の軍事輸送の經驗から判斷して民間航空局は、大演習空路計畫から生れる運營上の難問題として、從來陸海軍が新らしい解氷設備並びに航空設備によつて克服し得た以上のものが生ずる筈はないと談じてゐる、工業の點を論ずれば記錄をみても一九四〇年に合衆國内二九五會社が英領マレー、支那、印度、日本、蘭印、比島等に投資せるうち一六六社卽ち五六%はニューヨークにあり、二一八社卽ち七四%は北東部乃至中東部諸洲に依存したことが知られる、一方歷史的にこれを論ずれば、米國とアジアを結ぶ旅行者の群は大部分西海岸の住民より成り特にカリフオルニヤ州が全體の四七%を占め、これに次ぐワシントン州のごときは、わづか四%に過ぎなかつたのである

米大統領パリ訪問か

(パリ五日)パリ・ミディ紙は四日米大統領トルーマンは來春パリ及び聯合軍の上陸地點であるノルマンデーを訪問するだらうと報じてゐるが、この電報の出所は明白にしてゐない

バークレーの猶太人問題を論ず

(ロスアンジエルス五日)米上院民主黨院内總務アルベン・U・バークレーは四日夜パレスチナ問題講演會の席上、パレスチナ問題の最緊急事は歐洲にある百六十萬のユダヤ人のため速刻避難地を見付けることであると論じた、同氏の主張によればパレスチナにユダヤ人聯邦を創ることは追つて別個に考慮すべき問題であるといつてゐる、なほバークレーは、米政府は目下ユダヤ人のパレスチナ移住卽時許可につき英政府と交涉中であると言明した

大減稅案上院も通過

（ワシントン四日）五十九億二千萬弗減稅法案は去る三十日下院を通過したが、上院は修正なしで一日法案を可決、ホワイト・ハウスに廻附した

米英石油協定の批准を慫慂

（ワシントン四日）石油工業戰時評議會は三日夜米國上院に對し、昨年九月ロンドンで締結された米英石油協定を速かに批准するやう要請する旨の聲明を發表した、同評議會は戰時の石油問題に關する聯邦政府の顧問機關として戰時石油長官によつて創設されたものだが、評議會々長ウイリアム・ボイドは、同評議會がその所屬機關たる全國石油政策委員會提出の「米英石油協定は米國にとつて有益であり、上院の批准を得る十分な價値を有する」旨の報告を採用した旨言明した、ボイドの談によれば、全國石油政策委員會は新米英石油協定を檢討した結果、從前の協定に含まれてゐた米國にとつて不利な條項は削除されてをり、今後の國際石油取引の秩序ある發展に十分に寄與するものであるとの結論に到達したといはれる、石油工業戰時評議會は、新米英協定の結果國際取引の進行に當つて遭遇する石油問題を解決するために、效果的にして公正な機關が設置されるだらうとする全國石油政策委員會の立場を全的に支持してゐる

九月中の罷業五百五十件

（ワシントン一日發）勞働省は九月中の罷業件數について、十一日次の通り發表した

九月中の罷業件數は五百五十件で、罷業參加勞働者數は四十五萬五千名を算する、その結果三百六十五萬勞働日を喪つたが、これは全產業の計畫勞働時間の〇・六%に當る

歸還實現のため船舶罷業

（ヒューストン四日）CIO政治工作委員會の擔當者ホワード・マツケンジーは、在外部隊の本國歸還のため配船を督促するため、十二月一日を期して現に軍隊又は補給輸送に從事してゐない全船舶につき、管下從業員の總罷業を決行する旨聲明した、マツケンジーによれば、軍隊輸送のため利用し得る船舶は少くとも一千隻に上るが、このうち最少六百隻はほかの用途に使用されてをり、殆ど即時軍隊輸送に使用され得べく、他の四百隻は沿岸船渠にあるものである、今次罷業は純政治的なもので、要は政府を動かしてこれら船舶を軍隊輸送に振向け、クリスマスまでに在外部隊を本國へ引き揚げさせようとするものである

人造ゴムタイヤの大量生産

（エークロン＝オハイオ州四日）「ウオール・ストリート・ジヤーナル」紙通信員エドワード・ラリーは二日附の同紙に、米國のゴム製造業者が人造ゴムの製造の著しい發達に刺戟されて、今後二ケ年間に一千萬臺の自動車に使用されるだけの、人造ゴムタイヤを製造すべく計畫してゐる旨を報じてゐる、ラリーの報道によれば、三名のゴム製造業者は人造ゴムタイヤが天然ゴムタイヤと同等乃至はより優秀な素質を有するとは主張しなかつたが人造ゴムタイヤがこれまでに示した優秀な成績を誇示したといはれる、事實ゴム製造協會の調査報告によつても人造ゴムの包裝は、天然ゴムのそれと品質において甲乙なく、ゴム管に至つては人造ゴムの方がむしろ優秀であり、人造ゴムタイヤは概して過去二ケ年間に長足の進步を遂げたことが證明されてゐる

ブラジルで騷擾

（ブエノスアイレス四日）ブエノスアイレス市では四日元副大統領で十月政變の結果退陣したファン・ペロン大佐を大統領に選擧すべしとの民衆示威運動が行はれたが、これを阻止せんとして警官隊と示威運動者間に衝突が起り催淚彈が投じられる騷ぎを起した、示威運動阻止命令を出したのは內相スエリピエ・ウルグピレター將軍であるが內相は明年四月七日行はれる豫定の總選擧は嚴正公平の立場から行ふ旨を言明してゐる

昭和二十年十一月七日(水)
第五號

時事通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

【歐洲】

獨の中央政府設置に反對

(パリ四日發)フランス外相ジョルジュ・ビドーは四日新たに選擧された人民共和黨議員百四十名の第一回會議において、ドイツにおける中央政府の樹立に反對、次の通り述べた

フランス政府にしてベルリンにドイツ政府を樹立することに同意し、この政府がフランス國境から數哩の地點で命令を發し、フランスからの命令がもはやきかれぬといふ事態を承認する限り同政府の存在は許されぬこととならう、地域的取極めはサンフランシスコ會議において明白に認められてゐるのだ、我々は盲目的な愛國主義は排撃するが、勇氣あり且つ一瞬の油斷も許さぬ合目的な愛國主義は是とする

ついで黨の政策に移つて次の通り說明した

わが人民共和黨は社會黨、共產黨と平等の立場で三黨聯立內閣を組織する方針である、この場合共和人民黨が他の兩政黨と同等の發言權を有すべきことは言ふまでもない

以上ビドー氏の發言はド・ゴールを首班とする共產、社會、人民共和三政黨聯立內閣の樹立を示唆するものとしてパリ政界の關心をあつめてゐるがまた同黨は共產、社會兩黨勢力によつて左右されぬといふ決意を表明したものとも解される、ビドーを黨首とする人民共和黨は左翼カトリック教の政黨で、以前はカトリック民主黨と稱してゐた

ナチ司法制度を廢止

(ベルリン四日)聯合國ドイツ管理々事會はナチ司法制度を撤廢、かはつて一八七七年の裁判所構成法に基いてドイツ司法制度を改編する旨の布告を二日發した、右により警察裁判所及び大審院は復活されるが、占領軍に對しては司法權を行使することは出來ない

ルール炭田復活

(エツセン四日)UP特派員レーノルブ・パツカードは四日次の通り報道してゐる

米英ソ佛四國は、一九四六年四月末までにルール炭田の石炭二千五百萬瓲を輸出用に豫定してゐるが、以上の目標が實現することはほぼ間違ひない、英軍管理下の炭田は十月に四百二十萬瓲を產出、終戰以來の最高水準に達した、但し右出炭高の內バケツ一つの石炭もドイツ人の家庭には配給されない、以上の數字は爆撃による被害や勞働力の不足輸送の困難等にも拘らず、戰前ナチ政權のもとで各種の條件が理想的であつた當時における最高數字の三分の一に達してゐる、十月の出炭量のうち、約二百萬トンは內蘭兩國並びにノルウエー、デンマーク、ルクセンブルグ各國に輸出された

北露內陸水路近く完成

(モスクワ四日發)「プラウダ」紙の報道によれば、レニングラード=リアルハンゲ=リスク內陸水路は一九四一年六月二十八日ドイツがソ聯を攻撃した一週間後に爆撃破壞されたが、明春には完全に修復し再び機能を開始する豫定といはれる、從來はスカンヂナヴイアを遙々まはつてレニングラードとアルハンゲリスクとの間の輸送連絡をつけてゐたが、右水路が完成されれば僅かに百四哩で濟むので、あらゆる點で非常な經濟となる譯だ

歐洲でも九千萬人餓死線上

(ロンドン四日)アンラ農業專門委員H・ケース博士は、チエコスロヴアキア、ギリシヤ、イタリア、デンマーク、オランダ、ベルギー、ユーゴスラヴイヤ、ノルウエー各國の食糧生產狀況を視察した後四日次の通り言明した

歐洲各國人が每日二千カロリーの營養を攝取するには、一九四六年の收穫季までに九百萬トンの食糧輸入が必要である、歐洲各國の都市だけでこの冬には約九千萬人が飢餓線上を彷徨することとならう

これら諸國における食糧生產高はあるひは總高において全國民の最低必要量を充し得るものであるかも知れないが同時に飢餓に當面する多數の都市生活者が存在するのだ、アンラは既に百萬トンの食糧を東南歐に送附し、乳牛二千四百頭を積み出したが、さらに冬季間を通じて月五千頭の牛馬、騾馬を送る豫定である

「報道自由」修正案下院通過と反響

（ワシントン四日）米下院は中歐諸國が米記者の報道の自由を許容するといふ條件でアンラへの醸金五億五千萬弗を可決したが「クリスチヤン・サイエンス・モニター」紙ジョゼフイン・リツプレーは二日以上の問題に關して次の通り論じてゐる

若干の國は新聞記者の入國制限を撤廢出來るであらうが、依然として檢閲制度乃至報道制限は嚴存するであらう、すくなくとも過去の經驗では檢閲官の赤ペンは事政府の政策に不利と思はれる記事ならば、遠慮なしに抹殺してしまふ、ユーゴスラヴイアでは、チトー元帥がアンラ物質をアンラ當局が直接配給することを拒絶してゐるためにアンラの救濟は停頓狀態にあつた、もつともアンラ物資が港灣に到着したときから、ユーゴ遊撃隊が全面的に配給に當ることに決着して鳥となつたが、一時はアンラ當局がオブサーヴアとして配給の監督をする特權すら拒否されてゐた

アンラ物資はアルバニア、チエコスロヴアキア ギリシヤ、イタリア、ポーランド、ユーゴスラヴイア、中國のほかにオーストリア、朝鮮、臺灣でも配給されることとなるが、これらの國の二三では米國の如き報道の自由は全くない、從つてアンラに對する支出に報道の自由といふ條件をつけることは合理的でもあり正しくもあるが、報道の自由といふものが別樣に理解されてゐるため、果して實際に行はれるかどうかは疑はしい

「報道の自由」修正案は百八十八票對百六十六票で辛じて下院を通過したが、民主黨側が修正案に反對を唱へたのに對して、共和黨が南部民主黨議員の援助を得て、修正案の通過に成功したのである、共和黨の主張するところは、米國民は自分達の金が海外でどんな風に費消されてゐるかを、自分達の新聞ラジオで知らされる權利があり、かかる條件を付さぬ限り、米國の報道機關はアンラの活動狀況の眞相を知ることが出來ぬといふ點にある

對獨戰と空軍力

—對獨戰略爆撃調査委員會發表—

聯合軍の空爆を受けた後、ドイツ人が如何に速かに工業生産を回復することが出來たか、之は驚くべき事實だつた、石油工業だけでも五萬名の人間が生産を續行するための修繕作業に從事してゐた、然しドイツ軍が制空權を失つて後は、繰返し行はれる聯合軍爆撃によつて、修繕班員の努力も空しくされた

英空軍は手初めに工場爆撃を試みた後、都市爆撃に移行集中した、英空軍の都市爆撃中ドイツに最も大きな打撃を與へたのは一九四三年八月のハンブルグ爆撃で、ドイツ側の推定によれば、死者六萬名乃至十萬名を出し、破壞家屋は全體の約三分の一に及んだといはれる、然しながら、一九四四年の秋までは、英空軍の都市爆撃もドイツの軍需生産過程に影響を及ぼすには至らず、却つて軍需生産力は全體として上昇し續けてゐた、原則として工場は都市周邊に散在してゐた關係上、空爆の損害を蒙らなかつた、空爆の直後こそ生産力はやや後退したが、數週間以内には回復された

米空軍は各種産業及び施設——精油、運輸、操車場——こそ最も有望な目標であるとの考をもつて對獨空爆に參加した、然しながら對獨爆撃の多くは爆撃技術に制限を加へるやうな惡天候と戰闘條件の下に敢行されなければならなかつたため精確度を害されることが多かつた、調査によれば、精密目標に對して投下された爆彈のうち目標區域内に落ちたものは僅か二〇%に過ぎなかつたといふ、一九四四年に至り、聯合空軍はプロエスチ油田の集中爆撃を行つたため、ダニューブ河の機雷敷設と共にルーマニアから送られる石油量は減少した、そこでドイツは、人造石油工場に依存するを餘儀なくされたが、一九四四年七月には全工場の爆撃を蒙り、生産高は月三十一萬六千噸であつたのが、一九四四年九月には五千噸に減少した、交通機關に對する爆撃は決定的打撃でドイツ經濟は完全に破壞され、軍需生産は全種目に亘つて減産を見、生産された物資を前線に送ることは困難となつた、結果として工場爆撃は地域爆撃——無差別都市爆撃よりも效果的であつた

昭和二十年十一月七日(水)
第五號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

勃總選擧後國家形態を決定

(ワシントン二日)米國に非公式に派遣されてゐるブルガリア政治使節團長ヴラヂーミル・ストイチフ中將は二日バーンズ國務長官を訪問後、記者團に對して次の通り言明した

ブルガリアの總選擧は豫定通り十一月十八日に行はれる筈だが、總選擧後に直ちに臨時議會が召集され、政治形態を共和國にとるべきか否かを決定する、また早急に憲法が草案されよう

瑞西、埃政府を承認

(ロンドン四日)スイス・ラジオによれば聯邦政府はオーストリアのカルル・レンナー臨時政府を承認するに決定した

波の貿易回復は五年後

(ワルシャワ四日)ポーランド貿易相ステファン・ジエドリウスキーは四日、同國貿易の將來に關し次の通り言明した

ポーランドは今後常に輸入國として存在し戰前の輸出量を回復し得るには少くとも五ケ年を要しよう、ポーランドは復興期間中あらゆる種類の製造品を必要とするから、一九五〇年以前には米英兩國との間に盛に貿易を行ふといふわけにはゆくまい、ポーランドは在歐米軍の餘剩資材中、自動車、トラック、機械類、車輛數千臺衣料多數を譲り受けたいと思つてゐる、將來輸出を再開し得るとしてもその主なものは米國向け肉類である、因みに戰前の米國向け輸出額は五千六百萬弗、米國からの輸入額は一億三千萬弗であつた

【英　國】

英、對ソ關係調整へ動く

(ロンドン四日)ロンドンの五ケ國外相理事會の會議を契機として米英兩國とソ聯との見解はバルカン問題を中心に截然と分れるに至つたが、トルーマン、スターリン兩者の努力によつて米ソ關係は最近好轉の兆を示してゐるに對して、英ソ關係調整の聲も最近頓に昂つてゐる模樣だ、以上に關聯して「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特派員は四日次の內容の觀測を行つてゐる

「モスクワ駐劄英國大使サー・アーチボルド・クラーク＝カーの歸任を俟つて、英ソ關係を袋小路から脫出せしめ、一般國際協和の線に沿つて兩國間に蟠る誤解の若干を取り除くために、何等かの手が打たれることは必至とみられるに至つた、同大使は東歐問題ならびに原子爆彈に關する英ソ兩國間の意見對立を一掃するやう指令を受けてゐるといはれるが、大使がモスクワ歸國後直面する特殊の問題を列擧すれば次の通りだ

一、第二次世界大戰中における英ソ兩國間の協力關係を平和時にも實現すること

一、東歐問題に關する英ソ間の諒解を達成し、英國內の對ソ疑惑感を一掃すること

一、フランスが要求してゐるルール、ライランド兩地方の問題を解決するため、聯合國のドイツ管理問題に關する會議を開催すること

一、原子爆彈に關する英國政府の態度とアトレー首相の華府訪問の使命をクレムリン當局に說明して、ソ聯の疑惑を一掃すること

そこで問題となるのはソ聯の對英態度だが、ソ聯は現外相ベヴインよりもイーデンの方が親ソ的であつたとして現勞働黨內閣の外交政策を白眼視してゐるだけにイーデン時代に任命されたクラーク＝カーの立場も一段と苦しい譯だ、それだけにクラーク＝カー個人としてはソ聯の受けもよい譯で大使の今後の活動が大いに期待されてゐるが、大使はスターリン議長に宛てたアトレー首相の親書を持たずに歸任する事に決定したやうだ、大使は今回の英ソ關係調整を最後にワシントン大使に轉出したい意向と傳へられるが、ハリファックス卿はもう一ケ年間ワシントンに留まつてゐる模樣でダフ＝クーパーもパリに腰を落付けてゐるから、結局英國政府の主任外交顧問に落付くといふこととならうし、勞働黨執行委員長のラスキー教授も以上の計畫を支持してゐると傳へられる」

下院、トルーマン政策を討議

（ロンドン四日）英國下院は保守黨々首チヤーチルの要求に基き、來る七月、トルーマン米國大統領の闡明した外交十二原則に對する討議を行ふ筈である、先に外相アーネスト・ベヴインは下院において、英國政府は全的にトルーマン政策を支持する旨言明したが、チヤーチルは保守黨としてはアトレー首相がワシントンへ向け出發するに先立ち右政策を討議したい旨要求した結果、政府もこれに應ずることとなつたもので、政府側としてはアトレー首相又はベヴイン外相、或は双方が答辯の矢面に立つべく、保守黨を代表するチヤーチルとの間に活潑な論戰が交へられよう、大體討議は六時間に及ぶものと思はれるが、アトレー首相もトルーマン大統領との會談に先立ち、好い參考材料を得るわけである、外交界の消息によれば、アトレー首相は米國に向け出帆の直前、九日のロンドン市長主催の午餐會に臨み、外交問題に關して一場の演說を行ふはずある

濠洲兵の復員狀況

（メルボルン四日）濠洲首相ジョゼフ・B・チーフレーは四日次の通り述べた

終戰以來十月三十一日までに濠洲兵七萬人が復員を完了したが、一九四六年一月三十一日までに更に二十萬人が復員する豫定である

【國際機關】

食糧農業管理會の世界政策

（ケベック三十一日）聯合國食糧及び農業管理會は三十日「豐富な經濟」に關する世界的綱領を暫定的に採擇した、右綱領は農產、林產及び水產物の市場及び統計を包含するもので三十六ケ國の代表により全會一致可決された、收入の少い國へ廉價をもつて食糧を供給する修正案は可決されたがかかる食糧はその國によつて最も窮迫せる家族へ配分されることになつてゐる、また過剩生產を購買力が少く、著しく營養失調狀態にある國の窮民達へ特に配給するため優先的條件で供給する特別の取極めも同時に採擇された、六組の委員會から提出された報告書はいづれも採擇されたが、それ等は更に最終本會議で最後的決定を見ることになつてゐる、販賣委員會の推薦案は

一、迅速な市場ニユーズの蒐集とその發表

二、國際標準、階等、商標等の作成を目的とする技術方面の國際的協力及び食糧の榮養價及び純度に關する同樣の標準の作成

三、國際物資協定の取極めに關する連絡委員會の設立

等の諸條項を含んでをり、農業委員會の報告は農業生產の最終目標は、人類全般に安定せる基礎の食糧を與へるために世界の土地資源を確立し專門知識の發達を促進するにあることを言明してゐる、同委員會は地方における厚生施設の改善、土地資源の開發及び保存、技術的科學的資源の交換並びに開拓機關の擴充、農業及び保護食糧の生產增加に對する繼續的な科學の適用、戰災國、熱帶及び亞熱帶地域を含む特殊地域に優先的待遇を與へる農業融資政策の作定等を推薦してゐる

なほ二十日の總會で採擇された販賣委員會の報告は、生產者に適正な利潤を保證し、消費者が支拂ひに耐へ得る價格をもつて生產者から消費者に行渡るやうな方途が講ぜられぬ限り、食糧の增產は無意味であり、榮養の最大水準を設定することも同樣無意味であるといつてゐる

【戰後處理】

泰緬鐵道建設の犧牲者

（ロンドン四日）マウントバツテン司令部の言明によれば、日本軍が泰緬鐵道建設に使用した聯合軍捕虜總數は七萬三千五百二名であり、內僅かに一萬二千二百六十九名が無事生還したのみである死亡が確認されたものは二萬四千四百九十名であるが、殘餘についての調査はまだ完了してゐない右數字はクアラ・ルンプールの英軍諜報部に提示された日本側の報告に基くものである

昭和二十年十一月七日(水)
第五號
時事通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【解　說】

パレスチナ紛爭とその背景

パレスチナのユダヤ人をどうするかといふ問題は歐洲戰終了後再燃した形であつたが、去る十一月三日のバルフオア宣言記念日を契機として俄然深刻化し、歐洲、西亞を通ずる最大の政治問題と化するに至つた

最近における直接の動機は十一月一日夜から二日朝にかけてのユダヤ人行動團體のパレスチナ鐵道に對する組織的攪亂工作で、全國鐵道の五十個所が遮斷され、阻止せんとした警官隊との間に武裝衝突が起り、多數の犧牲者を出した、エルサレムからのAP電報によれば、修理に約三日間を要するといはれるところからみても、事件そのものは些したるものではないが、その政治的影響は極めて大きい、事實、以上の事件を契機として、アラブ民族のパレスチナに對するユダヤ人入植反對の態度は急激に硬化、バルフオア宣言記念日の前夜たる二日には、パレスチナ各地でユダヤ人とアラブ人との間に衝突事件が發生、英國政府も事態の容易ならざることを知つて、不慮に備へるためハイフア港に巡洋艦一隻、驅逐艦四隻を急派したほどである

△アラブ人の示威運動

事態を更に悪化せしめたのは、二日カイロに勃發したアラブ人のユダヤ人襲撃事件だ、この襲撃事件は殆んど暴動といつてもよいほどの規模を持ち、數千のアラブ人がシオニスト運動の打倒を叫んで、ユダヤ人住宅區域および商店街を襲つて、掠奪暴行の擅まをつくし、さながらポグロムを思はせる慘事を惹起せしめた、ユダヤ人もアラブ暴徒に對抗して武器をもつて抵抗、カイロの下町一帶は市街戰の巷と化したといはれるが、AP電報によれば死傷者三百八十名を出し、騒擾を鎭壓するために催涙ガスが使用された樣子である、このポグロムはカイロだけに止まらず、アレクサンドリアその他エジプトの主要都市で例外なく勃發してゐるが、更に二日レバノンでは全國的に反シオニスト示威運動が展開され、ベイルートからのロイター電報によれば、レバノン政黨同盟は大會を開いて次の七個條の決議を採釋、その貫徹に乘り出すこととなつたといはれる

一、パレスチナに對するユダヤ人の入植禁止
一、ユダヤ人に對する土地賣却の禁止
一、他のアラブ諸國のユダヤ人に對するシオニスト運動の波及防止
一、シオニスト運動者の商品ボイコツト
一、パレスチナにおけるユダヤ人植民地の一般開放
一、追放された回教說教師のエルサレム復歸
一、パレスチナ政府に對するユダヤ人の干渉排撃

更にトランスヨルダン國王エミール・アブドウラ・アマンは三日立法會議の開院式に臨み

パレスチナの聖地を保護するため、全アラブ民衆はシオニストの侵略を阻止するため團結するであらう

と述べたといはれ、カイロにおいてはアラブ回教協會の指導部は青年回教徒聯盟本部において會議を開催、パレスチナにおけるアラブ指導者の即時釋放パレスチナにおける獨立した民主々義的アラブ人政府の樹立その他二個條の要求を決議、國際聯合に提出することとなつた

他方エルサレムからのAP電報によれば、パレスチナのユダヤ人祕密放送「イスラエルの聲」は三日

エヂプトにおける反シオニスト暴動の勃發は、アラブ諸國および歐洲におけるユダヤ人にとつてパレスチナが彼等の聖地とならねばならぬことを愈々確信させるものだ

と呼び掛けてゐる

△紛爭の經緯

パレスチナは周知の如く一二四四年以來回教徒の手中にあり、一五一六年オツトマン帝國の支配を受けるに至つたが、十九世紀の中葉に世界各國のユダヤ人が民族的鄉土を建設しようとしてパレスチナに流れ込み、一八九七年にはシオニスト運動の機關が組織された、第一次世界大戰においては英國はアラブ人およびユダヤ人の社會的經濟的勢力を利用する必要上アラブ人の獨立を公約した

これが一九一五年のマクマホン誓約だ

しかるに英國は一九一六年にはパレスチナを含む地域の分割を規定したサイクス・ピコ協定を締結、更に一九一七年バルフオア宣言を發して、パレスチナにユダヤ人の民族的鄕土を建設することを公約した、パレスチナは結局一九二〇年のサンレモ會議で英國の委任統治領となつたが、英國のこの二枚舌的政策は將來に大きな禍根を殘し、爾來パレスチナを繞るアラブ、ユダヤ兩民族の軋轢相剋は深刻の度を加へるに至つたのである

今次大戰では英國は戰爭遂行と西亞の安全保障のためパレスチナ「休戰」を提唱して、アラブ、ユダヤ兩者の容れるところとなつたが、戰後對立は再び勃發し今日に至つたものである、パレスチナ問題に關する米英兩國政府の態度は明かにされてゐないが、英國首相アトレーが近くワシントンを訪問する際には當然トルーマン大統領との間にパレスチナ問題が議せられるものと豫想され、ロイター記者ジョン・キムチによれば、英國政府はパレスチナを折半してアラブ、ユダヤ兩民族の居住地域を劃定し、エルサレムを一種の中立都市にする腹案とみられてゐる

パレスチナのユダヤ人問題は現象的には宗教の相違に基礎をおく民族間の對立となつてゐるが、問題はしかく簡單ではない、英國王立國際問題研究所の調査によれば、一九三八年におけるパレスチナの總人口は百四十一萬八千で、うちアラブ人回教徒八十九萬、ユダヤ人四十萬となつてをり、人口においてはアラブ人が優位を占めてゐるが、ユダヤ人は主として工業界および金融界に勢力を占め、主として農民からなるアラブ人を經濟的に壓迫してゐる實狀にあり、これ以上ユダヤ人の入國を許すことは、パレスチナのアラブ人にとつて完全な自殺行爲であると稱されてゐる

またパレスチナ以外のアラブ諸國がシオニスト運動に反對するのは、パレスチナのユダヤ資本が益々勢力を得て、アラブ各國のユダヤ人と連絡を採り、それらの國のアラブ土着資本に大攻勢を展開してゐるためで、以上の經濟的基因が政治的要因と絡んでパレスチナ問題を愈々復雜化し激化せしめてゐるのだ

完全雇傭の途

—ウオレス商務長官演說—

十月三十日

我々が二つの方向の內何れを選ぶかといふ岐路は法近に迫つてゐるもし我々が產業上及び經濟上の平和と將來に對する自信を確保するならば我々は恐らく思つたより早く恢復し得るかも知れぬ

一方我々がこの危機的時代から脫却し得るか否かは確言し得ないが、これは經濟的社會的要因に支配される、之等要因中には產業上の平和、社會的寬容一般的な自信等があるが就中自信の念は他の條件の前提をなす程の重要性を有する、問題は三つの要素に分けることが出來る、第一に我々は將來に對する自信を有たねばならぬ、この自信は根據を有するものでなければならず單なる無考への樂觀主義であつてはならぬ

第二にかかる自信を導入するためには政府部內における協力關係をより良きものとしなければならぬ、卽ち米國の經濟活動に關係ある事柄につきより良き行政並びに立法的手段を講じなければならない、このことは米國及び爾餘の世界各國の經濟的政治的發展と密接な關係を有し、且つ米國全經濟機構の一大部分を占め且つこれに影響を及ぼす大きなしかも複雜な問題であり、我々は徒らに拱手して再び破綻を招くが如きことがあつてはならない、我々は是非とも我が行政及び立法上の諸手續きを近代化しなければならぬ

第三にもし我々が立法行政上の諸計畫の改善を速かに實行しない時は前述の自信は根底から覆へされ協力關係も無力化するに到るであらう

余は米國の傳統たる個人の自由乃至企業の自由の觀念から離脫することなく自由競爭的經濟にあつても、充分な雇傭の機會を與へ得ると確信してゐる、しかもこれはこの目的を損ねる種々の財政的制約にとらはれずに確實に實行し得るであらう特に余はこのことがわが財政機構の權威を危殆に陷れることなく實行し得ることを信じて疑はない

昭和二十年十一月七日(水)
第五號

時事通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

【今日の話題】

今年のワールド・シリーズ

「ニューヨーク・タイムズ」紙
週刊海外版より

デトロイト・タイガースが敵球場における後半四試合のうち三試合をものにして見事四對三の決勝戰にシカゴ・カブスを破づた世界野球選手權爭奪戰は野球史上空前の奇妙奇天烈なだらしのないもので、戰時野球がまだ足を拔き切れないでゐることを相當はつきり示してゐる、大リーグの試合さへ、もし戰爭が一九四六年まで續いたら後一年とは續かなかつたところだつた

時の流れは選手たちの上にも大きな影響を及ぼし、選手權爭奪戰も七試合の大部分がほとんど空地野球のレベルに墮してゐた、歸還勇士は大きな役割を演じたが、特に目立つたのは航空隊の大尉だつたハンク・グリーンバーグで、四年ぶりの出場にタイガースに選手權を齎す殊勳のホームランを放ち、七試合を通じてホームラン二本、二壘打三本といふ强打ぶりを發揮した

利かない踵をひきずりながら老グリーンバーグは三點獲得のホームランを飛ばして第二試合を勝利に導いた、その放つた三本の二壘打は、すべて第五試合に集中されタイガースのリードを保つ上に重要な役目を演じた、これは世界選手權に前例のないことだ、しかもかれは第六試合には二本目のホームランで同點に遭ぎつけ、戰ひを十二回の延長戰にまで持ち込んでゐる

タイガースはこの延長戰を失つたが、これも花形役者の一人たる敵投手ハンク・ボロウイーに殘る四回を投げさせた結果、ボロウイーが最後の第七試合にマウンドに立つた時には立派に取返しをつけたといへる、もしグリーンバーグのホームランで試合が補回戰に入らなかつたとしたら、選手權爭奪戰中四回もプレートを踏んだ使ひ過ぎのボロウイーでも最終戰で第一試合に劣らぬ好投を示しタイガースの猛打を抑へたかもしれない、ところが實際には第一回でまだ一人の打者も退けないうちに僅か九球を投じたのみでノツクアウトされてしまつたのである

△エラーの喜劇

年俸五萬五千弗のスラツガーとしてグリーンバーグは確かにバツトにかけては大物だが、守備の方面では到底戰前のグリーンバーグではない、その定まらぬ足許が失敗の種だつた、しかしその彼さへも他のタイガース外野手ほどではなかつた、彼らの守備の惡さは全く滑稽だつたといふほかはない

デトロイト・タイガースは幾多の缺陷があつたにも拘らず勝つた、理由はグリーンバーグの爆發的强打であり、投手團に左利ハル・ニユーハウザーとヴアージル・トラツクスとデイジー・トラウトの三羽烏を擁したことである、シーズン中に二十五勝を收めた野球界の最優秀投手ニユーハウザーは劈頭の一戰に九對〇の敗北を蒙つたが、見事に立直り、償ひをつけて、選手權試合の花形と稱する者さへあるほどの成績を擧げた

第五試合では彼はボロウイーに對して完全な返禮をした、ボロウイーはもとヤンキースに籍を置いたことがあり、アメリカン・リーグとナショナル・リーグと兩方に所屬して選手權試合に勝利投手となつたのは野球史上で彼が二人目だといふ

とにかくこの第五試合ではボロウイーの方がマウンドから追ひ出された、そして決勝戰の第七試合では比較的休養の十分だつたニユーハウザーの投球によりデトロイトは九對三の勝利と共に選手權を手中はしたが、一方ボロウイーは先頭打者から三人つづけて單打を浴びせられ、退場を餘儀なくされた、ニユーハウザーは戰友ポール・リチヤーヅがボロウイーを救援したポール・デリンジヤーから二壘打を奪つて壘上を一掃した三點を含みタイガースがこの回擧げた五點に守られて最後まで投げ切ることが出來た

△タイガースの花形

投手連やグリーンバーグの他にタイガースで花形だつたのは、守備こそ時に慘めだつたが安打十一本で打率三割七分九厘を擧げたドツク・クレーマー、二壘打二本を含み安打七本を放つたニディー・メーヨ、攻守共に華々しいところをみせたりチヤーヅ及びウエブ等の人々だつた

グリーンバーグとニューハウザーに續く者として特に優れた技倆を示したのはカブスのボロウイー、スタンレー・ハツク、クロード・パソー、フイル・キヤヴアレツタ、ビル・ニコルソン等であらう

なかでも恐らく選手權爭奪戰を通じて個人的に最も派手な藝當を演じたのはパソーだつた、第三試合のタイガースに對する彼のシヤツト・アウトは世界選手權試合として空前の見事な投手ぶりだつたといへるかもしれない、許した安打一本、四球一つ、二壘に達した者僅か一人で面した打者は二十八人といふ好成績だつたのだ、しかしこのパソーも第六試合の第七回目に爪を痛め、當然勝利投手となれた試合から退場しなければならなくなつたのだつた

ボロウイーをカブスの花形として擧げる人もある、彼は今度の選手權において一番働かされた投手であり、彼が負はされた重荷とか彼がアメリカン・リーグから追出された人間であるといふやうなことを考へれば、彼こそ他の如何なる選手よりも苦勞が多かつたといへるだらう

野球界切つての三壘手ハツクは第六試合までに二壘打三本を含む十一安打を放つてゐる、ことに最後の一本は第六試合の勝利點を稼ぎ出した安打で、これが妙なバウンドをしてタイガース外野手グリーンバーグの肩を越した、彼とクレーマーとフイル・キヤヴアレツトの三人は、一九三九年度選手權にアスレテイツクスと戰つたカーヂナルスのペパー・マーチン及び一九二五年度にパイレーツと戰つたセネタースのサム・ライスの最高安打記錄に後一本で追ひつく所だつた、ハツクは確かにタイ記錄が新記錄を出すと思はれてゐたのだ、が第七試合の出來が殊の外惡く、遂に無安打に終つた、キヤヴアレツタは最高打率四割二分三厘を擧げ、ニコルソンは八點の打點を稼いでゐる

△カブス七回目の逸勝

カブスが選手權試合を失つたのは一九〇八年にタイガースに戰つてこれを破つた時以來實に七回目だ、タイガースの方は七回選手權試合に出場してやつと二回選手權を獲得したが、面白いことに二度とも相手はカブスだつた

この選手權試合は入場者數でも賣上高でも最高記錄を樹立した、卽ち有料入場者數は三十三萬三千五十七人で、從來の記錄たる一九二六年度のヤンキース對カーヂナルスにおける三十二萬八千五十一人を遙かに凌駕してゐる

第二回北海道華府無着陸飛行成功

（ワシントン一日）B29四機による北海道からワシントンに至る六千五百五十三哩の第二回無着陸飛行は成功裡に一日夜完成した、先頭機の非公式飛行所要時間は二十七時間三十四分である、右四臺のB29は北海道の基地を、三十一日二十時九分（GMT）出發ワシントンに十一月一日二十三時三十八分（GMT）に到着した、各機は一萬五百八十ガロンの燃料を積載して北海道を出發したがワシントン着陸當時尙八百ガロンを殘してゐた、編隊長は第二十航空隊司令フランク・A・アームストロングTR代將で、陸軍省發表によれば大圈コースに從つてアツツ、コデイアツク、シトカ、ポート・セント・ジョン、ウイニペツグ、經由で太平洋を橫斷した、各機の間隔は五十哩であつたが全機とも先頭機着陸後三十三分間で着陸した、第一回の北海道ワシントン間無着陸飛行は、バーネー・ヂヤイルズ中將の指揮下に行はれたが、燃料不足でシカゴに不時着したことは既報の通りである

ソニヤ・ヘニー離婚

（シカゴ一日）フイギニア・スケートの世界的選手で映畫女優として有名なソニヤ・ヘニーはニューヨークの金持スポーツマンたるダニエル・トツピングとの五年餘にわたる結婚を解消する旨双方の辯護士から發表された、なほトツピングは嘗て女優アーリン・ジヤツヂとも結婚してゐたことがあり俳優との離婚はこれが二度目である

大正十五年十月五日第三種郵便物認可　編輯發行人　桂田增三　東京都麹町區日比谷公園

昭和二十年十一月九日(金)　第七號

時事通信　海外電報

世界の焦点

終戰當時しきりに科學振興が叫ばれた、敗戰の原因が科學の劣勢にあつたからだ、これでは科學振興も軍國主義の變形にすぎない、と心配した吾人が苦勞性だつたのか、或ひは一般日本國民がとくな生れつきなのか、とにかく昨今では諸の買出しが新聞のトツプを占めて、政府も國民も前途に飢餓と寒氣を眺めながら何ら打つ手のないことを曝露してゐる

科學的な手を打てといふ、だが實際に科學的とは何を指すか、それが分つてゐない、科學が身についてゐないからだ、外電や外國の新聞雜誌は常に多くの科學ニユーズを傳へるが、そのニユーズは必ず工業化又は實用化された事實だ、日本の新聞で時々見たペニシリンやDDT末の完成の記事のやうに話だけでお目にかかれない幽靈ニユーズとはちがふ、勿論出來ないことをしろといふ意味ではない、一足飛びに斬新な發明や高級な文化生活を望んでも仕方がないのだから、水道やガスや交通機關のやうなものだけでも早く全施設を十分に生かすやう皆で努力して、生活を合理的、文化的にしたいものだ、そんな所から國民の考へ方に筋道がついて來て、言ふ理窟も生きて來る、いまのままでは生活の軌道さへないのだから、自然物の見方が勘だけを賴つたり、運を當てにしたりするやうになる

從來の妙な教育方針のために日本では科學とか數學とかいふと、定理や公式を丸暗記してそれを他のことに當てはめることだつた、實は科學的とはその定理や公式を發見し若しくは假定する過程のことなのだが、そんな贅澤はこれからの教育政策にまかせるとして、いまは指導者が定理を與へ公式を示して科學の便利重寶ぶりを國民に味はせる模倣の科學だけでも欲しいものだ、常識的な合理主義でもよい、周圍をふりかへれば不合理だらけではないか、道理だと知つたら疑はずにその通りやればよい、國民よ、もつと理窟つぽくなれ

目次

【歐洲】
トリポリタニアで反猶太暴動……六二
パレスチナに英軍增强……〃
埃國王、猶太教長老と會見……〃
寂寥の革命記念祭……〃
佛憲法議會第二日……〃
米軍のドイツ占領行政報告……六三
榮養失調全面化か……〃
中國對米借款要請……〃
アトレーの宿舍は白堊館……〃
【歐洲】
モロトフ、革命記念演說……六四
スターリン軍布告……六五
モロトフにレーニン勳章授與……〃
軍政から民政へ……〃
ドゴール辭任……六六
佛憲法議會開く……〃
獨艦艇を要求……〃
ドン・ファンのマニフエスト……〃
元芬大統領その他を逮捕……六七
ユーゴ、希兩軍協力……〃
希、賠償要求額發表……〃
白、戰時戒嚴令解除……〃
【英國】
アトレー、新聞の自由を强調……〃
基督教は時代遲れ……〃
【戰後處理】
日本占領の成功を賞讚……〃
極東諮問委員會第二回會議……六八
ボーレー、十二日東京着……〃
【米國】
勞資會議執行委員決る……〃
海運會議米國代表決定……〃
原子エネルギー法案の目的……六九
金屬資源不足を警告……〃
アトレー首相ワシントンへ……〃
米大統領の訪佛否定……七〇
最低賃銀五十仙か……〃
【科學ニユーズ】
原子爆彈工場動搖……〃
頭腦機械……〃
米陸海軍の超高速カメラ……〃
【資料】
不承認政策の得失……七一
米國の母子保護法……七二

トリポリタニアで反猶太暴動

（ロンドン七日）パレスチナを繞るアラブ、ユダヤ兩民族間の對立は漸次西亞全土に擴大、各地に流血の衝突事件が發生してゐるが、さらに北阿に波及、カイロのシオニスト襲撃事件からリビアのトリポリタニアに飛火するに至つた、英國情報省は「トリポリタニア地方の首都トリポリ港にアラブ人の反ユダヤ暴動が勃發したが、詳細は不明」と七日發表したが、カイロからのAP電報によれば、暴動は極めて大規模のもので、さながら、ポグロム（ユダヤ人虐殺）の觀を呈し、アラブ人の群衆は全市のユダヤ人住宅を襲撃して、掠奪暴行の限りを盡し、ユダヤ人死者七十四名、アラブ人一名を出したといはれる、以上の事態に鑑み英駐屯軍が直ちに出動して警官隊と協力、暴動鎭壓に努めてゐるが、更にロイター電報によれば、駐屯軍司令官は掠奪者をその場で射殺するやう命じ、五人以上の集團は直ちに解散、解散せぬ場合は發砲するといふ非常措置を採つてゐる樣子だ

パレスチナに英軍增強

（エルサレム七日）パレスチナ地方不穩については英政府は更に六日增援部隊をハイファに上陸せしめたが、これによつてパレスチナ駐屯軍勢力は五萬に達した

埃國王、猶太教長老と會見

（カイロ六日）パレスチナに對するユダヤ人入國を繞るアラブ、ユダヤ兩民族の對立は異常に激化し、エヂプトではアラブ人のシオニスト襲撃事件が最近頻發してゐるが、エジプト國王ファルーク二世は六日午後エヂプトのユダヤ教長老ハイム・ナフム師を招いて、四十五分間に亘り協議した

寂寥の革命記念祭

（モスクワ七日）第二十八回革命記念日を迎へたソ聯では戰爭終了後最初の記念祭であるだけに盛大に擧行されたが、AP報道によれば毎年恒例の革命記念演說を行ふスターリン議長は今年は顏をみせず、かはつてモロトフ外務人民委員が主として外交問題に關して演說を行つたことはソ聯國民を深刻に失望させてゐるといはれる、スターリン議長は一ケ月ばかり前からクリミヤのヤルタ近郊にある夏宮で保養してゐたのが、記念日には間違ひなくモスクワに歸つて、記念演說を行なふばかりか、赤い廣場の觀兵式に親しく姿を現はすと確信してゐたモスクワつ子の驚きは想像にあまりあるモロトフの演說はクレムリン宮の聖アンドレの間で行はれ、ラジオで全國に中繼されたが、この日プレジデイウムにはウオロシーロフ、ジユダノフ、カリーニン、ジユーコフの亙頭連も顏をみせず、一入寂寥の感を深めた、また觀兵式の一時間前に通常發せられる赤軍最高司令官スターリン大元帥の赤軍に對する布告もワシレフスキー元帥が代理署名してゐる、赤い廣場の觀兵式は盛大に擧行され、赤軍參謀總長アントーノフ軍大將が次の祝賀演說を行つた

ソヴエト聯邦は平和的發展期に入つたが、赤軍は月桂冠に憩ふことなく、不斷に練磨向上に努めねばならない、赤軍は將來社會主義祖國の自由と獨立の防塞とならう

佛憲法議會第二日

（パリ七日）フランス憲法議會は六日に引續き七日から各代議士の資格審査に入つたが八日中には終了しいよいよ新憲法起草に着手することになるなほ六日の左翼各派合同會議で採擇された共同政綱には

勞働組合の企業經營參加、外國貿易の政府整理
フランス帝領植民地の漸進的解放、新聞社による通信社の監理、檢閱制度の撤廢、聯合諸國間の協力强化、フランス銀行その他主要金融機關ガス、電氣、海運、公共諸事業、炭坑、製鋼、爆藥製造の國營化

等があるが急進黨、人民共和黨は企業國營化については決定を留保してゐる、共產黨社會黨の左翼政黨は以上のほか、スペイン、ポルトガルのファシスト政權の排除、集團保障制度を支持するためにフランスは領土擴張の意圖を放棄すべしと決議した

米軍のドイツ占領行政報告

(ワシントン七日)米軍のドイツ占領行政に關する全般的な報告が、六日ワシントンにおいて軍政長官アイゼンハワー元帥の名で發表されたが、要旨次の通り

一、ドイツ占領行政については米英ソ佛四國代表の全員一致を必要とするので、管理々事會が結局において處理出來る問題の比率は減少した、米軍の政策は、英佛ソ三國の意見が一致した場合には出來るだけ協力するにあり、相互に見解の合致を圖る以外管理々事會が本當に成果を收める事は出來ない、九月においては、理事會は逐次「運動量」を增し且つ圓滑に任務を遂行した

二、公安については、米軍の占領治下ではドイツ國民は一般に秩序的だが、失業青年群の散發的活動については、軍政當局は嚴重に監視を加へてゐる、之等青年層の關聯してゐる諸事件は今までのところ局地的且つ比較的重要でないが、ドイツ人の間に不安の氣構へが逐次濃厚になつてゐることは否定出來ない

一、食糧事情は米軍の占領地區における最も重要な經濟問題である、食糧は現在の配給割當量を維持するに足りず、九月ドイツ人の健康を調査したところでは、人口の六〇%までは基準榮養量以下の生活を續けてゐるので、榮養失調と疾病とを誘致する惧が大きい、しかも今年の麥作は過去七ケ年の平均作に比べて一七%低い

一、現在米軍の占領地帶では工場の約一五%が操業してゐるが、操業率は生產力の五%に過ぎない、生產の水準は深刻な石炭不足のため甚しく制約されてをり、近い將來に石炭の增產を豫想することは出來ない

一、ドイツ工業の非ナチ化は强力に推進されてをり、既に八〇%までは非ナチ化を了した、二十二工場が賠償に振り向けられることとなつたがなかに球軸業工場一、造船所二、機械發動機工場四、爆藥工場四、光學機械工場一などが入つてゐる

榮養失調全面化か

(フランクフルト七日)「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙特派員カール・レヴインは米英佛三國の榮養專門委員らとともに、十日間に亘りドイツ西部各地の食糧事情を調査したが、調査の結果について次の通り報道してゐる

「調査の結果ドイツ西部では食糧不足が危機的段階に達してゐるとの從來の情報が確認された、現に各地に窮民が續出してゐるから、米國としては卽時救濟手段を講じなければならない、一番ひどいふのはザール、ルール兩地方だが、深刻な榮養不良の危險はドイツ西部一帶至る所に見られる、若し食糧を輸入出來なければ疫病が流行つて占領軍がその影響を受けるばかりでなく、歐洲各國にも波及するかも知れない、前回の報告では一日一千五百五十カロリーの榮養が絕對必要な最低限度だといふことになつてゐるが、調査の結果ではザール地方その他フランス軍占領地帶では、多數ドイツ人が僅か九百カロリーで暮らしてをり、同地帶のどこへ行つても千三百カロリー以上の榮養を攝取してゐるドイツ人は一人もゐない、ラインランド北部卽ち英軍の占領地帶でも、ドイツ人は全く「手から口へ」のその日暮しで、小麥の輸入を期待してゐた英軍代表も實際には殆ど輸入がないのに今更のやうに驚いてゐる、米軍の占領地帶では多少事情はいいが、幼兒の死亡率は增加し少年の健康も頓に低下してゐる」

中國對米借款要請

(ワシントン七日)輸出入銀行總裁テイラーは七日中國が米國に對して戰後借款供與方を要請し輸出入銀行は目下この申込みに檢討を加へてゐる旨言明した、然し中國の要請した借款の額が幾許であるかは言明を避けた

アトレーの宿舍は白堊館

(ワシントン六日)ホワイト・ハウス當局は六日次の通り發表した

英國首相アトレーは十、十一の兩日、原子爆彈に關する三國會談の間、ホワイト・ハウスの客となる、同首相はカナダのマツケンジー・キング首相とともに當地に到着する豫定である

【歐　洲】

モロトフ、革命記念演說

＝スターリン議長演說せず＝

（ロンドン六日）モロトフ外務人民委員は第二十八回ソ聯革命記念日の前夜たる六日夜從來の慣例を破つてスターリン議長にかはつてモスクワ市ソヴエート廣間の演壇に初めて立ち、數千の聽衆を前にして革命記念演說を行つた、BBC放送によつてモロトフ外務人民委員の演說要旨を紹介すれば次の通り

△平和を守護する利害關係は大國の熾烈な軍備擴充政策と何等共通なものを持つてゐない、原子爆彈の使用は恐るべき破壞力を示したが、原子エネルギーは未だ侵略を阻止し平和を維持するために全然その價値を實證してゐないのだ、原子爆彈の祕密を獨占することは許されない、その祕密を一國乃至數國が保持しようとしても絕對に不可能だ、ソヴエト聯邦は原子エネルギーを發見するであらう

△ドイツの壓制から歐洲を解放したのは赤軍の業績だが、ソヴエト聯邦が日本に對する戰爭に參加したのは、極東におけるわが國の安全を慮ばかつてのことであつた、歐洲戰終了後、日本帝國主義を掃蕩する問題が當然のこととして提起された、ソヴエト聯邦は盟邦諸國のためばかりでなく、その安全のためにも極東の戰に對して超然としてゐることは出來なかつた、日本を擊破することが必要であつた、太平洋における勝利を安定强化することは、あらゆる民主々義國家の關心事である、さればこそソヴエト聯邦は日本に降伏條件を履行せしめるため聯合國の管理を樹立する件につき、聯合國と商議することに極めて大きな意義を附與してゐるのも當然であらう、しかるにこの問題については未だ滿足すべき結果を得てゐないが、滿足すべき結果を得ることが如何に大事であるかは自明である、併しながらソヴエト聯邦はあらゆる平和愛好國が侵略主義日本に對する勝利を安定强化し、聯合國間に協力關係を樹立する必要を認めることを切に希望する

△歐洲戰においてソヴエト聯邦が演じた役割については、一ケ年前に同志スターリンが述べた言葉を想起しよう、同志スターリンは當時「ソヴエト聯邦の國民はファシズムの桎梏から歐洲を救濟した」と述べられた、歷史はソヴエト民衆に對するこの負債を決して忘れないであらう、最も大きな障碍は除去された、全世界は西も東も共にファシズムの脅威から解き放たれた、我我はいまや「勝つた」といふことが出來る、我我は祖國が遂に西におけるドイツの侵略の脅威東からの如何なる侵略からも解放されたと見做すことが出來よう、いまや我々は勝利を强化するために平和な建設工作に着手することが可能となつた

△ソヴエト聯邦はヒトラー主義に對抗して結成された民主々義諸國の聯合の果した役割を忘れてはならない、ヒトラー・ドイツを崩壞せしめたものは偉大な米英ソ三國の提携である、併しながら我々は米英兩國が西部戰線に第二戰線を結成する前年に赤軍が戰局を一變せしめたことを忘れ得ない、赤軍はドイツに對して既に恐るべき重壓を加へてゐたのである、ドイツがソヴエト聯邦は責任ある指導者によつて統率されてゐる强國であることを知つたときソヴエト政府が立派に自衛する力を持ち、極めて困難な重役に十分堪へ得る力を持つてゐることを知つたとき戰爭の歸結は既に決定した、スペインその他の國はヒトラーに對して公然と援助を與へた、ドイツ軍侵寇の脅威は英國の空低くのしかかつたもしもソヴエト聯邦に對するヒトラーの作戰が成功を收めたならば、歐洲全土はヒトラーの蹂躙するところとなつたであらう、ソヴエト聯邦においては三萬千八百の工場が破壞され、八萬五千の共營農場が灰燼に歸した、これがドイツの侵略によつてソヴエト聯邦が蒙つた損害の一部分である

△ロンドンにおける五ケ國外相會議の失敗は致命的なものではない、かかる意見の相違は戰爭前にも、戰爭中にも發生した、しかしながらクリミヤ會談における決定を履行するためには、まだまだ多くの事がなされねばならない、米英ソ

昭和二十年十一月九日(金)
第七號
時事通信
海外電報
特別輸送郵便物認可

三國提携の力はいまや平和に向けられねばならぬのである

△最近外國の新聞に赤軍兵士がソヴエト體制に對して批判的態度を持ちながら歐洲から歸國してゐるといふ記事が見受けられるが、かかる事實は全くない、外國から歸つてきたソヴエト國民はソヴエト國家に對して一段と強まつた愛情と獻身の情を抱いてゐることは興味ある事實だ、彼等はウイーン、ブダペスト、ベルリンその他到るところで、勞働者や民主々義分子との間に共通の言葉を見出してゐる、それだからといつてソヴエト國民がファシスト陣營にあつた舊敵の全てを友人扱ひにすると期待することは不可能だ、樞軸の敗北とともに、歐洲の多くのファシスト乃至半ファシスト國家は民主々義國にかはつた、これらの國を干渉してはならない、支持してやらねばならぬのである

スターリン軍布告

(モスクワ六日)第二十八回ソ聯「十月革命」記念演説はモロトフ外務人民委員が初めてスターリン大元帥にかはつて行つたが、スターリン大元帥は月餘に亘る南部保養地からモスクワに歸還、六日夜赤軍に對して布告を發し、日獨兩國を仆したのは聯合國の結束した力であつた事實を指摘し、ソ聯の今後の主な任務は恒久の平和を確立强化することである旨を强調した

モロトフにレーニン勳章授與

(モスクワ六日)ソ聯最高會議幹部會は六日モロトフ外務人民委員およびペトロフ重慶駐剳ソ聯大使の兩者にレーニン勳章を授與した旨發表した

軍政から民政へ

(ワシントン六日)ドイツにおける米軍占領地區長官代理ルーシス・クレー中將は五日陸軍省における記者團會見で次の通り言明した

「米軍の軍政地區においては一九四六年六月一日まで軍政から一般占領行政の轉換が完了する豫定で、二月には轉換の過程が相當進む事とならう、來年の採入れ時までにドイツ人を養つてゆくために米軍の軍政當局は陸軍省に對し、三十萬噸の食糧輸送を要請しなければならなかつた、終戰當時米軍は約二千萬噸の食糧を保有してゐたが、更に三十萬噸追加せねばならなかつた譯である、軍政當局としては重要な行政機關が三分の二まで民政官に引渡された時に、米國の民政長官に行政を全面的に引渡す方針である、現在の軍政下において重要なポストが二千五百あり、うち五百は米國の民政官が擔當してゐる、今回ワシントンに歸還したのは最高統帥部に對し、米軍の占領行政は最高司令部の方針を嚴重に遵守してゐることを確言するためだ、米軍の政策はドイツ人の國民生活から完全にナチの影響を拂拭し、ドイツ軍の武裝解除と非武裝化とによつて、非ナチ化を實現することを主眼としてゐる、勿論ドイツの戰爭能力をとりのぞいてしまふことが右政策の一部を構成してをり、いかなる軍需器材乃至裝備の製造も許さず、間接にでも戰爭と關係あるいかなる器材の製造も許さない、たとへばドイツ國民の民需に應ずる以上の機械類、化學製品の製造も禁止されるわけである

米軍の占領地帶においてはドイツ人による政治機構が逐次出來上つてをり、既にバイエルン、ヘツセ並びに北ウユルテンベルヒ三州では州政廳が出來ようとしてゐる、州の行政に關する責任は逐次ドイツ人に移讓され、新聞、ラヂオ、通信機關などの管理權はドイツ人の掌中に歸することとならう

ドイツ國民は自力をもつてはポツダム議定書において豫定されてゐるやうな生活水準を達成することが出來ない、工業は事實上停頓狀態にあり、石炭の生産と輸送とが根本問題だ、一日平均千五百五十カロリーの榮養を維持することも米國から食糧を輸入しない限り出來ない、三十萬トンの食糧が來年の收穫時まで必要だが一トンについて百弗即ち合計で三千萬弗の資金が必要である、勿論右資金はドイツ人が負擔しなければならないが、さしあたつては陸軍省の豫算の中から資金を賄ふ他はない」

ド・ゴール辭任

（パリ六日）フランス臨時政府首班シヤルル・ド・ゴールは、新らたに選出された憲法議會に對して六日辭任を申出でたが、議會は直ちにこれを承認したが再びド・ゴールを新憲法制定までの中間内閣の首班に選出すること確實である

佛憲法議會開く

（パリ六日）十月二十二日の總選擧によりて成立したフランス憲法議會は六日初會議を開いたが國民議會最初の議事は一般投票の結果に從ひ新憲法が制定されるまでの中間期間の政府主席の選定にあり、その前に先づ週末正式に新政府主席が選定されるまでド・ゴールに政府主席の地位に止まることを要請すると解される、目下の形勢ではド・ゴールが引續き新憲法が制定され一般投票で承認されるまでのフランス政府の主席として指定されることはほぼ確實と解されてゐる、新主席の決定を保つて議會は直ちに新憲法の起草に入り、第四共和制樹立の工作が緒につくことになつてゐる

憲法議會第一日、議長ボール・キユツトリがド・ゴールに對する國民の感謝の意を表明した際は滿場の拍手を得たが「今回の選擧はフランス國民も大部分がド・ゴールの新政府首班たることを希望してゐることを示すものだ」と述べた際は共産黨及び社會黨の一部はこれを默殺した、右によつて見るもド・ゴールが結局新政府の首班として指名されるにしても、それまでにはなほ相當の波瀾が豫想されてゐる

（パリ六日）フランス憲法議會の開會と時を同じくして、共産黨、社會黨、急進黨の左翼三派は合同會議を開催し左翼の共同政綱として

一、主要産業の廣汎な國營化
二、軍事費の即時大巾削減
三、フアシスト政權特にスペイン、ポルトガル現政權の排除
四、國内叛逆者の財産沒收
五、言論の自由
六、大財閥の勢力排除
七、カトリツク教會及び學校の國家支持廢止
八、官公吏の待遇改善
九、社會保險法の助長

等を發表した

獨艦艇を要求

（パリ六日）フランス參謀本部は六日の發表でフランス政府は米英兩國政府に對してドイツ艦隊の一部をフランスに引渡さるべきことについて要求を提出した旨を明らかにした、要求は二回に渉つて交されたが第一回はフランス海軍使節團により米英海軍省に對してドイツの戰艦及びその他海軍施設の引渡し、第二回目はロンドン、ワシントンの駐劄大使を通じて覺書の形でドイツの海軍々需資材引渡しの要求がされた、第一回の要求がなされたは本年六月で、フランスが對日戰に參加するため可及的速かにドイツ艦艇の引渡しを得たい旨が通達されたとフランス政府當日の聲明は述べてゐる

ドン・フアンのマニフエスト

（ローザンヌ六日）スペイン王位の正統後繼者ドン・フアン側近の談によれば、ドン・フアンは近くロンドンでフランコ反對の聲明書を發表する旨をフランコ宛通告するだらうといはれる

最近ドン・フアンの許にはフランコから目下のスペイン政治組織の改組案についての提案がフランコの特別使節によりて齎されたが、ドン・フアンはこれを全く無視する態度をとつてをり、問題は何等解決に近付いてゐない、スイス方面の觀測では、フランス政權の沒落が遲れてゐるのは陸軍部内の派閥抗爭によるもので、陸軍將官連は一應フランス政權を打倒し、王政復古をなすべしとの意向に一致しつつ、如何にしてフランス政權を打倒すべきかについて意見の不一致を來してゐると見てゐる、即ちモスカルド將軍の如きは王政の下にフランコの勢力の維持を主張するに對して他の將官連は官全なフランコ勢力の抹殺を主張してゐる、ドン・フアン一派の見解ではスペインに無血革命を實現するためには先づ陸軍部内の意見統一が先決問題だと主張してゐる

昭和二十年十一月九日(金)
第七號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

元芬大統領その他を逮捕

(ヘルシンキ六日)フインランド政府は元大統領リスト・リチほか七名の戰時中の政府指導者を戰爭犯罪人として逮捕した旨六日發表した、右の八名は一九四一年から四四年までフインランドがドイツに與してソ聯に對して戰爭を行つた罪を問はれたもので、裁判は來週人民法廷において行はれる手筈である

ユーゴ、希兩軍協力

(ロンドン六日)アテネ情報によれば、ユーゴスラヴイアの國粹黨總帥ドラジヤ・ミハイロヴイツチ將軍を支持する數百の遊擊隊は最近ギリシヤ領フロリナ附近でチトー軍と衝突、戰端を開いたが附近の營所に屯してゐたギリシヤ軍が干渉して、ミハイロヴイツチ遊擊隊員の多數を捕虜とし、殘餘はチトー軍がユーゴ領内に追ひ込んだ、右はとかく反目を噂されてゐたギリシヤ、ユーゴ兩國軍の協力關係を示すものとして注目される

希、賠償要求額發表

(アテネ六日)ギリシヤ藏相グレゴリー・カシヤテイスは六日次の通り發表したギリシヤはドイツに對して三十億弗、イタリアに對して三億弗、ブルガリアに對して四億弗の賠償金を要求する

白、戰時戒嚴令解除

(ブリュツセル六日)ベルギー政府は戰時戒嚴令を十二日以降解除する旨六日發表した

【英　國】

アトレー、新聞の自由を強調

(ロンドン六日)アトレー英國首相は六日、英國新聞編輯者會議において、全世界におけるニユーズの自由な流通こそ、國際協力に絶對不可決なる旨を強調した

基督教は時代遲れ

(ロンドン六日)ヨーク大司教シリル・ガーベツト博士は六日次の通り述べた

多數の英國人は今や結婚に關する基督教の觀念を棄てるに至つたので、今後結婚式は教會外での儀禮に限り、新郎新婦が離婚禁止の教會の信條を守る用意ある場合にだけ教會が祝詞を與へることにせねばなるまい

民防空の必要を强調

(ロンドン六日)民防空法を撤廢せずに單に停止するに止める旨の法案は六日英國下院で第二讀會を通過したが、法案の審議に當り內相ジエームズ・チユーターは次の通り述べた

將來如何なる必要が生ずるかも知れぬので、英國に於る戰時民防空組織を絕えず整備してをく事が必要である、英國は再び空襲を受けまい等と考へるのは見當違ひも甚しい、原子爆彈の實際的效果を調査する爲、政府は專門委員を日本に派遣したが、空からの殺戮方法が絕えず進步するので、民防空もこの進步に遲れぬやう配慮せねばならぬ

【戰後處理】

日本占領の成功を賞讃

(ワシントン六日發)米陸軍次官補ジョン・マツクロイは五週間に亘る極東及び歐洲占領地域の視察旅行を終へて五日ワシントンに歸還したが、マツカーサー元帥の日本占領政策の成功を賞讃して次の通り述べた

日本占領は極めて滿足に行はれてをり、いささかの紛糾を示すやうな何物をも認めなかつた、マツカーサー元帥は、ドイツにおける米國當局の直面しつつあると同樣の困難、卽ち住宅、食糧、石炭等の不足に惱んでゐるが、元帥はこれ等の難問題を急速に解決してゐる、元帥は完全な統制を維持してをり、能率的にして且つ完全に規律ある占領方式を具現しつつあるが、日本側からも完全な協力を確保してゐる、ドイツの占領方式に關しては最近トルーマン大統領及びアイゼンハワー元帥は米國軍占領地域の統治を將來ドイツ人の民政委員會に委讓する意向なることを示唆したが、余もこの計畫に贊成である

極東諮問委員會第二回會議

（ワシントン六日）極東諮問委員會は六日國務省に十ケ國の代表を集めて、第二回會議を開催した會議は二時間に亘り繼續された、會議においては米國代表フランク・R・マツコイ少將が常任委員長に、同じく米國代表ネルソン・T・ジョンソンが事務總長に、滿場一致をもつて選任された、委員會は更に七日午前祕密會を開催し、米國陸軍省民政部長ヒルドリング少將から、日本の詳細なる情勢につき說明を聞くことになつてゐる、ソヴエト聯邦の下院出席に關しては、未だ同國から何の通達もないが、國務省當局はモスクワに對し、たゞ會議の進行について情報を送つてゐる旨言明してゐる

また六日の會議においては日本に關する文書を陸軍省で出來るだけ早く作製し提出する件が論ぜられた、マツカーサー元帥の發する命令は、印刷に對して委員會に提出し得るやう、すべて航空機をもつて輸送される、會議を新聞記者に解放する點も、論ぜられたが、遂に決定を見なかつた、同委員會は、十月三十日の開會以來一週間休會してゐたもので、現在までの參加國は濠洲、カナダ、中國、フランス、英國、印度、オランダ、ニュージーランド、フイリピン、米國である

ポーレー、十二日東京着

（ワシントン六日）AP報道によれば、聯合國賠償委員會の米國代表エドウイン・ポーレーはトルーマン大統領の個人代表として日本の賠償問題を研究するため、來る十二日空路東京に到着する豫定といはれる

【米　國】

勞資會議議執行委員決る

（ワシントン六日）政府主催の勞資會議は勞資代表それぞれ十八名宛出席の下に、五日トルーマン大統領の演說をもつて開會されたが、六日は政府代表は會議に出席せず、勞資代表のみの出席によつて續開された、會議は直ちにその組織手續に入つたが、炭礦夫組合長ジョン・ルイスの要求によつて勞資代表八名をもつて構成されることとなつてゐた執行委員會が十六名に增加され、ルイスもその一員に加はることとなつた、即ち當初の豫定では委員八名はそれぞれ勞資代表双方等分に四名宛と割當てられ、勞働代表の方はCIO及びAFLに二名宛となつてゐたが、委員會擴充の結果勞資代表は八名宛となり、さらに勞働代表の內譯はCIO三名、AFL三名、炭礦夫組合一名、鐵道從業員友愛會一名となつた、この委員會擴充は明かにルイス工作の勝利とみられるが、AFL會長グリーンがルイスの要求を支持したことが注目される、執行委員會の顏觸れ次の通り

△資本家代表

エリツク・ジョンストン（米國商業會議會頭）
アイラ・モシヤー（全米製造業者協會）
H・W・スタインケラウス（ブリツジポート眞鑄會社）
H・Wブレンチス（アームストロング・コーク會社）
デイヴイド・サーノフ（米國ラジオ會社）
ウイリアム・ランド（モンサント化學會社）
M・W・クレメント
ジョン・ホームズ（スウイフト會社）

△勞働者代表

フイリツプ・マレー（CIO）
R・T・トーマス（CIO自動車勞働者組合）
リー・プレスマンCIO）
ウイリアム・グリーン（AFL）
マシユ・ウオル（AFL副議長）
ジョージ・ハリソン（AFL、鐵道書記組合）
ジョン・ルイス（炭礦夫組合）
T・C・キヤツセン（鐵道從業員友愛會）

海運會議米國代表決定

（ワシントン六日發）國際勞働機構主催の海運準備技術會議は來る十五日から世界各國代表出席の下にコペンハーゲンで開催されることとなつたが國務省は五日右會議に參加する米國代表の顏觸れを發表した、米國代表は政府、船主、海員三者の代表者から成つてゐる

昭和二十年十一月九日(金)
第七號
時事通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

原子エネルギー法案の目的

(ワシントン六日)下院軍事委員會は五日原子エネルギーの國内における發達及び管理に關する法案につきこれに何らの修正をも加へることなく有利なる報告を行つた、トルーマン大統領は去る十月三日議會に對する敎書において議會が原子エネルギーの國内における發達及び管理のための政策を定め機關を設置するごとき法律を制定することを要請し、陸軍長官パターソンは同日法案にその卽時制定を要する理由を附してこれを議會に提出したのであつた、同法案の主要目的は次の五點にあるとされてゐる

一、原子核分裂に關聯して現在使用されてゐる全政府財産の管理權を政府の一機關に集中する

二、あらゆる分裂可能な物質及び國民的危險な乃至軍事的または産業的に價値ある量のすべての原子エネルギーの完全な監督權並びに管理權をこの政府機關に與へる

三、原子エネルギー放出の過程及び方法を産業その他民需目的のための發達、開拓使用を促進しそのための免許の廣範圍に亘る配布を準備する

四、原子エネルギー並びに關係諸分野における研究を奬勵し、この分野の私的研究への干渉を避ける

五、原子爆彈の祕密に關し現狀に干渉することをさけ、原子爆彈との關係を通じて情報を入手せる人々によりかかる祕密が曝露されることを防止する權限を與へる

一方上院の原子特別委員會は、原子破壞の題目に關し科學的智識を得る爲に、八日から夜間講習會を開くことになつてゐる、又民主黨十三人共和黨五名から成る十八名の議員團は、原子エネルギー法案に關し、聽取會を催ほす目的を以つて「ランプレ」委員會を形成した、この委員會も八日に開催される、この非公式の委員會には、全議員が招待されてゐるが、さしあたり同委員會は、下院臨時委員會の手續について、何事も述べてゐない、但しこの一團は、下院委員會による公聽會が不滿足だと云つて、抗議したことがある

太平洋岸造船所のヘンリー・カイザーは去る五日官營鋼鐵工場の處理に關する上院專門委員會の公聽會に出席して、强力な原子爆彈攻撃により、甚大な被害に對する豫防手段として鐵鋼業の疎散を奬勵する事を議會に要望した

更に婦人有權者聯盟はトルーマン大統領に宛てた書簡において米國が世界的混亂をさける爲、原子爆彈の祕密を他の四十九聯合國にも分つことを慫慂した、同聯盟總裁アンナ・ロード・シュトラウス女史は次の通り述べてゐる

婦人有權者は、合衆國が安全保障理事會常任理事國として、又さしあたり爆彈の生産者として原子爆彈が安全保障理事會の事業の補助手段に使用されるやう態度を定めることを要求する、理事會は原子力の生産並に使用及びそれから得た武器の管理に責任を持たなければならない

金屬資源不足を警告

(ニューヨーク六日)內務長官ハロルド・イツキーズは六日發行の「アメリカン・マガジーン」誌に一文を寄稿、米國の金屬資源の不足につき次の通り警告してゐる

米國は今次大戰に於て金屬資源を著しく消耗した結果、今後次第にこれ等資源につき外國からの輸入に依存しなければならなくならう、石油、銅鉛、亞鉛、硫黃、天然ガス、カドミユーム、金、銀、ボーキサイト、ヴアナデユム、アンチモニー、タングステン、白金、アスベスト、マンガン、ニツケル、錫等の供給は三十五年以內で涸渴する豫想であり、また一九三五——三九年の消費割合で現在知られてゐる開發可能の資源をにらみ合せた場合、米國で百年以上の供給力をもつてゐる鑛山資源は石炭、ニトローゲン、マグネシユム、鐵鑛等を含み九資源に過ぎない、一九四〇年一月一日から一九四五年一月一日までの期間に、米國は實に五十億噸に上る地下埋藏資源を掘り出した、かかる事態に鑑み、われわれは屑金屬を從來より遙かによく利用する方法を發見すべく努力しなければならない、一方米國はその他の平和愛好國と共に今次大戰中に獲得した地域における鑛物資源を入手し得ることとしなければならない、なぜならば米國は今後その金屬については次第々々に輸入に依存しなければならなくなるからだ

アトレー首相ワシントンへ

（ロンドン六日）アトレー英國首相は原子エネルギー管理の問題に關しトルーマン大統領と會談するため十一月九日午後六時（ロンドン時間）空路ロンドンを出發、ワシントンに向ふ豫定

米大統領の訪佛否定

（ワシントン六日）四日「パリ・ミデイ」紙が報道した米大統領トルーマンの來春パリ訪問の說は五日大統領祕書代理イーベン・アイヤーによりて正式に否定された

最低賃銀五十仙か

（ワシントン六日）下院勞働委員會は目下最低賃金引上げ法案を審議中だが、政府案は、現在の最低賃金一時間四十仙から六十五仙への引上げを提案してゐるのにたいして、議會はその妥協案として最低賃金を五十仙とする法案を可決するのではないかと見られる、右に關し、下院勞働委員の民主黨議員ラムスペックは六日次の通り言明した

勞働委員會の承認する最低賃銀は五十仙に落着くべく六十五仙案の通過は困難と見られる、六十五仙への引上げはこれを率とすれば六六%の引上げとなり、これにたいし五十仙は二五%の引上げであり、この程度が資本家側の堪え得る最大限度であらう

【科學ニュース】

原子爆彈工場動搖

（ワシントン六日）原子爆彈計畫總監督レスリーR・グルースは六日次の通り言明した

原子爆彈計畫關係の勞働者、技師、科學者等百名が仕事の將來に不安を感じて退職し、生産は相當の低下を示しつつある、平和以來の雇傭狀態は四分の一以上が既に退職し、退職の意思を表示してゐる者は更に多い、俸給支拂簿も總計六八、七〇〇から五〇、四〇〇とかなりの減少を示してゐる

頭腦機械

（ニューヨーク五日）三日附「ニューヨーク・タイムズ」紙はマサチユセツツ州工學研究所の發明せる頭腦機械について次の通り報じてゐる

「マサチユセツツ州工學研究所の自動計算器は重量百トン、その人目を驚かす複雜な機械の中には電子管三千本、モーター百五十個、電線、數百哩繼電器數千個を有するが、殆ど如何なる發明もその比をみないほど、人類に近い働きを示す、これに風の速度と、地球の溫度及び回轉、氣壓、敵機の高度及び速度、その他若干の要素を與へれば高射砲隊の指揮官は、數秒にして命中彈を發するに必要なあらゆる諸元を有することが出來る、この機械に地震とか、音波とか、電氣機械の故障等の分析をさせれば直ちに片付ける、かつて專門家が數ケ月もかかつて解決したやうな問題が、數時間にして處理されるのである

數字は論理的であり、假說より終結に至る、しかしてここにこの順序を追つて働く機械がある、恰度推理の如きものが齒車に、眞空管に、コクルに、槓桿に移されるのである、然も類似はあやまち易い所に存する、技師は必ずしも數學者たるを要しないが、數學者が符號帳をたよりに問題を準備しなければ、テープに穴をあけることが出來ないといふ點は、自動ピアノのテープの場合と全く變らない、穴のあいたテープが問題を示し、それを解決する方法を示してゐる、結局機械はライノタイプより一寸ばかり進歩したものに過ぎない、ただこの新機械の意義は、數學の域を遙かに超えるものがある、ここには自ら調整し、自ら考へさへする完全に自動的な機械を設計するに使用された人智の新たなる機械學を見るのである」

米陸海軍の超高速度カメラ

（ワシントン五日）米國陸軍省は五日石英瓦斯管の光源を內部に有する超高速の詳細を發表した、このカメラは、露出時間約十二萬五千分の一秒にして光りは日光よりも明るいといはれる、操作は焦點を合せるのとシヤツターを切る以外は總べて完全な自動式である、外科手術の撮映の爲に陸軍軍醫部の要請に應じて製作されたものである

昭和二十年十一月九日(金)
第七號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

資料

不承認政策の得失

「ニューヨーク・タイムズ」紙論説記者アーサー・クロック

トルーマン大統領は海軍記念日の演説で、一國が他の一國に押し付けたいかなる外國政權をも承認しないといふ米國の決意を表明したが、これは歴代の米國政府が築き上げた外交方針と一致してゐる

一九三一年に誕生した「滿洲國」に對して不承認の政策が執られたが、それによつてこの傀儡國家の存續は妨げられなかつた、同國の解體は、日本が政治的に敗北した時にではなく、軍事的に敗退した後初めて現實となつた、それ故今後トルーマン大統領の不承認政策が重大な試鍊に逢着した場合、議會人の間には自ら次のやうな疑問が生ずるであらう、「滿洲國」と同じやうな事例に在つては不承認政策が果して現實に效果のある政策といへるであらうか、また不承認政策は武力の支持なくして實效を現はすであらうか

△不承認は道義の象徴

米國が不承認政策に訴へる傾向は近來漸次顯著となつてゐるけれども、外交政策の一端としての同政策は未だ全面的に成功を收めるに至つてゐない、われわれはアルゼンチンに對して暫く行つたやうに、國内革命の結果出現した政府を正式に承認することを拒んだ、またアジア諸國で日本が樹立したやうな外部から强制された政權をも承認しなかつた、しかし、以上の原則はあらゆる場合に一貫して適用されたわけではない、事實、今日たつた今ヴエネズエラ革命政府の承認が發表されたばかりである、スペインのフランコ政府は樞軸國の軍事的支持を受け、共和主義者を抑壓したけれども、それにも拘らずわれわれはこれを承認し戰時中これを利用した、唯、一般的傾向としては、われわれは一歩一歩不承認政策に傾いて來たのである

トルーマンの述べた不承認政策を支持する根據としては次の諸點が擧げられてゐる

一、不承認政策は米國の道義的指導權を端的に表明する

二、不承認政策は民主々義國としての義務であり、且又米國の民主々義護持に役立つ

三、それは又外部から强制された政府を打倒する最善の方法であり、今後かかる企圖の發生を防止する最も確實な手段である

四、米國外交政策の傳統に合致する

五、米國は今やあらゆる場合に不承認政策を斷行するだけの實力を備へてゐる

△反對論の論據

不承認政策反對の議論は次の通りである

一、武力の支持がない限り、不承認政策は大した實質的效果を發揮し得ない、而も米國が武力によつて不承認政策を裏付けるだけの覺悟がある場合は稀である

二、不承認政策は戰爭を誘發する可能性が多い少くとも承認しない國とされない國との關係が惡化するのは確實である

三、米國は承認されない國との貿易及び文化關係を斷絶せざるを得ず、その結果正當な米國投資が犧牲となる

四、不承認政策は必ずしも米國外交の傳統に合致するとは斷ぜられぬ、されば不承認政策實施に當つては個々の場合について得失を比較し、影響の及ぶところを考慮し、他の政策との利害の差を檢討した上で斷定を下すべきである

不承認政策反對論に從へば、滿洲國の場合をみても、この政策が何らの利益を齎さなかつたことがわかるし、むしろかかる政策を實施しなかつたならば、その後の事態の發展が戰爭に導くのを防止し得たかも知れぬといふのである、勿論戰爭を防止し得たかどうかは證明する方法がないし、從つてこの點については大いに異論もあるわけだ、しかし、反對論者は不承認政策の結果滿洲國が米國の公式情報網及び貿易に對して封鎖されたといふ現實の不利を指摘することが出來る

この議論はさらに米國がこれまで行つてゐたや

うに氣に食はぬ政權の存在する國からは外交代表を召還するのが賢明かどうかの問題に觸れて來る、われわれはドイツとアルゼンチンから外交代表を召還したが、日本にたいしてはかうして措置を執らなかつた、その結果、反對論者にすれば、ドイツとアルゼンチンの兩國については最も重大な時期に情報を入手する途も壓迫を加へる術も失つて了つたが、日本に關してはグルー大使が開戰まで東京に止つたため、後に非常に役に立つ情報が入手出來たのであつた（佐藤）

米國の母子保護法

—米國勞働省小兒局一日發表—

百萬名に上る出征兵士の妻及びその嬰兒は緊急母子保護計畫によつて現在既に保護を受けてをり今後も保護されることにならう、うち、六十五萬件は既に出生濟みの場合で、二百五十萬件はいまだ出產してゐない場合、殘り十萬は病兒である、以上の人々に對し、母子保護計畫が發動されて以來過去二年半に亘り種々の機會に議會が承認を與へた「嬰兒資金」一億弗のうちから醫師、病院、看護婦に要する一切の費用が支拂はれてゐるが、之は今後も繼續される、小兒局の保護計畫に關する實狀は次の通りである

一、「出產費用」は嬰兒一人につき平均百弗以下となつてゐるが、或る場合には一千弗以上を要することがある

一、病兒の醫療費としては平均六十五弗となつてゐるが、右額より遙かに高額に上る場合もある

一、保護法の對象となるのは大體において若い母親が多く、嬰兒一人を持つ者が最も高率を占めてをり、大多數は第二子を設けようといふ過程にある、報告によれば三人の幼兒を持つ者は極めて少い

一、これらの嬰兒は多種の國籍、民族を代表してをり、父親のうちには米國以外の國籍を持つ者にして米國軍に從軍してゐるものもある、或ひはまた母親が外國生れで海外派遣米軍と結婚した者である場合もある、出產費用は米國內で生れた嬰兒に對してのみ支拂はれるが、海外から連れて來られた嬰兒は一年間保護の對象となることが出來る、現在同保護法に對する申請は每月三萬五千件に達してゐるが、今後は相當に減少するものと豫想される、因みに母子保護計畫は小兒局の承認した計畫に基き各州保健部の手で遂行されてゐる

米海員勞働者罷業

（ヒューストン＝テキサス州＝六日）米國海員組合副組長ハワード・マツケンジーは五日組合所屬勞働者は來る十二月一日を期して罷業を決行することとなつた旨發表した、この罷業は「海外にある米國の將兵をクリスマスまでに米本國に歸還せしめるため利用し得るあらゆる船舶を兵員輸送に動員するやう政府に要求する」目的のためで、純粹に政治的要求に基く罷業である、罷業決行發表にあたりマツケンジーは次の通りその立場を明かにした

現在少くとも六百隻による兵員輸送に動員し得る船舶がそれ以外の目的に使用されてをり、一方四百隻もの船が米國の諸港灣に徒らに繫船されてをり、總計一千隻が兵員輸送に動員できるわけだ、たとへば南米水域では麥酒の空壜輸送に當つてゐる米國船あり、[illegible]われわれは政府に對して何回もできるだけ多くの船舶を歸還將兵輸送に振向けるやう要請したがきいれられず、却つて海外にある將兵はかれ等が急速に本國に歸還できないのは本國の勞働者が罷業を行つてこれがため船舶が利用できないのだと思ひこまされてゐる、罷業投票は全國的に行はれ、罷業參加の組合員は九萬に上らう

（**お斷り**）八日附資料「對ソ强腰論」は都合により不揭載と致します

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　桂田增三　東京都麹町區日比谷公園二番　時事通信社

昭和二十年十一月十日(土)　第八號

時事通信　海外電報

ゲーリング元帥を初めドイツの戰爭犯罪人二十三名——二十四名だが總統の官房長マーチン・ボルマンだけは行方不明だ——は、今ニユールンベルグ刑務所で十一月二十日から始る公判を待つてゐる、判事は四名、ソヴエト代表ニキチエンコ、米國代表フランシス・ビトル、英國のサー・ジョフリー・ローレンス、フランス代表アンリ・ドネチユ・ファブルで、既に三萬語に及ぶ起訴狀がこれ等「被告」に傳達されてゐるが、罪狀は四項目に分れてゐる

一、「平和に對する犯罪、戰爭犯罪、人類に對する犯罪」の計畫に參加し、「右計畫乃至陰謀の遂行について、自身の行動並びに一味の犯行に對して責任を問はれる」

一、「侵略戰爭乃至國際諸條約協定または保障を侵犯する戰爭を企畫し、準備し、發動し、もしくは遂行した責任」

一、一般市民の虐殺、虐待追放俘虜の虐殺、人質の殺害公私財產の掠奪、諸都市村落の故意の破壞等を初めとし、戰爭法規または慣行の侵犯

一、戰前または戰時における一般市民に對する虐殺、奴隷化、追放その他の非人道的行動、または政治的、人種的、宗教的根據に基く迫害

或るは四項目全部の責任を問はれ、或ひは一項目だけの責任を問はれてゐるわけだが、シヤハト博士とフオン・ノイラート男とかシユペア軍需相らは後者の範疇に屬するのだらう、ナポレオン一世がセント・ヘレナに流されて以來、戰爭犯罪の觀念は必ずしも新しいわけではなからうが、「ニユーヨーク・タイムズ」紙(十月二十一日附日曜版)は次の通り述べてゐる

法律的には今回の起訴は極めて重大な含意を持つてゐる、盜財國の指導者が國際的犯罪人として、個人的に責任を負ふといふ原則を確立することによつて、國際法の理論に新しい實體を加へることとならう、國家的侵略を法律的に禁止する道程への里程標である

【目　次】

東洋に平和の脅威あり……七四
危いかな日本の將來
英首相米國會で演說……〃
モントルー條約改訂案の內容……〃
米紙、モロトフ演說を歡迎……七五
スターリン、記念祭に缺席……〃
アイゼンハワー、祝賀會に出席……〃
波常備軍三十五萬……〃
超音速兵器部隊編成……〃
新速度記錄は六〇六哩か……〃
聖林の詩人死す……〃
瑞典三選手出場資格喪失……〃
【戰後處理】
大島大使等來週渓還……七六
日本管理の妥協案……〃
原子力と日本の敗北……〃
【歐　洲】
スターリン、蔣介石に親書……七七
大統領、革命記念日に祝電……〃
勝利を誇りとせよ……〃
チエコ再建への動き……〃
地中海方面米軍の解體……〃
ヒトラー捕縛計畫未遂……七八
【西　亞】
トリポリタニア平靜に復す……〃
【英　國】
ドイツの生產力を警戒……〃
新ベンガル州知事任命……〃
チヤーチル、ソ聯の政策を批評……〃
【國際會議】
三國會談豫定を發表……七九
原子爆彈會議はヨツトで……〃
米英財政會談進捗……〃
米英第二次ゴム會議……〃
【米　國】
陸海軍復員數……〃
市長選擧で民主黨優勢……〃
【今日の話題】
デムプシーとタニー……八〇
【資　料】
イタリアの休戰條件……八一
歐洲のインフレーション……八三
米國でもインフレーション……〃

東洋に平和の脅威あり

（サンフランシスコ六日）「東洋には世界の安寧に對する脅威が滿ち滿ちてゐる」UP社長ヒュー・ベイリーは六日北カリフォルニア出版者協會での挨拶においてさう言明した

ベイリーはマッカーサー元帥、蔣委員長、日本天皇らと會見した太平洋アジア地域二萬哩の旅行から歸着して僅か數時間後に出版者協會の會議席上に姿を現したもので、日本の「お辭儀とほほゑみ」の粉飾の蔭には根强い敵意が察知され、中國に於る內爭は著しく擴大してゐると報告し、今冬日本には飢餓と雨晒しと疾病のために多くの死者を生じようと豫言した、ベーリーは曰く

「ポツダム宣言を字句通り實行せしめ日本の改革が眞實なるやう監督する重大責任を有するマッカーサー元帥は、召集軍人が歸國を願ひ、米本國の民衆が男子家族の歸還を思ひ、彼らが現に歸國しつつある嚴然たる事實を相手としなければならない、同時にマッカーサー元帥は彼の被征服國に課する各種措置が間違ひなく遂行されるやう日本を警察する占領軍を編成しつつある、しかも眼前には冬が控え、日本は收容者の自治する抑留所のやうな相貌を呈し始めてゐるのだ

「飢餓と雨晒しと疾病」による死者は、日本の宣傳家がいふ一萬といふ數字には達しないまでも增加することだけは確實だ、マッカーサー元帥は自分に向つて日本國民は二度と軍國主義——やつとレースを終つたばかりの寵愛の乘馬——には乘らないだらうと語つた、だがもし日本の頑迷者流が日本現在の慘狀と混亂のうちに何事かを始める機會を見出さないとすれば、むしろ驚くべきことだらう、明かに政策は日本人に何ら食物乃至援助を與へることなく自らもてるものをもつて行はしめ全世界に對し日本人を恐るべき見本たらしめるにある、天皇に關していへば、彼は自己の地位を不安に感じてゐると信ずべき筋がある、天皇制の運命につき「降伏並びに復員の段階において天皇を維持したことは十分その目的を果しつつある」といつたマッカーサー元帥の愼重な言葉は確かに天皇が寬恕に依存してゐるといふ感じを强めるものだ」

危いかな日本の將來

（サンフランシスコ七日）UP社長ベイリーは七日米全土に對するラジオ放送において次の通り演說した

「日本は、外部世界から隔離されてをり、現在の奈落から（もし飛び出すとすれば）飛び出した場合にどんな國家とどんな國民が生れるかは自分として豫言したいとは思はない、確かに日本は穴の底に落ち込んでをり、少くともこの冬はもつともつと深く沈んで行くだらう、日本は收容者自身で運營してゐる大抑留所だ、もし少しでも食物が得られればそれを求めて殺到する、自分の得られる屋根の下には何でも入らうとし、米國人看守はそれを見てゐるだけだ、事態が現在の流れを續けるとすれば、日本は今まで以上に各國民に對する恐ろしい見本となつて、諸國民をしてまるで隣人をいぢめて戰爭の道を歩んでゐるやうな思ひを抱かしめるだらう、大部分の日本人は失業者で、その中には三百萬人の除隊將兵があり、うろうろぶらぶらして「時にむしろふてぶてしい位の感じ」を與へてゐる」

英首相米國會で演說

（ロンドン八日）PA報道によれば、アトレー首相はトルーマン大統領との原子爆彈會談のためのワシントン訪問に際し必ずや米國會で演說を行ふだらうといはれる

モントルー條約改訂案の內容

（ワシントン八日）米國政府は過般モントルー條約改訂に關する覺書をトルコ政府に渡したが、バーンズ國務長官は七日の記者團會見において次の通り言明した

米國政府はトルコ政府に對し、四ケ條の改訂を提案した、即ちダーダネルス、ボスフォロス兩海峽は常時あらゆる國の商船に對して解放され黑海諸國の軍艦は自由に通過出來ること、但し平時には他國の軍艦は協定の上限定された噸數のみ通過を許すことが大體の內容だ

昭和二十年十一月十日(土)　第八號

時事通信

海外電報　(第三種郵便物認可)

米紙モロトフ演説を歡迎

(ニューヨーク八日)モロトフ外務人民委員の革命記念演説は原子爆彈の秘密公開を要求し、日本管理へのソ聯の發言權を主張した點で各方面の關心をあつめたが、同時に聯合國間の意見飜齬解決に積極的態度を示したことは米國言論界に多大の感銘を與へてゐる、たとへば「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙は七日

モロトフ人民委員の演説は極めて道理に叶つてをり一時の意見分裂も困難も平和と世界秩序のために全て解決出來ることを示唆してゐると論じ、「セント・ルイズ・スター・タイムズ」紙も次の通り述べてゐる

モロトフ外相の演説はもやもやした雰圍氣を一掃して、戰勝の强力な動因となつた協力政策を維持することを要求したものだ、モロトフの見解はロンドンの五ケ國外相會議において、不幸にも喪はれた精神に貫かれてをり、米國政府も進んで以上の精神を體して仕事を進め得る性質のものだ、英國もまたモロトフと一致して將來に希望を持たねばならない

スターリン、記念祭に缺席

(ロンドン八日)スターリン議長が六日夜の革命記念演說を行はずにモロトフ外務人民委員をかはらせたことは前例のない大事件であるため、國內に深刻な不安驚愕の念を喚び起してゐることは勿論國外にも多大な反響を捲き起し、早くもスターリン議長病篤しの臆測が流布されてゐるが、モスクワからのAP電報が六日スターリン議長のモスクワ歸還說を傳へたにも拘らず、英紙「デーリー・メール」のモスクワ電報は八日クリミヤ西岸の保養地ソーチに滯在してゐると報じてゐる

アイゼンハワー祝賀會に出席

(ベルリン八日)ドイツ占領地域のソ聯當局は八日ポツダムのサン・スーシー宮において第二十八回ソ聯革命記念祝賀會を開催、約千名の各國要人が出席して盛會を極めたが、米軍政長官アイゼンハワー元帥は飛行機でフランクフルトからはせつけて、ソ聯軍政長官ジューコフ元帥と聯合國の友好關係のために乾杯した

波常備軍三十五萬

(ロンドン八日)モスクワ放送によればポーランド假政府國防相ローリヤ＝ジミエルスキー將軍は八日記者團會見においてポーランドは平時に三十五萬の常備軍を維持すると言明した

超音速兵器部隊編成

(ワシントン八日)米國陸軍地上部隊本部長ジェーコグ・デヴアース大將は超音速兵器の分野における科學的發達におくれぬため新指向火砲部隊を編成した旨發表した

新速度記錄は六〇六哩時

(ロンドン八日)英空軍ヒュー・ウイルソン大佐は七日噴射推進式戰鬪機をもつて三粁のコースを四回飛行し、平均六〇六哩時の公式世界速度飛行記錄を樹立した、公式記錄は現象フイルムが檢査官に提出されてから發表された、空氣抵抗から生じた熱のため操縱室の內部は華氏で五十三度の上昇をみた、從來の記錄はドイツ空軍のフリツツ・ウエンデルがメツサーシユミツトを驅つて樹立した四八一・四哩時だつた

聖林の詩人死す

(ハリウツド八日)「スクール・デイズ」「銀色の月光の下に」等の作者として知られる詩人ガス・エドワーヅは八日心臟麻痺のため急逝した、享年六十六

瑞典三選手、出場資格喪失

(ストツクホルム八日)瑞典體育協會は八日同國の世界的トラツク選手ギユンダー・ヘツグ、アルネ・アンデルソン、レンナルト・ストランドベリーの三名がアマチヤア選手規定を犯してアマチヤア競技大會の出場資格を失つた旨發表した

【戰後處理】

大島大使等來週送還

（ベツドフオード七日）米國々務省當局は七日次の通り發表した

ペンシルヴエニア州ベツドフオード・スプリングスの贅澤なホテルに抑留されてゐる元ドイツ大使大島博ほか百八十四名は來週早々同地を出發、日本に送還される

日本管理の妥協案

（ニューヨーク六日）タス通信社の報道によればソヴエト政府はソ聯、米國、英國、中國の四ケ國よりなる日本管理委員會を設置し、米國を常任議長とする案に贊成してゐるといはれるが、この提案はドイツにある管理委員會よりも寧ろバルカン諸國にある管理委員會に型取つた管理委員會を日本に設置するにある、タス通信社はソヴエト政府の公式の傳聲器であり、政府の公式發表そのものでさへある、ワシントンからの情報では、ソ聯が參加してゐないため二度までも延期の止むなきに至つた、極東諮問委員會の行詰りを打開するためにタス通信社の報道を妥協案と見做して承け入れられてゐるやうだ

トルーマン大統領およびバーンズ國務長官の樂觀的聲明から判斷すると、妥協の氣運に向つてゐるやうに思はれるが、ソ聯の提案は聯合國によつて既に設定された先例に基いてゐるといふ美點がある、それは恐らく場合によつては承認され得る最上の案と思はれる、但し一つの修正が必要だ、それは日本管理に同じ發言權を持つ小國の代表を參加させることだ、米國だけが日本に對する聯合國の政策を決定するといふ現在の仕組みは和戰兩局面において聯合國は協力するといふ理想に正確に合致するものではない

以上の事態に伴ひ、二つの方法がある、一はアイゼンハワー元帥による提案で、ドイツの管理委員會においてソ聯の發言權を認めることで、これは西歐諸國間に支持を得ることは疑問の餘地がある、他はソ聯の提案で、バルカンにおけるソ聯のやうに日本管理委員會の議長の椅子を恒常的に米國に與へることだ、いづれの型を採用するも、ソ聯と米國の兩者に倏に滿足を與へるものでなければならない

日本管理委員會の手續がバルカンの管理委員會によつて設定された先例を考慮に入れるならば、それは相互和解の餘地を殘すこととなり、日本やバルカンあるひは聯合國の協力關係一般にも良好な影響を與へることとならう

原子力と日本の敗北

（ニューヨーク七日）原子爆彈の研究生產を含む米國陸軍の全計畫を掌握するレスリー・R・グローヴ少將は七日ニューヨーク市公會堂年次講演第五十一回大會に「原子力と世界平和」と題して講演、原子爆彈が日本に敗北を自覺せしめた功績を稱へ、遠からずして各國民の理解の下に平和が保障されようとの希望を表明して、要旨次の通り述べた

「戰爭はずつと早く、恐くはミツドウエー海戰位で米國の勝利となつてゐたわけだが、日本國民はそれを知らず、日本陸海軍はそれを悟らず、軍閥はそれを容認しやうとしなかつたのだ、原子爆彈が戰爭防止の壓倒的な力を示さない限り、他に將來の戰爭を防ぎ得るものはあるまい、勿論單なる力が道德的原理に代るものでないといふ事實を忘れてはならないが、全世界に亙る健全な國內政策と國際政策の漸次的發展の時代を安全ならしめるために十分な力だけはもたなければならない、われわれは出來るならば知性と道義心と法とが支配力を獲得するための中間期——すべての國民が子孫をして一獨裁者の權力慾乃至野望に驅られた戰爭のために滅される惧れなく生活せしめる手段を生むために協力すべき時期——を必要とする、正しく發達し正しく行使されるときは、この力は確固たる平和の將來への道を明るく照らし得るのである」

昭和二十年十一月十日(土)
第八號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【歐洲】

スターリン、蔣介石に親書

(モスクワ七日)モスクワ駐剳中國大使館當局はスターリン議長が今週初め蔣介石委員長にあてて極めて重大な問題につき親書を送つた事實を七日發表した、親書の內容は明かにされなかつたが、恐らく中共問題に關するものとみられてゐる

大統領、革命記念日に祝電

(モスクワ七日)ソヴエト政府機關紙「イズヴエスチヤ」は革命記念日たる七日の紙上に世界各國の政府首腦からの祝電を大きく掲載してゐるが、トルーマン大統領の祝電が掲載されてゐないため種々の臆測が行はれてゐる、ワシントンからのAP電報によれば、トルーマン大統領は六日ソ聯最高會議幹部會議長カリーニンに宛てて祝電を發したといはれるが、恐らく遲く到着したため間に合なかつたので、八日の紙上に掲載されるものとみられてゐる、大統領の祝電內容次の通り
歐洲および極東における侵略勢力は完全に敗退した、國際聯合憲章は鞏固で恒久的な世界平和を求めるため、米ソ兩國民および他の自由國家の結束を實現するための幸福な前兆である

勝利を誇りとせよ

(モスクワ七日)ソ聯國防人民委員部次長アレクサンドル・ワシレフスキー元帥は革命記念日の七日赤軍將兵に對して次の內容の軍布告を發した
赤軍將兵は、第二次世界大戰の經驗を愼重に研究し、社會主義國家の忠誠なる守護者とならねばならない、自由を愛する國民の主要任務は行爲によつて恒久の固い平和を確保することである、赤軍は戰爭に勝利を得た際決定的役割を演じたものがソヴエト聯邦に屬したことを當然誇りとすべきである

チエヂ再建への動き

(プラーグ七日)桑港放送によれば、チエコスロヴアキア內閣は六日一旦總辭職、首相フイエルリンゲル博士は直ちに再組閣したが、僅かに二名の閣員が更迭したのみで、後任は共產黨員によつて占められたといはれ、以上によりチエコ內閣は共產黨の壓倒的勢力を吸收するに至つた、また六日夜のモスクワ放送によれば、チエコスロヴアキアに駐屯してゐた赤軍は撤收を開始、二三週間後には全員の撤收を完了する豫定といはれる
他方ドイツにおいては、曾て西部地域に居住してゐたドイツ人のソ聯占領地域から英國占領地域への大量强制移住が傳へられてゐたが、チエコスロヴアキア政府は近くドイツ人を自國領土からドイツ本土のソ聯占領地域へ强制移住せしめることに決定、ソ聯駐屯軍は旣に數週間前から鐵道を押へて、ズデーテン・ドイツ人强制移住の準備をすすめてゐる
ポツダム會談においてドイツ人の移住は「人道的な秩序ある方法」で行ふべきであるといふことが決定されて以來、チエコスロヴアキア政府はドイツ人の强制移住および「自發的」移住を停止してゐたが、ズデーデン地方のドイツ人が極度に困難な生活條件のため移住を希望してゐるので、今回の措置をとることに決したものとみられる

地中海方面米軍の解體

(ローマ七日)地中海方面作戰の米國軍部隊は十二月一日をもつて解體され、以後同方面に駐屯する部隊は歐洲方面駐屯米軍部隊の一部に編入されるに決定してゐるが、同方面米軍指揮官ジョゼフ・T・マクナネー將軍の言によれば、明年四月一日には三萬五千を殘して地中海方面より米軍の撤收が完了する豫定だといはれる
殘存部隊の配置はトリエスト地區一萬五千、空軍一萬、各基地殘留部隊六千五百、その他は運輸部隊監理委員會配屬部隊等である、地中海方面の米軍勢力が最高に達したのは一九四四年八月で海軍を含んで八十八萬二十五名だつた

ヒトラー捕縛計畫未遂

（ニューヨーク七日）「ニューヨーク・デーリー・ニューズ」紙のフランクフルト特派員ヘンリー・ウエールズは、米軍が本年四月落下傘部隊を使つてヒトラーを捕へる計畫を樹てゐた事實を素破抜いて六日次の通り報じてゐる

落下傘部隊を使つてヒトラーを捕まへる計畫は米軍戰略工作部長ウイリアム・ドノヴアン將軍のOKをとつたもので、同部員四十名が參加を申し出たほかに、ベルヒテスガーデン山莊の地理に明るいドイツ軍捕虜約二十名を參加させることに決定した、計畫といふのは戰鬪爆擊機隊の掩護下に落下傘部隊をベルヒテスガーデンに降下させてヒトラーを捕へる手筈だつたが、ヒトラーは當時ベルリンに留つてゐたので、米軍は計畫を樹て直す必要に迫られた、ところがそうかうしてゐるうちに赤軍がベルリンに突入したので、米軍はこの計畫を實施することはソ聯を刺激するといふので中止することに決定、結局ヒトラーは自殺したので未遂に終つた譯だ

【西　亞】

トリポリタニア平靜に復す

（カイロ七日）六日タリビア領トリポリタニアに勃發したアラブ民族の反ユダヤ暴動は、英駐屯司令部の暴徒射殺令が效を奏して大部分鎭壓され、七日には東部地方で二三の不祥事件があつた以外大體平靜に復した、英國軍當局の言明によれば異動はアラブ人の無責任な分子によつて企まれたものといはれる

【英　國】

ドイツの生産力を警戒

（ロンドン六日）製鐵製鋼業組合書記長代理リンカーン・エヴアンスは、六日、「タイムズ」紙に寄書し

ドイツには現在一九二九年當時に比し二倍の機械があり、ドイツ人が再びあらたな冒險に乘出さうといふなら、準備に大した時日を要しない

新ベンガル州知事任命

（ロンドン七日）英政府は七日元鐵道從業員組合長F・J・バアロースを印度ベルガル州知事に任命した、勞働組合の指導者がこの地位に任命されたのはバアロースが初めてである

チヤーチル、ソ聯の政策を批評

（ロンドン七日）英國下院は勞働黨內閣が政權を掌握し以來最初の外交問題討論を七日から開催したが、保守黨の首領チヤーチルは劈頭立つてソ聯の態度を次の通り批評した

ソ聯は原子爆彈の公開を迫つてゐるが、もしも事態が倒立して、英國か米國がソ聯に兵器庫の公開を迫つたとしても、ソ聯は恐らく祕密を公開しないであらう、英國は戰爭中ソ聯を大いに援助したが、ソ聯からの見返りは殆んどない、といつたところで英國が殊更に反ソ政策を採るとか、ソ聯に惡しかれと願ふ企てに參加するといふことは、英國の傳統的觀念乃至良心に全く背馳する、かかることが英國において行はれることは絕對にない、スターリン議長は偉大な人物だ、彼は依然政權を把持して、ソ聯といふ巨大な船の舵をとつてゐる、余は英國がトルーマン大統領の聲明した十二個條の米國外交政府を支持するやう希望する、アトレー首相は近くワシントン會談に赴くが、原子爆彈の生產行程を明かすやう米國に强要してはなるまいチヤーチルにかはつてベヴイン外相が立つて次の通り述べた

大國は須らく手の內のカルタを表むけてテーブルの上におくべきだ、もしも大國が英聯邦の咽喉頸をうろうろするならば、われわれが多少疑惑の眼でみるのは當然ではなからうか

AP報道によれば、ベヴイン外相は、ソ聯がトリポリタニアにたいするソ聯單獨の信託統治とエリトレア基地を要求、中東と極東を結ぶ英國の交通線を遮斷しようと望むことを暗示したものといはれる

昭和二十年十一月十日土曜日　第八一號

時事通信（海外電報）（第三種郵便物認可）

【國際會議】

三國會談豫定を發表

（ワシントン七日）ホワイト・ハウス當局は七日米英加三國頭首の原子爆彈に關する會談について次の通り發表した

英國首相アトレー並びにカナダ首相マツケンジー＝キングの兩氏は十日ワシントンに到着、原子兵器の管理問題に關しトルーマン大統領と討議を開始する、十日夜はホワイト・ハウスにおける正餐に引續き翌十一日兩首相は大統領と共にアーリントン墓地に赴き、無名戰士の墓前における休戰記念式に出席し、その後昨年米國で客死するまで米英合同參謀本部の先任英國代表であつた故サー・ジョン・デイルの墓に詣る、三頭首は墓地から直ちに大統領のヨットに乘り込み、ポトマツク河を下つて午後の周遊を樂しみつつ協議を開始する

十一日の三頭首のパーテイにはバーンズ國務長官、大統領幕僚長リーイ元帥並びに英國大使ロード・ハリフアツクスも出席するなほ、アトレー英首相は議會本會議に招待されることになる筈といはれ、ワシントンに數日間滯在した後歸途カナダに立寄るとみられてゐる

大統領新聞秘書代理イーブン・エーヤートは新聞記者團に對し兩首相の訪米を發表した際、蔣委員長乃至スターリン議長が訪米途上にあるとの報道に關しては何ら聞知するところがない旨言明した

原子爆彈會議はヨツトで

（ワシントン七日）ホワイト・ハウス當局は七日次の通り發表した

英國のアトレー首相並びにカナダのマツケンジー＝キング首相は十日ワシントンに到着、十一日ポトマツク河に大統領のヨツトを浮べ、原子爆彈の國際管理に關する三國會談を開始する豫定である

米英財政會談進捗

（ワシントン七日）米英財政會談は順調に進捗してゐると傳へられるが、バーンズ國務長官は七日◉記者團會見においてこの問題に關し次の通り言明した

對英財政援助に關する米英兩國の會談は順調に進捗してゐるが、いますぐ協定に到着する見込みはまづない、しかしながら會談が失敗に終るとは考へられない

米英第二次ゴム會議

（ワシントン七日）國務省は七日第二次米英ゴム會議が來る二十日からロンドンで開催されることとなつた旨發表した、米英兩國は本年一月ワシントンで第一次ゴム會議を開催してゐるが、今次會議では前回に引續き戰後のゴム問題を協議する筈である、因みにゴム會議の米國代表には國務省の國際資源部長ドナルド・ケネデイが任命された

【米　國】

陸海軍復員數

（ワシントン六日）陸軍省は五日、本年五月十二日から十一月二日までの期間に陸軍將兵二百五十三萬三千名が除隊となつた旨發表した

（ワシントン七日）海軍省當局の言明によれば、現在までに復員となつた海軍兵員は五十萬五千であり、本年末までにさらに百二十萬を復員させる豫定といはれる

市長選擧で民主黨優勢

（ニューヨーク七日）米國各都市の市長選擧の結果は目下續々開票中だが、七日中に判明したところによると民主黨が斷然優勢を示し、ニューヨークをはじめピツツバーク、クリーヴランド、ボストン等の大都市で民主黨候補が當選されたのに對し、共和黨は僅かシラキユーズ、バツフアロー兩市で勝利を收めたに過ぎない、殊に注目すべきはニューヨークの市長選擧で、共和黨候補ジョナ・ゴールトスタインが州知事トーマス・デユウイの積極的支持を得たにも拘らず、民主黨候補ウイリアム・オトワイヤー將軍に慘敗したことで、これはデユウイ知事の政治的生命にも重大な打擊を與へたものとされてゐる

【今日の話題】

デムプシーとタニー

拳闘といふものは人をノツク・アウトするのが本業らしいが、アメリカ拳闘界の二元老ジヤリ・デムプシーとゼーン・タニーの御兩人は雀百までのたとへを洩れず、最近アメリカのニューズ界に二つのクリーン・アツパーカツトを喰はした、デムプシーはテレヴイジョン會社の社長になり、タニーは上院議員になるといふのである

ニューヨーク七日電によれば、デムプシーのマネジヤーであるマツクス・ワツクスマンは同日デムプシーは年俸二十五萬弗で某テレヴイジョン會社の社長になるといふ、但しデムプシーはいま應召して海軍中佐であり、明年一月にならねば御放免にならない、話はその後の話である、然し、年俸二十五萬弗といへば、いかにもののケタのけた違ひのアメリカと雖も、アメリカ・スポーツ界では前代未聞の高給だ、デムプシーが社長になるといふテレヴイジョン會社は、アメリカの最有力な廣告事業會社の係系だといはれるが、名前はまだ發表されてゐない、交渉はすでに成立すみでデムプシーが除隊になり次第正式に契約に調印する手筈になつてゐるといふデムプシーはいま戰勝公債の宣傳係として南部西部諸州を廻つてゐるが、ニューヨークに一月歸り次第除隊される豫定で、も早四ケ年、軍の御用をつとめてゐる

會社側ではデムプシーと終身契約をしないと稱してゐるが、ワツクスマンの話では幾ら何んでも終身契約は一寸考へさせられるので、まづ五年位の契約に願ひ度いといふことである、契約條件の詳細は不明だが、その條件の一つにデムプシーが從來製作した及び將來製作するあらゆる映畫の獨占使用權を會社に委讓するといふ項目を含んでゐるらしい、會社ではこれをテレヴイジョンで放送するといふふわけだ、また契約條件の內には會社の社長になつても、從來通りホテルと酒場は經營して行つてよいといふことにはなつてゐる

當の本人デムプシーは以上の報道についてアラバマのバーミンガムで「何れにしてもマネジヤーと會ふまでは俺はなにも喋舌れない、何しろたつた今、その話についてはワツクスマンから電報をうけとつたばかりだ」と語つてゐる

片やタニーであるが、これは明年の上院議員選擧にコネチカツト州から打つて出るといふ、かれの年齡いま四十八歲、政治界に乘り出すのにはまだ前途有望の年配だ、かれの後援者はコネチカツト州の產業資本家、勞働組合の指導者だといはれてゐるが、スポーツには勞資の衝突はないものと見える、但し、政治とスポーツが同じものであるかどうかについては、かれの後援者は多くの反省はしてゐないらしい

タニーは一九三二年來、州の民主黨に關係してその方面で多くの知己を持つてをり、若し立候補すれば、アメリカ隨一の人氣雜誌「タイム」の社長の女房で共和黨の現議員クレア・ブース・リユースと中原の鹿を爭ふことになる、が、この人氣女と一騎打ちの勝負に入るまでには、必然再候補するとみられる現民主黨上院議員ブライアン・マクマホン、トマス・ハート提督等のコネチカツト民主黨の元老どもと一應立會ふ必要があらう、いづれにしても、デムプシー、タニーの米拳闘界の兩元老が各々新しい活動の分野に華々しく返り咲かうとしてゐることは、ここ當分のアメリカの茶話の種になるだらう

噴射推進機速度新記錄

（ロンドン七日）ウイリアム・ウイルソン大尉は七日世界航空聯盟規約に基く最初の公式世界速度飛行記錄樹立を企て、噴射推進式航空機「ブリタニア」により六〇二哩時の非公認記錄を作つた、右記錄は三粁のコースにおける四回の飛行時間を平均したもので、各回の記錄は六〇二哩時、五九二哩時、六一三哩時、六〇〇哩時であつた

またグロスター航空機會社主任試驗飛行士グリーンウツドも、同日世界記錄に挑戰し、「ミーテイア」機により六〇六哩時の新記錄を樹立した、右はいづれも從來ドイツの保持した最高記錄を一〇〇哩以上破つてゐる

昭和二十年十一月十日(土)
第八號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

資料

イタリアの休戰條件

—ワシントン六日—

米國々務省は六日、イタリアの休戰條件を發表イタリアにおける聯合國委員會の諸機能に關する新訓令の内容を明かにすると共に、説明において原協定の條件がいかなるものであり、それがいかに修正されたかを公表した、休戰文書はワシントン、ロンドン並びにローマにおいて同時に發表された

一九四三年九月三日の休戰條件原案は、一切の敵對行爲の停止、イタリア艦隊並びに航空機の引渡し、コルシカその他全イタリア領の降伏、港灣その他飛行場その他軍事諸施設の聯合軍による自由な使用等を要求する全く軍事的なものであつた右文書は

聯合軍司令官は武裝解除、復員並びに軍隊解消の諸措置を課する全權を有すべし

と述べてゐる、一九四三年九月二十九日、當時の聯合軍最高司令官ドワイト、アイゼンハワー元帥は當時イタリア政府首席であつたバドリオ元帥に書簡を送り、

降伏後の事態はイタリアの情勢を著しく變じ同國は事實上聯合國の與國となつた、九月三日の軍事協定は軍事上の必要乃至イタリア政府の協力の程度により、それが望ましい場合には時に應じ修正されるかも知れない

といつてゐる

この書簡に先立つこと數日、九月二十三日には地中海方面聯合國海軍司令官カニンガム大將と、イタリア海相ド・クールテン大將との間にイタリア艦隊及び商船隊の樞軸國に對する使用に關する覺書が調印された、協定は聯合國の戰爭努力に積極的に利用し得る船舶が、聯合國の命令のもとに使用されるやう委員會に保管され、他の船舶は維持を目的として武裝解除をさるべき旨指定してゐる、商船隊は「聯合諸國の商船と同條件のもとに」何處にでも活用すべく聯合國船舶プールに編入された

九月三日の準軍事的協定には「他の政治的、經濟的、財政的諸條件」に關する十一月九日調印のプロトコールにおいて追加條件が補足された、以上三文書をもつて完全な休戰條件となる、但し右條件の中にはイタリアの領土乃至財産の最後的處理に關する規定は全く存在しない

聯合國委員會議長代理ハロルド・マクミランの一九四五年二月二十日附の備忘錄は日常の行政問題における管理を緩和し聯合國の軍事的利害がそれを要求する場合にのみ、この種の管理權を行使することに同意してゐる

一九四三年十一月九日の財政經濟的諸條件のうち、重要なるものは次の通りである

第十九條第二項　すべての陸海空軍諸施設、發電所、精油所、公共施設、すべての港灣、すべての運輸通信施設、機械施設裝備、更に聯合國が必要とする場合ある如き施設乃至機械或ひは貯藏物資はその操作に必要な人員と共に、有能なるイタリア當局の手によつて完全なる狀態のもとに準備し置くべし

第二十條　本文書の規定にかかはりなく聯合諸國は既述の全區域において、占領國としての全權を行使すべし（即ち聯合國はイタリア武裝兵力の聯合軍司令官の命令により、撤退すべきイタリア領の若干部分の占領を要求することあるべしと規定した休戰條件を指す）右領土の行政權は宣言、命令または規則の發布によつて定められる、イタリアの行政、司法並びに公共機關の人員は別命なき限り聯合軍最高司令官の統帥下に自己の機能を遂行すべし

第二十三條　政府は聯合國の要求する場合ある如きイタリヤ通貨を用意すべし、イタリア政府はイタリア領における銀行及び實業の管理外國爲替及び外國の商業、金融諸取引の管理並びに貿易及び生産の統制等の爲に聯合國により要求される措置を取るべし

二月に發表せられたる備忘錄には次の如き部分がある

第二條　聯合國委員會の政治部は一九四五年三月一日以來開始され、イタリア外相は主要國策に關する問題については委員長と協議すべし

第三條　イタリア政府は依然外國の外交代表と直接關係を保つべし、聯合國委員會は如何なる交渉についても、イタリア政府より絕えず一般報告を受くるを要す

第六條　イタリア政府は、イタリア政府の管轄内の領土におけるイタリア政府の命令その他法制に關し、もはや聯合國委員會の承認を受くる必要なし

第七條　イタリア政府は全國的職位と地方的職位たるとを問はずイタリア政府の管轄下の領土における任命に關し、もはや聯合國委員會の承認を得る必要なし、但し軍事的意義を有する地位に關する場合を除く、政府は既に聯合國軍政府當局が行ひたる任命を變更する權限を有す

第九條　イタリア國民と知識及び學業における自由交換を奬勵するは聯合國の望むところなり、科學的、政治的、哲學的、美術的書籍其の他の刊行物をイタリアと聯合國の間で交流し、學者美術家及び專門家を往來せしめる爲の諸措置を容易ならしめるべし

第十條　聯合國はイタリア政府の管轄下にある諸領土における地方選擧の施行に關する決定を歡迎す

第十二條　イタリア政府が經濟統制の法式を定めこれを調制し、更に現在の行政下において可能なる最大限の生産と效果的且つ公平なる配給と地方資源の消費統制とを確保し、その前提條件として經濟的援助を增加するために可能なる他の一切の手段を取ることは絶體必要なり

第十六條　インフレーションの統制に關する主なる責任は、イタリア政府に存す、これに關しても他に關すると同樣、聯合國委員會は常に助言と援助とを與ふる用意あり

國務省の發表せる解說は、協定の諸條項がどの程度まで補足され修正されるかを明かにしてゐる

第一條から第五條まで敵對行爲の停止に關する條項が並べられてをり、聯合國の戰爭努力に對する協力に關する第六條乃至第十二條も補足されてゐる、イタリア軍はイタリアの解放並びに最後的勝利に向つて實質的な貢獻をなした、イタリア海軍は聯合國艦隊と協力した

通信の管理に關する第十六條についていへば、ラジオの管理はイタリア政府に返附された、すべての軍事的並びに復活する民需電話通信は、軍事的必要が減ずるに伴ひイタリア人の手に引渡されつつある、國內檢閱はイタリア管理下の地域においては既に廢止された

イタリア領土からのイタリア軍隊の撤退に關する第十八條についていへば、伊佛國境並びにヴエネチア・ギウリヤの場合を除けば決して要求を强制したことはなかつた

次に第十九條であるが、可能なる限りイタリアの資源は民需經濟の用途のため保留し、地方的物資並びに勤勞は軍事的必要がある場合に利用するやう注意した、第二十三條に關していへば聯合國委員會はもはやイタリアの國內財政問題に介入せざる旨をイタリア政府に通告した、但し聯合國に軍事上の必要ある場合を除く、今やイタリア政府はあらかじめ聯合國委員會と相談することなく自由にリラの換算率を決定したり商議したりすることが出來る

右の發表に關し、ワシントンの官邊筋は六日イタリアの休戰條件並びに附帶文書の發表が調印以來おさへられてゐたのは、軍規保護の理由に基くとして次の通り說明した

「たとへばムツソリーニ並びに北イタリア政府の如き、若し休戰條件が一九四三年十二月、最初に發表を要求されてゐたとすれば、これを政治的資本とすることが出來たわけで、さうなれば當時ドイツ軍前線背後においてイタリア義勇軍により行はれてゐた賞讃すべき仕事も妨げられてゐたかも知れない、戰爭終結後も條件の發表がおくれてゐたのは聯合國が間もなく交涉を開始するといふ豫想によつても聯合諸國政府間の時期の一致に要する時間といふことを考へてみても說明されよう、最後の平和解決まで殘されなければならない問題も澤山ある、公表に關し英國側の反對は全くなかつた、公表の遲延は決して異論を生じたためではなく、國務長官バーンズその他が條件を峻嚴且つ時代遲れなりと述べたのも、イタリア人がその協同參戰により無條件降伏ほど嚴しくない條件を受けても當然ではないかと感じ始めた事を指してゐるのである、平和交涉に關する形式上の仕事は一時中止されてゐたが、この問題に關する討議は現在既に始つてをり、今發表したごとき休戰條件を將來訂正するか否かはイタリア人自身の行爲にかかつてゐると感じられる

時事通信　海外電報　(第三種郵便物認可)

現在の聯合國イタリア行政機關は今聯合委員會と呼ばれてゐる元の聯合國管理委員會と、政治問題について助言する諮問理事會からなつてゐる

いまだイタリア政府に對して戰爭犯罪人を差し出せとの要求は行はれてゐない、イタリア人によつて裁判される戰爭犯罪人と聯合國によつて裁判される戰爭犯罪人の範疇は重複してをり、差しあたり八人のイタリア人がその衝に當ることが許されてゐる、戰爭犯罪人の數は極めて多いといはれる聯合國はイタリア政府が自國の戰爭犯罪人を裁判し、休戰條約を實行するために一切の成し得ることを成しつつある點に滿足してゐる、イタリアの君主制問題は、提案された立憲議會の仕事が現在進行中であるとはいへ國内全土が安定しない限り解決しない　(武井)

歐洲のインフレーション

—「ニューズ・ウヰーク」誌—
十月二十九日號

一九二二年から二三年にかけての「逃出し」インフレーションで、ドイツの中産階級は破滅に瀕してナチ黨への道を開いた、歐洲で今同じ程度のインフレーションに惱まされてゐるのがハンガリーだ、同國では一週間にペンゲー貨が一弗一萬ペンゲーから二萬ペンゲーに增加した、しかし歐洲各國到るところ、ある程度のインフレーションに見舞はれてゐない國はない

特に著しい現象は通貨が交換の媒體としての立場を失つて、普通の賣買の代りに物々交換がはやり出したといふことに、英國の經濟學者ポール・アインチツヒ博士は煙草を交換の媒介とすることを提案したくらゐだ

ウヰーン＝ウエーターに對する普通のチツプは煙草一本、ライカは煙草十二箱で手に入るし、油類洗濯その他占領軍が支拂ひする時には煙草だ、煙草半箱乃至煙草二本に五仙のチョコレート一本出せば、兵隊さんはウヰーンの別嬪を手にいれることが出來る

ローマ＝煙草二本がチツプの通り相場だ、ローマの女性一晩の値段が煙草十箱、現金で換算すれば十箱が二千リラ(二十弗)だ

ベルリン＝市内到るところに揭示板が出て、市民は交換に應ずる物資を書き出してゐる、値段は煙草、チョコレート、コーヒー、砂糖で表示されマルクの値段なんかはあまり見當らない、一例をあげれば、スキー靴が煙草一箱、旅行鞄が十箱だドイツ人はあまり卷煙草を喫はず、ビールで我慢し煙草の方は交換用に使つてゐる

パリ＝煙草一箱でパン二〇封度、トマト三封度葱二封度、一九四〇年の悪い赤葡萄酒一本、いいコニヤツクは二本といふ勘定だ

米國でもインフレーション

—「ニューズ・ウヰーク」誌—
十月二十九日號

サンフランシスコが典型的だ、勞働統計局の調査によれば生活費は一九四〇年以來三三・六%騰貫したといふがだれも信ずる人はない、CIOの經濟專門家は、騰貫率は四五・三%でなければならないといふし、AFLの統計專門家は四七%だといふし、勞働總同盟の統計係は四七%と稱してゐる

サンフランシスコの一般の主婦連は圖表ももつてなければ統計もない、八百屋の勘定や每月の帳面や家計のやりくり以後に判斷の材料は持合せないが、主婦連から見れば百%の上昇といふのがもつと當つてゐるらしい、何れにせよVJD以來生活費はちつとも下がらず、遂にだんだん昇つてゐるといふのが、誰しも異義のないところだ、サンフランシスコではつきりしてゐる現象は米國のどこの町に行つても同じだ、歐洲の大半と極東では既に目まひのする樣な螺旋狀物價騰貫にとりつかれてゐるが、今や米國人の大多數にとつてもインフレーションといふ言葉が新たな意味をおびるに至つた

表向きだけ見れば既に米國はインフレーションの初期に入つたといへよう

しかし今日インフレーションの原因となつてゐる諸要因がこれから一年のうちにも依然として解消するだらうといふことを豫言する經濟學者は殆どない、果してしからばインフレーションの主な原因はどこにあるのか

一、トルーマン大統領が依然として低金利政策を繼續してゐること

一、最小限一五%から三〇%乃至四〇%までの賃銀値上げを勞働組合が要求してゐること

一、値段が昂りさへすれば財界の各方面が喜んで仕事を續けてゆからとしてゐること

一、政府の農業物價支持政策

一、民間の貯蓄が記錄空前の巨額に達したのと同時に消費品目に對する要求が非常に大きいこと

先週ボストンで分配に關する會議が開かれた際に再轉換の指導官ジョン・W・スナイダーは不安一掃の見地から次の通り述べた

米國は出來るだけ速かに民需物資の生産を押し上げ分配を擴張せねばならない、供給が需要に應じ得るやうになるまで「逃げ出し」惡性インフレーションに對し戰線を堅持せねばならぬ、インフレーションに對して戰ふ第一の最善の方法は物資の生産を增加することである、この點については樂觀していい理由あり、罷業や隘路に妨げられてはゐるが、再轉換は着々進捗してゐる

また、ニューヨークのブローカーで經濟學者のW・W・カンバランドは同じ會議に出席して、政府が統制を緩和しない限り企業は制約されるから、生産の增强によつてインフレーションを抑制することは出來ないと前提し次の通り述べた

「低金利政策は米國政府の既定方針であり、この政策の彈着が米國の經濟全體に影響を及ぼしてゐる、右政策が續く限り米國は自由經濟でなく統制經濟の立場であり、金融史の示すところによれば、低金利政策で好景氣を誘致するがその結果延いて不況の原因となることが明かだ

今後における生活費の鍵ともいふべき物價と賃銀に關してワシントンがどんな立場をとつてゐるかについては、スナイダーが生産の增産を主張したけれども、誰もはつきりわかつてゐない、政府の經濟專門家もどの程度まで賃銀を出しても物價には影響がないか意見はまちまちだ

OPAの專門家達は戰爭中の新しい技術的發見の結果として事業界は二〇%賃銀をあげてもたいして物價に影響を及さずにすむだらうといふ意見だが、他の政府の連中は一〇%がせいぜいだらうと見てゐる」

カナダの原子研究

（オツタワ七日）カナダ政府は原子研究のためにモントリール大學内に新機關を設立することに決定した

原子エネルギー・ボール案

（ワシントン七日）ミネソタ州選出上院議員ジョゼフ・ボールは六日議に下院軍事委員會の可決せるメイ＝ジョンソン案に代るものとして提出準備中の新原子エネルギー法案について次の通り說明した

「メイ＝ジョンソン法案は原子の研究生産に全面的秘密規定を定めてゐる、余の案は軍用原子兵器の研究生産にのみ秘密罰則を設けるつもりだ、また九人委員會も余の案では國務、陸海軍、內務商務と五人の閣僚に大統領の選んだ四人の科學者を加へて構成する、議長は閣僚以外から選ばれることになる、委員會はその仕事につき議會に年次報告を提出しなければならないが、原子エネルギーの軍用に關する詳細は含まれない、メイ＝ジョンソン法案は完全な秘密の下に活動する大獨占事業を創造する點非民主々義的なりとして反對する若干の科學者たちも余と意見を同じくしてゐる、しかしてメイ＝ジョンソン案はその餘りにも嚴重なる秘密管理政策のために原子力の平和的活用に關する基本的研究を遲らせることが豫想され、全く實施不可能な案である」

昭和二十年十一月十二日(月)　第九號
大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和廿年十一月十二日北海道廳許可　毎週一回發行　編輯發行人　桂田增三　東京都港區芝區新橋二ノ一
時事通信　海外電報　(8)

國共關係は妥協中途で再び內戰に突入する險惡な事態を現出しつつある、問題は中共が在華日本軍の武裝解除或ひは後退を機に、折角開拓し、また引續き開拓しつつある華北並びに長城以北の地盤に對する爭であり、從つて中共よりすればそれだけ切實である、他方國府としてみれば、日本軍の接收は當然中央軍が行ふべきであり、國家統一の見地からいつても、中央に異を唱へる共產軍が獨自の新勢力圈擴大工作を營むべき筋ではない、ただ實際問題として距離の關係交通狀態及び共產軍の介在によつて、國府としても自力によつて急速に軍隊を華北に派遣することが不可能な事情から、或ひは在華米軍の航空部隊に、或ひはその海軍輸送船團に依存しなければならぬ實情である、この事實は中共よりみれば、米國が一方的に重慶政府を援助してゐることになる

米國共產黨領袖ウイリアム・フオスターは米國政府がその在華部隊を撤收し、蔣介石浮動政府に對する援助を終止しなければ、中國を驅つて內亂に突入させることにならうと警告してゐる、延安政權も今まで屢々米國當局に對して、刻下の事態につき考慮を促して來た

何れにしても事態は極めて逼迫してゐる、重慶における國共會談もかうした客觀的情勢を前にして、暫く中斷の形であつたが、八日に至り漸く再開し、九日も續行されたと報じられてゐる、中共中央政治局副主席周恩來氏は、國共會談開始以來引續き重慶に踏止まつて、折衝に當つてゐるのであるが、今のうちに何等か局面の打開策を講じなければ、內戰誘致は不可避として中央當局の善處を要望してゐると傳へられる、然し國共關係がここまで惡化しては、兩者だけの話合で窮通の道が開けるかどうか疑問である、幸ひ在華米軍司令官アルバート・ウエデマイヤー中將が、本國政府との打合も了し、北平にも滯留して華北の事情にも觸れた後、九日上海經由重慶に歸任した、直ちに蔣委員長に會ひ刻下の重要問題につき協議するといはれるから、同將軍の調停に多大の期待がかけられるわけである

世界の焦点

【目　次】

三巨頭會談開催か……八六
アトレー首相の使命……〃
ミコライチク華府訪問……〃
トリポリタニア暴動鎭る……〃
ド・ゴール再び主席……〃
佛人民共和黨左派政綱發表……〃
賠償分配につき協議……八七
獨管理に濠も參加……〃
歐洲への救濟物資五十萬噸……〃
ルーマニアに騷擾勃發……〃
勃右翼總選擧をボイコット……〃
【米　洲】
米兵力使用を承認……八八
流動資金の變化……〃
英首相演說は台同本會議で……〃
モーゲンソー、猶太問題につき言明……〃
亞、人民戰線結成へ動く……〃
【戰後處理】
マ元帥、戰爭犯罪人の裁判を急ぐ……八九
【今日の話題】
敗戰獨逸の慘狀……〃
ルイス對ゴン三百萬弗試合……九〇
デ孟戰復活……九一
最近の書籍……〃
【資　料】
極東民族運動解決への努力……九二
日本民主々義化好望……九三
パレスチナ問題と英國……九五
十月重要日誌……九六

スターリン心臟病說

（パリ九日）パリの「リベラシオン・ソワール」紙は八日モスクワからの電報として次の通り報じてゐる

スターリン議長は心臟を病み、クリミヤ半島西岸黑海に面する大サナトリウム地帶ソーチで保養中で、心臟病專門家の治療をうけてゐるといはれる

但し他に確認すべき報道はない

三巨頭會談開催か

（ロンドン九日）APの報道によればロンドン各紙並びに外交界筋ではトルーマン大統領、スターリン議長、アトレー首相の三巨頭が近く會談を行ふだらうとの觀測を下し樞軸の最終的敗退以後三巨頭會談はまだ開催されてゐないから、近い將來會談が開かれぬとはいへないとみてゐると傳へられる

アトレー首相の使命

（ロンドン九日）英國首相クレメント・アトレーは、ワシントン訪問に先立ち、八日閣議を開催して米加兩國首班との交渉につき豫備的協議を遂げたが、PAその他の報道によれば、首相はワシントンで原子爆彈施策だけでなく、ソヴエト聯邦との關係、パレスチナ地方に對する政策をも討議するだらうと傳へられる

アトレー首相は九日午後英國下院の外交討議において特にワシントン訪問に言及英國民の大半は原子爆彈の新世界に及ぼす重大影響を十分認識してゐないが、余は原子爆彈の發見に鑑み、否右發見の恐るべき影響に鑑み、トルーマン大統領並びにキング首相と十分協議する方針である、更に平和と自由と寛容と經濟的繁榮に關する共同の理想をいかにして實現するかについて兩國の首班と相談したいと思ふと述べた

ミコライチク華府訪問

（ワシントン九日）ポーランド副首相兼農相スタニスラフ・ミコライチクはケベツクの聯合國食糧農業會議に出席した歸途ワシントンに立寄り、八日バーンズ國務長官を訪問したが、記者團と會見して次の通り言明した

ポーランドは戰爭のため五百萬の生命を失つたシレジアの鑛山は現在戰前の生産能力の七〇％程度の成績をあげてゐるが、問題は輸送上の隘路だ、ポーランドの人口移動については、百五十萬のポーランド人がソヴエト領から、同數の住民がドイツから歸つてくる筈だ

ミコライチクはワシントンで開催される食糧農業會議の執行委員會議に出席後、飛行機でワルシヤワに歸還する豫定である

トリポリタニア暴動鎭る

（カイロ九日）リビア領トリポリタニア地方に勃發したアラブ民族の反ユダヤ暴動は全く鎭壓された模樣で、英駐屯軍司令部は八日次の公報を發表した

トリポリタニア地方に發生した反ユダヤ暴動は八日ユダヤ人百名以上の死者を出したが、八日朝以來全く平靜に復してゐる

ド・ゴール再び主席

（パリ八日）フランス憲法議會は八日社會黨のフエリツクス・グーアンを議長に選擧、同時に六日辭表を提出してゐた臨時政府首班シヤルル・ド・ゴールを改めてフランス政府主席に任命、新憲法制定までのフランスの國政を委任、新憲法制定の事業に當らせるに決定した、グーアンは解放以來ド・ゴール政府と協力、憲法改正委員會の議長を勤めてゐた人物である

佛人民共和黨左派の政綱

（パリ九日）共産黨、社會黨と並んでフランスの三大政黨の一つとして浮き上つた人民共和黨（カトリツク進歩派）左派は九日その政綱として憲法改正問題から教育改革問題に至る長文の聲明書を發表したが、その主要なものには

銀行、保險、重要産業（運輸、炭坑、製紙、主要原料品、製鐵、製鋼等）の國營化、新聞廣告の統制、新聞通信社の政府保護を廢止とし、新聞自體の組合組織による通信社設立等を含んでゐる、人民共和黨左派の政綱は大綱においては社會黨、共産黨と共同なものが多く、三大政黨の連衡による共同戰線の可能性が好望となつた、社會黨共産黨も數日來、共同委員會で政綱案を練つてをり、近く正式を見る豫定である

昭和二十年十一月十二日(月)
第九號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

賠償分配につき協議

(パリ九日)聯合十七ケ國代表は九日パリにおいて會議を開催、現在米英佛三國軍の治下にあるドイツ西部から徴收する賠償の分配について協議を開始した、西部よりの賠償總額は未定であり、うち二五%はポツダム議定書によつてソヴエト政府に引渡される豫定だが、十七ケ國代表は約三週間に亘る協議で賠償の分配に關する下交渉を遂げることとならう

獨管理に濠も參加

(キヤンベラ九日)濠洲外相代理ノーマン・メーキンは九日次の通り發表した
濠洲政府は聯合國ドイツ管理々事會の英國部に參加するやう米國政府の招請を受けたが、これを受諾した
濠洲は歐洲戰に積極的に參加、現在ドイツの占領にも英軍の一部として參加してゐるが、ドイツ管理に濠洲が獨立して發言權を持つやうになつたのは今回が初めてである、但し手續上は濠洲の見解は飽く迄も英國によつて包含的に代表されて管理理事會に上提されるもので、ニユージーランド、南阿聯邦の參加も豫想されてゐる

歐洲への救濟物資五十萬噸

(ワシントン九日)アンラ理事長ハーバート・レーマンは九日次の通り言明した
「歐洲の解放領域に對するアンラの物資輸送は十月新記錄に達した、合計五十萬ロング噸でしかも更に着々增大してゐる、解放領域の各國民が單に目前衣食醫療の必要を滿たすに必要なだけでなく、來るべき冬の苦しい數ケ月を切り抜けられるやう、各國にこれら物資の非常豫備を整へねばならない、アンラの計畫では物資輸送は十一月に更に增大し、十二月には百萬噸に達する見込みだが歐洲支那におけるアンラの活動を擴大するには、資金が必要でしかも資金の大半は米國から出ねばならない」
レーマン理事長は九日、さらにアルフレツド・C・デヴイドソンをアンラ總顧問に任命した旨發表した

ルーマニアに騷擾勃發

(ブカレスト九日)ルーマニア國王ミハイ一世が過般ペトロ・グローザ博士の共產黨政府に反對して民主々義的な政府の樹立のため米英兩國の援助を乞ふて以來、國王と政府の間の對立は公然たる形をとつてゐるが、AP電報によればグローザ政府が八日國王の二十四回誕辰を記念する祝祭を禁止したのに對して、ブカレストの民衆は王宮前の廣場で政府の禁止措置に反對して示威運動を始め政府の命令で鎭壓に赴いた軍隊が群衆に向つて發砲したため大混亂を惹起させたといはれる、民衆側も負けてゐずに抵抗したため市街の隨所で衝突事件が勃發したが、事態を更に惡化させたのは共產主義者が示威運動を解散させやうとして容嘴したことで、すくなくとも死者一名、負傷者十數名を出し、騷擾は六時間に亘つて續いた樣子だ、他方聯合國ルーマニア管理委員會の議長でソ聯代表のスサコフ將軍は軍隊に對して發砲停止を命じて辛じて騷擾を鎭めたが、當時國王は王宮にゐなかつたと傳へられる

勃右翼、總選擧をボイコット

(ニューヨーク九日)ブルガリアの總選擧は愈々來る十八日實施されることとなつたが、ソフイアからの六日附AP延着電報によれば、コミンテルン書記長で現在ブルガリア共產黨の首領ゲオルギイ・ヂイミトロフは共產黨大會において總選擧が豫定日通り行はれる事實を確認して、共產黨の必勝を誓つたといはれる、他方農民黨、社會民主黨および無所屬有志はソ聯の支持するキモン・グリゴリエフ政權が個人の自由と報道の自由を抑壓してゐることを理由に、十八日の總選擧をボイコットする旨の共同決議を發表して共產黨獨裁に對して鬪爭を宣告したといはれる

米兵力使用を承認

（ワシントン八日）上院外交委員會は國際憲章に基づく米國と國際聯合との關係を規定する法案を審議中だつたが、七日これを可決して本會議に廻附した、法案のうち最も重要な部分は、國際聯合が兵力を必要とする場合、大統領は議會の承認を得て他の安全保障理事會との間に米國の供給すべき兵力量に關し協定を締結し得る權限を認めた點である、法案の重要部分次の通り

一、國際聯合が世界平和維持のため國際軍を必要とするとき、大統領は他の安全保障理事國との間に米國の供給すべき兵力量に關し協定を締結し得る、但しかかる協定は議會の承認を必要とす、この承認を得た以上、大統領は議會と何等協議することなく、協定によつて決定された米國軍隊に對して行動開始を命令し得る、但し大統領は協定に明示された軍事目的に該軍隊を使用することを得ず、また協定に規定された米國兵力を更に增加せんとする場合は議會の承認を要す

一、大統領が安全保障理事會に對する米國代表を任命する時は上院の承認を要す

一、大統領が經濟社會理事會、信託統治理事會に對する米國代表を任命する時も上院の承認を要す、これ以外の國際聯合諸機關への米國代表の任命に關しては、大統領は上院の承認を必要とせず

一、國際聯合に對する米國代表は常に大統領の指令に基づき行動するを要す

一、大統領は國際聯合の活動に對し少くとも一年一回の議會報告を行ひ、また安全保障理事會が國際憲章に基づき制裁行動を決定する場合は特別の報告を行ふことを要す

一、大統領は要求ありたる場合、米國內にある如何なる人物に對しても外國との間の經濟、通信關係斷絕を命じ得る

而して本法案はコナリー外交委員長によつて八日上院本會議に報告されることとなつた

流動資産の變化

（ニューヨーク八日）米國生命保險協會は六日米國民の資産狀況に關する報告を發表したが、右によれば米國民貯蓄範圍の擴大によつて米國における流動資産の配分が著しく變化してゐることを示してゐる、右報告は政府各省の調査を基礎にして作成されたものだが、一九四一年十二月七日、即ち日米開戰以來、個人貯蓄額增加の四十五%までは、年收五千弗以下の零細貯蓄者によつて占められてをり、米國における貯蓄の普偏化をしめしてゐる

英首相演說は合同本會議で

（ワシントン八日）米國下院議長サム・レイバンは八日トルーマン大統領と會見の後、來週の何日かにアトレー英國首相を兩院合同會議に招待、演說を乞ふ旨言明した

モーゲンソー、猶太問題につき言明

（ニューヨーク八日）米前財務長官モーゲンソーはパレスチナ問題に關して七日夜次の通り言明した

パレスチナの將來に關する問題は國際聯合の處理に委ねるべきだ、ユダヤ流民の問題はファシズムと鬪ひ民主々義の新たな機會をかち得た、あらゆる國民のひとしく責任を負ふべきことである

亞人民戰線結成へ動く

（ブエノスアイレス八日）副大統領の地位を追はれたアルゼンチン・ファシストの總帥アン・ペロン大佐は厚顏にも次期大統領選擧に出馬すべく準備を進めてゐると傳へられるが、アルゼンチン最大の政黨たる急進黨幹部會はペロン大佐の企圖を阻止するため、社會黨、自由進步黨および共產黨との間に人民戰線の結成を決議、七日からその實現に乘り出した

昭和二十年十一月十二日(月)
第九號
時事通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【戰後處理】

マ元帥、戰爭犯罪人の裁判を急ぐ

(ワシントン八日)極東諮問委員會の米國代表ジョン・マツコイ少將は八日同委員會の席上で次の通り言明した

マツカーサー元帥は日本戰爭犯罪人の裁判を出來るだけ早く開始したい意向である、このことは勿論日本の主要犯罪人を裁判する國際法廷を後に設置することを妨げるものではないが、元帥は既に逮捕されてゐる千五百乃至二千名の嫌疑者の裁判を進める計畫だ

【今日の話題】

敗戰獨逸の慘狀

ドイツ軍政長官アイゼンハワー元帥は最近の月報において、ドイツ占領に關する問題として次の三項目を上げてゐる

一、共產黨員は自由な選擧で過半數を制することが出來なかつたが、共同戰線戰術で現在ベルリン市政を支配してゐる

一、ドイツの財政は崩壞狀態にあり

一、財政上の安定を再建するには、物價統制收入並びに蓄積貯金の切下げと、急速な生產の回復とが必要

同元帥は以上の再建計畫によつて、本當に長期に亘る成案を收めやうといふのには、ドイツ全體に亘つて適用されねばならないと述べてゐる、ドイツ管理々事會の大勢はドイツを經濟的統體として扱はうといふに傾いてゐるが、フランス代表が容易に同意しない、ルール地方とラインランド地方の國際化に關する主席ドゴール將軍の提案が容れられない限り理事會で一切票決に參加しないと力んで一歩も讓らない、ドゴール將軍が過般ライン河對岸のフランス占領地帶を視察した際、ドイツ人に對し「諸君はドイツ人だと思つてはいけないフランス人だと考へて貰はう」と述べてゐるが、「ニューズ・ウイーク」誌の特派員ジエームス・オドネルの報道によれば

フランス軍占領地區で數週間過ごしたがフランス人の人氣は恐しく悪い、ド・ゴール將軍の護衞をドイツ人から求めても誰も應じないだらうといふ、食糧事情もフランス軍の占領地帶が一番悪く、平均一日の榮養量九百カロリーだと傳へられる位だが、オドネルの報道によればベルリン市街の狀況もかなり悲慘だ

ウンター・デン・リンデンから廢墟と化した總統官邸を經て、テアガルデンの邊り防空壕を出たり入つたり流民が彷徨ふ、赤十字の事務所や各厚生機關軍政府等々苟もお役所らしい建物の周圍は流民で一杯だ、食と住と醫療とが欲しい大半はベルリンに滯在したいのだが衣食住に惱んで、アンハルター、ステテーナ、レールター並びにワンゼー各驛に行列してゐる、メクレンブルグ、ザクセン、チユーリンゲン更に西方へ移るため、丸一日否時には數日も停車場で待たねばならない、貨車に二百人も雪崩れ込み屋根にはまた百人も坐り込む、しかし此れは切符を買ふ金を持つてゐる幸運な手合だ、聯合軍當局は早くも數百人の孤兒を片付ける問題に當面してゐる

かかる窮狀に臨んでゐるドイツ人がどうしてこの冬を越すことが出來るだらうか、「ニューヨークタイムズ」紙(十月二十一日付日曜紙)に曰くかかる混沌且つ暗黑な場面においてこの冬どんなことがドイツで持上るかが重大問題だ、秋から冬に轉ずれば聯合國のドイツ管理はさらに重大な試錬に當面しよう、食糧の供給は縮減し住宅の大半は壞れ、輸送系統は混亂に陷り數百萬の流民が東方から雪崩れ込むのだから、流行病と災厄的インフレーションと恐らく諸都市における飢餓との危險多く寒くお腹のすいた望みを持たぬ國民が自棄的になるときどんな事態が持上るか懸念を禁じ得ない

以上の陰慘な見透しがアイゼンハワー元帥の月報にも現れてゐる

情勢は爆發的であり、ドイツは今や政治的災厄の淵に臨んでゐる、占領以來一日一人について一千五百五十カロリーの食糧配給も出來ない、商業は消費品の不足と戰時の所得に基く購買力の過剰とですつかり均衡を失つてゐる

ルイス對コン三百萬弗試合

戰爭は全く過ぎ去つた、まさか知らない人はあるまい、正式の調印なんかどうでもよい、交戰行爲の終了を絶對確實に公式のものとするのは、マイク・ジエーコブズがジョー・ルイスの世界重量拳闘選手權を守る試合の契約を結び、早くも三百萬弗試合の噂が巷に流れてゐるといふ事實だ、それで話ははつきりするわけだ

十月中旬のこと、滿足さうに入齒をカタカタいはせながら愛する食糧切符（或ひは金莫）褐色の爆撃機ジョー・ルイスを伴つてジエーコブズ・ビーチを逍遙する老マイクの姿が見られた

「三百萬弗は確實だね」カタカタの間でさういつた彼はまたつけくはへる、「少し位大法螺をふいてもかまふまいね、但しだ、もう手にも喰ひ切れないほどの切符の注文があるんでね、どんどん申込んできて、値段がどうの試合の場合がどうのはお構ひなしさ、要するに奴ら四年間もこの日を待ち焦がれてたつてわけだ、テレヴイジョン放送權を計算に入れりや三百萬弗關門の突破もわけはあるまい」老マイクはちよつと立止つて、眼に見えないもう二、三百萬弗を探し出さうとするやうに空をうつとりと眺めた

△褐色の爆撃機

褐色の爆撃機は樂しさうな眼をマイクに向けるとニヤリとした

「俺にや何も心配することはない」

たしかにビリー・コンのことは心配ではないだらう——少くとも今のところは——そのことは一言も言つてはゐないが、ルイスの頭は十一萬七千弗と噂される滯納稅金を拂ふ金を作ることで一杯だ、この些細な（エヘン）金は彼が除隊になつてから六ケ月の間に拂ふことになつてゐる、多分老マイクが引受けて代りに證書でもとるだらう

一九四一年六月十八日の最後の試合からは五年は經つて了ふことになる、しかも時間が拳闘家の實力裝備を加へるといふことは決してあり得ないもう一度拳闘界の王冠を頂く頃には褐色の爆撃機も三十二歳になつてゐるだらう、コンの方は二十九の戰ひ盛り、體重も恐らく安全剃刀の刃のやうに鋭い神出鬼沒の拳闘ぶりを示してゐた從來の一七四封度に十二封度位は加へることになるにちがひない

ルイスはコンスに比べればグズで仕末に惡い感じだ、足が重く、手が重い、捕へなければ殴れないつてなもんで、褐色の爆撃機は自分のまはりをぐるぐる飛びまはるダンス教師を滅多に捕へることが出來なかつた、相手は益々自信を加へ（不幸にして）益々人氣を落したものだつた

△勇敢なるファイター

十二回目に入つた時コンは風向を考へ初めた、それまで褐色の爆撃機と恐る恐る戰つた臆病者たちと比べてこの勇敢な青年は何といふ違ひだつたらう、十二回の終り頃、彼はルイスの左顎に爆發的なレフト・フツクを與へ、自信を失つたルイスは何とクリンチして、リングの煌々たる光のもと褐色の顏上にはさつと狼狽の色が走つた、これは過去においてだれもみたことのない事件だつた

コンは第十三回目に突進した、試合はすべてに勝つてゐた、審判三名のうち二名は挑戰者コンに多くの點を與へ、殘る一人も同點にしてゐたのだ從つてコンが殘る時間を上手にあしらつてゐればウイリアム・デーヴイツド・コンは立派に世界選手權保持者となるところだつた、だが彼も强情で鼻柱の强い青年だ、彼は判定で勝つことを喜ばずノツクアウトの榮冠を飾らうと企てた

かれは殺人拳を求めて接近戰を挑み、ルイスに殺到した——そして……

コンにちよつと隙が出たのをルイスは逃さなかつた、右のクロツスがその隙を縫ひ、一發のノツクアウトには少し高すぎる所に命中した、だがコンの膝は强い、かれは突進を續けた、殺人的な彈幕はかれをグロツキーにし、勇戰敢闘は突如終りを告げた、豫定の試合終了時間まで殘るは僅か六分二秒だつた

この二人の敵手が話題に上るごとに思はれるのは兩者が海外で交した會話のことだ、古い話ではあるが、やはり繰返されるほど含みのある言葉だコンはルイスに向つて、褐色の爆撃機に再び榮冠を譲る時まで自分が二年間選手權を守るためにいかなる計畫を立ててゐたかを物語つた、ルイスそれにかう答へたといふ

「どうして二年間守れるつもりだつたかね、ビリー、後二回だつて守ることは出來なかつたぢやないか」

—「N・Y・タイムズ」紙週刊海外版から—

デ亞戰復活

濠洲が保持してゐるデヴイス・カツプを奪還せんと米國ローン・テニス協會は挑戰を申込むことに決定した、歐洲ゾーンでは英國も挑戰者決定戰を主催することが希望されてゐる、來年挑戰者選拔戰に出場を豫想されてゐる國々はフランス、カナダ、アルゼンチン、メキシコ、ブラジル、キユーバ等だが、戰前常に挑戰國中の花形に數へられてゐたドイツと日本は今度は恐らく出場を許可されないだらうとみられてゐる

最近の書籍

「オフイツイーレンラーガー（POW）」ガイ・モーガン著、二二六頁、ウイツトルシー・ハウス刊行、二弗五〇仙

これはドイツの將校俘虜收容所の追憶記だ、筆者は英國將校で、讀者にドイツの鐵條網の蔭でどんな生活が行はれてゐるかを偏見のない坦々たる筆で描かうとしてゐる、物語はイタリアに始まるが、ここの收容所生活には筆者も耐へかねて、これに比較すればドイツ人は「立派だ」と述べてゐる、好い方の話では、拘禁生活は永く續いた場合自分の生涯を再檢討する時間が出來るといひ俘虜生活では、俘虜はよくあるやうに集團心理とか群集的熱狂に罹ることがない……むしろそれまで當然のやうに受け入れてゐた標語や學說や理想に對し健全な犬儒主義を育てる位だと書いてゐる、悪い方では、捕虜生活において時間が普通の意味を失ひ、俘虜が責任をもたないため虚空に生活し、些細なことに全く氣を奪はれる傾向がある等の事實を擧げてゐる

ハワード・マムフオード・ジョーンズ評＝モーガンはドイツ人を愛することは出來ないまでも、俘虜生活については自分で味つてゐるだけに公平だ、恐らく彼の本により、この問題全體がもつと落着いた冷靜な見方で論ぜられるやうになるだらう、これは堂々たるレポルタージユであり、ドイツの收容所に關する幾多の昂奮しすぎた言葉を修正し、必ずしも聯合軍俘虜のすべてが絶えず拷問の危險に曝されてゐたのではないといふことを讀者に教へるにちがひない

「パルチザン（マキサール）」アルバート・J・ゲラード著、一六五頁、アルフレツド・A・クノツフ刊行、二弗

ゲラードの小說「マキサール」はゲリラ戰に數年間從事した男の話だ、時は一九四四年の秋から冬にかけてドイツ軍がまだ大西洋岸の數據點を擁してゐた頃、場所は當時まだ敵が占領してゐたソニヤツク及びその向ふの地帶——そこは現在では惡戰の勇士フランス狙撃兵團及びF・F・Iからフランス政府軍の一師團に引渡されてゐる、物語のクライマツクスは、ジヤン・リユヤーデが妻と子を失ひながら自らは救はれたことを知る場面である

ジョン・R・ハツチンス評＝この小說はゲラードから志固い燃えるやうな信念の徒への——それに伴ふ全く信じられないほどの勇氣と、恐怖を分ち合つた男女の忠誠心への——心からの贈物だ、マキスとともに部隊にあつた筆者は讀者へそれをさながら見しめ感じしめる、創作された物語としては小さなものであるとはいへ、正に一讀に値する好著である

「カス・テイムバレーン」（シンクレア・ルイス著）は刊行後二週間にして七十二萬五千部を賣りランドン・ハウスのベネツト・サーフの言葉を借りれば「絶對的駈落ち的賣行」を示した

資料

極東民族運動解決への努力

―「ニューヨーク・タイムズ」紙週刊海外版十月二十日號より―

ロンドン特派員マロリー・ブラウン

△民族運動の波

ジヤヴアにおいては獨立インドネシア共和國の樹立が宣言され、オランダに對して宣戰が布告されたが、英國は以上の事態が英國と政治的に覺醒したアジア民衆との間の關係を律する轉換點を劃してゐることを意識し始めてゐる

それだけではない、かうした事態は西歐植民地帝國と極東の「植民地民衆」との間の關係といふ重大問題が重大な局面に踏み入つたことを意味するものだ

なぜならばインドネシアの蜂起は潛在的には爆發點に達してゐる情勢をそのまま物語るものであり、事件は蘭印だけに局限されるものではなく、英佛兩國等の極東帝國をも脅威するものである

太平洋における現下の情勢は戰爭が豫期したよりも遙かに强く原住民の民族運動に刺戟を與へたことを實證する、印度のごとくすでに民族運動の存在するところでは、運動は一段と强化された、ビルマのやうに戰前には民族運動の弱勢であつたところ、あるひは西歐世界が知つてゐる限りでは殆ど民族運動の存在しなかつたところでは、ジヤヴアや佛印のやうに民族運動は突如焦眉の政治問題として舞臺の前面に躍り出したのである

この戰後植民地不安の潮流の含む地域は廣大だ亞大陸印度を除外して蘭印、佛印、マライ、ビルマ、セイロンだけを含めても、民族運動の沸き立つ植民地々域は約二百二十八萬平方哩に達する

△問題の重要性

このことは英本國、フランス、オランダの三國面積を合せたものよりも約四倍も大きい地域が政治運動の波に乘つてゐることを意味する、これに百五十萬平方哩の印度を含めるならば、問題の規模は劇的といつてもよいほど大きい

人口を把へるならば、數字は更に大きくなる、印度を除けば、右に擧げた地域の總人口は約一億四千五百萬に上る、もしも印度の四億强を加へるならば、現在極東における民族運動に捲き込まれてゐる人口は、一九三一年の調査で九千四百萬弱を算した英國、フランス、オランダの集計人口の約六倍に當る譯だ

勿論以上に擧げた地域も人口も尨大だが、それは僅かに問題の一部をなすものであり、ある意味では特に重要な一部をなすものではない、といふのは以上の植民地は最も重要な世界産物たるゴムの主要資源地であるからだ

蘭印はまた石油の重要生産地である、ビルマも石油を産出する、ビルマおよびマライは佛印とともに世界で最も豐富な米産地だ、以上の重要産物に加ふるに錫、煙草、絹、砂糖を加へるならば、極東における現下の「自由」のための鬪ひが單なるイデオロギー上の問題だけでないことが明瞭とならう

英國にとつては以上の地域は戰略的にも重要だシンガポールは英帝國交通生命線の鍵鑰基地であり、ジヤヴア、スマトラ、ボルネオ等は濠洲向けの英國ルートの直接途上にある

オランダにとつてはその經濟繁榮と商業上の富は、世界的規模の帝國としての地歩と同樣、極東の植民地に全く依存してゐる、そして蘭印を支配するオランダに對する脅威が如何に重大であるかは明瞭だ

日々の情報はアクメツド・スカルノの率ゐるインドネシア獨立運動の强化を確認してゐる、現在のところ運動の中心はジヤヴアにあるが、間もなく他の島にも擴大することは必至だ

スカルノ一派の目的は完全獨立だ、彼らは植民地乃至は半植民地的地位への復歸を斷乎拒否し、一九四二年ウイルヘルミナ女王の提案したオランダ帝國への「平等な參加」を一蹴した

△勞働黨內閣民族運動に同情

ビルマでは英國は多少程度は弱いがそれでも同

じ種類の問題に直面してゐる、同じやうな勢力が日本軍の占領期間中民族主義的目的を煽るために活動を續けてきた

英領マライでも抗戰運動を地盤とする强力な民族主義運動が日本軍の占領中に發生した、それはマライ人民抗戰軍と呼ばれ、後に落下傘で降りた英濠軍蔣校によつて援助されたが、この抗戰團體は日本軍に對して活潑なゲリラ作戰を展開した

この運動の指導部は現在自治への迅速且つ眞の發展を要求してをり、英國政府の提案するマライ聯邦案で滿足するかどうかは疑問とされてゐる、英國はビルマにおけると同樣實際的と思はれる限り迅速且つ突込んで民族主義的目的を滿足させるために大きな努力を拂つてゐる、しかしながら英國は行き過ぎの危險を惧れてゐるのに對して、原住民の指導者達は寧ろ遲すぎるのをきらつてゐるやうだ

佛印におけるフランス當局はジヤヴアにおけるオランダ當局と殆んど同じやうな重大問題に直面してゐる、全人口の四分の三を占め政治的にも進んでゐる安南人は、フランス支配の復歸に反對して熾烈な鬪ひを續けてゐるのだ

日本軍が降伏したとき、安南皇帝バグ・ダイは退位し、民族主義の族を揭げるヴイエツト・ナン黨の首領ムグニエン・ナイは共和國の樹立を宣言して、大統領の地位についた

安南人民族主義者はフランスの植民地支配に復歸することを默視出來ないと主張してをり、ヴイエツト・ナム黨は無記名投票に基く總選擧によつて憲法會議を設置することを提案してゐる

ロンドンでは以上の極東各地における民族運動が相互に緊密に連關してゐることに氣づいてゐるが、事實バダヴイア蜂起の成功はインド、ビルマライに大きな反響を捲き起してゐる樣子だ、同じことは佛印の叛亂についてもいへる

そのため英國政府はフランス、オランダ兩政府と語らつて、これらの運動を處理するためなんらかの統合政策を樹立することを希望してゐる、ロンドンの勞働黨內閣は獨立に對するこれら原住民の翹望に心から同情を寄せてをり、アトレー首相その他は國際聯合の信託統治制下におくといつたやうな公平な解決方式を見出さうとする英國の努力に、フランス、オランダ兩國政府が協力してくれることを望んでゐる　（原子）

日本の民主々義化好望

—ワシントン八日—

退役米海軍提督で海軍評論家ハリー・E・ヤーネルは米國務省臨時國際情報局の週間展望中で極東問題を評論し次の通り述べてゐる

沖繩からニユージヤーシーへ、それからテニヤンへと廻つてみて話はどこへ行つても同じことだ日系諸國民は民主々義化の機會を與へられさへすれば、これを利用することに決して躊躇してはゐない、日本國民にして聯合國の支配下に入つたものは、それによつて得た敎訓から判斷して、進んで自由主義政府の原則についての敎育を受けたいと望んでゐることが判る、米占領軍の目的は日本人に對して自ら治めることを學ぶ機會を與へるにある、米國が言論の自由、出版の自由の如く根本的國民の權利に就ての政府組織を日本に導入しようと努力してゐる理由はそこにある、產業の民主化、勞働の組合化が本質的なものだとする理由もそこにあり、資格を有すると認められるすべての成人に選擧權を與へ、學校を自由化せんとする理由もそこにある

△太平洋島嶼の場合

之は要するに日本國民を軍國主義の奴隸たることから解放するために日本の社會秩序の改革を要するといふことである、西洋歷史の示す條中に從つて社會、政治、經濟の自由を新たに保障するためには大憲章（マグナカルタ）の基本原則と人權に關する諸原則を併せ包括した新しい憲法を起草することが先づ必要といふことにならう

何人もこの仕事の偉大さは疑はないであらうし又、忠實なる觀測者はこの仕事が速急に達成され

得るものとは考へないだらう、自由主義的憲法が制定され、承認された後でも、日本國民が己れの特權と責任とに慣れるには時間がかかるに違ひない、勿論、不平滿々の軍國主義者、その他中世紀的制度の信奉者は、新制度の順調な發達をば阻害しようと種々策動するであらう、民主々義に改宗を名として、民主々義は利己的目的に利用せんと企てるであらう、自由を維持するためには不斷の用心といふ代償を支拂はねばならないと同樣、民主々義の有效なる運營のためにはたゆみない警戒が必要である

如何なる政治組織も、惡人共がこれを轉覆しようとする陰謀から絕對安全なといふものはない、然し民主々義は、正直な機敏な國民によつてこれが維持を努力しつつ運營される場合、それだけで不安の種は除去されるといふ特徵を持つてゐる、民主々義は決して歐洲系、米國系の國民のためのみのものではなく、テニヤンの如き中部太平洋の諸島嶼においても、收容所にある男女に對して民主々義的手法の採用は、萬人によつて直ちに歡迎される、戰爭といふ條件のもとで、捕虜の兵隊、または假裝敵人に對して完全な政治的自由を許容するといふことは勿論不可能である、しかし、米軍將校は米國の支配下に入つた日本國民に對して廣汎な自由を與へることによつて多大の成功を收めることが出來、殆んどいかなる場合でも、信賴といふものが適確に與へられてゐることを實證した、かくして與へられた機會に對する反應の典型的な例證として南部ニュージャーシーの場合を指摘することが出來る、そこでは約千二百名の日系米國市民が自らの村の政府を作つて生活してゐるが、彼等は加州から移動せしめられ、野菜を作りこれを將來利用するため冷凍する仕事に當つてゐるが、これ等の勞働者は、近代的な諸便宜を完備した白堊の家からなる村を作り、必要なあらゆる商店、學校、運動慰安の設備まで備へてゐる、ブリツヂトン近郊のフオードフツクにある、この小さな村を散步すれば、諸君は、輝かしい眼をした少年たちがフツトボールを樂しみ、少女たちが嬉嬉として繩跳びをし人形遊びをしてゐる姿をみるであらう、ある子供たちは繪本を圍んでのぞき込んでゐる、年長者たちは附近の高級賃銀並みの給料をうけて一日八時間働き、自分の生活費を支拂つた殘り高は貯金するなり、または自分の思ふままに費消されることが出來る、家の入口には草花が晴やかに咲き誇り、臺所をのぞいてみると極めて淸潔で彼らが如何に家庭を愛してゐるかがよくわかる

村長の佐々木フクジの報告によれば、村民には音樂や繪畫の名人ばかりでなく、貝殼細工、陶器製造の門家もゐる、そして何れもが傳統的に米國式の生活樣式によつて、かれ等の村治に積極的に協力努力してゐる

同じ報告は沖繩の收容所を監理してゐる係員からも來てゐるし、テニヤン、その他の場所からも來てゐる、いづれにおいても日系の民に民主々義的な生活樣式についての訓練が與へられてゐるのだ、日本々土の國民もまた自由且つ民主々義的な線に沿ふ生活の機會が與へられれば、同じやうな素晴らしい結果が得られることは確信を持つて期待してよろしい

（井上）

スパイ團捕縛

（ワシントン八日）合衆國聯邦檢事局檢事トム・クラークの七日の發表によれば一九四〇年六月フロリダ州及びニューヨーク州に潛水艦によりて密かに上陸したドイツのスパイ團八名が一網打盡にされ內六名はワシントンで電氣椅子により死刑を執行されたことが明らかになつた、この一團の隊長はゲオルグ・ダツシユとペーテル・ベルガーの兩名で、ドイツにおいてナチのために捕縛され、死刑になるところを、米國へ渡り重要產業施設の破壞工作に從事するといふ條件で死刑を免ぜられアメリカに渡つたものである、しかし、彼等は渡米と同時に聯邦檢察局に自首して、他の團員の捕縛に協力したので、故ルーズヴエルト大統領によつて特に死刑を免じられた、彼等はテネシー溪谷のダムその他を破壞する計畫であつたが、首領の自首によりて計畫は悉く畫餠に歸した、ダツシユは一九二七年ごろ米國陸軍に服役したことがあり潛水艦でロング・アイランドに上陸するや直ちに聯邦檢察局に電話して自首し、その結果第二陣としてフロリダに上陸したドイツ陸軍中尉エドワルド・ケルリングを首領とする四名のスパイ團は直ちに逮捕された

昭和二十年十一月十二日(月)
第九號
時事通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

パレスチナ問題と英國

「N・Y・タイムズ」紙週刊海外版
十月二十一日號
—シドニー・グルーソン—

△火藥庫に火が點く

戰爭の終了によつて舞臺の前面に押し出されたパレスチナの問題が最近爆撃寸前の樣相を帶びるに伴ひ、パレスチナの平和と中東を結び付けてゐた細い糸は極度に緊張するに至つた

戰爭中にアラブ世界を領してゐた不安定な平和が維持されるかどうかは、ここ數週間によつて決せられやう、過去二週間パレスチナを繞つて長い間危惧されてゐた紛擾の報道が遠雷の如くロンドンに達してゐる、火花は既に發してゐる、それは容易に大火災に發展する惧れが十分にあり、遂には印度からエジプトまでの全域に擴大するやも圖られない

ロンドンの消息筋はもしも米國が委任統治國たる英國の側に立つて干渉しない限り爆發は間近に迫つてゐると觀測してゐる、今日までのところ米國は干渉を拒否する一方、パレスチナへの入國制限を撤廢せよといふユダヤ人側の要求を支持してゐるのだ

ロンドンの觀測では米國は責任を負はずに影響を及ぼそうといふ一見逆說めいた政策をとつてゐるのに對し、英國はパレスチナの火藥樽に指を觸れぬやう、どんな決定も一律に回避しようと努めてゐるやうだ、現在聖地に對する政策の樹立は一應休業狀態にあり、米國はユダヤ人の追加入國許可を支持するトルーマン大統領の書簡に對するアトレー首相の返書を檢討中だ

パレスチナの紛擾兆候は容易に識別することが出來る、一名の英國人警官が射殺された、パレスチナ全土の警察署長はイエルサレムにおいて會議を開き、保安上の措置を講究した、パレスチナの守備隊を增强するために英落下傘部隊が聖地に來着し、英國の艦隊がアレクサンドリアに入港した多數のユダヤ人入國者の群がパレスチナ海岸の人里離れた警備のない地點に上陸してゐるといふことだ、ユダヤ人側とアラブ人側のスポークスマンは互ひに惡罵を投げ合つてゐる

△英國の態度は?

以上のことが重り合つて堪え難い事態を現出してゐるが、このことを一番よく知つてゐるのは英國政府である、パレスチナの高等辨務官のゴート元帥は萬一騷擾が勃發した場合現地に居れるやうに、急遽ロンドンからイエルサレムに歸任したゴート元帥が英國政府の決定內容を知つてゐるとするならば、まことに秘密をよく守つてゐるといべきだ

併しながら英國が最近採用し、トルーマン大統領からの新たな言葉が到着するまでは依然維持し續けると思はれる政策の輪廓はロンドンにおいて既に洩れてゐる、閣僚間に激烈な論爭を捲き起した前後數回に亘る閣議の結果決定をみた政策の內容は大體次のやうなものである

表面上はアラブ民族を滿足させるために、ユダヤ人の入國を五ケ年間每年一萬五千名に限定し、ユダヤ人の土地買入れを制限した一九三九年の白書はそのまま維持される、しかしながら若干の修正が施されてゐるが、それはユダヤ、アラブのいづれの側をも滿足させるものではないだらう

以上の修正の最も重要な項目はユダヤ人の一ケ月當りの最大限入國數を千五百名とし、土地購入制限を多少緩和することだ、しかしながらドイツにおいて生き殘つたユダヤ人をパレスチナに入國させるため、十萬の入國を許可せよといふ、シオニスト側の要求は撥ねつけられた、以上は英國政府としても相當の困難の末に到達した決定であらう、といふのは數名の閣僚は妥協案を求めてシオニストに六萬以上の入國を許可すべしと主張したからだ

しかしながら內閣は最後に事件を審議するために設置された分科委員會の作製した政策を採用した、外相アーネスト・ベヴインはこの政策を支持し、詳細をシオニスト運動指導者チヤイム・ワイズマン博士に傳へたと思はれる、以上の政策に對してシオニストがどういふ態度をとるかといふことは最早問題となり得ない、事實ユダヤ人代理局は白書を基礎とする討論には一切參加を拒否したのである

△妥協の途ありや

英國はパレスチナ政策に對する米國の參加を希望したため、分科委員會の勸告を考慮し直すことになつたといはれるが、變改された兆候はいまのところ見受けられない、しかしながらもしも米國がパレスチナの情勢に責任を負ふことに同意するならば、米國の希望に副つて政策を樹て直す必要上、あるひは變改されるかも知れない

アラブ民族もユダヤ民族も英國政府の新政策を眞向から非難してゐるそうだ、ロンドンのアラブ聯盟當局は猛烈な反對を表明して、供へられる英國政府の妥協案が每年パレスチナにユダヤ人一萬八千の入國を許可するのに對し、白書は五年の間一萬五千以上の入國を許してゐない事實を指摘してゐる

一方ユダヤ人代理局は英國がパレスチナ問題の解決を國際聯合に肩代りするに決定したといふ報道を批評して、次の通り聲明した

かかることは英國政府だけが責任を負ふべき白書を暫くでも遵守したといふ言ひ譯にはならない、英國は信賴を裏切つた、信賴を回復するのも英國が獨力で行はねばならない

現在のやうに切端詰つた局面で、アラブ、ユダヤ双方の言ひ分を和協させる望みがあるかどうかは疑問だ、ユダヤ人の「地下」活動は既に再開されてゐる

シオニストの言ひ分を支持する英國言論界の現れとしては「イーヴニング・スタンダード」紙專屬の有名な政治漫畫家デヴイツド・ローの漫畫がある、この漫畫は若いユダヤ人の移住者が「砂漠を花園とし」「三四百萬のユダヤ人の家庭をつくる」ために圖面を手に持つてゐる姿を描いてゐる傍の砂の上にアラブ人が安坐を掻いて砂を弄んでゐる、曰く「彼は砂上の樓閣を望む」（原子）

十月重要日誌

一日　米英經濟會議ワシントンで開催
　トルーマン、米海軍の再組織を命令
　米政府、五十億弗減稅案を提出
二日　ロンドンの外相理事會第一回會議終了
三日　日本管理々事會設置に關するモロトフ外相の書簡を發表
　トルーマン、議會に原子爆彈委員會の設置を勸告
　國際聯合本部米國に設置と決定
四日　米、民需生産局を設置
五日　濠、日本戰爭犯罪審問法令制定
六日　獨米軍政機關再組織を發表
八日　米、地方行政權を獨に移讓
　對墺勞働規約を決定
　世界勞働組合聯盟會議終る
九日　マーシヤル、陸軍長官に定期報告書を提出
　ペロン大佐副大統領辭職
　希ブルガリス內閣總辭職
　米海軍、戰後兩洋艦隊計畫を發表
十日　バーンズ、極東諮問委員會設立に關し言明
　元佛內相ダルナン處刑
十一日　トルーマン、アンラ活動狀況に關し報告
　國際裁判の手續決定
十二日　聯合國獨管理々事會、ナチ黨廢止を正式に發令
十五日　ラヴアル處刑
十六日　マツカーサー、日本占領に關し放送
十七日　米ソ借款協定成立
十八日　第一回國際軍事法廷開廷
　米英ソ佛、ナチ黨幹部告訴狀を發表
二十日　ヴインセント、米の極東政策を闡明
　米英ソ佛、レンナー政權を承認
二十一日　米、對獨新行政方針發表
二十二日　トルーマン、議會に一般軍事訓練計畫を勸告
　獨に新司法制度確立
二十四日　國際聯合正式に成立
二十七日　トルーマン、米外交十二原則を闡明
　米、對墺管理政策を指令
三十日　極東諮問委員會開催
三十一日　米、ヴエネズエラ革命政府を承認
　獨管理々事會、獨の在外資產を接收
　ポーレイ、皇室財產の賠償充當を言明

大正十五年十月十日第三種郵便物認可　昭和二十年十一月十三日(火)　第一〇號
時事通信　海外電報　(10)
發行人　桂田增三　東京都麹町區日比谷六國ビル　時事通信社

フランスは世界の焦點から外れて暫くの時間を經過したが、最近再び地球の眼はマリアーヌの上にそそがれ始めた、それは四月二十二日の國民投票によつて第三共和制の廢棄が正式に決定され、新たに選出された憲法議會が新しい憲法をフランスに與へる事業に着手、十一月六日、パリに議會の第一日を開くに至つた事實によるものである、想へば一九四〇年八月のヴイシー國民議會が一八七五年の憲法を停止し、ペタン元帥に全權を委任して以來、第三共和制は事實上死滅し、當時の見透しによればフランスにも權威制度が樹立されるのではないかとの疑念さへ持たれたが、大革命の傳統は再び輝かしい芽生えを見せてここに無血十月革命が達成されるに至つた、過去三次に亘る共和制が悉く、國民の流血によつてあがなはれたものであつたに反して、第四次の共和制はヴイシー制度時代の「對獨協力者」の肅淸において多少の流血はあつたにしても「恐怖時代」もなく「コンフエデレーの壁」の慘事もなく、ある意味では極めて平靜に安產した、人權宣言以來フランスの學んだ路を回顧すれば、二歩前進一歩後退のシーソーゲームを續けたとはいへ、ナポレオンの帝政よりもルイ・フイリツプの民主王政、それよりもナポレオン三世の議會主義と次第に進歩への路を辿つて民主制の基礎を漸次に强固にし、第四共和制は共產黨と社會黨とカトリツク左翼のバランスの上に立つた新憲法を制定せんとしてゐる、第三共和制がプチ・ブールジオアの憲法だつたに對して、第四共和制の憲法が進歩的大衆の憲法であるだらうことは、今から確信をもつて斷言してよいであらう第二インターは遂にフランスの共和制の獨占的基盤たる機會を失つたが、第三インターとの協力によつて、進歩的なフランスの生長に寄與せんとしてゐる、世界で最も解放的な憲法が期待される所以である

世界の焦點

【目　次】

原子會議序幕開く……九八
原子爆彈に關心集中……〃
近東の使臣大統領を訪問……九九
ハルゼー提督豫備役へ……〃
極東航路案を提出……〃
米の對立政策を攻撃……〃
英、羅政府の聲明を反駁……一〇〇
アルバニア政府を承認……〃
チヤーチル大陸訪問……〃
米英兵の濠洲居住を許可……〃
英外務次官希臘訪問……〃
ソ聯、亞と國交樹立か……一〇一
スターリン引退說再燃……〃
米軍近くチエコから撤收……〃
マツケンゼン元帥死亡……〃
パレスチナ高等辨務官後任……〃
トリポリタニア平靜化……〃
【國際會議】
近く五ケ國外相會議開催か……一〇二
原子爆彈會議豫定詳細……〃
原子專門家會議……〃
米、ソ聯にバルカン專門家を派遣……〃
【米　國】
減稅法成立……〃
米伊交換書簡を發表……一〇三
統合參謀本部の調査は兵器のみ……〃
國際空軍の建設を提唱……〃
【戰後處理】
極東諮問委員會、分科委員會を設置……一〇四
ポーレー出發……〃
日本の戰後通商と世界市場……〃
【歐　洲】
洪、資金、食糧の援助を要請……〃
芬、リツベントロツプを證人に要請……〃
アイゼンハワー歸米……〃
獨で初の勞働爭議……〃
【資　料】
「產業の平和」の新方式を求む……一〇五
東歐情勢の不安濃厚……一〇六
磅協定に埃及不滿……一〇七
政治家の眠れぬ夜毎……一〇八

原子會談序幕開く

（ワシントン十一日）トルーマン大統領は十日ワシントンに到着せる英加兩國首相を迎へ、同夜米英加三國原子會談最初の社交儀禮として催された晩餐會席上次の通り挨拶した

余が望んでゐるのは米國民の外交政策であつて一政黨の政策ではない、英帝國の有する偉大なるものの一つは、彼らが外交政策を有する場合（そして彼らは常にそれを有するが）英國民はいかなる政府が權力を握つてゐる場合にもその外交政策を支持するといふことだ、今回の原子爆彈會議の目的は全世界的繼續的にして且つ例外なくすべての國家を包含するごとき平和計畫に資するにある

これに對しアトレー英國首相は

我々アングロ・アメリカン民族が最も必要とするものは全世界的な外交政策、卽ち決して直接特定の國家に向けられたる政策ではなく世界全人民の利益のために選ばれたる政策であると信ずる

と答へた

アトレー、マツケンジー＝キング兩首相は到着後ホワイト・ハウスで晝食をとり直ちにトルーマン大統領と會談を開始したといはれるが、新聞祕書代理イーブン・エーヤーの言によれば議事日程はトルーマン大統領によつて極めて几帳面に作られてゐるといふことだ、アトレー首相の航空機はバーンズ國務長官、ハリファックス英國大使その他顯官の出迎へを受けて九時三十二分ナショナル・エアポートに着陸、トルーマン大統領はホワイト・ハウスの正面玄關まで出迎へた、マツケンジー＝キング首相はその數分前に鐵路到着してゐたものである

原子爆彈に關心集中

休戰記念日の十一日午後、ポトマツク河上に開始される米英加三國首班の原子爆彈會談を前に全世界の政治的關心は今や原子爆彈問題に集中された感がある、ワシントンでは、今議會でメイ＝ジョンソン法案を中心に原子エネルギー管理法について論議が盛だが、下院軍事委員會の九人の委員（公和黨八名、民主黨一名）は十日メイ＝リジョンソン法案を今一度委員會に返して再檢討する必要ある旨言明した、九人の言葉によれば

同法案は恒久的な法律となるのであるから國際的な諸問題並びに諸公約の解決を待たなければならず、且つ同法案に基いて聯邦原子エネルギー委員會を常設することは、わが國民生活の基盤を危ふくするものであるといふ、既に軍事委員會の大多數が同法案を可決し本會議に廻附した後、かかる反對が出たことはいかに同法案が重大であり多難な前途を有するかを物語つてゐる、また前國際聯盟總會議長アガーカンは十日

原子爆彈をどうしても祕密にしておくものなら米國に委しておいた方が決して侵略に利用されないと思ふから好いと思ふ、自分としては原子爆彈生產管理のために超民族國家を創ることを提唱したいが、それも果して完全な效果を有するか否か不明である

と述べ、海外にも米國の獨占管理を支持する者があることを示してゐる

原子爆彈の管理を國際的にするか否かは爆彈出現當時から喧いだが、三國會談を前にまた新聞論調は活氣を見せ、最近のチヤーチル、モトロフ、スタツセン等名士の言明を中心に賑かな論爭を展開してゐる、例へば八日の「ミルウオーキー・ジヤーナル」紙の論說は次の通りだ

問題は今や公然と論ぜられてをり、これを廣く傳へることこそ健全なやり方だと思ふ、最近、チヤーチル首相がソヴエト聯邦との友誼的協力を唱へたのは尤もで、數百萬の米英國民はソ聯との緊密な國際協力がない限り世界平和の不可能なことを思ひ、さうした協力を衷心より望んでゐる、米國はすでにソヴエト聯邦へ情報を提供するといふ意味で八分の七まで實行してゐるにも拘らず、ソヴエト聯邦は殆どすべての問題において昔ながらの祕密の國であらうとしてゐるもしソ聯が米英の信賴を求めるならば、い

昭和二十年十一月十三日(火曜)
第一〇號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

まこそソヴエト聯邦の側からも相互的信頼を示すべき時ではないか

さらに七日の「セント・ルイス・ポスト」紙は原子爆彈を「世界的憂慮と不信の源泉」として益々重大化する傾向ありとし「原子力を世界の建設勢力たらしめる政策」において米國が主導權を握ることを慫慂してゐる

これに對し九日付「ワシントン・ポスト」紙上では評論家アーネスト・リンドレーが

米國がどんな國際政策をとらうとも、提唱しようとも、とにかく國際管理は絶對に必要だ、要求されてゐることは米國市民の健康と生命を保護することであり、諸國民の原子關係の研究發明における莫大な投資を避け、研究發明の進行を可能ならしめることである

と論じてゐるのは著しい對照をなしてゐるが、原子爆彈に關聯して國際安全保障機構の軍事面における見方が再檢討され始めたことも顯著な事實で次の二紙の論說はその點で注目される

「ボルチモア・サン」紙八日＝上院外交委員會は平和強制の必要なる場合米國代表に米國軍隊使用の贊成投票をする權限を認める法案を承認したが國際聯合を批准した最初の國である米國は依然着實な前進を續けてゐると思ふ、この決定は國際情勢が集團的協力の軌道に踏み込んで行つた道程を元に振り戻す上に大きな力となるにちがひない、

「ワシントン・ポスト」紙九日＝この法案における外交委員會の決定は時に米國政府及び理事會米國代表に對し行動の自由を與へるものとして一切の正しき米國の利益を守るものであり、この自由なくしては米國の國際機構への參加は全く無意味とならう

近東の使臣、大統領を訪問

(ワシントン十一日)カイロ駐劄米國公使ピンクネ・タツク、レバノン、シリア駐劄公使ジョージ・ワズワース、サウヂ・アラビア駐劄公使ウイリアム・エデー大佐、並びにエルサレム駐劄總領事ローウエル・ピンカートンは十日國務省近東部長ヘンダーソンの案内でホワイト・ハウスを訪問し、トルーマン大統領と會談した、會談後ヘンダーソン部長は記者團と會見

パレスチナ地方の情勢に關聯して之等の使臣が呼び出されたのが

との質問に對しては

特定の問題を討議するために呼び出されたのではない

と答辯したが、四使臣が大統領より指示を受けたと述べた

ハルゼー提督豫備役へ

(フイラデルフイア十一日)米軍第三艦隊司令長官ウイリアム・ハルゼー提督は二十一日フイラデルフイアにおいて

今回豫備役編入を申入れ、十一月二十二日をもつて海上部隊を離れることとなつた

旨言明した

極東航路案を提出

(ワシントン十一日)米國海運委員會は今後日本海運が抹殺される結果、極東水域の海運に間隙が出來るので、米國の海運航路を極東に擴張する詳細な具體案を提出した

米の對支政策を攻撃

(ワシントン十一日)米國共產黨首ウイリアム・フオスターは九日下院の「非米運動委員會」の公聽會に臨み、米國の對支政策を攻撃して次の通り述べた

トルーマン大統領が最近の海軍記念日に行つた演說は世界平和に非常に危險なものであり、彼が軍國主義的帝國主義者であることを示した、米國は支那から軍隊を引揚げるべきであり、反動的な蔣介石政權支持政策をやめなければならない、政府は支那駐屯米國軍司令官ウエデマイヤー將軍を「反動的軍人」として、またハーレー大使を「紛爭製造人」として罷免すべきだ、一方米國はバルカンにおいても帝國主義的政策を推進してゐる

英、羅政府の聲明を反駁

（ロンドン十一日）ルーマニアにおいては國王ミハイ一世の第二十四回誕辰記念日の祝賀を禁止したグローザ政府の措置に反對して、ブカレスト市民は王宮前廣場で示威運動を開始、これを阻止せんとしたルーマニア軍隊および共産黨との間に亂鬪事件が勃發、遂に軍隊の發砲によつて死傷者を出すといふ不祥事が發生したが、英國外務省當局は十日、以上の事件に關して次の見解を公式に表明した

ルーマニア政府は八日の不祥事件の原因を無政府主義者達の策動と稱してゐるが、英國政府が直接ルーマニアから入手した情報と全く齟齬する、英國が入手した情報によれば、ブカレスト市民は極めて平靜且つ無邪氣に國王の誕生日を祝つてゐたのであり、ルーマニア政府を支持する一派の亂暴な干渉がなかつたならば、何らの事件も發生する餘地がなかつたと斷定せざるを得ない、從つてルーマニア政府がブカレストの平和な群衆に對して流血の責を歸したことを絶對に認めることが出來ない

アルバニア政府を承認

（ロンドン十一日）英國政府はアルバニア政府を承認した旨十日次の通り發表した

英國政府はアルバニア政府が近く自由選擧を實施することを條件に、エンヴエル・ホクスハ大將を首班とする現アルバニア政府を承認した

以上に關し、英國外務省當局は十日非公式に次の見解を表明した

ホクスハ內閣の重立つた閣僚は全て共產黨員だが、現政府は外部からの干渉を受けずに國內情勢から自然に誕生したものであり、その意味で民意を反映するものと解される、但しホクスハ政府の承認は現在のアルバニア國境線を認めるといふことを意味するものではない

ギリシヤ政府は現アルバニア政府の承認に斷乎反對してゐるが、英國が同政府を承認した結果、英希兩國關係に微妙な波紋を捲き起すものと豫想されてゐる

（モスクワ十一日）タス通信社のテラナ電報によれば、ベオグラード駐劄ポーランド大使は十一日アルバニア外相を訪問し、自國がアルバニア政府を正式承認する旨通告したと傳へられる

（ワシントン十一日）米國々務省は十日次の通り發表した

米國政府はアルバニアの共產黨政府が近く何等の拘束もない選擧を實施するならば、同政府を承認するアルバニアの國會選擧は十二月一日に實施されることとなつてゐる

チヤーチル大陸訪問

（ロンドン十一日）元英首相チヤーチルは日曜日ロンドン發パリに向つたが、用件は全く私的なものであると家族は語つてゐる、尙チヤーチルは水曜日ブリユツセル訪問、同市から市民權を受ける式に臨む豫定である

米英兵の濠洲居住を許可

（サンフランシスコ十一日）メルボルン放送が九日報ずるところによれば、濠洲政府は復員米兵の多數に濠洲に留まる許可を與へたといはれる、また政府は英水兵五百名にも同樣の許可を與へた

英外務次官希臘訪問

（ロンドン十一日）ギリシヤにおいては左右兩派の抗爭裡に民主々義政府樹立のための總選擧を目前に控えてゐるが、英國外務次官ヘクター・マクネイルは自由選擧の實施を監督するため米英ソ三國のオブザーヴアを派遣する旨の決定をギリシヤ政府に傳へるため、來週アテネを訪問する豫定といはれる、マクネイルはまた英國の經濟援助方式につきギリシヤ政府當局と協議する筈である、因みにギリシヤ政府は總選擧實施に當りオブザーヴアの派遣を米英ソ佛四國政府に要請したが、ソヴエト政府は外國內政への不干涉方針を建前としてオブザーヴアの派遣を拒否してゐる

昭和二十年十一月十三日(火)
第一〇號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ソ聯、亞と國交樹立か

(ブエノスアイレス十一日)AP電報によれば、ソヴエト政府はアルゼンチン政府との外交關係樹立を企圖して豫備交渉に入つてゐるといはれ、アルゼンチン外相ホアン・クツクは九日夜以上に關し次の通り言明した

ソヴエト政府はポーランド政府のロンドン駐在外交代表を通じて、ロンドン駐劄アルゼンチン大使との間に交渉を進めてゐるが、ソ聯が占めてゐる地位の重要性に鑑み、アルゼンチンとしてもソ聯との關係を調整することが望ましい、今日までアルゼンチンはソ聯と連絡をとる機會に惠まれなかつた

スターリン引退說再燃

(ロンドン十一日)スターリン元帥が革命記念祭その他當然元帥の出席を豫想された諸會合に缺席したことは、元帥の近狀について再び種々な臆說を生みつつあるが、その一說によればスターリンは共産黨書記長の職以外の凡ゆる公職を辭して政治の表面から引退するのではないかと云はれてゐる、スターリン元帥は目下黑海沿岸ソーチ附近の別莊にゐるといふ說についても記事の確報はない

(モスクワ十一日)AP電報が外國外交使臣筋から得た情報として十日傳へるところによれば、ソ聯官邊筋はスターリン議長が十一月中旬モスクワに歸還して執務すると稱してゐると傳へられる、スターリン議長の滯在地としてはクリミヤ西岸のソーチ說、ヤルタ近郊の夏宮說等種々流布されてゐるが、右外交官の見解では、スターリン議長は南方の溫暖な氣候からモスクワの寒い氣候に急に移ることは、たとへモスクワ滯在が數時間にもせよ、健康に破壞的影響を與へることを慮つて、革命記念日にモスクワへ歸還することを控へたものとみられてゐる

ナチ裁判に記者三百名殺到

(ニユールンベルグ十一日)近く開催されるナチ主要戰爭犯罪人二十四名の裁判に際し、各國新聞記者に對する傍聽席の割當が十日決定された、國際法廷には三十ケ國以上から三百名以上の新聞記者および通信記者が殺到する豫定だが、米國は最も多く七十名乃至九十名、英國が約五十名、フランス四十名、ソ聯が二十五名乃至四十名とみられてゐる

米軍近くチエコから撤收

(ワシントン十一日)米國々務省は九日夜次の通り發表した

米軍は十二月一日チエコスロヴアキアから撤收する、ソヴエト政府も赤軍の撤收を考慮してゐる、チエコスロヴアキアに軍隊をこれ以上駐屯せしめることは、チエコスロヴアキア國民を保護する上にももはや不必要であり、傍らチエコの經濟に重荷を負はせ、チエコの復興を阻害するものと考へられる

プラーグからのAP電報によれば、チエコスロヴアキア首相ズデネク・フイエルリンゲル博士は九日米ソ兩國軍隊が近く國內から撤收する旨發表したといはれる

マツケンゼン元帥死亡

(リユネブルグ十一日)アウグスト・フオン・マツケンゼン元帥は八日夜セレ附近の莊園で死亡した、享年九十五、元帥は第一次世界大戰當時ドイツ軍司令部の要職を占め、一九二〇年退役したが公然たるヒトラー支持者であつた

バレスチナ高等辨務官後任

(ロンドン十一日)英植民省は過般辭職したゴート元帥の後任として、パレスチナ高等辯務官にサー・アラン・カニンガム中將を任命した旨十日發表した

トリポリタニア平靜化

(カイロ十一日)トリポリタニア方面の緊張狀態は最近漸次平靜に赴いてをり、十一日は何等の事故も發生しなかつた旨英情報省は發表した、前週中におけるユダヤ人暴動による同地方の死者は約百名に達してゐる

近く五ケ國外相會議開催か

（ニューヨーク九日）米國務次官ジェームズ・ダンはロンドンから歸還したが、五ケ國外相理事會の第二回會議が一ケ月以内に開催されるであらうと九日言明した、第一回會議ではバルカン問題に關して米英兩國とソ聯との間に意見の對立が生じ結局物分れに終つたのである

原子爆彈會議豫定詳細

（ワシントン九日）ホワイト・ハウス當局は米國トルーマン大統領、英國アトレー首相、カナダのマツケンジー＝キング首相その他米英加三國の高級官吏を集めて行はれる原子爆彈會議の詳細な計畫を發表した

三巨頭は十一日バーンズ國務長官、リーイ提督及びハリファツクス英國大使と共にポトマツク河上に浮べてある大統領のヨツトの上で會する討議は原子爆彈政策に終始する筈である、また原子關係の技術專門家は來週トルーマン、アトレー並びにマツケンジー＝キングの三巨頭と會見して原子エネルギーに關し技術的助言を與へることになつてゐる

マツケンジー＝キング首相は會談への途次クイーン・メリー號に乘つて九日にニューヨークに到着した、アトレー首相は九日夜空路合衆國に向つたが、出發に先立ちロンドンにおける市長招待年度午餐會に出席し、トルーマン大統領訪問の主要目的が大統領及びマツケンジー＝キング首相と共に原子エネルギー發見の「恐るべき究明」に照し出された世界諸事象を論ずるにある旨語つた、ただし首相の言によれば、首相は打ちひしがれ或ひは憂鬱な氣持でゐるわけではなく、國民に奉仕しようといふ崇高な努力の精神に燃えてゐるのであるといふ、アトレー首相の演說要旨次の通り

國民の大部分はわれわれの觀念をどの程度まで調整することが必要になつたかを理解してゐないと思ふ、われわれは既に原子爆彈の經驗を有する、戰爭に供せられたる科學が他の一層恐るべき兵器を發明しないといふことは決して斷言しうることではない、われわれは、數世紀の間に得られた人類の諸關係と全く別のものを考へだされない限り、信じ得ない規模の破壞がわが文明の上に落ちかかるかも知れないといふ事實を直視しなければならない、今日如何なる廣さの領土にせよ如何なる威大なる支配の夢にせよこの危險の前には殆ど價値を持たないといふことを知るべきである、社會秩序の基礎は人間の心情の中におかれなければならない、余はこのことを念頭において米國に赴くのである

アトレー首相は十三日正午、米國議會合同會議において挨拶を行ふ豫定になつてゐる

原子專門家會議

（ワシントン九日）ホワイト・ハウス當局は九日次の通り發表した

原子關係技術專門家のグループは來週集合してトルーマン大統領、アトレー、マツケンジー＝キング兩首相と共に原子エネルギーの技術面を論ずる豫定である

米、ソ聯にバルカン專門家を派遣

（ワシントン九日）バーンズ國務長官は九日次の通り發表した

バルカン問題に關する余の特別代表として、マーク・エスリツジ氏をモスクワに派遣、ソヴエト政府當事者と協議させる、エスリツジ氏は近く出發するが、氏はブルガリア滯在中の印象を基礎にバルカン一般情勢を協議する筈である

【米　國】

減稅法成立

（ワシントン九日）トルーマン大統領は八日、最近議會を通過した法人並びに個人に對する減稅法案に署名した、右減稅法は一九四六年の稅金から總額五十九億二千萬弗を減稅せんとするもので米國で減稅法が成立したのは一九二九年フーヴア大統領が「クリスマスの贈物」として米國民に與へた減稅法以來十六年ぶりのことである

昭和二十年十一月十三日（火）
第一〇號
時事通信
海外經濟
（第三種郵便物認可）

米伊交換書簡を發表

（ワシントン九日）バーンズ國務長官は七日國務長官とイタリア外相ド・ガスペリ、トルーマン大統領とイタリア首相パーリの間に交換した書簡の全文を公表した、この書簡によりイタリアはロンドン外相會議に先立つてユーゴスラヴイアへの領土割讓並びにドデカネーゼ諸島のギリシヤ返還に同意してゐたことが明らかにされた、但しイタリア政府は米國に對し、イタリアがリビア及びエリトリアの諸植民地における主權を維持しプレンネル峠を北部國境とするといふイタリアの主張を支持することを要求してゐる

パーリのトルーマン大統領宛の書簡はイタリアの一般情勢を概述してをり、ド・ガスペリの書簡はイタリア・ユーゴ國境、イタリア・フランス國境エーゲ植民地、イタリア植民地等の重要な領土問題について詳細に論じてゐる、兩者ともイタリアに對する最後的平和處理の草案を作る豫定だつたロンドン會議に二週間以上先立つ八月二十二日に書かれたもので、この會議はイタリアとの條約も未決のままに遂に意見の一致を見ずに終つた

ド・ガスペリの書簡が述べるイタリアの地位に關する主要問題は次の通りである

一、ユーゴスラヴイアは現國境の「若干の修正」を認められ、イタリアはフイウメ及びザラ兩地の「悲しむべき喪失」を甘受する

二、イタリアは北部國境をプレンネル峠に保つことを欲する

三、イタリアとフランスとは兩國間の重要問題を「直接の友誼的な交涉」によつて解決し得る

四、イタリアはトブルク及びマルマリカに戰略的地域並びに海空基地を設定することに同意するが、キレナイカ盆地の主權は維持したい

五、エリトリアにおけるイタリアの主權は手離せないが、エチオピアに海への自由な出口を與へることは認める

バーンズ國務長官とトルーマン大統領の返書はともにイタリアが戰後の歐洲において平和事業に邁進することを慫慂激勵し、聯合國の援助を約したものである

統合參謀本部の調査は兵器のみ

（ワシントン九日）陸軍長官ロバート・P・パターソンは八日海軍次官補ストルーヴ・ーヘンセル六日の言明に關し次の通り說明した

ヘンセル海軍次官補が六日の新聞記者團會見において、統合參謀本部は十月二十四日委員會をもつて將軍の戰爭における技術的諸發明の效果を調査せしめ、その報告を得るまでは陸海軍省統一に關し何の措置もとらない旨滿場一致をもつて提案したと言明したことは、誤解を生じたらしい、ヘンセルは統合參謀本部に原子爆彈その他の新兵器の效果を研究する委員會の任命を慫慂した、九月初旬の大統領の提案に關し、同委員會の調査範圍を擴げて陸海軍省その他各方面の組織上の問題をも含めたらどうかと示唆したにすぎない、統合參謀本部はこれを拒否し、委員會の權限は大統領の原案だけに限定されることに決定したのである

國際空軍の建設を提唱

（ニューヨーク九日）前ミネソタ州知事で今回現役から退いたハロルド・スタツセン海軍大佐は八日夜ニューヨークで開かれた政治科學々會の會合に臨み國際空軍建設の具體案を次の通り提唱した

米國は國際憲章第四十三條を修正して、安全保障理事會に小兵力の國際空軍を建設し且つこれを維持する權限を與へるやう提案すべきである

加州日本間三十一時間

（ホノルル十一日）米國海軍空輸本部は今回ホノルル日本間に新空路を開設した、新空路はホノルルからミドウエー島、マルス諸島を經由、從來の空路に比し約一千二百浬短縮されることとなり加州から日本までを約三十一時間で翔破出來る見込みである、航空便は毎日一回の豫定

【戰後處理】

極東諮問委員會、分科委員會を設置

（ワシントン九日）極東諮問委員會は九日會議を開催、協議の結果、次の二分科委員會の設置を次定した、一は日本に關する政策および目的を研究するもので、ワシントン政府からマツカーサー元帥に宛てた一切の訓令および日本政府に對するマツカーサー元帥の命令を檢討することを目的とし他は日本戰爭犯罪人の問題を處理するもので、犯罪文書の研究に當る、九日の會議には全員が出席したが、英國および比島だけは代理をして出席させた

ポーレー出發

（サンフランシスコ九日）聯合國賠償委員會の米國代表エドウイン・ポーレーは、大統領の個人代表として大使の資格で八日夜聯邦判事ピアソン・ホールを同伴して空路極東に向つてサンフランシスコを出發した、出發に際しポーレーは

出來るだけ早く滿洲に行つて、ソ聯が工業機械を持ち出してゐるといふ報道の眞僞を確めたいと言明した、ピアソン・ホールはポーレーの代理格である

東京では先發した米國賠償委員團はマツカーサー司令部の幕僚と九日豫備會談を行ひ、日本の賠償額決定のため調査に入つたが、委員團の主席代理マツクスウエルは

マツカーサー元帥と米國委員團とは日本が再び戰爭を挑めぬやうにするといふ共通目的に向つて仕事を進めてゐる

と言明した

日本の戰後通商と世界市場

（ニューヨーク八日）「ニューヨークワー・ルド・テレグラム」紙記者アーサー・ゴーマンは七日日本將來の通商に關し次の通り報じてゐる

米國の貿易業者は、日本の政府機關の調査にかかる戰前の日本貿易に關する報告を發表したが日本の貿易に關してかかる具體的な數字が發表されたのは今回が最初である、右調査によれば日本の戰前の貿易は年額十億弗にも達し、世界第六位を占めてゐた、この調査には商工省の提供した貿易品目別及び相手國別の明細な數字が附加されてゐるが、日本貿易の大宗だつた綿製品については、日本は四十二ケ國に對して一年一億弗以上を供給してゐた、調査も指摘してゐる如く、日本は今後この貿易をどの程度恢復し得るかの問題であるが、マツカーサー元帥は既に「日本は如何なる程度にせよ世界列國には伍し得ない」と述べてをり、また降伏條件の下では、日本は戰前における輸出の重要部分を占めてゐたやうな商品の製造すら禁止されることとなつてゐるので、日本が戰前に持つてゐた市場の爭奪戰が各國の間に當然演じられるだらう

【歐　洲】

洪、資金、食糧の援助を要請

（ブダペスト九日）UP通信社の報道によれば、ハンガリー新聯立內閣の首班を豫定されてゐるゾルダン・テイルデイは「ハンガリーは近く聯合國に對して資金、醫藥、食糧を要請するであらう」と言明したといはれる、因みにテイルデイの主宰する小地主黨は去る四日の總選擧において總投票數の六〇パーセントを獲得してゐる

芬、リツベントロツプを證人に要請

（ヘルシンキ九日）フインランド政府は元ドイツ外相ヨアヒム・フオン・リツベントロツプをフインランド戰爭犯罪裁判の證人として聯合國に申請した

アイゼンハワー歸米

（フランクフルト九日）ドイツ占領地域の米軍政長官アイゼンハワー元帥は議會の委員會に出席するため九日米國に向け出發した、ワシントンに二週間滯在の上歸獨の豫定である

獨で初の勞働爭議

（ベルリン九日）聯合軍のドイツ占領以來最初の罷業が勃發するに至つた、卽ちテイウセン鋼鐁工場の勞働者は戰時中ナチに奉仕したことのある人物が同工場の支配人に再び就任したのに反對し八日一齊に職場を拋棄し九日までに既に二十四時間ストライキを續けてゐるといはれる

昭和二十年十一月十三日(火)
第一〇號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

資料

「産業の平和」の新方式を求む

「N・Y・タイムズ」紙
十月二十一日號
ルイス・スターク

トルーマン大統領は十一月五日、ホワイト・ハウスに「經營と勞働」の代表三十四名を招集して、「産業の平和」の新方式樹立を要請した、ルイス・スタークがワシントン十月二十日附で報道してゐる所は、米國における「産業上の抗爭」の背景を傳へてゐると思ふ　（長谷川）

全國戰時勞働局が近く解體されるので、米國政府組織勞働並びに工業界は、今まで勞働爭議を滿足に調整出來なかつた從前の平時における行き當りばつたり政策（"slug-it-out" policy）に立ちかへらうとしてゐる

十年前全國勞働關係法で被傭人の「權利」が確立され、「責任」を果さぬ、卽ち勤勞層の自治組織に對する不干涉の責任を果さぬ雇主に對する罰則が出來た

しかし團體交涉を促進するといふ政策の基礎を据えただけで米國政府は立ち止つてしまつた、如何にして團體交涉を實施するか、團體交涉が行き詰りに陷つた場合續いて必然的に起る爭議を裁定するのに、秩序ある手續をとるためどんな機關を設けるか等々はどうも當局の關心事ではなかつたらしい、多少の例外はあつたが、各勞働組合もワグナー法で出來た土臺の上に屋根をかけようとしなかつたのだから、組合としてもこれらの具體的施策については殆ど無關心だつたといへよう

△調停官の權限

從つて新法律で全國勞働關係者が出來たといふ以外、過去十年間勞働爭議を扱ふ平時の政府機關には何等變更がなかつたわけだ、勞働省の調停局には、一九一三年同省が出來た當時よりも多數の調停官が控えてゐるが、調停官の權限は制限されてゐる、聯邦政府の威嚴を一身に集めてゐると思はれてゐる調停官も、帽子を片手に靜に組合乃至雇主の事務所に入り名刺を出した上で、おとなしく「何かお役に立つでせうか」と尋ねねばならない、先週ニューヨーク港埠頭の罷業の際、或る勞働組合の領袖がやつたやうに、勞働組合は調停官と協議したくない旨を政府に通告することが出來るし、時には雇主も同樣の態度に出よう

數週間前トルーマン大統領がシユウエレンバツハ長官に二、三の機關を移讓した際には、勞働省の「改組流線化」案が頻りに論議されたが具體化するのは春日遲々たる有樣だ、勞働長官は「火事場仕事」――卽ち罷業の火消し役で忙殺され、結局罷業が持上る前に爭議を片付けるといふ遠大な政策を考慮することは、必然的に持ち越しとならざるを得ない、しかしシユウエレンバツハ長官は極く最近調停機構强化案を檢討するための三角委員會を任命した、委員會の報告が十一月五日の會議に間に合へば大いに役立つこととならう

一方勞働組合は「純粹な團體交涉」を要求してゐるが、前と同樣一部の組合を除いては、組合では以上の高遠な理想を、罷業以外、如何なる手段で實現するかについては一切觸れてゐない

△論爭を阻止する關係局

かかる情勢のもとにおいて、米國民は政府が何等か打開策を見付けて呉れると期待してゐるが、調整機構以外、平時において勞働問題を扱ふのは――鐵道の勞働爭議は別だが――全國勞働關係局（NLRB）だけに、同局は職域によると工場別によると産業部門別によるとその他の區分によるとを問はず、團體交涉に當る適當な單位と極めるのに役立つから代表權に關する論爭を阻止するのに役立つ譯だ、勞働關係局はまた被傭人が交涉役を選定する場合、雇主に對して不干涉態度をとるやう强要しようとしてゐる、若し雇主が干涉する場合には、關係局は卽時干涉停止を命令するし、被傭人が勞働組合運動の廉で馘首される場合には復職と馘首當時に溯つての賃銀支拂ひを命令する、しかし同局は「純粹な團體交涉」を强要することは出來ない、雇主が交涉を拒否した事實を確認して交涉するやう「命令」出來るだけだ、「純粹な」交涉には双方が「與へてとる」態度が必要だ、しかし鐵道業の勞働關係にはワグナー法が適用されず、一九二六年議會を通過した一九三四年に修正された

他の法律が適用される、同法は典型的な勞働法制だといはれるが、先づ全國に調停局を放置され調停局の任務は初めから終まで、爭議に適用される秩序的手續を執行するにあり、しかも被傭人には依然罷業の權利を認めてゐる

鐵道勞働法は双方の當事者が、賃銀、勞働條件についての協定と相互の關係を支配する規約を取極め、且つ維持する戰務を擔ふとの前提に立つてゐる、要するに鐵道法の手續は鐵道界の爭議の平和的秩序的調整に關する憲法だ、先づ双方の當事者の直接會議を開催し、會議決裂の場合には調停局が乘出し、最後に大統領の事實調査委員會が裁定報告する段取りだ、以上の手續が進んでゐる間は現狀を維持し、双方とも罷業やロツクアウトその他手續を盡すまで事態を變更しないといふ明文が採げられてゐる

鐵道法の手續がそのまま一切の産業部門に適用出來るかどうかは議論の岐れるところだが、爭議處理の秩序的過程を促進するやうな何らか基本的な手續を確立する法律をつくつてはどうかといふ意見が有力だ

△爭議處理に關する政府の對策

爭議にも色々あり、先づ組合相互乃至組合内部の縄張爭ひ、承認要求の爭議、賃銀その他に關する爭議と理由は種々雜多だ、例へば雇主と被傭人とが初めて協定を結ぶとか滿期失效した協定を更新する場合に爭議が起る事もあるし、協定の字句解釋が原因で爭議が起ることもあらうし乃至非常事態で爭議となることもあらう

第一の場合は調停で、第二の場合は裁定で、第三の場合は實狀調査で片付けることも出來よう

既に各種の爭議處理に關する政府の對策手續について具體案が出てゐるが、ボール・バートン、ハツチ各上院議員の勞働關係法案では、勞働爭議に關する米國政府の一切の活動を五人から成る委員會の官轄に入れて了ふ、委員會は獨立の機關で勞働長官の支配下に入らない、提案者の説明によれば若し委員會を勞働長官が最高法廷になり爭議の解決に關する委員會の力と體面とが弱くなるといふ譯だ、同案では調停員を勞働省から五人委員會に移すことになつてゐる、ボール上院議員はこの點について「勞働長官は政府部内における勞働の代表と目されてゐるから、公平不偏とはいへない」と説明してゐる、同案は鐵道勞働法の要點を可成り取入れてゐるが組織勞働は公共事業に影響を及ぼす主義については、强制裁定を規定してゐる條項に反對してゐる

東歐情勢の不安濃厚

―「NYタイムズ」週刊海外版 十月二十一日號―

東歐洲で現在行はれてゐる米ソ兩國間の外交競爭は、バルカン諸國の總選擧が近づくにつれて熾烈化すると同時に、諸大國がすぐ間近かでないにしてもいづれは開かねばならぬ戰後媾和會議に對するそれぞれの態度を決定するため準備をすすめるにつれて激化してゐる

明確な二つの型の競爭が行はれてゐる、一は特定の諸國における覇權爭ひであり、他はソヴエト政府によつて支持を受けてゐる共産黨支配下の政府に對する政治的には强力でないが多數を占めてゐる政派の對立抗爭だ、後者の場合は政府反對派は西歐諸强の支持を受けてゐる

確聞するに米英兩國はまた確かには決定してゐないが、とにかくエンヴエル・ホクスハ首相のアルバニア政府を承認する意向といはれるが、この事實はバルカン外交戰にぴつたりと適合する

米英兩國のアルバニア政府承認は、ホクスハ首相が米英兩國の味方になることを意味すると考へるならば危險だ、といふのはウインストン・チヤーチルがチトー元帥に期待したやうには問屋が卸さなかつたことでも明瞭だ、國内的にはユーゴスラヴイアにおけるチトーの地位は次第に不安定となつてをり、西歐諸國の外交壓迫は國内に有力な反對派を形成せしめてゐる、ユーゴスラヴイア國内の反對派は、國王ペタールおよびヴラヂミル・マチエク博士そのほか國王をとりまく政治家達と

昭和二十年十一月十三日(火)　第一〇號
時事通信　海外電報　(第三種郵便物認可)

緊密な連絡を採つてゐる、セルビアの外交官ストーはチトー＝スバシツチ協定の成立後ユーゴスラヴイアに一旦歸つた後、この一派に加はるためにまたもや國外に逃げ出したが、このストーは國内情勢に關する不安な報告を齎してゐる

隣國のブルガリアでは祖國戰線とその他の政黨との間の對立を續つて、選擧前夜の情勢は刻々緊迫の度を加へてゐる、祖國戰線に對立する諸政黨は西歐の支持を得て、選擧に參加するのを拒絶してゐる實狀だ

ルーマニアでは國王ミハイは米國務省の忠告でグローザ政府と關係を斷つて以來音沙汰ないので米英兩國政府に新たに覺書を送つて今後の行動について指令を待つてゐる

ハンガリーでは總選擧の結果穩健派が勝利を收めたので、米英兩國は氣をよくしてゐる樣子だ

要するに歐洲全土を通じてシユテツチン＝トリエスト線の東では、ソ聯に友好的な現存政府と西歐に支持を求める反對派との間の溝は益々深まるばかりだ、以上の事態は不安であり、危險を孕むものだ

磅協定に埃及不滿

――「ニューヨーク・タイムズ」紙――

カイロ三日

中東に在る英國の財政的衞星諸國は米英兩國間に進められてゐる貿易交涉の結果を鶴首待望してゐるが、カイロでは既にエヂプトのスターリング・ブロツク加入に伴ふ通商上の制限に對し不滿の聲が開かれる、この傾向を示す最上の一例はカイロのエヂプト商業會議所に提出された一報告が、エヂプトの通貨を磅に結び付ける制度から離脫し金本位制に復歸するやう提唱した事實である、右の報告は最近商業會議所副會頭を辭任したマルゲシ・ベイの起草したものだが、提案の理由として政治的自由には經濟的自由が伴はねばならぬと主張してゐる、更に最近「カル・サバ」紙も社說で類似の見解を表明し、エヂプトは獨立國なのに自分の金を「英國の承認なしには」使へぬのはどうしたわけかと論じてゐる

エヂプトの實業家は米國商品の輸入を熱望してゐるやうだが、實際にどれだけの自國通貨をこれに宛てられるか判らないのである、この疑問に對して三日當地の最有力銀行家が答へたところによると結局エヂプトの輸入能力は米英貿易交涉の結果によつて決るといふに過ぎない、戰時中エヂプトは磅ブロツク協定に從ひすべての米弗を英國政府に移託し、三億磅から四億五千萬磅（四十億乃至六十億ルビー）を國内で費消し得るクレヂツトとして設定した、英國から入手出來ぬ重要物資の輸入については、一億ルビーに相當する「硬貨」が米弗をも含めてエヂプトに割當てられた

さて明年度にどれだけの「硬貨」がエヂプトに割當てられるかの問題は、米國から新たに米弗の供給を受けようとする英國の努力の成果に應じて考慮される筈になつてゐる、從つてエヂプト實業家が米國商社と行つてゐる取引きの大半は米國政府の意向が決定するまでの取延べの狀態なのである、エヂプト財界はかういふ制限に焦燥を感じてをり同時に英國に在る磅クレヂツトの一部を英國に提供するやう要求されることを恐れてゐる

もつともエヂプト商業會議所は週末の會議でマルゲシの報告につき通告態度を決定せず、經濟小委員會に同報告を附託してゐる、財界の一部では磅クレヂツトの大半を喪失するような破目に陷らぬため英國との折衝に愼重を期さうとしてゐる、一方英國側ではエヂプトへの「硬貨」割當量はエヂプトの外貨獲得額よりも遙かに多かつたのであるから、戰時中エヂプトの貿易は戰前よりも增大した筈だと主張してゐる、更にまたエヂプトの云云する制限にも拘らず、米國商社がエヂプトで着着手を擴げてゐる事實を指摘してゐる、エヂプト商業會議所はマルゲシ報告に對し直ちに態度を決定しなかつたが、アラブ諸國會議を開き共通の問題につき共同戰線を張り、その他貿易伸張策を討議したい樣子で、この目的の下に委員會の組織を提唱するものとみられる

（佐藤）

政治家の眠れぬ夜毎

—「N・Y・タイムズ」週刊海外版
十月二十一日號—
ハーバート・マシューズ

いまは政治家にとつて頭の白髪がふえる時代だよく國際政治に關する質問が出るが、返事をすることが出來ない、といふのは地球の三分の一以上が「祕密に包まれた謎（チャーチルの言葉）」によつて支配されてゐるからだ、ソヴエト聯邦の政策が今日ほど分り難かつたことはないし、その謎を解くことが今日ほど世界平和にとつて重要なことはなかつた

ロンドンの外相會議が決裂して以來、最大の問題は「ソヴエト聯邦は次にどんな手を打つだらうか？」といふことであつた、ソ聯のあらゆる行動は綿密に研究された、これはソ聯の政策をなんらかの型に嵌め込んで理解しようといふのだが、いままでのところ名人將棋の打つ手がさう簡單に分らぬやうに、ソ聯の政策も摑へどころがない、まるで引き廻されて一顰一笑の態たらくだ、しかし最近一つの理論が時を得てきたが、これは研究してみる値打がある、それはソヴエト聯邦が孤立主義者になつて行くといふことだ

△ソ聯の孤立主義

ソ聯では孤立主義といふ言葉は多少違つた意味に理解されてゐる、ソ聯が版圖擴大と國外への影響力滲透によつて自國の安全を確保しようと試みなくなるとは考へてゐないが、ソ聯がことを始めるには、他國のことなぞ一切無視して、ソヴエト聯邦にとつて最善と思はれることをする決意なのだどの國でも大なり小なり上品な利己主義から出發してことを始める

しかしながらそれだけに留まらない、ソ聯は西歐諸國に對する「防疫線」を固めてゐるのだ、いはゆる東歐洲ブロツクは既に存在してゐるし、ソ聯のために辯護これ努める者だけが、今日でも執拗く否定してゐるだけだ、フインランドから始つてブルガリアに至るソ聯の隣接諸國は、のこらずソ聯によつてどつかとばかりに統制されてゐる實狀だ

ソ聯の孤立主義といふのは殼の中に閉ぢ籠つて自分だけの世界に生きることではない、それはいろんな種類の地域主義を設定し、この地域主義の中に地球の一を含めて、ソ聯は自分の資力と武裝兵力に依存し、衞星諸國の援助を得て自國の特殊利害を追求することだ

△その影響

孰中それは大なり小なり國際關係から離脫する政策であり、この政策が不安の眼で現在凝視されてゐる譯である

終戰以來孤立主義と國際主義の二つの傾向が明確な形で露呈されてゐる、ソ聯でも米國でも以上の二傾向が競ひ合つてゐるのだ

だから桑港會議では、國際聯合の一般理念が承認されてゐたにも拘らず、米ソ兩國は出來るだけ權力を五大國の手中に收めようと努めた、孰中兩國はなによりもまづ國際政治の手續を無償値にする拒否權を主張した、その結果がロンドンの外相會議に表はれ、外モロトフ外務人民委員は絕えず四對一で敗れたが、モロトフ氏は拒否權を發動してなにもかも無效にしてしまつた、以上の事態はベルリン、ウイーンおよびブダペストの聯合國管理々事會でも日常茶飯事である

このソ聯の謎めいた態度は一見さしたる結果を招來するともみえないが、平和か戰爭か、一つの世界か二つの世界かといふ大問題がソ聯の政策如何にかかつてゐる場合、世界の政治家が眠られぬ夜を送つてゐることも無理からぬことだ（原子）

ナ・リーグ選拔テイーム東京へ

（ニユーヨーク九日）ナショナル・リーグ選拔テイームは近く前線部隊慰問のためUSO主催の下に八週間に亘る太平洋巡業を行ふ豫定といはれるこの計畫によれば、選拔テイームは各島嶼の部隊テイームと三回ゲームを行ひ東京の球場で占領軍選拔テイームと九回戰を擧行する筈である

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和廿年十一月十四日（水）　第一一一號

時事通信　海外電報

編輯發行人　柱田惟三　東京都豊島區巢鴨五ノ三九　幸草舍

原子力會談は十一日の三頭會談で大綱の諒解をみ十二日から專門家會議に入つた、十四日頃再び三頭首が會同し、コミュニケを發表することになるらしいが、このコミュニケこそ全世界が首を長くして待つてゐるものだ、ソヴエト聯邦の動向にも原子力問題の影響するところは些少でない、原子エネルギーの管理については米英加三國の內部においても祕密派、公開派入り亂れて議論さまざまだが、祕密の鍵を握る科學者たちの態度は最も注目される

ニユー・メキシコ州ロス・アロモスにある原子爆彈工場の科學者團は十日、アトレー英國首相に對して

閣下が原子爆彈により齎らされた革命的諸問題を理解されることを望む、正しく永續的な平和を獲るために必要な諸階梯における指導精神はさうした理解でありたい、我々は原子爆彈の發明において英國科學者と極めて緊密な協力を示した、この協力がいかに成功したかは世界の知る通りだ、十一日からこの新力源の將來を論ずる會議が催される時に際しわれわれは英米兩國首班が戰爭なき世界を求める兩國共通の努力を繼承されんことを希望する、現在原子核エネルギーを管理するための措置が必要なることは、三年前に勝利が必要だつたのと變らないといふ意味のメツセーヂを送つてゐる、署名者の筆頭はイタリアから追放されてシカゴ大學の物理學教授となり、原子爆彈製作に軍配を揮つた例のエンリコ・フエルミ教授だ

科學者全體の意向は國際管理にあるらしい、米國議會のメイ＝ジョンソン法案に對する反對も科學者たちの意向が大きな支持となつてゐるらしく思はれる、そして問題を複雜ならしめてゐるのは破壞力としての原子エネルギーの脅威に絡まつて生產力乃至一切の文化的生活的力源としての原子エネルギーが餘りにも豐かな將來を提示しつつあることであらう

ハル長官にノーベル賞

（オスロー十二日）ノルウエー通信社の報道によれば、ノルウエー議會のノーベル委員會は、今回平和賞を前米國々務長官コーデル・ハルに贈るに決定したといはれる

【目　次】

三頭意見一致か……一一〇
英國側專門代表……〃
アンラ豫算案で討論……〃
米海軍三分の一歸還……〃
眞珠灣公聽會開始……〃
關係調整の必要を說く……〃
ユーゴ總選擧でチトー派勝利……一一一
羅王政派を軍事法廷へ召喚……〃
世界政府案の缺點……〃
埃首相完全獨立を要求……〃
米國航空機完全報告發表……一一二
原子力會談開く……一一六
國際ゴム會議二十日から……〃
獨逸における「冬の役」……〃
パレスチナ政策協定か……〃
【特　輯】
獨逸の戰爭犯罪人……一一七
【資　料】
陛下の權威は高まる……一一九

ジエローム・カーン死亡

（ニユーヨーク十二日）米國著名の民謠作曲家としていまなほ斯界に羽振りを利かせてゐた、ジエローム・カーンは十一日死亡した、享年六十、原因は腦溢血、カーンは「オールド・マン・リヴアー」や「スモーク・ゲツツ・イン・ユア・アイズ」等一世を風靡した歌の作曲者である

三頭意見一致か

アングロサクソンの三巨頭トルーマン大統領、アトレー英國首相、マツケンジー＝キング・カナダ首相の原子力會談は豫定通り休戰記念日の十一日ホトマツク河上のヨツトで行はれ、ワシントンからのロイター電報によれば、三頭首は科學的發見の國際管理といふ英國案に完全な歩み寄りをみせて、十二日會談の内容をそれぞれの專門家、顧問に手交、研究を命じたといはれる、三頭首の會談はこれで一應終り、あと數日間は開かれることはないとみられてゐる

ホワイト・ハウス當局の發表によれば、會談は十一日の午後から夜にかけての灰色の霧雨をついてポトマツク河上で殆んど九時間に亘る周遊のうちに續けられた、會談は全く形式を離れ、顧問も列席せず、記錄もとらず、最後的な決議といふものもなく、單なる打解けた親密な意見の交換として行はれた、卽ちその意圖は、世界がこの新しい脅威的兵器の夢にうなされてゐる時期に三者を合同せしめるに至つた重要諸問題について互ひの氣持を知らせあふにある

會談は今後二日間專門家の公式委員會だけが開催され、ここで用意された文書に基き、次の三頭會談で協定を結び、最後的なコミュニケを決定することになる豫定で、この會談は恐らく十四日頃ではないかと思はれる

英國側專門代表

（ワシントン十二日）十二日の原子爆彈專門家會議に出席する英國側專門家はサー・ジョン・アンダーソン、內閣原子力顧問ジエーカブ、外務省のネヴイル・バトラーの三名である

アンラ豫算案で討論

（ワシントン十二日）米國下院は既に一九四六年三月までのアンラ豫算案として五億五千萬弗を可決、上院に廻附したが、同案にアンラの活動に關するニューズを自由に新聞人に與へない國々に對しては援助を差控える旨の留保條項あり、上院においては目下討論が重ねられてゐるが、更に一九四七年三月をもつて終る一ケ年の豫算として、十三億五千萬弗を要求する法案が十二日下院に提出されたところ、端なくも民主共和兩黨の間に論戰が展開されるに至つた共和黨は委員會の報告に基き五億五千萬弗を越えるアンラの豫算案を「白眼視」し、絕對に必要な額以上の豫算には同意出來ないと言つてゐる

米海軍三分の一歸還

（ホノルル十二日）海軍省發表によれば、日本進攻のため太平洋戰域に使用された海軍兵力二百五十萬のうち約三分の一が海軍艦船により既に合衆國に歸還した

眞珠灣公聽會開始

（ワシントン十二日）眞珠灣事件調査のため設置された上院の特別委員會は、その審議方法で紛糾を續けてゐたが、愈々來る十五日から事件關係者の出席を求めて公聽會を開催することとなつた

關係調整の必要を說く

（ロンドン十二日）英國々務相ノエル・ベーカーは十二日英國下院の質問時間に際し、外相サー・アーネスト・ベヴインに代つて英ソ兩國政府間の相違を大げさに扱はぬことが極めて必要であると述べた、次いで無所屬のダニエル・リプソンが以上の相違を取除くため如何なる措置を講じてゐるかと質問したところ、ノエル・ベーカーは

この戰後の期間に、勝つた國々の間にすべての重大諸懸案について直に合意が出來れば實に結構なことと思ふ、英國政府はソヴエト政府との同盟合作條約の精神に基き、双方與へてとるといふ方法で、合意的解決に到達するため適當と考へられる時には各般の正常手續をとる方針である

と答辯した、更に勞働黨のサミエル・シルヴアンが自分達が袖の中にエースをかへしておきながら他人に全部切り札を出せといつても無駄ではないか

と質問したがノエル・ベーカーは答辯しなかつた

昭和二十年十一月十四日(水)
第一一一號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ユーゴ總選擧でチトー派勝利

(ベルグラード十二日)ユーゴスラヴイアの國會總選擧はチトー元帥の「國民戰線」に對して反對派が選擧のボイコツトを宣言、チトー派また強引に選擧の期日實施を主張して騒然たる雰圍氣裡に十一日の選擧日を迎へたが、十二日までに判明したところでは「國民戰線」の絶對的勝利は確認されるに至つた、もつとも、反對派が總選擧をボイコツトして正式の候補者を出さなかつたのに對して「國民戰線」だけが候補者を出してゐたが、國民は反對派のボイコツトを無視して有資格人口の九十パーセント八百萬が投票したが、更に婦人も參政權を得て初めての國會選擧に參加、選擧は極めて靜穩裡に終了したといはれる、今回は新憲法草案を目的とする上下兩院會議の選擧で、以上により、チトー元帥を首班とする「國民戰線」政府は一應民意を反映したものとして存續を許されることとなつた譯だ

羅王政派を軍事法廷へ召喚

(ブカレスト十二日)ブカレストにおいては去る八日約五萬の市民が國王ミハイの第二十四回誕辰を祝つて王宮前廣場に集合、政府軍隊が群衆に發砲して死者二十名を出す不祥事件をみたが、AP報道によれば、グローザ政權は騒擾の原因を王政派の隱謀とみて、十二日自由黨の黨首コンスタンチン・ブラチアヌ他百二十名の王政主義者に對してブカレスト軍事法廷へ出頭を命じたといはれる

世界政府案の缺點

(ニューヨーク十二日)目下一部で論じられてゐる「世界政府」設置提唱について「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」の論說記者ジョージ・フイールデイング・エリオツトは十一日付紙上で次の通り論じてゐる

「今日の世界に過去の經驗の試練に堪え得た唯一の政府組織があるとすればそれは合衆國憲法である、目下論議されてゐる世界政府について種々な提唱の缺點は、世界政府が世界暴君の道具と化することを防止するに十分な保障制度が案出されてゐない點にある、合衆國憲法は聯邦政府の權力を愼重に定義し、各州の權力に對して均整をとるやう制限されてゐる、聯邦政府自身、行政、立法、司法の三權に分離され一つが他に對して制約を加へるやうに案配され、それぞれが愼重に定義された權力と責任の限界を有してゐる、立法の分野においても、人口を基礎として選出された下院と、人口を無視して各州から同數に選出された上院との間に權力の配分が行はれてゐる、吾人をして世界政府を構想せしめるに至つた原動力、卽ち原子爆彈の發見は、又同時に世界政府が手を放せばこれをもつて人類を奴隷化するための方便に使用する惧れを含んでゐる、國際信託案の原案起草者ハロルド・スタツセンは、少數の職業軍人に凡ゆる源泉を一擧に破壞し得るやうな偉力を有する空軍武器を引渡す提案をしてゐるが、これ等の職業軍人が、有史以來いまだ曾つて有した事のないやうなこの權力を不法に行使するのを防止すべき何等の保障制度も提示してゐない、私の論は他人の建設的な案をば單に破壞せんがための批判であると難じられるかも知れないが、それならそれでよろしい、自分の明白にしたい點は、われわれはいかなる世界的原子權力も、この權力が純一に人類に奉仕すべきものであり、現在及び將來において、この權力を不法に行使することを防止する保障制度が出來ない限り、かかる世界的原子權力を創るべきではないといふ事である、何よりも先づ吾々は、かかる世界組織に對して、この組織が完全に人權に從屬するものであることが確定されるまでは軍事力を與へてはならないと考へる」

埃首相完全獨立を要求

(カイロ十二日)エジプト首相ノクラシ・パシヤは十二日の議會開會に當り一場の挨拶を述べ、重ねてエジプトの完全獨立を要求した、ノクラシ・パシヤの演說要旨次の通り

エジプト政府は英軍の撤收をも含めてエジプトの完全獨立を要求する、また政府はナイル河流域の統一を目的とし、現在英埃兩國の保護領たるスダーンに對するエジプト單獨の支配を確立するために努力する方針である

米國航空戰完全報告發表

（ワシントン十一日）米國陸軍航空本部長ヘンリー・アーノルド元帥は十一日、今次大戰における米國陸軍航空隊の活動に關する全般的報告書を發表した、報告書中の主なる部分を譯出すれば次の通り

△原子爆彈の防禦

原子力の航空機推進利用は遠い將來のことだと思はれるので、われわれは原子爆彈を攻撃的に、たとへば國際聯合安全保障理事會の決定の强制執行に使用する手段として、更には侵略行爲における原子爆彈の無責任なる使用に對する防衞手段としての現在の空軍力の役割に注意を集中した方がよいであらう

原子爆彈に對する防禦には三つの方式がある

一、世界中の何處においても、決して原子爆彈が秘密に製作されないやうに注意すること

二、原子爆彈攻撃に對して考へ得る一切の積極的防禦を行ふ工夫

三、原子爆彈攻撃に對して、被害を最少限度にとどめる爲の國土再設計

少くとも現在のところでは、絶對的制空權を常時維持し、極めて優秀な地上高射砲部隊を有することが、兎に角ある程度の安全感を與へる唯一つの防禦方法であつて、此後も長期間にわたり、これが我々の安全保障の基本的部分を占めるに違ひない

又過去における軍事諜報の必要なる概念は近代戰の要求を充すには不充分であつた、ただに製作に關する廣汎なる諸問題をあつかふのみならず不斷に流入する情報を集蒐し、評價し頒布する如き常設の全國的機關が大いに要求されてゐる

△日本の降伏と空軍力

次に一九四四年末より日本の降伏に至るまでには陸軍航空隊が戰爭協力において演じた役割を痛感するに、他の兵力の缺くべからざる寄與を充分に認識し乍らも空軍力は公平に見て決定的であつたと呼んでよいやうに感ずる、日本の崩壞は太平洋戰爭の攻撃面の戰略的概念の全貌を明らかにした、廣く簡單に論ずれば、わが戰略は地上航母を問はず空軍力を前進せしめて本土に上陸せずとも空中攻撃により日本の敗北を齎らし得る可能性と上陸の準備及び上陸協力においてもそれが決定的役割を演じるだらうといふ確實性を持つ粉碎的攻撃の烈火の威力が日本に對し放たれる點まで進めるにあつた

原子爆彈の恐るべき且つ甚大なる效果を輕視するつもりはないが、われわれはその實用のために日本への途を作つたと信ずべき充分な理由がある事實日本は制空權を失つてゐたのでどつちみち長持ちはしなかつた、わが軍の爆撃に對して效果的な抵抗を示すことも出來ず、從つて都市並びに工業の破壞を防ぐことも出來なかつた、日本陸軍はなほ上陸軍に甚大な死傷者を出させるだけの力を持つてゐたので侵攻せずして日本を敗北せしめることこそ持續的空襲の主要目的だつたのである

一九四九年においては、一作戰において百機以上の爆撃機が日本を攻撃せることなく、一九四五年の八月には一回の夜間作戰に八百機のB29が攻撃を加へた、作戰全期間を通じて、第二十一爆撃隊は日本々土まで往復殆んど延五千哩を飛びながら飛行距離百萬哩當り一機强といふ事故喪失率を示したにすぎなかつた、爆撃における出撃航空機喪失率は一九四五年一月の五七%といふ高率から同年七月の〇・四%まで低下した

當時第二十一爆撃隊司令官たりしカーチス・ルメー少將の東京に對する低空夜間燒夷彈攻撃の決定は今次大戰における最も重大なる決定の一つであつた、日本の六十六都市に對する延一萬五千機以上の出撃において十萬噸の燒夷彈が投下され、目標都市工業地域の四十二以上を破壞した、空中戰の歷史に於てかくも僅かの犧牲によりかかる破壞を成し遂げたことは全くない

B29の機雷敷設作戰は「眞に戰略的な兵器」としての最初の利用でありこの機雷作戰が豫期以上の成果を收めたことを示す證據はますます上りつつある、沈沒、破損、または行動の自由を失つた船舶は五十萬トン以上に上る、封鎖は全體として極めて完全でありアジア大陸から流入する原料は

極めて僅かに過ぎず食料の輸送量は本土を飢餓水準の上に保つに要するものの數分の一、日本軍は「大東亞」にあるその尨大なる兵力に裝備を供給することさへ不可能であつた

對日航空戰における人員の犧牲は第二十一爆撃隊の八ケ月間の作戰において戰死者二一二名、負傷者三九七名、行方不明二二七九名を數へ、その數字は相當のものであつたが出撃せる總員に比すれば僅か一%に過ぎない、一方、一九四五年七月末までに、第二十一爆撃隊のB29三五九機が種々の原因により失はれたが、そのうち敵の軍事行動乃至不明理由により喪失したものは二一八機であつた

日本の空中戰における努力が最高に達したのは四月特に九州各飛行場の上空における戰ひである以後日本航空隊のB29に對する抵抗は逐次數的にも戰意においても衰へ、遂に七月B29が日本に四萬二千噸以上の爆彈を投じた時には日本戰鬪機の出撃は僅か九十九機と報告されてゐる

B29は日本の戰鬪機に對して立派に對抗し、第二十一爆撃機はこの八ケ月間の作戰において撃墜七五六機、卽ちB29の喪失（敵機、對空砲火乃至不明理由によるもの）一機に對し三・四機の戰果をあげた

日本上空における最後の戰術的空襲戰においては日本航空隊は更にその敗北を促進した、もし日本の集結せる航空機はわが侵攻艦隊に對して大規模攻撃を加へたとすれば、その損害は恐るべきものがあつたにちがひない、この蓄積といふことはわが日本々土の所望の地點に何の抵抗も受けることなく原子爆彈を使用し得るといふことを意味したのである

恐らく對日戰における我が航空作戰において主要な點はそれが尨大なる完全且つ協力的な全體の一部をなしたといふことである、空軍力の役割は認められた、その重要性は陸軍のマツカーサー元帥海軍のニミツツ元帥、ビルマのマウントバツテン元帥、支那のウエデマイアー中將等各方面軍司令官から輝かしい賞讃を浴びてゐる

△歐洲における空中戰

ルントシユテツト攻勢の最高潮に始じめる一九四五年度の歐洲の空中戰はアルントシユテツトの供給問題を一夜にして粉碎した、戰略爆撃によりドイツの發動機燃料は甚だしい不足に陷り鐵道爆撃は進撃に備へられた豫備軍の供給を不可能ならしめた

ナチ地上部隊の敗北といふ究極的な目的が達せられた時、我々は一九四二年八月十七日の白晝戰略爆撃から一九四三年の長い困難なる戰ひ、卽ちゴム工場の爆撃、シユワインフルト玉軸受工場爆撃における爆撃機六千臺喪失といふ大打撃、或は一九四三年度におけるドイツ空軍の勢力增大と天候との爲の苦戰、更に一九四四年二月のドイツ空軍總攻撃を可能ならしめた、好天並びに全飛行距離の直衝を可能ならしめて長距離戰鬪機の出現或はロンドン攻撃數ケ月前にV兵器基地の攻撃等の成果を殆ど驚異をもつて振り返る事が出來たのである、上陸地點沿岸の飛行場並びに輸送路を攻撃し一九四四年四月五日イタリアから戰略石油作戰を開始し、四月十一日英國からもこの作戰を助けて、六月六日のDデーを戰ひ、セイヌ、ドアール三角地帶の戰場を粉碎し、七月二十五日のサン・ロー突破作戰の爲絨毯爆撃を行ひ、アルデンヌ、ラインランドの横斷席卷戰を助けクラリオンの作戰を行ひ、ルールに戰ひそして最後にドイツを殆ど百五十萬噸の爆彈のもとに粉碎したのである

この戰鬪における我が航空機の損害總數は、一萬八千四百十八機敵の損害は三萬二千九百二十一機である

第九兵員輸送部隊により輸送された空挺部隊は二十八萬四千人、各種輸送部隊の負傷者を後送せる數は二十一萬、空中からまかれた宣傳リーフレツトは實に數百萬を數へる

我々は幾多の誤謬がおかされてゐたのを知つた戰略爆撃は新らしい軍事兵器であり、我々はそれを進めつつ多くの事を學ばねばならなかつたが、仕事全體には誇りを持つてゐた、一九四五年二月二十二日聯合國空軍はドイツ輸送機關を目標とし

てクラリオン作戰を行つた一萬機以上の航空機は從來の大編隊とはことかはり、少數編隊を以つて低空を飛びながら二百の目標を各個に攻撃したのである、聯合軍は大博打を打ちドイツが新事態にとつさに應ずる態力を持たなかつたために勝利を收めたのである

クラリオン作戰はドイツ陸軍の大規模機動性にとどめを刺した、わが空軍組織は戰略的戰術的情勢變化の必要に應じるやう調整されてゐたにも拘らずそれから致命的打撃を與へ敵の戰意及び戰爭繼續能力を弱めやうとする我々の全體的な目的は常に見失はれなかつた

これは必ずしも我々が空中戰にのみ勝つたといふのではない、歐洲における空中戰が徹頭徹尾英空軍との緊密な共同勢力の原因となつてゐたことを忘れてはならない、今一つ注目すべき協力の實例は米國陸軍航空隊により追羽子爆撃の爲のソヴエト基地の利用である

ナチの地上部隊司令官、空軍將帥、工業家、政治家、輸送人等が我が制空權が彼等の災厄の根本原因なることを知つた、特に戰略爆撃による、工業の絶えざる出血、就中石油攻撃及び益々甚だしくなる輸送の混亂が大きな原因だつたのである、又軍需戰時生産相アルベルド・シュペーアの言によれば最後的な崩壞をもたらしたものは每日每週必ず爆撃機が來るといふ事實だつたと云はれる

だがまだ行はなければならない重要な任務がある、再轉換即ち將兵を本土に空輸し、彼等を空輸部隊基地迄送るといふ仕事或はドイツの警察の外にまだ未完成の大きな仕事が殘つてゐる、その一つは征服した國の國土は大形の地圖を作ることであり、いま一つはドイツ空軍の武裝解除、即ちその爪牙を引拔くのみならず、腦髓を剔抉するといふ任務である

なんであれドイツが持つてゐた價値あるものはわれわれも持たう、かれ等が作らうとしてゐたものについても知らなければならない、それが平時生産の假面にかくれて作られない樣に注意しなければならない、この戰爭に勝つことは困難な仕事だつた、空軍力は今後も平和の維持のためにそのわかち持つ役割りを果して行くつもりである

△比島の空中戰

比島における空軍基地の回復は空中封銷作戰により日本から南方地域の豐な且つ極めて緊要なる資源への水上輸送を遮斷する機會を米國に與へたジョージ・C・ケニー大將の極東航空隊は、海軍航空隊の輝かしい努力と相應じて時を移さずこの機會を利用した

フイリピンの空中戰においては、これが極めて目立つたものではあつたが、全體の一部であり計畫された針路の一歩々々であつたことを常に忘れてはならない、一戰場における日本空軍力の破壞はそれと相應する海陸の諸作戰を進め或ひは可能ならしめたのみならず、いよいよ致命的となりゆく日本航空隊の全體的な弱體化に實質的に寄與したのである

比島においてミンドロ島、レイテ島並びにサマール島飛行場が一九四四年末に急速に建設されたことはエニス・C・ホワイトヘツド第五航空隊に始めて十分な基地を與へ、特にマニラ周邊の日本軍航空基地網に對する作戰に施した

一方第十三航空隊はアドミラルテイ諸島からモロタイ島へと前進し南ヒリピン並びに周邊地區に對し活潑な活動を開始した、次いで兩航空隊は當時破滅的な損害にも拘らずその實力を保たうと努力を續けてゐた日本航空隊の破壞に眼を轉じた、かくて僅か一ケ月のうちに比島にある日本航空隊は戰鬪用機六百五十四機の努力から六十九機の劣勢に轉落したのであつた

以後日本の航空機はリンガエン灣上陸地點へ向ふ護送船團への自殺的努力の他には比島にその影を絕ち、ルソンその他の島々における戰鬪は敵機に防げられることはなくなつた、第五航空隊はルソンに對し上陸地均し爆撃を行つたが、一九四二年五月六日五ケ月の惡戰と二十八日間の籠城の後に、日本軍の手に落ちたコレヒドール島はこの種作戰の效果を示す一例である、同島はわが銃爆撃と船艦の四十五インチ砲による砲爆撃にさらされ遂には全く組織的抵抗を見ざるに至つた、生き殘つた者もあまりの試煉に幻惑されてはかばかしい傾向を示し得なかつたのである

ルソン島の諸基地が使用し得るやうになつた時第五航空隊は再び前進し、第十三航空隊も第五航空隊のあけ渡した、基地に前進してゲリラ部隊の集中的地上協力戰の段階に這入つたのであつた、特殊戰闘機隊司令官ホール・B・ワーツマス代將の下にラジオ・ジープをそなへ空陸直接協力の後にゲリラ戰司令部に配屬された部隊が編成されたこのジープは現場においてわが戰闘機隊の銃撃に對する地上效果を報告し、その效果並びにゲリラ部隊の效果をなすことが出來た

一方第五航空隊は地上協力作戰の段階に這入りその地上協力機の出撃は一月の百五機から三月には一躍四千九百六十三機に上つたのである

空陸協力作戰において使用されたナパルム爆撃といふのがあるが、ナパルムはガソリンを含んだ柔らかい膠狀物で試驗に際しては殆んど消し得ないことを證明されてゐた、これを百十ガロン入りタンクに入れて小さな着發信管のある雷管を附し頑強な敵の固守してゐる岩窟や塹壕の上に各機二個乃至三個を積んだ航空機から投下して文字通り火の海と化する

マニラ東方のイポ貯水池は首都に十分な水を供給する點には絶對必要だつた、係統的に配列された、洞窟陣地には十分武裝した日本兵がもぐり込んでゐて、砲彈も爆彈も比較的效果なく戰は果てしなく續くかの觀を呈しはじめた、日本軍の後を追つてイポ地區に攻め込んだ第五戰闘隊は五月の十六、十七、十八、と三日間に亘る連續的攻撃をもつて、ナパルムの罐一千個以上を投下した、かくて頑強なる日本軍も殆ど烏合の衆に化し第四十三師團は身を屈めることもなく堂々と突入したのであつた

△ビルマ其他の戰ひ

ビルマでは全軍が全く空からのみ輸送され援護され後送され、補給され得ることが初めて實證された、またボルネオの空中戰は困難な地形を前進する地上部隊との空中協力による水陸兩用作戰の準備乃至協働を行つたといふ意味で空中協力の效果を最もよく發揮した實例である

中部太平洋における戰闘では航空隊は水陸兩用作戰に協力したほか、置き去りにした島々の多數日本軍航空基地を絶えず無力化するといふ使命を完遂し、終戰間際の數ケ月間中部太平洋はあれだけ日本軍航空隊がありながらわが戰闘用輸送用航空機が何の邪魔もなく飛び廻れるアメリカの湖の如きものとなつてゐたのである

△第十四航空隊の活躍

一九四五年度におけるクレア・シエンノート麾下第十四航空隊の第一の功績はその空の敵手を粉碎し去つたといふ事である、一月には日本航空隊は未だにわが攻撃に對抗してゐた、その一ケ月間に敵機の撃墜は二百十一機に上り、更に決戰が行はれた日も何日かあつた、第十四航空隊は三對一の平均空中戰記錄を作り日本航空隊は急速に崩壊して行つた、一月以後撃墜と發表された日本機は九十八機に過ぎず、六月以後は一機の撃墜も發表されてゐない、しかも一九四四年には約六百機の日本軍航空機が支那基地におかれてゐたのである一九四五年七月には散在的に無力な航空機が僅か二百機あつたに過ぎない

支那における制空權の獲得は苦難多き戰であつた、ビルマ航路の再開と昆明送油管の完成とにも拘らず第十四航空隊の供給狀況は決してよくはなつてゐなかつた、航空基地までは大高原を越えなければ行くことが出來ず、戰闘に傷いた航空機も時には山越えまでして飛んで歸らねばならなかつた、ただそれをするだけの耐久力と能力とだけがこうした飛行を續けさせたのである、さうしたハンデキヤップにも拘らず第十四航空隊は一九四五年度延一萬三千機の出撃回數を示したのだつた

幸ひにして春までには南支と印度支那沿岸とは比島基地から比較的經濟的な距離に這入り、沖縄の占領以後は上海も第五第七兩航空隊の猛攻を蒙ることとなつた、かかる事態の發展により、第十四航空部隊は、いよいよ重要な奥地目標物特に粤漢鐵道の南北に亘る日本の交通廻廊に勢力を集中することが出來るやうになつた

これ等諸作戰は極めて順調に行はれた結果、第十四航空隊は火急の際にはその有する全勢力を、中國地上部隊との直接協力に使用することが出來かくて最初成安を目指し後に重慶を指向した日本軍地上部隊の三月作戰が第十四航空隊の援助を以

つて見ごとに撃退し得たのである、日本軍の部隊も陣地も效果的に反覆攻撃をこうむり、空軍力は日本軍がその陸軍の優勢を利用することを防げた點において最も主命的な要素たることを示したのである

日本軍が五月にその大東亞廻廊の放棄を決意し南支から撤退することになつた時、その機動性と補給線は第十四航空隊の攻撃によつて著しく減じてゐた、その鐵道幹線においても一時に運轉し得る區間として連續五十哩以上の處はなかつた、鐵道の運轉は絶えず中斷され夜間の道路輸送さへもはげしい攻撃を受けた、當時支那における日本軍司令官の一人は、若し裝備を捨てれば撤退に要する時間は一年、物資を持つて歸らうとすれば二年かかると述べてゐる

支那全土に亘る鐵道々路輸送及び河川船舶の攻撃作戰において第十四航空隊は機關車六百三十二輛、鐵道車輛九百三十輛、トラック千六百七輛、橋梁四二七、サンパン、ジヤンク、艀舟等二千百十四隻を撃破してゐる

原子力會談開く

（ワシントン十一日）トルーマン大統領はアトレー、マツケンジー＝キング兩首相とともに、十一日午前休戰記念日に當り、アーリントンの無名戰士の墓地に詣で花輪を捧げたが、式終つて三巨頭はポトマツク河上の大統領のヨット「セコイア」號上で、原子爆彈に關する會談を開始した、右會談には國務長官ジエームズ・バーンズ、英國大使ハリフアツクス卿並びにリー・イ提督が參加してゐる

國際ゴム會議二十日から

（ワシントン十一日）米英蘭三國代表は二十日からロンドンにおいて、國際ゴム會議を開催、次の諸懸案について協議することに決定した

一、東亞において英蘭兩國が所有してゐるゴム園の復興、必要な資材の輸送、ゴム園附近の道路交通機關、電氣施設等の改善

二、人造ゴムと天然ゴムとの關係、双方が平和な立場で統事が出來るやうな價格の決定

會議は當該本國政府に勸告案を出す權限すら持つてゐないが、實狀の調査報告が主要ゴム生産國間の協力促進に役立つと見られる、米國代表は國務省の國際資源局長ドナルド・D・ケネデーで、八名の專門委員を帶同してロンドンに赴く豫定である

獨逸における「冬の役」

（ベルリン十一日）英軍司令官モントゴメリー元帥は十一日、第一次大戰の休戰記念日に當り次の通り述べた

「ドイツ占領の聯合軍は今や「冬の役」に直面し推移如何によつては極めて重大な困難を誘致するかも知れない、食糧、難民救濟、疾病對策等が最も重要な問題だが、石炭の不足輸送の困難並びに青年の再教育もまた容易ならぬ問題である

フランス政府が反撥的な態度に出てゐるため、ドイツにおける聯合四國政府が效果的對策を講ずることは出來ぬ實狀だが、英軍司令部においては冬季の困難で人民が蜂起する場合を考慮警戒手段を講じてゐる、四國の聯合政府は國際協力の分野において、從來見られなかつた大膽な企圖だが、フランス政府が中央政權の設置に反對して、今回の企圖が失敗する場合には、より廣汎な分野における大國間の協力が果して成功するか否か、將來の見透しは著しく傷けられることとならう」

パレスチナ政策協定か

（ロンドン十一日）「イヴニング・スタンダード紙」は十日の紙上で次の通り報道してゐる

「米英兩國政府はパレスチナ地方への移民入國調査について、目前の措置としての短期計畫を取極めた、同取極めによれば兩國共同で調査委員會を設置し、歐洲における米英兩國軍の占領地帶に居住するユダヤ人難民のうち、何パーセントがパレスチナ地方への入國を希望し、他の各國に何パーセント、現住地に居据りを希望するかを調査する豫定である」

昭和二十年十一月十四日(水)
第一一一號
時事通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

獨逸の戰爭犯罪人

長谷川才次

戰爭犯罪人（war criminals）といふ觀念は今度の世界大戰を契機として現實國際法の問題化するに至つたといつて差支へあるまい、勿論war criminalsといふ言葉は國際法の教科書に載つてゐるが、要するに非戰鬪員が戰鬪行爲に從事した場合を指すので、今聯合國が取上げてゐる戰爭犯罪人とは著しく内容が違ふ、例へばオツペンハイム教授の國際法――一九二一年の古い版だが――には

兵士の敵對行爲については、當該兵士は、何ら惡いことをしてゐない、武裝兵力の一員として取扱はれる特權を喪失しないが、兵士の敵對行爲と區別し、犯人を逮捕する場合敵が處斷し得る兵士または他の個人の敵對行爲その他の行爲を戰爭犯罪といふ

と述べてゐる、しかもwar crimeといふ言葉にはホール教授とかウエストレーキ教授とかが反對してゐるので、オツペンハイム教授は「戰爭犯罪といつても技術的法律的意義に他ならず、通義上の意義に使つてゐるのではない」と言譯してゐる位だ（オツペンハイム教授著「國際法、戰爭と中立」第三版三四一頁）

△起訴の新意義

ソヴエト代表ニキチエンコ檢事を裁判長とし米國代表フランシス・ビドル、英國代表サー・ジョフリー・ローレンス並びにフランス代表アンリ・ドネデユ・フアーブンの四人から成る聯合國の法廷は十月中旬、曾てナチ政權が六二〇事件の犯人を裁いたベルリンのカンメルゲリヒトでドイツの戰爭犯罪人二十四人を起訴した、起訴狀は英佛露三箇國語で書かれ、二萬五千語に亘る長文だが「ニューヨーク・タイムズ」紙の十月二十一日號は國際法上における起訴の意義について次の通り述べてゐる

法的に今回の起訴は極めて重大な含意をもつてゐる、即ち「盜賊國の指導者はその行動について個人的に責任を負はなければならない、國際的犯罪人だ」として取扱ふことが出來るといふ原則を確立することによつて、今回の起訴は國際法の理論に新らしい實體を與へた、これは戰爭の記錄において從來見られなかつたところである、一九一八年カイゼルを絞首刑に處せといふ議論が喧びすしかつた當時でさへも、個人に戰爭責任を負はせようといふことは眞劍に企圖されなかつた、即ちベルリン法廷の起訴は國家主義的侵略に法律上の禁令を定める新らしい過程を開いた意味で、國際法上の里程標といふことも出來よう

起訴狀の全文はまだ入手してゐないが「ニューヨーク・タイムズ」紙や「ニューズ・ウイーク」誌の最近號によつて要點を摘錄しよう

△ナチの罪狀

一、共同の計畫または陰謀＝被告は「當法廷の憲章に定義されてゐる平和に對する罪、戰爭犯罪並びに人類に對する罪」を犯す計畫に參畫した廉で訴追され「右計畫または陰謀の遂行に際しての各自自身の行動並びに一味の犯した一切の行動について個人的に責任を問はれる」

ナチ黨がドイツを支配し、次いで全世界を支配しようとした企圖の歷史を辿つた後、具體的にはドイツにおけるナチ政權の恐嚇政治、戰爭準備、ヴエルサイユ體制の打倒から歐洲政治を企圖した點について、被告の罪狀を掲げてゐる

二、平和に對する犯罪＝「侵略戰爭または國際諸條約、諸協定乃至諸保障を侵犯した戰爭を企畫、準備、發動または遂行した罪」＝ポーランド、英佛兩國、デンマーク、ノルウエー、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ、ユーゴスラヴイヤ、ギリシヤ、ソヴエト聯邦ならびに米國にたいする戰爭の責任で、長文の附屬文書にはナチ政權

各個人並びに諸團體の責任、諸條約の侵略戰爭に關する日付細目等が揭げられてゐる

三、「戰爭法規または戰爭に關する慣行の侵犯、一般市民の虐殺、虐待、奴隷勞働その他の目的に基く追放、人質の殺害、公私財産の掠奪、軍事上の必要もない都市村落の無法な破壞または荒廢化等を含む」＝「ニューズ・ウイーク」誌によればこの項目は起訴狀のうちでも最も深刻且つ長文に亘つてゐるといふが、特に「ユダヤ人、ポーランド人、ジプシー等國民的人種的又は宗教的集團」を叩き潰して了はうとする大量虐殺虐待を詳述した後、占領地帶のドイツ化を目的とする苛酷な占領行政に及んでゐる

四、人類に對する犯罪＝「戰前又は戰時における一般市民に對する虐殺、奴隷化、追放並びに他の非人道的行動、政治的、人種的または宗教的根據に基く刑の執行」「ニューズ・ウイーク」誌によれば、この項目はナチ政權に對し自國民を「濫用」(abuse)する權利を否定し、少數民族特にユダヤ人を迫害虐殺し、ドイツ國内において、政治的人種的宗教的理由に基づいて自國民を迫害し、更に進んでは、個々のナチ政權反對分子を投獄、虐殺した廉で、ナチ政權の幹部を犯罪人と斷定してゐるので、從來の主權絕對の觀念を覆へした「法制史上の新例」だといふ

△被告の顏觸れ

被告はすべて二十四名、再び「ニューヨーク・タイムズ」紙の叙述を借りよう

二十四名の名簿はナチ政權系列の頂上に位する一味を網羅してゐる、舊軍閥の貴族的なユンケルもあるし財政、産業、經濟各界の指導者も入つてゐるし狂信的なナチ理論家も含んでゐる、要するに今回の名簿はヒトラー總統のもとに實權を把握したドイツ各界の程度こそ違ふが夫々才能を持つた人々の列傳だ

筆頭がヘルマン・ゲーリング元帥、次がルドルフ・ヘス、英國に對する和平提案は戰爭犯罪人としての責任を些も輕減しない、第三位が外相フオン・リツベントロツプ、次いで參謀總長カイテル元帥、軍令部長デーニツツ提督、レーダー提督等の名が揭げられてゐる、カイテル元帥はドイツ軍の降伏に署名し、デーニツツ提督は一九四五年四月自ら降伏政權の首班を買つて出たが、戰爭犯罪人たるに變りはない、更に幕僚長ヨードル上級大將大使フオン・パーペン、「金融の魔法使ひ」シヤハト博士、國立銀行總裁ワルター・フンク、クルツプ・トラストの首班グスタフ・クルツプ、軍需相シユペア博士、元首相フオン・ノイラート男、「二十世紀の神話」の著者アルフレツド・ローゼンベルグ、ユダヤ人迫害の張本人ユリウス・シユトライヒヤー、勞働戰線の首領ロベルト・ライ、ワルシヤワの屠殺人といはれるハンス・フランク、祕密警察の頭目ルンスト・カルテンブルネル、オーストリア統領セース・インカルト、官房長マルチン・ボールマン、内相ウイルヘルム・フリツク、青少年運動の總帥フオン・シーラツハ、外人勞働監察官フリツツ・ザウケル、並びに宣傳次官ハンス・フリツチエといふ顏觸れだ

以上のうちボールマンだけは消息不明、レーダー提督はベルリンで赤軍に捕はれた後「不思議に消え去つて了つた」といふが殘りのうち二十一名は現在ニユールンベルグ市の刑務所にあり、「ニューズ・ウイーク」誌によれば、起訴内容を見てフランク博士はさめざめと泣き出し、「卽時辯護人と相談したい、余はこの裁判の結論に最大の關心を持つてゐる」と語つたと傳へられる、またシユトライヒヤーは法定辯護人のなかにユダヤ人が出てゐるのをみて身慄ひし、「反ユダヤ主義の辯護をユダヤ人に賴むといふのか」と激怒したといふが、ヨードル將軍だけは冷靜に「辯護人は國際法の專門家か刑法の專門家か何れを選んだらいいか」と質ねただけだつたといふ、ただし起訴の相手はナチ領袖二十四人だけではない、「自國並びに隣接各國を從屬させる上にナチ指導層を支援した七機關」を「目的において犯罪的だ」と宣言してゐる、七機關といふのは、ドイツ内閣、ナチ黨の指導班(Leadership Corps)、親衞隊、ゲシユタポ、突擊隊、參謀本部ならびに統帥部等だ、「ニューヨーク・タイムズ」紙はこの點について、

「ニューヨーク・タイムズ」紙はこの點について以上の措置はこれら諸機關に所屬するその他の犯罪人訴追の手續を簡易化する目的に出てゐる卽ち數千人に及ぶかも知れぬ被告に對し、これ等機關に所屬してゐないとの擧證責任を轉嫁することになるので、個々の事件について訴追する殆ど無限の手續を省略出來ようと述べてゐる

△國際法とナチ犯罪

公判は十一月二十日、今は廢墟と化したニュールンベルグ市に僅に殘つた古い裁判所で開廷されよう、ビドル檢事が第一の陰謀と戰爭遂行に關する犯罪を擔當し、英國のサー・ジョフリー・ローレンスが平和に對する犯罪を、ニキチエンコが東部戰線、フランス代表が西部戰線の戰爭犯罪、何れも起訴狀の第三項だ、米ソ兩國代表が第四項の人類に對する犯罪を擔當する豫定だ、被告も既に辯護人を選定したらうから、開廷を待つばかりといつていいだらう、被告の大半は四項目全部に亘つて訴追されてをり、斷頭臺に導かれるのが多いことは間違ひない、さりながら滔々たる世界史の流れに立つて觀ずれば、個々人の浮沈はそれが如何程數奇を極めようとも要するに渺たる蒼河の一粟、人生の須臾なるを憐んで長江の無窮なること羨むほかはないが「ニューヨーク・タイムズ」紙がいふ通り

個々人の宿命よりも重要なのは公判のやり方とかくして確立された先例であり、結果如何は戰爭を法度としようとする國際聯合の努力に甚大な影響を及ぼすに違ひない

同紙の取上げてゐる國際法上の論點を今少しく掲げよう

「今回の訴追は國際法界に新たな問題を提起した反對論はいふ、もしドイツが戰爭に勝つてゐたとすれば、被告は自由で、彼等の行動は法律的な意味で挑戰はされなかつたらう、從來國際法が戰爭に犯罪の烙印を押してゐないのだから、ナチ領袖の公判に合法性と正義の外衣を纏はせる結果は、法律における不遡及 (ex post facto rule) の原則に背くとの非難を受けよう、寧ろナチ領袖を便宜の論據で(on the grounds of expediency)で取除くのが妥當ではなからうか

しかし肯定派は曰く、先例がないことを理由に法律の進展を阻止してはならない、何れにせよ國際聯盟の諸協定並びに不戰條約に齒を入れず、道義的判斷に法律的重みを加へねばならぬ時が既に到來してゐる、被告相互間に犯罪の度合の相違はあらうが、被告に對する基礎的な糾彈については何人も異議がなく不遡及の原則で被告の犯行を辯護することは出來ない、被告は何れも近世における最大の大量虐殺に手を借してゐるではないか」

聯合國が戰爭犯罪人の訴追を具體的に取上げてから今回の起訴まで二十ケ月を經過し、各國の專門家が各種の見解を提出したが、米國大審院の判事ロバート・H・ジヤツクソンの裁斷で、侵略行動を國際犯罪として取扱ふことに極つて群議は一掃されたと傳へられる

陛下の權威は高まる

「N・Y・タイムズ」紙
十月二十八日號
東京特派員リンゼー・パロツト

天皇陛下と皇室制度とは日本の崩壞降伏を切拔け、更に當初の二ケ月間における聯合軍の日本占領の結果、恐らく從來よりも一段しつかりと日本國民の答案を受けるに至つた、若し窮極における統治形態を日本國民に決定させるための人民投票案が今日施行されるならば 聖上と皇室とが殆ど何等の反對も受けずに、傳統的な君主制の形で維持されるだらうとはすべての日本人の全く一致した見解だ、勿論これは一個の私見であり、かかる投票はまだ行はれないし、結局行はれずに終るかも知れぬのだから、私見を述べるほかはないが、數十名の日本人と話をし、日本各紙への投書を讀んだ上での結論だから、一見逆說的と見えるかも知れないが事實は然らずだ 聖上に對する日本人の見解並びに君主制が必要だとの意見については幾多の要素を上げることが出來よう、久しい間の傳統、多年に亘る强力な宣傳宗教的感情等々だが

一般の日本人が今までみなかつた位　聖上を尊崇するに至つたのには新しい有力な理由がある、普通の日本國民は戰前乃至戰爭中　陛下がどんなことをされたにせよ、結局國民に平和をもたらされたのは　陛下だと信じてゐる、平和が日本に對して何を意味するかは、人的資源は鮮血に染み幾年も必要な物資は悉く剝奪され、しかも最後にはいづれの國も體驗したことがないやうな恐ろしい爆撃を受けたこの被征服國民の間に住んだことのある人でなければわからない、長年戰時の必要といふ口實のもとに、日本國民は制服を着た軍人のために苦められ彈壓され軍隊組織化されて來た、今でさへ日本人の生活は決して薔薇色ではないが、少くとも或る種の制限は取除かれ一部生活の樂しみが立ちかへつて來た、國内の青少年は最早制服を强要されず、二度と歸らぬ外國での戰場に赴かずに濟む、敗北による和平ではあるけれど、和平は日本國民を惹き付ける力あり、しかも　聖上がこの和平を實現してくれたと考へられてゐる、詔書に御署名遊ばされたのは　聖上であり、キーキーいふ田舍の村々のラジオで、戰爭が終つたことを宣言されたのは、　階下の御聲である、和平は國民に對する　陛下御親らの惠澤であり、新たに確立された新聞自由主義のもとで、毎日現れる痛烈な攻撃の好目標となつてゐる「軍閥」「官僚」等の憎惡されてゐる階級に對する勝利とみられてゐる

以上が悉く普通の日本人が考へてゐるところだと思ふが、宮廷と何らか接觸ある上層部の人々の間では　陛下の御役割は一段と强調されるので彼らの語る所が段々洩れて來るとともに　陛下の御立場は更に强化されよう、役人連の話によれば、どうしても和平を招來せねばならぬと最終的に決斷されたのは　陛下であり、如何なる犧牲を拂つてでも、和平を實現せねばならないと側近者に語られ降伏の時まで軍の有力な部門からの明確な反對を押し切り、御自らのお考へを是非とも實現されるため、連日閣僚その他を國務に御勵み遊ばされたといふ

以上日本國民の動向に徹すれば、結局　陛下の御立場がどうなるかといふ問題は時の解決に待つほかはないが、恐く　陛下と國民との關係が從來よりも幾分廣くなるのではないかと見られる、陛下がマッカーサー將軍を訪問遊ばされたのは議會の開院式そのほかの儀式のやう、極めて儀式的な場合以外に　陛下が宮城の外にお出ましになつた最初である、しかも御道筋には御警衛もなく、警官が一杯乘つた自働車が一臺お供しただけだ

側近は日本憲法に所謂「神聖不可侵な」御方の御身邊から、從來の形式張つた所をいくらか取除くのが却て好都合ではないかと考へてゐる、側近の語る所によれば　陛下は極めて平民的に亙らせられ（Aguito hunan person）泳ぎも遊ばされるし御乘馬も遊ばされ、お話しのお相手を承つても、些も窮屈に感じ上げることはないとのことだ以上　陛下の御特質が國民に分れば、王座と臣民との關係を一段と緊密化するに役立たう、調査の結果如何で　陛下と皇室の御方々とが戰爭犯罪人として扱はれるかも知れぬとの報道を　日本國民の大半が嫌惡してゐるには、かかる理由に基く、陛下並びに皇室制度を含めて、政治に關する公開討議を許すといふ聯合國最高司令部の聲明にも拘らず、日本國内の刊行物はこれらの主題に殆ど觸れてゐない、勿論新聞社に投書が來ないこともないが「官僚」や財閥警察を非難する投書の洪水に比べれば寥々たる有樣だ

アンラ二ケ年の業績

（ワシントン十一日）アンラ理事長ハーバート・レーマンは九日ワシントンで開催された、アンラ開設二周年記念の晩餐會に當り次の通り述べた

アンラは開設以來合計二百六十萬ロング噸の物資を、解放各國に輸送したが、アンラの事業は僅かに半ばに達したに過ぎない、救濟を受ける資格ある各國は殆んどすべてアンラ物資に依存してをり戰後最初の恐ろしい嚴冬を切り抜ける上にも、アンラがこれら諸國にとつて唯一の保護機關である、現在アンラの輸送は月平均五十二萬噸だが、年末までには月百萬噸にたつしよう

大正七年四月十日第三種郵便物認可　編輯發行人　桂田增三　東京都渋谷區日比谷公園一ノ一

昭和二十年十一月十五日(木)　第一二號

時事通信　海外電報

世界の焦点

スターリンといへば謎の人物といふのが通り相場だが、確かに謎めかしいところがないでもない十月八日モスクワは初雪に見舞はれた、ふわふわした綿毛が赤い廣場を緩かに渦巻いて、クレムリン宮の高い城壁にしつとりと降りたとき、突如スターリン議長が休暇をとつて赤い都を離れるといふ發表がフラツシュされた、爾來一ケ月間彼の所在は杳として判らない、そのまま「十月革命」の第二十八回記念日にもモスクワに姿を現はさぬばかりか、レーニンなき後きまつて彼がやることになつてゐる六日夜の革命記念演説もモロトフをして代つて行はせた、一年に一度スターリンの聲咳に親しく接しようとして恐らく胸を躍らせながらラジオのダイヤルを廻したその夜のソ聯國民は、スターリンならぬモロトフのせかせかした聲を耳にして恐らく愕然としたであらう、そして驚きの後から深刻な不安が彼等の魂をぎゆつと摑んだに相違ない

スターリンの休暇旅行が發表されて間もなく、彼の病氣説が傳へられた、この噂には一般も半信半疑の態度だつたが、スターリンがソ聯にとつて極めて大事な革命記念演説をサボルに至つて、病氣か、さもなくばもつと重大な動機が伏在するかの二者の一つと考へざるを得ない、スターリンは元來が影の人であり、黒幕の人物である、彼は共産黨書記長として舞臺裏から操るのを好む、戰爭の脅威が增大するや一九四一年春彼は止むなく舞臺面に登場し、首相と國防相を兼任し、獨ソ戰が勃發すれば國家防衛委員會議長として戰爭遂行の全責任を双肩に擔ひ、ルーズヴエルトとも會談すればチヤーチルにも會ふ、その他有象無象にもお世辭をいふといつた一見華かな生活に突入したしかし戰爭が終つてみれば、もはや舞臺の正面でスタンド・プレーをやる必要を認めない、再び舞臺裏に退いて傀儡師の役割を演ずる絶好の機會だ演説はモロトフがやれ、會見はジユダノフの役だ俺も齢取つた、すこし遁ませて貰はうといふのが今回の彼の謎の動靜を律する動機ではなからうかだが、もしもさうでないとすれば、殘る理由はただ一つ……

赤十字社にもノーベル賞

(オスロー十三日)ノルウエー議會のノーベル委員會は、米國の前國務長官コーデル・ハルに一九四五年度の平和賞を授與するとともに、四四年度の平和賞を俘虜に關する業績に鑑み、萬國赤十字社に授與した

【目　次】
米、パレスチナ問題に愈々干渉……一一二
佛政情不安……一一三
ポルトガル總選擧……〃
デーヴイス、時事解説者に……〃
米、金貨流通法案提出……〃
將來の通商戰阻止を希望……〃
【東　亞】
解決は現地で……一一四
【西　亞】
ソ聯、中東に進出を企圖……〃
【歐　洲】
フランコ頑張り政策……〃
クルツプの代理裁判を提案……一一五
米、歐洲再建報告發表……〃
【米　國】
勞働兩巨頭衝突……〃
會談終了後聲明を發表……一一六
【科學ニユーズ】
新X線機關ビータトロン……〃
翼付の自動車……〃
超巨人電氣機關車……〃
【特　輯】
フランス第四共和制……一一七
【資　料】
日本の民主々義改革……一三一
ポーランド生きるための戰ひ……一三二

コミユニケ發表は十五日か

(ワシントン十二日)ワシントンの英國外交當局筋は十二日「アトレー首相は米國大統領及びカナダ首相との原子エネルギー會談の進行に極めて滿足してをり、共同聲明は十五日または十六日に發表されるとみられてゐる」旨言明した

米、パレスチナ問題に愈々干渉

＝米英合同委員會を設置＝

（ロンドン十三日）ワシントン來電によれば、ホワイト・ハウスはパレスチナ問題を檢討するため米英合同委員會を設置した旨十三日發表、現在まで堅持してゐた不干涉政策を一擲して積極的にパレスチナ問題に干涉する態度を明らかにしたといはれるが、英國外相アーネスト・ベヴインも十三日の下院において待望のパレスチナに對する英國政府の公式政策を說明した、英外相の聲明內容次の通り

△信託統治制を堅持

「米國政府は英國と協力して歐洲ユダヤ人に關する一般問題特にパレスチナ問題を調査することに同意した、その結果米英合同委員會が設置され、委員會はパレスチナ問題に關し、アラブ、ユダヤ双方の代表と協議し、パレスチナおよび歐洲において採るべき實際的措置につき米英兩國政府に進言する、パレスチナは御承知のやうに英國の委任統治領である、從つてパレスチナに對する政策はアラブ、ユダヤ兩世界にとつて極めて重大な問題であるばかりでなく、印度にも大きな反響を捲き起す可能性が多分にある、なぜならば印度にはアラブ人と同じ宗教を信仰する者が相當の勢力を有してをり、その意味で英帝國全體の問題といふことが出來る

パレスチナにおけるアラブ、ユダヤ兩民族間の對立は一聯の紛擾を惹起したが、パレスチナ問題は暴力によつて解決さるべき性質のものではなくもしも暴力を行使する企圖が將來もあるならば、容赦なく彈壓を加へられるであらう、同問題は相互の話し合ひと互讓精神によつてのみ解決されるべきである、米英合同委員會が中間勸告を行ひ得るやうになるまで、英國は從來の原則に基いてユダヤ人のパレスチナ入國を許可する方針だ、卽ち一九三九年の白書に從ひ植民省は一ケ月千五百名のユダヤ人の入國を許可しよう、いづれにしてもパレスチナを信託統治制の下におくのが英國政府の窮極の目標である」

ベヴイン外相がユダヤ人問題の暫定據置として一九三九年のパレスチナ白書に規定された一ケ年間の入國數一萬五千に若干の修正を加へ、一ケ月千五百名、年一萬八千名の入國許可を維持すると言明したこと、およびパレスチナを信託統治制下におくことは何等新味のあるものでなく、アラブユダヤ兩民族が不滿としてゐるのも以上の英國政策であるため、米英合同委員會の仕事に問題解決の一切の希望が懸けられる譯だが、ロイター記者ジョン・キムチも以上の一般の空氣を反映して次の通り論評してゐる

「ベヴイン外相の聲明は單なる暫定聲明に過ぎずパレスチナ問題の解決を示唆する何等の新味も盛られてゐない、一九三九年の白書によるユダヤ人の入國許可は十一月をもつて滿了する譯だが、問題は白書の失效後にどうするかといふことだ、併しながら英國官邊筋の洩らすところでは、政府は多少の修正を加へた儘白書の規定を維持する方針であるものの如く、その結果今回設置された米英合同委員會といふよりは米國の方針に解決への希望の一切が懸けられてゐる譯だ、從つて委員會の直接の目的は解決を遷延することにあるのではなく、恒久的な滿足すべき解決を出來るだけ早く樹立するにある」

△三國會談でも協議か

ワシントン來電によれば米民主黨上院議員ジエムズ・ミードは十二日上院の玄關口に集まつた約一千名のユダヤ教信者を前にして

論理的にも法律的にも將又道義的にも、ユダヤ人はパレスチナに無制限に入國する權利があると言明してユダヤ人の歡呼を浴びたといはれるが更に數百のユダヤ人は同日ユダヤ人入國に關する新要求を携へてホワイト・ハウス議會および英國大使館に押しかけたが、要求の內容は

一、ドイツの强制收容所にある十萬のユダヤ人を卽時にパレスチナに入國させること

一、一九三九年のパレスチナ白書を卽時廢棄すること

一、入國問題を解決するため米英合同委員會を設置すること

一、アフリカおよび近東の牢獄で呻吟するユダヤ人を釋放すること

と四個條にあるといはれ、パレスチナ問題の解決は合同委員會の設置と平行して、ボトマック河上におけるトルーマン、アトレーの會談も大きな役割を演ずるものと期待されてゐる

昭和二十年十一月十五日(木)
第一二號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

佛政情不安

(パリ十三日)フランス憲法議會は六日辭任したフランス臨時政府首班シヤルル・ド・ゴールを十四日再び政府首班として選擧した、(九日選擧は誤報)かくてド・ゴール臨時政府は初めて國民の總意の上に立つ政府として承認され、第四共和制を樹立すべき新憲法制定の任に當るわけであるがド・ゴールは直ちに新議會分野に基く政府の改造に着手するはずである、ド・ゴール自身としては現在の主要政黨であり、その勢力もほぼ伯仲してゐる共産、社會、人民共和三黨の聯合内閣を組織する意圖で、三黨の首領者との會議を開始してゐるが、共産黨と人民共和黨の對立は未だ解消せずこの妥協が成らない場合は、ド・ゴールは政府首班たることを辭退するだらうと見られ、その場合はフランスは解放以來最大の國内危機に當面するものと見られる、共産黨側の主張は、新内閣は左翼聯合の合同政綱を無條件全面的に受諾すべしといふにあり、人民共和黨は、新政府が三派の聯合内閣である以上は政策もまた三派の主張を折衷したものであるべきであると主張してゐる、三黨とも主要産業の國營化、トラストの排撃、ヴイシー勢力の拂拭等の一九四四年の抗戰團體合同綱領には贊成してゐるが、人民共和黨が主張する教會學校に對する政府助成金の交付繼續について、共産黨は眞向ふから反對してゐる、この際注目されるのは社會黨の出方で、妥協不可能の時は社會黨々首レオン・ブルームが調停に立つことが期待されてゐるほか、萬一ド・ゴールが政府首班たることを辭退した場合は自身政府の組織に當ることも豫想されてゐる

ポルトガル總選擧

(リスボン十三日)ポルトガルの總選擧は來る日曜日十八日執行されるが、二十年振りの選擧であるに拘らず政府與黨の勢力には消長はないものと豫想されてゐる、議會定員は一二〇であり、政府反對黨としては共和社會黨、共産黨があり、彼らは總選擧の前に人口調査を行ふこと、選擧戰に準備期間を與へることを理由に選擧期日の延期を主張してゐたが、首相アントニオ・オリヴイロ・サラザールは拒絶した、サラザールは十月七日の演説で、今回の總選擧によつて國民の總意を問ふと宣言したが「何人も國民の不屈の意思に對抗して國家の政治的支配を維持することは出來ない」といふ理由で、言論の自由に制限を加へる意圖を明かにした、この不可解な政府の論法に對して國内の民主々義者たちは、民主聯合運動を組織して反政府の態度を明かにし、中産階級、知識層、勞働者、言論機關の多くがこの運動に參加するに至つた、かくて十月初旬以來、ポルトガル各地には暴動が起り、武裝警官と民衆との間に衝突が頻りに起つてゐるのが近狀である

デーヴイス、時事解説者に

(ニューヨーク十三日)米國前戰時情報局長官エルマー・デーヴイスは十二日ABC放送會社と契約し一週三回ニュースの解説を擔當することとなつた

米、金貨流通法案提出

(ワシントン十三日)金を貨幣として再び流通せしめる法案が十三日議會に提案されることとなつた、同法案には金の流通價格を幾許とするかは明示されてないが、これと關聯しては既に議會に價格引上げの二法案が上程されてゐる

將來の通商戰阻止を希望

(ニューヨーク十三日)ウオーレス商務長官は十二日米國貿易業者會議において米國の貿易政策に關して次の通り言明した

もしも世界通商障壁が除去され、破局的な米英ソ通商戰が回避されるならば、米國は英ソその他の聯合國に對して相當の額のクレヂツトを供與すべきだ、米國が音頭をとつて多角的な方式で世界貿易を擴大することは通商戰を誘發する第二次世界大戰には一兆弗の戰費を要したが、將來再び世界戰爭が勃發すれば、その戰費は天文學的數字に達しよう

【東　亞】

解決は現地で

（ロンドン十二日）インドネシア民衆の獨立運動は極東における英帝國の安危にかかはるものとして英國政界では打開策に腐心してゐるが、勞働黨議員ヘイドン・グエスト博士は、十二日下院において

英國政府はインドネシア問題の危機を解決するため米ソその他の聯合國と會議を開催するやう工作すべきだ

と提案したのにたいし、國務相フイリツプ・ノエル・ベーカーはベヴイン外相の代理の資格で直接關係國だけで問題を解決する方策を明かにし

英國政府は現地の關係者の間だけで協定に到達することが望ましい

と言明、英蘭佛三植民帝國と原住民だけで解決に當る意向を明かにした

【西　亞】

ソ聯中東に進出を企圖

（ロンドン十日）イラクの少數民族クルド族は今日まで屢々獨立とクルド自治共和國の樹立を目指して蜂起したが、その都度バグダツド政府の容赦ない彈壓を受けて挫折の止むなきに至つた、ところが最近イラクに勃發したクルド族の叛亂は有力な背後關係を持つてゐるものの如く、その勢力は侮り難く、トルコ、イランにまで擴大する形成にあるといはれるが、英日曙新聞の「オブザーヴア1」紙記者ベレーターは以上の情勢に關し十一日附の紙上で次の通り報じてゐる

「ロンドン」に達した情報によれば、イラクにおけるクルド族の叛亂は他の中東諸國に波及する危險な兆候を呈してゐるやうだ、イラク政府の嚴重な檢閲のため叛亂に關する報道は著しく制限されてゐるやうだが、クルド族の叛亂は國境を越えてトルコに擴大し、トルコからイランへ飛火する形勢にあると考へられる、今回の叛亂は今日までの蜂起とことがはり人數も遙かに多いし、武器も多く持つてゐるやうで、政綱も明確なものだといはれるが、內容は殆どわかつてゐない、クルド族が自治共和國の樹立を目的としてゐることは判然としてゐるが、その共和國をトルコに含めるのか、あるひはイラクか、更にアルメラア民族がソヴエト・ロシアへの併合を希望してゐるやうにソヴエト聯邦の一單位となることを欲してゐるのは曖昧だもつともクルド族の解放運動がソ聯と何等かの關聯を持つでゐることは、まづ疑問の餘地がない、たとへばトルコ政府は最近赤軍がカフカーズ地帶に集結してゐる事實を採り上げて抗議したが、ソヴエト政府によりにべもなく撥ねつけられてゐるまたイランの北部に居住するアゼルバイジヤン族はソヴエト聯邦への合流を企圖して解放運動を開始してをり、運動がソヴエト聯邦アゼルバイジヤン共和國からイラン領アゼルバイジヤン地方に乘り込んだ四名のイラン人によつて指導されてゐることも考慮に入れる必要があらう」

【歐　洲】

フランコ頑張り政策

（マドリード十二日）イベリア半島に殘存する「ナチ政權縮刷版」たるフランコ政權は王政分子の密輸入による民主々義への衣更へに失敗して以來、滔々たる反對勢力の流れに押されて必死の足掻きをみせてゐるが、統領フランコは依然共產主義の攻擊に藉口して獨裁權力の溫存に努めてゐる樣子だ、卽ちフランコは十一日一年振りで外國記者と會見、INS特派員に次の通り言明したといはれる

余は外部からの壓迫に屈して國家主席の地位から退いたり、余の樹立した政策を變更したりする意圖は毛頭ない、あらゆる國の國內政策はその國の國民だけに關係することであり、國家を個人にたとへるならば、個人の私事に干涉しないといふことは廣く認められてゐる鐵則である共產主義は今日の世界が直面する最惡の危險だ最近スペインに王政復古運動が行はれてゐるとか、余が王政の復興を企圖してゐるといふ報道が外國で傳へられてゐるが、かうした報道の大部分は事實と背馳する

昭和二十年十一月十五日(木)
第一一二號
時事通信 海外電報

クルツプの代理裁判を提案

(ニユールンベルグ十二日)近くニユールンベルグの國際軍事法廷で裁かれるナチ主要戰爭犯罪人二十四名のうちグスタフ・クルツプは病氣のため法廷に立ち難い狀態にあるが、米國側の首席法官ロバート・ジヤツクソンは十二日グスタフ・クルツプのかはりに息子のアルドリード・クルツプを裁判にかけるやう提案した、ジヤツクソンは理由として次の通り說明してゐる

公衆の利害は一切の個人的考慮を超えて尊重されるべきだ、從つてグスタフ・クルツプを裁くことが出來ぬならば、代りにクルツプ兵器工業コンツエルンの他の代表を裁判にかける必要がある、クルツプ一家は百三十年間に亘つて侵略戰爭の責任を負つてゐるのだから、余は被告席にゐないクルツプよりも寧ろ被告席に實際に立つてゐるクルツプを裁くのを望む、アルドリード・クルツプは兵器生産を專門とした諸工場の唯一の所有主である、余は嚢にアルドリード・クルツプをも告發することを提案したが、英ソ佛三國代表の反對に直面した

以上のジヤツクソンの動議は十四日米英ソ佛四國代表の會議にかけられ決定をみる豫定だが、もし動機が可決されるならば、裁判は更に一週間乃至十日の延期を餘儀なくされよう、但し聯合國戰爭犯罪委員會の英國代表サー・デヴイツド・マクスウエル=フアイフはジヤツクソンの提案に反對

全世界は裁判の延期を甚しく不滿としてゐるから、英國は缺席裁判ででもよいからグスタフ・クルツプの方を裁くことを希望してゐると言明した

歐洲再建報告發表

(ワシントン十二日)戰後の經濟政策並びに計畫調査の下院特別委員會は十一日その第十一回報告として「歐洲經濟再建」と題する報告を發表したが、その要旨次の通り

解放諸國たると占領ドイツたるとを問はず、歐洲諸國の再建問題と關聯して、危機的性格を有する刻下の重大問題が數多く存在する、これらはいづれも「不足問題」であり、水路及び空路を含む交通通信、政治機構、救濟特に食糧及び衣料救濟、健全財政の確立、インフレの回避再建用借款等々がこれである、本委員會は去る五月に發表した前回の報告において多くの重大經濟問題をあげたが、これらの問題解決に困難を與へてゐる事項には次の四つがある

一、英國の外國貿易政策
一、ソ聯の經濟組織を基因とする特別の問題
一、ドイツの再建
一、米國過剩物資の處分

【米　國】

勞働兩巨頭衝突

(ワシントン十二日)米國の勞資代表はトルーマン大統領の斡旋により去る五日からワシントンで戰後の勞資協調を確立するための會議を開催中だが、勞働者側を代表する二巨頭の正面衝突によつて會議は相當紛糾した場面を展開するに至つた、卽ち、正面衝突を來した二巨頭は、AFL會長フイリツプ・マレーと米國炭坑夫組合(UMW)長ジヨン・ルイスの兩氏で、爭點はマレーが最近トルーマン大統領の聲明した「物價を引上げることなくして勞働者賃金を引上げ得る」との主張を支持するのに對し、ルイスがかかる主張はあまりに保守的であると反對してゐる點にあり、この爭ひにはマレー、ルイス兩氏の個人的反感も手傳つてをり相當深刻な性格を持つてゐる、注目すべきはルイスの立場なCIO會長ウイリアム・グリーンの支持を受けてゐることで、勞働界消息筋ではルイス、グリーン兩氏の間にはマレーの地位を覆へすために既に非公式な提携申合せが成立してゐるのだとの觀測さへ行はれてゐる、一方資本家代表は勞働代表者間のこの爭ひに表面的には傍觀の態度を持してゐるが、實際にはルイスの主張を支持してをり、大勢はマレーにとつて不利である

會談終了後聲明を發表

（ワシントン十二日）トルーマン大統領とアトレー英國首相はアトレー首相が英國大使館に移るに先立ち十二日朝餐を共にして簡單に會談した、ホワイト・ハウス當局は「繼續的會談」が終了するまで兩頭首とカナダ首相との間の會談に關する聲明は發表されない旨言明した

英國大使館當局の談話によれば、アトレー首相は十二日中大使館に引籠つて十三日米國議會合同會議において行ふ豫定の挨拶演說の草稿を用意することになつてゐるといはれる

【科學ニユーズ】

新X線機械ビータトロン

（ミルウオーキー十一日）一九四〇年イリノイ大學教授ドナルド・カーストが同大學で發表した强力X線機械ビータトロンの詳細が十日發明されたビータトロンは現在工業用機械として陸軍兵器廠で使用されてゐるが、一般工業用としては二千萬ボルト押卸調節型が出來てゐる、ビータトロンに關するイリノイ大學物理學部ゲイル・D・アダムスの說明は次の通りだ

「ビータトロンは九十分間の露出で二十吋の鋼鐵板を透して寫眞を撮影し、二十分間の露出で十三吋の鑄鋼中にある三十二分の一吋位の小さな瑕を見出し、あらゆる細部をはつきり映して三倍以上に擴大することが出來るが、それが皆押卸だけで操作される、市販用二千萬ボルト・ビータトロンは、長さ五呎、高さ三呎、幅二呎で、電子の運動速度を光より一寸遲い十八萬六千哩秒まで促進することにより操作される、電子は電子管からドーナツト眞空管に射入され、電磁機中の交流の相を上昇せしめることにより速度を加へ、眞空管の內部で廻轉して三十萬回轉につき七十ボルトの割で電壓を增し、尖つた目標物に衝突してそこから二千萬ボルトのX線を射出する、この尖端から出る集中的な線は少くともラヂウム五千グラムの放射能に匹敵するのである」

翼付の自動車

（サン・デイエゴ十二日）コンソリデーテド航空機會社技師ノーマン・V・デーヴイドソンは十一日「道路用航空機」の公用實驗を行つた、いひ換へれば取外し式の主翼及び尾翼があつて地上でも空中でも役に立つといふ自動車だ、デーヴイドソンにいはせれば一般家庭向戰後輸送手段として最新の發明だ

彼自身の創作になるこの翼付自動車は流線型で車臺の大きさは普通のセダンと大體同じだ、地上では後部二個、尖端一個、計三個の大きな空氣入タイヤをもつて走る、横と屋根には大きな窓があつて、後部に七十五馬力の發動機を有する

翼は取外し式で、飛行場まで行つてから取りつけて離陸する、着陸すれば翼を外して藏ひ込み、自動車は街道を走つて町に歸る、翼幅は三十六呎である

自動車航空機の公開は今後一年間に民需用として生產される豫定の多數戰後航空機の原型機と共に一九四五年航空展覽會で行はれたものである

超巨人電氣機關車

（ボストン十一日）十日付「クリスチヤン・サイエンス・モニター」紙記事によれば、ヴアージニア州ロウノークとウエスト・ヴアージニア州ミユレンの間のヴアジニア鐵道電化區間のアレガンシー山脈を越えて大量の石炭を輸送するために强力な電氣機關車を使用する計畫がある、このための自重百萬封度、長さ百四十三呎といふ超巨人機關車は一九四六年に引渡しの豫定で、現在ペンシルヴエニア電氣工場で製作中だ、出力は八千馬力、現存の米國製機關車中最も强力なものに比しても八百馬力優つてゐる、また架空接觸線による十一萬ボルト二十五サイクルの電氣で運轉される直流モーターに電力を補給するために機關手室の內部に四千馬力發電機二基が据ゑつけられてゐる、架空線の電力は石炭を使用する發電所から供給されてゐるわけだ

昭和二十年十一月十五日(木)
第一二號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

フランス第四共和制

井上勇

△共和の歴史

フランスに第四共和制が生れるといふ、何故に第四共和制であるか、フランスの歴史で四回目の共和制だからだ、フランスの歴史に多少でも鼻を突込んだものにはすぐ判るはなしであるが、簡單にフランス共和制の歴史を振返つて見よう

フランス共和制の歴史は一七八九年のフランス大革命に始まる、いまフランス革命の經過を述べてゐる暇はないが、フランス國民公會(コンヴアンション・ナショナル)は一七九二年九月二十一日王政廢止を決議し、越えて二十五日、ダントンは「フランス共和國は一つにして不可分である」といふ有名な文句を國民公會に採擇せしめて、ここに共和國フランスは正式に誕生した、しかし、やがてナポレオンの出現によつて、この共和制は槿花一朝の夢と消えることになつた、一八〇二年八月二日の國民投票がナポレオンの終身統領を決した瞬間に共和制は形骸となり、一八〇四年五月十八日の國民投票がナポレオンを皇帝に選擧すると共に止めをさされた、これが第一次共和制の終りであり、第一次帝政の始まりである

ナポレオンの帝政は一八一四年三月三十日、同盟軍のパリ入城と共に泥土に委し、四月六日、退位と共にイギリスに亡命中だつたルイ十八世が迎へられてフランス國王となり、王政が復活されたナポレオンは一八一五年三月、流謫の地エルバを脫出してここに「百日天下」レ・サン・ジュールの帝權を回復したが六月十八日のワツテルローの一戰に一敗地にまみれて覇業は遂に完成せず、フランスは一八四八年まで王政の下にあつた、その間一八三〇年七月「光榮の三日」レ・トロア・グロリユーズと呼ばれる共和制の反擊が二十七日、二十八日、二十九日に亘つてパリに行はれたが、反動派の陰謀によつてオルレアン公、ルイ・フイリツプの王政に移行する一つのエピソードとして終つた、七月革命と叫ばれる事件がそれである

ルイ・フイリツプの王政は通稱七月王政と呼ばれるが、彼は「フランスの王」の稱號の代りに、「フランス人の王」といふ假裝平民主義政治を行つたに拘らず、次第に反動化して遂に一八四八年二月二十二日、二月革命の勃發、同二十四日退位宣言、二十五日の共和國宣言によつてフラシスは第二共和制を樹立することになつた

第二共和制は「自由、平等、博愛」といふ有名な標語の創始者であつたが、一九四八年十二月の大統領選擧にナポレオン一世の甥ルイ・ナポレオンを選擧するに及んで漸く凌落の決定的一歩を踏出し、一八五二年十一月二十一日の國民投票が帝政を承認すると共にその生命を終つた、第二帝政がここに始つたわけである

ナポレオン三世を名乘つたルイ・ナポレオンの第二帝政は普佛戰爭の敗衂によつてセダンに潰え一八七〇年九月四日パリには共和革命が宣言され國防政府が成立した、平和か戰爭かの抗爭はパリ・コンミユーンの血の動亂となり、ヴエルサイユに逃避した「正統政府」とパリ・コンミユーンとの鬪爭が、遂に「血の週間」の慘劇となつて、ペール・ラセーズの石塀をコンミユーンの同志の大量屠殺の血で染めることによつて終末を告げるや幾多の波瀾はあつたが一八七五年の憲法制定に成功、第三共和制の基礎は漸くなつた、この第三共和制が第二次世界大戰の怒濤に押流されて一九四〇年七月一日、ペタン元帥自らフランス國家元首たることを宣言すると共に有名無實となり、本年十月二十二日一般投票が、新たに選擧された議會を以て憲法議會となすことを承認したことによつて最後の息を引取つた、一九四〇年から明年新憲法が出來る迄、恐くは五月までは後世の史家は何と呼稱するかは知ぬが憲法政治の建前からいへば一種の眞空時代を形成してゐる、共和制の過去がその誕生に當つて常に國内の血の鬪爭を伴つたに反して、第四共和制はその點比較的平靜裡に推移したこと、一般投票が過去に於ては常に「右傾」し

たに對して今回に限つて急速度の左傾を示したことも一應留意してしかるべき點であらう

△第四共和制の出發

第四共和制は順調に行くとしていまから七ケ月の內に生れようとするフランスの新政治體制であり、それがどのやうな形態をとるかは豫斷の限りでないが、新政治組織の根幹となる新憲法が、どのやうな基盤の上に立つて制定されようとしてゐるかはひと通り、新憲法の制定に當るべき議會の構成によつて推定されよう、十月二十二日の選擧は定員五百八十六名の內（「ニューヨーク・タイムズ」紙による）

共産黨	一五三	社會黨	一四三
人民共和運動	一三八	急進及び急進社會黨	二五
その他各派	一二七		

を與へた、若し急進黨、人民共和黨をも左翼と解するならば、フランス議會は左翼によつて制壓されたことになる、戰前穩健なる中間黨をもつて任じ常に第一黨だつた急進黨の沒落が最もよく新議會の性格を表象するものといつてよからう、いま各派の有するニュアンスを略敍することによつて新議會の性格を分析すれば次の通りである

△フランス式社會主義

共産黨＝ソ聯以外の諸國において共産黨が第一黨を占めた例は恐らくフランスをもつて始めてとするだらうと思はれるが、フランス共産黨が直接間接モスクワの指令下にあることはいふまでもないとして、現在のフランス共産黨は、國內政治においては極めて濃厚にフランス的色彩を有して、必ずしもソ聯の樣式をそのままフランスに適用しようとはしてゐない、いはば目前の理想はフランス式一國社會主義であり、政策としては左翼聯合による人民戰線の再版を掲げてゐる、今回の一般投票で彼らは臨時政府の生命を七ケ月延長することに正面から反對したが、選擧には第一黨になりながら、一般投票では無慘な敗北ぶりで、却つて反對したがためにド・ゴール政府の勢力を裏付ける結果を示した

社會黨＝第二インターの實質的牙城であるフランスは、今一つの本據英國で勞働黨が大勝利を得たのに反して、世界の期待を裏切つて第二黨に滿足しなくてはならなかつた、その原因がどこにあつたかを强いて追及すれば、その掲げた政綱が共産黨とほぼ同じものであり、しかも共産黨ほどの徹底味を缺いたところにあるであらう、十月六日より開かれてゐる共産黨、社會黨、急進黨の共同政綱委員會で採擇しようとしてゐる共同政綱が

主要產業の廣汎な國營化（銀行、ガス、電氣、海運、炭坑、製鐵、製鋼、爆藥製造、その他の公共事業）外國貿易の政府監理、植民地の漸進的解放、新聞組合による通信社の監理、軍事費の大巾削減、叛逆者の財產沒收、外國のファシスト政權（ボルトガル、スペイン等）の排除

等々にあると傳へられてゐるのに見ても、共産黨の妥協精神と社會黨の傳統政策との合作が十分に觀取される

△ド・ゴールと加特力教

人民共和運動＝ムーヴマン・レピュブリカン・ポピュレール略してMRPと稱されてゐるこの新黨は、戰前の基督教社會主義運動の延長であると見るべきで、自らは「進步的保守主義」と稱してゐるが、根柢がカトリツクの信仰にあり、宗教を通じての社會改革運動である、この派は同じく重要產業の國營化を政策に掲げようとしてゐるが、尙その點については明白な態度を聲明してゐない人民共和運動は今回の選擧を眼の前にして始めて政黨的な形態を採るに至つたもので、指導的中心すらまだ凝固せず、現外相のジョルジュ・ビドー當りが音頭を取つてゐるかたちである、ド・ゴールの政權が人民共和黨の精神を根幹としてゐることは、その政府の閣僚が大半この派の連中であること、ド・ゴール自身がカトリツク信奉者である事によつても明白で今回の選擧に何等の地盤なく一躍第三黨、然も社會黨、共産黨に鼎立する勢力を獲得したのは、かかる外部條件の他に婦人投票

昭和二十年十一月十五日(木)
第一二號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

の多くがこの黨に投じられた結果とみてよい、フランス婦人は世界で最もカトリック的であり、それに選擧前日ローマ法王ピオ十二世が「婦人もまたその有する政治的權利を十全に行使すべし」といふ激勵演說をしたことがあづかつて力がある

急進及び急進社會黨＝黨の傳統はフランス大革命の精神に存するとはいへ、當時の急進主義はプチ・ブルの精神であり、それが何時しか固定することによつて、右に取殘されてしまつた、第三共和制への絶緣は同時に急進黨への緣切り狀となつて今回の敗衂をみた、特にその黨首エヅアール・ダラデイエはミユンヘン平和の張本人であり、今回の大戰勃發の責任者の一人と國民は解してゐる今回の選擧戰でダラデイエの現はれるところ至るところにトマトとキヤベツの雨が降つたといふのは、食糧飢饉のフランスだけに一層に彼に對する國民の不人氣を擧證するものであらう、萬年第一黨はここに見る影もない小黨に轉落して、僅かに黨の左翼分子が議席を辛ふじて維持し得たのみである、彼等は左翼共產社會兩黨と再び人民戰線を結成することによつて黨勢の輓回を企ててゐるが曾て第一黨として共產黨社會黨をリードし、必要とあれば右翼を糾合して、共產黨に挑戰し得た往年の威勢はすでになく、左翼各黨に引摺られてやがて落伍し、左、右兩翼に吸收され盡すのが落ちであらう

右翼各派＝ド・ゴールの盟友はいひすぎかも知れないがポール・レイノーを筆頭としての右翼の鬪將の現況は全く不明である、アクション・フランセーズを始めとして戰前の右翼の指導者は大部分刑死、または獄中にあつて活動を封じられてをり彼等はド・ゴール將軍を利用することによつて活路の發見に努力してゐたが、ド・ゴール將軍自らそれほど明き盲目でなく、かれ等の「陰謀」に乘るほど甘くはなかつた、今度の選擧で三大政黨以外の各派が一二七名を占めてゐるが、その內譯が全く不明なので如何なる割合で右翼勢力が生き殘つてゐるか、判斷に困るが戰前の小黨分立がそのまま繼承され遂に合同勢力とは成り得なかつたことだけは推定して差支へなからう

△有り得る離合

以上政黨分野の離合集散が當分の間のフランスの政界を左右するのであるが、ここで有り得る勢力分野の配置を想像して見ると、先づ最も可能性の多いのは共產、社會、急進黨の配合であり、その合體勢力は三百二十一名で議會に絕對優位が確保されるが、社會黨の傾向は傳統的に共產黨から常に背反する態を持つてゐるので、いまこの三黨の連繫が出來たとしても、曾つての人民戰線の崩壞と同じく社會黨がその直接右翼、つまり急進黨人民共和黨と握手して共產黨を袖にする可能性が生じて來る、その場合の議會勢力は三百六名となり之また議會を壟斷する實力を有する、今一つの可能性は人民共和黨と右翼との合從であるが、その場合は急進黨がこれに參加することも考へておいてよからう、そのやうなことは萬々有り得ないとは考へつつも、政治はフランスにおいても水ものである以上は一應考慮しておいてよい、その場合の議會勢力は左翼の優位は僅々十三名で、はなはだ緣起のよくない結果を招待するだらう、しかし、以上の想定はすべて將來の話であつて現在のところは左翼三派が膠漆とは行かないまでも、ほぼ共同戰線を構成し、MRPも滿更絕對反對でもないので議會は左翼に牛耳られる大勢に變化はない、そしてその重心が社會黨に存することもまた明らかである、社會黨を樞軸とする憲法議會が、如何なる憲法の草案を作るかはいまだ未知數であり、只、從來の上下兩院制度が廢されて一院制度となる大統領の地位が更に議會により制約を受けるに至るであらうことばかりが想像出來る

△新憲法の原則

社會黨の史家アレクサンドル・ゼヴアエスは、その著「第三共和國史」の結論の中で次の如く論じてゐる

「第三共和制は、あまりにも長いあひだ壓搾

されたフランス國民のセダンに對する愛國主義の抗議と民主的憧憬の混淆した廣汎な國民運動の中から九月四日生れた、六ケ月の後、パリに起つたのはコンミューンである、コンミューンは國防政府の一層誠實な明らかにより共和的な政策の先驅をなしたものであり、三月に至つては共和制防衛の熱風と化し、その愛國主義の爆發はやがて五月社會不滿の爆發となつた、若き共和國の曙の最初の光の下に、表面は國民の統一意志を表現するが如く見えつつ、二つの階級の深刻無比な決鬪を演じたのがコンミューンである、しかし、その結果は政治的にいへば、ヴエルサイユの王黨派政府が搖籃の內に扼殺しようと目論んでゐた共和組織を遂に保全するに成功した

あらゆる王黨、ボナパルチスト、僧侶階級の合同勢力をもつて企圖された五月十七日事件、冒險好きな一將軍のシーザー式陰謀だつたブーランジスム、サーベルによる脅迫を意味する國家主義、派閥的なリーグとファシズムの脅威をもたらさうとした二月六日事件、數へてみれば爾來、フランス國民が征服した公民の自由、政府の共和的形態に對して加へられた反擊は數限りがない

その度毎に、これが防衛のため、そしてその勝利を確保するためにガンベツタによつて呼ばれた「新らしい社會層」民主的小市民階級、勞働階級は共に蹶起した、殊に、勞働階級は、共和制の維持と發展のみが、政治的自由のみが、彼等を全面的に解放し得ることを知つてゐた」

しかし、第三共和制は遂に、共和制の發展と政治的自由の確保のために無力であつたことが、その歷史の足取りの內に證明されたのである、そして、その事を知つた勞働階級は十月二十二日、第三共和制に引導を渡したのだ、一八八一年七月二十九日の出版の自由令、一九〇一年七月一日の結社の自由令等々、民權の原則を規定する諸法令が遂に一八七五年の憲法によつては完全に保障し得られないことを經驗が敎へたのである、財閥の勢力は益々加はり、トラストの橫暴は愈々募り、舊制度は勞資の抗爭を停止せしめるには全く無力であつた、ゼヴアエスは更に云ふ

「舊制度の封建性を新らしい封建性に置きかへるに至つた金權の特權と壓制力を共和國から除去し勞働者をして機械と勞働材料を獲得せしめ（それなくしては效果的な自由は有り得ない）市民的自由に加へるに國民集團の凡ゆる構成員に發展と行動の方途についての自由を確保し、一言にして云へば純粹に政治的な共和制をば、經濟的、社會的共和制に、勞働と平和、進步と完璧な解放の共和制に變貌せしめることが、人間の意志に課せられた今日及び明日の仕事である」

ゼヴアエスのこの發言は一九三八年、第三共和制の末期に行はれたものであるが、今は豫言となつた形である、フランスは第三共和制半世紀の試驗によつて政治的共和制がそれのみでは全くナンセンスであることを悟つた、これに經濟的社會的共和主義を加味しない限り、人權の確立は不可能であることを知つたのである、第一次共和制の憲法から第三共和制憲法に至るまでフランスの憲法は常に世界の民主々義の尖端を行く憲法であつたが、第四共和制の憲法も又、何れの國に比しても最も進步的な憲法であらうことは期待してよいであらう、それはブチ・ブルを驅逐した勤勞階級の憲法であることが憲法議會の分野によつて明確にされてゐるからである、しかも、それがソ聯の憲法の如く、一黨獨裁の下に制定される憲法でなく進步的諸要素がほぼ勢力伯仲の均勢を保つてゐる制定會議で起案される以上は、完全な共產黨憲法たり得る餘地は全くなく、ほぼフランスの現態を公平に映像する均整な憲法であらうことを想像してよい、但し、絕對多數の政黨が一として存在しないフランスの憲法議會の審議が相當の波瀾を見るだらうことは想像に難くなく、そこに新憲法制定に當つての最大の難關が存する、今一つは手續き上の問題で憲法議會が如何に立派な草案を得ようとも國民の一般投票がこれを承認しない限り無效で、フランスでは今回の投票にもその片貌をドゴール支持によつて現した如く、一般投票は常に保守的であるといふことである

P51H 完成

（イングルウツド＝カリフオルニア＝十日）北米航空機會社は九日同社において米國陸軍戰鬪機ムスタングの最新型P51Hが完成された旨發表した

同社は現在六種の祕密新型航空機の製作に主力を注いでゐる

昭和二十年十一月十五日(木)
第一二號

時事通信

海外電報

資料

日本の民主々義改革

上院議員エルバート・トーマス

週間極東論評十一月十日

△口先だけの改革

單に地位を更へ、政治を戰時のそれから平時に切り換へ、机上の改革に終始して、それで日本は眞の民主々義の代用品だといつて涼しい顏をして居れるだらうか？　米國は要求し、日本は政府、産業、政治、社會の分野に完全な民主々義を實現することを誓つた、然るに今日までの狀態ではあらゆることは占領軍當局の斷乎たる命令によつてのみ行はれ、日本は自發的には殆んどなにひとつ行つてゐない、日本の諸制度改革の問題は焦眉の急として上提されてゐる、日本のスポークスマンたとへば近衞公にしても木戸內府にしても（彼等の言說はあらゆる場合割引して聞かねばならない）　天皇の神權に變化が齎らされるであらうと口先では稱してゐる、近衞公の如きは爵位を放棄し傳統的特權を棄てるつもりだと言つてはゐるが日本國民に民權を許容し、彼等を壓政の笞から解放することについては一切口を噤んで語らない、近衞公が日本に眞の民主々義を齎らす徹底的改革を考慮してゐることは恐らく事實であらう、併しながら彼の憲法草案がかかる根本的變革を盛り込んであるならば、それこそ大したものであらう

△看板の塗り更へが專門

自發的な進退——といつても、日本がこれまでやつてきたやうに、同じ人物が退くどころか反つて偉くなるといつた珍現象が、根本的變革を行はずして米國の要求に應じようといふ日本の常套手段である、たとへば同盟通信社の如きは日本のニューズ通信に對する支配力を放棄して最近解體したが、舊同盟通信社にゐた同じ人達が、同じ建物で、同じ施設を使つて、直ちに業務を開始してゐるのだ

日本における二大商業、金融、産業コンツエルンたる三井および三菱は、一定限度の株式を一般に公開することを申し出たが、いづくんぞはからん大部分の株は家族コンツエルンの面々が仕舞ひ込んでおく計畫であつた、四大財閥中の他の二財閥安田と住友は家族の者を會社の主要地位から去らしめたが、依然として株式に對して強力な支配を維持してゐる

以上の計畫は日本の新聞では「斷乎たる改革」と謳はれてゐるが、財閥家族が株を持つてをり、會社の支配人達が株主の命令する政策に從はねばならぬ限り、政策においても經營方法においても現實には何等の變化もない、それどころか事態は反つて惡くなつてゐる、といふのは、財閥の親玉達が實際の經營の面から退陣した結果、雇傭人が何を必要としてゐるかといふことにさつぱり無智になるからだ、不在株主ほど仕末の惡いものは全くない

△財閥何處へ行く？

この場合會社の株が國民の各階級層によつて少額分割して持たれ、勞働者と消費者、一般民衆の利害が十分に代表されてこそ、産業民主々義の可能性が生ずる、また四大家族財閥の面々に株を持たせるのを全面的に禁止することもまた所期の效果を擧げ得ない、なぜならばその方法が商業株の代りに國債を持つといふ結果を齎らすならば、事態は從來と同樣だからだ、卽ちそれは彼等をして政府に對する巨額の投資を可能ならしめて、一の特權階級を形成する機會を與へ、彼等は一般福祉に何等貢獻せずに、懷ろ手で確實な利息をとり込むことが出來るからである

そこでいろんな提案がある、財閥のポケツトから戰時利得を取り上げてしまふやうな嚴重な措置を講ずるとか、財産稅をとり立てるとかの方法だいづれの場合においも、かかる强制釀出を定める法律を制定する場合には、一般民衆の利益を最も效果的に促進するやう愼重に草案せねはなるまい以上のほかにまだ有效な措置はある、それは現實の法制によらずに、日本の個々人に民主々義の强化に役立つ線に沿つて、イニシアテイヴを發揮させ企業を行ふことが出來るやうな機會を與へるた

めに何らかの措置を講ずることである、今日までの日本では小實業家は自己の能力を發揮する眞の機會を絶對に與へられてゐない

大事業とてそれが完全獨占權を掌握し始めるや否や、自由を束縛し、民衆を壓迫し始めるのであつて、大事業が一概に危險だといふことは出來ない、經濟的自由と產業民主々義の保障こそ、日本において採用されるべき新たな基本法の特定の條項とならねばならない

ポーランド生きるための戰ひ

「N・Y・タイムズ」紙十月二十八日
ベルリン特派員グラドウイン・ヒルド

六年間比類のない勇氣をもつて民族の抹殺を期する空前の野蠻的努力に抗爭したポーランドは、今や生き拔き且つ立ち直るための經濟戰爭に、從前と劣らぬ努力を傾倒してゐる、實體的にみてポーランドは史上嘗つてみなかつた位破壞された國といへよう、首都ワルシヤワの慘狀に比べれば、ベルリンやプラーグはまだ庭園のやうだ

國土はポーランド人を奴隷狀態に陷れようとする、惡魔的な且つ詳細な計畫を用意して乘込んだドイツ人に蹂躙され、次いでソヴエト政府のために分割され、最後に赤軍がドイツ軍を擊退した際世界大戰でも最も血醒い戰場と化した

ポーランドは殆ど人口の四分の一を失つた、三千萬と推定された人口は二千三百萬に減少し、國境變更で一番いい地域を喪失した、人口の半數を收め且つ國民の食糧を提供する農業は半ば麻痺狀態に陷り、工業は荒らされた上に輸送と動力と原料の不足から、歐洲でよく見受ける極少形態で運營されてゐる、狀況は極めて惡い、殘つた人口の恐らく三分の一はまだ定着せず、ために一切の問題はひどく惡化してゐる、凡そ四百萬人を東部から西部に移住させねばならず、他に百萬人は歸國を待つて外國に在留してゐる

農村地區ですらも食糧は少いが、之等の供給を均分化させるための輸送が出來ぬので效果的な配給制度もない、各都市と周邊の耕作地は全くの島嶼だポーランド衞生局の統計では、毎月一萬人宛肺結核で死亡するし、戰前の三分の一に減つたワルシヤワ市民四十五萬人の二〇%までは結核だといふ、市内には齒科醫が僅か十八軒しか殘つてゐないが、材料がないので一ケ月五十人の齒を直すだけ、戰前の平均二萬五千人に比べれば非常な減少だ

少くとも十萬の屍體が依然ワルシヤワ市の廢墟のうちにあつて鼠を養つてゐる、市内の輸送は極度に惡く毎日出る屑の二五%と片付けるだけだ、ワルシヤワ市内では一片のパンは戰前の百倍に騰貴してゐるが、インフレーションの結果でも貨銀が決してそんなに上つてゐないことは言ふまでもあるまい、パン一片が二〇ズロチーで、勞働者の收入は一週間數百ズロチーに過ぎない

以上の窮迫した實狀を背景として考へれば頻りに論議されてゐるポーランドの政治問題は小さくなつて了ふ、强い赤の色彩は帶びてゐるが何れにせよポーランド國内には政府があり、政見の如何に拘らず最善の專門家を起用して事態の改善に努力してゐるといふのが事實だ

尤もポーランド政府が代議制からは遙に離れてゐることは確で、ヤルタ、ポツダム兩會議で取極められた自由且つ民主々義的な選擧は近付いて來さうもない、却つて政府の息のかかつた社說が頻りに砲列を布いて東方的な獨裁的「民主々義」が西方的なそれと同じく有意義であり、前者が特にポーランドに適してゐると主張してゐる

アイゼンハワー米國着

（ボストン十二日）ドイツ占領地域の米軍政長官アイゼンハワー元帥は十二日空路ボストンに到着休戰記念日の祝宴に出席したが、ボストンからワシントンに赴き、陸海軍統合案につき議會の委員會で證言を行ふ豫定である、AP電報によれば、アイゼンハワーの歸米は參謀總長に任命される前兆をなすものとみられてゐる

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　植田增三　東京都麻布區龍土町四百廿五番地　時事通信社

昭和二十年十一月十六日(金)　第一三號

時事通信　海外電報　(13)

米國軍が日本に進駐してから約二月半になるがこの間にかれらは日本國民に對していはゆる民主主義的教育なるものを身をもつて示した、この點かれらの日本人再教育は、日本のお役所仕事の一典型たる口頭禪のみに終らず、全く實踐躬行であり、進駐軍の日本占領政策が豫期以上の成績を收めてゐる原因の一つは、この點にも求めらるべきであらう

街頭を歩いて先づ第一に氣づくことは、米國軍將兵の階級を見分けることが一見なかなか困難なことだ、勿論、かれらの間にもそれぞれの階級を示す章標はあるのだが、識別を困難にしてゐる最大の理由は、將校といはず兵卒といはずその服裝に殆んど全く相違がないことだ、米國軍の章標を一應知つてゐる人には街頭で行きあふかれらの服裝に一寸注意してみると宜しい、かれらの帽子から上衣、ズボン、靴に至るまで全く同一の政府配給品であり、配給品の新調によつて將校の方が兵卒より却つてみすぼらしい服裝をしてゐるやうな場合をさへ極めて屢々發見するだらう、しかも米國軍隊のなかでは服務中以外は相互に決して敬禮を交換する必要はないことになつてゐる、しかしこれで米國軍の規律はいささかもみだれてはゐないのだどこやらの軍隊がさうであつたやうに、形式とおしつけとによつて外見的な階級の差異をあくまでも目立つたものとし、將校を完全な特權階級とすることによつて軍律を保ち得たのとは同日の談ではない

スタフ・オフイサーズと呼ばれる幹部將校の間に、民間出身の者の多いことも米國軍隊の一特徵だらう、この民間出身將校は、その專門、その分擔によつて、夫々の權限が與へられ、ウエスト・ポイント出身將校との間に階級的にも實權的にもいささかの差異もおかれてゐない、米國軍の能率がこの邊からも生れて來るのだ

米國がその軍隊を「世界一民主々義的で質のいい軍隊」と自慢するのは決してひとりよがりではない

世界の焦点

ニミツツ元帥華府へ

(パール・ハーバー十四日)海軍當局は太平洋艦隊司令長官ニミツツ元帥が十四日パール・ハーバーを出發、ワシントンに向つたと發表した、ニミツツ元帥は上院陸軍委員會に出席して陸海軍合同案につき證言を行ふ筈だが、かれが何時パール・ハーバーに歸任するかは豫定されてない

【目　次】

パレスチナ情勢爆發……一三四
猶太人總罷業決行……〃
ベヴイン聲明に擧つて反對……〃
ニユールンベルグ法延延期か……〃
日本は工業國として復活せん……一三五
政策研究委員長はエヴアツト……〃
焦點はソ聯の反應……〃
國際憲章批准三十九ケ國……〃
【三國會談】
英國の原子提案……一三六
勞働黨の政策を說く……〃
【對日論評】
西と東は合ふか否か……〃
【米　國】
大統領、感謝祭布告……一三七
輸入增進の計畫……〃
【歐　洲】
ド・ゴール政策聲明……〃
西でゲリラ活動……〃
IGファルベン工場の破壞開始……〃
獨勞働組合法流產……〃
【特　輯】
原子爆彈の行方……一三九
【資　料】
原子脅威の國際展望……一四三
善隣政策と米洲の現實……一四四

議員團原子爆彈試驗見學か

(ワシントン十四日)カリフオルニア州選出共和黨下院議員ジヤツク・アンダーソンが海軍の行ふ原子爆彈の水上艦艇攻擊試驗に議員團の見學を認めよと提案した書簡に答へて、ジエームズ・フオレスタル海軍長官は十三日次の返書を與へた

かかる試驗に對する議會關係の關心は當然且つ健全なものであり、余は貴下に對して、議會專門委員會には試驗の見學のみならず問題に關して有するいかなる助言及び提案をもなし得るやうあらゆる便宜をはかることを約束したい

パレスチナ情勢爆發

（テル＝アヴイヴ十四日）急を告げるパレスチナ情勢は再び爆發、BBC放送によれば十四日海岸の都市テル＝アヴイヴにおいて市街戰が勃發、いまなほ熾烈に續行されてゐるといはれる

猶太人總罷業決行

（イエルサレム十四日）英國政府の不徹底なパレスチナ政策に憤激したユダヤ國民會議は英國政府の新提案に抗議するためパレスチナ全土のユダヤ人に十四日總罷業を決行するやう十三日夜指令を發した

ベヴイン聲明に擧つて反對

＝パレスチナ全土沸き立つ＝

（イエルサレム十四日）十一月初旬パレスチナ全土に勃發した騷擾が英國官憲の容赦なき彈壓によつて鎭壓されて以來異常に緊迫した雰圍氣がアラブ、ユダヤ兩民族を支配してゐたが、十四日夜突如テル＝アヴイヴにおいて再び暴動が勃發、熾烈な市街戰が續行されてゐると傳へられる、事件の直接の動機は十三日英國外相アーネスト・ベヴインが下院において行つたパレスチナ問題に關する聲明にあり、彼が暫定措置として一九三九年の白書を若干修正、一ケ月に千五百名のユダヤ人のパレスチナ入國を繼續して許可することを提案したのが、アラブ・ユダヤ兩民族の不滿を爆發させたものと解される

事件の詳細はまだ判つてゐないが、BBC放送によれば、テル＝アヴイヴ市の市民は十四日夜大擧して官廳街に押し寄せ、まづ稅務所に押し入つて器物を滅茶滅茶に毀すと共に建物に火を放ち、更に輕工業局に亂入して同樣に暴行を働くと同時にこれも放火し、鎭壓に出動した移動警察隊と衝突して武器をもつて應戰、瞬く間に全市は熾烈な市街戰場と化し、各所に發生した火災は猛威を振ひ、凄慘な情景を呈してゐるといはれる、但し現在まで入手した情報では、暴動がアラブ人の反ユダヤ分子によつて組織されたものか、あるひはユダヤ人の計畫したものかはまだ手掛りがない

一方ユダヤ國民會議の總罷業發令に呼應して、パレスチナ全土のユダヤ人は十四日正午を期して二十四時間の總罷業を決行した、元來パレスチナの主要商業および工業は大部分がユダヤ人の手中にあるため、全土の商工業は殆んど麻痺狀態に陷つたと傳へられるが、更にユダヤ人の祕密放送はパレスチナ以外の中東および歐洲に居住するユダヤ人に頻りに呼び掛けて同樣の行動を要請し「我等の正當な權利を闘ひとれ」と盛んに煽り立ててゐる樣子だ

UP電報によれば、ベヴイン外相の聲明に對するアラブ人側の反響も不滿の色濃く、アラブ、ユダヤ双方の指導者達は十四日それぞれ會議を開催近くベヴイン外相の聲明に反對する聲明を發表する豫定といはれ、英國政府今回の措置は寧ろパレスチナ問題の火に油を注ぐ逆效果を發揮したことは蔽ひ得ない事實だ

ニユールンベルグ法廷延期か

（ニユールンベルグ十四日）ドイツ戰爭犯罪人二十餘名の公判は、來る二十日ニユールンベルグ市裁判所で開廷される豫定であつたが、醫療委員會が目下ザルツブルグに滯在してゐる被告の一人グスタフ・クルツプの健康について診斷した結果同人が「老衰神經消耗症」で今後も出廷出來ず、何れにせよ近く死去すると見られる旨の報告を發表したので、米英ソ佛四國の檢事團は十四日協議の上子息のアルフレツドを召喚するに決定した、當初米國檢事ロバート・ジヤツクソンが代人として、アルフレツドの召喚を主張したのに對し、ソ佛兩國檢事は缺席裁判を要求したが、醫師團一致の報告に鑑み、ソ佛兩國代表は反對を飜へして代人召喚に同意するに至つた譯である、ジヤツクソン檢事は同時に、公判を十二月二日まで延期することを主張してゐるが、結局同檢事の意見が通ると見られる

昭和二十年十二月十六日（金）
第一三號
時事通信
海外電報

日本は工業國として復活せん

（ニューヨーク十四日）目下ニューヨークで開催されてゐる全米貿易業者大會に出席した前駐華大使クレアランス・ガウス、國務省極東部長ジョン・カーター・ヴインセント、商務省極東部長チヤールス・モーザーの三氏は十三日、新聞記者團と會見したが、三氏はいづれも日本の工業力は侵略防止の保障として聯合國により制限、統制されるとしても、日本が再び工業國として復活することは必至であるとの意見を述べて注目された、即ち、ガウスは

中國が日本に代り極東の指導的工業國となるやうなことは、少くとも今後長年の間期待することはできない、日本の工業が戰爭のため損害を受けたことは事實だが、日本は依然として工業的に中國よりは遙かに進んだ國であり、また日本國民も工業に熟練してゐる

と述べ、またモーザーも次の通り意見を述べた

われわれは經濟的に日本を罠によつて縛つておくわけにはゆかない、日本がその經濟的地位の相當部分を恢復することは必至である、日本は印度、中國その他極東諸國に比し數十年も先進國である

政策研究委員長はエヴアツト

（ワシントン十三日）極東諸問委員會濠洲代表外相ハーバート・V・エヴアツト博士は十二日同委員會設置の政策指令研究委員會委員長に選任された、エヴアツト外相は委員會に關し

諸問委員會は仕事を開始し、當面の諸問題に手を着けようとしてゐる、余は委員會並びに出席各國政府のすべてにとつて貴重なる業績が齎されることを確信してゐる

と報告した、專門委員會は日本における政策の遂行に關する各種提案及び助言が十四日までに書類として專門委員會書記の手許まで提出されるべきことを決定した、右書類は十五日の次回會議で審議される筈で、專門委員會はこれに關し十六日極東諸問委員會に報告する

十二日の專門委員會は日本占領に關係ある政治的經濟的諸問題において基本的な非軍事政策を定める範圍でマツカーサー元帥に對する各種指令及びマツカーサー元帥の發したる指令を審議する實際活動に入つた、特に論ぜられたのはホワイト・ハウスが九月マツカーサー元帥に與へた根本命令だつた、專門委員會當局は十二日次の通り發表してゐる

重要諸問題について各種の見解が開陳され、委員會全般の雰圍氣は各種提案を積極的に論ずる意圖を示してゐた、專門委員會はフランス代表ピエール・ソーヴアジョーを書記に選んだ、エヴアツトとソーヴアジョー以外の委員は、英國代表サー・ジョージ・サンソム、カナダ代表ラルフ・コリンズ、オランダ代表O・リユークリン、印度代表サー・ギルジヤ・シヤンカール・バジパイ、ニユージーランド代表J・R・レイド、米國代表ジョージ・H・ブレークスリーの六名である

焦點はソ聯の反應

（ワシントン十四日）原子爆彈會談に關係ある聯合國官邊は來るべき米英加三國の原子力管理提案に對するソヴエト聯邦の反應に重大關心を寄せてゐる、なかにはこれこそ歴史の山だと感じてゐる者もある、今なされつつある決定は將來の米英對ソ聯の關係に絶對的な影響を有する、この關係は世界平和を警察するための國際聯合の諸計畫の核心をなすものだ、また英國當局筋から出た情報によると、トルーマン、アトレー、マツケンジー＝キング三頭首は國際原子力管理計畫に關する共同公報においてソ聯その他に原子力の科學的知識を十分頒つことを提案しソヴエト聯邦を安心させようとしてゐるとみられる

國際憲章批准三十九ケ國

（ワシントン十三日）國務省は十三日十月二十四日、二十九ケ國の批准とともに國際聯合憲章は效力を發生したが、爾後十ケ國が批准寄託したので、國際聯合憲章の加盟國は三十九ケ國となつた旨發表した

英國の原子提案

（ワシントン十二日）十二日の各新聞通信はアトレー英國首相が原子エネルギーを含む總ての秘密兵器並びに科學的發明の情報を國際聯合にプールせよとの提案をしたとみる點で一致してゐた、このプールへの參加許可は、國際聯合機構に十分協力し自己の秘密兵器をプールへ提出する國家に限られるといふ「英國官邊筋」とか「高官筋」とかを出所としてゐるこの新聞通信社の諸說に關し正式の確認は全然ない、ホワイト・ハウス當局はトルーマン大統領とアトレー首相とマツケンジー＝キング首相の會談が終るまでは聲明を發せず、終了後共同コミュニケを發する豫定と發表してゐるだけだ、しかしUP電報がAP通信の權威筋と稱する邊りから得たアトレー提案として報じてゐるのは次の通りだ

原子爆彈は他の米英兩國秘密兵器と共に國際聯合常置機關管理の國際プールに編入される、ソヴエト聯邦は（フランスも）第一に國際聯合における十分且つ完全な協力を誓ひ、第二に自國の秘密兵器をプールに提供するならば、プールに參加し得ることにならう、これは原子爆彈及び類似新兵器の使用を國際聯合の管理に委ねそれを國際化する效果を有するわけだ、但しその基本協定を結ぶ前にソヴエト聯邦はアジア及び歐洲における領土的經濟的要求の「最大限の最後的一覽表」の提出を要求されよう、その後三巨頭會談となるのではなからうか、アトレー首相は自分の提案が米英對ソ聯の關係調整を助けると信じてゐるといはれる

又「N・Y・タイムズ」紙記者サミュエル・タワーがアトレー首相はソヴエト聯邦の目的並びに政策の發表をみたからあの提案をしたのだ、もしソヴエト聯邦があの聲明を行はなかつたとしたらアトレー首相は、國際聯合と協力する場合以外使用しないといふ保證を附するにしてもとにかく原子爆彈の祕密を現有三個國に保留することを提案したにちがひない、アトレー首相はトルーマン大統領及びマツケンジー＝キング首相に對して二つの直接措置を提示した、卽ち（一）三國會談參加國は他の國際聯合加盟國に對し必要な讓步を辭さぬこと（二）別に三大國會談を催すこと、がそれだ

と述べてゐるのに對し、INS通信のロンドン電は英國政府筋の情報として

アトレー首相は決して特別な原子爆彈管理案を持つてワシントンに赴いたわけではない、會談は瀨踏み的なものにすぎないのだから、英國の提案を云々するワシントン方面の報道に迷はされてはならない

と報じ警告してゐる

勞働黨の政策を說く

（ワシントン十三日）英國首相アトレーは十三日米國上下兩院の合同會議において英國勞働黨內閣の內治、外交策について演說し次の通り述べた

勞働黨は大憲章のため、人身保護律のために戰つた先人ピルグリムス・ファーザース並びに米國の獨立宣言に署名した人々と同じ線に沿ふてゐる、勞働黨自身の陣營においてすら黨の施策に關する忌憚ない批判を聞くが勞働黨は飽くまで個人の自由を尊重する、しかし個人の自由は同じ國民の自由を蹂躙制約してはならない、また勞働黨內閣は企業の自由を信條とするが、大企業閥が獨占化する場合には企業を悉く個人の掌中に委ねることは出來ない

アトレー首相は更に勞働黨の性格に言及し、同黨が專ら勞働階級から成つてゐるのではなく、社會の各層を網羅してゐる點を指摘、四十年前首相自身がオツクスフオード大學を出てロンドンのイースト・エンドに赴き、貧民の窮狀をまのあたりに見て、身を勞働黨に投じた經緯を說明した

西と東は合ふか否か

（ニューヨーク十三日）エール大學歷史學教授ラルフ・ターナーは十三日、聯合軍の日本占領に關して次の通り語つた

米占領軍の日本における諸計畫は、右占領の結果として日本國民の生活條件が改善されたといふ實證が擧つて初めて成功が保證される、聯合國の日本監理の結果は西洋が東洋を了解するに成功するか、失敗するかを實證するものである

昭和二十年十一月十六日 金
第一三號

時事通信

海外電報
（第三種郵便物認可）

【米國】

大統領、感謝祭布告

（ワシントン十三日）トルーマン大統領は十二日本年の米國感謝祭を來る十一月二十二日に決定する旨の布告を發したが、布告要旨次の通り

「われわれは遂にドイツのファシスト及び日本の軍國主義者に對して完全にして最後的勝利を收め得た、久しく待ち望んだ平和の時を迎へて、われわれは他の聯合諸國と共にこの平和を永久的なものたらしめようと固く決意してゐる、われわれは今度の勝利を陸海空軍將兵の勇氣と血とにより、產業人の汗と創意とにより、婦女子の獻身によりかち得たのである、また米國の富有な資源も勝利の原因となつた、しかしながらこれ等にもまして勝利の基礎となつたのはわれわれが自由を富以上さらに進んでは生命自體以上に愛したことである

敵に對して勝利を收め得たにせよ、われわれに正面するあらゆる困難が取除かれたわけではない正義にして永續性ある平和を達成せんとするわれわれの前途には、多くの死活的重要な決定を必要とするものが控えてゐる、ただわれわれが戰爭の全期間を通じて堅持し續け遂に最後の勝利を獲得し得た人類の不可缺とする自由と權利とに對する獻身を、米國は勿論全世界にわたつて維持することができるならば、われわれは決して失敗はしないだらう」

輸入增進を計畫

（ニューヨーク十三日）目下ニューヨークで開催中の米國外國貿易協會大會において、商務省內外通商局長テイラーは十二日米國の戰後輸入增進計畫につき次の通り述べた

米國は戰後世界各國からの輸入を積極的に增加する必要があるが、余の局は既にこの輸入增進計畫を樹立してゐる、即ち、この計畫によれば內外通商局は多數の專門家を動員、かれ等を海外諸國に派遣して米國において利用し得べき物資の供給源を調査せしめることとならう、米國が今後特に輸入を增加せんとしてゐるものは魚類の調味料、チヨコレート、婦人衣裝、綴織、寶石類、硝子家具類、木製遊戲品、玩具等である、また米國民が世界各國を旅行することもこれ等諸國に重要な弗資金を與へることとならう

【歐洲】

ド・ゴール政策聲明

（パリ十三日）フランス臨時政府首班に選ばれたド・ゴールは十六日、新政府首班として議會に對して政策聲明を行ふ豫定である

西でゲリラ活動

（ロンドン十三日）UP支局はフランス國內スペイン・マキ團の隊長ルイス・フエルナンデスの言として戰爭中スペインに逃亡したドイツ兵五萬の內四萬まではスペインの外人部隊に參加してゐると報じてゐる、フエルナンデスの言によれば、スペイン國內には尙十分組織された有力なゲリラ隊が存在し、各地で活潑な運動をつづけてをり、內亂終結以來、刑死その他の原因で百萬人以上のスペイン人がフランコ政府の手によつて殺害されたといつてゐる

IGファルベン工場の破壞開始

（カウフボイレン十三日）ドイツ占領地域の米軍政部は過般、ドイツ最大の軍需工業たるI・G・ファルベン・コンツエルン所屬工場の破壞を決定したが、十三日から聯合軍破壞班は愈々仕事を開始、まづカウフボイレンにある最大最新の火藥工場が一聯の物凄い爆音とともに徹底的に破壞された、現場に立會つた米第三軍司令官ルシアン・トラスコツト中將（パツトンの後任）は七十棟の工場建物が木つ葉微塵に吹つ飛ぶさまを眺めながらこれがドイツ戰力破壞の第一步だと言明した

獨勞働組合法流產

（ベルリン十三日）聯合國ドイツ管理々事會事務局は次の通り發表した

ドイツ管理々事會はフランス代表の反對によりドイツ勞働組合法を採用する件につき完全な意見の一致をみることが出來なかつたことを米英ソ佛四國政府に通告することを決議した

ドイツの勞働組合は既に米英ソ三國占領地域において組織的活動を許可されてゐるが、まだ勞働組合法は制定されてゐない

特輯

原子爆彈のゆくへ

武井武夫

△原子爆彈會談開く

米英加三國の巨頭がポトマック河にヨットを泛べて九時間に亙り會談した、休戰記念日の十一月十一日午後のことだ、世界の政治家や軍人を恐怖症に陷れ、世界の科學者の神經を焦だたせてゐる原子爆彈をどうするか、それが決められようといふのである、從來世界的な問題が協議される時に必らずゐたスターリン議長が出席しない——或ひは出席し得ない——といふ事實の中に原子爆彈問題の複雜性と前途の困難が豫想される、十二日は專門家の會議が開かれ、十四日頃に再び三頭首が集つて最後的決定を行ひ共同コミュニケを發表する段取りといふが、コミュニケの內容を今から想像する前に、ここまで大きな問題となつた原子爆彈論議が米國（現實に管理する力を持つ國）でどんな經過を辿つて來たかを振返つてみたい、そしてこの小論を原子爆彈會談と同じく十日夜の晩餐會におけるトルーマン大統領の演說をもつて始めることにしよう

△望むは眞の平和

「米國大統領として今夕英加兩國首相及び他の英帝國諸自治領の代表者諸氏を御招待し得たのは余の誠に大きな光榮とするところである、余はここでわれわれのすべてが考へてゐるにちがひないことについて少々述べたいと思ふ

「われわれは確かに、諸國民が英聯邦の感じ合衆國四十八州の感ずる通りに感ずるやうな世界秩序と世界平和を求めて努力してゐる、思ふに合衆國の目的は既に大統領並びに國務長官によつて何人にも理解し得る言葉をもつて述べられてゐる、われわれはウツドロー・ウイルソンによつて着手されフランクリン・ルーズヴエルトによつて進められ最後にサンフランシスコにおいて政治的な色彩なき上院議員及び市民より成る代表團によつて完成された計畫をいま勇敢に遂行しようとしてゐるのである

「英帝國における偉大なるものの一つは、彼らが外交政策をもつ場合（そして彼らは常にそれをもつてゐるが）英國民はいかなる政府が權力を振つてゐようとも必らずその政策を支持するといふことだ、そのことはポツダム會談がウインストン・チヤーチルを英國首相として開始され、終る時には今夕の主賓たるアトレー首相になりながら初めと全く同じに進行したといふ事實によつて十分示された

「余が願ふところは、合衆國が一政黨の政策でなく合衆國人民の政策となるごとき外交政策を完成することである

「英國首相並びにカナダ首相は、原子エネルギーの使用並びに世界的繼續的にして世界各國民を例外なく包含する平和計畫の完成のための案について米國の國務長官及び大統領と協議するため當地に來訪された、われわれは謹んでこの會談を行はうとしてゐる、そしてこの會談から國際聯合機構を生きた動きある活潑な計畫たらしめるごとき協定並びに政策が生れることを望む次第である」

△米國の根本政策

原子エネルギーに關する米國の政策を最初に示したのは十月八日のトルーマン大統領の言明だ

米國は他のいかなる國に對しても原子爆彈製作の工業上の秘密を許す意圖をもたない

これを補足して大統領は

一、米國と共に製作の秘密を知るカナダ及び英國は、自分の見地に同意するにちがひない

二、科學的な知識だけはどこの國にも與へる

三、原子エネルギーを平時目的に使用する希望の下に、さうした科學知識の交換を援助すると述べたが、米國が二十億弗を費し戰爭に意外なほど早く終結を齎した工業上の秘密は保たれなければならないといふのである

この國策を具體化しようといふのがいま米國議會で騷がれてゐるメイ＝ジョンソン法案だ、この法案は二人の下院議員から提出された形式ではあるがその背後には政府の支持があり、完全に政府の意圖を代表してゐる、そして內容は原子エネル

昭和二十年十一月十六日(金)
第一三號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

會の許可した個人乃至企業に限定しようといふにある

△最初の公聽會

下院軍事委員會は十月中旬第一回の公聽會を開き、メイ＝ジョンソン法案に對する專門家の意見を叩いた、證言者として出席したのは原子爆彈計畫の元締として有名なレスリー・R・グローヴ少將、ハーヴアード大學總長ジエームズ・B・コナント、ロバート・P・パターソン陸軍長官、OSRD（科學研究發明局）長官ヴアネヴア・ブツシユ博士の五人、卽ち原子爆彈計畫委員會の人々で直接政府の見解を代表する者ばかりだ

オハイオ選出共和黨議員チヤールズ・エルストンはブツシユ博士に

この法案が完全に原子エネルギーを國有化するものだといふことを御承知か

と訊ねて、確かにその積りなのだとの返事を得、今度は統制がない場合にどんな危險があるかを質問した、これに對し博士は

屋根裏で不許可の實驗を行つた者があつたとすれば、通行人をすべて不姙症にするほどの放射能エネルギーが放出される危險がある

と答へた、またブツシユ博士と共に陸軍省で法案作成の衝に當つたコナント總長は原子力の秘密のことを「前史時代の火の發見以來最大の發見」と稱してゐる、これが大發見であるかどうかは秘密政策を左右することではないが、とにかく軍事委員會は十一月五日これを可決して本會議に廻すことになつた、それではメイ＝ジョンソン法案は米國民の絕對的支持を得てゐるかといふに、必ずしもさうではない、この法案は一應國內的なものだが一般には對外秘密政策を完全ならしめるためとみられてゐるため、秘密の保持を不可能なりとする科學者の間に反對があり、それに伴ひ新聞論調も贊否さまざまだ、その時も時、原子爆彈の管理問題について三國會談が催されたのだからいよいよ話はうるさい、そこで何故そんな騷ぎになつたかを理解して頂くために、下院軍事委員會が最初の公聽會の不評判から餘儀なく開くに至つた第二回目の公聽會について少し述べよう、この公聽會は科學的知識の少ない議員たちを驚かしたばかりでなく、證言者自身の中から證言ならぬ反對意見まで出て、メイ＝ジョンソン法案の運命をあやふくし、三國會談の背景をなす米國輿論をも急激に動かし始める役割を演じたのである

△科學者は囁ふ

今度の證言者は悉く一流の科學者で、原子爆彈研究の專門家ばかりだ、科學者たちは議員たちの科學的無知に呆れ、いかに米國が秘密を獨占しようとしても無駄であり國際管理は委任にすぎないといふ信念を傳へるために意氣込んで議會に乘り込んだわけだつた、科學者で最も無遠慮に意見を吐いたのは前日までニューメキシコ州ロス・アラモスの官營原子爆彈研究所の所長だつたロバート・オツペンハイマー博士で、アーカンソー選出上院議員ウイリアム・フルブライトの

人口の稠密せる米國諸都市に對するたつた一回の夜間原子爆擊で四千萬人の市民を抹殺し得るといふのは本當だらうか

との質問に對し、簡單に

本當だと思ひますね

と答へて滿座を慄然とさせた、米國切つての專門家のいふことだ、反對のしようもない、それだから秘密を他國に知らせない方が好いといふことになるが、オツペンハイマー博士によれば、爆彈の秘密を云々するのは學問上のことで、なまじ米國が隱し立てすると他國をして「お前なんかの手を借りなくとも俺たちでやる」などと言はしめることになる、しかも敵は必ずしも空から奇襲する必要はない、原子爆彈をひそかに米國內に埋設して爆發させることも、「技術的に可能」なのださうである、要するに方式は秘密にするとか與へるとかいふべき性質のものではないといふ、但しオツペンハイマー博士は決してメイ＝ジョンソン法案には反對ではないのだ、そして同じやうに悲觀的な見解を示してテネシー州オーク・リツヂ原子爆彈工場のH・J・カーチス博士は曰ふ

原子爆彈にたいする特別の防禦法なんかは有り得ない、國際外交政策に、たにか一つの過誤を

犯すといふことは、直ちにわが國の破滅を意味することになるかもしれない

△管理法案は却つて危險

以上の科學者の證言は祕密保持の困難を指摘したにすぎないが、更に一歩進んで眞向からメイ＝ジョンソン法案へ反對した人々がゐる、卽ちその先頭に立つたのはシカゴ大學のレオ・シラード博士で、情報漏洩に罰則など設けたら米國から科學者を追出すやうなことになると斷言し、かう述べてゐる

陸軍省がスミス報告書を公表して原子力實驗を正式に發表したのは、外國の科學者に自分で研究するための完全な青寫眞を與へたのと變らない、今ワシントン邊りではソヴエト聯邦の原子研究動向に神經を尖らしてをり、ソ聯がチエコスロヴアキアでウラニウムの三倍增產を命じたといふやうな噂もある、とにかく問題は、ソ聯が米國を吹飛ばす前に米國の方で爆彈をどんどん作つてソ聯を吹飛ばして了つた方がいいのではないかといふ危い所まで行つてゐるのだ

管理法案反對論者の中で有力な一人にノーベル賞獲得者で原子研究の指導者たるコロンビア大學のハロルド・C・ユアリー博士がある、博士はこの法案により「科學獨裁者の候補」が生れるだらうし、世界に對して米國が軍備競爭を開始しようとしてゐると通告するやうな恰好にもなる、科學者がストライキをするのも變なものだが、原子物理學以外にも面白い研究分野はあるのだから——

と含みのある言葉を殘し、カーチス博士もこの法案全體の調子からみると、自分だつてもし外國の科學者だつたら「米國の奴ら俺たちを大規模爆擊する準備をしてゐやがる」と呟くにちがひないと思はれる

と批評してをり、アンダーソン博士に至つては、この法案は原子爆彈の國際管理制を作らうとするどんな努力をも妨げるものだ、もし我々がとにかくこの世に生存したいと願ふのなら、唯一の解決は相互的信賴に基く國際平和協定のやうなものだらう、所がこの法案は大規模な軍備ともなり兼ねないやうなものを包み込まうとしてゐる

とまで激烈な語調で非難してゐる

この公聽會には下院軍事委員會と一緒に上院の科學研究補助法案委員會も集つたのだが、同委員會が一週間ほど前に開いた公聽會ではノーベル賞獲得者でジエネラル・イレクトリツク社研究所副所長のアーヴイング・ラングミユア博士が既に

原子爆彈の祕密は永久に守れるものではなくソヴエト聯邦の研究事業は二十年以內に工業生產の祕密を探り出すかもしれない、さうなればソ聯はボタン一つ押すだけで米國を滅亡させる力を持つことにならう

と述べ、國際管理の必要を示唆し、同じ席でジョーンズ・ホプキンス大學總長アイゼイア・バウマン博士は矢張り何か原子エネルギーを管理する國際組織が重要なることを主張した後に

自由なる科學研究に對し政治的統制を課するとき法制には反對しなければならない、管理は政治的に選ばれた委員でなく、科學者が行ふべきだ

と强硬な意見を吐き、ハーヴアード觀測所長ハーロウ・シエープリー博士は

米國民は原子エネルギーの祕密は勿論原子爆彈製作までもいかに廣く擴つてゐるかを過少評價してゐるのではなからうか、ドイツで研究された程度の製作法は原子分裂の本家たるドイツで知られてゐた原子エネルギーの祕密と共に、現在ソヴエト聯邦によく知られてゐるのだ

と警告してゐる、要するに有力な科學者は殆ど米國乃至米英加三國の獨占政策を却つて危險なりと見、國際管理方式の完成を願つてゐるのだ

△アトレー首相の提案

かうして輿論は獨占の不可を說くやうになつてきたが、さう簡單には行かないのが政治だ、三頭會談でアトレー首相がどんな提案をしたのかはまだ正式發表をみないから判明しないが、英國官邊筋の言葉としてAP通信社のワシントン電が傳へるところによれば、原子エネルギーその他科學的研究の基本的情報を安全保障理事會にプールするといふことらしい、右電はかう觀測してゐる

もし米英加三國がソヴエト聯邦に原子エネルギ

1の情報を提供すれば、その代りとしてソ聯の國家秘密政策において讓歩することを要求するかも知れない、聯合國當局筋のある者が殆ど確實とみてゐるこの可能性は、アトレー首相の科學情報ブール案から生ずるものだ、トルーマン大統領はアトレー案を檢討中だが、この案はソヴエト聯邦の發表した國際政治目的に關する長文の廣範圍に亘る聲明を考慮に入れてゐる、從つて今後數年間のソヴエト外交政策と背馳するがごときことはないだらう、もし共有案が他の國で受け入れられない場合には、アトレー首相はアングロアメリカン、諸國だけで自己の知識を保留し、原子力問題の發展を計るかもしれないが安全保障理事會の同意がない限り勝手に原子爆彈を使用しないことだけは約束するだらう

△米國はどう出るか

アトレー案に關聯して思ひ出されるのは最近ニューヨーク政治科學アカデミーで元ミネソタ州知事ハロルド・スタツセン大佐が行つた演說だ、スタツセン大佐は國際信託統治制の原案を起草した桑港會議の花形だが、彼の案によれば國際聯合安全保障理事會の下に原子委員會を設け、そこに米國製の原子爆彈を有する聯合空軍を直屬せしめるといふことになる、「ワシントン・ポスト」紙とか「ワシントン・スター」紙はこれを米國側の健全なる歩み寄りとして讃辭を列ねてゐるが、流石に「ポスト」紙は

ほかの諸國が米國だけに原子爆彈を製造せしめて滿足するだらうと考へるべき理由は認められない

と疑問をさしはさんでゐる

いづれにせよ、全世界の期待と危惧は三頭會談後に發表さるべき共同コミュニケに懸つてゐる、「ニューヨーク・タイムズ」紙は「平和の問題」と題する社說の中で次のやうに論じてゐる

もし他の何ものにも增して今次大戰への轉落を助ける要素があつたとすれば、それは前大戰爭で戰爭は全くなくなり、暴力が自制的な法律によつて驅逐され、全般的武裝解除の下にすべての劍を鞘に收める時が來たと見た氣樂な想像だつた、今日この想像が間違つてゐたといふことは卽ちそれが侵略者をして武裝せしめ、犧牲者の武裝解除をするに役立つたにすぎないことは世界中が知つてゐる、同時に今次大戰はその勃發前の時期と共に、暴力には限度があり、征服がいかに野獸的なりとも、人類の憤激には敵し得ず、正義と自由なき平和が人類を新しい戰爭に陷れる罠であり理想であることを實證したのである、だが今度は自由の諸原則が前の時よりよく認識されてゐるとか、前に平和を亂した諸力が今度はよく管理されてゐるとか唱へることは忠實でない、しかもこれこそ米國の軍備問題を前大戰後にも增して重要ならしめてゐるのである、そして原子爆彈はこの軍備の一部分だ、いまわれわれの直面する問題は、他の諸國がわれわれの手本に倣ふことを希望して假令一時的にもせよ今一度われわれの有する優越を犧牲にするか、或ひはわれわれ自身の防衞のため、且つかかる爆彈の使用を不必要ならしめるごとき勝れたる世界への奉仕のためにそれを固執するかを決定するにある、ワシントンにおける討議はこの質問に回答を與へる所まで行かなければならない

九日の「クリスチヤン・サイエンス・モニター」紙の社說は政治家の率直性を論じ

從來はソヴエト聯邦を仲間に入れる圓周を描くことに努力が集中された、所がロンドン會議の失敗、最近の政策聲明の國家主義的色彩、米英加三國の原子會談——さうしたものはすべてソ聯を除外する傾向を示してゐる

と警告してゐるが、これに對する回答を與へるのも共同コミュニケであり、今世界政治は重大な十字路に立つてゐるといへるのである

原子脅威の國際展望

「N・Y・タイムズ」紙十月二十八日

ハンソン・ボールドウイン

原子爆彈を國際的にどう取扱ふべきか、米國の國際的原子エネルギー政策はどうあるべきか、以上はこの新兵器に關聯して米國が當面する最大の問題である

(一)吾々は先づ原子エネルギーを戰爭に使用することに對して卽時國際協定を締結することを提案することが出來る、然し、かかる國際協定は齒

を持つ強力な國際組織によつて補充されない限り原子爆彈は恐らくは前大戰における毒瓦斯と同樣あらゆる交戰國の頭上に吊り下げられた脅威となるであらう、今次の大戰で毒瓦斯は二つの理由によつて敢へて使用されることなく終つた、卽ち、第一に毒瓦斯の使用によつて決定的急速な戰爭の終末乃至は勝敗の決定を確保する希望が持ち得なかつたこと、第二に交戰國は何れも同じ報復行爲を怖れたためである、米國も日本も毒瓦斯は使用しなかつた、中國は日本が中國軍に對して毒瓦斯を使用したと主張したし、フイリツピンにおいて日本軍は刺戟性ではあるが、致命的とはいひ得ない瓦斯を使用した小さな例が一回ある、しかし、米國も日本も毒瓦斯を使用しないといふ條約上の拘束はなかつた、ただ、その效果、報復の恐怖、輿論の反應等が、その使用を制御したにすぎない

△制約としての報復

原子エネルギーの爆彈、長距離ロケツト彈の方が毒瓦斯よりもはるかに恐怖的な武器であり、もし無警告攻撃に使用されるならば、決定的な結果を希望してもよい、これが使用を禁ずるためには國際條約よりも輿論とか道德的考慮の方が效果は疑はしいが尙、使用制約のためには一層有效な役目をつとめるだらう、それにも增して恐らく最も有力な使用制御は報復に對する恐怖である

將來、いかなる國も、原子爆彈使用禁止の國際條約の有無に拘らず、戰爭に原子エネルギーを使用することは、自分自身をば同じ危險に陷入れることを心配して使用を躊躇するに違ひない、しかし惡德な國民は、例へばドイツ、日本がその好例を示した如く、それほどの取越苦勞をせず、或ひは全くかかる考慮は拂はうとしないかも知れない

故に報復に對する恐怖は決して確實な制御を供與するものとは云へない、又假令、有效なる制御であるとしても、そのためには、主なる國が各々假想敵國に對して全面的に報復し得るやう完全な準備をととのへてゐることが必要であり、その時始めて報復に對する恐怖は效果を發揮し得る、換言すれば、吾々は凡ゆる前線基地にロケツト彈放射設備を完成し、大空軍を常備して何時なん時でも出動し得る態勢をととのへ、無操縱士飛行機を搭載した空母をして常時五大洋を哨戒せしめておかねばならない、又、同時に都市と產業を分散しておかねばならぬ、これを要するに、讀めて云つたところで不安な「平和」である

(二)出來るだけ長期に亘つて、原子爆彈の製造「祕密」を米國の手に保存しておくことも、これが使用を制約する一方法だらう、(原子爆彈については研究室的祕密は存在しない)かくすることによつて米國はより巨大な、より有效な爆彈の製造競爭に先登を保ち續け得る、ソ聯がこの競爭で科學者たちの想像するが如く早急に追付き得るかどうかは疑問であるが、ソ聯もまた原子爆彈を製造し、遲かれ早かれ、技術的改善をこれに加へるに至るだらうことは豫想してよい、米國の有する技術上の利點は、その都市及び產業がソ聯に比して一層集中的であること、及びソ聯の土地が一層廣漠たることによつて割引されてゐることも考慮に入れねばならない

△偉大なソ聯の潛在力

現在知られてゐる原子爆彈製造方法は、極めて巧緻な產業的な「知識」、極めて巨大な動力資源及び現在においてはただ一人米國のみに原子爆彈の製造が可能であると思はれるほど莫大な資本と工場投資とを必要とする、製造過程が單純化されるまで(恐らくは將來さうなるであらうが)英國すらも(英國は恐らく製造及び爆發についての完全な祕密は知つてゐない)原子爆彈の製造の能力乃至は產業經濟力を有してゐまい、恐らく米國を除いてはソ聯のみが、現在知られてゐる工程による原子爆彈製造の潛在力を有してゐる世界で唯一の國であらう、ソ聯は現在の潛在力をば化して現實の製造力に發展せしめなくてはならない、それにはどれだけの時間がかかるかは誰も知らないがソ聯人でない科學者たちがソ聯の產業の現在の發展程度、及び原子爆彈製造に關聯した技術的諸問題についてソ聯を誤算してゐるといふことは大いに有り得る、何れにしても二ケ年乃至十五ケ年恐らくはそれより短期間にと測定する方が、それよりも遲れてと考へるよりも當つてゐると思はれる

昭和二十年十一月十六日(金)
第一三號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

が少くともソ聯だけは、或ひは他の國も原子爆彈の製造が可能にならう

△原料資源の問題

そして、彼等は製造のため必要な原料資源を手に入れるに違ひない、現在ウラニウム、トリウムだけが原子爆彈の唯一の實用的要素だが、その內に他の要素からエネルギーを抽出することが出來るやうになるものと豫定してよい、ウラニウムを採取する原鑛である瀝靑ウラン(ピッチブレンド)またはカーノタイトはカナダ、合衆國、ベルギー領コンゴー、及び歐洲に在ることが知られてゐるそして、少くとも歐洲資源の一つはソ聯の勢力圈內に存在してゐる

(三) 吾々はまた國際聯合組織の下に卽時國際原子エネルギー監理委員會の設立、國際聯合組織の保障理事會における拒否權の廢止、國際聯合組織の種々な强化策、戰爭に原子爆彈の使用禁止、また最大限に重要性を有すると云つて然る可き、軍備制限、監理、檢察のための國際的制度の設立等を提案することも出來よう

然し、以上の如きが十分な效果を發揮するためには、これ等の制度に「歯」を持たせなくてはならぬ、ソ聯の檢察官は合衆國の原子エネルギー工場、その他の軍需工場に自由に出入する權利を持たねばならない、合衆國の檢察官は、同樣の權利をソ聯、英國等々において持つ可きである、國際的基礎に立つ無碍、自由な檢察制度、檢察官が訪問し、調査するために完全な自由を許され、その基本的目的として原子エネルギー及びそのほか特種の軍備の監理をすることなつて始めて、かかる組織は完全する、われわれはかかる組織に嚴密なキドブロ・クオ(相互報償)の基礎に立つて始めて參加し、他の國がフエア・プレーを演じてゐないい證跡があれば直ちに脫退したい

△選擇の問題

これらの提案は、正當な議論をもつてすれば實行不可能である、定義と適用が困難で、恐らくは確實にソ聯には(また恐らくは大部分の米國人にも)受諾不可能であらう、これら提案の成立には米國の主權のある程度の犧牲が要求される、しかし、米國はこれを實現せしめることによりてなにものも失はず、反つて得るところが多大だらう、

余の私見によれば、これ等の提案は恐らくソ聯によつて拒絕されるに違ひない、それにも拘らず吾々は、これを爲さねばならない、何故ならば、かかる提案をなすことは世界の眼に對して米國の地位——同時に國內的にも米國の地位を明白にするものであり、全く何事もしないよりも、提案して然して拒絕された方が、米國の地位にとつてより善い結果を生むだらうからだ、これ等の提案が廢され且つ拒絕された場合、その代償は極めて明白である、もしかかる努力を經ずしては、その代償は決して明白にならない

而してかかる提案が拒否された場合招來されるべき事態には二つの路しかない、その一つは既にわれわれが十分その出發點を畫してゐる世界を二つのブロックに兩斷して、相互に疑ひの眼に睨合ふといふ形態である、かかる世界は、或ひは多年に渉つて安定し得るかも知れないが、何時大戰爭に向つて突入するかも知れない危險を包藏してゐる、今一つの路は國家主權を或る程度犧牲にすることによつて國際組織を强化することである

△選擇は必然的に間近い

人々は、この第二の路を選ぶためにまだ十分の用意が出來てゐない、敎育と苦難とを經て始めてこれを受諾する用意が出來る、この選ぶべき二つの路は十分各人に指摘しておく必要がある、さうでないと合衆國は安易な中道を採らうと試み、國際主義に唇サーヴイスをなし、しかも軍備の維持を怠るといふ危險が起り得る、われわれは早急にこの選擇を行はねばならない、世界二大ブロックへの傾向はこれを破摧しなくてはならぬ、勿論、ソ聯もまたわれわれと同樣にこの破摧事業を援助しなくてはならぬ

これが破摧されないならば、われわれは卽時、都市と產業とを分散するために廣汎な檢討を始めなくてはならない、卽時、科學研究と發展のため空軍と海洋支配と地上兵力のために巨額の支出を割當てねばならない、われわれの前進基地の卽時强化、發展を計りロケツト施設、事情が許せば無人飛行機、その他の近代兵器を裝備しなくてならない、換言すればわれわれは國防を强化し、警戒の眼を光らせなくてはならない

選擇は——勿論、米國一人のものではないが——國際協力か國際報復かの二途のうちにある

善隣政策と米洲の現實

「N・Y・タイムズ」紙
十月二十八日號
ジエームス・レストン

全世界に亘り民主々義を推進支持することが米國の宣言された政策である、同時に米國の外交政策は他國の内政に對する不干渉の原則に立つてゐる、國務省の幾多の問題と論爭と心痛とはこの二重役割の嚴然たる事實に由來する

△米政策の矛盾

アルヘンチーナ並びにヴエネズエラ兩國における過去數日間の進展は國務省の當面する問題の適例である、フアレル將軍並びにペロン大佐の政權に對し、數年に亘り餘りしつかりせず且つ效果的でもなかつた抗爭を續けた後、アルヘンチーナの比較的穩健な一群は、數日前漸くホアン・D・ペロン大佐を追ひ出し、米國が支持し度いと思ふやうな政權を樹立した、しかし不干渉政策の故に、米國政府は支持を與へず數日前ペロン大佐の一味が再び支配を回復した

殆ど同時にヴエネズエラ國内における陸軍將校の一團は高度に非民主々義的な戰術を用ひて軍事的叛亂を演じ、大體において從前よりは民主々義的と解される政權を確立した、米國は同國にも干渉しなかつたが、ワシントンは不干渉長望が民主主義の發達に役立つたと感じてゐる

ワシントン政界では以上二つの蜂騷ぎはおしまいではなく、ラテン米洲各國の現政權に對する一層廣汎な叛亂の始りだと見てゐるが、更に騷ぎが起りさうだとすれば米國政府の對策如何が問題となる譯だ、例へば戰爭中ラテン米洲各國政府は米國が戰爭努力に必要とした多量の原料品を賣り込んでゐる、しかも戰爭の間米國はこれ等各國が必要とする製品並びに機械類を賣ることが出來なかつたので、各國は米國に巨額のドル貨資金を持つてゐる、既に戰爭が終つたので米國には軍需器材が多量に餘つてをり、獨裁的なラテン米洲各國はその弗貨勘定でこれ等の器材を買ひたがつてゐる

即ち米國は民主々義の推進と不干渉政策との板挾みになつてゐるばかりでなく、經濟政策と外交政策との間に再びヂレンマに陷つてゐる譯だ

ラテン米洲の獨裁政權が米國に經濟的援助を要請する場合にも同じ問題が持上る譯だ、善隣政策の條項によつて米國が西半球における他の國々の經濟的福祉を增進すると期待されてゐる、しかも民主々義運動を支持するといふ原則のもとに、獨裁政權に經濟的援助を與へることは之ら政權の存續を支援し、當該國内における民主々義的な反對分子を押つ付けるのに加擔することになるといふ事實に直面する

△ブレイドン大使と輿論

ワシントンにおける全面的な傾向は不干渉政策の結果、假りにラテン米洲各國における反民主々義的政權を援助することとなつても、右政策を堅持するにあり、議會筋特に有力な上院外交委員會がかかる傾向を示してゐる、前アルヘンチーナ駐劄大使で現に國務次官補としてラテン米洲を擔當してゐるスプライル・ブレイドンが、誰よりもよくこの事實を承知してゐる、ブレイドンがブエノスアイレスからワシントンに歸つて來た時には、從來首都に歸つて來た何れの大使よりも人氣を集めた、全國各紙の論調に徵してもフアレル將軍、ペロン大佐の政權に對する大使の公然たる反對が全國民の理解と支持とを受けてゐたことは明かだしかし大使が國務次官補に就任する場合上院外交委員會に公聽會に出た際には大使のアルヘンチーナ在任當時の遣り口は一齊に非難された、要するに大使があまりに高壓に且つあまりに屢々ペロン大佐の政權を論難したといふ點だ、或る上院議員の如き公聽會の席上ネルソン・A・ロツクフエラーが次官補を止め、ブレイドンが後任に任命されたためラテン米洲各國内には米國が不干渉政策を棄して、再び「北方の怪物」の役割を勤めるだらうとの懸念が起つたと述べた位だ、勿論委員諸公はペロン大佐一味の行動に同意もせず好みもしないことを用心深く指摘したが、同時に大半はアルヘンチーナ國内の政治は米國の關知した所でなくブレイドン大使が積極的役割を勤めたのは以上の政策に添はぬ點を明かにした

かかる議會の空氣は米國政府にも分つてをり、政府も大體この空氣に從つて行動してゐる、しかし國務省の有力な人々はかかる政策を快く思つてゐない、スペイン、ドイツ、イタリア各國に對する行動を差控える理由に、他の民主々義各國が不干渉政策を濫用したことを想ひ合せるからだ

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　桂田增三　東京都豊島區目白町四ノ一
時事通信社

「永續的な友好關係は獨り兩國政府間のみならず兩國民間の理解と信賴とを基調とせねばならないしかし、如何にしてお互に知り合ふかといふ實際的な目前の問題に突き當る、兩國民はそれぞれ強い信念を持ち、違つた背景を擔つてゐる、各々獨自の生活樣式を堅持してゐる、相手の樣式を變へようとする氣持などはお互に毛頭持つてをらず、相手を知り且つ理解しようとする顚倒的な希望をお互に抱いてゐる」

アチソン國務次官は十四日夜、ニューヨーク市における米ソ兩國親善會の席上で「抑制と節度と隱忍と尊敬」とをもつて、米ソ兩國が相互に理解し合ふ必要を强調してゐるが、ロンドンにおける外相理事會が決裂して以來、米國外交の重點がソヴエト聯邦との關係調整におかれてゐることは明かだ、トルーマン大統領が海軍日の演說で、全世界に亘る民主々義の推進を外交十二原則の基調としてゐるのに對し赤軍以下の東歐洲並びに東南歐洲が、民主々義の惠澤に浴してゐるかどうかは疑問といへよう、原子力處理に關するトルーマン大統領の聲明は、米ソ兩國の關係に新たな陰影を加へた、ベルリン方式を日本管理に適應しようとモロトフ外務人民委員が主張してゐるのに對し、バーンズ國務長官は十四日の記者團會見で明確に反對を表明してゐる、賠償委員長エドウイン・ポーレー氏が着任とともに、東亞戰爭で「ソヴエト聯邦が蒙つた損害も、戰爭遂行のための出資も努力も、到底米國及び他の聯合國に及ばない」と言明したのは、臥榻の側に他の鼾聲を容れぬ毅然たるホワイト・ハウスの意向の反映であらう

最後に今や內戰の段階に近付かうとしてゐる中國に於る國共の紛爭で、バーンズ國務長官は同じ記者團會見で、中國の內戰についてモスクワまたは重慶と何らか會談を進めてゐるかとの質問に對し、「ノー」と答へた後、「中國における情勢はわれわれすべての大いに遺憾とするところであり米國政府が友好的解決を要望してゐるのはいふまでもない」と附言してゐる

世界の焦点

【目　次】

連續的に會談開催……一四六
ソ聯の原子研究躍進……〃
會談中を狙つた發表か……〃
教育會議終幕近づく……〃
米英經濟交涉進捗……一四七
ブラジル憲法改正……〃
アルゼンチン總選擧は二月……〃
「ダシヤウの人鬼」裁判開始……〃
米佛兩國交涉を開始……〃
パレスチナ騷擾漸く鎭壓……〃
【歐　洲】
チトー內外政策を闡明……一四八
法王、戰爭犯罪人處罰を支持……〃
佛のルール國際管理案……〃
ド・ゴール組閣難……〃
ソ聯の任務は共產主義への進展……一四九
【米　國】
海軍人事異動……〃
スチルウエル轉出……〃
陸軍次官補辭職……〃
化學戰爭局廢止……〃
輸入砂糖統制……〃
海軍アラスカで採油……〃
原子力法案成立を急ぐ……〃
【戰後處理】
管理々事會問題暗礁へ……一五〇
クーセンス濠洲に護送……〃
【特　輯】
バルカン政局天氣圖……一五一
【資　料】
パレスチナ問題に關する大統領聲明全文：一五五
米國で新殺鼠劑發見……〃

アメリーの息再審

（ロンドン十五日）前印度相レオポルド・アメリーの子息ジョン・アメリーは過般叛逆罪で死刑を宣告され、これを不服として上告したが、來る十一月二十八日ロンドンの中央刑事裁判所で再審されることとなつた、裁判は再三延期されたが、その間辯護士團はジョン・アメリーがスペインの市民權を得てゐる事實を證據立てようと努めてゐた

（訂正）本日の特輯一五二頁は一五四頁に一五四頁は一五二頁に訂正致します

連續的に會談開催

（ワシントン十五日）トルーマン大統領、アトレー首相、マツケンジー＝キング首相の三者は十四日午後、二時間に亘り原子爆彈政策に關して協議さらに夜に入つて十時から再び會談を開始した、大統領祕書ウイリアム・ハセツトの言明によれば十五日朝も三頭首の會談が行はれる豫定といはれる

三者は十三日もアトレー首相の議會演說の後、ホワイト・ハウスにおいて二時間半に亘り會談してをり、その會議にはOSRD（科學研究發明局）長官ヴアネヴア・ブツシユ博士、バーンズ國務長官、幕僚長リーイ元帥、英國原子力諮問委員會議長サー・ジョン・アンダーソン、アトレー首相官房長T・L・ロワン並びに英加兩國の駐米大使が出席してゐる

ソ聯の原子研究躍進

（モスクワ十五日）ソヴエト聯邦科學院の發表によれば、コーカシヤ山脈の奥にある研究所で宇宙線の研究をしてゐた同院所屬の科學者たちは、原子力に關し今後ソヴエト聯邦の研究に多大の貢獻ありとみられる幾多の發見をしたといはれ、モスクワ各紙の第一面を賑してゐる、科學院の發表の他にアルメニア社會主義共和國アラゴス山からも同樣の入電あり、政府機關「イズヴエスチヤ」紙によれば、宇宙研究のための遠征科學者團は宇宙線が鉛から陽子を叩き出すことを發見したといふが、事實とすればこれは極めて興味深い發見だといはなければならない

會談中を狙つた發表か

（ロンドン十五日）宇宙線研究に關するソヴエト科學院の發表に關し「デーリー・テレグラフ」紙モスクワ電は次の通り報じてゐる

「ソ聯の物理學者は宇宙線の研究中に合成宇宙線と稱する宇宙微粒子を發見した、モスクワの外交筋では今度の發表を現在米國で行はれてゐるトルーマン＝アトレー會談と關係があるにちがひないとみてゐる、研究の結果、從來知られてゐる二種類の宇宙放射線、即ちメゾトロンとイレクトロンの他に今一つ合成宇宙線といふものがあることが判明した、發見した科學者といふのはアルメニア共和國首府エリヴアンの北方二十五哩の山腹に隱れて八月以來研究を續けてゐた遠征調査團員だ彼らは科學院會員ピーター・カピツア教授の設計した三噸電磁石を使用して調査を行つてゐた、宇宙微粒子の偏位を癒すに十分な磁場を有するこの電磁石は第三合成線を他の線から分離し、その特性を研究することを可能ならしめた、しかして第三合成線はその構成要素の中に陽子群と酷似した荷電微粒子群を有することが明かになつたので、この發見は重大な意義を有するものと考へられるに至つた、更に研究は厚さ五吋以上の板を貫透する雨狀宇宙線の形態についても行はれてゐる、この雨狀宇宙線には奇妙な現象を呈示する中性微粒子が含まれてゐることが發見された、想起されるのは最近モロトフ外務人民委員が、ソヴエト聯邦は原子エネルギーと共に他のエネルギーをも有することになるだらうと言明したことである」

教育會議終幕近づく

（ロンドン十三日）國際聯合の教育科學文化機關を設置するためにロンドン教育會議に出席中の各國代表は、檢閱制度の廢止、國際學者交換、世界の文化協力等を新設機構の目的の中に加へることを可決した、會議が採擇した推薦案文書は米國首席代表アーチボルド・マクレイシユを委員長とする專門委員會で起草され、機構規約準備の他の各委員會からの報告と共に十四日の全體會議で審議されることになつてゐる、米國々務次官補ウイリアム・ベントンは最終會議出席のため空路直接ロンドンに向つたといはれる

專門委員會が起草した新機構の規約前文は「人類の知的道德的團結」を要求し、政治的經濟的取極めにのみ基いた平和は恒久性がないと斷じてゐる、そして相互理解の促進こそ教育機構の最大關心だと述べてゐる、同機構は世界諸國民間における言語圖畫による思想の自由な傳播にとつて障害となるごとき檢閱、差別行爲、競爭行爲等を阻止するに必要な諸國際協定を起草提案することになるわけである

昭和二十年十一月十七日(土)
第一四號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

米英經濟交涉進捗

(ワシントン十五日)バーンズ國務長官は十四日の新聞記者團會見で米英兩國の經濟交涉に關し次の通り言明した

米英經濟會談は最近著しい進捗を示した、卽ち今から一週間ばかり前には交涉の進行を阻んだ四乃至五の非常に深刻な問題が存在してゐたが先週中にこれらの問題のうち二つが解決した、目下兩國代表の間には非常に廣汎な問題が協議されてゐるが、これらのうちには借款の額及びその利子の問題、相互通商協定、英帝國特惠關稅問題等が含まれてゐる

ブラジル憲法改正

(リオデジヤネイロ十五日)ブラジル臨時大統領ホセ・リニヤレスは十二月の國會選擧後國會に憲法起草の權限を附與する旨の布告を十二日發した現在の憲法は一九三七年十一月一日前大統領ジエトウリオ・ヴアルガスによつて起草されたものである

アルゼンチン總選擧は二月

(ブエースアイレス十五日)アルゼンチン政府は十四日非公式に總選擧は明年二月二十四日執行される旨を發表した

「ダシヤウの人鬼」裁判開始

(ダシヤウ十五日)ナチ殘虐行爲を物語る典型的な例として宣傳されたダシヤウ强制收容所のナチ高級官吏四十名の裁判は、愈々十五日からダシヤウの米軍々事法廷において開始された、ダシヤウの强制收容所においては約二十萬の無辜の民衆が虐殺され、屍體は土中に埋められてゐるとみられるが、AP電報によれば、元兇たる元收容所長マーチン・ワイス以下三十九名の被告は被告席から傲然と法官席を睥睨し、いづれは絞首の刑に處せられる運命を些かも恐れてゐないかの如き印象を與へたと傳へられる、十五日は被告の經歷に關する訊問が行はれたのみで、十六日から本格的な審理に入る段取りである

米佛兩國交涉を開始

(ワシントン十五日)冬季の切迫とともにドイツ國内の情勢は逐次惡化するに至つたため、トルーマン大統領並びにバーンズ國務長官は「爆發的狀況を阻止するため」近く米軍のドイツ占領行政について徹底的再檢討を加へる意向と傳へられる、從來フランス政府はライン、ルール兩地方の國際化を主張して、中央政權の樹立に關する協議に參加することを拒んでゐるが、APの報道によればトルーマン大統領等は以上軍政再檢討の第一步として、右フランス政府の主張につき同政府と交涉を開始したと傳へられる

パレスチナ騷擾漸く鎭壓

(イエルサレム十五日)テル=アヴイヴにおける騷擾は英國第六空挺師團が急遽はせつけて地方警官隊と協力して鎭壓に當つた結果、十四日午後十一時に至つて漸く秩序を回復することが出來たが前後四時間に亘る市街戰で死者二名、負傷者四十名を出した模樣で、テル=アヴイヴからのAP電報によれば、騷擾を指導したのはベヴイン外相の下院聲明に憤激した一群のユダヤ人青年といはれ鎭壓後英軍當局が嚴重な夜間外出禁止令を出したにも拘らず、數千のユダヤ人は尙示威運動を兼ねて街路を練り歩き、ユダヤ商人もまた故意に店を開いて反抗的態度を示し、爲に多數の檢束者を出すに至つたといはれる、また現場に赴いた空挺師團の落下傘部隊司令官ショピー少佐によれば、十五日にも英軍兵士に投石するもの續出して秩序維持に困難を感じてゐるといはれるが、一方パレスチナにおけるアラブ住民の壓倒的多數を代表するアラブ黨もベヴイン外相のパレスチナ聲明に眞向から反對、十五日次の聲明を發表した

英國政府は今日まで再三パレスチナにおけるアラブ民族の完全獨立を公約したが、その都度約束を破り、米國もまたパレスチナ問題に對して眞面目な態度を示してゐない、ベヴイン外相はパレスチナを信託統治制の下におく計畫を明かにしたが、このことは更めてアラブ民族に對する公約を破つたことを意味する

【歐　洲】

チトー內外政策を闡明

（ベルグラード十四日）第一次大戰休戰記念日に行はれたユーゴスラヴイアの國會選擧は「國民戰線」派の一方的勝利に終り、チトー政權の地位は一段と鞏固化するに至つたが、チトー元帥は十四日ロンドン「タイムズ」紙のベルグラード特派員と會見、內外政策を次の通り闡明した

「わが「國民戰線」が總選擧で勝利を收めたことは、我々の窮極の政治目的を改變することを意味しない、我々の目的は從來通りだ、卽ち民主々義體制を樹立して、國民の生活水準を向上せしめることこれである、我々はこの既定方針を絕對に變へない、政府は「國民戰線」に味方しない人々を迫害する積りはないし、彼等に對して特別の措置を講じはしないが、問題は以上に述べた政府の既定方針に敵意を抱く徒輩だ、政治的反對の自由を許容するにも自ら限度がある、民衆が多年に亘つて流血と言語に絕する困難といふ高價な犧牲を拂つて贏ち得たものを、かれ等が一朝にして破壞しようと企圖するならば、われわれは勿論斷乎たる措置に出よう

ユーゴスラヴイアはドイツおよびイタリアからの賠償問題を出來るだけ早く解決することを特に重視する、なぜならば以上の賠償はユーゴの必要とするものを充すに大いに役立つからだ、また眞の意味で獨立したユーゴスラヴイアの確立は、バルカン紛爭の解決を促進するであらう、さもないとバルカンを繞つて諸大國間に紛爭が勃發するのは必至である、ユーゴとソ聯との間の友好關係の强化は、ユーゴが獨立を喪つて、ソ聯の衞星國に墮すことを意味するものではない、われわれは他の聯合國との間にも緊密な友好關係を樹立することを切に望んでゐるのだ

政府は宗教の自由を拘束しない、僧侶を迫害することはあり得ない、教會の高僧が宗教迫害の責任を政府に歸してゐることは正しくない、寧ろ、カトリツク教の監督達が、民衆の利益に反する行動を採つてゐるために、民衆の怒りをかつてゐるのだ」

法王、戰爭犯罪人處罰を支持

（パリ十四日）「ル・マタン」紙の報道によればローマ法王ピオ十二世は近くニユールンベルグで開かれようとしてゐるドイツ戰爭犯罪裁判を原則的に承認し、「罪あるものは至急、かつ例外なく處罰すべきである」と希望してゐるといはれる、法王は「ル・マタン」の特派員との特別會見で次の通り語つてゐる

自分はドイツで重大な處刑が行はれてゐたことは知つてゐたが、その非人道的な性質については何等報告はうけてゐなかつた、法王廳からこれに干渉し、または援助を送ることは許されなかつた、ナチの指導者たちは、その物的罪惡について責任があるのみならず、その犧牲者に宗教的援助を與へることを拒絕したことによつて精神的な罪惡をも犯したものである、彼等は當然處罰されるべきもので、その後初めて罪なきドイツ人は平常の生活條件を回復し、且つ援助をうけることが出來る

佛のルール國際監理案

（ワシントン十四日）當地に達した情報によればフランス政府は聯合國諸政府に對して再びルールの國際化と、ラインランドをドイツ中央政府から分離する案を提案したといはれる、フランス側の主張によればルール地方をば聯合國機關の下に國際化すべしといふにある

ド・ゴール組閣難

（パリ十四日）フランス臨時政府首班に再選されたド・ゴールは目下新內閣の構成について各派の領袖と協議を重ねてゐるが、閣員の椅子の割當てに最大の難關があるやうだ、共產黨側では何ら公式聲明を行つてゐないが、總選擧の結果からみて彼らが國防、財務、外務の三大重要ポストを共產黨のために要求するのは確實で、社會黨、人民共和黨にもそれぞれの主張があり、妥結は極めて困難であり、來週初めまでに新內閣が成立することは見込み薄である

昭和二十年十一月十七日(土)
第一四號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ソ聯の任務は共産主義への進展

(モスクワ十四日)ソ聯共産黨中央委員會機關誌「ボリシエヴイーク」の十一月十五日號は社說において戰後經濟に對する黨の基本方針を次の通り規定してゐる

「第二次世界大戰はソヴエト國民に種々の形で深刻な影響を與へたが、黨活動家諸君はソヴエト民衆の心理に資本主義の復活を來さず、外國資本主義の影響を排除するやう積極的に活動を展開しなければならぬ、ソ聯の經濟心理に資本主義の復活を許すやうなことは絶對に避ける必要がある、ソ聯の工場、共營農場および國營農場においては正しい態度で勞働に從事せず、勞働規律を遵守せぬ好ましからざる傾向乃至氣分が見受けられる、ソ聯の戰後の任務は經濟を再建し、ソヴエト社會主義共和國聯邦の巨大な軍事的經濟的威力を向上せしめることにあり、それは必然的に階級なき社會の建設を完成し、社會主義から漸次共産主義に進化することでなければならない」

【米　國】

海軍人事異動

(ワシントン十四日)海軍省は十四日次の人事異動を發表した

海軍少將　ダニエル・バーベイ
補第七艦隊司令長官、
海軍少將　ハワード・キングスマン
補第三艦隊司令長官
海軍大將　トマス・キンケード
補太平洋水域司令長官
海軍大將　レイモンド・スプルーアンス
補太平洋方面軍副司令官

スチルウエル轉出

(ワシントン十四日)陸軍省はジョゼフ・スチルウエル大將を戰後地上軍の必要とする裝備を研究する陸軍委員會の委員長に任命した旨十四日發表した、スチルウエル大將は現在日本占領に從事してゐる第十軍の司令官である

陸軍次官補辭職

(ワシントン十四日)トルーマン大統領は、最近太平洋の旅行から歸還した陸軍次官補ジョン・マクロイの辭職を十四日承認した、辭職は十一月二十四日をもつて行はれ、マクロイは實業界に復歸する

化學戰爭局廢止

(ワシントン十四日)陸軍省は、一九四一年來化學戰爭局長官であつたウイリアム・ポーター中將が十日辭職し、民間事業に係はることとなつた旨十三日發表した

輸入砂糖を統制

(ワシントン十四日)農務省は糖分含有製品の一切の輸入を統制下におく旨十四日發表した、以上の措置は直接消費に充當される輸入砂糖をもつて他の製品を生産することを阻止するためである

海軍アラスカで採油

(ポイント・バロー=アラスカ=十三日)海軍は目下アラスカ北端地區で石油試掘作業を行つてゐるが、場所はポイント・バローから空路百八十九哩のウミアトである、まだ石油自體は發見されないが有望な「油砂」が四ケ所において發見されてゐるといはれる

原子力法案成立を急ぐ

(ワシントン十四日)パターソン陸軍長官は十四日議會に對して原子エネルギーの國內管理に關するメイ=ジョンソン法案の審議を急ぐ樣要請し、米國政府がいかなる協定においても高金を期し得るためには國際協定のためにも國內管理が必要なる旨言明した

同時に婦人議員クレス・ブース・ルースは原子力の國際管理のために議會が記錄を續ける決議を要求、ヘレン・ダグラスは別の決議案において議會に對し原子エネルギー國際管理案に關してトルーマン大統領がアトレー首相及びスターリン議長を會談に招請することを議會から提案せよと要求した

【戰後處理】

管理々事會問題暗礁へ

バーンズ國務長官は十四日の新聞記者團會見において、東京の軍事理事會に關しハリマン大使を通じてモスクワへ通達せる書簡に對する返書を得た旨言明、但し極東諮問委員會の條件については全然協定に到達しなかつたと述べ、記者團との間に次の一問一答を行つた

問、極東諮問委員會は會議を續けるだらうか

答、續ける

問、返書は誰が書いたものか

答、モロトフ外務人民委員だ

問、管理々事會についてはどんなことが現在問題になつてゐるのか

答、このことが最初に論ぜられた當時と同じ問題だ、つまりドイツ管理々事會と同樣全員一致主義をとる案と、意見の相異があつた場合にはマツカーサー元帥の決定が重んぜられるといふ米國の見解との間に問題があるわけだ

問、ドイツ管理々事會の形式をとるとすれば、日本をドイツと同じやうに數地區に分割するのか

答、必ずしもさうではない、全員一致といふことが問題なのだ、ドイツの場合米國が反對するのは全員一致原則のために議事の進行が絶えず阻害され米國がポツダム協定の結果として當然行はれるだらうと考へてゐることも拒否權の行使により依然行はれないといふやうなことがあるからだ

問、ロンドン會議では何か全員一致原則に代るものを提案したのか

答、ロンドンでは自分はポツダム協定の下に外相會議の議事には一定の日程がある筈だとの建前をとつた、その日程によれば日本問題を論ずるといふ提案はなく、日程は各政府間の同意がなければ修正し得ないことになつてゐた、そして管理々事會を論ずることを豫想せず、降伏條件遂行のために日本で行はれた措置を確めるべく軍當局とこの問題を論ずるだけの用意もなく、大統領の意見も知らなかつたので、自分としてはそれを論ずるわけには行かなかつた、しかし歸國してから大統領と論じ、統合參謀本部とも協議して軍事情勢を確かめ、それからソヴエト聯邦に提案するつもりだつた、そして事實さう提案したのだ

問、全員一致原則に關する國務長官の言明からみると、ソヴエト聯邦は最初にとつてゐたのと同じ態度に、卽ちベルリン式理事會支持に歸つたと考へられるが、さう考へていいだらうか

答、お說の通りだ

問、全員一致原則の問題が片づいても、米國は東京に管理々事會を設けることに反對するか

答、管理々事會が最高司令官の手を縛つたり降伏條件の遂行を妨げたりすることなく運營されるとしたら、米國政府は管理々事會を支持する

問、理事會はどこに設置すべきだらうか

答、米國としては、理事會はマツカーサー元帥の諮問機關として他の場所に置くわけに行かぬから東京に設置すべきだと考へてゐる、協定委託條項に基いて審議する極東諮問委員會は政策決定機關となる筈で、決定された政策は米國政府を通じてその遂行責任者たるマツカーサー元帥に通達される、政策の遂行に當つては、マツカーサー元帥に對する輔佐的な理事會があるべきだが理事會が同意に到達しない時は米國が勝手にその政策を遂行する權利を保留することを提案したわけだ

問、米國は多數決原則を受諾する用意があるか

答、米國政府が反對してゐるのは全員一致の原則だ、その他現在審議されてゐる諸案に對しては全く偏見をもつてゐない

クーセンス濠洲に護送

（サンフランシスコ十四日）戰時中東京ラジオを通じて對濠、對米放送をしてゐた濠洲人元シドニー放送局放送員チヤールス・クーセンスは聯合軍の日本占領と共に戰爭犯罪人として拘禁されてゐたが十四日メルボルンに護送され、近く軍事裁判に付せられる事になつた、クーセンスはシンガポールで日本軍の捕虜となり、捕虜放送の原稿をかいたり、自ら放送に當つたりしてゐた

昭和二十年十一月十七日(土)
第一四號
時事通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

バルカン政局天氣圖

原子林二郎

△歐洲の馬

「將を射んと欲するものはまづ馬を射よ」といふ諺があるが、歐洲政治の馬はバルカンだ、バルカン問題を繞つて米英ソ三國間に微妙な意見の對立が潛在することは、クリミヤ、ポツダム兩會談當時既に聯合國の言論界が問題にしてゐたところだが、去る九月中旬ロンドンにおいて開催された五ケ國外相理事會の第一回會議で明確な形で露呈されたことは、十月六日ラジオを通じて行はれたバーンズ國務長官の報告演說でも明かである

バーンズ國務長官は「外相理事會の第一回會議は行詰りの裡に閉會した」と前提して、その行詰りの動機を說明してゐるが、いま玆で簡單に要約すれば、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリー等の舊樞軸バルカン諸國に對する媾和條約決定の豫備會議にバーンズ長官とベヴイン外相がフランス中國を含めて五ケ國外相が全體で參加すべきだと主張したのに對して、モロトフ外務人民委員は以上の三國と現實に戰爭狀態にあつた國、卽ち米英ソ三國外相だけが參加すべきだと述べて一步も讓らなかつた、五ケ國外相會議の主な目的がバルカン媾和條約の草案作製であつただけに、會議は結局他日を約してうやむやに散會したわけだが、この間の經緯を當時の「ニューヨーク・タイムズ」紙その他米國主要紙の論評で判斷するならば、ソヴエト聯邦はバルカン諸國を「赤い勢力圈」と見做して、他國の容喙を忌避してゐるのに對して、米英兩國はバルカンを聯合國全體の問題と理解してゐる點に意見の相違があると解される、モトロフが頑張つた譯もバルカンにねそべつた熊の四肢がもがれてしまふといふ狙ひであらう、ソ聯としてもバルカンに對する發言權を奪はれないにしても減殺されることは、歐洲全體に對する發言權を削がれる、米英兩國としてはバルカンの「門戶開放」に成功すれば、歐洲に「機會均等主義」を確立出來ぬものでもない、これが歐洲政治におけるバルカンを馬とする所以だ

△逆もまた眞

バルカン諸國は民主々義體制をとつて初めての選擧を目下實施してゐるし、また將來實施する豫定だが、皮切りとして先月ブダペシユトにおいて市會議員の選擧が行はれた、そのときの樣子を「ニューズ・ウイーク」誌の十月二十二日號が次のやうに報じてゐる

「中歐の閉された土地、封建的傳統を後生大事に握り締めてゐる平坦な農業國ハンガリーは、いま赤軍に占領されてゐるが、この國の首都ブダペシユトで十月中旬に終戰後最初の市會議員選擧が行はれた、共產黨は社會民主黨とタイアプして市のプロレタリアートに呼び掛け、赤軍はまたモスクワの厚意を得ることが如何に大事であるかといふことを身をもつて示す態勢をとつた、しかるに市會議員の選擧ではブルジョア黨の小所有者黨が左翼の百三議席に對して百二十二議席を獲得して凱歌を奏した、歡喜の波はブダペシユトを洗つた群衆は口々に叫んで曰く「ブダペシユトは赤くならぬぞ」と、ハンガリーの選擧にみられた傾向は全歐を風靡してゐる、終戰以來共產黨は歐洲の大抵の國で守勢に移つた、このことはフランス及びイタリアが實證してゐる、理由は明瞭だ、暴力行使に疲れた一般民衆は過激な政治綱領に厭氣がさし、左翼の指導者達がソ聯の外交政策を金科玉條と心得てゐる卑屈な態度を蔑視してゐるためだ」

市會議員の選擧で勝利を收めたブルジョア小所有者黨は十一月四日行はれたハンガリーの總選擧でも壓倒的勝利を收め、共產黨、社會民主黨の人民戰線の獲得した票數の約倍の投票を獲得した、この事件はソ聯勢力圈內の國における最初の左翼の敗北を劃するものである、それならば他のソ聯勢力圈下の諸國でも「ニューズ・ウイーク」誌の

代表として十二日ソフイアからモスクワに飛んでモロトフ外務人民委員その他と協議するのもそのためだ

「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特電は十月二十日

歐洲全土ではシュテッチン・トリエスト線の東部でモスクワに友好的な現存政府と西歐に支持を求める反對派運動との間の溝は益々深かまつて行く、それは不安なそして恐らくは危險な情勢だ

と論じてゐるが、ルーマニア、ブルガリア兩國における左翼政府とその反對派との對立が、現象的にはソヴエト聯邦と米英兩國との間の對立に擴大再生産されてゐるのは、なんといつても遺憾なことだ

△バルカン方式是非

占領地管理のバルカン方式といふのは米國新聞界の昨今の合言葉だが、これを要するに占領國が被占領國に對して特殊の利害を有する場合、その管理について優先的發言權を有することだ、バルカン諸國に對してソヴエト聯邦が特殊の利害關係を持つてゐることは、バーンズ長官も率直に認めてゐる、それと同樣に日本管理に關して米國が特殊の利害關係を持つてゐることも、ソヴエト聯邦は認めねばなるまい「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙の討論會におけるバーンズ長官の發言の意味するところは、米國はバルカンにおけるソヴエト聯邦の發言權を認めるから、ソヴエト聯邦も日本管理における米國の發言權を認めよと仄めかしたものと解釋するのは行き過ぎだらうか、モスクワが日本管理におけるバルカン方式を認めるならば、米國もバルカンにおけるソヴエト聯邦の發言權を認めやうといふのが、バーンズ長官の示唆するところではなかつたらうか

他方米國議會がアンラへの米國の醵出金五億弗の支出を承認するに當つて、バルカン諸國における米國新聞記者の報道の自由といふ條件を附したこと、米英兩國の在モスクワ記者聯盟がモロトフ外務人民委員に對して檢閲の廢止を要求したことは、バルカンにおける門戸開放と機會均等を要望する米國輿論の現はれではなからうか「ミルウオーキー・ジヤーナル」紙は五日の紙上で、ソ聯における檢閲廢止要求をモロトフ外務人民委員が拒絶した事實を把へて

戰爭が終つた今日、自由なる報道を要求する聲が擧げられてゐるが、米英兩國におけるソ聯の記者が檢閲を受けずに報道してゐるのに反し、モスクワの外人記者は報道の自由を論ずることすら許されない、かかる遣り口は賢明だといふ譯にはゆくまい

と論じてゐるが、同じことはバルカンについても言へるであらう

△大衆の利益と政府の利益

バルカンにおける現在の政府が民意を反映してゐるかどうかは自由にして拘束なき總選擧によつてのみ判然とするといふ米國の見解に異議を挿む者はない、事實民衆のために民衆の利益において政治するものは、常に民衆の支持を受けるであらう、ハンガリーの人民戰線が敗北したのはまさしく民衆の支持を受けてゐないか、あるひはまた支持を得るほどの勢力を持つてゐないかのいづれかだ、小市民的な小所有者黨が政權を掌握したのは民衆の支持を受けたからであらう、併しながらこれからが問題だ、もしも小所有者黨が支柱とするブルジョア乃至プチブルの利益においてのみ政治し大衆の利益を犧牲に供するならば短命に終らざるを得まい

ユーゴスラヴイアの「國民戰線」が大衆の利益を代表してゐることは十一月十一日の選擧において明瞭となつたが、ルーマニア、ブルガリアの共産政權が大衆の利益を政治の基礎としてゐない限り、その敗北は必至であらうし、大衆の利益を政府の利益としてゐるならば、選擧干渉の必要なく勝利を博するであらう、要は徒らに現象面だけを追究しないで、長い眼で本質的な面を凝視することだ

トを申し合せた」

ところが十一月十一日の第一次大戰休戰記念日を期して行はれたユーゴスラヴイアの總選擧では國民の九十パーセントは反對派のボイコツトを默殺して投票に參加したといはれ、今日までのところでは全體主義國にみられるやうに、政治警察と銃劍で嚇して「イエスマン」に投票させたといふ報道は全くない、しからばハンガリーにおける選擧が民主々義の勝利ならば、ユーゴスラヴイアにおける總選擧も民主々義の勝利といふべきではなからうか

△ソ聯のモンロー主義

バーンズ國務長官は「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙主宰の討論會の第三日目（十月三十一日）にソヴエト聯邦に對する見解を明かにして

「米國は東歐および中歐におけるソヴエト聯邦の安全保障上の特殊利害を認めるのに吝かでないしソヴエト聯邦に對する陰謀に加擔する氣持は毛頭ないが、ソヴエト聯邦もまた米國から手を引くべきである、米國は東歐および中歐におけるソ聯を指導者とする一種のモンロー主義的方式を進んで認めるが、如何なる國に對してもソヴエト體制を强制的に押し付けることには斷乎反對する」

と述べた、このバーンズ國務長官の言葉がルーマニア、ブルガリア兩國を特に指してゐることはいふまでもない

米國の有名なラジオ解說者レイモンド・スウイングは十一月一日夜の放送でバーンズ長官の演說を評して

「バーンズ氏が米國は他の國家が西半球において米國が行つてゐるやうな善隣政策を推し進めるのに對して反對しないであらうしまた反對出來ないと言明したことは、ソヴエト聯邦のある種の特權を米國の特權要求に適合しようと圖つたものと解される、バルカン諸國に對する米國の政策はとかく誤解の的となり易い、米國はこれらの國における政府反對派の權利を主張してゐるのだが、この政策はソヴエト聯邦の理解し難いところであらう

野黨に對する米國の關心は極めて自然だが、これらの國における政府反對派は慨して反ソ的傾向を有するものであり、ソヴエト聯邦はファシストと稱して專ら彈壓に價するものと見做してゐる」

このスウイングの言葉はバルカン問題を繞る米英ソ三國の意見對立の根底を衝いたものではなからうか、ソヴエト聯邦はファシズムと民主々義とを絕對的な對立とみてゐる（「戰爭と勞働階級」誌四月十五日號のソコロフの論文を參照）、ソ聯的觀念では現段階においてファシズムと對立し、ファシズムと關ふものはすべて民主々義者の範疇に屬する

△民主々義とは

ルーマニアの首相ペトロ・グローザ博士は共產黨員であり、その政權は共產黨が支配的勢力を掴んでゐる、ブルガリアのキモン・ゲオルギエフ首相は共產黨員であり、その政府は共產黨が押へてゐる、兩國政府ともナチ殘存勢力の掃蕩に努め、ファシズムの根絕に向つて邁進してゐる、ソヴエト聯邦の考へ方をもつてすれば、兩國政府とも民主々義的な政權であり、ルーマニア政府に反對するブラチアヌやマニウ一派の自由黨や農民黨はブルジョア政黨であらうがなからうが、まづ第一にファシストであり、ブルガリア政府の反對派たる農民黨もファシスト政黨だといふことになる、從つて民主々義政府がファシストを彈壓するのは別に不思議ではないといふのがモスクワの見解だ

ところが米國をして言はしむれば、ソ聯の屈押しする政權が反對派を彈壓するのはソヴエト體制の强制であり、眞の民主々義ではないといふのだ米國政府が過般來再三再四ルーマニア、ブルガリアにおける總選擧準備方式が民主々義的でないと抗議し、かかる政府を承認することは不可能だと强調してゐるのも、以上の觀點に立つてのことだまたブルガリア問題を檢討してゐた國務省の使節マーク・エスリツヂが、バーンズ國務長官の個人

いふやうに左翼人民戰線が將棋倒しに仆れたかといへば、さう巧く事は運んでゐない、ルーマニアブルガリアの結果はいまだ判らぬが、十一月十一日にユーゴスラヴィアで實施された總選擧では、チトー元帥を總帥とする「國民戰線」が一方的勝利を收め、遂もまた眞なりといふ命題を實證してゐるではないか

△小市民の勝利

ハンガリー總選擧の結果に關する米國新聞の反響は眞の民主々義的選擧が實施された證左とみて觀迎してゐるやうだ、たとへば「ニューヨーク・タイムズ」紙（十一月七日付）は「民主々義の勝利」と稱し、隣邦諸國（まだ總選擧を實施してゐないルーマニア、ブルガリアを指すことは勿論だ）に對する絶好の模範だと論じてをり「セント・ルイズ・ポスト・デイスパッチ」紙（十一月六日付）の如きは「米國によつて主張された自由なる選擧の勝利を劃する」ものだとして、米國の干涉を謳歌してゐる、更に「ワシントン・イーヴニング・スター」紙（十一月六日付）は「いづれにしてもモスクワがハンガリーに傀儡政權を持つてをらず選擧に干涉しなかつた證左」だとしてソ聯の「匡正」された態度を多としてゐる有樣だ

併しながらここで我々はソ聯がバルカンに對して一樣な政策を實施してゐると考へる譯にはゆかない、ハンガリーに對するソ聯の政策はルーマニアやブルガリア、あるひはユーゴスラヴィアに對する政策と自ら異つてゐる筈だ、第一にハンガリーはバルカンきつてファシスト勢力の强い國であり「艦隊を持たぬ提督」ホルチイ攝政の血腥い彈壓は左翼勢力を殆んど窒息せしめた感を與へ、更に國民は國の大半を戰場と化したファシスト・サラシー政權の政策により極度の無氣力狀態に陷つてゐることだ、第二にハンガリーの共產黨勢力は長期に亘る「亡命生活」で全く微弱な勢力と化してをり、現在ミクロシュ上級大將を首班とするハンガリー政府は、ルーマニアのペトロ・グローザ政權やブルガリアのキモン・ゲオルギエフ政權のやうに共產黨が壓倒的に勢力を有してゐるものと異なり、政治的には「無色」といふよりは右翼に近い小ブルジョアから組織されてゐる、以上の政治的背景が今回の總選擧において小市民政黨の勝利を齎らしたものと解され、將來共產黨乃至左翼が勢力を得てきたならば、さう簡單には民主々義の勝利なぞといつてをられなくなるのではなからうか

△Titotalitarian

十月二十二日號の「ニューズ・ウイーク」誌に次のやうな記事が揭載されてゐる

「ソヴエト聯邦と西歐諸國とを結ぶ糸が先週またもやぶつつりと斷れた、イヴアン・スバシツチがユーゴスラヴイア外相の地位を辭したのである彼は本年二月のクリミヤ會談後チトー元帥の政府に參加するためにユーゴに赴いた、それはユーゴ統一の象徵をなすと同時に、英國の支持する亡命政府とソ聯の尻押しするチトー政權の結び目をなすものであつた、密月は短命だつた、ロンドンの國王ペタールを支持する一派は本年八月チトーと絶緣した、スバシツチの支持者や友人達は辭職しなければならなかつた、奇妙な物語がユーゴスラヴイアから洩れ出し始めた、共產黨が反對派を片つ端から逮捕してゐるとか、お手盛りの裁判をしてゐるとか、遊擊隊員がデジーニエ丘の金持から沒收した別莊で贅澤三昧の生活をしてゐるとかいつた噂だ、そしてチトーの政府は Titotalitarian（チトー式の全體主義）といふレツテルを貼られた譯だ、それにも拘らずスバシツチは外相の地位に踏み留まつてゐた、彼は九月にロンドンの外相會議に參加するとみられてゐたが、出發間際に輕い發作に襲はれて、片腕の自由が利かなくなつた、すると彼の別莊は直ちに武裝警備兵によつて取りまかれ、彼は外界との交涉を斷たれて面會謝絶といふことになつた、その結果彼の外相辭職といふ運びになつたのだが、それは十一月十一日の總選擧に先立つ恰度一ケ月前のことであつた、反對派の數政黨は直ちに共同聲明を發表して、差別待遇反對のスローガンを揭げて總選擧のボイコツ

昭和二十年十一月十七日(土)
第一四號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

資料

パレスチナ問題に關する
大統領聲明全文
十月十三日

△委員會設置まで

歐洲でナチやファシストの迫害を受けたユダヤ人の憂慮すべき狀態に關する情報を各方面から入手した後で、余は八月三十一日にアトレー氏に書簡を送りアール・G・ハリソン氏が報告において更に十萬のユダヤ人にパレスチナへ入國を許可することは事態を緩和すると提案してゐる事實に注意を促した、アトレー氏に宛てた余の書簡の寫しは新聞の入手し得るところである、余が以上の書簡において述べた見解はいまでも變りない

英國政府は余に對してパレスチナにおける事態に鑑みハリソン氏の進言を採りあげることは出來ないが、歐洲におけるユダヤ人の狀態については深く懸念してゐる旨の回答を寄せた、その後兩國政府間に話し合ひを重ねた末に、英國政府は議長輪番制の下に米英合同調査委員會を設置して問題全體を調査し、以上の見地からパレスチナ問題を再檢討することを提案してきた、米國政府はこの問題にわれわれが深甚な關心を容せてをり、且つかかる委員會が人道的で公正な解決案の發見を促進出來るといふ信念から出發して、英國政府の提案を受諾した

△委員會の任務

兩國政府間に意見の一致をみた本委員會の任務は次の樣なものである

(1)パレスチナの政治、經濟および社會情勢を調査すること、蓋しこれらはユダヤ人の入國問題とその解決、パレスチナに居住する民衆の福祉に重大な關係があるからである

(2)歐洲諸國においてナチおよびファシストの迫害の犧牲となつたユダヤ人の狀態を調査し、以上の國においてユダヤ人が差別待遇と迫害を受けずに居住出來るやうにするために採られた措置乃至は實施すべく考慮されてゐた措置を檢討しパレスチナその他歐洲以外の國に入國を希望するかまたは將來入國する豫定のユダヤ人の數を見積ること

(3)有力な參考人の見解を聽取し、(1)および(2)の規定によつて調査の對象となる諸情勢その他の諸事實により影響を受けるパレスチナの諸問題につきアラブ、ユダヤ双方の代表と諮り、これらの問題を暫定的に處理する方式およびその最後的解決に關して英國政府および米國政府に進言すること

(4)問題の歐洲諸國において救濟措置を講ずるのは歐洲以外の國へ入國し定住するための手段を供與し、上記(2)の規定により調査の對象となる諸情勢から生起する直接の必要に應じ得るやう、英國政府および米國政府に必要とされる進言を行ふこと

本委員會の重要義務の一はパレスチナの事態を調査することである、蓋し以上はユダヤ人入國問題に重要な關係を持つてゐるからだ、本委員會の設置により、歐洲諸國において迫害されたユダヤ人の不幸な境遇を卽時調査し、現在のパレスチナ入國比率と同國の吸收力に關する諸問題を直ちに調査することが可能となる

來るべき冬季間に歐洲ユダヤ流民の直面する事態を考慮するならば、一刻の遲滯も許されない、余は委員會が迅速に重要任務を果し得ることを切に希望する

☆　☆

△アトレー宛の書簡內容

一九四五年八月三十一日大統領から英國首相に宛てた書簡の內容次の通り

「ドイツにおける流民中國を持たぬかあるひは原住所への送還が不可能な人々の現下の狀態と將來の運命に關しては本政府は當然關心を持つものであるが、その故をもつてわれわれは最近アール・G・ハリソン氏を派遣、事態を調査させた

ハリソン氏はかつては米國の移住歸化委員であり、現在は本政府の代表として難民問題に關する各省連絡委員會の委員である、貴下も御承知の如

く英國ならびに米國は同委員會の事業に積極的な關心を示してゐる、ハリソン氏には流民中のユダヤ人難民の必要を特に精しく調査するやう指令を與へた、ハリソン氏はドイツの米軍占領地帶を訪れたのみならず、英軍占領地帶にも暫し滯在し、第二十一軍司令部によつてあらゆる便宜を與へられた

余はいま氏の報告を受け取つたが、貴下と余との間に交された會談に鑑み、貴下は報告の一部分に關心を持たれることと思ふ、そこで余は貴下に報告の寫しを同封しておいた、余は報告の結論および八頁以下に盛られてゐる勸告に貴下の注意を喚起したい、パレスチナ入國に必要な許可證の發行數は近い將來に出きることになる筈だが、ハリソン氏は更に十萬の入國許可證を發行することは依然ドイツおよびオーストリアに住むユダヤ人の將來を健全な方法で解決するために與つて大いに力あると述べてゐる、このことは現在の場所に留まることを好まぬか乃至はもつともな理由から出生國に歸ることを望まぬユダヤ人難民についてもいへる

△ユダヤ人の移住こそ解決の鍵

右報告および余の入手した他の情報に基き、余は十年以上もの間强制收容所の恐怖を知つてゐる者にとつては、將來パレスチナに移住出來るかどうかといふことが何にもまして重要であることを確信した、パレスチナに移住を希望する者または入國する資格を有する者の數は、不幸にしてもはやナチが撲滅計畫を開始する以前ほど多くない、

余がポツダムで貴下にお話したやうに、米國民はパレスチナ入國を禁止すべきでなく、迫害された歐洲ユダヤ人の相當數はその希望するところに從つてパレスチナに定住を許さるべきだと考へてゐる

余は歐洲における將來の平和が主として流民および迫害を受けた人々の直面する問題を立派に解決出來るかどうかに懸つてゐるといふ見解に貴下が贊成してゐることを知つてゐる、多年に亘つて迫害され、奴隷の境界に追ひやられた人々の要求ほど尊重すべきものは他にない、解決の鍵は出來るだけ早く送還不能のユダヤ人を、希望する場合出來るだけ多くパレスチナに送り込むことであるもしもかかる措置が有效ならば、遲滯なく實施すべきである」

米國で新殺鼠劑發見

（サンフランシスコ十三日）戰前米國内で最も普及してゐた殺鼠劑は赤海葱、ストリキニーネ、砒素、燐等だつた、赤海葱はイタリア及び北阿に產し、ストリキニーネの主產地は東印度だ、この二毒藥の供給は一九四二年以後完全に停止された、砒素と燐とは西半球でも得られるが、眞珠灣事件以後間もなく軍需用に廻されるやうになつた

そこで科學者たちは滿足し得る代用品の發見に努め、「一〇八〇號」（弗醋酸曾達）を見出すに至つた、「一〇八〇號」といふ名前は、現在入手不能な殺鼠劑の代用として有效なものをとの政府の要請に基き行はれた化學試驗の一千八十回目に成功したところから來てゐる・

鼠による人間の死亡數は史上の戰爭によるもの全部より大いとみられてゐる、鼠によつて發疹チフスやペストが傳播され蔓延する北阿やアジアでは新毒物が特に喜ばれるだらうとは米國政府の固く信ずるところだ

鼠の齎らす實質的損實は驚くべきものがある、米國では少くとも一ケ年二億弗以上と推定されてゐる、米國を除いた世界全體では鼠は年十億弗の損失を生じてゐるといふ

科學者たちの言によれば、「一〇八〇號」の大きな缺點は鼠だけでなく、他の小動物や人間まで殺すといふことだ、人間の致死量は半瓦で、これに對抗する解毒劑はまだ發見されてゐない、從つて今のところでは嚴重な政府統制の下に配給使用されることが望まれてゐる

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　杉田增三　東京都麹町區日比谷公園一番　時事通信社

昭和二十年十一月十九日(月)　第一五號

時事通信　海外電報

(15)

日本が目下當面してゐる戰爭責任は、少くとも二つの形式で現實に逼つてゐる、その一つは眞珠灣奇襲攻撃で、米國賠償委員エドウイン・ポーレー大使が新聞記者團に話した對日賠償方針中にも繰返し眞珠灣は忘れぬと斷つてゐる、次に、も一つはマニラでわが山下奉文大將に係る戰爭犯罪裁判が、既に公判二週餘に及び、わが軍による戰時重罪の數々が白日に暴露されつつあることである

眞珠灣奇襲攻撃はその結果において、わが國も批准してゐる一九〇七年十月十八日の開戰に關する條約に違反し、その規定する開戰宣言を行ふ前に行つたものである、「其ノ備ヘサルヲ攻メテ、其ノ不意ニ出ヅ」(攻其無備出其不意)は孫文、始計第一に掲げた兵科の玉條である、然し古今東西の武士道においては、この玉條と並んで戰爭は正々堂々と行ふべきことを要請した他の法則がある、近時の戰時國際法はこの正々堂々則を取り入れて戰爭の要件として一定方式による宣戰を掲げたのである、然しこの開戰に關する條約が成立した後も、航空戰術の發達は奇襲攻撃を愈々不可避とする豫想を産んだ、就中イタリアの空戰專門研究家ジウリオ・ドウエ將軍は、夙に奇襲空戰(la guerra aerea di sorpresa)は將來唯に不可避であるばかりでなく、敵に乘ぜられないためには必要であるとし、宣戰に先立つ空の奇襲を說くに努めたのである「戰爭ハ自ラ法ヲ制定ス」とか「戰爭ハ何物ヲモ正當化ス」とかの思想は、一般的にも國際的分野からも容易に拂拭することは出來なかつた所謂戰爭の必要則(Kriegsraison, nécessité de guerre, droit de la nécessité)とはこれである、然し何人も戰爭の必要則を以て人道上の要請に代へようとする者はない、眞珠灣奇襲に對する責任は、かうした角度より我國民も冷靜に忍耐しなければならぬのである

ゲーリングの弟逮捕

(ロンドン十六日)BBC放送が十五日報ずるところによれば、ヘルマン・ゲーリングの弟のアルベルト・ゲーリングが逮捕されて、現在ドイツに抑留されてゐるといはれる、アルベルトは米軍を援助するチエコスロヴアキア檢察班によつて逮捕された

【目　次】

ド・ゴール遂に投げ出す……一五八
米特使フランスを非難……〃
瑞西のナチ協力を指摘……〃
ケーニツグ將軍華府訪問……〃
塊、獨に賠償要求……〃
南チロルの併合を請願……〃
芬戰爭犯罪裁判開始……〃
洪新內閣成立……〃
三國關係の行詰り打開へ……一五九
他國の出方を待つ……〃
原子力自動車出現か……〃
あくまでソ聯を勸誘……〃
【戰後處理】
日本裏面工作曝露……一六〇
主要戰爭犯罪人直ちに告發……〃
【英　國】
ラスキー、英政府を攻撃……〃
【西　亞】
テル＝アヴイヴ暴動再發……〃
原子力管理共同公報發表……一六一
【解　說】
占領地管理の二方式……一六二
【特　輯】
軍票の法理論(八)……一六三
【資　料】
アンラ豫算に關する敎書……一六七

マイダネツクの「絞首人」死刑

(ロンドン十六日)BBC放送によれば、ポーランドのマイダネツクにおけるナチ强制收容所の「絞首人」パウル・ホフマンは十五日ルブリンの法廷で死刑の宣告を受けたといはれる、またドイツ軍の占領中ポーランド國籍を放棄したゲシユタポ員マリア・ツヴイチエヴアも死刑を言渡された

ド・ゴール遂に投げ出す

（パリ十六日）フランス假大統領ド・ゴール將軍は總選擧の結果に基き、新内閣の組織につき各派領袖と協議を重ねてゐたが、共産黨が國防財務外務相の重要な椅子を要求して讓らぬため十六日午後に至つて遂に組閣を斷念、午後五時官房長ガストン・パレクスキーは憲法議會に對し
共産黨との意見相違につき妥結せず聯立内閣を組織出來ぬから、臨時大統領の地位を辭職する旨のド・ゴール將軍の書翰を傳達した

米特使フランスを非難

（ワシントン十六日）フランス外相ジョルジュ・ビドーは政府の意向を反映して過般ドイツにおける中央政府の設置に反對したが、トルーマン大統領の特使としてドイツを訪問して歸國したバイロン・プライスは十五日トルーマン大統領を訪れた後記者團と會見、フランスの態度を非難して次の通り言明した
ポツダム協定によつて公約されてゐるやうにドイツを經濟的單一體として維持することが出來ぬのは、殆んど專らフランスの罪だといつてよい、ドイツはまだどんな種類の中央政府をも持つ資格がないといふのがフランスの態度だ、ドイツの現在の狀態は米軍の罪ではなく、フランスの責任だ、ドイツ國民は極めて高價な犧牲を拂つてゐる、もしも現在の狀態が今後も續くならば、この冬に飢餓と疫病に見舞れるのは必然であり、飢餓に踵を接するものは暴動である

瑞西のナチ協力を指摘

（ワシントン十六日）上院軍事委員會の獨資源除去委員長キルゴアは十五日スイス政府のナチ協力の事實を指摘して、次の通り非難した
スイス政府及び銀行家は再び世界支配の戰爭を始めるためドイツの資産を保持しようとするナチの陰謀に協力してゐる、スイスの主たる關心はそれが如何はる政治目的を持つか、また世界にどういふ關係があるかといふことは全く無視して戰後のドイツと取引を再開することだ、スイス政府がドイツの勘定を閉鎖すると確約してゐるにも拘らず、スイスに居住するドイツ人は戰爭に用ひるためスイスの勘定を利用し、掠奪した金を賣却して必要な外貨を獲得し、資金を隱蔽出來るやうな地位を再び占めるに至つてゐるのだ、かかる行爲はスイス政府と銀行家の同意を得た末とみるべく、スイス政府が祕かにナチと取引してゐることは明瞭だ

ケーニツグ將軍華府訪問

（ワシントン十五日）米陸軍省發表によればドイツ占領フランス軍司令官フランソア・ケーニツグ將軍は十五日ワシントン海軍飛行場に到着、少時の華府滯在の後シカゴに開かれる米國在鄉軍人大會に臨む豫定である

墺、獨に賠償要求

（ウイーン十六日）「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙によれば、オーストリア政府はドイツに對して七十億弗の賠償を要求するに決定したといはれる

南チロルの併合を請願

（ウイーン十六日）オーストリア假政府は聯合國オーストリア管理々事會にイタリア占領下の南部チロル地方の併合を十六日請願した、オーストリアの案によれば併合は同地方で人民投票を實施して決定することとなつてゐる

芬戰爭犯罪裁判開始

（ヘルシンキ十六日）戰爭犯罪人として逮捕された元フインランド大統領リスト・リチほか七名の裁判は十五日ヘルシンキの人民法廷において開始された

洪新内閣成立

（ブカレスト十六日）過般ハンガリーで行はれた總選擧で大勝を博した小所有者黨の黨首ゾルタン・チルデイは十五日新内閣を組織した、新内閣は各黨聯立だが、小所有者黨員が閣員の椅子の半數を占めてゐる、以上により米英兩國の承認を得ることは確實とみられるに至つた

昭和二十年十一月十九日(月)
第一五號
時事通信
海外電報
(開封檢閱濟)

三國關係の行詰り打開へ

(ワシントン十六日)ロイター通信社のワシントン特派員ウイリアム・ハードカツスルは、米英ソ三國の關係について次の通り報道してゐる

「ロンドンにおける外相理事會以來、米英ソ三國關係の行詰りは些も改善されてゐないが、目下ワシントンを訪問してゐるアトレー首相は右行詰り打開のため、まだ公表されず試案の範圍を出ないが充分檢討を加へた具體案を、トルーマン大統領との間に取極めたと確聞する、右具體案は十五日全世界に發表された原子爆彈に關する協定の本質的な一部分を構成してゐる、アトレー首相とトルーマン大統領とは外交機關を通じてソヴエト聯邦の安全保障要請に關する全的且つ最終的な聲明を出す方針だが、ソヴエト政府の要請については出來るだけ早い日取に充分且つ友好的に話合ひが進められる見込みだ、アトレー首相もトルーマン大統領も、以上の目的を達成するためにはスターリン元帥との三頭會談に喜んで參加する用意があると解される、しかし五ケ國外相理事會を再開するだけで「疑念を取除く」仕事を進めるのに充分だらうとも考へられてゐる、大統領アトレー首相並びにキング首相は國際聯合の總會に原子力委員會の任命を委囑することに意見が一致してゐるが、更に米國政府は國際聯合各國間に科學に關する情報の共同プールを設置する方向に導くやうな最初の第一步の措置を講ずるに吝でないといはれる、しかし委員會の任命は來る一月の總會を待たねばならぬ、しかも米國政府としては即時米國民に當局の方針を知らせ度い意向だから、先づ關係各國間に原子力に關する情報の交換を始め度い考へだワシントンの消息筋では一月國際聯合の總會が開かれて原子力委員會が出來る頃までには、世界の外交國面が過去二ケ月間の行詰り狀態を脫して目立つて改善されるに違ひないと樂觀してゐる

他國の出方を待つ

(ワシントン十六日)ワシントンの消息筋では十五日ホワイト・ハウスで發表された三國共同公報に續いて三國はいまや宣言の宛先たる他の聯合國の出方を待つだらうとみてゐる、國際聯合總會は一月二日ロンドンで開かれることになつてをり、その時には安全保障理事會も設置される豫定なので、總會または安全保障理事會のいづれかによつて國際聯合に對する提案準備のための原子力委員會を指命し得るわけだ、しかし米英加三國の原子力管理の成否の鍵はソヴエト聯邦の手中にあり、次のモスクワの動きこそ重大視されてゐる、今後暫くは、原子爆彈の存在を世界外交最大の問題とする人々にとつて極めて危險な時期であつて、この期間、諸大國が國際聯合加盟國として戰爭防止のために協力する能力は苛酷な試煉を經ることになる、要するに共同宣言の反響こそ今後果して國際聯合が强力且つ效果的な組織たり得るか否かを決定することにならう

原子力自動車出現か

(ロンドン十六日)「デーリー・スケツチ」紙は英國の無名の發明家J・ウイルソンが原子力で驅動される無機關自動車を驅つてロンドン市中を乘りまはしたと報じ、次の通り說明してゐる

機械といふのは直徑三吋位の秘密の金屬箱で、この箱から目に見えぬ原子エネルギーの流れが奔出する、ウイルソンは發明に關する書寫眞を燃料省に提出した、當局では、これに興味をもつてゐると言明したが、全然情報を提供することは出來なかつた、十四日この自動車に乘つた下院議員W・フオスター、T・E・ネイラーの兩氏はその乘心地は全く普通の自動車と變らないと語つた

あくまでソ聯を勸誘

(ワシントン十六日)國務省當局は十六日極東諮問委員會問題に關し次の通り言明した

合衆國は心に何の蟠りも持たず、明かにソヴエト聯邦に對して極東諮問委員會參加を慫慂する新提案を送ることにならう、意見が一致せぬ場合におけるマツカーサー元帥の最後的權威を奪ふごときことのない限り、ほとんどいかなる妥協案でも受け入れられると思ふ

【戰後處理】

日本の裏面工作暴露

（ワシントン十五日）米上下兩院合同委員會は目下眞珠灣事件の眞相を鋭意調査中だが、調査の進むにつれて日本政府の帝國主義的侵略意圖を實證する新たな事實が明みに持ち出されて、米國の輿論に新たな問題を提起してゐる、國務省は押收した眞珠灣以前の日本政府の暗號電報を飜譯して、議會査問委員會に提出してゐるが、それによれば日本がハワイ、比島その他の米國防衛施設をスパイし、眞珠灣以前に既に日米開戰の避け難いことを熟知してゐた事が曝露された、また證據品として提出された暗號電報によれば、ワシントンの日本外交使臣は故ルーズヴエルト大統領やハル元國務長官と公式に交涉する傍ら匿名の有力人物と連絡を採つてゐた樣子で、東京へ打電した至急報には次の内容のものがある

大統領およびハル長官と公式に交涉する傍ら、大統領と密接な關係をもつ數閣僚や同じ程度に有力な數人物を通じて直接工作中である、この點國務省との關係がデリケートだから嚴秘に附せられんことを、四日にA計畫に參與する諸氏が大統領と食事を共にし、日米戰爭に反對し、日華兩國間を斡旋するやう進言慫慂した、但し大統領は肚を打ち明けてみせぬ

また一九四一年八月八日の公電によつて、その日以來平文の打電を打ち切つたことが明かとなつたが、證據品として飜譯されたものは一九四一年一月十四日のワシントン駐劄日本大使館武官室からの公電から始まり、その後開戰直前まで本國政府との間に交された外交公電は悉く戰爭切迫の意を仄めかしてをり、一九四一年十二月六日卽ち開戰前日の公電には、「ムツソリーニはローマ駐劄日本大使に日本が米英兩國に宣戰すればイタリアも兩國に宣戰すると言明した」と報じられてある

主要戰爭犯罪人直ちに告發

（ワシントン十五日）日本戰爭犯罪人裁判米國側首席檢事、元米國檢事次長キーナンは十五日檢事總長クラークと共にトルーマン大統領を訪問、戰爭犯罪人の告發に關し會談の後新聞記者に對し日本の主要戰爭犯罪人の告發はわれわれの理想と反馳しない範圍において急速に行はれる旨言明した、キーナン首席檢事は十二月一日頃日本に向つて出發する

【英　國】

ラスキー英政府を攻擊

（ロンドン十五日）英勞働黨幹事長ハロルド・ラスキーは十五日 印度國民議會派の領袖 パンデイト・ジヤワハルラル・ネールの五十六回の誕辰を記念する集會に臨み、大要左の演說をした

印度の自由は不可避且つ必然である、英國及び印度の軍隊をば太平洋の平靜回復のために使用せざるを得ない今日の現狀は極めて遺憾である英印軍を使用して印度支那、蘭領ジヤワの自由民を壓迫することは不合理である、英國はアムステルダムの資本家が、ジヤワの搾取を續けることが出來るやうにするためにオランダ解放のため戰つたのではない、法律と秩序とを維持するといふ常套用語の蔭にかくれて如何に多くの罪惡が世界の自由民に對して犯されたかを反省すべきである、しかもかかる犯罪が保守黨內閣の下においてならばいざ知らず、社會主義政府の訓令に基いて犯かされるといふに至つては更に一層罪は深いといふべきだ

【西　亞】

テル＝アヴイヴ暴動再發

（テル＝アヴイヴ十五日）テル＝アヴイヴの騷擾は軍隊の出動をみて一旦鎭壓されたが、十五日朝再びユダヤ人の過激分子が示威運動を開始、軍警と衝突して亂鬪騷ぎを起し、軍隊が繰り出して發砲したため、またぞろ多數の死傷者を出した、イエルサレム來電によれば以上の非常事態に對應するため、英高等辯官代理ショウは住民にして武器を携帶する者は終身禁錮、武器を使用した者は死刑に處する旨の布告を發したといはれる

昭和二十年十一月十九日(月)
第一五號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

原子力管理共同公報發表

(ワシントン十五日)トルーマン大統領は十五日朝アトレー英國首相及びマツケンジー＝キング・カナダ首相と共に共同新聞記者團會見を行ひ、次の原子爆彈協定宣言を讀み上げた

米國大統領、英國首相並びにカナダ首相は次の聲明を發表した

一、吾人は最近の科學的諸發見の戰爭方法並びに戰爭行爲への應用が、それに對し適當なる軍事防禦なくその使用において決して一國家の實際に獨占するを得ざるごとき從來未知の破壞手段を人類の手に委ねたることを認める

二、吾人は新發見が破壞の手段としてでなく、人類の福祉に利用さるることを確實ならしむる方法を工夫する責任が、われら三國民のみならず全文明世界にあることを强調せんとする、それにも拘らず、原子エネルギーの創造使用において我々の遂げたる前進は我々がこの問題において主導的立場をとることを要求し、その結果吾人は次のごとき國際的措置の可能性を審議するために會同した

A、破壞を目的とする原子エネルギー使用を防止する

B、科學知識特に原子エネルギー利用における最近及び將來の進歩の平和的人文的目的における使用を促進する

三、吾人は科學的軍事知識の破壞的利用から文明世界を完全に守る唯一の道が戰爭の防止にあることを知る、工夫し得るいかなる防衛方式もそれ自身において侵略的傾向ある國家による原子兵器生産に對し效果的保障とはなり得ない、更に原子エネルギーの軍用と同程度の脅威を文明に及ぼすごとき他の兵器乃至新戰爭方法の出現の可能性も、これを無視することは出來ない

四、ここに原子エネルギー使用に絶對必要なる知識を有する三國を代表して、吾人はまづ最初の貢獻として如何なる國家とも十分往復する平和目的のための基本的科學情報の交換、科學者並びに科學文獻の交流を提唱する用意ある旨を宣言する

五、吾人は科學的研究の結實があらゆる國民の手に入るべきであり、調査の自由及び着想の自由なる交換が知識の進歩に絶對必要なることを信ずる、この政策の追求において、平和目的のための原子エネルギー發達に必要なる基本的科學情報は既に世界中において入手し得るやうにされてゐる、その時々に發表さるべき今後一切のこの種情報が同樣に扱はるべきことこそ吾人の意圖するところである、吾人は他の諸國も同一の政策をとり、政治的同意並びに協力の溫床たり得るごとき相互信倚の雰圍氣を生み出すことを確信する

六、吾人は原子エネルギーの實地工業應用に關する詳細なる情報の發表といふ問題を審議した、原子エネルギーの軍事的應用は大部分が工業上の用途に要求されると同一の方法及び工程に依存する、從つて如何なる國家にも容認し得て效果的相互的なる上强制力を有する防禦手段を工夫し得る以前に原子エネルギーの實用化に關する專門的情報を播布することは、原子爆彈問題の建設的解決に資する所以だとは考へられない、却つて逆效果さへあるかも知れないと思ふ、しかしながら吾人は、破壞的目的におけるその使用に對し效果的にして强制力ある防衛手段が工夫されるや直ちに、相互的基盤の上に他の聯合諸國に原子エネルギーの實地工業應用に關する詳細な情報を分ち與へる準備がある

七、原子エネルギーの破壞的目的における使用を一掃し、工業的人文的目的における最も廣汎な利用を促進する最も效果的な手段を得るためには、吾人は出來得る限り早い時期に國際聯合機構への委讓の提案を準備する委員會を國際聯合機構の下に設置すべきだといふ意見である、委員會は最も迅速なる處理を指令され、時に應じてその任務の個々の部分に關する提案をなす權限を與へらるべきである

特に委員會は

A、すべての國の間に平和諸目的のための基本的科學情報の交換を及ぼし

B、平和的諸目的のみのための使用を確實ならしめるに必要な程度において原子エネルギーを管理し

C、原子兵器その他大量的破壊に應用し得る一切の主要兵器を國家軍備から除外し

D、監察その他關係諸國を協定違反並びに回避行爲の危險から守る手段により效果的防衛措置を講ずるために

特殊諸提案をなすべきである

八、委員會の事業は各個國家において進められるべきであつて、その一つ一つの完全なる遂行は次の段階に入る前に必要なる世界的信賴を齎らすであらう、特に委員會はまづ第一に廣汎なる科學者及び科學情報の交換、第二段階として天然軍需資源を支配する完全な知識の創造にその注意を傾注すべきかもしれないと考へられる

九、破壊の科學の實用といふ恐るべき現實に直面して各國民は從來より一層の緊急事として、諸國民間に法の支配を保ち地上から戰爭の災厄を除くことの歷倒的必要を認識するであらう、これは國際聯合機構に衷心よりの支持を與へその權威を固め伸長して、あらゆる國民が自由に平和の技藝に獻身し得るごとき相互的信賴の諸條件を生み出すことによつてのみ實現されるのである、これら諸目的を達成すべく假借なく力めることこそ吾人の斷乎たる決意である

合衆國大統領 ハリー・S・トルーマン
聯合王國首相 C・R・アトレー
カナダ首相 W・L・マツケンジー＝キング

【解　說】

占領地管理の二方式

日本管理問題を繞つて米ソ兩國間に意見の喰ひ違ひがみられることは、バーンズ國務長官が十四日記者團會見で行つた言明でも明かだが、長官が指摘してゐるベルリン型の管理方式とは一體どんなものか、またこれに對立するバルカン型の管理方法とはどういふものか、左に簡單に解說しやう

△ベルリン型

これは現在ドイツ占領地域で採られてゐる聯合國管理々事會の構成樣式で、理事會は米英ソ佛四國の各占領地域における軍政長官からなり、議長は輪番制とし、各國代表とも平等の發言權を有する、理事會の會議は每月十日、二十日、三十日の三回開催され、會議毎に議長が交每する、會議の附議事項については各國代表が準備して提出し、問題毎に四國代表によつて檢討されるが、その際決定は滿場一致を必要とし、二國代表でも反對すれば決定は行はれない

たとへば去る十一月十日の會議では、ドイツ占領地域における勞働組合の組織、活動および組合に對する占領軍々政府の監察方針を規定した勞働組合法案がソ聯代表より提出され、米英兩國代表は贊成したが、フランス代表が反對したため可決に至らなかつた

要するにベルリン型とは各國が占領地管理に平等の發言權を有し、一國が拒否權を行使出來るこの場合占領地域は大體平等に各國に割當てられてゐる

△バルカン型

これはバルカン諸國卽ちルーマニア、ハンガリー、ブルガリア三國における聯合國管理々事會の構成樣式で、この場合理事會が米英ソ三國代表によりなつてゐることは、ベルリン型と同じだが、議長は一國代表の常任とし、專らソ聯代表が議長の椅子を占めてゐる、また附議事項もソ聯が主として提出し他國代表の單なる承認を受けるに過ぎず、たとへ反對に遭遇しても、ソ聯は反對を無視して實施する一應の權利がある

要するにバルカン型においては、占領下にある國に對する戰爭において主な負擔を擔つた國の代表が主導的地位を占め、他國代表は拒否權を持たず、從つて發言權も平等ではない、ソ聯が日本においてベルリン型の、卽ち各國代表が平等の發言權と拒否權を有する管理々事會の設置を要求してゐるのにたいして米國が反對し、寧ろバルカン型の管理々事會の設置を主張してゐるのはそのためだ

因みにバルカン型では戰爭の主な負擔を背負つた國が實質的に占領を行ひ、他國は「象徵的」に占領に參加してゐるに過ぎない

昭和二十年十一月十九日(月)
第一五號
時事通信 海外電報版 (第三種郵便物認可)

特輯

軍票の法理論(八)

入江啓四郎

△在ポーランド發券銀行の軍票

在ポーランド發券銀行が全くドイツ占領地の機關銀行である事實は、その構成により明かであること、前段に指摘した通りであるが、同行の發行券は强制通用力を賦與されたこと次に示す通りであり、さらに發行準備に關する規定並びに僞造變造その他の犯罪に對する處罰規定等、凡る角度より同銀行券が軍票である事實を示すものである

(一)銀行はズロチーによる銀行券を發行する權利を有する、(第十三條第一項、本項に基き實際に發行した銀行券については後述する)右銀行券はポーランド占領地域における唯一無制限の法律的支拂手段(das einzige unbeschränkte gesetzliche Zahlungsmittel)とする(同第二項、本項の施行日は別に定められる建前であつた、後述第二十二條第一項參照)

(二)銀行はその銀行券に關する細目を統監府公報で公告することを要する(第十四條、この細目については改めて述べる)

(三)銀行券の發行準備は(イ)一定の割引業務及び貸付業務上の債權(ロ)ドイツの支拂手段による擔保、ドイツ國立銀行(ライヒスバンク)又はドイツ清算金庫における貸越金とする(第十六條第一項)右の外第一順位の凡る稅金その他の負擔に優先する擔保も、三十億ズロチーの限度まで、又ポーランド占領地域内に在る土地に對して有する地稅で、第一順位に在り、一切の稅金其他の負擔に優先するものは、三十億ズロチーの限度まで保證準備の效力を有する(同第二項)

(四)銀行券を僞造又は變造し、若は僞造券又は變造券を發行し、乃至その流通に共働した者は禁錮に、情狀酌量すべき事情ある場合は拘留に處する(第十七條第一項)右刑罰の外犯行に關係ある物は沒收される、特定の何人も告發もしくは有罪の判決を受けず、且つ他の點においてこれに對する前提の存する場合も、沒收に關しては獨立と認める(同第二項)本件に對する裁判管轄機關は特別裁判所とする(同第三項、本特別管轄は既述特別裁判所に關する命令第二條第一項の規定するところである)以上より各種輕微の犯罪に對しては、拘留及び罰金の規定がある(第十八條)

(五)本命令は第十三條第二項、卽ち銀行券がポーランド占領地域における唯一の無制限强制支拂手段であるとする條項を除き、公布の日より效力を有する(第二十二條第一項、公布されたのは一九三九年十二月二十三日であつた)第十三條第二項の發效時日は、統監府經濟部長においてこれを決定する(同第二項)具體的には後述する

△統監區内支拂手段の統一

ドイツのポーランド占領地域における軍票はドイツ信用金庫券に加へてポーランド銀行券を改造した百ズロチー券あり、今また新設の在ポーランド發券銀行の銀行券が登場することになつたのであるが、ポーランド占領地域統監は以上の銀行券を整理するため、一九四〇年三月二十七日、統監區内支拂手段の流通統一に關する命令をもつて、ドイツ信用金庫の解散、在ポーランド發券銀行による右業務繼承を命令し、且つ在ポーランド發券銀行券をもつて法貨とする旨布告した、右銀行券に關しては在ポーランド發券銀行に關する一九三九年十二月十五日の命令第十三條第二項により、ポーランド占領地域における唯一無制限の法律的支拂手段としたこと、但し第二十二條第一項によりその發效日については別に規定されたこと既述の通りであるが、新命令により一九四〇年四月八日より法貨となることが規定せられ、これに先立ち四月二日同銀行より發行銀行券の種類形狀等につき發表された、これは在ポーランド發券銀行に關する命令第十四條に規定せられた條件を實施したものである

先にポーランド銀行(バンク・ポルスキー)の五百及び百ズロチー券は回收し、そのうち百ズロチー券のあるものは加刷の上、軍票として再發行し

たことは既述の通りであるが、新命令により寄託提供者に對しては寄託證と引換に等價の在ポーランド發券銀行券を以て補償することとした、且つ右の加刷券もまた回收し、等價を以て在ポーランド發行銀行券と引換へることを命じたのであり、これにより加刷券は引換期限後は法貨としての性質を失ふこととされた、この點從來强制通貨であつたポーランド銀行五十、二十、十、五、二各ヅロチー券についても同樣である

ドイツ國立銀行（ライヒスバンク）やレンテンバンク等のドイツ銀行券及びドイツ硬貨も、統監管區においては一切强制通用力を剝奪されたが、最初の軍票であるドイツ信用金庫券は、依然として强制通用力剝奪の列に加へられなかつた、先に一言した一九三九年十一月十五日の外國爲替に關する命令第二條第一項（二）はヅロチー單位によらぬ支拂手段を以て、總て外國支拂手段とし、唯例外としてドイツ信用金庫券は、その回收に至るまでは、國內通貨卽ち占領地域通貨として通用力を保持したのである、卽ち在ポーランド發券銀行券は、一面において唯一無制限の支拂强制手段と規定されてはゐるが、他面においてドイツ信用金庫の解散、並びに他の銀行券に對する强制通用力剝奪に拘らず、信用金庫券の回收乃至その法貨性停止に關する規定はなく、實際においても引續き强制流通させられたのである

△統監區支拂手段統一命令

統監區內支拂手段の統一に關する命令の骨子は以上の通りであるが、以下各個條につき內容を揭げやう

（一）ドイツ信用金庫に關する一九三九年九月二十三日、ポーランド占領地域に對する陸軍最高司令官命令により設立されたドイツ信用金庫は一九四〇年四月八日を以て解散され、ドイツ信用金庫管理委員會の指示に從ひ、中央管理局により事務を終了する（第一條第一項）在ポーランド發券銀行において、四月八日、右ドイツ信用金庫の業務を引繼ぐ（同第二項）

（二）在ポーランド發券銀行の發行に係る五百、百、五十、二十、十、五、二及び一の各ヅロチー券は、一九四〇年四月八日より法律上の支拂手段とする（第二條）

（三）統監府管區內に流通するポーランド銀行券五百及び百ヅロチー券の寄託に關する一九四〇年一月十四日の命令に基き寄託された同銀行券の補償は、一九四〇年四月十日より同二十日の間に寄託證との引換に在ポーランド發券銀行券により等價に於て行ふ（第三條第一項）補償の場所は寄託の行はれた信用機關とする、ドイツ信用金庫には在ポーランド發券銀行が代位する（同第二項）

（四）ポーランド銀行券は一九四〇年一月二十九日の命令により加刷發行された百ヅロチー券以下、二十ヅロチー券、十ヅロチー券、五ヅロチー券、二ヅロチー券はすべて回收し、等價をもつて在ポーランド發券銀行券と引換へる（第四條第一項）引換期間は五十、二十、十の各ヅロチー券は一九四〇年四月二十二日より五月七日までとし、五、二の各ヅロチー券は五月八日より五月二十日までとする、引換場所は第六條に揭げた信用機關とする（同第二項、第六條については後述）要引換券中五十、二十、十の各ヅロチー券は一九四〇年五月七日の經過以後、又五、二の各ヅロチー券は五月二十日の經過以後は法律的支拂手段としての性質を喪失する、右期日以後は何人もこれ等のヅロチー券を支拂に受理する義務はない、但しこれ等銀行券の所有者はなほ一九四〇年五月三十一日までは、在ポーランド發券銀行金庫において支拂に供し、若くは他の法律的支拂手段と交換し得る（同第三項）

（五）ドイツ國立銀行券、レンテンバンク券及びドイツ硬貨は、統監府管區內においては法律的支拂手段ではなく、何人も支拂に之を受理する義務はない（第五條第一項）右に揭げた支拂手段を保有する者は、一九三九年十一月十五日の統監府外國爲替に關する命令第十二條第三項に基き、三日間內に第六條に揭げた信用機關に提示し、その要求により之を賣却讓渡することを要する（同第二項）

（六）第四條及び第五條に揭げた支拂手段の引渡

は、在ポーランド發券銀行本店並にその支店に於て行ふことを要する、(第六條第一項)但しこの外外國爲替銀行として認められた信用機關に對する引渡も許容する、(同第二條)

(七)ポーランド銀行券に對する强制通用力停止以後、これを支拂取引に使用した者は、體刑、金錢刑若くはその併課、又特に重罪の場合は禁錮に處する、(第七條)

ドイツ信用金庫に關しては統監區内支拂手段の統一に關する命令第一條により、一九四〇年四月八日を以て解散される旨規定されたのであるが、ドイツ信用金庫中央管理局は一九四〇年四月二日の公告を以て統監區内各地區の同金庫は四月八日を以て解散されるとし、其の所在地名を擧げるとともに、其の營業は在ポーランド發券銀行所在地に於て繼續する旨を明にした、但しドイツ信用金庫を解散しても、同信用金庫券は引續き法的通貨として通用したことは既述の通りである

以上を以てポーランドに於けるドイツ軍票の梗概を終つた、その終局的處理は、終戰後各國に於けるドイツ軍票につき聯合軍により方策が取られた模樣であり、本軍票論の最後に一言することとする

△北歐に於ける軍費調達

ドイツ政府は一九四〇年四月九日、ノルウエー及びデンマーク兩國に對して軍事行動をとり、兩國を軍事占領下においた、しかしこの兩國においてはドイツ軍は直接自國の軍票を使用せず、占領地在來の通貨を獲得して軍費支拂手段とした、從つて兩國に關する限り、軍票論の立場より直接論ずべきことはない、ただドイツも最初はポーランドにおける場合と同樣、ドイツ信用金庫を設置して、信用金庫券を發行する意圖があつた模樣で、一九四〇年五月三日のドイツ信用金庫に關する命令(Verordnung über Reichskreditkassen)がある、しかし形式上本命令がポーランドの場合と異るのは、ポーランド占領地にあつては、ドイツ信用金庫に關する命令はフオン・ブラウヒツチエ陸軍最高司令官の名により發せられ、またその後統監制が布かれてからはドイツ信用金庫券その他の軍票または通貨の處理等は、統監により命令が發せられたのに對して、デンマーク及びノルウエーにおける場合は、國防大臣會議の名により國防大臣會議々長ゲーリング元帥、經濟全權委員ワルター・フンク、國防軍司令官カイテル、國務大臣兼内閣官房長ラムマース博士により署名せられた、且つ大藏大臣及び經濟大臣が國防軍司令官と協議して、本命令の實施及び補充に必要な規定を發する權限を有するとしたことも特色である、本命令が發せられた五月三日より三日後の一九四〇年五月六日附をもつて、ノルウエー占領地域命令公報(Verordnungsblatt für die besetzten norwegischen Gebiete)第一號が發せられ、一九四〇年四月二十六日附總統令をもつて、占領地域の民政を管掌するため民政長官(Reichskommissar)の設置を規定し、軍、民兩權の行使を區別して後者を擧げて民政長官が所管する旨明定したに拘らず、同公報及びその後の公報に右ドイツ信用金庫に關する命令は載錄されなかつた、これは要するに軍票は作成されたが一般流通裡に置かれなかつたためと思はる、蓋し先づノルウエーにおいてはドイツ軍は直接軍票であるドイツ信用金庫券を使用せず、特別協定によつてドイツ信用金庫券をノルウエーの發券銀行に於てクローネ貨に交換して、クローネ貨によつて軍費を支辦したのである、即ち實質上は軍票の使用と同樣であるが表面には軍票は現はれなかつた、この場合にはドイツ信用金庫券はクローネ貨借入證券と同樣の意義を有する、しかして通常軍票の發行使用は、現實に流通裡に置かれる場合を言ふのであるから、ノルウエーに至つては軍票は形式的には使用されなかつたと言ひ得る、しかも後にはドイツ信用金庫券をノルウエー銀行に持參してクローネ貨と交換する手續をも省略し、ノルウエー進駐ドイツ責任當局はその必要とするマルク金額をベルリンのドイツ信用金庫中央管理局に通達すれば、信用金庫は右金額を關係ノルウエー銀行の貸高として記入し、ノルウエー銀行は右記入相當金額をクローネ貨により上記ノルウエー進駐機關に引渡したのである、從つてこの場合は内部的にもドイツ信用金庫券は全然使用されなかつたのである

次にデンマークに於てもドイツ軍の主要とする軍費は、ドイツ信用金庫券と引換にデンマーク國立銀行發行券が交付されたこと、ノルウエーに於ける初期の方法と同様であつた、デンマークに於てはノルウエーに於ける後期の方法は採られなかつたやうである、何れにしても形式的にはドイツ信用金庫券は使用されなかつたのである

△信用金庫に關する命令の内容

デンマーク及びノルウエーに於ては、上述の通りドイツの信用金庫券が實際に流通裡に置かれなかつたのであるから、信用金庫及び金庫券に關する詳細な檢討は省略して、唯資料としてドイツ信用金庫に關する命令全文を收錄する外（附錄參照）ポーランドに對する信用金庫命令との主要な差異を簡單に指摘するに止める

（一）ドイツ信用金庫に關する命令の發出者が、ポーランドに對する場合とデンマーク及びノルウエーに於ける場合とは異つたこと、既に前項で指摘した通りである

（二）信用金庫の中央理事部としてベルリンに管理委員會を置いたことは、兩者とも同樣であるが、總事務所即ち銀行の本店に相當する中央管理局は、ポーランドの場合は命令の規定として適當の地にとあり、具體的には後にクラカウに移された、デンマーク及びノルウエーの場合はベルリンに設置されたのである

（三）ポーランドの場合はドイツ信用金庫券は、ドイツ軍の進駐地域における法律上の支拂手段と明定され、また信用金庫券以外の形式による軍票の場合も必ず法律上の支拂手段とする特別規定を存したのであるが、デンマーク及びノルウエーの場合はこれに相當する規定がない、しかし後者の場合は實際流通裡にこれを置かぬため、この種規定は實際的には必要がなかつた

（四）デンマーク及びノルウエーの場合は同命令の實施及び補充のため必要な規定の發出權限は大藏大臣、經濟大臣がこれを行ふとしてゐるがこれまたポーランドの場合と大いに異る點で、上述（一）と關聯して解釋すべきこと既に指摘した通りである

【附錄】ドイツ信用金庫ニ關スル命令（一九四〇年五月三日）

國防大臣會議ハ法的效力ヲ有スル左ノ命令ヲ發ス

第一條　一、デンマーク及ノルウエーニ進駐セルドイツ軍ニ對スル通貨供給ノ爲メドイツ信用金庫證券ヲ發行スルコトヲ得、右ノ發行ハベルリンニアルドイツ信用金庫中央管理局ニヨリ行フ

二、ベルリンニ管理委員會ヲ設ク、ドイツ國立銀行總裁ニヨリ指命サレタル委員ノ外、議長ノ下ニ大藏大臣、經濟大臣、國防軍司令官ノ各代理者ヲ以テ管理委員トス

第二條　一、ドイツ信用金庫中央管理局ハ二名以上ヨリ成ル理事部ニヨツテ管理シ、理事部ハ管理委員會任命ス

二、中央管理局ノ布告ハ中央管理局理事部ノ委員二名ニヨリテ發セラレタルトキハ拘束力ヲ有ス、右布告ハ管理委員會ノ任命セル代理者ニヨリテモ發スルコトヲ得

第三條　管理委員會ハ中央管理局ノ處置ニ關シ絕エズ報告ヲ受クベシ、ドイツ信用金庫中央管理局ハ管理委員會ニ對シ各月末ニ發行サレタル信用金庫證券ノ總在高及ビ手許資金ニ關スル計算書ヲ提出スベシ

第四條　ドイツ信用金庫管理局ハ第一條第一項ニ示セル目的ノ爲ニ五億ライヒスマルクヲ限リ國家ニ對シ貸付金ヲナスコトヲ得

第五條　一、ドイツ信用金庫證券ハ額面五十、二十、五、二及ビ一ライヒスマルク及ビ五十ライヒスプフエーニヒトス

二、ドイツ信用金庫中央管理局ハ發行ニ先立チドイツ信用金庫證券ノ明細ヲ公告スベシ

第六條　一、ドイツ信用中央管理局ハ磨滅汚損或ハ流通中毀傷シタルドイツ信用金庫證券ヲ新券ト引換フ責ニ任ズ

二、毀傷シタルドイツ信用金庫證券ニ對シ中央管理局ハ所持人ガ證券ノ二分ノ一ヨリ大ナル券片ヲ提出スル限リ、又ハ二分ノ一若クハソ

レヨリ小ナル券片ヲ提出スルモ其ノ證券ノ殘部ガ消滅シタルコトノ證據ヲ擧グル限リ右ノ引換ヲ行フ、中央管理局ハ訴訟手續ニヨル委員會ニヨリ證據ガ提出サレタリヤ否ヤヲ決定ス

三、證券ノ廢棄及ビ回收ハ中央管理局ニヨツテ行フ、中央管理局ハ之ニ關スル詳細ナル規定ヲ發ス、コノ規定ハ公告サルベシ

四、廢棄サレタル證券ハ中央管理局ニヨリ規定サレタル期間ノ經過後效力ヲ失フ

五、消滅、紛失、或ヒハ無效トナリタル證券ニ對シ中央管理局ハ引換ノ責ニ任ゼズ

第七條　一、ドイツ信用金庫證券ヲ故意ニ僞造若シクハ變造シ、之ヲ眞正ナルモノトシテ流通ニ齎サントシタル者ハ懲役ニ處シ、酌量スベキ情狀アル時ハ禁錮ニ處ス

二、僞造、若クハ變造シタル證券ヲ眞正ナルモノトシテ流通ニ齎シ、或ハソノ普及ニ協力シタル者モマタ罰ス、右犯人ガ善意ニ僞造サレタル證券ヲ受領スルモソノ不眞正ナルコトヲ知リタル後之ヲ眞正ナルモノトシテ他ニ引渡シタルトキハ二年以下ノ禁錮、若シクハ罰金ニ處ス、未遂罪ハ之ヲ罰ス

三、刑罰ト共ニ犯罪行爲ノ關係アル物ハ沒收ス特定ノ何人モ告發、若クハ有罪ノ判決ヲ受ケザル場合モ沒收ニ關シテハ獨立ト認ム

第八條　ドイツ信用金庫中央管理局ハ總テノ租稅及ビ公課並ニ凡ル手數料ヲ免除ス

第九條　ドイツ信用金庫中央管理局ノ計算ハ管理委員會ノ詳細ナル命令ニ從ツテ檢査ス

第十條　ドイツ信用金庫ノ收入ハ管理局ノ費用ヲ控除シタル後不時ノ損失ノ補塡ニ利用ス

第十一條　大藏大臣及ビ經濟大臣ハ國防軍司令官ト協議シ、本命令ノ實施及ビ補充ノ爲メ必要ナル規定ヲ發スル權限ヲ有ス、コノ際本命令ノ規定ト異ナルコトヲ得

第十二條　本命令ハ公布ト共ニ效力ヲ生ズ

ベルリン　一九四〇年五月三日

國防大臣會議々長　ゲーリング元帥
經濟全權委員　ワルター・フンク
國防軍司令官　カイテル
國務大臣兼內閣官房長　ラムマース博士

アンラ豫算に關する教書

ワシントン十六日

トルーマン大統領は十三日米國議會に對し次の教書を送つた

この國は戰爭で消耗した同盟各國の苦難を輕減し、これら各國がその經濟的生產力を復元する事業を開始するのに資するため、合理的に可能なすべてをなす旨公約した、聯合國救濟復興院（アンラ）は、以上の大任を達成するための最も重要な機構の一つである

一九四五年九月六日議會に對する教書で述べた通り、アンラ理事會の四十七ケ國は去る八月ロンドンでの第三次會議において「アンラに課せられた最少限の事業を完成しようとすれば、當初なされた以上の寄與が必要になるだらう」と議決した理事會は合衆國代表の動議に基き自國の領土が敵軍の侵寇を受けなかつた加盟各國が、一九四三年度の歲入の一に等しい追加額を寄與するやう勸告してゐる、右勸告に準據すれば合衆國の分擔額は十三億五千萬弗、卽ち一九四四年三月二十八日附議會の法律によつて承認された當初の寄與に匹敵しよう

△西北歐洲の飢餓を救ふ

一切の加盟各國の當初の寄與は東歐洲並びに東南歐洲各國に對し救濟復興援助を提供し且つ敵國領土で立往生してゐるよるべない國際聯合各國人のため配慮するアンラの活動に主として振り向けられた、勿論アンラは日獨兩國における救濟乃至復興の責任を負はうとはしてゐない、西北歐洲の被侵寇各國卽ち佛白蘭丁諾各國は、概言すれば外國から自國が必要とする輸入を獲得するに十分な外貨を外國のクレヂツトの資源を擁してゐる、從つて西北歐洲に對する直接援助はアンラが現に提供してゐるところに屬さない、逆にポーランド、チエコスロヴアキア、ギリシヤ、アルバニア各國は、戰爭の間に敵軍のために非常な打擊を受けたばかりでなく、殆ど全く外國爲替乃至クレヂツト資源を持つてゐない、かかる故に今日までこれら各國がアンラ活動の主たる對象であつた

アンラはイタリア國內において五千萬弗の資金

を以て、兒童並びに妊産婦の健康配慮の制限された計畫に乘出した

イタリアは國際聯合の共同交戰國として參戰して以來の人的資源並びに各種便宜を提供し、聯合國の勝利に少からず寄與したが同時に今回の戰爭で最も猛烈な爭奪戰場の一つと化した、同國内における窮乏と所要とは寔に言語に絶してゐる、イタリア政府は外貨資源は殆どなく、アンラの救助なくしては擧國飢餓に瀕する惧なしとしない

△東亞における活動

アンラはまたドイツに追放され奴隷化され、樞軸侵略の犧牲となつた聯合國人數百萬人に對する配慮歸國に協力し、更に中國に對する援助の豫備的計畫に着手した、今年末までにアンラは當初の寄與に基く一切の資金を使ひ果たし乃至使途が足つて了ふ豫定である、この資金で買ひ入れる供給の流れは來春早々以後までは續かない、日本軍との戰爭終了によつて、中國その他極東各地域で賴りにしてゐる必要の尨大さを推定出來ることとなつた、一九四五年における歐洲の收穫に關する報告に徵すればあらゆる種類の食糧が著しく不足なことが明かである、中國は現在アンラが當面してゐる一切の救濟責任のうち最も大きな責任となつてゐる、中國は不十分な供給と資源とに拘らず八年間敵軍並びに飢饉、疾病、インフレーションの猛威と勇敢に鬪爭した、更に數十年に亘る日本の壓制と搾取との後、國際聯合の平和的陣營に今や復元しようとしてゐる、朝鮮臺灣については他の計畫が必要である

アンラはまたオーストリアに對して援助を差し延べる方針である、右計畫はオーストリアをドイツから獨立して取扱ひ、ヒトラーの私兵によつて侵略される以前に同國が果した自由且つ平和的な役割を再び演じ得る樣支援しなければならないといふ大國間のモスクワ並びにポツダム宣言に基いてゐる、また白露並びにウクライナ兩ソヴエト共和國に對しても制限的援助案が企圖されてゐる、之らの領域は、ソ獨兩國の抗爭における主要戰場であり、ドイツ軍の最も惡質な殘虐行爲と破壞と掠奪との舞臺である

△平和確立の試金石

追加寄與資金案はアンラが責任ある救濟復興事業の、最も緊急且つ目前の所要に應ずるのにも果たして充分か否か分らない、米國政府は各敵國の降伏の後不要に歸した軍需補給並びに供與補給を流用して、この寄與の少からぬ部分を果たす方針である、余は米國が人類苦難の呼び聲に對して無關心でゐないことを承知してゐる、況や犧牲と勇氣とによつて敵軍が緒戰の勝利の成果を實現し、その軍事力を米國自らの岸邊に加へるに至るのを阻害した人々が苦難を受けてゐる場合殊に然りと信ずる

アンラは四十七ケ國が被侵寇各國の救濟復興に關する目前の所要に應ずるために選定した機關である、アンラは戰後の期間に運營される最初の國際組織であり、元來合衆國が提唱し且つ運營に當つて主役を演じた機關である、暫く純粹に人道的な考慮を措くとしてもアシラの成否は漸くにして平和を得た世界において、秩序と協力とを確立出來るか否かの試金石とならう

以上の理由に基き余は議會に對し、アンラの活動に參列するため十三億五千萬弗の新規豫算案承認を要請する

農業用殺蟲劑DD

（デーヴイス＝カリフオルニア＝十三日）カリフオルニア大學農學部はDDTに似て蟲害豫防に貴重な新物質DDを發明した、同大學の昆蟲學者W・H・レインジ博士の行つた新化合物デイクロールプロペーン＝デイクロールプロピリーンの野外試驗により、この藥は植物の根その他地下部分を食し、害する地中の針金蟲の猖獗を妨げる效果を有する事が判明した、藥品は穀類を植ゑつける一週間乃至三週間前にエーカー當り約四百封度の割合で特殊鑽孔器により地中に注がれる、DDの燻烟效果は針金蟲を制壓するに十分で、これを使用すれば穀物の收穫は大いに增加する

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　桧田幡三　東京都麻布區日比谷公園一ノ一　時事通信社

昭和二十年十一月二十日(火)　第一六號

時事通信　海外電報　(16)

ハンソン・ボールドウインは、その原子エネルギー論議の中で(海外電報版十一日十六日號)原子エネルギーの國際管理の問題につき、かかる提案が拒否された場合、世界は二つのブロックに兩斷され互に嫉視、抗爭して、何時なん時大戰爭に突入するかも知れぬ危險を包藏するに至る旨を指摘してゐる、米國の外交政策の基調は依然として、「一つの世界」理念を放棄しないに拘らず、現實は世界を二つのブロック—一方に米英、一方にソ聯の二大勢力圈に分立せしめる方向に進みつつあると米誌のあるものは指摘してゐる、ワシントンにおけるトルーマン大統領、アトレー英首相、マツケンジー＝キング加首相のポトマツク會談の共同聲明も「一つの世界」理念の裏付けの表に原子爆彈の製造知識を、國際的安全保障の完全な取極めが出來るまでは三國以外の如何なる國にも公開しないことを明示することによつて、アングロン・アメリカン・ブロツクの特別な地位を示唆してゐる、今夏初頭サンフランシスコに生れた國際聯合組織は原子爆彈の出現によつて、時代遲れにならないまでも、修正が必要とされるに至つたとは國際評論家の觀察であるが、原子エネルギーの問題を離れても「世界は一つ」の理念こそ、民主々義の最後の目標であることに變りはなく、わが日本は今國際問題について何等の提案をも行ひ得ない立場にあることは別として、わが國民が再生して再び世界國家の仲間入りが許される日を待たず、國民の教育は「アジアは一つ」の理念から「世界は一つ」の理念に向つて飛躍すべきであらう、ソ聯の社會主義がその根柢において「世界は一つ」の理想に出發してゐるのが明かなるが如く、米英の民主々義の理想も窮極はそこに落付くものである以上、それが實現のための現實の過程において迂餘曲折はありながら東と西と遂に相會ふ日を待望したい

カナダ駐ソ大使ロンドンへ

(モスクワ十八日)モスクワ駐劄カナダ大使D・ウイルグレスは十九日ロンドンに向け出發する、用務は米英加三國對ソ聯の原子爆彈問題に關聯するといはれる

【目　次】

佛蘭西政界の危機……一七〇
共産黨一歩も讓らず……〃
三大政黨の三すくみ……一七一
勃總選擧を繞り紛爭……〃
米、希選擧オブザーヴアを任命……一七二
「ベルゼンの獸」絞刑……〃
ナチ裁判は豫定通り開始……〃
クルツプ兵器王國崩壞……〃
濠代表米を支持……〃
【歐　洲】
ド・ゴール辭意を留保か……一七三
ルール問題で米佛交涉……〃
獨の冬季に米萬全の策……〃
「ワルシヤワの屠殺者」着米……〃
米、勃政府に再び抗議……〃
【戰後處理】
諮問委員會、米政策を承認……一七四
眞珠灣調査開く……〃
東條を喚問せよ……〃
駐亞帝國大使館の書類引渡し……〃
【特　輯】
米紙論調覗き眼鏡……一七五
【資　料】
敗戰獨逸の政狀……一七八
ヒトラーの最期……一八〇

B36 遂に完成

(ワシントン十八日)米國陸軍省は十七日B29を小人のごとく感ぜしめる超巨人爆撃機B36の製作が完了した旨發表した、B36を使用すれば世界中のいかなる目標物をも原子爆彈により攻撃することが可能であるといはれる

佛蘭西政界の危機

（パリ十八日）ド・ゴールが組閣難から臨時財政府首班の地位に辭意を表明したことから生じたフランスの國内政治の危機は十八日夜に至り共産黨が「憲法議會議長社會黨出身のフエリツクス・グーアンを十九日の本會議で新臨時政府首班候補に推すに決定した」と發表したことによつて更に紛糾を加へるに至つた、共産黨のこの發表は、ド・ゴールを再選する意思のないことを明白にしたものであり、同時に共産黨がその書記長モーリス・トレーズを政府首班に推す野望を有してゐるとの世評を破碎する意圖によるものと解される、社會黨では三黨會議の後黨の祕密會議を開いてその問題を論議しようとしてゐるが、三黨の意見が一致しない限り、問題は暗礁にのり上げるほかなく、人民共和黨は依然としてド・ゴール絶對支持の意向を捨てず、社會黨は他の二政黨が一致することを條件にして、共産黨側の提案に應じてもよいと十七日夜聲明、必ずしも、ド・ゴールの再選を固執してゐないが、人民共和黨と共産黨との意見一致は今のところ見込みがあるとは思はれない、社會黨の機關紙「ル・ポピュレール」は十八日の紙上に、その黨首レオン・ブルームの論說をのせ

ド・ゴールの十七日のラジオ放送は事態を單純化するには何等の役に立たず、十九日の憲法會議の論議は最大の關心をもつて注目を要すると述べてゐる、目下議に上つてゐる新臨時政府首班の候補の中に戰前の政治指導者の名はレオン・ブルームとも含めて一人も存在しないことは特に留意を要する點と思はれ、現狀ではド・ゴールの名がフランス國民の上に只一つ光被してゐるかたちで、ド・ゴール以外の人物を憲法議會がたとへ推擧しても、その安定性は極めて少いと解される、ド・ゴール自身も、再選されれば、その國民的支持を楯にして、共産黨の主張を押へ、再び組閣に努力する決意を有してゐるものと解される

共産黨一步も讓らず

（パリ十八日）ド・ゴールの臨時政府首班の椅子投げ出しは果然フランス政界に時ならぬ渦紋を捲き出し、各黨各派分立の危機を招くに至つたが、憲法議會の三大政黨たる共産黨、社會黨、MRP（基督教社會主義を標榜する人民共和運動）は十七日朝全員三十名の代表を有する委員會の會議を開催、ド・ゴールの辭職問題および新政府閣僚の椅子割當問題を俎上にのせて對策を協議した、しかるにMRPがド・ゴール以外の何者をも首班に戴かぬ決意を再び强調し、社會黨はド・ゴールの留任要請を提案してMRPに與したのに對し、共産黨は眞向から留任要請案を一蹴したため、會議は蜂の巢をついたやうになり、結局會談は物分れに終つた、ロイター記者ハロルド・キングの報道によれば、共産黨はモーリス・トレーズを假政府首班に推す意向といはれるが、ド・ゴールは十七日ラジオを通じて

フランスが他の二大政治國家間の均衡を維持することを利益とする建前から、フランスの外交政策を支配する閣僚の椅子を共産黨にあたへることは斷じて出來ない、共産黨は外務、國務および內務の三椅子を要求してゐるが、國防はフランスの外交を屈押しし、內務は、フランスの外交を保護する意味で、以上の三持子は一體である

と述べて共産黨反對の强硬な態度を示したといはれる、ド・ゴールは「二大政治國家」の名を具體的にいはなかつたが、ソ聯を含めてゐることは明瞭で「もしも共産黨がフランスの外交權を掌握したならば、ソ聯の比重が桁違ひに增大する結果、兩大國間の均衡は須臾にして破れる」といふのがド・ゴールの肚らしい、他の大國については英國說が有力で、ロイターの如きはド・ゴールが西歐ブロツクを企圖してゐると希望的觀測に耽つてゐるやうだ、他方共産黨はド・ゴールの放送に對抗して次の聲明を發表した

共産黨は如何なる閣僚の椅子をも積極的に要求してゐるのではない、黨の希望するところは出來るだけ早く新政府が出來ることであり、その際當然受けるべき責任を與へられることだ

昭和二十年十一月二十日(火)　第一水號

時事通信

海外電報　第種郵便物認可

三大政黨の三すくみ

（パリ十八日）フランス政界の危機は十八日夜中に三黨の意見の一致をみない限り十九日の憲法議會本會議による打開は全く絶望視されてゐるが、社會黨の長老ヴアンサン・オリオールは十八日、「社會黨は三黨が一致して推擧し得る人物にのみ投票する」と言明して黨の中間的態度を明かにし人民共和黨の黨首モーリス・シユーマンは「黨はド・ゴール再選の一本槍だ」と語つて、共産黨に譲る意思のないことを明白にした、社會黨がその聲明の如く三黨の意見が一致しない場合、決戰投票に棄權するとせば、人民共和黨と右翼の合同勢力は優に倍數近い投票で、共産黨を破つてド・ゴールを再選するであらうが、ド・ゴールが果して共産黨との正面衝突を覺悟してこの再選を受諾するか否かはなほ疑問である

勃總選擧を繞り紛爭

ブルガリア總選擧を前に米國政府が嚴重抗議を提出したために、ロンドンにおける外相理事會の決裂以來行詰り狀態に陷つてゐた米英ソ三國の關係は、更に緊張を呈するに至つた、米國政府の抗議に關聯し、ロンドンからのロイター電報は

ソフイア駐劄英國代表は、ブルガリア政府の總選擧計畫に檢討を加へてゐるが、米國政府の抗議の基礎となつたのと同樣の報告を本國政府に提出してゐる、但し英國政府が同樣抗議するかどうかは未定だ

と報道し、同じくモスクワからのロイター電報は次の通り述べてゐる

△「ブラウダ」紙干涉を排擊

ブルガリア總選擧に關聯し、米ソ兩國政府は正面衝突の狀態に陷つたやうだ、バーンズ國務長官が今回の通牒で、ブルガリア國内に自由な選擧が施行されるか否かについて疑問を述べたのに對し「ブラウダ」紙は十七日の社説で自國の立場を闡明「ブルガリアの内政については、一切外國の干涉を拒否する」と述べてゐる、目下交涉は續いてゐるが、モスクワ外交界筋では妥協の見込みが薄いと悲觀的だ

ソフイアからのロイター電報によれば、ゲオルギエフ首相は、出來るだけ早く米國政府の通牒について檢討を加へる旨を述べたと傳へられるが、ソフイア駐劄政治代表メーナード・バーンズを通じバーンズ國務長官がブルガリア政府に傳達した通牒正文次の通り

△バーンズ長官抗議正文

ブルガリア政府において諒承してゐる通り、合衆國政府は最少限の遲延を以てブルガリアと平和條約を締結することを希望し、右目標のもとに、早い日取に妥當なブルガリア臨時政府を承認し、且つ外交關係を樹立することを要望してゐるからかかるブルガリア政府が國内の重要な民主々義的見解を十分代表することが絶對必要であり、人民の大多數の意思が決定され、ヤルタにおける公約が履行されるために武力と脅威との恐怖を受けず國内一切の民主々義諸分子が效果的に參劃する如き自由選擧施行の手續を整へることが必要である

國務長官の特使マーク・エスリツヂが最近ブルガリアを訪問した際の公表された目的は、實にかかる情勢を調整するにあつた、エスリツヂ氏の調査結果はブルガリア政府並びにヤルタ協定署名各國に通達された、當初一九四五年八月二十六日に豫定された總選擧が延期されて以來自由な政見表明の機會が與へられた、しかし八月以降現在のブルガリア政府を改組し、眞に民主々義的見解を代表させる樣な措置は全然とられてゐない、一九四五年十一月十八日に豫定されてゐる總選擧においては、單一候補者名簿の運營により重要な民主々義分子が除外されてゐる、加ふるに輿論の自由な表現は、强迫の脅威と次いで報復とによつて、更に制限されるに至つた徵候あり、かかる條件のもとに施行される總選擧の結果が、代議民主政權に關するブルガリア人民の選擇を反映すると考へるべき理由は全然ない

米、希選擧オブザーヴアを任命

（ワシントン十八日）トルーマン大統領は十七日大統領令をもつてヘンリー・グレーデイ博士をギリシヤ總選擧のオブザーヴアに任命した、グレーデイは現在ロンドンに滯在してゐるが、大使の資格で一旦ギリシヤを訪問した後ワシントンに歸り再び一月二十日の總選擧に間に合ふやうギリシヤへ赴く豫定である

「ベルゼンの獸」絞刑

（リユネベルグ十八日）英軍事法廷は十七日「ベルゼンの野獸」ヨゼフ・クラーマーほか二十九名のナチ殘虐行爲者に對し刑の宣告を下した、絞首刑八名、死刑（特に死刑の樣式を指定せぬもの）三名、終身禁錮刑一名、十五年から一年までの禁錮刑十八名である、絞首刑を宣告された主な者は次の通り

ヨゼフ・クラーマー（三十八歳）＝ベルゼン强制收容所長

フリツツ・クライン博士（五十五歳）＝强制所付醫師、ルーマニア人

ペタール・ワインガルトナー（三十二歳）＝ユーゴスラヴイア生れ大工、收容所看守

イルマ・グレーゼ（二十二歳）＝「ベルゼンの金髮の獸」と稱せらる、女看守

ナチ裁判は豫定通り開始

（ニユールンベルグ十八日）國際戰爭犯罪法廷は十七日懸案のグスタフ・クルツプの代りにアルフリード・クルツプを裁判に附せず、且つ裁判を延期せずに豫定通り十一月二十日から開始する旨發表した、但しソ聯が延期を要求した事實を一言斷つてゐるが、米國側主席檢事ロバート・ジヤツクソンは

ソ聯側の延期要求は主席檢事エル・アー・ルデンコが病氣のためモスクワを離れられず、從つて裁判に出席出來ぬためであらうと言明した、またフランスおよびソ聯側の檢事代理は法廷に對してアルフリード・クルツプ告發に關する米ソ佛三國の要求を拒否した事實につき抗議したといはれるが、さらにフランス側檢事團はアルフリード・クルツプを裁判に含めるやう文書をもつて十九日の公聽會に重ねて要求する豫定といはれ、フランスの檢事代理は次の通り憤懣を洩らした

余とソ聯代表が十七日裁判所に赴いたときには既に公聽會が開催された後だつた、また余が文書をもつて發言を要求しておいたのに對し無視されたのは憤慨に堪へない

國際戰爭犯罪法廷は、さらに、ナチ主要戰爭犯罪人二十四名の一人として告發され、ベルリン戰當時から杳として消息を斷つてゐる總統官房長マルチン・ボルマンを缺席裁判に附し、法廷の任命した辯護人をもつてボルマンの辯護に當らせる旨を明かにした、右はまだボルマンの死が確認されてゐないことを理由に英國側が提案したことに基くものである

クルツプ兵器王國崩壞

（リユネブルグ十八日）英軍政府はエツセンのフリードリツヒ・クルツプを社長とする武器鐵鋼製作會社および支社、子會社一切の全財產を接收、エツセンに管理本部を設置し、現在の會社經營部を解體した旨十六日發表した、右に伴ひ英軍政府スポークスマンは

ドイツ武力の中樞は存在を止め、その傳統と影響力は永遠に終止符を打たれると言明したが、聯合軍は去る十月I・G・ファルベン・インドウストリーの全財產を接收、更にソ聯占領地域のザクセン地方政府は十五日工業王フリードリツヒ・フリツクの財產を沒收してゐる

濠洲代表、米を支持

（ワシントン十八日）極東諮問委員會の濠洲代表ハーバート・エヴアツト博士は米國の方針に對する全的贊成を表示して十七日次の通り述べた

米國は太平洋の安全を保障するため濠洲領土に基地を持つことを希望してゐるが、互惠的基礎で米國に基地を與へることはさして難事ではないと思はれる、米國は舊日本委任統治領に基地を要求するならば問題なく與へられるであらうまた極東諮問委員會において米國の見解に特別の考慮を拂ひながら各國がそれぞれ拒否權を確保するといふ案は余としては反對だ

昭和二十年十一月二十日(火)
第一六號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

【歐　洲】

ド・ゴール辭意を留保か

（パリ十六日）フランス臨時政府首班に推薦されたシヤルル・ド・ゴールは十七日新政府の組閣難を理由に憲法議會に對して就任を辭退する意思を通告したが、右事實はいまだ公表されず、側近者側では、各黨指導者の勸說に基いてなほド・ゴールは組閣に努めてゐると語つてゐる、議會は十九日の會合で對策を協議する豫定であるが、一應議長グーアンがド・ゴールを說いて辭意の留保を說得し、ド・ゴールはこれに承認を與へたとつたへられる、ド・ゴールが組閣を投出すに至つた動機は共產黨が外務、國防、財政の三重要椅子の內、一つの絕對確保を主張して讓らないがためと云はれる

ルール問題で米佛交涉

（ワシントン十七日）目下ワシントンにおいてルール・ラインランドの處理について米佛代表間に協議がすすめられてゐるが、フランス側は飽くまでルール、ラインランドがドイツの一部分なることに反對、その國際監理を主張してゐる、交涉に當つてゐるフランス側代表は佛外務省政務局長モーリス・クーヴ・ド・ミュルヴイルで、米國側は國務次官補ジエームズ・ダンである

獨の冬季に米萬全の策

（ワシントン十六日）ドイツ占領地域の米軍政長官アイゼンハワー元帥は上院陸軍委員會の公聽會に出席するため歸米してゐるが、上院共和黨議員アレキサンダー・ウイレーの質問に答へた元帥の書簡が十四日公表された、書簡の內容次の通り

「この冬におけるドイツの狀態は決して樂觀を許さぬものがあるが、米軍政府は能ふ限りの對策を實施してゐるから、米軍占領地域の冬は困難なものとは思はれるが、すくなくとも堪え難いほどのものとは考へられない、從つて一般に豫想されてゐるやうな大量飢死はまづ起るまいと思ふ、余も余の部下も戰爭犯罪人は公民な法によつて嚴罰に處せられるべきだと信じてゐるが、無辜の民衆に非人道的であり米國人らしくない行動をとることは絕對に許さぬ積りである、余はDデーより遙か以前に既に米軍占領地域における第一年目の冬季に發生すべき事態を十分に豫想し、米國の名譽を汚す如き事態の生起を阻止するため萬全の策を樹てておいた、但しベルリンでは戰前程度の出產率を維持することはまづ不可能であらう」

「ワルシヤワの屠殺者」着米

（サンフランシスコ十六日）日本において米軍により逮捕された「ワルシヤワの屠殺者」ヨゼフ・アルベルト・マイジンガー大佐は飛行機で東京からワシントンに送還される途上十五日サンフランシスコに到着した、マイジンガーはドイツ軍のポーランド占領後ワルシヤワのユダヤ人地區を徹底的に破壞、ユダヤ系ポーランド人十萬以上を虐殺して血醒い記錄を樹立した殺人鬼だが、一九二一年東京に赴任して以來、ナチの極東諜報部長としてスパイ活動の方面でも辣腕を振つた、ニューヨーク放送によれば、彼は米軍によつて逮捕された後自殺を試みたといはれるが、ナチ主要戰爭犯罪人としてドイツの米軍當局の手で裁判に掛けられる前にワシントンで豫備訊問に附せられる

米、勃政府に再び抗議

（ソフイア十六日）總選擧を十八日に控へたブルガリア政界は異常な緊張を呈し、左翼の「祖國戰線」と反對派の諸政黨はいづれも必死の選擧運動を展開してゐるが、米國務省は十六日再びブルガリアの左翼政府に對して次の抗議を行つた

「ブルガリア政府は彈壓的政策を採り、十八日行はれる總選擧から重要な民主々義分子を排除したといはれるが、更に威嚇、强制、報復の諸手段で民意の自由な發現を拘束してゐる兆候がある、かかることは民主々義と全く反するものであり、自由で拘束なき總選擧の實施といふことは出來ない」

【戰後處理】

諮問委員會、米政策を承認

（ワシントン十六日）極東諮問委員會は十六日マツカーサー元帥が現在日本で遂行しつつある米國の基本的政策を非公式に承認した、正式承認は二十日投票によつて決定されるだらうといはれる、委員會は濠洲代表エヴアツト外相を委員長とする專門委員會の報告（日本政府に對するマツカーサー元帥の布告として遂行されたる政策）には殆んど訂正を加へなかつた、また東京訪問の可能性も論ぜられたが、これは恐らく二十日表決をみることにならう

眞珠灣調査開く

（ワシントン十六日）眞珠灣事件調査委員會の公聽會は愈々十五日から開催され、第一日の證人として海軍諜報部長イングリス少將及び陸軍參謀本部のチーレン大佐が出席した、公聽會には眞珠灣事件當時ハワイの陸海軍司令官だつたハズバンド・キンメル提督、ウオルター・ジョージ將軍を含め陸海軍の將星が多數出席したが、今後證人としてコーデル・ハル元國務長官、スチムソン前陸軍長官、マーシヤル參謀總長、ハロルド・スターク元海軍作戰部長、デユウイ・ニユーヨーク州知事等が出席することとなつてゐる

委員會は一方日米開戰前、大體一九四一年七月一日から十二月八日に至る期間に米國側機關が傍受した日本の暗號電報の內容をもつた二百五十三頁にわたる報告を發表したが、そのうち主なもの次の通り

△十一月十日、野村大使より日本政府へ

余の見解ではルーズヴエルト大統領もハル國務長官も「和平」會議を開いたところで現在の緊張した日米兩國の外交關係を改善することはできまいと信じてゐるやうだ、余は昨九日米國の一閣僚と懇談したが、席上かれは余に對して「余は貴下の親友として貴下だけに打明けるが米國政府は日本軍が間もなく行動を起すだらうとの信賴すべき多くの情報を接受してゐる、貴下の大統領との會見或ひは來栖大使のワシントン到着も結局全般的情勢を變へることには役立たぬだらうといふのが米國政府の見通しだ」余はその閣僚に對して「日本政府も日本國民も戰爭を欲してゐない」と抗議したが、かれはこれに答へて、「ルーズヴエルト大統領もハル長官も米國側の接受しつつある情報に信をおいてゐる」と述べた

△十一月二十二日、日本政府よりワシントン大使館へ

日米交涉は十一月二十九日をもつて打切りとしそれまでに交涉が纏まらぬ時は新事態が自動的に發生することとならう

△十一月二十八日、日本政府よりワシントン大使館へ

日米交涉は二、三日以內に打切るべし

△十二月六日、日本政府よりベルリンへ

日本の作戰的事情が許すまでソ聯との開戰は差控へたし、但し日米開戰の曉には日本はソ聯向けのあらゆる米國船舶を拿捕するであらう

東條を喚問せよ

（ワシントン十六日）眞珠灣事件調査委員會は十五日から多數の證人を招いて公聽會を開催してゐるが、下院議員ジアハートは十六日東條大將を眞珠灣攻擊の張本人として公聽會に出頭せしむべきだとの提案を行つた

駐亞帝國大使館の書類引渡し

（ブエノスアイレス十六日）マツカーサー司令部の命令によつて日本の在外公館所有書類の聯合國への引渡しが命令されたが、ブエノスアイレスにおける日本大使館の書類は日本の權益代表たるスイス公使館の手を通じ、十四日正式に米英兩國大使館に引渡された、米英大使館にのみ引渡されたのは中國及びソ聯がアルゼンチンに代表を有してゐないに基くものである、同時に大使館はアルゼンチン外務省に對して、若し同國が日本側の書類に必要なものがあれば、同國にも書類引渡しの用意がある旨通告した、アルゼンチン政府は數ケ月前ドイツ大使館の書類を押收したが、その際米英兩國政府に對して、必要書類の引渡を局限した前例がある

昭和二十年十一月二十日(火)
第一六號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

米紙論調覗き眼鏡

佐藤剛

われわれ豐葦原瑞穗の國の民草はいま米が喰へぬので忙しい、民主々義の掛け聲もともすれば空念佛、米國からお布施を頂戴しようとする鉢叩きに過ぎない、おなかがすいてもひもじうないなどといふのは封建的痩我慢であるから、滿員電車の中で人皆衣食足つて民主々義を知ると嘆ずるのも誠に道理である、お臺所の方々が婦人參政權よりも配給の量を增してと話し合ふのもまた人情の赴くところやむを得まい、一千萬人の餓死者が出るか出ないかの瀨戸際に、誰も外國のことなど構つてはゐられない故、九百九十萬人目あたりにならないやうに保身の努力をする傍、ひたすらマツカーサー司令部に流眄を送つてゐるのが敗戰日本の現情だ

だが、退いてつらつらおもんみるに、世界の趨勢はわれわれの飯の問題にそれ程關係なくはないわが家のお藏に火が付いてゐるのを棚に上げて、やれ米ソ對立だ、それ渝延相剋だと勝手な熱を吹いてゐた戰爭中の愚かさもさることながら、されぱといつて大和島根の中だけに目を向け、日本に直接關係のない外國の論說に目をつむつてゐたのでは世界の進運から取り殘される、目先の利害だけを追ふのは朝三暮四、類人猿の位に自らへりくだるに等しく、それではとても大人として世の中に出られない、第一かんじんかなめの輸入すら思ふやうに出來まい、人はマツカーサー司令部の一顰一笑に一喜一憂し、次にどんな指令が出るかを氣に病む前に、聯合國がいかなる目的と方針の下に平和再建を行はうとしてゐるかに深く思ひ致すべきではなからうか、特に遠く太平洋の彼岸の米國が何を考へ、何を行つてゐるかを理解すべきではなからうか、終戰の詔勅にも「世界の大勢と帝國の現狀に鑑み」と述べてあるではないか

米國はいふところの輿論の國である、うはべを眺めれば各人各說、ただ人の物いひのさがなさが知られるだけのやうだが、おのづからおのがまにまにせせらぐかにみえる山川も、集つては大河となる、水は決しては東西いづれにも赴くが、流れては自然に低きにつくとは先哲の說くところ、一見不羈奔放の米國輿論も民主々義の原則に從つて集大成されれば、世界平和再建を、聯合軍の日本管理を指導する大きな力となる、自由になればなるだけ却つて定說に責任を伴ふのが眞實であらう

さて、筆頭を揭げる能書きはこの位にして、お立會ひの方々にこの覗き眼鏡を通して最近の米紙論調を覗いて頂かう

△平和のための同盟

「最近の米國各紙の社說は依然有效な國際協力の問題に至大の關心を示してゐる」と桑港からの放送はいふ

世界の殆どすべての人々はもう戰爭には懲り懲りだ、特に空襲はバケツのリレーで防げるといふ飛んでもない話を信じてゐたわれわれ帝國臣民はB29から雨霰と降る燒夷彈に右往左往し、近代化學戰の恐ろしさを初めて知つて、今更ながら、軍閥に引摺られて乘り出した侵略戰爭を後悔してゐる、喉元過ぎての熱さわするかの中で煮えくり返るばかりだ、勝つて強くなつた米國やソ聯にしてからが、責られた喧嘩を買つた餘儀ない仕儀で、それぞれ多くの犧牲を拂つてゐる、今後も勿論戰爭の防止に智惠を絞り、全力を傾けるに違ひないそれには平和の組織、つまり國際協力がどうしても必要であらう

「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙」は言ふ

平和のための同盟の必要とされること、最近までの戰爭のための同盟に、勝るとも劣らぬ

「ワシントン・ポスト」紙も平和確保の「時と力」を論ずる

われわれは安全保障に止らず、例へば繁榮といふやうな平和促進の力をも、われわれ自身の時代に作り出し、その恩惠に與らねばならぬ

その主要な手段は世界組織、特に國際聯合の强化に在る

世界の大勢はいま滔々として平和と再建に向つて流れてゐる

△「秘密」の管理

原子爆彈にしても同じだ、廣島を一瞬にして廢墟と化した恐るべき原子力を、いかに平和のために使ふかは世界の大きな課題であらう、英國首相アトレーをワシントンに迎へて、米國大統領トルーマンは原子爆彈についての會議を開いた、會談についての米紙論調を拾つて見る

「ニューズ解說者マーキス・チヤイルヅ

アトレーのワシントン訪問によつて、各國間の全幅的協力の問題は、半ば以上解決されるであらう、アトレーとトルーマンの會談で第一に附議されるのは原子爆彈であらう

「ニューヨーク・タイムズ」紙

今回開始された會談は閉め切つた室での密談の性質を有つてはならぬ、會談の主題は原子爆彈そのものではなく、破壞の目的に使用され得る科學なるものを全體としていかに取扱ふかである、問題は各國間の信賴を增進するが如き基礎に立つて解決されねばならぬが、それには原子爆彈の「秘密」を知らせ合ふだけでは極めて不十分である、五大國—ロシア、英國、フランス、中國、米國—の間に危險な政治的緊張の發生を許さぬことが必要である、國際聯合の下に置かれる國際警察が本當に國際的であり、眞の意味で警察力たることが必要である、平和と善意を保つために必要とあらば、米國を初めあらゆる國家は利害と主權について妥協を行はねばならない

「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙

(會談の議題は種々擧げられるが)原子爆彈の發明といふ恐るべき現實に照らすに米英兩國間の關係の全體を構成する細目の中で、最大の關心が寄せられるのは、聯合國組織に生命と力を吹き込む仕事である

「ワシントン・ポスト」紙

原子爆彈の秘密を世界と共に分たうといふアトレー首相の提案は、すでに盛んに行はれてゐる軍備擴張競爭を停止せしめるであらう、アトレーがこの秘密を聯合國組織に與へようといふのは誠に筋の通つた話だ

もし、誤つて原子爆彈の秘密を管理させるため別に一つの機關を設けるならば、國際聯合に實力を與へ、影響力を持たせるに必要な刺戟が喪はれるであらう、國際聯合は今のところ國際的無政府狀態から秩序を作り出さうといふ希望を組織したものに過ぎないから、この刺戟は是非とも大切にせねばならぬ

アトレー首相の提案は原子爆彈についての科學知識と資源をプールせんとするもの故、これが採擇は國際聯合に新しい機能を與へることとならう

「カンサス・シテイ・スター」紙

アトレー首相の提案に對し、トルーマン大統領は現在原子爆彈の製造方式を握つてゐる三國がこれをそのまま國際管理として保有する方が望ましいとする、米英兩國案とも現實の管理方法如何に懸つてゐるが、その方法はいまだ誰も發見してゐないやうだ、兩巨頭は問題の解決に、「ソロモンの智惠」を要するであらう、原子爆彈の價値は刻々變化するから、唯一の解決策は世界の安全保障のために世界の政府を確立することでなくてはならぬ

「クリ」ヴランド・プレイン・デーリー」紙

新武器によつて戰略上の革命が齎らされた結果國境や海洋の如き障壁は早一國を攻擊から守り得ず、敵となる可能性のある外國に對し奇襲の準備だけが唯一の防衛手段となつた、われわれが原子爆擊の秘密を抑へ、他國に知らせずにおかうとするのは、危險この上もない話だ

人類が作つた科學は人類の福祉を增すために使はれなくてはならぬ、フランケンスタインの怪物のやうに作つた人間を齎してはならない、原子爆彈製造上の秘密を無暗と他國に教へる譯には行かないけれども、謎は追付け他國にも解ける筈である互に隱し合つて危いものを作りつくらうとするのは馬鹿らしいではないか、原子力の管理は平和の建設戰爭の防止と切り離せない問題だ、といふのが米紙の論調の基調とみられよう

△建設は難業

しかし、平和の建設はここに筆で書く程容易ではない、われわれも身をもつて知つてゐる、戰爭

時事通信　海外電報　(第三種郵便物認可)

中に飛行機や船を造るのもむづかしかつたが、戰爭が終つてから住家や仕事を見付けるのはなほ更むづかしい、軍國主義から民主々義に急轉換し、初めて自由の身になつても、多くの人間は暗闇から明るみに出たもぐらもちのやうに途惑ひするばかりだ、中には晝間の梟のやうにぢつと隱れて夜を待つてゐる性の惡い軍國主義者すらゐないとはいへない、とに角光はあまりにもまぶしく、太陽がどこにあるのかわからない、政府は何もしないで指令を待つてゐるし、國民もただ何ものかの出現を漠然と期待してその日を過してゐる

これは弊國の話だけれども、世界の他の國にしても、事情は別であつても、平和建設は必ずしも順風に帆をあげるやうな調子には行かない、四方の海に立ち騷いだ波は一擧に收まる筈がない、國際協力の大原則に立つて、利害錯綜する各國間の問題を一つ一つ克明に解決して行くことこそ、聯合國による世界再建の事業の指針であらう、平和建設の指導力たる米國の輿論はこれをどう解してゐるであらうか

「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙

今日のやうな事情の下に在つて、あらゆる場面で共同動作を求めるのは無理だが、戰爭の勝利を贏ち得た同盟が、平和維持のためにもつと屢々利用されるならば、極東で流される血は遙かに少くて濟むであらう、中國を民主々義憲法の下に統一するため、極東に關心のあるすべての國國によつて(國共兩黨間の)折衝が勸奬されねばならない

いふまでもなくこれは國共兩軍が、蔣介石、毛澤東兩巨頭間に妥協々定成立後間もなく、又も衝突したと傳へられる事態を指す、極東に關心を持つ國々のうち最大の實力を有つてゐるのは勿論米ソ兩國

「ボルチモア・サン」紙

米英ソ三國の占領地域の間には、ドイツ管理の方式に差違が認められる、ソ聯の政策は、占領期間中に舊秩序を徹底的に破壞し、赤軍撤退後「古きドイツ」が社會的、政治的、或ひは經濟的に再び頭を擡げる可能性を皆無にするにあるが、同時にソ聯は占領統治といふ負擔から出來るだけ早く解放されようとしてゐるかに見える

米軍の占領政策もまた、ナチ主義を永遠に撲滅し、軍事的にドイツを永久に中立化すれば占領は短期間で終るといふ假定の上に築かれてゐるしかし、英國は中歐の經濟的安定に利害關係を有つてゐるので、綿密な方式による占領統治が長期に亘ると考へてゐる樣子だ

「ニューヨーク・タイムズ」紙

從來ソ聯を謎の國としてゐた嚴重な檢閱が、最近緩和されるか乃至は全然撤去された事實は、國際協力のために喜ばしい、勿論この事實だけを見て甚しく樂觀するのは早計だが、今回の措置がロシアが傳統的に抱いてゐた大國にふさはしからぬ猜疑心の一擲を意味するならば、結局ソ聯が世界の他國と折り合ふ氣持があることを示す、さうなれば世界も必ずソ聯と折合ふに相違ない

「ワシントン・スター」紙

陸軍航空隊總司令アーノルド大將の第三次報告は、破局の回避に世界各國間の緊密な協力が絕對に必要の旨を强調した、同報告は近時一般に航空機に使用されてゐるものとは異つた共動力や裝置による未來の航空機を描寫して見せたがそれは次に世界大戰が起れば深夜の惡夢よりも恐しく想像を絕する結果を招來するといふ意味の警告である、この警告に鑑みれば、アーノルド將軍の說く軍備の絕對必要は勿論、一時的な失望や現在發生してゐる國際紛爭によつて、人類が恒久平和確立の緊急事業の手を緩めるやうではならぬ理由の一つが恐しい位はつきりするであらう

「セントルイス・ポスト・デイスパツチ」紙

米國はパレスチナと中東に對し新しい政策を決定せねばならぬ、新政策は第一に、放浪の民として歐洲をさまよつてゐるユダヤ人を至急パレスチナに移住させるために必要な協力を英國に要請し、第二に、國際聯合の活動開始後直ちにパレスチナの委任統治權を國際信託會議に讓渡するやう主張することでなくてはならぬ、アラブ諸國の指導者を慰撫し、意見の相違を解決したらよい、現在難關打開の機會は米國に與へられてゐる、も早英國だけの力では及ばず、問題は既に世界の關心事だ

これは故ルーズヴエルト大統領が生前パレスチナをユダヤ人の新國家とする約束をしたとかしないとかいふ問題を繞つて最近米國内に發生した紛議に關する議論である

「ワシントン・イヴニング・スター」紙

チエコ政府の國有化政策は注目に價する、英國歐洲さては全世界に比較して、米國は今日大國のうち經濟的に最も保守的な國家といはざるを得ぬ、米國では私有企業がいまだに支配的だが他國の一般傾向は社會化へ、社會化へと向つてゐる、この現象はどう見ても一時的とは考へられぬから、他國に何が何故起つてゐるかを理解するのは益々重要である、われわれはこの現象を研究し、理解ある態度をもつて適應すべきであらう

ところで、これらの論説を讀んで世界は結局再び戰爭を恐れながらも戰爭に向つてゐる、人間は何時の世でも喧嘩をするではないか、金持は金持で貧乏人は貧乏人でいざこざがあるではないかと考へる人があるならば、少々間違つてゐよう、今の世界はナチスの擡頭を許した第一次大戰後の國際情勢とは根本的に異つてゐる、軍國主義、侵略主義は完膚なきまで叩きつけられ、完全に拭ひ去られようとしてゐる、米ソ兩國は共に民主々義を唱道し、英國、フランス、中國其他の聯合國は世界再建に力を併せてゐる、資本主義と共産主義、大國と小國、其の他色々な對立はあつても、大きな枠は決つてゐる、もしこれらの對立から鬪爭が生れるとすれば、それは平和に、復興に誰が多くの力を致し誰が多くの力を握るかの競爭に過ぎない

人或ひはいふであらう、侵略主義打倒といふ大きな目標が喪はれた今日、戰爭のために抑へられてゐた矛盾が再び表面化するのではないかと、だが、聯合國にとつてはこの戰爭は戰爭をなくすための戰爭であつた筈だ、更にまた戰爭のために拂つた犧牲に較べれば、妥協、讓歩はおろか、革命の犧牲ですらものの數ではない、況んやこれ原子爆彈を初め恐るべき新兵器の出現が豫想されてゐるにおいてをや

何故こんなことをくどくど書くかといふと、今そんなこともあるまいが、終戰直後一部右翼主義者の間に、そのうちに米ソ兩國或ひは他の聯合國がまた戰爭をはじめるから、その機會を利用して日本の再興を圖らうなどといふ淺墓な考へがあつたやうだからである、或ひはまた軍國主義者が敗戰後延安と手を握り、東亞を攪亂しようなどといふ奇想天外の甘い見方をしてゐたかに思はれるからである、これではいふところの新日本建設も滅茶目茶になる、第一又世界に戰爭が始つたら日本の餓死者は一千萬人では濟むまい、國共相剋にしても中國の統一なくしては東亞の安定と繁榮の實現は至難であらう

いざこざも話し合ひで片付けられる、原子爆彈すら發明した人間がそれ程智惠のないものでもあるまい、特に今まで自己を世界に冠絶した優秀な民族だと自惚れてゐたわれわれ日本人は、外國にももつと優秀な人間のゐることを知る必要があらう、そして世界情勢の見方も戰時中とはすつかり變へるべきだ、それでないと自分が水に落ちるのも忘れて向ふ岸の火事に手を拍つやうな愚を再び繰り返すことになる

資料

敗戰獨逸の政狀

「N・Y・タイムズ」紙十月二十八日

フランクフルト・アム・マイン

ドルー・ミドルトン

ドイツ國内の米英佛三國軍の占領地帶における諸政黨は、今や最大の機會と最大の挑戰とに當面してゐる、ドイツに曾つて見られなかつたやうな正氣のかつ代議制的基礎に立つてこれらの占領地帶に政黨政治體制を樹立し、かくしてドイツの政治機構を全體主義から西方的な民主々義體制に導く機會に惠まれてゐるのだが、挑戰はドイツの政黨政治史に内在してゐるといへよう、時の便宜に叩頭し、軍とベルリンの官僚群の壓力に對して無力だつたといふ悲しい物語のうちに内在してゐるしかしドイツが混沌と被占領とのうちから、代議制的民主々義政權をもつて立ち上らうとするのであれば、古い過誤を繰返へすことは出來ない、從來の弱點を再現することは出來ない、ドイツ國内における各政黨の分野は逐次はつきりし、各大政黨がこの冬の選擧に乘り出す政綱も小冊子や演説

から既に豫想出來るやうになつた、各政黨の政客は非常に意味深い一つの事實、卽ちドイツの中産階級が決定權（balauce of power）を握つてゐるといふ事實については意見が一致してゐる、一八四八年においても一九三三年においても中産階級はかかる地歩を占めてゐたが何れの場合にも反動勢力に屈服した

△共産黨と賠償の行方

夏の間西部地區においては壓倒的に最強の黨派であつた共産黨は依然大きな勢力を持つ立場を維持してゐるが、最早從前のような挑戰を受けない指導者とはいへない、ドイツ人の考へ方に對し、各般の勢力が新たに加へられた結果、共産黨は少からず地歩を失つた、これらの諸勢力のうち一面大きいのは賠償に關するドイツ人工業勞働層の不滿であり、しかも賠償の大半は共産主義の本元ソヴエト聯邦の手に渡るからだ

ロシヤの共産主義者がドイツ人の生活手段を奪ひ去る際、何故ドイツ國民が共産黨に投票せねばならないのか

とはドイツ共産黨が答へねばならない質問だ、今までのところ共産黨の答辯は

ドイツ人には現狀について文句をいふ權利はない、賠償はすべてのドイツ人が平等に分擔しなければならない戰爭犯罪についての贖ひのひとつだ

といふにあり、或る共産黨の小冊子には

ヒトラーの戰爭で苦んだ他の各國民に對し賠償を支拂ふ名譽ある責務を認めよう

と述べてゐる

他の外部よりの勢力で共産黨の立場に響影を及ぼしたのは、もとのドイツ領土がポーランドに併合された事だ、勿論之はソヴエト政府の意向に基くとドイツ人は考へてゐる、それとポーランド・バルカン各國等赤軍の占領以下からドイツ西部へ傳へられるロシヤ人の造り口についての深刻な物語が、同じく共産黨の勢力に影響を及ぼしてゐる

西部の三占領地區で以上の諸要素が共産黨の勢力を減殺したに違ひないが、共産黨は依然としてドイツ國內で最もよく組織され且つ若い逞しい指導層を持つた政黨たるに變りはない、組織と指導とその上選擧が長い苦しい冬の間乃至直後に施行され、乘るかそるかの場合には棄て身の方策が必要だといはれてゐるのだから、共産黨は一旦失つた地歩を回復するかも知れない

△右傾する社會民主黨

共産黨が特に卓越してゐる指導と組織とは他の大半には不思議にも缺けてをり、西部地區では共産黨に次いで最も活動的な社會民主黨において特に著しい、社會民主黨は經驗はあるが年とつた指導層に依存してゐる、聯合軍の占領が始まるとすぐ卽ち政黨活動が許されると共に、共産黨は社會民主黨に色目をつかつたが、結婚は出來ず左翼戰線は遂に結成されなかつた

社會民主黨は自らドイツで最も有力な政黨と稱しこの見地から

一、各分野に亘る否ナチ化
一、大資本家の政治的勢力抑制
一、地主資本家に對する農民の保護
一、勤勞層の生活標準に對する保障

等々から成る全面的な綱領を發表してゐる、更に

一、全國を打つて一丸とする共和制によつて眞の民主々義を實現し、財政上の負擔を正當に配分する基礎に立つて計畫的復興を圖ること
一、國際聯合の協力がなければドイツの復興は出來ないとの見地から「良心的勤勞と無條件な正直」によつてこれ等各國の信賴をかち得ることを主張してゐる、社會民主黨はここ數ケ月間に呼びかける基盤を擴大した、共産黨とは逆で、社會民主黨は農民層の間に極めて活潑な動きを示し、且つ最早ドイツにおける全面的社會化を主張しない、中産階級の信賴と投票とをかち得ようとの見地より、社會民主黨が左から右に動かうとする試みに他ならない

△政黨聯合で對抗

三占領地區における中央派は、中央黨、バイエルン人民黨その他の小會派だが、左翼の諸政黨、卽ち共産黨と社會民主黨との勢力に鑑み政黨聯合

を企圖してゐる、右聯合には舊民主黨の殘黨も參加しよう

バイエルン州並びにバーデン・ウエルテンベルグ州では共産主義に對する恐怖から、バイエルン人民黨、中央黨並びに福音黨を以て基督教民主黨を結成しようとする動きがあるが、多少でも勢力ある政黨として現れるには至つてゐない、若しバイエルン州のカトリツク教會が新政黨を支持すればかかる案が實施するかも知れない、フリードリツヒ・シエフアーが州統治の地位を去つて以來、カトリツク教會は政黨から手をひいたかに見えるが、依然としてバイエルン州内の反共産主義勢力を强化するのに躍起だ

要するにドイツ政界の現狀は、共産黨と社會民主黨との二大政黨の確立に傾いてをり、しかも社會民主黨は一面工業勤勞層を共産主義から引き離なさうと强く呼びかけ乍ら、他方中央に傾いて中産階級をひきつけようとしてゐるといふことだ

ヒトラーの最後

ヒトラー總統に果して「總統官房で作戰指揮中壯烈な戰死を遂げた」かは從來疑問とされ、官邸内で發見された燒死體のうちにも總統の死體と確認されるものは見當らなかつたため、世上諸說紛紛で最近まで生存說すら取沙汰されてゐたが、英國諜報局は最近、「ヒトラーとエヴア・ブラウンの最期」と題する長文の書を發表、ヒトラーはピストル自殺を遂げ、夫人エヴア・ブラウンは毒藥をもつて總統の後を遂つた事實を明かにして俄然センセイションをまき起した

ヒトラー總統は近臣の說得を諒として四月三十日午後二時三十分、自ら口中へ彈丸を射ち込み拳銃自殺を遂げた、夫人同樣總統の身の廻りの世話をしてゐたエヴア・ブラウンも彼と死を共にすべく決意し、死の前日四月二十九日夜聯合軍の熾烈な空爆下に官房地下室の會議室で二人は正式に結婚式を擧げ、式後續いて祝宴が開かれた

これより先四月二十三日にヒトラーは軍需相シユペアを招き、自殺の意圖を持つてゐること、死體は完全に燒却させる計畫であることを打明けたこの頃、内相ヒムラーは主治醫をヒトラーの許に派して、時機を逸しないうちにベルリンを離れるやう說得せしめたが、ヒトラーは斷乎これを拒否した、四月二十八日、空防壕に行つてゐた人々は内相ヒムラーが變裝してスエーデン經由聯合軍に接近した話を聞いた、同時に總統がデーニツツ提督に送つた書簡は聯合軍によつて取り抑へられたが、文面は絶望の結果のヒステリツクな非難で埋められてゐた、二十九日、エヴア・ブラウンとの結婚式は、防空壕の小會議室で、宣傳省の役人の手で擧行された、ブラウンは常にヒトラーと共に死ぬことを念願とし、ヒトラーに對しベルリンに踏止つて死ぬやう勸告してゐたから、この結婚は恐らくブラウンの主張によるものだつたと思はれる、新夫婦は結婚式場に集つたすべての人と握手を交はした後、披露宴係員と共に控へ室に退いた彼女の言によれば、その際の會話は自殺に終始し大變氣詰りだつたので遂に彼女は部屋を出ないではゐられなくなつたといふ、ヒトラーはこの頃になつて、自分の愛犬をも殺さうと決心したのである

四月三十日午前二時半、ヒトラーは新舊の各官廳地下室から呼び集めた約二十名の腹心に對して「グツド・バイ」を告げ、集つた婦人達の一人一人と握手をし、一言づつ別れの言葉を與へた、同日午後二時三十分自ら命を斷つたのである

一九四四年に至る十年間ヒトラーに仕へた三名の醫師は、米軍當局の審問に應へて次の通り語つたといふ

ヒトラーは戰爭の終結前の數ケ月間、急激に年をとり、頭と兩手が震へるやうになつた、總統は優秀な記憶力、健全な判斷力、充分な集中力を持つてゐた

侍臣の一人はまた

かれは天命によつてドイツ國民の指導者たるべく選出されたと信じ、ドイツ國家及び國民が目的半ばにして破壞されようとも、彼の思想は遂行されるに違ひないと考へてゐた

と述べてゐる

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　桂田增三　東京都麹町區日比谷公園二番　時事通信社

昭和二十年十一月廿一日(水)　第一七號

時事通信　海外電報　(17)

社會科學者も原子力討議

(フイラデルフイア十九日)十六日全國科學院及び米國哲學協會の共同大會において、原子爆彈研究の指導者たちと國民を代表する社會科學者たちとが初めて共に原子エネルギー並びにその意義について論じ合つた、會場はフイラデルフイアのペンシルヴエニア大學で、ノベル賞獲得者八名を含む著名な科學者たちが原子力の將來及び原子力の世界平和に對する影響に關する報告書を聽取したノーベル物理學賞獲得者として有名なワシントン大學總長アーサー・H・コムプトン博士は次のやうに論じた

原子エネルギーは戰爭防止のための中央集權的世界政府に必要な兵器を初めて齎した、原子力

【目　次】

イラン北部に革命勃發……一八二
テヘラン指して進擊……〃
革命の背後關係……〃
ドナウ水路再開……〃
勃政府を承認せず……〃
ド・ゴール再選さる……一八三
米海軍、原子爆彈對策を講究……〃
原子兵器陸海統一に拍車……〃
【特　輯】
米國外交の十二原則……一八四

はその絶大な破壞力のために戰爭を耐へ難きものとし、國際機構の平和維持の道を拓き、國際聯合安全保障理事會が戰爭を追放する機關とするべき國際軍事委員會の設置を促進した、卽ち世界政府は必然となつたのである、原子軍備撤廢論は野心的な國家に原子兵器をもつてする世界制覇の希望を與へるものであり、致命的な誤謬となるだらう、これに代る案は强力な世界警察力を行使して戰爭を禁止することだ

社　告　ガスの供給不良のため印刷能力低下し當分の間八頁に減頁するのやむなきにいたりました、記事の選擇編輯には萬全の努力を盡し、斷じて內容を落すやうなことはしないつもりでをりますから誠に申譯ありませんが暫く御辛抱下さい

世界の焦点

原子爆彈會議が終り、米英加三國の共同聲明が世界平和のための科學情報交換を提唱しても、今のところまだ米英ソ三大國が世界政策決定に乘り出す具體的な動きはみられない、なるほど現在國際的な會議は到るところに開かれ、ワシントンでは極東諮問委員會、ロンドンでは四十三ケ國の國際教育科學文化機構準備會議など一應活潑らしい動きをみせてゐるものの、兩會議ともソヴエト聯邦が參加してゐないのでは世界政策の上に殆ど實質的な價値をもち得ないといはれても仕方があるまい、そしてロンドンの國際聯合機構準備委員會が全體會議を控へて執行委員會で最後的な決定を行はうとしてゐる時に、ソヴエト首席代表グロムイコ大使が不在なのも割り切れない感じだ

この時モスクワ駐劄カナダ大使ウイグレスがロンドンに向つたことは、三頭會談の仲介ではないかと噂を呼んで國際政局に新たな生氣を吹き入れようとしてゐるが、面白いのは從來常に三巨頭會談の震源地だつたワシントンの平靜ぶりで、十八日の電報によると、ホワイト・ハウスも國務省も三巨頭會議を早く開けとの巷の聲に對し意外に冷淡な態度を示してゐるといふ、これに反しロンドンの新聞記者が英國政府當局筋の言動から感じたところでは、アトレー首相がトルーマン大統領に三頭會談の重要性を說かうとさへしてゐるらしいといはれる、スターリン議長の病氣全快說や前記カナダ大使の動きと思ひあはせる時、受けて立たうとするワシントンの心構へが察せられる

何故米國政府が國際協定の必要を說きながら積極的な活動に出ないのか、その疑問は現在の米國の占める位置を考へれば何となく理解されるやうな氣がする、來るべき三頭會談では、否今後のすべての國際會議において米國は常に與へる立場にあるではないか、原子エネルギー然り、貿易關係然り、與へる國の方から頭を下げて會談を急ぐ必要がどこにあらう、この米國の氣持を察する意味において熟讀をすすめたいのはバーンズ國務長官のチヤールストン市における演說である

イラン北部に革命勃發

（テヘラン十九日）十八日夜テヘランに達した情報によれば、イラン北部において叛亂が勃發、アゼルバイジヤン地方のイラン軍守備隊は全く孤立し、電信電話連絡も杜絶しておるといはれる

テヘラン指して進撃

（テヘラン十九日）イラン政府はイラン領アゼルバイジヤン地方に勃發した革命について十九日次の通り言明した

二日間の戰鬪でイラン守備隊から七百名の死者を出したが、革命軍は鐵道要衝ミアネフを占領した後、東南方二百五十哩の彼方から首都テヘランを指して進撃中である

革命の背後關係

イラン北部アゼルバイジヤン地方に勃發した叛亂は現地との連絡が斷たれておるため詳細は判明しないが、テヘランからのAP電報によれば、過般來イラン領アゼルバイジヤン地方の獨立を標榜して活動を續けておた獨立民主黨を中軸とするもので、既に二日間に亘る山嶽地帶の戰鬪でアゼルバイジヤン地方の首都タブリズを重圍下に陷れたばかりでなく、ミアネフを占領、更にゼニヤン、カズヴインの二都市を押へてテヘランに迫つておると傳へられ、イラン政府にとり絶對に樂觀を許さぬ事態にある、イラン政府當局も十九日「事態は極めて危險であり一刻の猶餘も許されない」と言明して、叛亂が急速に擴大しておる事實を確認しておるが、叛亂軍は一九四一年赤軍がイランに進駐した當時、イラン軍から接收した武器をもつて裝備されておる樣子で、十九日のAP電報によれば、赤軍駐屯軍當局はイラン政府が北部に憲兵隊を派遣して鎭壓を企圖しておるに對して、これを阻止する行動に出でておると傳へられ、イラン政府は陸相を通じてソ聯武官室に說明を要求しておる樣だ、革命軍を指導するのはイラン北部の親ソ分子により結黨された獨立民主黨で、一說によればイラン領アゼルバイジヤンの獨立を達成してソヴエト聯邦アゼルバイジヤン共和國への編入を意圖しておるといはれ、テヘランからのUP電報がタブリズ市から脫出した一商人の談話として傳へるところによれば、革命軍の大部分はソヴエト領バクーからイランに潛入した便服のアルメニア人といはれておる、またロイター電報によれば、ソ聯は最近二個師團をイラン領アゼルバイジヤン地方に派遣、既に駐屯しておた赤軍兵力一萬二千に合流させたと傳へられるが、更に有力な兵力をカスピ海岸のバンダル・シヤーフに上陸せしめた外アスタラ港にも八萬を增加したといはれ、各種情報を綜合すれば、今回の革命の背後にソ聯が控えておることは疑問の餘地がない、最後にイラン政府の發表ではイラン軍守備隊の死者僅かに七名を算しておるところからみても、短時間の小競合ひでイラン政府軍が各地で降伏乃至革命軍へ合流しておることは明瞭だ

ドナウ水路再開

（ウイーン十九日）ドナウ河水路は十八日再開され、ドイツから黑海への航行が可能になつたと報ぜられる

勃政府を承認せず

ブルガリア總選擧は米英兩國からの抗議にも拘らず、十八日豫定通り何等の事件も起らずに施行され、モスクワ放送局によれば、人口の約九七%が投票したと傳へられる、但しスイス放送局の觀測によれば、投票は人口の七五%見當と見られておる、ところがロンドンからのAP電報によれば總選擧施行の報道に關聯し、英國外務省當局は十九日次の通り言明したと傳へられる

今回の總選擧では共產主義分子が壓倒的勢力を占めておる祖國黨だけが立候補しておるのだから、民主々義と解すことは出來ず、英國政府は米國と同樣ブルガリア政府を承認しない

昭和二十年十一月廿一日(水)
第一七號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

ド・ゴール再選さる

(パリ十九日)ド・ゴール將軍が新政府組織の努力放棄意見を表明したことから發したフランス政界の危機は、共産黨がド・ゴール支持をやめて改めて憲法議會議長フェリツクス・グーアンを新首班候補に押す決議をしたことによつて最高潮に達し、十九日憲法議會は共産黨員とド・ゴール支持派の街頭衝突が危惧され、嚴重な警官の警戒裡に開會されたが、憲法議會は共産黨のド・ゴール反對投票を押切つて再びド・ゴールに新政府の組織を要請するに決し、ド・ゴールもまたこれを應諾した、ド・ゴールは二十日朝三政黨代表各一名と會見して、政府組織について懇談する豫定である

憲法議會は警官隊の嚴重な包圍警戒の裡に十九日午後ブルボン宮に於て三時間に亘つて新政府首班問題に就て討議、共産黨の反對を四〇〇票對一六三票で一蹴してド・ゴールに再組閣を委囑した

議會は直ちに二十一日まで休會に入り、ド・ゴールの組閣努力の結果を待つことになつたが、ド・ゴール再推薦に當つて議會は

一、ド・ゴールは可及的速かに、三黨同數の閣員の椅子割當に基く聯立内閣の組織に努力すること

二、新内閣は國民抗戰會議によつて決定され、三黨により承認された政策を實施すること

の二決議案を三百五十八票對三十九票で通過した

(註、本決議案には共産黨は棄權したのではないかと推定される、議會の定員は五百八十六名だからであり、内共産は百五十三名だからである)

米海軍、原子爆彈對策を講究

(ワシントン十九日)海軍々令部長アーネスト・キング元帥は十七日下院軍事委員會の公聽會に出席、海軍の立場から平時總軍事訓練案に贊成して次の内容の證言を行つた

「米國海軍にとつて平時兵力から戰時兵力に迅速に擴大する能力を維持しておくことは絶對に必要である、それには常に訓練を受けた豫備を擁してゐるほかに方途はない、余は總軍事訓練の實施以外十分で有能な豫備兵を持つことは不可能だと確信する、勿論新兵器の出現は將來の戰爭を一段と複雜化し、犧牲を增大せしめ、結局現在よりも遙かに强力で全く異つた型の艦艇を建造することを不可避とするであらうが、新兵器のため强力な艦隊乃至は多數の訓練を積んだ兵員は不必要となるといふ說に對しては余は米國の安全を脅かす謬つた見方だといはざるを得ない

現存の原子爆彈は海上に適宜配置された艦隊を破壞し得るかといふ問題があるが、港灣に艦船を集結することは嚴くべきも、現在の原子爆彈が艦隊の作戰を阻止することは出來ない、いづれにしても海軍は近い將來艦船に對する原子爆彈の效力を實驗してみる積りだが、その結果如何で對抗策を樹てる積りである、實驗の方法としては適當に配置された有力の艦隊の上空で爆彈を炸裂させる方法と、爆雷式に水面下で炸裂させる方法と二通りあるが、そのいづれをも行つてみる豫定だ

海軍は日本降伏當時有してゐた各種艦船一萬二千隻のうち六千四百隻を保有する計畫だが、この實働艦隊勢力は各種飛行機一萬一千乃至一萬二千を搭載する空母二十隻、戰艦五隻、巡洋艦三十一隻、驅逐艦及び大型護送艦約百七十隻、潛水艦七十隻を含む、また志願制に基いて募集した正規兵員を平時に維持する計畫だがその數は將兵合して六十六萬六千名で維持費として年約三十五億弗を要しよう」

原子兵器、陸海統一に拍車

(ワシントン十九日)アイゼンハワー元帥は十六日上院軍事委員會において陸海軍省統一案に關し次の通り證言した

原子兵器時代は諸武裝兵力の統合を必要ならしめる、單一國防省によるに非ざれば、新兵器の出現に即應することは出來ない、急速に統合案を實現しない限り、三武裝兵力は勝手な道を進んで、集團として協力し得ない狀態に陷るだらう

なほ十七日は海軍のニミツツ元帥が統合案に反對の立場から證言する旨委員會當局から發表された

特輯

米國外交の十二原則

長谷川才次

賠償委員長エドウイン・ポーレー大使は、十六日午後三時から東京の放送會館で内外記者團を引見した際

今回の戰爭に勝つためにソ聯が蒙つた損害も失費も精力も、米國または聯合國の或る國々のそれと比べものにならぬのだから、ソ聯が假りに賠償要求を提出するとしても、實質的な要求(substantial claim)を提出しないであらうし提出すべきでもないと信ずる旨を曾つて述べたことがある

と語り、更に「星條旗」紙の報道によれば、日本本土から機械類を引き移すことは差支へないが、朝鮮滿洲から引きはづしてゆけば、機械施設の效用は一〇%乃至二〇%に低減するから反對だと卒直に述べたといふ、當日の會見で記者團はソヴエト政府の諸要求に對し、米國政府が毅然たる決意をもつて臨んでゐるといふ印象を可成り强く受けてゐる

ロイター通信社のワシントン特派員は、以上大使の言明と相前後し、アトレー英國首相とトルーマン大統領がワシントンで米英ソ三國關係の打開について協議を重ねてをり、ソヴエト政府の安全保障に關する要請を十分考慮に容れた試案を用意して、何時でもスターリン元帥を交へた三巨頭會談に出席する用意だと傳へてゐる、トルーマン大統領が海軍記念日に當つて全世界に闡明した外交十二原則は、以上の背景に照らして理解されねばならない

△大統領の業績

區々たる私見を述べることを差控へるために、先づ「外交の諸問題」と題する、N・Y・タイムズ」紙(十月二十八日附)の報道を紹介しよう

「トルーマン大統領は就任以來六ケ月と一寸になるが、恐らく歷代の大統領が嘗つて當面したことのない位な、國際政局における難局に遭遇してゐるといへよう、就任と同時にトルーマン大統領はルーズヴエルト大統領の方針を踏襲し、(一)戰爭に勝ち(二)よりよい世界の形成を目標に、强大な米國の力を導く意圖を闡明した、双方ともにむづかしかつた

國際政局における大統領の業績は、六つの重大な事件で點綴されてゐる、第一は去る四月サンフランシスコにおける國際機構に關する國際聯合會議である、九週間ワシントンがダンバートン・オークス方式に基く强力な世界組織を熱心に提唱して、國際聯合組織の憲章が出來た、調印に當りトルーマン大統領は

數年前にこの憲章が出來てをり、且つこの憲章を行使する意思さへ持つてゐたら、現に死んでゐる數百萬の人間が生き殘つてゐたらう、將來この憲章の實踐に躊躇するならば、現に生きてゐる數百萬人が必ず死ぬに違ひない

と述べてゐる

七月にはジエームズ・F・バーンズ氏を國務長官に任命するといふ新な措置を講じ、爾來バーンズ氏は國際交涉における大統領の主要な輔佐役としての重要な役割を演ずるに至つた

△原子爆彈と三國關係

七月におけるポツダム會議は第三の事件である或る意味ではこの會議こそ、國際協力を確保しようとするトルーマン大統領の努力の頂點を劃してゐるといへよう、ドイツ占領に關する聯合國の協調政策の諸原則並びに五大聯合國を代表し國際聯合に提出する最初の平和諸條約起草の任務を負ふ外相理事會の設置について、三巨頭の意見が合致するに至つたことは米國の勢力が强く反映してゐることが明かだ

八月六日原子爆彈の發表は、國際政局における米國の役割に深甚な影響を與へた新な事實がある この恐ろしい武器の使用に關する新な問題、卽ち原子爆彈は平和への强い力となるか、それとも國際間の疑念と恐怖とを强くするのかといふ問題が持上るに至つた、トルーマン大統領は原子爆彈管

理に特別委員會設置を議會に要請する旨言明したボツダム會談が三大國の協力について高い望みを嘱させたとすれば、大事件の連鎖における次の事件、卽ちロンドン外相會議の決裂は國際政局に新局面を展開した、平和諸條約の締結に共同の諸原則を適用する第一歩において、ソヴエト聯邦と西方の聯合各國とが全く意見を纒めることが出來なかつたことを、米國民は衝撃感のうちに認識するに至つた、緊張は加重し相互に非難を應酬するに至つたが、トルーマン大統領は敢て當惑した樣子もなく、こんなことは自ら打開策があるといつてゐる

最後にトルーマン大統領は二週間前に、原子爆彈の製造に關する工學上の重要な機密を他國には傳へない旨言明して、大統領の言明は論議の渦を捲き起した、多數の議會人は大統領の見解を支持してゐるが、卓越した科學人達は原子爆彈の祕密を國際化しなければ、新たなもつと恐ろしい戰爭を惹き起すかも知れないと警告してゐる

△十二原則とは

以上の國際情勢を背景にトルーマン大統領は海軍日を期し、ニューヨーク市のセントラル・パークで十二ケ條の外交政策を闡明した、當時既に演說の內容をお傳へしたが、次に十二原則を改めて譯述しよう

一、我等は何等領土的膨脹又は利己的便益を求めない、我等は大小何れの國に對しても、侵略の計畫を持つてゐない、我等は他の何れの國民の平和的目標とも衝突を必至とするやうな目標を持つてゐない

二、我等は力によつて奪はれた一切の人民に對し、究局において主權と自治とがかへることを確信する

三、當該人民の自由に表明された希望に合致しない限り、我等は世界の何れの友好的部分においても領土的變更を承認しない

四、自治の用意あるすべての人民に對しては、外國の源泉からの干渉なしに、彼等自身の自由に表明された選擇に基いて彼等自身の統治形態を選擇することが許されねばならないと確信する、これは西半球においてのみならず、歐洲においてもアジアにおいても、アフリカにおいても眞である

五、われ等の戰時における同盟各國の一致協調した行動によつて、われ等は敗北した各敵國が彼等自身の自由選擇に基く平和的民主的政權を樹立するのを支援しよう、且つわれ等はナチズム、ファシズム並びに軍事的侵略が存在し得ない世界の實現に努力しよう

六、われ等は何れの外國の力によるとを問はず或る一國に押し付けられた如何なる政權をも承認することを拒否する、或る場合にはかかる政權と力づくで押付けるのを阻止出來ぬこともあらうが、合衆國はかかる政權を承認しない

七、われ等は一切の國々が海洋の自由、國境河川水路、並びに二國以上を通過する河川水路の統行についての平和な權利を享受すべきものと確信する

八、國際社會に受け容れられてゐる一切の國々が、世界の貿易並びに原料資源に對し、平等な條件で近付き得べきものと確信する

九、西半球の各主權國は、西半球以外からの干涉を受けずに彼ら共通の諸問題解決に當り、善隣として協同せねばならないと信ずる

一〇、大小を問はず總ての國々の間における全的な經濟合作が、全世界を通じて生活條件を改善し、恐怖からの自由、缺乏からの自由を確立する上に必要缺くことが出來ないと確信する

一一、我等は世界の平和を愛好する領域を通じて表現の自由と信敎の自由とを促進するため、今後も引續き努力するであらう

一二、我等は諸國間の平和を保全するには、平和を保障するに必要な場合には相携へ進んで力を行使する用意ある、平和と愛好するすべての國々から成る國際聯合組織が必要であると確信する

以上十二ケ條は要するに「自由と民主々義と善隣主義と、すべてに對する機會の均等といふ諸原則」を基調としてゐると言つて差支へないし、古くはウイルソン大統領の十四ケ條、近くは大西洋

憲章やモスクワ宣言に盛られた趣旨に他ならない「ニューヨーク・タイムズ」紙は以上の十二ケ條を平和と安全保障、民主々義の推進、貿易交通の三大綱目に分けて次の通り解説を加へてゐる

△原子爆彈と世界平和

「平和と安全保障、トルーマン大統領は平和の保全には平和確保のため武力の行使を辭せぬ國際聯合組織の必要な所以を說いた後

原子爆彈は新時代への信號でなければならない平和的な各國間における一層近密な團結と一層近密な友好關係の新時代との信號である

と述べ、西半球の善隣政策を强調し、米國自身の防衛に必要な基地建設の權利の他には何ら領土的膨脹、利己的便益を求めないと斷言してゐる

第二次世界大戰は要するに世界が平和を保障する方策を見出さなかつたために始つてゐる、世界は國際聯盟を試み、軍備縮少と道義則と侵略國の懷柔とを企圖したが、樞軸はこれらの一切に挑戰し、各國間の不一致に生じた第二次世界戰爭が半ば終つたに過ぎぬ、當時——否最も暗黑な期間に——米英ソ三國はモスクワ宣言において、戰爭に對すると同樣平和のための努力についても互ひに協調し合ひ、他の各國と協議し、常設機關を設置して平和的世界の確保に相携へて進むことに同意した

過去半歲の間に國際聯合憲章は起草批准され、或諸點においては協議と共同動作がとられてゐるしかし同時に半歲の間に大國が自國の安全保障については、殆ど讓るところがないことが明かになつた、米國政府が基地確保の必要を宣言したのに對し、ソヴエト政府は友好的な隣接諸國の必要を强調し、英國政府はまた地中海の生命線支配の努力を棄てない

米國には原子爆彈があり、英國は祕密の一斑を知つてゐるが、ソヴエト政府には——今まで發表されてゐる限り——原子爆彈がない、トルーマン大統領は原子爆彈によつて「合衆國の基本的外交政策」は何等の變更を來さないといつてゐるが、原子爆彈が他の國々の考へ方を變へたと見るのが正しいだらう、戰爭に對する原子爆彈の力を平和のための經濟的含意は本當に革命的だ、この新な技術を人類の福祉に最もよく役立てる方策如何については意見が分れてゐる、或ひは侵略國に對する切札として注意深く機密にしておくか、各國には知らせるが依然管理された祕密としておくか、戰爭には使用を禁止するが、平和のためには共同で發展させて行くかだ、この點を初め國際安全保障問題について意見の一致を圖ることは喫緊の急務だが、懸案解決への途は疑念によつて薄暗くなつてゐる、早くも「軍備競爭」の流言が傳へられてゐる位だ」

△民主々義解釋の相異

原子爆彈の處理に關しては、トルーマン大統領がアトレー英國首相、カナダ・マツケンジー＝キング首相と共に一應の解決案を發表し、恐く一月の國際聯合總會で特別委員會の任命を見る段取と解されるが、ソヴエト政府の反應は依然未知數だ「ニューヨーク・タイムズ」紙は第二の綱目として民主々義の推進を上げてゐる、トルーマン大統領の十二原則のうち主權と自治の回復に關する第二條、領土の變更に關する第三條、民族自決に關する第四條、敗戰國の民主化に關する第五條、不承認政策に關する第六條、言論と信教との自由に關する第十一條がすべて民主々義の推進を指向してゐることは言を俟たない、しかし、一言にして「民主々義の推進」といつても、ソヴエト政府の解釋する民主々義は必ずしもトルーマン大統領のそれではない、重ねて「ニューヨーク・タイムズ」紙の叙述を借りよう

「勝つた各大國は戰時並びに戰後を通じ、各種の堂々たる文獻で民主々義と民族自決の原則とに同意した、しかし平和處理のこの樣相こそ、最も厄介な難關の一つとなつてゐる、民主々義の解釋に關する相違、主義と國家的利害との衝突等々のために相携へて平和を結成しようとする努力が全面的に脅威を受けるにいたつた、トルーマン大統領の十二ケ條のうち、民主々義に關する部面は、とくに東歐洲の諸小國の將來についての西方聯合國

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　種田瑞三　東京市麹町區日比谷三ノ五　日本通信社

昭和二十年十一月廿二日(木)　第一八號

時事通信　海外電報

十一月十五日號のソ聯誌「新時代」（舊名「戰爭と勞働階級」）でアレクサンドル・ソコロフが原子爆彈の祕密公開問題にひつかけて米英兩國を非難したり、ソ聯太平洋研究所長のエヴゲーニイ・ジューコフ教授が日本管理を彌次つたり、このところ米英ソ三國關係は圓滑を缺いてゐるやうだ、しかしながら日獨帝國主義者共が挑發した第二次世界大戰の慘禍をつぶさに體驗した世界の平和を愛する民衆は再び恐るべき戰爭の勃發を避けることを衷心から希望してゐるだけに、米英ソ三國の世界平和に對する寄與に想像出來ぬほど大きな期待を懸けてゐる實狀だ、事實恒久の世界平和を維持出來るものは米英ソ三大國以外になく、それだけに三國の緊密な友好關係が望ましい、APのモスクワ特派員エデイ・ギルモアによれば、スターリン議長は近く休暇を終へて首都に歸還するといふことだが、さうなれば三國關係は大きな進展をみよう、ギルモアは次の通り報じてゐる

「スターリンが再び執務するやうになつて最初に取組む大問題は

一、新たな三巨頭會談開催の可能性
一、原子爆彈に關する三國聲明とソ聯の公式態度
一、日本管理
一、媾和條約を討究する外相會議の再開

の四つだ、スターリン議長が以上の問題に關してワシントン乃至ロンドンへ旅行出來ないといふ理由は全くないが、モスクワ消息筋の觀測では、必要とあればトルーマン大統領もどこへでも出掛るだらうといはれ、日本管理問題についても、ソ聯當局は自國がドイツに對する主要勝利國と見做してゐるにも拘らず、ドイツ管理に米英華佛の各國を參加させたのだから、日本管理にもソ聯を參加させて貰ひたいと考へてゐる」

いづれにしても日獨フアシズムの軍事的崩壞は既に達成され、ポツダム決定に基いてフアシズムのイデオロギー的撲滅が日程に上つてゐる今日、米英ソ三大國の政策があらゆる面で統一協調を實現することこそ世界民主々義の望んでやまぬところだ

世界の焦点

獨で體育十種目禁止

（ベルリン二十日）ドイツ管理々事會軍事班はドイツ・スポーツ・クラブに命令して、拳鬪、登山柔道、ヨツト、ボート、重量擧、機械體操、フイールド競技、自轉車競爭等十種目の體育を軍事訓練の豫備たり得るものとして禁止した、許可されてゐるスポーツは、排球、籠球、ホツケー、ラグビー、スケート、テニス、ボーリング、魚釣、柔軟體操等である

【目　次】

ナチ戰爭犯罪裁判愈々開始……一九〇
希內閣、財政難で總辭職……〃
日本占領におけるソ聯の役割……〃
米ソ關係調整は文化から……〃
ソ聯、イランの叛亂に干涉……〃

【歐　洲】

希、アルバニア政府承認に反對……一九一
米の抗議に勃回答……〃
諾に新黨擡頭……〃
葡選擧で政府黨勝つ……〃
關席裁判五名に增加……〃

【米　國】

ル大統領の重大發言……一九二
自家用航空機四十萬機……〃
パナマ運河改造か……〃

【科學ニユーズ】

新二元素發見……〃
原子エネルギーの經濟的價値……〃

【特　輯】

フランス政界の新星……一九三

【資　料】

世界協力（上）……一九五

B29またまた新記錄

（ワシントン二十日）米國陸軍省は二十日次の通り發表したグアム島基地を出發西進せるB29は既に無着陸長距離飛行新記錄を樹立し、なほ飛行を繼續してゐる、記錄を破つたのはグアム島から七千三十六哩のウイスコンシン州ラクロスを通過した時で、現在同機はワシントン市に向けて飛翔中である

ナチ戰爭犯罪裁判愈々開始

（ニュールンベルグ二十日）ナチ主要戰爭犯罪人二十四名を裁く國際戰爭犯罪法廷は迂餘曲折を經た後愈々二十日午前十時から開廷された、當初の豫定ではヘス以下五名を闕席裁判に附す筈であつたが、ヘスは出廷せしめられて、二十名のナチ巨頭が被告席に居流れた、まづ米國側首席檢事代理シドネー・アルダーマン及び英國側檢事が四ケ條の告發中第一の陰謀に關する犯罪と第二の平和に對する犯罪に關する告發文を要約して七分間に亘つて朗讀した

希內閣、財政難で總辭職

（アテネ二十日）去る十一月一日成立したパナヨテイス・カネロプロス內閣は存續僅かに二十日間にして二十日總辭職した、辭職の原因は明かにされてゐないが、政府筋の洩らすところでは、英國政府がギリシヤの要求してゐる復興借款を拒否したとの情報が十九日アテネに達したので財政困難を切り拔ける最後の希望を失つたためといはれる

日本占領におけるソ聯の役割

（サンフランシスコ二十日）日本占領問題と對ソ外交はいよいよ難しく、米國はソヴエト聯邦の出方を靜に待つてゐる形だが、新聞論調は大體政府の政策を支持してをり、十九日付の「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙は

一時極東諮問委員會は聯合國の全般的政策を作成し得るかにみえたが、米ソ兩國は委員會の資格に關して遂に意見一致せず、ソヴエト聯邦は委員會の審議に參加することを拒否した、だが困難が何であらうと、バーンズ國務長官は何とか善處するにちがひない、とにかくソヴエト聯邦の力を俟たずに極東問題で解決を早まることは危險千萬だ

と論じ、「ワシントン・イーヴニング・スター」紙は國際外交の現狀をかう批評してゐる

不幸にしてソヴエト聯邦は依然ベルリン方式の聯合國日本管理委員會を設置することを主張しバーンズ國務長官は、マツカーサー元帥が日本管理の難題を活潑且つ巧妙に捌いてゐる時期にこれを根本から訂正するには、餘りにも論理的であり健全な頭をもつてゐる

米ソ關係調整は文化から

（ニューヨーク二十日）十八日夜ニューヨークで開催された米ソ友好委員會席上において、國務省文化協力顧問チヤールズ・J・チヤイルドは

米國とソ聯の間には研究技術及び美術の交換による理解增大が必要だ、米ソ兩國人が美術を仲介として互ひに直接話し合へるやうな立派な機關を作らう

と提案した、同じ席上でカリフオルニア州選出下院議員ヘレン・ダグラス女史は次の通り述べた

米英ソ三國の團結こそはわれわれが戰爭を避け得る唯一の希望だ、この團結が保たれるためには三國間に明確な行動目的と行動に關する協定とが存在しなければならない

ソ聯、イランの叛亂に干涉

（テヘラン二十日）アゼルバイジヤン地方のミイアネフ及びカスピ海岸のアスタラ、アルダビルは叛亂軍とイラン政府軍との間に激戰が展開されてゐる樣子だが、イラン政府當局が二十日發表したところによれば、叛亂鎭壓のためアゼルバイジヤン地方に派遣されたイラン政府四個大隊及び憲兵隊はカスヴインにおいてソ聯當局に阻止され、テヘランへの歸還を命ぜられたといはれ、叛亂に對するソ聯干涉の事實は決定的となつた、以上に對しイラン政府は更に米人顧問二名を伴ふ二個大隊の派遣を決意した模樣だが、ワシントン來電によれば米國駐劄イラン大使フツセイン・アラは十九日急遽國務省にかけつけてバーンズ國務長官と會見した後、記者團に對してソ聯の態度を非難して次の通り言明した

イラン西北部の叛亂は外部からの使嗾によるもので、原因は明かに外國軍隊が駐屯してゐるためだ、イランはかかる事件の發生を避けるため外國軍隊の撤收を要求してゐたのだが、駐屯軍が頑張つてゐる限り北部國境の安寧を維持することは出來ない、アゼルバイジヤン地方の叛亂はイラン民衆の感情を些かも反映するものではない

時事通信

海外電報
第三種郵便物認可

【歐　洲】

希、アルバニア政府承認に反對

（アテネ十九日）米英兩國政府のアルバニア政府承認中入れは當然ギリシヤの強硬な反對に遭遇するものと豫想されてゐたが、果して約十萬のギリシヤ民衆は十九日憲法廣場においてアルバニア政府承認反對の示威運動を開始、群衆は口々に「北部エピルスをアルバニアから闘ひ取れ」と絶叫して氣勢をあげた、またギリシヤ正教々會のアルバニア主教は群衆に向つて

聯合國が北部エピルスを正義に立脚してギリシヤに與へないならば、われわれは武力をもづて奪取しよう

と煽り立てたといはれるが、北部エピルスはギリシヤ、アルバニア兩國境に跨り、ギリシヤは過般來歷史的にも文化的にもまた人種的にもエピルスの領有を要求してゐたものである

米の抗議に勃回答

（ソフイア十九日）米國政府はブルガリアの總選擧が民主々義的でないことを理由に嚴重抗議したが、ブルガリア政府は十八日外相ペトコ・スタイノフを通じてソフイア駐在米國代表メーナード・バーンズに回答文を正式に手交した、回答の内容は判然としないが、總選擧は期日通り十八日に實施され、あまり棄權者を出さずに投票が行はれたといはれる

諸に新黨擡頭

（ニユーヨーク十九日）「ニユーヨーク・タイムズ」紙特派員サルツバーガーのオスロー特電によれば、ノルウエーでは新政治運動としてキリスト教人民黨勢力の擡頭が最近顯著になつたといはれる、最近の選擧では議席の約一割を占めて舊政黨の指導者たちを狼狽させると同時に黨自身の指導者たちをも意外の成功に吃驚させた、キリスト教人民黨が創立されたのは一九三三年でその首領はニール・ラヴイツクと稱し、ルーテル派教會の會員である、一九三六年の選擧には二名の代議士を議會に送り、黨費等も全部寄附であるが極めて少額で殆んど問題にならない、同黨の代議士エルリング・ウイクボルグの談によれば同黨の成功の理由は次の通りである

ノルウエーにおいては、戰前一般に國民の政治的關心が少なく、僅かに共產黨及び勞働黨の黨員のみが積極的政治活動をしてゐたと稱してよい、しかしわれわれは戰爭中、政府を間違つた人間に委しておいたことが如何に國民生活に慘害を及ぼしたかを痛感した、われわれが民主々義を維持しようと思へば、自身政治の中に身を投じて民主々義を守らねばならぬことを知つたのである、われわれには新らしい政治責任が生れたわけだ、われわれは國家の基礎として積極的なキリスト教主義を希望する、わが黨は右でもなく左でもない

葡選擧で政府黨勝つ

（リスボン十九日）ポルトガルの總選擧は二十年振り十八日執行されたが、その結果判明までにはなほ一週間を要する見込みで、政府黨の勝利は確實とみられてゐる、反政府諸黨は數黨になつてゐるが、選擧準備の期間が與へられず各地で暴動等も起つたが遂に大勢を左右するに至らなかつた、非公式推算によれば有權者總數の約五割六分の投票で、ポルトガル總人口七百萬中九十四萬三千が有資格者といふことになつてゐる

闕席裁判五名に增加

（ニユールンベルグ十九日）ソ佛兩國の延期要求にも拘らず、聯合國々際戰爭犯罪法廷は二十日午前十時から開催されるがナチ主要戰爭犯罪人の一人たるナチ保安警察隊長エルネスト・カルテンブルンナーが腦出血のため出廷出來ぬこととなつた旨十九日正式に發表された、その結果二十四名のうち十九名だけが裁の庭に引き出されることとなつたが、闕席裁判を受けることとなつた者はカルテンブルンナーのほかに精神錯亂狀態にあるルドルフ・ヘス、腦髓硬化症のグスタフ・クルツプ、縊死したナチ勞働戰線指導者ローベルト・ライ博士行衞不明の總統官房長マルチン・ボルマンの五名である、また法廷はグスタフ・クルツプの息アルフリード・クルツプを戰爭犯罪人と認め、後に裁判に附する旨發表した

ル大統領の重大發言

（ワシントン十九日）眞珠灣事件調査委員會の審議が進行するに伴ひ、續々新事實が明るみに出されてゐるが、十九日には、元米國太平洋艦隊司令長官リチヤードソン提督が證人席に立ち、日米開戰に關するルーズヴエルト大統領との重大會談の內容を發表した、この會談は日本軍の眞珠灣攻撃に先立つ約一年前の一九四〇年十月八日、ホワイト・ハウスで行はれたものだが、この時リチヤードソン提督がルーズヴエルト大統領に對し「米國は日本と開戰するか」と訊したのに對し、大統領は次の通り答へたといはれる

日本がシヤム、クラ半島或ひは蘭領印度に攻撃を加へても米國は參戰しない、日本がたとへフイリツピン自體を攻撃しても、米國は多分參戰しないだらう、しかしながら、日本は常に過誤を避けることはできないだらうから、作戰區域が擴大するにつれ、かれ等は早晩過誤を犯すこととなるべく、これによつて米國が參戰することとならう

この會談においてリチヤードソン提督は、當時眞珠灣にあつた米國太平洋艦隊の西海岸引揚げを勸告したのに對し、ルーズヴエルト大統領は艦隊をハワイに留めておけば、日本の行動に對する牽制力とならうと述べてこれに反對した

自家用航空機四十萬機

（シカゴ十九日）十八日發行の「フライイング」誌は一九五五年の米國では個人所有の航空機が四十萬機に達し、航空産業は一九三九年の三倍に擴張されようと述べてゐる

パナマ運河改造か

（ワシントン十九日）下院商船委員會はパナマ運河改造計畫を實施すべきか否かの研究を要求する法案を可決した旨十九日發表した、改造案の直接の動機は原子爆彈の出現であるが、もし改造されるとなれば特に破壞され易い閘門を廢止し、全水路を海面と同じ水位にすることにならう、同時に航空母艦その他將來の大型船舶の通過も可能なるやう擴張することも審議されるわけで、現在の規模では最大四萬五千噸級空母は通過し得ず、四萬五千噸級戰艦「ミズリー」が僅かに側壁をこすりながら通れる程度である

新二元素發見

（シカゴ十九日）カリフオルニア大學の化學者グレン・T・シーボーグ博士は十六日新元素九十四並びに九十六（いづれも原子量）の發見を發表した、まだ名稱は與へられてゐない、博士は原子爆彈製造に使用されたプルトニウムの共同發見者の一人である

原子エネルギーの經濟的價値

（ニユーヨーク十九日）「ニユーヨーク・ヘラルド・トリビユーン紙」科學記者ジヨン・J・オネールは十九日は同紙上で次の通り論じてゐる

「米國並びに世界の經濟で原子エネルギーの演ずる役割は、戰爭中日本に投ぜられた原子爆彈から生じた問題に劣らず大きな可能性を有する、第一に常時原子エネルギーが利用さるべき主要方面は電力生産だ、處理さへ正しければ原子エネルギーは問題にならぬほどの些細な原價で無限エネルギー時代を現出することが出來る、ある種の危險及び技術的な必要を考慮すると、原子エネルギーの利用には大きな發電機乃至發電工場がなければなるまいか、その代り燃料として石炭を使用することもなく、技術的にみて同量の石炭から生ずるエネルギーの百萬倍以上を生産する、このことは經濟的にみて恐るべき世界的な意義を有する、原子エネルギー主義への移行は、まづ小規模に始められ、經驗の增すに從つて段々擴張されよう、最初必要とされる原子エネルギー物質の量は比較的少いが、その少量でも極めて長時間保つ、一日二十封度か一年三噸半位でニユーヨーク市の電力消費量全部が供給される筈だ、この莫大な原子エネルギーの使用される可能性は戰爭被害國が戰災のハンデキヤツプを克服する道程を短縮しさうだ、原子エネルギーは軍事分野におけると同じやうな潛勢力を經濟及び政治の分野にも有するのである」

昭和二十年十一月廿二日(木)
第一八號

時事通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

フランス政界の新星

井上勇

△MRP成功の原因

フランス政界の新らしい星——人民共和運動の内容がぼつぼつわかつて來始めた、人民共和運動は十月二十一日の總選擧で一躍第三黨となり百三十八名を獲得、第一黨となつた共産黨との差は僅かに十五名、社會黨との差は僅か五名の成績を擧げてゐる、世界が吃驚りしたのも無理はない、戰前から存在した政治運動といふよりも寧ろ社會運動の色彩を濃厚に持つてゐたキリスト教民主黨が、今回の選擧を直前にして重心を政治に切りかへ人民共和運動として再出發した、その劈頭にこの成功は何人にも意外の感を抱かせたが、よく考へて見れば決して不合理な成長でも何でもないことが判る、成功の理由として先づ擧げられるのはその極めて鮮明なド・ゴール支持である、ド・ゴールの國民的人氣が直接同黨への投票となつて現れたのは當り前といへよう、第二は勿論その政綱であるが銀行、保險、重要産業の國營化、第四共和制の樹立、新憲法の制定等無産黨の政綱と同じ進歩的改革案を一方に用意しつつ、一方では兩院制度の維持——政治的な議會と、職業、勞働組合、厚生公共機關の代表からなる社會經濟議會の併立を主張し、同時に教會、學校の政府補助を希望するなど、カトリツク的であつてかねて理性的であるフランス國民の心理狀態に基いた保守的な政策を合せ揭げることによつて國民の平均層の支持を得た、第三には全國に擴がるカトリツク青年運動組織を有したこと、第四には閣内に外相ジョルジュ・ビドー、法相ピエール・アンリ・テイトジヤン(前情報相)の如き人氣役者を有してゐたこと等はこの黨の内部的勝因であり、第五に共産黨の積極的進出に怯えた右翼各派が、自らの非力を悟つて人民共和黨を共産黨に對する防壁として支持したこと、生れながらにカトリツク的であるフランスの女性投票の多くがこの黨に流入したことは外部的な勝因に數へることが出來よう

△黨首シユーマン

ド・ゴールは、十三日フランス臨時政府首班に再び選出されると同時に、先づ第一にこの黨の名目上の黨首モーリス・シユーマンに面會して、新内閣の組織について意見を徵してゐるが、シユーマンの人氣もまたこの黨の勝利にあづかつて力があつたものとみてよい、若冠三十四歳のシユーマンはフランスにとつては、その黨と同樣に政界の新星である、彼がフランス民衆に知られたのは第一にその聲を通じてであり、自由フランス運動の初期彼はド・ゴールの代辯者としてロンドンからBBCを通じて、フランスの抗戰意識昂揚の呼び掛けを行つてゐた、陸軍大尉の彼は、ノルマンディー上陸作戰にも英軍と共に初めて故國に足跡を印した先遣部隊の中にあり、爾來解放運動の中心的人物としてキリスト教民主派と握手して今日に至つたが、その前身を問へば舊アヴアス通信社の外交記者であり、當時からキリスト教社會主義の信奉者だつたのがカトリツクに改宗したのである彼の兄はいまもなほユダヤ教の長老の職に在る

米誌の批評によれば「潑溂として……背高く痩身、眼鏡をかけたアツシリア彫刻の面影があり、その聲はラジオで聞いた時の柔かさが消えてやや丸みを缺く、その態度は傲岸と親和とが不思議に調和してゐる」といふことであるが、「政治的強みはその若さから發散される明朗さにある」だらうと評されてゐる

△他の支柱の人々

人民共和運動は、黨と稱せず運動と稱してゐるところにもその性格を現してゐるやうに、キリスト教民主派當時からの傳統である社會運動味をいまも多分に包藏して、政治はその運動の一部分にすぎず、專ら青年運動に力をそそいでゐるところに將來性が期待される、今このカトリツク社會主義の黨はカトリツク進歩派の中心勢力としてフランス政界に若々しい姿を現したが、シユーマンの名目上の黨首の指導力は、ジョルジュ・ビドーの黨内における人氣によつて確保されてゐると云つてよからう、彼もまた新聞記者出身でカトリツク新聞「ローブ」(曙)の編輯長だつたことがある、當時の單なる政論家が本物の政治家になつた譯であるが、佛ソ同盟の締結シリア問題で英外相イーデン

との論爭等外交官としては十分及第點以上を取つたビドーの國内的聲望はフランス解放當時までに確立されてゐたかたちで、彼は抗戰諸團體の統合機關である國民抗戰會議の議長であつた

シューマン、ビドーと鼎立する人民共和黨の大黒柱の一本は三十七歳のピエール・アンリ・テイトジヤンで五月以來法相であり、ペタン、ラヴアルの公判以來、國民の人氣を一人占めにする有力な閣僚になり上つた、ドイツ占領下においては十一名の家族を一團としたマキ團を組織して、ヴイシー政府と抗爭をつづけ、ド・ゴール臨時政府がパリに生れるや情報相の椅子をあづけられて、シューマンに代つて將軍の代辯者となつた、以上三名の若手のほかに人民共和運動の長老組としては現「ローブ」主筆フランシスク・ゲイの六十歳、カトリツク社會主義運動の超大老株七十二歳のマルク・サンニエがゐる、前者が知的黨の中核とすれば後者は鬪爭的黨の基盤で、いまその周圍その舊株に爛漫たる若葉花盛りの景觀をそへてわが代の春を謳歌してゐるわけだ

△「ウイ」と「ノン」の組合せ

今回の一般投票で人民共和派は二つの諮問事項の第一、單一議會をして新憲法を起草せしめるべきか、第二、議會の權威を新憲法成立まで制限し臨時政府をそれまで存續せしむべきかに對して、勿論「ウイ・ウイ」（諾・諾）を回答した、單一議會の原則に對しては黨としては反對であるが、新憲法には立法議會と職能議會をば併立せしめる主張を捨ててはゐない

共産黨は前記の諮問事項に「ウイ・ノン」（諾・否）を答へ、社會黨は人民共和黨と同じく「ウイウイ」急進黨は「ノン・ノン」（否・否）の回答を發してをりポール・レイノーの黨、元の民主同盟アリアンス・デモクラテイツクとルイ・マランの黨共和聯合フエデラシオン・レピユブリカンは共同戰線を張つて「ノン・ノン」を應へた、この「ウイ」と「ノン」との結合をば數字に現せば

社會黨と共和黨との聯合勢力	二百八十一
急進黨と右翼勢力	百五十二
共産黨	百五十三

となり、フランス政界のキヤスチング・ボートは社會黨と人民共和黨が掌握したことになるが、問題はしかく簡單に行かず、實際は社會黨がキヤスチング・ボートを握つてその兩翼に共産黨と人民共和黨を含めての右翼を布陣せしめることになりMRPの實動勢力は定員五百八十名の内三百九十となる勘定で、彼等が共産黨の「過大」な要求に對して斷乎抗爭を決意するに至つたのも當然であらう

△共産黨との抗爭

人民共和黨と共産黨との最初の抗爭はド・ゴール新政府の閣員の椅子割當について火蓋が切られた形である、シヤルル・ド・ゴールはかねての公約によりて新議會成立と同時に、一應臨時政府首班の地位を議會開會劈頭の十一月六日辭し、越えて十三日滿場一致により再び臨時政府首班に推薦されたが、共産黨側は新内閣に外務、財務、國防の三大臣の椅子を要求し人民共和黨と完全に對立ド・ゴールは組閣難を理由として十六日午後、その官房長ギヤストン・パレウスキーを憲法議會議長フエリツクス・グーアンの許に派して、新政府首班たることを辭退せしめるに至つた、フランスの内政はここに戰前の小黨分立抗爭の口火を切り解放以來最重大な國内政治危機に當面するに至つたわけである、ド・ゴールの首班就任辭退後の動きについてはなほ明らかにしないが、これが共産黨と人民共和黨との黨爭に基くことは明白で、何等かの形によつて共産、社會、人民共和の三派の聯合が招來されない限りは、フランスの政情は決して安定し得ず、新憲法の制定の業の達成も危ぶまれることは明瞭である、この際社會黨が調停に成功して再びド・ゴールを首班に押すことが出來る條件が生み出されれば問題でないが、一方社會黨々首レオン・ブルームを首班として、社會黨中心の臨時政府も想像し得るところであり、その際は事毎に右翼の反擊をうけて到底政界の安定は期待出來ないであらう、人民共和黨としては、社會黨と共産黨とがヘゲモニーを握る政府の支持は到底我慢し得ないからである、かくてフランス政界の新星人民共和運動は最初の試練にかけられるに至つたわけだ

昭和二十年十一月廿二日(木)
第一八號
時事通信
海外電報

資料

世界協力（上）

＝米國務長官演説全文＝

バーンズ米國々務長官は十六日夜故郷サウス・カロライナ州チヤールストン市の晩餐會に出席、「世界協力」と題して挨拶演説を行つたが、この演説はラジオを通じて全國に放送され、且つその内容も原子會談公報直後の國務長官の言明として米國の國策を微に入り細に亘つて説明してをり、現在の世界情勢に對し極めて重大な意義を有すると考へられるので、長文なるを厭はず敢へてここにその全文を譯出紹介する

余の生れた都會であり少年時代を過した土地であるこのチヤールストン市からかうして非常に有難い御招待を頂いた時、余の念頭に浮んだことは自分がお話することとしては何よりも世界貿易のことが一番皆さんに興味があるだらうといふことだつた、米國最古の港の一つに數へられるチヤールストンは確かに世界商業の回復に重大な關心を有するにちがひないのである

皆さんと食事を共にするこの御招待を受けてからは、自分はワシントンであらゆる人類並びに文明自體に關係のある會談に參加してゐた、從つて國際貿易に關する私見を述べるまへに、われわれが原子エネルギーを戰爭と破壞のためでなく、世界の平和と幸福のために使用するためのその管理について捧げて來た努力に關して一言したいと思ふ、原子エネルギー放出の十分な意義は簡單に乃至は容易に理解されるものではない、當時自分は戰時動員の責任者としてわれわれの所謂マンハツタン計畫なる大實驗の恐るべき性質を熟知してゐた、その後自分が官務を離れてゐた短かい期間に原子爆彈は直ちに實用化し得るものなることが科學者たちに明瞭に知られるに至つた、そしてその時自分は、スチムソン陸軍長官を委員長とする委員會に大統領の代理として參加することを要求された、この委員會がニューメキシコの實驗の計畫を立てたのである、かうした體驗にも拘らず、自分には現在この發見が世界の將來に及ぼす眞の衝撃を評價することが出來ないのはよく分つてゐる

しかし最初の爆彈が廣島市に投ぜられたその日からわれわれのすべてにとつて明かなことが一つある、即ち文明世界は原子戰爭による滅亡を避け得られないといふことだ、これはわれわれの世代に對する挑戰である、それに應ずるためにはわれわれは心を強くしなければならない、同時にわれわれのすべてを守るに足るほど賢明にして強く、且つわれわれの心からの忠誠を要求し得るほど寬大にして民主的な世界政府が、一夜にして完成されるといふやうな希望的な空想を抱くことも許されない、もし文明生活の繼續を守るつもりであるとすれば、われわれは手中にあるだけのものをもつて現存の諸制度が時代の苛酷な試煉に耐へ得るまで、それを改良し補足して行かなければならないのである

△共同公報の語るもの

そこで米國大統領並びに英加兩國の首相、（即ち原子エネルギーの放出を齎した歷史的な科學的工業的企畫の共同事業者たち）は、世界を自暴自棄的な軍備競爭から救ふ努力の第一步を踏み出した、その共同聲明において彼らは平和目的における基本的科學情報の交換のために即時協定を結ぶ用意ある旨を明かにした、原子エネルギーの創造に必要なるこの種科學情報の多くは既に傳播されてゐる、われわれはかかる情報が今後も自由に利用されるやうにしなければならない、かかる即時提案の他に、會議は實行の可能なる限り早い時期に國際聯合機構の下に委員會が設置されることを提唱した、これは六十日以內に實現することが出來る、この委員會の任務はすべての國の間に平和諸目的のための基本的科學情報の交換を及ぼし、平和的諸目的のみのための使用を確實ならしめるに必要な程度において原子エネルギーを管理し、原子兵器その他大量的破壞に應用し得る一切の主要兵器を國家軍備から除外し、監察その他關係諸國を協定違反並びに回避行爲の危險から守る手段により、效果的防衛措置を講ずるために特殊諸提案をなすにある

かかる保護は段階を追つて事業を進めることによつて與へられる、その出發點として委員會は科學者及び科學情報の廣汎なる交換を提唱するかも

しれない、次の措置は原子エネルギー放出に必要なる諸原料に關する知識の頒布であらう、各段階の完全な遂行は次の段階に進むべき信賴感を生ずるにちがひない

△信賴こそ平和の鍵

しかしながら、原子エネルギーの實地工業的應用に關する詳細なる情報を交換する段階に達する時、ここに極めて重大なる問題が生ずる、ここで念頭におかなければならないのは一定のかなり進んだ點に至るまで、いはゆる生産方法の知識とは原子エネルギーを爆彈に藏すべきか、或ひは平時工業目的における力として馴致すべきかといふことと同一だといふことである、從つてこの事實に鑑みる時、會議は原子エネルギーの實用に關する知識をいつ頒布すべきかを決定することが必要となつたのであつた

與へ得る返答は一つしかなかつた、國際監察その他の形において效果的な防衛手段が生れるその時まで、生産方法の祕密は、大統領の言葉によれば神聖な信託として——その行使においてわれわれが既に明確な國際的義務の下にある信託として——保たれなければならないのだ

自國民の眞の同意がなければ戰爭をすることが出來ないといふのは、わが民主々義に內在する特徵の一つである、議會による宣戰布告がない限りいかなる大統領も彈劾の危險を冒さずして原子爆擊を許可することは出來ない、わが國民の平和愛好心を知る者は、何人もわが國會が世界憲章の下に嚴肅に誓つた責任を無視して宣戰を可決するなどとは信ずる筈がない、一九一四年乃至一九一七年、一九三九年乃至一九四一年の歷史は、米國議會が戰爭を宣言するにいかに敏速ならざるかを實證してあまりがある、從來味つたどんな戰爭よりも激しかるべき將來の戰爭に米國議會が從來以上の熱をもつて飛び込むと考へる理由は全く存在しないのである

從つてわれわれは一時この生産の祕密を信託として保持し續けることを適當且つ必要なりと考へるが、この期間は必ずしも延長されるを要しない經驗にまれば情報の頒布は十分且つ餘す所ないことが明かであるから、平和目的のための交換は原子エネルギーその他科學的諸發見の實地應用の一部、そして結局はすべてへ及ぼされることがのぞましい、これがわれわれの追求する目的である

他國との關係において原子時代がわれわれに要求する大膽と寬容とをもつて行動することは、われわれの目的であり重大なる任務である、國家の官吏が今ほど重大な影響ある決定を要求された時はかつて無かつた、我々は行動しなければならない、但し我々はわが國の安全乃至世界の安全を殆ふくすることのないやうに行動しよう、卽時基本的科學情報を交換する用意ありとの我々の宣言並びに國際聯合機構の下に委員會を設置せんとの我我の計畫は、自分の手を通じて既に國際聯合加盟諸國に通達せられた、我々は彼らの協力を待つてゐる

これら諸提案を呈出せる者はそれが必らずや長い困難な道程たるべき仕事の、極めてつつましい第一步なることを誰よりもよく知つてゐる、余はわれわれのすべてを言語に絕する破壞から守る防衛手段の創造發達が、米國乃至英國或ひはカナダの獨自的責任ではないとの確信を强調したい、それはすべての國の政府の責任である

世界各國すべての統一ある努力と弛緩なき協力がない限り、原子爆彈に對する繼續的效果的な保護はあり得ない、細菌戰爭或ひは一層恐るべき人類破滅手段に對する保護などあり得ないのである

物理及び文學のノーベル賞

（ストツクホルム十五日）スエーデン科學院は十五日夜、現在米國プリストン大學に教鞭をとるスイスの學者ウオルフガング・パウリ教授に一九四五年度のノーベル物理學賞を贈る旨發表した、パウリ教授は原子研究をもつて普く物理學者の間に知られてゐる、同時にスエーデン文學院は一九四五年のノーベル文學賞をチリーの詩人ルシラ・ゴドイ・Y・アルカヤガに贈る旨發表した、アルカヤガはガブリエラ・ミストラルのペンネームで執筆してゐる、なほ一九四五年度の醫學賞は先月下旬ペニシリンの發見者サー・アレクサンダー・フレミング教授並びにその協力者サー・ウオルター・フローリーとアーネスト・ボリス・チエインの三名に贈られた

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和廿年十一月廿四日(土)　第一九號

時事通信　海外電報

時事通信社　東京都麹町區日比谷公園一ノ一　編輯發行人　松田增三

世界の動き

米國のカトリツク教の司教團は先週ワシントンで年次會議を開催したが、會議終つて十一月十七日次の聲明を發表した

「米英ソ三國の數次に亘る會議の結果出てきた平和の型には極度に失望せざるを得ず、權謀外交(porwer politics)への復歸に他ならない、ソヴエト聯邦がバルト各國を吸收したことは遺憾に堪えず、同國のバルカン地方における活動振りには遽に同意出來ない、米國とソヴエト聯邦との間にはイデオロギーの衝突あり、平和のために全世界が現實的に協力するため、苟も眞劍に努力しようといふのであれば、先づ以上理念の相違を率直に承認せねばならない、全世界の人間の衷心からの叫びに應へるやうな正義を基礎とした純粹な平和を要求する實力と權利とを米國は持つてゐる」

聲明の全文は手に入らないが、以上の要旨が全貌を傳へてゐるとすれば、論旨は相當辛辣だといはねばならない、一九三〇年代における宗教迫害當時以來、ヴアチカンは終始クレムリンを非難して來たではないかと言はれるかも知れないが、ソヴエト聯邦に關する米國内の論議は決して一局部に限定されてはゐない、ブルガリア總選擧についてバーンズ國務長官は不承認政策を闡明するし、イラン北部の叛亂についても、ワシントン駐劄イラン大使は頻りに米國の輿論に呼びかけてゐる、中國における國共の相剋に關しては、スクリップス・ハワード社のバーサー・ラムーアはニューヨークからの報道で

「若し共産黨が引續き北支那に踏み止り、滿洲侵入に成功すれば、中國が分斷されるに至る懸念が濃い、先づ北支那に對するソヴエト聯邦の政策が闡明されねばならない、恐くソヴエト政府は米國の出方如何を待つてゐるのだらうが、中國の分割またはバルカン化によつて、ソヴエト聯邦は失ふところよりも得るところが多い」

と述べてゐる、三巨頭會談説が頻りに流布される所以

原子爆彈生産に一日百萬弗

(ケンブリツジ＝マサチユセツツ州二十一日)原子爆彈製作に重要な役割を演じたスドウン・アンド・ウエブスター會社の技師A・C・クリートンは二十日次の通り言明した

原子爆彈工場の現在の全能力運轉は一日少くとも百萬弗かかる、しかし兵器生産は眞珠灣當時の水準まで下げるのが當然だ、また外國が原子爆彈を生産するまではまだ五年か十年かかるだらう」

【目　次】
不遡及の原則を主張……一九八
イラン騷擾は反動分子の策動……〃
主權尊重を要請……〃
白資産凍結を解除……〃
希新首相決定……〃
ド・ゴール組閣に成功……〃
米、對亞通商制限撤廢……一九九
大統領任期制限案……〃
三頭會談豫定なし……〃
教育會議と原子爆彈……〃
國際教育科學文化機構規約……〃
三國委員會設置……〃
【米　國】
アイゼンハワー、新參謀總長に……二〇〇
大統領、更迭事情を説明……〃
民間航空施設を亞へ提供……〃
【戰後處理】
日本管理の訓令に訂正要求か……〃
二世千五百名送還……〃
【特輯】
たべものの話……二〇一
【資　料】
世界協力(下)……二〇三

B29大記錄樹立

(ワシントン二十一日)グアム島を出發したB29は八千百九十八哩の無着陸飛行新記錄を樹立して無事ワシントンに到着した、滯空時間三十五時間五分で、なほ三百ガロンのガソリンを餘した、途中嵐に遭遇すること七回だつたといふが、英國の航空機が二機でエジプト＝濠洲間に樹立した從來の記錄を破ること約一千哩といふ大記錄で、搭乘員は着陸と同時に殊勳飛行十字章を授けられた

不遡及の原則を主張

（ニユールンベルグ二十一日）ナチ主要戰爭犯罪人に關する國際軍事法廷は二十日午前十時開廷、英國代表檢事の論告に次いで、檢事長、米人判事ロバート・H・ジヤツクソンは二萬語に亘る長文の論告文を讀上げ

被告は歐洲における隣接諸國民に對し、不遜、殘忍、貪慾からあらゆる暴戻、虐待、掠奪、搾取を行つた、被告はドイツ國民を悲慘などん底の狀態に陷れ、ドイツ國民は差し當りこの域を脫する見込みがない、被告はまた各大陸至るところ國內的な暴力沙汰を煽動した、ナチ政權は一九四〇年當時既に米國攻擊を企圖し、またナチの記錄によれば、日本人もまた既に一九四〇年ロシア人の叛逆分子を利用して、スターリン元帥の暗殺を企圖してゐる、要するに今回の裁判における原告は文明である、依然闘ひ續けてゐる不完全な文明である

と述べた

辯護士團はいはゆる戰爭犯罪が、從來の國際法になく、今回の軍事法廷はアングロサクソン法制の基調たる不遡及の原則乃至罪刑法定主義に反する旨を主張、軍事法廷を全的に否認しようとしたが、國際法廷は直ちに右主張を一蹴した

次いで各被告が裁判長ローレンス卿の前に呼び出され、夫々無罪を主張したが、先づゲーリング元帥は

余は或る意味で無罪であると述べ、ヘス副總統はただ

ナイン、ナイン

と絶叫した、ヘスは既にロンドンに監禁されてゐた當時より精神に異狀を呈してゐたと傳へられるが、裁判長は右事情を斟酌し

被告の發言は無罪の主張と認める

旨を述べた、ナチの指導理論家アルフレツド・ローゼンベルグ博士もまた

余は起訴文の意味においては無罪であると主張した

イラン騷擾は反動分子の策動

（ロンドン二十一日）モスクワ放送局はイラン北部の騷擾について二十一日次の通り報道してゐる

赤軍治下アゼルバイジヤン地方の騷擾は、民主主義組織を彈壓しようとする反動分子の策動に基く、同地方の民主黨員が政權奪取を企圖してゐるとの報道には何等根據がない

主權尊重を要請

（ワシントン二十一日）ワシントン駐剳イラン大使フセーン・アラは二十一日米人記者團と會見、次の通り言明した

イラン政府はテヘラン駐剳ソヴエト大使に通牒を手交し、イラン領土主權を尊重して、國內行政を攪亂する如き行動を差控へるやう要請した

白資産凍結を解除

（ワシントン二十一日）米財務省は十九日夜、七千六百萬弗と見積られる在米ベルギー資産の凍結を解除する旨發表した、同國の在米資産は一九四〇年五月十日以來凍結されてゐたものである

希新首相決定

（アテネ二十一日）カネロプロス內閣辭職の結果ギリシヤ攝政ダマスキノスは二十一日、自由派の領袖テミストクレス・ソフリスに新內閣の組織を委囑した

ド・ゴール組閣に成功

（パリ二十一日）ド・ゴール將軍は二十日來三大政黨領袖と會見を重ね新內閣組織について努力中であつたが二十一日、共產黨に新設軍需省の椅子を含めて五つの椅子を與へることによつて同黨との妥協に成功、各黨の代表を網羅する新臨時政府の組織を完了し、二十三日憲法議會に閣員表を提出し得る運びになつた

新內閣は二十一の大臣を包含してをり、國民抗戰會議、急進社會黨、共和聯合等からも代表が入閣してゐる

昭和二十年十一月廿四日(土)
第一九號

時事通信

海外電報
第三種郵便物認可

米、對亞通商制限を撤廢

(ニューヨーク二十一日)「ニューヨーク・タイムズ」紙特派員アーナルド・コルテンは十八日ブエノスアイレスから次の通り報道してゐる

「米國はアルゼンチンに對する通商制限を急速に撤廢しつつあるが、これは主として飢餓に瀕する歐洲國民數百萬を給養するため、同國の有する多數物資が絶對に必要とされてゐるといふさし迫つた必要から行はれたものである、歐洲で最も必要とされる小麥と穀物はアルゼンチンでは燃料として燒かれてをり、輸出可能な過剩品は石炭、油、ガソリン、タイヤの不足のため港に輸送することが出來ない、今回の措置は英國政府がアルゼンチン外務省に對し「もしアルゼンチンが重要食糧の輸出を增加しなければ數百萬の歐洲國民は餓死するであらう」との通牒を發し、これに對してアルゼンチン政府は「國內の燃料問題が先づ第一に解決されなければ、輸出增加は不可能である」旨回答したことにより決定されたものである、この文書往復の結果、十一萬六千噸の燃料油と八萬五千噸の原油とが米國管理下の生產地帶からアルゼンチンへ送られつつある、但し米國は、アルゼンチンへの軍需品販賣の完全禁止をいささかも緩めてゐない」

大統領任期制限案

(ワシントン二十一日)下院選擧委員會は十六日から大統領の任期を制限する憲法修正法案の公聽會を開始した、同法案は、共和黨院內總務ジョゼフ・マーチンの提案にかかるものだが、大統領の任期を二期、八年に制限することを提案してゐる

三頭會談豫定なし

(ワシントン二十一日)トルーマン大統領は二十日の新聞記者團會見でアトレー首相、スターリン首相との間に再び三頭會談を開催する豫定はないと言明した、大統領はさらにパレスチナ問題調査の米英合同委員會に對する候補者は旣に考慮してゐるが、委員會の構成につき米英兩國政府間に意見の一致をみるまでその任命は差控えると述べた

教育會議と原子爆彈

(ニューヨーク二十一日)ロンドン教育會議米國代表前國務次官補アーチボルド・マクレイシュは十九日ニューヨークに到着して次の通り語つた

原子爆彈の存在は聯合國教育科學文化機構會議の成功を促進した、これにより規約草案も出來上つたが、これは誠に喜ばしいことだ、原子爆彈は會議に大きな影響を及ぼした、爆彈がなかつたとしたら、集まるのは學者と先生ばかりだつたらう、所が原子爆彈のために會議は科學的大變革に處する會合と化し、誰も非常に協定到達を急ぐやうになつた、皆出來るだけ早く新事態に卽應する機構を設置する必要をはつきり知つてゐたからだ

國際教育科學文化機構規約

(ワシントン二十一日)國務省は十八日諸國民の自由なる思想交換を主目的とする國際聯合教育科學文化機構の規約草案を發表した、草案は四十三ケ國を代表するロンドンの會議に提出される、但しソヴエト聯邦は參加してゐない、同機構の目的として擧げられてゐるところは原子爆彈宣言におけるトルーマン大統領竝びにアトレー首相の見解と同樣である、なほ本部常設地としてはパリが候補に擧げられてゐる

三國委員會を設置

(ワシントン二十一日)極東委員會政治委員會議長エヴアツト外相は、二十日の政治委員會において次の通り報告した

經濟政策に關する報告を作成するために米華濠三ケ國の小委員會が設置されたが、その具申案は二十三日の諮問委員會本會議までに準備される筈だ、日本政府が俘虜に關する文書を燒却したのは日本の俘虜待遇に關する調査を阻害すると信ずる、東京に代表團を派遣することも問題になつたが、極東諮問委員會の一般政策討議が終るまではこれは實現しないだらう

【米　國】

アイゼンハワー、新參謀總長に

（ワシントン二十日）トルーマン大統領はマーシヤル參謀總長が今回退役となり、後任參謀總長としてアイゼンハワー元帥を指命した旨二十日發表した、同時に海軍作戰部長としてキング元帥に代りニミツツ元帥を指命したが、海軍作戰部長の異動はクリスマス直後有效となる、なほアイゼンハワー元帥の後任として歐洲米軍總司令官並びに聯合國管理委員會の米國代表には前參謀次長ジョゼフ・マツクナニー將軍が就任することになつた、キング元帥もマーシヤル元帥も大分前から日本敗北後退役したいとの希望を、表明してゐたものである

大統領、更迭事情を說明

（ワシントン二十日）トルーマン大統領は二十日新聞會見において參謀總長及び作戰部長の更迭に關し次の通り說明した

「余は辭職したマーシヤル元帥に代つてアイゼンハワー元帥を參謀總長に任命し、キング元帥の後任としてニミツツ元帥を作戰部長に指命した、アイゼンハワー、ニミツツ兩元帥の氏名は確認を受けるため上院に廻附したが、アイゼンハワー元帥に任命が承認されるまで參謀總長代理として直ちに勤務に服すであらう、ニミツツ元帥は、クリスマス後でなければキング元帥と交替しない、マーシヤル、キング兩元帥は日本降伏の直後辭表を提出したものであるが、平和建設に必要なる過渡期の故に承認されなかつたものである、一方アイゼンハワー元帥の後任としては、ジョゼフ・マツクナニー大將が、またニミツツ元帥の後任としてはレイモンド・スプルーアンス大將が就任し、マツクナニー大將は直ちに歐洲米軍總司令官及び歐洲聯合國管理委員會の米國代表の地位につくが、ニミツツ元帥は彼の司令部をスプルーアンス大將に引繼ぐため、一度太平洋に歸り、その後ちよつと休暇をとつた後作戰部長としての新任務に就くことになつてゐる、陸軍航空本部長ヘンリー・アーノルド元帥及び陸軍補給本部長ブレホン・ソマーヴエル大將も辭職を申出たが承認されなかつた

陸軍はあらたなる戰後段階に入りつつある、この段階に關する一般的決定は、それを遂行する責任を持つ人によつてなさるべきであるといふのが、マーシヤル元帥の主張である、アイゼンハワー元帥を參謀總長に任命したといふ余の措置はマーシヤル元帥の推薦によるものである」

民間航空施設を亞へ提供

（ワシントン二十日）國務省は十九日次の通り發表した

米國は航空發動機、個人及び民間用航空機及び部分品を含む航空施設をアルゼンチンの購入許可者に解放することになつた、輸出許可は入手した資材が全く私的及び商業用民間航空の發達に對してのみ使用されるといふ特別需要にのみ與へられる、今回の措置は政治的考慮には何等關係してゐない

【戰後處理】

日本管理の訓令に訂正要求か

（ワシントン二十日）極東諮問委員會政治委員會議長濠洲代表エヴアツト外相は二十日新聞記者團に對し次の通り言明した

專門委員會は米國政府がマツカーサー元帥に與へた日本管理に關する指令に若干の重要ならざる訂正を加へることを提案した、詳しいことは具申案が完成して諮問委員會の全體會議にかけられるまで待つて貰ひたい

二世千五百名送還

（ワシントン二十日）司法省は二十日次の通り發表した

終戰以來日本人送還者の最初の一團が十一月二十四日陸軍輸送船でシアトルから日本に送還される、人數は千五百七名で、大多數は米國市民權を放棄して外國々籍民として抑留されてゐた二世で、いづれも自發的に歸日を申し出たものである、內譯はツラ・レーク收容所の四百二十八名、フオート・リンカーン收容所の百七十六名、サンタ・フエー收容所の九百三名である

移住委員ユーゴ・カルーシの言明によれば、近く多數の日本人が送還される豫定といはれる

昭和二十年十一月廿四日(土)
第一九號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

特輯

たべものの話

武井武夫

たべものときくと直ぐ膝を乘り出して來る人がある、しかし早まらないで貰ひたい、決して喰べさせるわけでも喰べるところを教へるわけでもない、すべて太平洋の彼方の話で、手をのばしても屆く筈はないのだから神妙にきいて頂かう、きいて參考にする人は大いに結構、口惜しがる人には口惜しがつて頂く、涎をたらす方があつても無理に拭いて下きいとはいふまい

△貯める話

最初は食物の保存法だ、貯めるほど食物がないとは日本のこと、米國では保存に苦勞してゐるらしい、但し舊式な鹽漬や贅澤な砂糖漬ではない、極めて嶄新で食物に味をつけずに榮養を失ふこともなく保存する方法、ニューヨーク州ジエネヴアにあるコーネル大學農業試驗所のエルマー・H・シユトルツ博士の發表だ

第一は名づけて眞空冷凍法といふ、野菜を保存して新鮮味を失はず、馬鈴薯のごときはプレス製品のやうにみえる、料理すれば眞空冷凍野菜は脫水によつて失つた水分を回復し、再び新鮮な味ひを出すことになつてゐる

第二は冷凍とか乾燥とかの處理を加へる前に電子熱を當てて灰汁ぬきして了ふ方法だ、電子熱は野菜全體に平均して透徹するから灰汁ぬきの時間も短くなるし出來上りも惡くない、蒸氣や熱湯で灰汁ぬきすると、全部に熱を通さうとしてつい熱しすぎる結果になり、野菜が柔かくなつてしまふ

シユトルツ博士の說によれば「眞空冷凍法によつて野菜がどの位長く保存出來るかはまだ分つてゐないが、理論的には有望で、しかも冷凍または乾燥した野菜の肌理や外觀まで保存出來るかもしれない」のださうだ

方法を說明すると、冷凍乾燥材料を容器に入れてからポンプで空氣を排出する、眞空になると氷の蒸發が早くなり、水蒸氣は溜つて別仕切の中に流れ込む、乾燥される材料は零下二〇度乃至三〇度の溫度に保たれる、そこで再びシユトルツ博士は曰くと行かう

現在の大概の脫水處理においては、野菜は新鮮な產物との類似を非常に失ふ、ところが眞空冷凍法を使ふとまるで話がちがふのだ

△農產物が化ける話

日本では農產物は莖でも葉でも粉にして食つて了はうといふ相談が專らだ、米國では食へなくすることを近代的だとしてゐる、國營研究所も個人研究所も一緒になつて——米國科學記者の表現を借りれば——玉蜀黍、木棉、牛乳、甘藷、燕麥、落花生のやうな「くだらぬ」產物をあらゆる種類の消耗商品に變じ、牛の蹄や鷄の羽毛(これは日本人でも喰へない)のやうな完全な廢物を茶碗とか灰皿とか鉛筆にする科學において長足の進步をとげたのである

米國の農產物として最も典型的な玉蜀黍を例に擧げよう、化學者の研究のお蔭で、今日では玉蜀黍から十五種類以上の工業製品が生れ、爆藥となり、紙となり、香水、壁板、アルコール、染料、顏料等になる、實は米國映畫に見る雪も元は日光輝く玉蜀黍畑の出身だ

玉蜀黍から出來たアルコールはガソリンに一割位混ぜられて自動車を走らせる、その他プラスチクス卽ち可塑材、人工革、レーヨン、絕緣材等の製造とか各種重要化學藥品の合成とかに使用される

玉蜀黍の軸、落花生の殼、その他似たやうな農產物の屑は機械部分品の掃除に非常に役立つことが發見され、米國農務省の科學者たちはその變形種々效果的な方法を發明してゐる

穀物農場產物の中で科學により多くの新工業用途が發見されたものの一つに蕎がある、いや蕎になる前だ、つまり藁や籾殼の類から燃料油、燃料ガス、セルローゼ、建築用材、藥品、顏料、ワニス、絕緣材、吸濕材等何でもとれる

とくに燕麥の籾は合成樹脂製造、ペンキ拂拭溶劑、防腐劑等になり、その他アルコール原料、道路建設の低廉混入物、殺蟲劑原料、デイーゼル機關燃料等に利用される見込みもある

昔から甘藷農園の厄介物だつた搾り殼は今日で

は壁板や安物合成可塑材の製造に廣く使用されてゐる

リグニン卽ち木質素は殆んどあらゆる農場廢物から取れる、從來はこれが數百萬噸となく捨てられてゐたものだが、今や廢物リグニンがいろいろな香水、調味料、鞣劑、接合劑、鎭埃劑、粘着劑染料稀釋劑、防腐劑、肥料、織物膠水、塡隙劑等になつてゐる、勿論お定まりの可塑材にならない筈はない

△どうしても勿體ない話

ミルク、牛乳、おちち——何と呼んでもよい、あれば是非飮みたい、それを飮まないで使ふ話にとりかからう

牛乳は食卓の上でも益々大切にされるが、工業方面の利用も多くなる一方だ、脫脂乳の中にはカゼインが含まれてゐて、これをちやんと處理すると素晴しい膠がとれるし、紙や織物の被覆劑、顏料及び例によつて可塑材になる、米國では脫脂乳から取つたカゼインで作られたボタン、着物、寶石類（ただし擬なり）洋傘その他の握り、そんな物が澤山賣られてゐる、この頃ではカゼインから人造纖維を作る方法が發明されてゐるが、なかにはどの方面から比較しても殆んど本物の羊毛と變らないのがあるさうだ

チーズを採つた滓をウエイといふ、日本でこの頃カルピス代用品として飮ませてゐる奴だ、本當はこれを乳酸に精製してそれからカルピスになるのだが、そんなことをしないでも賣れる位日本には飮料さへないのだらう、この乳酸がいま米國では人造革工業、纖維工業、製藥業等に使用され、ラッカーにもなつてゐる

木綿から火藥を作るのは日本國民もなけなしの蒲團綿を終戰間際に取り上げられたから先刻御承知だと思ふが、紙だらうが可塑材（ああ又だと思ひ給ふな）だらうが、映畫フイルムだらうが、およそ纖維で作れるものには全部木綿が進出してゐると考へてよろしい、棉の大きな消費國だつた日本が買はなくイヤ買へなくなり、棉の山が欠伸してゐる米國では當然の話だ、純綿の靴下一足二十圓の日本では夢のやうだが

近頃では木棉が道路工事にまで使用されるやうになつた、舖裝用のタールやアスファルトを維持するつなぎになるわけだ、絕緣材として建築用にも使はれるし、木綿を利用して防火防水用建築材を作る研究も行はれてゐるといふ、輸入が出來れば——そして金さへあれば——日本で是非買入れたい綿がこんなに廢物同樣の扱ひを受けてゐる、嚴冬を控えて衣類は食物に劣らず必要なのに

しかし米國でも木綿の始末ばかり急いでゐるわけではなく、コンクリート床の上に敷く緞通だとかタイヤだとかに使用する木綿纖維の耐久性を向上するための研究も盛だし、衣類、家庭用品等本來の用途においても變化を與へるべく種々工夫が凝らされてゐるといふ

△飮んでもいい話

たべものといへば口に入るものは皆含まれる、飮物もその仲間だ、日本ではアルコールの度が高いほど値も高い、釀造會社の大半は藥用アルコールの配給を受けてこれに水を割るだけが商賣だ、だからアルコールもたべものの中に入れよう、原料も食物だ、但し米國では燃料が主な用途だ

戰後のアルコール生産には五輛の貨車を改造した移動アルコール工場を使つて農場所在地をまはり、農產物や廢物をその場で集めて大いにアルコールの增產の能率を上げようといふ計畫がある、しかもさうなれば原料輸送の料金が浮くし、工場運轉繼續のために大量のストツクを置く必要もなくなる、いはば一石三鳥の名案だ、その代り製造工程も非常に改良されて、工場の廣さも貨車に積める位壓縮される必要がある、それが米國では完成してゐるらしい

新式移動工場のお蔭で生產原價の低下をみても玉蜀黍ブツシエル當り產額が減つては何にもならないが、その心配はないさうだ、しかも百姓に對して相當な原料費を支拂つて商賣が成り立つとすれば原料難の問題も解決されよう、日本でも諸を腐らせる代りに移動アルコール工場を運轉したら百姓も助かるし安い酒が澤山飮めるし、ひいては他の農產物の値段も百姓を犧牲にせずに下げることが出來るのかもしれない、とはあまり蟲の好い話だらうか

昭和二十年十一月廿四日(土)
第一九號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

資料

世界協力(下)

△戰爭そのものを追放せよ

原子エネルギーは人類に與へられた新しい道具である、人類自身並びに汗と骨折と血の數世紀をもつて築き上げたる文明をも滅すために使用することも出來る、或ひはまた自己に新しい尊嚴と更によく且つ豐かなる生活を加へるためにそれを使用することも出來る、もし原子爆彈その他大量破壞の可能な兵器の製作を管理し結局は一掃するための自由且つ無制限の科學的工業的情報の交換に向つて、たとへ緩慢なりとも確實に移行し得るならばわれわれは恐怖からの解放の獲得に向つて前進を遂げ得るにちがひない

だが原子戰爭とか細菌戰爭とかを追放するだけでは十分ではない、われわれは戰爭を追放しなければならない、人類のこの偉大なる目標に向つて吾人は常にその心情と力とを向け直す必要がある

その目標にわれわれが向ふやうにするためには、世界の安寧に對する軍事的脅威に對してのみならず、世界の福祉に對する經濟的脅威に對しても身を守らなければならない、政治的平和と經濟戰爭とは長く兩立し得るものではないのである

もしこの世界に平和を望むならば、われわれは共に生き共に働くことを學ばなければならない、共に取引し得るやうでなければならない、互ひに取引する意思なく或ひは他國と取引することを互ひに排除せんと試みるごとき諸國は、到底長い間善き隣人たることは不可能である

△國際貿易の必要

貿易燈火管制は恰度他の種類の燈火管制と同じやうに不信と不一致を釀成する、取引關係は諸國家並びにその國民を緊密ならしめ恐らくは他の何ものよりも善意と平和の決意とを促進する力がある、世界貿易に對する多くの現存制限は主として戰爭が生んだ現在の諸條件及び諸行爲から生じたものだ、多くの國家(そして英國も同じやうに)は戰爭に勝つ爲に自己の對外稼働能力を犧牲しなければならなかつた、彼らは在外株式及び公債の大部分を賣却し海外で夥しく借財を重ね外國商業を失ひ敵の攻撃の前に船舶や工場を喪失した

彼らの外國商品に對する需要は莫大且つ緊急だが彼らには外國爲替即ち海外購賣力がない、援助がない限り從來のやうに海外から買ふ方法は望み得ない、ましてその打碎かれ荒廢した經濟を恢復するために海外から貰ひたい補助的な物資などは問題にならないのだ、かうした情勢の下に國家たるものは何としたらよいのか、必要な外國貨幣を借りるだけだ、さうすればあらゆる恒久的繁榮の基礎たるべき自由主義的な貿易諸原則を活用することが出來る

或ひは輝を引緊めるといふ手もある、國民の生活水準を引下げ、得難い外國貨幣をあらゆる方面で貯め込み、政府命令によつて通貨の得易いやうな國に外國貿易を振向ければよいのだ

後者の場合、差別行爲は增し世界貿易は排他的な數ブロックに分たれる、しかし他の諸國をして時にはその意思に反しても排他的ブロックを作らしめるごとき諸條件が除き得ないとすれば、さうしたものに反對することは出來ない、さうした排他的貿易ブロックに反對してならないだけではなく、世界貿易に差別を設けるごとき條件を除去すべく他國と協力しなければならないのである

△他人のためは自分のため

すべて外國に對する貸金は勿論米國製品の市場を擴大する、長い間には結局貸した弗も米國でなければ使へないからだ、戰爭で荒廢した諸國は仕事に復歸することを望んでゐるのである、彼らの生活の資となるやうな生産に復歸することを願つてゐる、それが出來ればわれわれから品物を買ふだらう、米國人は彼らを助けて結局自分を助けることになる、われわれとて世界のサンタクロースとなるわけには行かないが、信用の確かな政府に對してならば金を貸すことが出來る、われわれがその國との貿易を增大し得るやうに商業政策を變更してくれることを條件としてだ

貸出、武器貸與清算及び餘剩軍需物資處理のほかに、われわれは英國との間で商業關係の原理—即ち戰後世界において總ての國に實行して貰ひたい諸原理——を論じてきた、これは余の友人にして先輩たるコーデル・ハル氏が長年前から慫慂し

來つたのと同一の自由主義的諸原理だ、それは、貿易における最大問題が特定の競爭的位置の支持ではなく、生産的雇傭人員の增大と生産の增加と全般的繁榮の增進だといふ信念に基いてゐる

飢餓と困窮の理由はもはや自然の吝嗇ではなくなつてゐる、近代的知識は人類が充分やつて行けるだけの物を作ることを技術的に可能ならしめてゐるのだ、世界現在の生産力は世界全住民の生活水準引上げに史上最大の機會を與へてゐる、諸國間の貿易はこの著しく擴大せる生産力の一層充分な利用に導く最大の勢力の一つだ、しかしもし諸國が隣人乃至友人として貿易することを學ばないならば、世界は諸國民の運勢を開くべきこの好機を逸することにならう、もし眞の人民の平和を贏らさんとするならば、世界貿易は小うるさい制限などに妨げられてはならない

かうした制限の一部は政府命令により、一部は私的な結合によつて課せられる、完全雇傭を實現する爲にはそれを除かなければならない、その爲には若干の一般原則について協定し、それを細部に亘り適用することが必要だらう、我々は近くこれら諸問題に關する我々の見解を世界諸國民に呈示するであらう

△何を提案するか

我々は商業上の割當や停止令が少數の眞に必要な場合にのみ限定され、その適用における差別を避けることを提案するつもりである、關稅を減額し、關稅特惠制を撤廢することを提案するつもりである、貿易協定法はさうした目的のための商議に對する我々の常に變らぬ態度を示すものだ、また我々は補助金類全般が國際的討議の題目となり輸出補助金が例外的な場合に限られ、非常調整の時期がすぎれば直ちに一般原則に歸ることを提案するつもりでゐる

我々は外國貿易において、公共企業を營む諸國政府がすべての友好國の商業に對して正當な待遇を與へることに同意し、竇買は純經濟的見地から行ひ、自國生産者に過度の保護を與へるやうな輸入獨占行使を避けるべきことを提案するつもりである、國際カルテルと國際獨占が世界商業を制約することを國際的手續きによつて阻止すべきことを提案するつもりである、またわれわれは莫大な主要商品類の特殊諸問題を國際的に研究し、消費諸國がいかなる決定に際しても生産諸國と同等の發言權を有すべきことを提案するつもりでゐる

われわれは完全且つ規則的な雇傭狀態を保たうとするすべての國の努力が、いかなる國も世界貿易の發展を妨ぐるごとき手段によりその國內問題を解決すべきでなく、且つ勝手に自國失業者を隣國に輸出すべきではないとの原則に導かるべきことを提案するつもりである、國際貿易機構なるものが國際聯合機構の一構成部分として、經濟社會理事會の下に設置されることを提案するつもりである、更に我々は國際聯合が以上諸問題を論ずるために、國際的な貿易職業問題會議を召集することを提案するつもりである、そしてさうした會議の準備として、互惠的貿易協定法の下に數ケ國と貿易障壁低下の實際交涉を始めたいと思つてゐる

△國際聯合試煉の秋

たださうした交涉がいつ始まるかは未だ決定されてゐない、その日時は普通に法律の要求に從つて發表されよう、そして米國側の詳細な提案が決定される前に關係者一同の意見を聽取し得るやう適當な通告が發せられるだらう、これらの交涉の成功こそは、國際聯合機構の召集する一般的會議のための最も健全な準備となるにちがひない

國際聯合機構が原子エネルギー問題を審議する委員會を指名すべきことを提案し、同じく國際機構が諸國をして國際貿易問題を審議せしめる爲の會議を召集すべき事を提案する事によつて、我々は世界協力と世界平和の效果的な手段としての同機構に懸ける我々の信賴を證示する、第一次大戰後、我々はウツドロウ・ウイルソンの訴へを拒絕し國際聯盟に參加する事を拒否した、我々の行爲は聯盟の無力化を助けた、だが今や事態は異つてゐる、我々は國際聯合機構の發起人となつてゐるわれわれはそれに衷心からの熱狂的支持を與へてゐる、世界の諸事象におけるわれわれの責任をも承知してゐる、われわれはその責任を避けようとはしない、世界の他の諸國と共にすべての人民が恐怖からの自由と窮乏からの自由とを見出し得ることを希ひつつ、われわれは手に手をとつて平和の道を步かうではないか

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　松田增三　東京都麹町區日比谷公園一番　時事通信社

昭和二十年十一月廿六日(月)　第二〇號

時事通信　海外電報　(20)

問　米國の日本社會改革工作は天皇制維持によつて妨害されはしないか

答　米國の對日政策が改革であるならば、妨害されるやうなことはない、米國は最初日本を根本的に再建するか、或ひはこれを改變するか、どちらでも選ぶことができたのであるが、米國の選んだのは後者であつた、この選擇がいかに滿足すべき結果を齎らすだらうかは現在豫言することはできないが、少くとも改變は再建に比し二つの利點を持つてゐる、卽ち、改變は早くその結果が得られるし、また代償を支拂ふことが少くてすむ、新らしい社會組織といふものは一年では勿論のことたとへ五年かかつてもつくりだすことはできないしかるに、古くからの社會組織は遙かに短期間でこれを改變し得る、これに加へて、天皇制を維持することは、政治分野における日本の資產を米國の對日政策における道具として利用することを意味する、これは丁度、日本における米國の經濟政策を、米國自身の資源を用ひず、日本のそれを利用して達成せんとするのと同樣である

以上は十一月十九日付「タイム」誌に揭げられた同誌太平洋主任特派員マンフレット・ゴットフリード氏の、問答體で書かれた「日本報告」中の天皇制に關する部分の拔萃である

日本のポツダム宣言受諾による「無條件降伏」にはただ一つの條件があつた、それは國體の維持である、然るにこれに對する聯合國側の回答は、天皇の統治權すらも最高司令官に從屬すると述べた點があるのみで、直接的には天皇制を維持するといふ積極的な意思表示は何等行はれてゐないことを想起すべきだ

米國軍當局の日本統治は現實的であり、しかもこれは米國式の觀點に立つた現實である、しかしてこの米國式現實は神話的傳統とか神祕性のごときには極めて冷淡であるばかりか、却つてこれを嫌惡するといつてもいいだらう、「天皇制を道具として利用する」といふ從來の日本人の考へ方であれば「大それた」表現が、不敬にもわたらず、極めて自然に日本人に受取られるやうな事態が、米國の意圖する日本の民主々義化なのではあるまいか

パツチ中將死す

(サンフランシスコ二十三日)前第七軍司令官として歐洲の戰野に勇名を驅せたアレクサンダー・パツチ中將は二十一日ブルツク全科病院において肺炎のため逝去した

【目次】

希政局再び危し……二〇六
新內閣の顏觸れ……〃
原子爆彈と國際憲章……〃
佛新內閣の構成……二〇七
イラン騷擾續く……〃
カルカツタでも騷擾……〃
【英帝國】
鐵道の國有化を計畫……二〇八
新高等辨務官着任……〃
【歐洲】
法王、西の敎會防衞を要望……〃
葡、帝國會議開催を言明……〃
【米洲】
G・M・社總罷業……〃
勞働生產力增加……〃
人口一億四千萬突破……二〇九
駐西大使辭職……〃
比島財政顧問任命……〃
民主々義戰線を結成……〃
【特輯】
彷徨へる猶太人……二一〇
【資料】
ソヴエト政權への疑惑……二一二

汎米眼科醫會議

(ワシントン二十三日)バーンズ國務長官は二十一日合衆國政府が二十六日モンテヴイデオで開かれる第二回汎米眼科醫會議へのウルグアイからの招待を受諾した旨發表した、米國代表は海軍衞生隊のクリフオード・A・スワンソン大佐と米國公共衞生局醫師長ウオルター・P・グリフイーである、第一回會議は一九四〇年十月オハイオ州クリーヴランドで開催された

希政局再び危し

（アテネ二十三日）自由黨領袖テミストクレス・ソホウリスを首班とするギリシヤ新内閣は廿一日組閣を完了、廿二日ダマスキノス攝政に對して宣誓を行ひ正式成立したが、攝政ダマスキノス僧正は、新内閣成立の二十一日夕刻、首相ソホウリスに對して辭意を表明、ギリシヤ政局は再び危機に突入するに至つた、新首相は極力攝政の飜意を慫慂してゐるが、ダマスキノス攝政の辭意は極めて固いといはれる、ダマスキノス僧正が退職を決意したのは、ロンドン亡命中のギリシヤ國王ゲオルギエスが最近聲明書を發して、新首相ソホウリスが王の歸國の可否を問ふ一般投票延期の意思があることを非難したのに基くものであるといはれる

新内閣の顔觸れ

（アテネ二十三日）八十五歳翁自由黨領袖テミストクレス・ソホウリスを首班とするギリシヤ新内閣は二十二日正式成立したが、新内閣には進歩自由黨の領袖ゲオルギス・カファンダリスが無任所副首相として入閣、調整相兼第二副首相としてエマヌエル・ツオウデロス、外相にはジョン・ソフイアノポウレスが入閣した、進歩派各紙は新内閣を「ギリシヤの新生の一歩」と評し、共産黨側は批評を回避、王黨派では「共産主義への更に一歩の前進」として反對してゐる、ソホウリス新首相は二十二日聲明書を發してダマスキノス攝政の愛國心に訴へ、この際辭意を飜すことを要請した

原子爆彈と國際憲章

＝英下院で問題化＝

（ロンドン二十三日）原子爆彈が出現した現在國際憲章は桑港會議で決定されたままでいいか、この問題は既に各所で論ぜられてゐたが、二十三日英國下院の外交討議において遂に表面的な問題と化した、卽ち討論時間劈頭アトレー首相は原子爆彈會議の經過について報告した後

もし世界が再び大規模な戰爭に飛び込めば、原子戰は都市の荒廢と數百萬人の犧牲とを齎らすだらう、原子戰によつて文明は想像に絶する逆行を餘儀なくされるに相違ない、余をして言はしむれば、原子爆彈の問題を他の兵器の使用と區別することは不可能で、原子爆彈は確かに破壞における最新の威力だが、必ずしも最後のものではない、ただそれは他の何ものにもまして文明を守るためには戰爭が起きてはならないことを我々に知らしめた、我々は科學知識を平和目的に利用することを促進せんとの希望を表明すると同時に、いかなる國とも完全な互惠的な基礎の上に基本的知識を交換するわれわれの意思を明かにしたい、余は下院に對して、この完全なる互惠といふ言葉に注意することをお願ひする、もし諸國のすべてが國際聯合機構を活用すれば戰爭を防止し得ることは明かであるが、國家が戰爭並びに戰爭の脅威を政策の具として利用することを止めない限り、いかに巧みに作られたる國際機構も決して效果を發揮することは出來ないのである

と警告した、これに對し反對派保守黨を代表して前外相アントニー・イーデンは次の通り論じて國際憲章の改訂を要求、國際外交に重大な波紋を投げかけた

われわれは國家主義の爪牙を拔き取らなければならない、國際聯合は憲章起草當時存在しなかつた原子爆彈の發見に照らして憲章を再檢討すべきだ、拒否權を保留するといふ桑港會議の決定は何よりもわれわれに國家主義の立場を明かに示してゐる、國際聯合がこれを時代錯誤なりとして葬ることを希望する、またソヴエト聯邦と米英兩國との間に不信が横はるとの疑惑が存在し漸次增大しつつあることは否み得ない、しかし將來の平和は三大國の理解にかかつて存する、我々はソ聯が對等の條件で國際問題に參劃することを希望するものだ、ソ聯は決して我々に反對の立場をとつてはゐない、また我々の措置が反ソ的でないことも確かに信じて貰へる筈だ、ソヴエト聯邦はナチ精神が滅亡したとの確信を持ち得ず、ドイツの歐洲支配計畫が復活する可能性を恐れてゐるのだ

昭和二十年十一月廿六日(月)
第二〇號
時事通信
海外電報

佛、新内閣の構成

(パリ二十三日)フランス憲法議會は二十三日、第四共和制新憲法草案を起草すべき特別委員會を選任、二十三日はド・ゴール新内閣の信任投票を行ふ豫定である、ド・ゴールは組閣完了と共に二十二日初閣議を開き新政府の政綱その他の打合せを行つた、新内閣の構成はド・ゴール自ら三軍の最高指揮官の地位及び國防相を兼任し、人民共和黨六、共産黨五、社會黨五、無所屬二、小會派二の椅子の割當である

イラン騒擾續く

アゼルバイジヤン地方に騒擾が起るとともに、イラン政府は赤軍司令部に對し增援軍派遣に同意するやう頻りに要請してゐるが、赤軍司令部は遂に許可を與へず、事態は逐次米英ソ三國間の問題に發展する形勢濃厚だ

テヘランからの二十一日付UP電報によれば、イラン軍參謀は既にテヘランを出發、アゼルバイジヤン地方にイラン軍守備隊を派遣する件について赤軍司令部と交涉に赴いたが、イラン軍は現在カズヴイン地區で赤軍のため進駐を阻止され、野營してゐると傳へられる

△イラン、兩國會議を要請

同じくテヘランからの二十三日付ロイター電報は次の通り報道してゐる

アゼルバイジヤン地方の不安に關聯し、イラン外務省並びに軍當局は赤軍司令部との交涉打開のため會議開催を要請してゐる、イラン外務省當局では、赤軍約六千がテヘラン西北二十五哩のカライ並びに赤軍の冬營地カズヴインに向ふ國道方面に移駐したと述べてゐる

一方ワシントン來電によればワシントン駐劄イラン大使フセーン・アランは二十一日、國務省にバーンズ長官を訪問し、次で二十三日重ねて同長官を訪問したが會見後記者團に對し次の通り言明したと傳へられる

アゼルバイジヤン地方の騒擾について十九日バーンズ國務長官に提出したがその後の情報に基いて重ねて長官に報告した、イラン政府は十七日ソヴエト政府に對し赤軍の干涉について提議したが、未だ回答を接受してゐない、余は二十三日の會見で、バーンズ長官に對し、イラン中央政府に對する叛亂鎭定のためイラン軍がアゼルバイジヤン地方に進駐しようとするのを阻止するのは、イラン國の獨立に對する明確な侵犯なる旨を述べた

△米英對ソ牽制か

ロンドンからのUP電報は二十三日、英國政界筋の反響を傳へ次の通り報道してゐる

叛亂が赤軍の支援を受けてゐるといふ、イラン政府の主張に對しては、英國政府當局は別段右主張を支持するやうな證據を持出してはゐないが、同盟條約を締結國の一方が侵犯する形勢なのだから懸念がテヘランだけに局限されぬのは當然だ、英ソ兩國軋轢の原因としては一、イラン國内の石油資源一、イラン地方が裏海とペルシヤ灣との「陸の橋梁」であること、一、印度その他英帝國の生命線を脅威することの三ケ條を上げることが出來よう

更にアンカラ電報によれば、トルコ新聞界は次の見解を表明してゐるといふ

「ワタン」紙(イスタンブール)=アゼルバイジヤン地方の騒擾は最早イラン一國の國内問題ではない、日本帝國主義が第二次大戰を始めたと同じ方法でソヴエト帝國主義が第三次大戰を始めるかも知れない、問題は極めて重大であり米英兩國の責任は大きい

「タスヴイル」紙=事件は逐次破局的性格を帶びるに至つた今日において、米英兩國がソヴエト政府を抑制出來なければイラン政府とともにテヘランもまたソヴエト聯邦の掌中に歸し左翼政權がイランに結成されよう

カルカツタでも騒擾

(カルカツタ二十三日)カルカツタの大學生の一團は二十一日からニューデリーで行はれたスバス・チヤンドラー・ボースの所謂印度國民軍指導者の公判再開に反對して示威運動を展開、二千の學生がこれに參加したため、交通は麻痺狀態に陷り、警官隊は學生團に發砲、死者二名、重傷者三名を出したといはれる、なほ學生團は印度國民軍分子の釋放を要求してゐると傳へられる

【英　帝　國】

鐵道の國有化を計畫

（ロンドン二十一日）英國樞相ハーバート・モリソンは十九日次の通り發表した

英國政府は鐵道、運河、長距離道路輸送、瓦斯および電力工業を國有化する計畫である

英國政府は曩に英蘭銀行、炭坑、航空輸送、帝國內通信および農業の一部を國有化することを提案した

新高等辨務官着任

（イエルサレム二十一日）アラン・カニンガム陸軍中將はパレスチナの英國高等辨務官として二十一日イエルサレムに着任した、昨週行はれたユダヤ人過激派の示威運動を最後として、全國市民は正常生活に復歸し、夜間外出禁止令も解除された

【歐　洲】

法王、西の教會防衛を要望

（ヴアチカン・シテイ二十一日）ローマ法王ピオ十二世はスペイン最近の政情不安に關して十八日ラジオ放送を行ひ、スペインのカトリック教徒に對し、之以上の教會壓迫が加へられた場合には、これを防衛すべきことを要請した、法王は更に內亂時代のスペイン・カトリック教徒による教會防衛の努力を讃え、スペインが戰爭の慘禍から逃れ得たことに對して天帝の守護に感謝した、なほ、信ずべき情報によれば最近スペイン國內では數百名の共產黨員、地下運動者が捕縛されたが、彼らは全國に亘つての大規模な交通破壞陰謀を企てゝゐたものといはれ、その多くのものはフランスから潛入したものと稱される

蘭、帝國會議開催を言明

（アムステルダム二十一日）ウイルヘルミナ女王はオランダ臨時政權に對し本國と植民地國民との結束を強調して次の通り要望した

われわれはインドネシアに對しいかなる報復行爲も計畫してゐないし、また植民地的支配を建設せんとするものでもない、自分は立憲的措置により帝國の成員にそれぞれ自治政府を與へるため急速に帝國會議を開催するやう努力するであらう、政府は帝國成員の自發的結束により作られたオランダ人及びインドネシア人による聯邦建設のため、ジヤヴアの將來を救濟すべく努力を繼續するであらう

【米　洲】

G・M・社總罷業

（デトロイト二十一日）ジエネラル・モータース會社のCIO系合同自動車勞働組合所屬從業員はかねて會社當局に對し三〇%の賃金增加要求を行つてゐたが、二十日午後四時要求の期限がきれると共に、組合長アール・トーマスは、同社に働く三十二萬五千に上る組合勞働者に對し二十一日を期して總罷業を決行するやう指令を發した、この結果、全米二十州にわたるジエネラル・モータース會社の約九十工場が閉鎖さるべく、さらにデトロイトではフオードを除きその他の自動車工場が同社から部分品の供給を受けてゐるので、これまた操業停止のやむなきに至ると見られる

勞働生産力增加

（ニューヨーク二十一日）十九日の「ニューヨーク・ジャーナル・オヴ・コマース」紙は米國における勞働者生產力の增加につき次の通り報じてゐる

全國經濟研究所が今回發表した研究報告によると、一八九九年から一九三九年までに米國の勞働者の生產力は平均三分の二方增加してゐる、即ち、この期間に米國の全生產高は二〇〇%增加したに對し、勞働者の數は七五%增加したに過ぎなかつた、物資の生產輸送に從事してゐる產業は殆んど全く例外なく、生產額に對する使用勞働者の數を減じてゐるが、たとへば農業、製造業、公共事業におけるこの減少は二分の一であり、鑛業においては二分の一以上となつてゐる、勞働者數だけでなく、これに勞働時間の減少を見込めば、勞働者生產力の增加はさらに大きなものとならう、また以上の統計には生產物資の質的向上或ひは生產に要する原料、燃料等の節約額をも織込んでゐない、かかる生產力の增加の結果、勞働者の就業時間も短縮され、この率は每週平均約二〇%となつてゐる

昭和二十年十一月十六日(月)
第二〇號
時事通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

人口一億四千萬突破

(ワシントン二十一日)國勢調査局は二十一日去る十月一日現在で行はれた國勢調査の結果を發表したが、右によれば米國の總人口は一億四千萬を突破してゐる、前回の調査の行はれたのは一九四〇年だが、それ以來五年半の期間における米國人口の增加は八百三十三萬である

駐西大使辭職

(ワシントン二十一日)國務省は二十一日スペイン駐西米國大使ノーマン・アーマーが辭職した旨發表した

比島財政顧問任命

(ワシントン二十一日)米國政府は十九日フランクベルグラーノをフイリツピン駐劄米國高等辨務官の財政顧問に任命、ベルグラーノは二十日マニラに向け出發する旨發表した、ベルグラーノは太平洋岸における銀行界の巨頭であり、三年間にわたる日本軍の占領期間中に荒らされたフイリツピン經濟再建のため、米國政府並びにフイリツピン政府に建言することとならう

民主々義戰線を結成

＝アルゼンチンの政情＝

(ブエノスアイレス二十一日)アルゼンチンの强權政治家ペロン大佐は去る十月中旬一應副大統領及び陸相の地位を辭職したが、かれはこれによつて政界を引退したのではなく來るべき大統領選擧戰に立候補することは明かで、既に政府支援の下に明年二月二十四日に執行される總選擧の運動に着手してゐる模樣だ、「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙記者ジョゼフ・ニューマンは同國總選擧を繞る情勢を次の通り報道してゐる

「アルゼンチンにおける四政黨が今週民主々義戰線を組織したことは政府部内におけるペロン大佐の地位を傷つけると同時に民間のペロン反對派を强化するに至つた、民間のペロン反對派は自由公正なる選擧を保障するやう從來ペロンを支持しきたつた軍部に直接懇へんと用意してゐる模樣である、消息筋の言明によれば、急進黨、社會黨、共產黨、進步民主黨四政黨の統一が成就されたことは軍部と政府の双方に深い印象を與へ、多くの陸軍將校はペロンが目下政治的に孤立化してをり、彼の周圍には國民不信の官僚と取卷き政治家の少數團體があるにすぎないといふ事實を認めざるを得なくなつた、以上の結果として、從來ペロンを大統領候補とするため政府が公然援助するのに對し無關心を示し、或はそれを容認してきた多くの人々はこの事實の中に選擧の不正手段といふ形が潛んでゐることを發見した

△ペロンの背景

かくて軍部及び政府部内には、「政府はペロンに對する一切の公的援助を拋棄し、ペロンと民主主義反對派との選擧戰においては嚴正中立を堅持すべし」といふ將校團一部の主張を支持せんとする機運が增大してゐる、この運動の中核をなしてゐるのはペロンをして政府退陣を餘儀なくせしめたカンポ・デ・マヨの青年將校の一團である、政府の著名人物の中にはペロンの立候補を疑問視してゐるものすらある、四政黨が聯合すれば、それは地方における大多數の投票を支配するので、これらの青年將校團はペロンの與黨となることによつて、軍人としての彼等の名譽を選擧の不正手段の犧牲とすることをいさぎよしとしない樣子である、彼等は今やペロンとの個人的友情關係によつて、自由公正な選擧を保障すべき彼等の責任遂行が妨害されることは許さるべきでないといふ立場を採つてゐる、然しこのことはかかる保障が既に存在してゐるといふことを意味するものではないペロンは依然政府の最も重要な地位を占める二人の後援者を有してゐる、即ちファーレル大統領とピスタリニ副大統領の二人である、しかして第三の支援者は警察長官ヴェラスコ大佐である、公平な選擧に贊成する將校達はヴェラスコ大佐の辭職を希望してゐるが、一方ヴェラスコその他ペロン派は將校連が辭職することを望んでゐる、ファーレル大統領は官選候補なしの自由選擧といふ約束をつぎつぎと破つてゐるといふ事實に鑑み、國家民主黨として知られる保守黨は、廣汎な覺書を内務長官に送り、各地方における警察隊及び干渉者による選擧違犯の數々を指摘した、これらの地方においては官邊は政府資金をもつて公然とペロンのための政治運動をやつてゐる」

特輯

彷徨へる猶太人

原子林二郎

△パレスチナ紛爭再燃

パレスチナ紛爭の歴史は古い、一八九六年祖國を持たず民族でないユダヤ民族がパレスチナの聖地を祖國に化さうと企圖していはゆるシオニスト運動を組織して以來、パレスチナにおけるユダヤ民族とアラブ民族との間の相剋は常に中東の安定を脅かしてきた、第二次世界大戰の間はパレスチナ紛爭が樞軸に對する戰爭を阻害するといふ理由で英國が「休戰」を提案した結果、底でぶすぶすくすぶりながらも表面はことなきを得たが、やがて戰爭が終ると同時に、待つてゐましたとばかりにユダヤ、アラブ兩民族は再び要求を掲げて舞臺の前面に登場、十月から十一月にかけてイエルサレムを初め各地で兩民族間に小競合やテロ行爲が發生し、遂にユダヤ都市テル＝アヴイヴでは大規模の暴動が勃發するといふ緊迫した空氣を醸し出してゐるのだ

英國としても一九二〇年サン・レモ會議でパレスチナを委任統治領として背負ひ込んでこの方、「聖地問題」をどう解決するかといふ難問にまるで夢魔のやうに憑かれてゐたが、急迫した事態に直面して何等かの措置に出ない譯には行かなくなつた、その結果がパレスチナ問題を解決するための米英合同委員會の設置であり、十一月十三日に下院で行つたベヴイン外相の聲明である

△英の聲明藪蛇

ところがこれが反つて藪蛇となつた、ベヴイン外相の聲明は第一にパレスチナ問題を解決するまで暫定的に一九三九年の英國政府白書を基礎として、一ケ年のユダヤ人移住許可數一萬五千に若干の修正を加へて一ケ月の移住許可數を千五百名とすること、第二にパレスチナを信託統治制の下に置くことを窮極の目標とするといふことを骨子とするものだが、この英國政府の方針は國内輿論にすら多大の不滿足を與へ、ロイター記者のジョン・キムチですら次のやうに敢て批評してゐる

ベヴイン外相は完全獨立を標榜するパレスチナのアラブ民族ばかりでなく、バルフオア宣言の空手形を後生大事に仕舞ひ込んで明日の夢を描き續けてきたユダヤ民族をも失望の底に叩き込んだ、失望は簡單に憤激に變はる、かかる聲明を行つて殊更にアラブ、ユダヤ双方を刺戟する位なら、寧ろ恒久的解決策を得るまで默つてゐる方がましだ

パレスチナのユダヤ人をしていはせるならば、一九一七年のバルフオア宣言で、ユダヤ人の祖國を約束しておきながら、相變らずパレスチナ白書の「非合法的」移住許可を維持する英國政府の態度「匡正」し難しといふことになり、アラブ民族をして言はせるならば、依然としてユダヤ人をパレスチナに「密輸入」するならば、一九一五年のマクマホン誓約は英國政府の常套手段たる空手形かといふ譯で、十一月十五日號の「ニューズ・ウイーク」誌によれば

もしも英國がシオニストの壓迫の前に頭を垂れるならば、アラブ民族はサウヂ・アラビアの尨大な利權を含めて回教諸國にある外國石油利權の一切をとり上げるぞと威嚇してゐるといふことである

△米國干渉に乘り出す

藪蛇の直接の結果は去る十一月十四日ユダヤ都市テル＝アヴイヴにおける大規模の暴動と同日パレスチナ全土に決行された二十四時間の抗議罷業だが、さらに世界各國のユダヤ人團體もベヴイン聲明に對する抗議を決議、十一月十九日のUPブリユツセル電によればライン流域に駐屯する英軍のユダヤ人旅團はハンガー・ストライキをやつて英國政府に抗議してゐると傳へられる、また米國はパレスチナ情勢の急迫に直面して米英兩國合同でパレスチナ問題を研究解決する委員會の設置に同意したが、世界一のユダヤ人國たる米國が干渉に乘り出したことは、パレスチナにおけるユダヤ、アラブ兩民族の均衡に微妙な影響を與へるも

のとして、ユダヤ人の側から大いに期待されてゐるやうだ

米國の言論界がパレスチナ問題をみるとき、常にユダヤ人を念頭においてゐることは明瞭だ、たとへば「ニューヨーク・タイムズ」紙は十一月十四日

史上稀にみるナチのユダヤ人鏖殺といふ恐しい犯罪を經驗した文明世界は、恐らくトルーマン大統領とベヴィン外相の聲明に當事者は深刻な幻滅を味つたにも拘らず、多少の慰藉を得たであらう、ナチの毒手を逃れて依然生存を維持してゐる百五十萬のユダヤ流民に對しては、何等かの救濟策を講じてやることが必要だ

と論じ、曾つて大統領選擧で故ルーズヴエルト大統領と覇を競つたジョン・デューイは

パレスチナに對するユダヤ人の入國を無制限に許可することは、人道上からいつても絶對に必要なことである

と述べてゐる、また上院ユダヤ人問題委員會の臨時委員長ケネス・マツケラーは十一月十三日一歩進んで次のやうな意見を吐いてゐる

バルフオア卿の宣言以來、われわれの多くはパレスチナを世界のユダヤ人の避難所とすべきであると考へてきた、特にユダヤ人が虐待されてゐる今日なほさらさうだ、パレスチナは國際聯盟の管理下にあるわけだが、その意味でも同國をこの高尚で正しく且つ極めて人道的な目的のために利用するのは當然のことである、余は最近トルーマン大統領がアトレー首相に要請したやうに、十萬のユダヤ流民をパレスチナに移住させることは、問題の解決に大いに資すると信ずる

△ユダヤ人に加擔

十萬のユダヤ人をパレスチナに入國せしめることは、ユダヤ人の不滿を一應宥和するにしても、アラブ人の不滿をそれだけ增大させる意味で、パレスチナ問題の解決に資するかどうかは疑問だがパレスチナ問題についてベヴィン外相と會談するためにロンドンに乘込んだ元上院議員で現在米國自由パレスチナ聯盟の會長をやつてゐるガイ・ジレットは、十一月二十日、ユダヤ人の利益を代辯して

米英合同委員會の調査を俟たずに、英國は卽時十萬のユダヤ人をパレスチナに入國させるべきだ、猶餘なき行爲は全世界人類の感謝と尊敬をかち得るであらう

と英國民に要請したといはれる

またラジオ解說者のレイモンド・スイングは十一月十三日パレスチナ問題に對する米國の干渉の理由を說明して次のやうな見解を表明してゐる

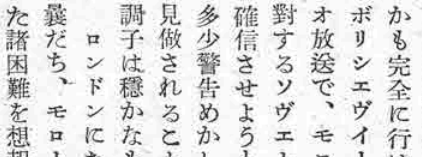
英國のパレスチナ政策を專ら批評してきたのは米國であり、パレスチナをユダヤ人の祖國にせよと要求してきたのも米國である、從つて米國政府がパレスチナ問題の干渉に乘り出すのも當然のことだ、英國は今日までユダヤ、アラブ兩民族に對する相互に撞着する約束を果さうとして無駄な努力を續けてきた、しかしながら新たな處方を發案する餘地がある、卽ちユダヤ人にとつても寬大で正しく、アラブ人にとつても挑發したり彼等の權利を侵害しないやうな處方だなぜならば、ユダヤ人にとつて正しいことが回敎世界を震撼する筈はないし、アラブ民族との友好關係がユダヤ人にとつて危險な筈はない

△困難な解決

しかしながらスイングの希望にも拘らず、アラブ、ユダヤ双方の利益が全く對するパレスチナ問題を兩者平等の利益において解決することが不可能なのは簡單に理解出來ることだ、なぜならば一方の利益がそのまま他方の不利益になるといふ事實は、如何なる場合にも現存する、その意味で、どんな形の解決策でも空手形となる危險が多分にある

米英合同委員會が困難なパレスチナ問題にかかり合つて如何なる成果を擧げるかは、一に懸つて、何時また如何なる方法で問題を解決するかにある、過去の記錄がなにびとにも信賴の種を與へてゐない故に、今回も一般にあまり期待されてゐない

と論ずる「ワシントン・イーヴニング・スター」紙の十一月十五日付社說は單なる忌憂であらうか



ソヴエト政權への疑惑

アーネスト・リンドレー

「ワシントン・ポスト」紙

十一月十一日

△穩やかな調子

チエコスロヴアキア政府の發表によれば、ソ聯と米國とはチエコから軍隊を撤收させることに意見の一致をみたといふことだが、撤收が同時にしかも完全に行はれるとすれば、それは好い兆候だボリシエヴイーク革命記念日の前夜に行つたラジオ放送で、モロトフ外務人民委員が主要聯合國に對するソヴエト聯邦の關係が良好なことを國民に確信させようと努めたことは注目に價する、彼は多少警告めかしいことをいつたし、新たな讓歩と見做されることはなにもいはなかつたが、演說の調子は穩かなものであつた

ロンドンにおける外相會議の決裂を報告するに曩だち、モロトフ外務人民委員は戰爭中に發生した諸困難を想起したが、かうした困難が結局は民主々義大國間の協力關係を强化することによつて解決されたことを强調した、モロトフの演說は、戰爭中に極度の緊張を餘儀なくされたソヴエト國民の不滿を更めて反映したものとワシントンでは解釋されてゐる、この緊張をゆるめる必要があるのだが、ドイツ軍によつて蒙つた甚大な損害は、ソヴエト國民の日常生活を更に困難としてゐる實狀だ

△ソヴエト政權への疑問

更に赤軍の兵士が中歐そして東歐においてすらみてきたものが、「資本主義」世界に對する彼等の人生觀を變へ、かれ等が敎へ込まれてゐたやうにソヴエト政體が最善のものかどうかといふことに疑問を抱き始めたといふ事實がないでもない、かれ等はまた東歐や中歐の國民が共產主義をあまり氣乘りして歡迎せず、ソ聯の占領軍を好いてゐないといふことも見てきたのだ

モロトフ氏は國內再建と國民の生活水準の向上に力點をおきて、ソヴエト政府が以上の點を重要視してゐることを縷々として述べたが、かの演說のこの部分は恐らくソヴエト政體に對する國民の疑惑を拂拭することを狙ひとしたものであらう、國際情勢に關する部分ではモロトフ氏のテーマは「安全保障」であつた、彼はソ聯外交政策の大目的が國民を平和と安全裡に生活させるにあるといふことを國民に確信させようと試みてゐるやうだ

△首腦部の駈引

外國の消息筋はソヴエト國民の間に疑惑と不滿の兆候があるのを認めて、ソヴエト政權の上層部に意見の分裂と對立があると考へてゐる、時折スターリンの權威が從來ほど完璧でないと思はれることがある、たとへば彼の公約を履行させるのに多少の困難がみられるやうだ、併しながら彼の決定が迅速且つ十分に遂行され、以上の臆測を覆してゐる場合もある

かうした事態に直面すれば、理由はただ一つ、卽ちスターリン自身ソ聯におけるある種の傾向に惱み、東歐および中歐におけるソ聯の困難に苦みその結果西歐民主々義諸國の政府首班がよくやるやうに、あれこれと駈引してゐると考へざるを得ない

あるひはスターリンが病氣かどうかは別問題として、彼も本年六十六歲であり、そのため責任の一半を他の者に肩がはりしようと試みてゐると考へられぬこともない、彼は自分が舞臺の前面から退いたときに、彼が信賴してゐる人達に政權をうまく移讓出來るやうに希望してゐるのに對し、野心滿々たる連中がスターリンの後繼者にならうとして畫策してゐると考へるべき充分の根據がある

△粘り强いモロトフ

以上の事實は共產黨首腦部とソ聯國民の間にないかもやもやしたものがあることを示すものだがこのことは米國政府當局をして大部分の問題についてソ聯との間に協定に到達するためには、長期に亘る煩はしい手續を必要とし、忍耐と不撓の意思を要することを確信せしめてゐる、そしてこのことはまた故ルーズヴエルト大統領およびトルーマン大統領が繰返し勸告してゐるところだ

舞臺裏ではモロトフは交涉では恐しく粘り强いといふ評判だ、併しながら國民に對する彼の演說の調子は我々に安心させるものをもつてゐる、彼は協定に到達する決意をもつて交涉に入つてゐるやうだ

昭和二十年十一月廿七日(火)　第二一一號

時事通信　海外電報

近い將來の世界が三つの大きなブロックに分けられるか、または二つの大勢力圈にわかれるかといふ問題は、かかるブロックの對立が人類のために最大の不幸であるといふ考へ方と共に、世界の視聽を集めてゐる、ブロック國家群が生れることは特にアジア人にとつては格別の不幸である、バルカン方面の形勢が、世界の將來の平和のために必ずしも樂觀すべき方向に進んでゐないと同樣、あるひはそれ以上に、東洋各地の情勢は、吾々に不安を與へつつある、佛領印度支那、インドネシア、また印度の今日の有りさまもさりながら、中國の形勢が特にわれわれに不安を與へる、われわれは過去において、中國の統一を妨碍するが如き一聯の過ちを犯して、それが今回の悲慘なる敗北の重大な原因となつたことを悟つてゐるが、日本の良識は常に中國の保全と統一、その獨立を希求して止まなかつた、しかし、一部は日本の過去の過失にも由來して中國はいま全面的內戰の危險に突入せんとしてゐる、それが中國の內戰に止まるならばわれわれは、なほこれを不幸中の幸とする餘地を見出し得るかも知れないが、時代はすでに三國史時代を遙かに後にして、日本の內政が同時に國際問題であるより一層廣く且つ深い意味において、中國の事態は國際的性格を有してゐる、現在、中國に展開されてゐる事態がブロック政治實現への一つの轉機となり、拍車となる要素と危險は極めて多いことは何人にも判つてゐるが、では誰がこの危險を回避せしめるために發意と實力とを行使すべきであらうか、日本が東亞の安定勢力であると自信した時代は既に終り、遠き將來にすら望み得べき夢ですらない、原子エネルギーにリフレーを依賴するのは怖ろしい、神よ、冀くば中國の分裂を救ひ、併せて世界の恒久なる平和を救ひ給へ——と祈るほか途のない世界が、いま眼の前に生れつつあると考へるのは淋しい

【目　次】

ハル、眞珠灣事件で證言……二一四
パーリ、辭表を提出……二一五
ド・ゴール新內閣信任さる……〃
ダマスキノス驩意……〃
埃總選擧執行……〃
芬、百四十億弗の物資を提供……〃
米英經濟協定成立……〃

【歐　洲】

西、駐米大使を召還……二一六
伊自由黨閣僚辭職……〃
伊へ穀類と石炭を供給……〃
覆面ギャング團北伊を橫行……〃
銀行家十一名を逮捕……〃
ソ聯出生率上昇……〃

【英　帝　國】

市從業員罷業に入る……〃

【米　國】

對英四十億弗クレジット案……二一七
陸軍次官補辭職……〃
陸軍補給本部長近く退役……〃
ハルゼー大將も退役……〃
元駐日大使逝去……〃
ダグラス女史、三頭會談提唱……〃
勞働罷業全國に波及……〃

【戰後處理】

極東諮問委員會日本視察……二一八
今次大戰の死傷者……〃
在加日本人の歸國を許可……〃
日系市民收容所閉鎖……〃
英國海軍基地香港へ……〃

【原子エネルギー】

原子力管理を提案……〃
原子爆彈依然製造……〃
原子機關車の可能性……〃

【特　輯】

米紙論調覗き眼鏡（二）……二一九

ウエルター級選手權試合

（ニューヨーク二十三日）ウエルター級拳鬪選手權保持者レツド・コクレンは明年二月一日マジソン・スクウエアー・ガーデンにおいてマーティ・セルヴオとの間に選手權爭奪十五回戰を行ふ契約を結んだ、この勝者は三月二十四日「無冠の帝王」レイ・ロビンソンの挑戰を受けて選手權維持のために闘ふことになつてゐる

ハル、眞珠灣事件で證言

（ワシントン二十五日）ハル前國務長官は二十三日、議會の眞珠灣事件調査委員會において、一九四一年十一月日米兩國間に交換された文書に關し要旨左の通り聲明した

「十一月二十日野村、來栖兩大使は余に提案を提出したが、余も他の政府高官も、陸海軍省の提供した傍受電報によつて、それが日本の最終的提案即ち最後通牒であることを知つた、右提案において日本は、米國が日本の必要とするだけの石油を供給すること、凍結措置を停止すること、對華援助を中止すること、米國の承認してゐる中國政府に對する精神的並に物質的支援を中止すること等を要求し來つた、右提案は日本が軍隊を南部佛印から北部佛印へ移動する旨の條項を含んでゐたが佛印へ送る軍隊の數は制限してをらず、之らの軍隊を日華間の平和回復乃至は太平洋における平和確立の日まで駐屯せしめるか、或ひはその後も續けて置くかの撤收に關する條項も含まれてはゐなかつた、日本軍隊が佛印を除き、これ以上東南アジア乃至は南太平洋へ勢力を伸ばさない旨の條項はあつたが、佛印北方のアジア地方、即ち中國ソ聯領土において日本の侵略活動の繼續乃至は新行動を防止し得るごとき條項はなかつた、即ち同提案には日本が侵略を拋棄して平和的方針に復歸するを保障する何物も含まれてゐなかつた、われわれは別の傍受電報によつて、日本は如何なる讓歩をなす意思も持たぬことを知つた、而してこの事實と十一月二十一日、來栖大使が余に與へた日本政府は之以上の提案はなし得ない旨の聲明とによつて十一月二十日の日本側提案は、余が既に述べた通り事實上絕對的最後案であつたといへよう

△侵略と防衞

問題は日本が征服といふ宣言濟の行動において讓歩するか、それともわれわれが太平洋において全世界において立脚する基本的原則を讓歩するかであつた、一九四一年の夏までわれわれは日本が武力擴張方針を續けるべく決意してゐることにかなり得心してきたが、われわれは彼等が欲するままに何時でも何處へでも攻撃を加へるだらうことを知つた、十一月二十日の日本側提案を受諾することは到底考へ得られぬことであつた、それは征服と侵略、そしてヒトラーとの協力といふ日本の計畫に對し米國が日本の同盟國となるを意味する米國が原則と政策を拋棄することは日本の要求に屈服することを意味する、それは脅迫に對するわれわれの地位の恥づべき降伏を意味する、十一月二十八日軍事會議の席上余は「余の意見では日本はいつ征服の新行動を爆發させるかも知れない」と述べ、國家保安を防衞する事柄は陸海軍の手中にあることを强調した、適當なる參考資料を擧げて、余は、わが國の如何なる軍事的防衞計畫も、日本が戰略の中心地點に奇襲的攻撃を加へ、これと同時に防衞、調整を不可能ならしめるため各地點を攻撃するかも知れぬといふ想定を含むべきであるとの見解を表明した、十二月二日、故ルーズヴェルト大統領は、佛印に對して日本軍の行動が續いてゐる理由に關し野村大使並びに來栖大使の說明を求めるやう指命した、十二月五日、日本大使は十二月二日附ルーズヴェルト大統領の照會に對する回答を提出したが、その中で日本軍の佛印增强を隣接中國領土の中國軍に對する豫防的措置として尤もらしく說明してあつた、十二月六日、ルーズヴェルト大統領は日本天皇に親電を發し、情勢の「悲劇的發展」を避けるやう要請した、そして十二月七日日本は眞珠灣を攻撃したのである」

△第二ミュンヘン會議を回避

一方同氏は上述せる重要二文書の交換に至るの事件に關する報告文書において次の通り述べた

「ルーズヴェルトと近衞首相を會見させようとする日本側の提案は考慮されたが、同提案は日本が會談によつて實質的なものを成就することが出來るといふ保障を與へなかつたために拋棄された數ケ月に亘る期間中、日本側は征服の方針を拋棄せんとする意圖を何等示さなかつた、會談が閉め切りとなつた結果として、われわれは日本が平和的方向に動くといふ目的の明瞭な證據を出さうとしない限り、近衞との會談は單に第二のミュンヘン會議として終るか乃至は全く何物も得られないといふ結果として終るか、何方かだといふ事實を知つた、余は第一のミュンヘン會議に反對したが第二のミュンヘン會議にも反對したのである」

昭和二十年十一月廿七日(火)
第二一號

時事通信

海外電報

無断複製模倣禁止

パーリ、辭表を提出

(ローマ二十五日)イタリア六政黨聯立內閣首班フェルシオ・パーリは、右翼キリスト民主黨以下の離反のため二十五日辭表を提出した、パーリの決意は二十五日朝の閣議において、右翼に屬する閣僚が現內閣支持を放棄する旨通告したことに原因してゐるが、內閣の危機は先週右翼から、內閣を擴大して無所屬長老政治家をも入閣せしむべしとの要求があつたのに對し、パーリが反對したことに事端を發したものである、內閣改造論を唱へてゐたのは自由、民主勞働、キリスト教民主の三黨である、後繼內閣首班としては元首相ヴイト・オルランドの呼聲が高く、このヴエルサイユ會議のイタリア代表だつた八十歳の老政治家は、二十六日シチリアの故郷から久方振りにローマ入りをする豫定であるが、左翼各派は共同戰線を張つて右翼の攻勢に對抗するものと思はれ、イタリアはパーリ內閣出現當時の困難に再び當面すると解される

ド・ゴール新內閣信任さる

(パリ二十五日)フランス憲法議會は二十三日、ド・ゴールの新臨時政府を滿場一致信任投票したがド・ゴールは新政府の政綱として、信用制度、電氣事業、保險等の國營化、國際協調の强化、行政司法制度の改革、原子エネルギーの國際管理主張等を掲げる施政方針演說を行つた

ダマスキノス駐土大使

(アテネ二十五日)二十三日テムストクレス・ソホウリス新內閣成立と同時に辭表を提出したギリシヤ攝政ダマスキノス僧正と政府との間には、留任問題についての折衝がなほ繼續されてゐたが、ダマスキノスは、攝政の地位を强化して政府閣僚の選任に一層の發言權を有せしめるやうにすることを條件に辭意を飜したといはれる、新首相ソホウリスは二十四日、英外相ベヴイン、ギリシヤ派遣英特使ヘクター・マクネールに對してダマスキノスの飜意につき助力方を要請した、一方英公使サー・レジナルド・リーパーは二十四、五兩日、ダマスキノスを訪問して、懇談を遂げたが、飜意方を勸告したものと解されてゐる

二十三日ダマスキノスは新首相に對して、辭意をロンドンにあるギリシヤ國王ゲオルギエスに傳達するやう再度要請したが、同時に英特使マクネールはラジオを通じ、ギリシヤ國民に對して、英外相ベヴインも彼自らも、ソホウリス新內閣を「選任」したことも、强制したこともないと釋明した

墺總選擧執行

(ウイーン二十五日)オーストリアでは二十五日十五年振りで中央、地方兩議會の總選擧を執行した、總選擧の結果如何に拘らず、レンナー聯立內閣の存續は既定事實と解されてゐる

芬、百四十億弗の物資を提供

(ストツクホルム二十五日)フインランド管理委員會は二十五日次の通り發表した

フインランド政府は、ソヴエト聯邦との休戰協定に基き、戰時ソヴエト領土からフインランド人が持ち去つた資產を返還乃至代位させるため一九四六年末までに價格百四十億弗の物資をソヴエト聯邦に提供する

米英經濟協定成立

(ワシントン二十五日)ケーンズ卿を首班とする英國の經濟使節は數週間に亘り、米國政府當局との間に經濟協定案について交涉を重ねてゐるが、APの報道によれば二十四日までに交涉は略々纏り、英國代表團は十一月三十日ニューヨークを出帆するクイーン・メリー號に部屋をとつたと傳へられる、英國政府が用意すれば、二十八日前後協定調印の段取だが、協定の要旨についてAPは次の觀測を傳へてゐる

一、米國は貸與協定打切りのため、英國に對し總額三十五億弗の借款を提供する

一、英國は當初無利子借款を要請、次いで一分以下の利拂ひに同意、最後には二十億弗だけは二分利とし、別に同額無利子の借款を要求した、今回の取極めは結局米英兩國の妥協案に落ついてゐる

【歐　洲】

西も駐米大使を召還

（ニューヨーク二十三日）スペイン政府は駐西米國大使ノーマン・アーマーの辭職發表と時を同じくして、同國の駐米大使ホアン・フランシスコ・デ・カルデナスに對して歸國を指令した、「ニューヨーク・タイムズ」紙のマドリード電報によれば、カルデナス大使は米國が新駐西大使の任命を保障するまでワシントンへの歸任を延期するだらうといはれる

伊自由黨閣員辭職

（ローマ二十三日）ロイター報道によれば、二十二日の閣議において自由黨出身の閣僚は現首相フエルチノ・パーリの辭職を要求したが、共產黨及び社會黨は行動黨と聯合して右要求に反對した結果、自由黨閣僚は辭職したと傳へられる

伊へ穀類と石炭を供給

（ローマ二十三日）アンサ通信社がイタリア官邊筋から得た情報として報道するところによれば、米國務省はイタリアに對し、一九四六年一月から毎月穀類二十四萬八千噸、石炭五十萬噸づつを供給することに決定したと傳へられる

覆面ギヤング團北伊を橫行

（ローマ二十三日）アンサ通信社の報道によれば覆面のギヤング團が北伊を暴れ廻つてをり、トリノ市近くのヴイラルバツセといふ村では、近代的自動火器で住民を脅しつけて村中をかき廻はした後男子十名を連れ去つたといはれる、トリノ市の警察隊は捜査を開始したが、四日前にはギヤング團はトリノ市東南百七十哩に所在するカジオ・モンターノ村に現れ、六時間に亘つて銀行及び民家から掠奪したと傳へられる

銀行家十一名を逮捕

（フランクフルト・アム・マイン二十三日）米軍司令部は既にドイツ銀行家二十一名を逮捕してゐるが二十二日に至り米軍占領地帶六銀行の幹部十一名を逮捕した

ノルウエーでも裁判

（オスロー二十三日）ノルウエー國内で英人並びにノルウエー人俘虜に對し殘虐行動に出たドイツ人は、二十八日からオスローで開廷される英諾兩國の混合裁判に付される

ソ聯出生率上昇

（モスクワ二十三日）ソヴエト情報局の發表によればソヴエト聯邦では三人以上子を持つ母親に賞金を與へるといふ一九四四年度の政府命令の結果今年度は三割五分の出生率上昇をみたといはれる實數は發表されてゐないが、戰前の出生率は世界でも最高の部類に屬してゐた

【英　帝　國】

市從業員罷業に入る

（カルカツタ二十三日）印度國民軍の公判再開に反對する學生團によつて開始された暴動は、第三日に入り、カルカツタ市從業員二萬が罷業を決行同市は蜂の巢をつついたやうな狀態に陷るに至つた、暴動は既にすくなくとも死者十五名負傷者百五十名を出したがその中には十二名の米兵も含まれてゐる、かくて同市は重要任務に就くもの以外は米兵の出入を禁止した、交通系統は市從業員が罷業する以前に既に痲痺狀態に陷つたが、揚水器從業員も罷業に參加したために、水の供給も不安な狀態におかれるに至つた、從業員側では基本給の增額、全從業員に對する厚生的援助等を要求してゐる模樣だ、ベンゴール州知事ケーシーはラジオを通じて印度人指導者に懇へ、大學生の示威運動に端を發する今次騷擾の鎭壓に努力するやう要請した、一方ベンゴール州國民會議派の指導者サラト・チヤンドラ・ボースも學生、市民に對して秩序回復を要請すると共に今回の騷擾は國民會議派運動を妨害せんとする妨害行爲者、離間工作者の策謀であるとしてこれを非難した

昭和二十年十一月廿七日(火)
第二一號

時事通信 海外電報

第三種郵便物認可

【米國】

對英四十億弗クレジツト案

(ワシントン二十三日)英國當局の言明によれば數次に亘る米英財政會議の結果四十億弗のクレジツトを英國に與へるといふ米國側の提案がロンドンに送達された、同案は三十五億弗を二分の利子で純貸付とし、五億弗を二分三厘八毛弱の利子で貸付けるが、後者は對日戰勝利の日以後に輸送された物資に對する武器貸與勘定の決濟に使用されるものである、米官邊筋の言明によれば、英國は五年間は元利の支拂を猶餘され、五十年間でこれを返濟することになつてゐる

陸軍次官補辭職

(ワシントン二十三日)ホワイト・ハウスは二十一日、陸軍省航空次官補ロバート・ロヴエツトが十二月八日付をもつて辭職する旨發表した

陸軍補給本部長近く退役

(ワシントン二十三日)陸軍省は二十一日次の通り發表した

陸軍補給本部長ブレホン・ソマーヴエル大將は近く退役することになつた、同大將は最近ウエスト・ヴアージニア州のアシユフオード陸軍病院で手術を受けたが、同病院から退院次第退役することになつてゐる、ソマーヴエル大將は去る九月、マーシヤル元帥が參謀總長を辭職する際現職を引き度いとの希望を表明してゐたものである

ハルゼー大將も退役

(サンフランシスコ二十三日)第三艦隊司令長官ウイリアム・ハルゼー大將は退役して、後任にホワード・キングマン少將が任命された

元駐日大使逝去

(フイラデルフイア二十三日)一九一七年から一九二一年まで駐日大使を勤めたロランド・モリスは二十三日フイラデルフイアにおいて逝去した

ダグラス女史、三頭會談提唱

(ワシントン二十三日)民主黨下院議員ヘレン・ダグラス女史は二十三日下院において米國は英ソ兩國を原子爆彈三國會談に招請すべきだと論じ、次の通り述べた

われわれは原子を分裂せしめることは出來ても三大國を分裂せしめることは出來ない、管理問題を國際聯合の委員會に委讓することを提案する、米英加三國の共同聲明は十分ではない、さうした委員會は有益かもしれないが、三大國の直接交涉の代用とはならない點で不十分なことしか出來さうにない

勞働罷業全國に波及

(ニューヨーク二十三日)ジエネラル・モータース會社のCIO系自動車勞働組合所屬勞働者は三〇%の賃金引上げ要求をもつて二十一日から總罷業を開始したが、組合當局の言明によれば組合員の九六%までが既に罷業に參加し罷業勞働者の數は三十萬を超えたと推定され、全米にわたるジエネラル・モータース社の工場がほぼ操業停止の狀態に陷つた、事態の重大化にシユウエレンバツク勞働長官は調停に乘出し、勞資代表とワシントンで會談するやう申出てゐるが、一方CIO側はこの罷業支援工作を開始、デトロイト、ニューヨーク兩市のCIO系勞働組合は罷業援助資金の募集を開始、その他大都市のCIO系組合もこれにならふものと見られる、米國における軍需再轉換の影響が漸く經濟の各層に滲透するに伴ひ米國の勞働不安は次第に深刻なものとなつてゐるが、ジエネラル・モータース社以外にも全米各地に大小の罷業發生、罷業勞働者の數は米國全體で五十萬にも達すると推定されるが、主な罷業次の通り

一、ワシントンの交通會社勞働者の罷業により全市の交通機能が麻痺狀態となつたので、政府は遂にこれを接收した

一、イリノイ州電話從業員は四日前から罷業を開始したが、この罷業は全米の電話從業員による總罷業にまで發展する形勢濃厚となつた

一、モントゴメリー・ウオード通信販賣會社從業員約七萬五千は會社當局が爭議調停を拒否したので、來る二十六日から罷業開始に決定した

【戰後處理】

極東諮問委員會日本視察

（ワシントン二十三日）極東諮問委員會當局は二十三日次の通り言明した

諮問委員會は二十三日日本管理に關聯する幾多複雜なる諸問題を純學究的雰圍氣のうちに詳細に論ずることは誤りなりと決定した、從つて委員會は近き將來に日本を訪問して聯合軍最高司令官と協議し、現地の情勢を體驗することこそ賢明なりと論議一決した、その目的をもつて委員會は書記長ネルソン・ジョンソンに對し委員會においてもマツカーサー元帥においても滿足するごとき視察旅行の手配につき米國政府に要求することを命じた

今次大戰の死傷者

（ヴアチカン・シテイ二十三日）ローマ法王廳の計算によれば、第二次世界大戰は死者二千二百六萬、負傷者三千四十萬を出したといはれる

在加日本人の歸國を許可

（オツタワ二十三日）カナダ勞働相ハンフレー・ミツチエルは議會において

マツカーサー元帥は目下カナダに在る日本人を船腹狀態が許す時はいつでも本國へ歸すことを許可するであらう

と言明した

日系市民收容所閉鎖

（サンフランシスコ二十三日）戰時收容所當局は二十三日、戰爭中約八千名に上る日系市民を收容してゐたマンザール收容所が二十二日をもつて閉鎖されたと發表した、さらにアリゾナ、アーカンソー兩州にある收容所も十二月一日をもつて閉鎖される豫定であり、またツラ・レーク收容所は明年二月に閉鎖されることとならう

英國海軍基地香港へ

（キヤンベラ二十三日）チーフレー濠洲首相は十九日英國太平洋艦隊基地並びに補給施設が明年中には濠洲からシンガポール及び香港に移動し得る旨發表した

【原子エネルギー】

原子力管理を提案

（ワシントン二十三日）バーンズ國務長官は二十一日新聞會見において次の通り言明した

余は原子力管理に關する提案が一月二日から七日まで開催される國際聯合準備委員會によつてとり上げられるだらうと考へてゐる、國際聯合の規約に從へば、この問題は安全保障理事會でもまた總會でもとり上げられ得ることになつてゐる、提案は恐らく米英加三國政府によつてなされる筈で、佛、ソ、中國を含む六ケ國提案とする計畫はない、目下のところ原子爆彈に關して双務協定を確保せんとする計畫はない、トルーマン大統領、アトレー首相、マツケンジー＝キング首相による共同聲明は各國に送達されたが、回答は要求されてゐない

原子爆彈依然製造

（ワシントン二十三日）トルーマン大統領は二十日の新聞記者會見において、米國は依然實驗の目的のために原子爆彈の製造を繼續してゐる旨發表し、同時に米英加三國が現在平時目的における原子力計畫の完成に努めてゐることを言明した

原子機關車の可能性

（ニューヨーク二十三日）技師ラルフ・ルーカスは十五日水銀、鐵粉及び黑鉛をもつて一年三十五弗の費用で走るといふ原子機關車の可能性について次の通り語つた

機關車第一號は一月に出來上る、水銀と鐵と黑鉛で帶磁性流動體が作られ、この混合物を電子射出器で刺戟すると五十萬封度にも達する大きな壓力が生ずる、自分は水銀と鐵粉の原子を分解し、タービンを驅動するエネルギーを放出することに成功した

昭和二十年十一月廿七日(火)
第二一號
時事通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

米紙論調覗き眼鏡(二)

佐藤剛

さてこの覗き眼鏡屋めが下手な口上長談義、勝手な私見を述べたてる、その上時には說教顏、ああ氣障できいてはゐられない、知つたかぶりして讀を書くと却つてお客に嗤はれる、生兵法は大怪我の元、早く足を洗ひたいが、これも浮世を渡る方便、しがない覗き眼鏡屋であつてみれば、東西の皆樣、なにとぞおめこぼしを願ひまする

△マツカーサー元帥の手際

いまは四等席から世界の舞臺の立見をしてゐるわれわれにしても、あまりあからさまに自分を批判するせりふが聞えては少々耳が痛い、ましてすつかり民主々義になりすましたつもりの方々が、お前はまだ本當に判つてをらんと言はれるとあつては、先生に叱られる小學生みたいで誠に御同情に堪へぬ、けれども隱しても仕方があるまい、米國の輿論はマツカーサー元帥の日本管理政策の成功は認めつつも、われわれ日本人のそれに對する反應にはまだまだ不滿のやうだ

日本管理政策の源はワシントンに發する、そのワシントンで最近米英華佛をはじめ十ケ國の代表が集つて極東諮問委員會の會議を開いた、ソ聯が日本の共同管理を主張して參加しなかつたため、會議は公式のものであり得なかつたが、大體の空氣は米國の政策の全面的支持であつた

「ワシントン・イヴニング・スター」紙(十六日)モスクワが依然として日本處理にベルリン式聯合國管理委員會の設置を主張するのは不幸である、しかしこの問題に對する米國政府の立場は極めて論理的且つ健全であつて、根本的修正の要はないやうに思はれる、特に現在のやうにあらゆる點から見てマツカーサー元帥が占領といふ困難な仕事を感嘆すべき精力と手際で指導してゐる時期にあつてはなほ更である

「カンサス・シティ=ミズーリ=タイムズ」紙(十七日)極東諮問委員會が米國の指令を通じて日本に適用されてゐる根本的諸政策を非公式に承認したのは、まことにさもあるべきであつた、日本を占領し、日本人を武裝解除し、同時に基本的諸改革に着手したマツカーサー元帥の手際は頗る鮮かであつた、ソ聯ですら理論的反對しか試み得ず、現實の問題については不平を鳴らす餘地を發見出來なかつた

△だが油斷はならない

しかし米國輿論は現在までの成功を將來に對する完全な保障とは見てゐない、軍國主義復活を警戒する監視の眼を逸らしてはゐない、日本の航空活動を禁ずるマツカーサー元帥の指令は徹底したものであつたが、それについての米紙論調は更に徹底してゐる、十九日の「ニューヨーク・タイムズ」紙は「日本は輸送に關する限り、ライト兄弟がキツテイ・ホークで初めて試驗飛行に成功した日より前の時代に逆戻りすべきだ」と論じた後、かう附け加へてゐる

かくも廣汎な指令の下に在つては日本は航空に何等の將來も持ち得ぬやうにみえるであらう、しかしあらゆる軍事命令同樣この指令の實施もまた不斷の監視に俟つところが多い、忘れてはならぬ、第一次大戰後のドイツにも類似の强制が課されたにも拘らず、第二次大戰に際しドイツは世界最强の空軍を提げて立ち現れ、危く一擧に勝利を占めるところであつた

「シラキユーズ・ポスト・スタンダード」紙(十九日)も日本國民は山下大將の公判で暴露された事實と同樣の殘虐行爲を犯したと述べ、奴隷的狀態に在る日本國民を解放し自由を與へる方法を列擧した上、次のやうに結んでゐる

マツカーサー元帥の方式には、以上の原則の大半が盛られてはゐるが、われわれは仕事が完全に終る前に關心を緩めたり、喪つたりする誤を繰返してはならない

△レールを敷いても汽車は走らぬ

マツカーサー司令部が鮮かな手際を見せてゐるといふことが、直ちに日本が民主々義に向つて急行列車のやうに驀進してゐることにはならない、聯合國はレールを敷くだけで、運轉は日本人がしなければならない、機關手が下手でまごまごしてゐると、中のお客は迷惑するし、はたから見てももどかしい

極東通として毎週一回桑港から放送してゐる米

國上院議員エルバート・トーマスの十六日の論評を聞いて見よう

これまでのところ日本政府で最も勢力を振つてゐる高位の人々は、軍國主義の粉碎、或ひは自治の促進を行ふ能力も意圖も示してゐない、かういふことを言ふのは愉快ではないが、冷やかな現實は他のいかなる解釋をも許さない、不言實行の逆、これが日本のいふところの自由主義への進歩の特徴である、新しい憲法が約束されてゐるが、起草者は自己の進言する變革の內容について漠然たる發表しか行はぬ、選擧權は擴張されたが、これは占領軍から直接命令が出た結果に過ぎない

內大臣や貴族院等の權限に僅かな重要でない修正を加へるだけでは、徹底した民主々義を求める人々を滿足させない

かういふと政府だけが攻擊されてゐるやうだが、さうでもないやうだ

最近雨後の筍のやうに現れた政黨も、一つとして日本の政治制度に重要な變革を齎すやうな綱領を發表してはゐない、殆どすべてが事實上昔の儘の權力を伴ふ天皇制を支持してゐる、成程二、三の政黨は、例へば土地法や勞資關係について多少の改革を提唱した、またどの政黨も口先では日本が實行を誓約した民主々義を支持するといふ、だが根本的改革について遠大な綱領を公然と發表した政黨は一つもない

社會主義者は如何？トーマス議員は續けるいはゆる「急進主義者」を含む他の指導者は、急に口數が多くなつて來たが、現在の日本の要求にピツタリ合ふかどうか判らぬ古いスローガンや、昔のままの政綱に依存してゐるのを見れば、かれ等に實行力のないのは明かだ

日本は強い精力的な指導者達を必要とする、それは最近の轉向によつて民主々義に忠實となつた人達であつてはならぬ、はつきりした自分の考への下に行動した長い經歷によつてその誠心誠意が證明された人でなければならぬ、それは過去に軍國主義的侵略に斷乎として反對した人々であるべきだ、出來得べくんば、日本が隣國に加へた不正に對しても敢然と戰つた人々であつて欲しい

何十年かを獄中に暮し、侵略戰爭反對を唱へて轉向しなかつた共產主義者がこれにあてはまるであらうか？だがトーマス議員は警告する

勿論これらの指導者は國內或ひは國外の利己的利益を促進する手段であつてはならない、また國民の一階級の狹い利益を代表するものであつてもならぬ、眞の民主々義的指導者とは國民の各層の基本的要求を理解し、いかなる一派或ひは一黨にも左袒することなく、萬民に正義と機會の均等を保障せんとする人である

「かういふ「人材」は勿論稀にしか見當らないが今日の日本の指導者達はこれを求める努力もしないし、そのための制度を作らうともしてゐない」とトーマス議員はいふ

△この冬はどうする

一わたり皆總ざらひに批判されてゐるのだから自分だけ惡いのではない、などと思つてゐると笑ひ事でなくなる、線路を敷いても汽車が走らなければ、すきばらを抱へた乘客は目的地に着かぬうちにこごえ死ぬ、どうせ今にもつと騷しくなれば助けて呉れるだらうなどと蟲の良い考へでゐると當てがはずれたら大變だ、食糧と燃料の輸入に關する日本側の要請について「スー・シテイ・ジヤーナル」紙（十五日）はかういつてゐる

日本の窮狀は絕對的でこの冬多數の國民が死ぬのを防ぐにはどうしてもこれらの必需品を輸入することが必要だ、しかし物資豐富な米國にとつても日本を援助するのは容易の業ではない、われわれは確かに多くの食糧を國內に持つてはゐるが、聯合國もまたまた歐洲で同樣な窮狀に陷つてゐる數百萬の人間を抱へてゐるのであつて、必需物資が皆に行き渡るといふわけには行かない

われわれは曾ての敵とその犧牲者を援助すべく色々努力してゐるが、日獨兩國は世界の誰が見てももう敗けると判つた後にすら侵略戰爭を續けることによつて、自分からこの問題に作り出したのだ

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　桂田增三　東京都麹町區日比谷公園一ノ一　時事通信社

昭和二十年十一月廿八日(水)　第二二號

時事通信　海外電報　(22)

世界の焦点

國際聯合機構は二十四日の執行委員會をもつて一應下準備を完了、二十五日からは準備委員會が開催され、二十六日には常任議長の選任をみた、この準備委員會は桑港會議で國際憲章と共に五十ケ國代表の署名を得た中間機構に關する取極めに基いて五十一ケ國の代表をもつて構成され、國際機構の機關即ち總會及び安全保障理事會の第一回會議を準備する任務を有する、第一回總會は明年一月開催される豫定で、去る八月終戰以來最初の本格的國際會議がここに成立するわけだ

初總會は凡ゆる意味で期待されてゐるが、關心の焦點はいふまでもなく原子時代において國際機構の役割が果して機構設計當時と同じやうに遂行されるかどうかにあり、英國のイーデン前外相の提唱せるごとく安全保障理事會の常任理事國全員一致方式（所謂拒否權）の廢棄も問題になるだらうし、米英加三國の原子爆彈共同宣言中の主眼たる「原子エネルギーの破壞的目的における使用を一掃し、工業的人文的目的における最も廣汎な利用を促進する最も效果的な手段を得るためには、吾人は出來得る限り早い時期に、國際聯合機構への委讓の提案を準備する委員會を國際聯合機構の下に設置すべきだとの意見」も當然議せられるにちがひない

原子時代には原子エネルギーの絶對的破壞力に對する恐怖と、動力源としての原子エネルギーの革命的生產力への希望とが交錯してゐる、しかしながら生產力としての原子エネルギーへは今後なほ少くとも十年の歲月が必要だと稱せられる、從つて現在の原子問題は破壞力に對する安全保障措置、即ち原子爆彈製作の祕密の管理保持或ひは戰爭の絶對防止にあるわけだが、前者の困難否絶對不可能は既に世界の科學者が證言する所であり、後者の可能性は歷史上何回となく試みられ否定されてゐる、原子戰爭の脅威がいかに解決されるかは米英對ソ聯の微妙な關係の成行と共に全世界が初總會に期待する最大の議題であらう

スプルーアンスの後任任命

（ワシントン二十六日）ニミツツ元帥の後任として太平洋艦隊司令長官兼太平洋方面軍司令官に就任したスプルーアンス大將の後任としてデユイツト・ラムゼー少將が太平洋艦隊副司令官兼太平洋方面軍副司令官に任命された

【目　次】

モントルー協約改訂を提案……二二二
墺總選擧で左翼大勝……〃
リユクサンブールに新內閣……〃
佛、產業革命案上程……〃
伊政變急速解決か……〃
洪羅關稅同盟近く成立……〃
歐洲流民の處理狀況……〃
自動車工業五ケ年計畫……〃
朝鮮を繞る米ソ關係……二二三
アンラ西南太平洋部長朝鮮へ……〃
米再轉換順調に進捗……〃
米英共同で說明を求む……〃
【西　亞】
米國政府說明を要求……二二四
イラン、國民會議獨立を要求……〃
モロトフ外相折衝……〃
【歐　洲】
佛產業革命に第一步……〃
【原子エネルギー】
英國共產黨警告……〃
第一回總會に原子問題登場か……〃
【特　輯】
トルーマン大統領と賃銀物價政策……二二五
【資　料】
大統領國民保健計畫提唱……二二八

準備委員會議長決る

（ロンドン二十六日）國際機構準備委員會は二十六日第二回の會議においてペルー駐劄コロンビア大使エドアルド・ズレタ博士を滿場一致常任議長に選任した、新議長は一月の第一回總會のための準備が完了するまで四十七ケ國代表の先頭に立つて委員會の任務を遂行することになつてゐる

モントルー協約改訂を提案

（ロンドン二十六日）英國外務省當局は二十六日記者團との會見で次の通り言明した

英國政府は、ダーダネルス海峽に關するモントルー協約を早期に修正することを示唆した通報をトルコ政府に通達した

埃總選擧で左翼大勝

（ウイーン二十六日）十五年振りに二十五日執行されたオーストリアの總選擧は現在まで判明したところ

社會黨　五二七、〇〇〇　共産黨　七四、〇〇〇

カトリック人民黨　三一一、〇〇〇

の得票を得て、社會黨の大勝と併せて、左翼が壓倒的に進出する結果をみた、投票も有權者の九割に達し、上オーストリア等では投票締切時間を延期したほどの好成績をあげた、以上の得票を議席數について見れば

カトリック人民黨　八〇　社會黨　七二

共産黨　三

で、カトリック人民黨が完全にリードしてゐるが左翼三派間には共同戰線が約束されてゐるので、現在のレンナー内閣の運命には何等變更はないと見られてゐる

リユクサンブールに新内閣

（ブリユツセル二十六日）ブリユツセル・ラジオによれば、リユクサンブールの國王シヤルロツト太公は二十六日キリスト教民主黨々首ピエール・デユポンに内閣組織を命じた、デユポンは先月總選擧前の首相で、キリスト教民主黨は下院五十の議席の半ばを有してゐる

佛、産業革命案上程

（パリ二十六日）フランスが國家社會主義への第一歩を踏み出す革命的産業改革案はいよいよ二十七日議會に提出、二十八日から討議に入るが、先づ俎上にのぼるのは信用制度、電力の國營計畫で社會黨、共産黨とも夫々自黨案を有してをり、政府案は重大修正をうけることが豫想され、討議は白熱化すると見られてゐる、電力國營案は現存の私設會社を政府で接收するといふだけで、極めて手續きは簡單であるが、信用制度の國家管理については技術的な諸困難を伴ひ、議論百出が豫想されてゐる

伊政變急速解決か

（ローマ二十六日）イタリア國監ウンベルトはパーリ内閣の辭職につき六大政黨の首領と會見、意見を徵したが、元首相のヴイツトリオ・エマヌエル・オルランドのローマ入りと共にこの第一次大戰當時の今八十五歳の老政治家が組閣を委囑されるだらうとの說が一層濃化してゐる、キリスト教民主々義を初め右翼自由、勞働民主黨はオルランドの組閣に異議はないが、問題は共産黨の態度にあるとされてゐる、但し、共産黨も過表の行動から判斷して必ずしもオルランド内閣に反對とは限らず、もし同黨の支持があれば新内閣は急速に成立し、來るべき總選擧に臨み得るものと解される

洪羅關稅同盟近く成立

（ロンドン二十六日）BBC放送によればルーマニア首相ペーテル・グローサは二十六日ハンガリーとルーマニアは關稅同盟を形成するだらうと言明したといはれる

歐洲流民の處理狀況

（ワシントン二十六日）アンラ理事長ハーヴアート・レーマンは

聯合國救濟復興委員會は五百二十五萬の歐洲流民を歸國せしめた、殘餘の百二十五萬の内六〇パーセントはここ二、三ケ月中に歸國出來るであらう

と發表した

自動車工業五ケ年計畫

（モスクワ二十六日）ソヴエト政府は復興計畫の第一歩として、自動車工業五ケ年計畫を發表したが、AP電報は二十五日次の通り述べてゐる

既にソヴエト政府は自動車工業を四倍に擴大する計畫で、大型旅客用トラツクも計畫してをり乘用車、貨物自動車の双方に當り米英兩國の自動車工業と世界市場で競爭出來ることとならう

朝鮮を繞る米ソ關係

(ニューヨーク二十六日)二十五日の「ニューヨーク・タイムズ」紙社説は朝鮮をめぐる米ソ兩國の關係につき次の通り論じてゐる

「朝鮮において世界における最も強大な國家が直接に接觸してゐる、米ソ兩國がアジアの將來に對する共同責任を引受け、且つその目的においても一致してゐるといふことを示す機會がここに存在するのであり、これこそ世界人口の半ばが住んでゐるこのアジア大陸に測り知れないほどの重大な結果を與へるだらう、然るに不幸にも現在のところではこの兩國間には何ら目的の一致點が存在してゐない、米國の國務省は朝鮮問題などは小さな問題で放つておいても自然に解決するだらうとみてゐるやうだ、しかしこの問題はそんな些末なものではない、かつての日本人統治者達が大部分日本々土に送還されてしまつた今日、進駐軍を撤兵してこの小さな國を二分する狀態を解決することのできないやうな理由はない筈だ、米國は以前にも一度朝鮮を裏切つたことがあるが、これは一九〇五年日韓合併の際、米國が日本の自由行動を默認した時である、今度こそ米國はあらゆる努力を拂つて正義のため朝鮮人に機會を與へてやらねばならぬ」

アンラ西南太平洋部長朝鮮へ

(ワシントン二十六日)アンラ西南太平洋部長フランク・ゲインズは二十五日朝鮮へ向つて空路サンフランシスコを出發した、ゲインズは朝鮮の事情を調査した後シドニーに赴き支部を設置するが朝鮮への途次東京に立寄りマツカーサー元帥と會見する豫定である

米再轉換順調に進捗

(ニューヨーク二十六日)民間人によつて組織されてゐる全米購買者聯合會は二十四日、米國の軍需産業再轉換に關する調査報告を發表したが、その要旨は次の通りで、全體的に再轉換工作が順調に進んでゐることを指摘してゐる

「米國の産業を戰時から平和時に復歸せしめる再轉換工作は、その間勞資關係の紛糾及び物資不足等の困難な問題は存在してゐるが、全體的にみて非常に順調に進捗してをり、僅か數ケ月前に戰後調整に際しての困難な事柄として騷がれた問題の大部分は既に早くも解決されてしまつた、たとへば軍需契約の打切り問題の如きも、當局の迅速な對策によつてほぼ解消したし、餘剩軍需物資も最近市場に賣出されはじめたが、市場に大きな影響は與へてゐない、ただ鐵鋼、繊維、木材その他各種の品目については依然として原料不足狀態を脫してゐないが、これ等の産業がたとへ今すぐ充分な勞力を得ることができたにしても、今後當分原料不足から脫することはできまい

再轉換の前途に最も大きな暗影を投じてゐるのはインフレ問題だらう、このインフレは既に生産原價の昂騰となつて現はれてゐるが、もしこの傾向が是正されないならば、全體として順調に進むものと見透されてゐる再轉換工作も大いに阻害されることとならう」

米英共同で說明を求む

アゼルバイジヤン地方の騷擾に關しては、ワシントン駐劄イラン大使フセーン・アラが再三國務省を訪問、バーンズ國務長官にたいし、赤軍司令官がイラン守備隊の增强を阻止してゐる旨を報告自國の主權擁護のために機宜の措置を講ずるやう頻りに要請してゐたが、ワシントンからのUP電報によれば、國務省當局は二十六日に至り次の通り言明したと傳へられる

國務省は二十三日夜ソヴエト政府に對し、正式通牒をもつて、イラン北部における赤軍の行動について說明を要求し、一九四三年十二月のテヘラン宣言において、米英ソ三國がイランの領土的完整と主權とを尊重する旨公約してゐる事實について注意を喚起した

一方ロンドンからのロイター電報によれば、モスクワ駐劄英國大使サー・アーチボルド・クラーク＝カーもまた、モロトフ外務人民委員に通牒を手交、イラン政府がアゼルバイジヤン地方に兵力を派遣出來ぬ實狀を指摘し、一九四二年一月の英・ソ・イラン三國間の同盟條約について、ソヴエト政府の注意を喚起したといはれる

【西　亞】

米政府説明を要求

（ワシントン二十六日）イラン北部の叛亂事件に關し米英ソ三國の關係は新たな危機に直面するに至つたが、米國政府は遂に二十六日直接モスクワに對して同地方における赤軍の行動について説明を求めたといはれる、ソヴエト聯邦の回答は、果してこの問題が危機の頂上に乘り上げるか、もしさうなるとすればいつ頃かを決定するものとして待たれてゐるが、英ソ兩國はイランとの間に獨立尊重の條約を交してをり、米國も二年前にルーズヴエルト大統領がスターリン議長及びチヤーチル首相と共にイランの完全獨立を保證する宣言を發した時以來イラン問題には適法の關心を有するわけだ、問題の地方は英ソ兩國の國境が殆んど接してゐるところだけに從來から戰後の紛爭が豫想されてゐたところである

イラン、國民會議獨立を要求

（テヘラン二十六日）赤軍の占領したアゼルバイジヤン州の國民會議は中央政府に對し自治を要求すると共にイラン分裂乃至國境變改の意圖はない旨宣言した、イラン政府當局は同地方の運動に外部からの尻押しがあるものとみてゐる

國民會議一派は、平和的に目的を達成するつもりだが必要ならば戰はうと言つてをり、要求は中央政府のみならず米英ソ華四ケ國政府にも通達されるといふ

モロトフ外相折衝

（モスクワ二十六日）外交筋の傳へるところによれば、モロトフ外務人民委員は二十六日アゼルバイジヤン地方の形勢に關しイラン大使と腹藏なく論じ、ソヴエトはイランの主權を尊重する旨言明赤軍が同地方に赴くイラン軍の通過を拒んだとの報に對しては驚いた顏さへしたといはれる

【歐　洲】

佛、産業革令に第一歩

（パリ二十六日）ド・ゴール政府は二十四日憲法議會に對してフランス國軍の根本的改革案を提出したが、右はド・ゴール將軍の年來の主張である空軍の出現による新戰術に對應する國軍の機械化及び少數精銳部隊の編成を目的とするものであるなほド・ゴール新政府はフランス銀行の徹底的民主化を根幹とする金融機關の國家統制强化案を二十七日議會財政委員會に提出する豫定であるが、これは炭坑、保險、その他重工業部門の國營化への第一歩をなすものであり、フランスの經濟産業の革命的變革の第一歩である

【原子エネルギー】

英國共産黨警告

（ロンドン二十六日）英國共産黨書記長ハリー・ポリツトは同黨第八回全國大會において次の通り演説した

ソヴエト聯邦は原子爆彈だらうが何だらうがそんなものに脅迫されることは斷じてない、ヒトラーとチエムバレンのなし得なかつたことは米英帝國主義ブロツクの力をもつてしてもなし得るところではない、英國外交の將來は他のいかなる國際的要素にもましてソヴエト聯邦との關係に依存するところが大きい

第一回總會に原子問題登場か

（ロンドン二十六日）國際聯合準備委員會執行委員會は二十四日の會議で一應議事日程その他の準備を完了し、二十五日第一回準備委員會本會議が開催された、二十六日からはいよいよ國際聯合加盟諸國の全員をもつて國際憲章に基く諸機關の設置が議せられる筈である、英國々務相ノエル＝ベーカーは二十五日の開會式上次の通り述べた

國際聯合は原子力により人類の滅亡を來すことのないやう何らかの措置を講じなければならない、原子エネルギー管理問題は第一回總會に提出されることにならう、世界各國政府が近く科學について何かする義務を國民に對して負つてゐることは言ふまでもない、新たな戰爭を希望し準備してゐる國があると考へるなどは奇怪でもあり不屆千萬なことだ

昭和二十年十一月廿八日(水)
第二二號
時事通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

トルーマン大統領と賃銀物價政策

長谷川才次

ハリー・トルーマン氏がFDRの後を承けてホワイト・ハウスに收つてから戰時六ケ月、平時二ケ月半を經過したが、最近ワシントンからの報道によれば、大統領の人氣が段々落ちてきてゐることは否めない、ギヤラップ輿論調査所が大統領としてのトルーマンの仕事振りに貴下は贊成かどうかといふ質問を出したのに對し、七月には贊成八七%であつたのが、十月には贊成が八二%に落ちてゐる、何故だらうか？　理由の一つとして大統領の旅行好きが上げられてゐるのは、如何にもアメリカ式だ、「ニューズ・ウイーク」誌の調査によれば、就任以來ポツダム會談出席のための旅行をも加へて、トルーマン大統領は二萬二百六十哩の旅程を重ねてゐるが、FDRの里程は大統領就任の六ケ月、即ち一九三三年三月から九月までに三千六十哩、最後の半年即ち一九四四年十月から四五年四月までに二萬三千五百六十八哩といふことになつてゐる、そこでトルーマン大統領は、ノース・カロライナ州並びにジョージア州への旅行計畫、ミズーリ州、テキサス州への旅程等々を一切打ち切り、十二月五日まではホワイト・ハウスで頑張る旨發表して五月蠅い世評に應酬した

△幕僚連も顏色なし

しかし雲霞の辭だけで大統領の鼎の輕重が問はれる譯はない、十月二十九日付「タイム」誌の言ふところを引用しよう

「要するにハリー・トルーマンは朗かでキビキビしてをり、全國民の間に非常に人氣があるが、ワシントン政界筋の判斷によれば、VJデー以來米國民が常に大統領に期待してゐる大膽かつ高邁な指導力をトルーマンは示して呉れなかつたといはれてゐる、勞働戰線における國内の不和を解決もしなければ、聯合國間の國際的不和をも片付けてゐない、「シカゴ・サン」紙は曰く

トルーマン君は人民の善良忠實な公僕にならうと衷心から希望してゐるのだが、今日役立つ公僕となるには、國民に大きな指導を與へることが肝要だ、ホワイト・ハウスが先見の明に乏しいならば、全國民が事態をはつきりみることが出來ないではないか」

「タイム」誌は大統領の幕僚にも批判を加へて曰くジョン・スナイダーが如何程えらい銀行家としても、再轉換長官の仕事があまり大き過ぎることはスナイダーの友達連も認めてゐるところだ國務長官ジェームズ・バーンズはロンドンにおいて慘めにも失敗し、爾來米國の外交政策闇明に殆ど何にもしてゐない、勞働長官シュウエレンバツクは勞働爭議を一つも片付けてゐないし現に勞働長官の仕事が嫌になつてゐると傳へられる

△勞働爭議續出

ロンドン會議決裂以來の米英ソ三國の關係については、既に「米國の外交十二原則」で一應檢討を加へたから、トルーマン大統領の當面する最も大きな國内問題――「ニヨーヨーク・タイムズ」紙は

米國民は過去數ケ月間、至上の國内問題二つに直面してゐる、勞働が現在より多くの賃銀を受取るべきか？　團體交涉で罷業を回避出來るか？

と言つてゐるが、要するに產業上の抗爭（industrial strife）を解決するための賃銀物價政策を取上げよう

勿論戰爭から平和への過渡期間が、勝つた國々においても種々の社會問題を惹き起こすことは言ふまでもなく、米國も決してその例外ではあり得ない、十月二十八日付の「ニューヨーク・タイムズ」紙は「全國を通じて二十三萬九千の勞働者が罷業してゐる」と報道してゐるし、翌日付の「タイム」誌は

炭坑爭議は片付き、ニューヨータ埠頭の仲仕の罷業も解決して十八日の後に船が再び動き出したが、新らしい暗雲が現れ出した、每日新らしい罷業や罷業の脅威が持上る、全國勞働關係局に積み重ねられた爭議をみれば、米國は今後數ケ月に亘つて不良な「勞働天候」を覺悟せねばなるまい

と述べてゐる

果して然らば爭議の焦點はどこにあるのだらうか、再び「ニューヨータ・タイムズ」紙の記述を

借りよう

「VJデー以來十週間、賃銀物價政策についての論爭で、勞働と産業との戰線は明確となつた、戰爭中多數の工場勞働者は一週間四十八時間働いた卽ち四十時間が正規の勞働時間、八時間が時間外勤務だ、長持ちする物資の製造工業—最も重大な爭議が起つてゐるのはこの部門だ—では、平均一週間の收入が、一九四一年一月の三〇弗四八仙から一九四五年六月には五一弗七九仙に、卽ち六九%の增加を示してゐる、尤も稅金にとられる割合もふえてはゐるが、同じ期間に勞働統計局によれば、物價は全般的にいつて約三〇%を一寸出る位上つてをり、またCIOの調査では必須品目に就て四三%上つてゐる、ところが戰爭が終つて一週四十時間制が復活した結果、長持ちする物資の産業部門で、週給は四二弗以下に引下げられた、しかし一九四一年當時に比べれば、勞働統計局の調査による生活費の騰貴に恰度相應する程度の賃銀增加となつてゐる、ところが勞働は一九四一年の水準に復歸することには反對で、この水準にかへれば購買力の減退をきたし、ひいて製造品の市場が縮少しようと主張してゐる、反對に産業は製造品の値段を上げない限り、全般的に賃銀を增加すれば事業による儲がなくなるだらうといふ」

△高賃銀卽高物價？

今米國で「賃銀物價問題」(Wage-price question)と呼ばれてゐる「産業上の抗爭」を具體的に示すために、デトロイトにおけるジエネラル・モータースとCIOの合同自働車勞働組合(UAW)との賃銀交涉の要點を揭げよう

UAWの代表ウオルター・ルーターは記者團との會見で、組合の要求を次の通り述べてゐる

一、週四十時間で戰時における同樣の賃銀を得るために、組合は三〇%の賃銀引上げを要求する

一、戰時における事業の擴張と技術的改善の結果GM社は賃銀を三〇%上げても、製品の賣値を吊り上げずに、正當な利潤を擧げることが出來る

一、若し勞働者の賃銀が戰時の水準に維持されなければ、勞働層は高水準の生産を支持するだけの購買力を持たず、結局不況を誘致しよう

以上の主張に對し、GM社長チヤールズ・E・ウイルソンは次の通り反駁してゐる

一、三〇%の賃銀增加に同意するには、思ひ切つて賣値を引き上げねばならない

一、もし賃銀增額要求に應ずれば、他の工業勞働者も同しく賃銀增加を要求するだらうし、農民は農産物價の引上げを要求し、生産費と一般物價水準が更に上昇することとならう

一、實收(take-home pay)を戰時の標準まで增加するには消費需要の高い戰後期間において四十五時間乃至四十八時間週勞働制を採擇する他はない、勞働時間が長くなれば生産は二〇%增加するから、製品値段の吊上げなしに高い賃銀を拂ふことが出來よう

一、米國民が欲しい物を手に入れるため働かうといふのなら、仕事を少くして賃銀だけふやすといふ「羽子蒲團政策」(feather-bedding principle)は不健全だ

組合代表ウオールター・ルーターは高賃銀は高物價を意味し、高物價はインフレーションを意味するとは巨人的な嘘だ、大嘘を吐くヒトラーの手法にほかならぬと扱き下ろしてゐる

△「再轉換政策」を堅持

爭議が各産業部門に波及するとともに、トルーマン大統領に對し、賃銀交涉の指針となるべき方式を發表して貰ひたいといふ要求が勞働組合からも資本家からも續々出てきた、八月十八日以來米國政府の賃銀政策は所謂「再轉換政策」(Reconversion-policy)で、賃銀を增額してもそれだけ製品の値段を引上げなくていい特別の場合に限つて

賃銀の增額を認めるといふことであつたが、トルーマン大統領は十月三十日東部標準時午後十時からの放送演説で、以上の政策を再確言した後、多數の產業部門では値段を吊り上げずに賃銀の增額が出來るとの所信を披瀝した、同時に一種の免除條項（escape clause）案を發表し、或る會社が賃銀を增加した後利潤を維持するには値段を吊り上げねばならないといふことが判れば、六ケ月の試驗期間の後、政府に値段吊り上げを申請してよろしいと述べてゐる、要するに從來の「物價賃銀方式」を緩和したわけだらうが、この「安全瓣」については解釋が區々だ、物價統制長官チエスター・ボールズは

業界に對し多少の危險を冒かすことを勸告する趣旨だが、免除條項で値段を吊上げ得る限度はいふに足りない（negligible）

と述べてゐるが、業界代表は六ケ月後に値段を上げて貰へるだらうといふことを賴りにして、一とバクチ打つに等しいと不平だ

次にトルーマン大統領の演說を解說しよう

賃銀、勤勞層に對する衝擊を緩和し、充分な購買力を維持し、國民所得を引き上げるためには賃銀の增加が是非とも必要である、今阻止しなければ民間事業界における一ケ年の賃銀俸給總額は、二百億弗以上收縮すると算定されてゐるその結果は誰一人として利益を受けまい、幸ひ現在の物價機構において、事業界全體から見て賃銀を增加する餘地があり、業界は充分に利潤を上げ得る立場にあり、將來の見透しも素晴らしい

大統領の演說は勞働組合の主張を支持してゐると見て差支へあるまい、當局の計算では、一九三五年から三九年まで一ケ年平均米國產業界の利潤は平均二十二億弗であつたが、一九四六年には六十三億弗に上る見込みだ

△大統領は中庸主義

ところが產業界は容易に樂觀論に與しない

一、產業利潤の見透しは一切の要因が好都合に運ばない限り實現しないのだから、見透しを基礎に賃銀を豫め上げることは出來ない

一、賃銀と利潤とは必ずしも相關聯しない

第二點についてはGM社長が

組合は利潤が增加したから賃銀を上げろと言ふが、利潤が減つても賃銀の引き下げに同意しないだらう

と述べてゐるのは、資本家の代表的見解といへよう、但しトルーマン大統領は必ずしも勞働組合の主張を悉く支持しない、寧ろ中道を說いて次の通り述べてゐる

產業界が賃銀を引上げ得る能力には重要な限度あり、前途に幾多の危險と問題とを控えてゐるのだから、勞働もこれを認めなくてはならない

工場再轉換、新な供給源の開拓、不熟練工員の訓練、原料値上りの對策等々、從つて勞働は賃銀增額要求が合理的なやうに心懸ける嚴格な責任を負ふてゐる、過當な要求を出せば、業界は當然上げ得る利潤を失ひ、生產擴充の刺戟を奪はれよう、金の卵を產む鶏鳥を殺してはならない

物價、トルーマン大統領は物價政策について

價格の引上げがインフレーション的傾向ある場合には何を差しおいても戰線を堅持せねばならない、閂をはづし始めたら停止するところを知らぬ結果とならう

と述べてゐる、多少の例外はあるが、米國の物價統制は戰時と殆ど變りなく、しかも右統制は物價安定法（Stabilization Act）が一九四六年六月三十日に滿期失效するまで續けられる見込みだ

以上大統領の演說については勞働組合を支持したとの見方が壓倒的で、タフト上院議員の如き要するにCIOに降伏したに他ならぬと極言してゐる、しかしCIOのフィリップ・マレーがいつてゐる通り、「政府は一體何パーセントの賃銀增加を合理的といふのか分らぬ」のだから、右演說で米國を蔽ふ產業上の「惡天候」を一掃は出來ない

十一月五日からホワイト・ハウスで開かれてゐる「勞働と經營の會議」は、產業上の抗爭解決案について頻りに協議を重ねてゐるが、資料が集り次第會議の經過を報道しよう

資料

大統領國民保健計畫提唱

―ワシントン十九日―

トルーマン大統領は十九日五ケ條より成る國民保健計畫に關する教書を議會に送つた、ホワイト・ハウス當局より發表された教書正文は次の五提案に對する法の制定を要請してゐる

提案第一條＝病院並びに附帶諸施設の建設＝病院及び健康相談所その他諸施設に對しては、必要ある場合聯邦の援助が與へらるべきこと、醫師が近代的醫療を施し得るためにはかかる援助が絶對必要である

提案第二條＝公共保健事業、母子保健事業の擴張＝合衆國政府及び州政府の間にある協同保健諸計畫は聯邦資金增加によつて擴張さるべく國內各地並びに人民各層がすべてその恩惠を享受し得ること、この擴張は特に母子の疾病を豫防し醫療を加へるために重要である、現任合衆國人民の中約四千萬人はいまだに常時開設の保健施設を缺く共同體に生活してゐる

提案第三條＝醫學教育並びに研究＝衞生乃至疾患に關し現在知る所をもつていつまでも滿足してゐるわけには行かない、今後の健康增進の見込は極めて大きい、研究の拂ひ戻しは少くない、專門家教育は進歩と歩調を保つべきだ、合衆國政府の援助認許は研究を補助促進すべく、われわれは疾患をいかに豫防し治療すべきかの知識をいよいよ增すであらう、更に合衆國政府の援助は專門家教育の向上を支持する、特に癌及び腦疾患の病因、豫防並びに治療に關する研究には力を注ぐべきである

提案第四條＝醫療費の前拂ひ＝何人もすべて必要な醫藥、入院その他關係醫療手段を常に享受し得べきである、必要な醫療の費用が、治療を要する患者の道を塞ぐやうなことがあつてはならない

この目標に到達するために義務的國民健康保險制度が提案されてゐる、これは國民の能力の範圍內において國民が健康な身體で働いてゐる間に支拂はれる掛金による醫療費の前拂ひ制度となるのである

これは醫療の社會主義化ではない

前拂ひは醫療費に關する家庭の憂ひを除き必要な場合直ちに醫療を受ける氣持を生ぜしめる、卽ち重疾の豫防にも役立つわけだ

患者は依然醫師の選擇において自由である

醫師も依然自由に患者を拒絶し受け入れることが出來る、病院は從來と同樣自己の業務を繼續し有志諸組織もその機能に應じて奉仕しその報酬を受けるとか、事業經營を助けるとかで保險制度に參加することが出來る

分權的經營により料金とか支拂方法とか醫療手續きとかに必要な地方的調整を加へることも可能であり、醫師や病院は收入の向上と安定を期待し得ると同時に患者も思ひがけなく多額の醫療費を負擔するやうなことがなくなる

提案第五條＝疾患及び廢疾による賃銀喪失に對する保護＝廢疾保險は病氣または永久の無能力に陷つた場合若干の收入を保證することにより、米國の家庭を保護する

大統領は議會に對して卽時かかる保險法の制定を審議することを慫慂した、この五ケ條の計畫案は國民に對して將來の諸問題に應ずる力を與へるであらう、これこそ窮乏からの自由に貢獻するところ甚大なりと思はれるのである

噴射推進發動機最新型二種

（ワシントン二十二日）米國海軍省は二十日海軍の最新型噴射推進式發動機二種に關し次の通り發表した

最新型二種はその馬力と大きさを比すれば世界で一番輕い噴射推進式航空發動機だ、このウェスチングハウス電機會社製發動機は、米國製噴射推進式航空機の發動機として試驗飛行に使用された最初の部類に屬する、「ヤンキー」型は直徑十九吋、飛行速度三百七十五哩時で千四百馬力に相當し「ベービー・ジエット」型は自働操縱航空機用に設計され、直徑僅か九吋半、近代航空機の速度で二百七十五馬力に相當する

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　松田福三　東京都麹町區日比谷公園一番地　時事通信社

昭和二十年十一月廿九日(木)　第二三號

時事通信　海外電報　(23)

デモクラシーといふ言葉は、ヘロドートスの時代から一國の統治權が法律上、一乃至諸特定階級に歸屬せずに、社團の成員全體に歸屬する統治形態を表示するに用ひられて來た、しかし社團の意思が全員一致でない場合右意思と考へらるべきところを平和的に且つ法律的に決定する他の方法が見出されてゐないから、以上述べるところは要するに投票によつて行動する社團において統治が過半數に所屬することを意味する

問題は事實で名前ではない、一部には、共和制とデモクラシーとを混同し、一人が國家の稱號上且つ永續的な首班となつてゐる政體は、人民による政治といへぬとみる向きもあるが、今日においてはデモクラシーでない共和國も澤山あり、英國やノルウエーのやうに君主制でデモクラシーの國もあることを指摘する必要はあるまい、全人民の意思がすべて重要な事柄について貫徹される場合には、あるひは右意見の發動を遲延させる勢力を克服せねばならず時に特定の方式である目的のために行動するやう、右意思が法律上要請されてゐてもそれは依然デモクラシーと呼んで差支へない

余はデモクラシーといふ言葉を舊來の嚴格な意味で用ひ、一定の資格ある市民が住民の大半例へば少くとも四分の三を構成してゐる場合には、之等市民の實體的な力がその投票權と一致するとの前提でこれ等資格ある市民大多數の意思が統治する政體を意味すると解してゐる

勿論デモクラシー並びにデモクラティツクといふ言葉は特定の政體を意味するに過ぎないが、特に合衆國、カナダ並びに濠洲においてはこれらの言葉は社會的、否更に道義的性格の魅力ある聯想を帶びるに至つた、この形容詞は卒直で親しみあり、學措がなごやかで富とか地位がどうあらうともちつとも尊大振らず金もない地位も高くない隣人と同じ水準に注意深く自らをおいてゐる「ア・グツド・ミクサー」を呼ぶに用ひられてゐる（ブライス卿モダーン・デモクラシーズ第一卷、デモクラシーの定義より）

世界の焦点

大西洋横斷新記錄

（ダブリン二十七日）「トランスコンテイネンタル・アンド・ウエスタン・インターナショナル」航空會社の旅客機は二十六日、ニューファウンドランドのガンダーからダブリン郊外リニアンナまで六時間四十五分で飛び、大西洋横斷新記錄を樹立した、平均時速二百九十七哩、搭乘員八名の他に旅客十六名を乘せてゐた

【目　次】

パレスチナ騷擾再燃……二三〇
シヤロン溪谷で衝突……〃
ソ聯、五ケ國會議を提案……〃
米、レバノンに精油所を建設……〃
叛軍ゼンジヤンを占領……〃
米軍には撤收令……〃
伊オルランド組閣難……二三一
ケルン市長決る……〃
準備委員會第二日……〃
外地施設に二十五億弗……〃
「新聞非常權限法」撤廢を要請……〃
【西　亞】
米國務省、英ソ兩國に覺書手交……二三二
【特　輯】
フランス新內閣成る……二三三
【資　料】
マ元帥、軍事訓練法案を支持……二三六

特殊軍備制限案提案

（ワシントン二十七日）上院議員ロバート・A・タフトは二十六日米國は國際聯合を通じて原子爆彈、ロケツト、毒ガス等の兵器を禁止する國際軍備制限協定締結の音頭をとるべきだとの提案をするといはれる、これは國際聯合の侵略國と判定せる國家に對する使用のため議會の同意を俟たず安全保障理事會に米國軍隊を提供する權限をトルーマン大統領に賦與する法案が上院で議せられる際修正案として提出される筈である、同法案は當然通過するものと豫想されてゐる

パレスチナ騒擾再燃

（ワシントン二十七日）國務省はユダヤ人のパレスチナ移住問題を處理する合同委員會の設置に關し、速かに英國との間に協定到達を希望し、目下ワシントンとロンドン間に意見の交換が行はれてゐるが、何人の委員を任命するかといふ基本的問題が未だ解決されてゐない、トルーマン大統領は議長輪番制による六人委員會制を希望してゐる樣子だが、英國はまだその見解を發表してゐない、然し或る方面では同委員會の仕事の性質については既に廣汎な協定が出來てゐるので、若し米英兩國政府が同委員會の組織につき意見の一致を見るならば、直ちにその機能を開始することが出來るだらうとの見解を表明してゐる、祖國なきユダヤ流民の地位を決定し、パレスチナ移住問題の政治的處理を目的とする米英合同委員會結成が、以上の如く未だ具體化されてゐない現狀では、冬期を控へての流民の處理は急を要するものがあり、米國ユダヤ人委員會はバーンズ國務長官に對し、冬期開始以前に歐洲からユダヤ人數十萬のパレスチナ移住を促進するやう努力すべきことを要請した

一方パレスチナにおいては、ユダヤ人の非合法移入が續いてをり、英軍は過般二十名の非合法移住者をスクーナー船とともに逮捕したため、ユダヤ人はその報復として二十五日、テル＝アヴイヴ附近のジヴアト・オルガ及びシドナ・アリに所在する沿岸警備隊の屯所を襲撃した結果、シエフアイム、ジヴアト・ハイーム兩部落でユダヤ人と警官隊の衝突あり死傷者を出すに至つた

シヤロン溪谷で衝突

（イエルサレム二十七日）テル＝アヴイヴ北方のシヤロン溪谷地帶において二十六日ユダヤ人大衆と一萬の英軍部隊並びに機動警官隊との間に衝突が起り、ユダヤ人九名が殺され八十名が負傷した二十七日に至り、ユダヤ人國民理事會は死者の葬儀中三十分間の全國總罷業を指令した、一方ハイファルにおいては著名な勞働指導者が民衆大會で「戰闘は開始された」と絶叫した

ソ聯、五ケ國會議を提案

（ニューヨーク二十七日）「ニューヨーク・タイムズ」紙が外交消息筋の情報として報ずるところによれば、ソ聯は米英佛及び中國に對してパレスチナにおけるアラビア人對ユダヤ人の問題を五大國會議で審議するやう提案したと傳へられる、右提案は中東及び地中海におけるソ聯の滲透政策に一歩を進めたものと解釋される

米、レバノンに精油所建設

（ベイルート二十七日）レバノン議會は二十七日トリポリに米國精油所建設を許可する米レバノン石油協定を二十七票對七票で可決した、贊成論の根據は米國のレバノン獨立支持、レバノン移民保護の米レバノン協定等、米國がレバノンに與へた好意に感謝すべきであるといふにあつた

叛軍ゼンジヤンを占領

（テヘラン二十七日）APがイラン北部より歸來した旅人の談話として報道するところによれば、アゼルバイジヤン地方の叛軍は、鐵道幹線に沿つて南下し、テヘランを去る西北百七十四哩のゼンジヤンを占據、同地の官衙は悉く叛軍の掌中にあり、電信聯絡は杜絶するに至つたといはれる

米軍には撤收令

（ワシントン二十七日）米國政府は英ソ兩國に對し、イラン國内からの撤兵を提案すると同時に、イラン駐劄の自國軍並びに軍事施設を十二月三十一日までに撤收するやうイラン駐屯軍司令官に訓令した

米國政府はチエコスロヴアキア國内駐屯の自國軍に對しても、週末までに撤收を命令すると見られる

昭和二十年十一月廿九日(木)
第二三號

時事通信

海外電報

伊オルランド組閣難

(ローマ二十七日)イタリア國監ウンベルト殿下は二十四日辭表を提出したパーリ内閣の後繼者として、ヴイツトリオ・エマヌエーレ・オルランドに組閣方を求めたが、オルランドが果して受諾するや否やはなほ未定である、六大政黨の代表は二十七日會合して、現在の政界危機の打開策を協議する豫定であるが、共産黨、社會黨側は、前大戰當時の老政治家オルランドによつて組織される内閣は必然的に右傾すると見て、これが支持を拒否せんとしてをり、オルランドの組閣成功は疑問視されるに至つた

墺選擧で共産黨慘敗

(ウイーン二十七日)二十五日行はれたオーストリアの總選擧はいまだ完全な開票結果が判明しないが、カトリツク人民黨の勝利は既に確實で全投票の五〇%、社會黨がこれに雁行して四五%、共産黨は僅に五%を得るに止まるものと解される、議員數はカトリツク人民黨が八十五乃至八十八、社會黨七十四乃至七十七、共産黨は三乃至五といふことにならう、選擧戰前の左翼三派協定により新たに聯立内閣が組織されるわけであるが、レンナー内閣の改造程度に止まるものと解されてゐる

ケルン市長決る

(ロンドン二十七日)BBC放送によれば、英軍當局は二十五日、ハインリツヒ・ブリユニング内閣の國務相ヘルマン・フユンダーをケルン市長に任命したといはれる

準備委員會第二日

(ロンドン二十七日)國際聯合準備委員會は二十六日第二回目の會議を開き、ペルー駐剳コロンビア大使エドアルド・ズレタ・アンゲルを準備委員會常任議長に、ウクライナ代表マヌイルスキ外務人民並びにベルギー代表ポール・アンリ・スパーク外相を副議長に選任した、議事に入つた委員會はまづ執行委員會提出の議事日程及び表決手續規程を採擇した、各專門委員會は二十七日に會議を開いて一四四一頁に上る執行委員會の推薦案を審議する、委員會の組織上技術上の任務における主要問題は國際機構本部常設地選定に關する總會への推薦案作成であるとみられる

外地施設に二十五億弗

(ワシントン二十七日)商務省は二十六日次の通り發表した

米國は過去五年間に約二十五億弗を費して外國領土に三千十三の軍事その他の施設を建設したその内の九五%は軍事施設である、費用總額の半分以上は英帝國内における基地建設のため使はれたが、その中には聯合王國の二千三百萬弗濠洲、ニユージーランドの二億三千八百萬弗、印度の一億二千六百萬弗、太平洋の英領島嶼一億四千六百萬弗が含まれ太平洋で奪取した日本島嶼には一億九千二百萬弗が費された

「新聞非常權限法」撤廢を要請

(ロンドン二十七日)勞働黨のコーヴ下院議員は二十六日下院で、印度における新聞に對する非常權限法を撤廢するやう即時措置を講ずべきことを要請した、コーヴ議員によれば、同法によつて印度の新聞の言論自由の合法的機能遂行が妨害されてゐるといふにあり、同氏はビハール州國民會議派の機關紙「パトナ」紙が一九四五年十一月七日同法によつて二千ルピーの證據金を取られた事情及び戰爭が終了した今日かかる法律が存在しなければならぬ理由について説明を要求、これに對しヘンダーソン印度事務次官は次の通り答辯したビハール州政廳は新聞に對する非常權限法第三條の條文に從つて措置を講じたが、かかる措置を採らしめた記事の内容に就ては知つてをらず目下詳報を印度政廳に問合せ中である、新聞に對する非常權限法は決して戰時的措置ではなく一九四一年印度立法議會が通過したものであるからその廢止は同立法議會の考慮に俟つべきものである

米國務省、英ソ兩國に覺書手交

（ワシントン二十六日）モスクワ駐劄米國大使はバーンズ國務長官の訓令に基きイランの情勢に關する覺書を十一月二十四日ソヴエト聯邦に手交した、この覺書に含まれる全外國部隊のイランからの撤收に關する提案は同時に英國政府にも通達された、ソヴエト聯邦政府に對する覺書の正文は次の通りである

△北部イランの武裝蜂起

「イラン政府は英國政府に對し赤軍の駐屯する北イラン地方に武裝蜂起が勃發し、イラン政府はその武裝兵力の一部に命じて、國内安寧の回復と自己の權威の維持の爲に、同地方に進入せしめんとしたるところ赤軍司令官は之等兵力に進軍を認めることを拒み、爲にイラン政府はイラン領土内の平和並びに秩序の維持の爲の自己の責務を遂行し得ざるに到つた旨通告し來つた

「想起すべきは一九四三年十二月一日スターリン議長、チヤーチル首相並びにルーズヴエルト大統領がテヘランに於て宣言書に署名し、三國政府はイランの獨立、主權並びに領土的安全の維持を希ふ點においてイラン政府と一致する旨聲明したことである、米國政府はソヴエト聯邦並びに大英帝國の兩政府が右宣言に示されたる保證を忠實に守る熱意において米國政府と全く變らぬことを確信してゐる、米國政府の見解によれば右保證の遂行のためには、イラン政府が米英ソ三國の軍事當局乃至非軍事當局の干渉を受くることなく自己の權威を維持し國内の安寧を保つ必要ありと思量する工作に基き、その武裝兵力をイラン國内において移動する自由を完全に所有することを必要とする「米國政府は前述の地方においてイラン軍隊の自由なる移動を阻害するごとき赤軍司令官はソヴエト聯邦政府の指令を得ずして行動せるものなるべしと信ずる、もし赤軍司令官にして本問題に關し指令を待つことなく行動せるものなりとすれば、ソヴエト聯邦政府は前述の宣言に一致するごとき指令を現に發しつつありと思量される、いづれにせよ既に生じたる事態は米國政府をして米英ソ三國いづれの軍隊も即時イランを撤收すべきことが共通の利益なることを確信せしめた、右三國のいづれかの軍隊が友好國政府の領土内に止まる限り事件並びに誤解が生ずることはまぬがれ難い

△米戰闘部隊を撤收

「米國政府はそのイラン駐屯軍を既に本年中最高兵力保有時約二萬八千人より現在の六千人以下に減じた、今やイランには全然米國の戰闘部隊はゐない、殘留するものは軍事補給物資の生産並びに處理に關係ある兵站的性質の活動、或は復員に關係ある重要な通信活動に從事してゐるに過ぎない「これ等部隊の即時撤收は米國政府にとり少からざる不便を齎らすべきも、それにも拘らず、既に在イラン米國軍事當局に對しては一九四六年一月一日迄に全米軍部隊をイランから撤收する爲即時必要なる措置を取るべしとの命令を發せんとしてゐる、米國政府は英ソ兩國政府も自國司令官に對し同樣の訓令を發し、一九四六年一月一日までに全外國部隊のイランからの撤收を完了するために即時取極めを行ふことを提案する、かかる撤收を實現する爲の早速の措置は三國政府の與へたる保證を實行する三國政府の意圖に關し一切の疑惑を除去するであらう、この提案を成すに當り米國政府は一九四六年三月二日以前にこれ等部隊はイランより撤收するべしとの保證が決して與へられをらざることを承知してゐる、他方においては既に交戰行爲が停止せる現在右日附まで諸部隊が殘存すべき强制的理由は全く認められないのである、從つて米國政府は一月一日までに撤收を實現すべき措置の即時實施が豫想し得る誤解をさけるのみならず、聯合國の一員としてのイランが共通の戰爭努力に對して成したる顯著なる貢獻を正しく認識する所以でもあると信ずる

「イランの如き諸國は、サンフランシスコに開催されたる聯合國會議において安全保障理事會常任理事國の友好的意圖並びに善意を深く信ずる事を慫慂された、米國政府はソヴエト聯邦並びに大英帝國が米國に劣らずイランの如き國家との交涉において、これ等諸國の安全保障理事會常任理事國に與へたる信賴は決して誤りならざりしことを明らかにする如き行動をとるに汲々たることを信じてゐる

「同樣の提案は英國政府に對してもなされた

昭和二十年十一月廿九日(木)
第二三號
時事通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

フランス新内閣成る

井上勇

△危機一先づ解消

十一月十三日、フランス臨時政府首班として、憲法議會で指名され、共産、社會、人民共和の三黨の聯立内閣組織に乘出したシヤルル・ド・ゴールの組閣工作は、共産黨側が外務、内務、國防の三大臣のうち一つの椅子を是非ともと主張して讓らなかつたことによつて暗礁に乘上げ、十七日組閣を斷念、その旨を憲法議會議長フエリツクス・グーアンに通告した結果、フランスは、外國批評家の言によれば、解放以來最大の内政危機に直面するに至つたが、この危機はどうやら議會側の讓讓の美徳によつて二十一日遂に解消、二十一名といふ尨大な閣僚を有するフランス臨時政府——新憲法成立までの中間内閣は成立したやうである、世界に孤立して通信網も舊の如くでない日本では、いまだ新内閣の構成がどうなつたか明らかにし得ない、共産黨は新設された軍需省の椅子を獲得したことを含めて五つの椅子で滿足し(舊政府には二つの椅子を有してゐた)國防省の椅子はド・ゴール自身が兼任し、共和聯合、急進黨等の小黨派からも閣員を採ることによつて、一應擧國一致内閣の體裁をととのへたが如くである、ことがここに至るまでの經過は、フランスが今後歩まうとしてゐる路の、少くとも向ふ半歳の將來をば豫斷するのに重要な資料を提供すると思はれるので、一應振返つて見ておいてよからう

△共産黨との論爭

十七日午後五時、ド・ゴールはその官房長ギヤストン・パレウスキーを憲法議會議長グーアンの許に派して、中間内閣首班たることに辭意を表明する書簡を手交すると共に、この夜ラヂオを通じて大要左の通りの演説を試み、共産黨側の主張を爆撃した

共産黨は、余が組織しようとしてゐる内閣に對して内務、外務、國防の三つの椅子の内の一つを要求してゐる、然しフランスは二つの偉大なる政治勢力の中間に平衡を取ることをもつてこの政策の根本義としてゐるが故に、この平衡の維持に必要なる椅子を共産黨に與へるわけにはゆかない、そしてフランスの外交の裏付けをなすべき國防と内務の椅子を共産黨に割くわけにはゆかぬ、余に共産黨の主張と歩調を合せ得ないために、一應憲法議會に對して、政府首班たることを辭退したが、憲法議會の條件に變更があれば依然としてフランスの國政處理の責任を負ふに吝かでない

一説によればド・ゴールはまた共産黨書記長モーリス・トレーズとの十六日の會見において世界はいま二つのブロツクに分かれてゐる、ソ聯とアングロサクソン諸國のブロツクがそれである、君及び君の黨がその何れのブロツクに屬するかは既に決定濟である、余はこの二つのブロツクの中間に立つことをもつてフランスの利益とするといふ立場を採る、この故にフランスの外交政策に直接關係ある政府の椅子をば共産黨に與へることは出來ない、余はフランスの社會的再建の任をば共産黨で負つて貰ひ度いと考へてゐる

と語つたとつたへられてゐる、この二つのド・ゴールの發言は同じことを別の機會に繰返したものであり、間接に共産黨がド・ゴール政府に對して非難しつつある「西歐ブロツク」支持政策がド・ゴールの眞意でないことを辯明したものといへるであらう、つまりド・ゴールの外相、人民共和黨の領袖ジョルジュ・ビドーが個人として「西歐ブロツク」の支持者であることの疑ひの有無は別として、ド・ゴール自身またはかれによつて主宰される政府はソ聯の西歐における橋頭堡でもなく、また英國が企圖してゐる西歐ブロツクの大陸における前線基地でもないといふのだ、ド・ゴールのこの言明に對してモスクワの消息通は、AP電によればド・ゴールと共産黨との衝突が、ソ聯においても如何に解釋されてゐるかは問ふだけ野暮である假令現在のフランス政界の行詰りが打開されようとされまいと、ド・ゴールがソ聯から大いなる賞讃を得ることを期待出來なくしたことは事實だ

と語つたといはれるが、米英側からの反響は聞き洩らした

△各政黨の持つ弱味

外交論は暫くおいて、ド・ゴールと共産黨とはかくて正面衝突し組閣は投出されるに至つたが、共産黨をも含めて憲法議會側には大きな弱味があつた、それは十月二十一日の一般投票に示されたド・ゴールの國民的人氣であり、これを無視すべく各政黨は餘りにも微力なことである、共産黨は第一黨にはなつたが議席五百九十六の內百五十三を得たにすぎない、社會黨も人民共和黨も同樣である、この三大左翼政黨が二千四百萬の男女有權者の投票の六十パーセントを占め得たのも、大いにル・グラン・シャルリーの聲望のおかげに基くものである、共産黨のみをとつていへば總投票の三十パーセントにすぎぬ少數派なのである

ここにおいて共産黨を除く各派はド・ゴールと共産黨との慰撫にとりかかつたが、十八日の日曜日一日がそのために費されたに拘らず結ばれた癒は遂に解けず、共産黨は早くも先手を打つて十八日午後、社會黨々員憲法議會議長フェリツクス・グーアンをば臨時政府首班候補に推す旨を發表した、共産黨がグーアンを推すに至つた理由は勿論世間の多くがド・ゴールをして組閣を頓挫せしめた共産黨の肚は、彼等が自らの黨首モーリス・トレーズをして組閣せしめ、フランスの政治を壟斷する陰謀があると信じつつあることに對して、決して然らざる「誠意」を披瀝したものであつた、同時に社會黨もまたその黨首レオン・ブルーム推戴の意圖を有すると世間より誤解されてゐることを苦にしてゐる隙間を突き、共産黨側からのグーマンの推擧によつて社會黨の立場を救ひ、これに恩を賣らうとする苦肉の策でなかつたとはいへない、しかし共産黨のこの一投石は、共産黨が豫期したド・ゴールに對する共同戰線の成立をば反つて不可能にして、十八日夜一夜を通じて行はれた三政黨の交涉は遂に物別れとなつて十九日の決戰本會議に臨むことになつた、人民共和黨はどこまでもド・ゴール支持を捨てず、社會黨もまた三派一致推薦の場合を限つて、共産黨の候補者を支持する旨の聲明を發して洞ケ峠の上に立籠つた、換言すれば、必ずしもド・ゴールでなくてもよいが人民共和黨がド・ゴールを放棄しない限り、結局ド・ゴール支持に行くといふことである、社會黨が共産黨と道連れになることよりも人民共和派と行を共にすることを選んだのは、ブルームとド・ゴールの個人的關係、及びその主張である英佛同盟の實現は、共和黨の考へ方と相容れないものであるがためと考へられるほか、共産黨との共同戰線は常に共産黨に喰はれる過去の經驗に基くものであらう、自己の非力を知る右翼小黨派——彼等は總選擧に僅か十パーセントを獲得したにすぎなかつた——は言ふまでもなくド・ゴール支持であり、ド・ゴールをもつて赤波に對する防壁と心得てゐた、決戰投票の歸趨はかくて明白となり、十九日の憲法會議は共産黨の推す社會黨のフェリツクス・グーアン候補を一蹴して、ド・ゴール再選をば四〇〇票對一六三票で決した、同時に憲法議會は

一、三黨同數の代表を入閣せしめた政府をば、可及的速かに組織するための努力が繼續さるべきこと

二、新政府は國民抗戰會議コンセイユ・ナショナル・ド・レジスタンスが採決し、三政黨によつて承認された政策を實施すべきことの決議案をば三百五十八票對三十九票で議決したこの決議の投票數は右翼一部の反對と共産黨の棄權を意味すると解して然るべきであらうが詳細は不明である

△政變が訓へたもの

かくてド・ゴールは再び組閣工作に乘出し、この度は成功して、二十二日新閣員表を議會に報告する運びになつたが、以上の經緯を通じて殊に注目すべき諸點は次の如きものであらう

一、社會黨が中間黨たる性格を明確にして、フランス政界の安定勢力たる地位をあきらかにしたこと

二、共産黨が公然ド・ゴール反對派たる立場を一層明白にしながら、なほ、人民戰線戰術への希望を放棄せず、新政府へ參加することによつて

昭和二十年十一月廿九日(木)
第二三號

時事通信

海外電報
第三種郵便物認可

光榮ある孤立をば放棄したこと

三、ド・ゴールの個人的聲望は衰へたとはいへなほ、フランスをば光被する存在であることを立證し、その權威と輿望とはいまのフランスにおいてはなほ比肩し得る人物がないこと

これによつて見るにド・ゴールの新政府は今後一層多くの困難に直面すべく、その最大唯一の使命である新憲法の制定も、事毎に左右兩翼の挾撃の下に曝されて、決して事なき安産をば期待し得ないだらうと想像される、場合によつては議會の反對のほかに伏兵は閣内にもあり、聯立内閣の通弊である政策の不統一により自己崩壊の危險すらないとはいへない、ド・ゴールの個人聲望が起り得るあらゆる危機に對する最大の保障であることには異論もあるまいが、フランスの當面する困難は個人の聲望のみをもつてしては救ひ得ないほど複雜で重要である、米誌「タイム」の十月二十九日號はかう報じてゐる

「重要産業の國營化は炭礦及び二、三の大工場(自動車、航空機エンジン)以外には一向に進捗してゐない、勞働の經營への參加もとるに足りない、國の經濟生活をば全面的に國家企畫の下におくことも、經濟的脫臼、思想的相剋、ド・ゴール將軍自身が國民から一層明確な委任を受けるまでは、決定的な措置を進めることを欲しない等の原因に基いて全く行詰つてゐる

破壞された百五十萬の建物、二千の橋梁、二千四百哩の引裂かれた鐵道網、その他船渠、田園、一般人民に加へられた凡ゆる他の損傷が修理、復舊されるにはあまたの日と年とが必要であらう、原料、人力も著しく不足してゐる、農産(主として小麥、砂糖大根)は旱魃と尙埋つたままになつてゐる何千何萬といふドイツ軍の地雷のため傷つけられてゐる、インフレーションはすべての進歩をば蝕み、恐らく法貨の引下げによる以外には停止することを知るまい、しかも法貨切下げには官僚群が二の足を踏んでゐる」

△前途への希望

しかしフランスの前途は暗いことばかりでもなささうだ、解放前後、四萬哩そこそこまで落ちた石炭も、いまは日産十三萬四千哩に增え、その結果として化學、金屬、紡績、その他基本的産業もぼつぼつ復活しつつある、鐵道も戰前輸送の六割五分まで回復した、商船群も沈沒船引揚げなどで半ば近くに復舊し、パンも十一月一日からは割當制度が撤廢されお菓子も買へるやうになつた、煙草も割當て五割增——といつても一日五本であるが、配給が五割增したことは爭へない、町にはタクシーも現れた、但し姙娠してゐる婦人、戰傷者などの優先券所持者だけしか乘れない、衣料事情も殊に男子の衣料は逼迫してゐるが、これも明年は三人に一人の割合で新調が可能にならう、外套も十人に一人は行き渡る見込みである、石鹼も前のやうに砂と土ではなくて、とも角泡が立ち始めた——とは同じ米誌の報告である

然し普通のフランス人の考へてゐること、いつてゐることは大部分生活の苦しいこと、必要なものの無いこと許りだ、も少しの食糧、も少しの暖かさ、も少しの希望——これが眞のフランス人の眞の慾望である——と「タイム」は結論する

「政治家といふ政治家は約束はどしどしするが實際にくれるものとては殆んどない、何か手に入れようと思へば優先權を得るための優先權をとらねばならない」——建築工夫の言葉

「四十五年の生涯物事は惡くなるばかりだつた屹度將來も同じことだらう」——タクシー運轉手の女房

「まあまあ、われわれにはフランスがまだ殘つてゐる、ド・ゴールのお蔭だ、そしてわれわれはまだ生きてゐる、聯合軍の御蔭さ……」——電氣工事夫

フランスは全面的無氣力のうちにも、とも角その底から芽ぐむものが見え始めた、ド・ゴール政府は生れて以來初めて國民の意思の裏付けをうけて再出發した、無氣力ばかりで濟ましてもゐられなくなつたわけだ、困難は困難としてさらに一歩の前進を企てねばなるまい

資料

マ元帥、軍事訓練法案を支持

—ワシントン十五日—

歸米中のアイゼンハワー元帥は十五日、陸軍々事委員會においてトルーマン大統領の提案した一般軍事訓練法案を支持し、次の通り證言した

「余個人の意見としては、今日單一で世界平和を齎すことの出來る最大の力は組織化された米國の戰力——卽ち米國の資源、技術の進歩、十分訓練された兵員である」

ニュー・ジャーシー選出共和黨議員バーネル・トーマスは米國の將來の敵となるべき國は何處かと尋ねたが、之に對しては元帥は返答を拒否し、ただ「米英兩國間には戰爭は存在しないだらう、ソ聯は一般民衆の運命に絶體的且つ繼續的關心を有してをり、米國との友好關係を欲してゐる」と語つた後次の通り述べた

「戰爭において時は常に重要な要素だつたが、それが今次大戰ほど顯著だつたことはなかつた、原子爆彈と電子兵器の出現、更には空中戰の絶えざる進歩と共に、地理的な進擊のテンポは速められた、故に今度戰爭が我々を襲ふ時には、軍隊に訓練を施すひまもなく敗北か勝利かの最後の段階に追ひつめられて了ふだらうと思ふ、平時において戰爭勃發の日——敵の攻擊を受ける日に備へなければ、未來の兵器をもつて侵略者が我々の上に齎らす敗北を避けることは出來ない、その際我々の武器は彼等のそれよりも優れてゐなければならず我々の資源は卽座に利用することが出來なければならないが、更に重要なのは我々の兵員が訓練を經たものであるといふことだ、兵員の訓練が平時から施されなければならぬ所以である

△原子時代に對應

禁止的な兵力を持つ常備軍をおかないですむ唯一の途は民間豫備兵力の訓練であり、その最も民主々義的な方法は平時における一般軍事訓練であると思ふ、余は戰場における勝利は軍隊の大部分が青年によつて構成されてゐる場合においてのみ可能であるとの意見に對し、米國軍の全指揮官が同意してくれるものと信ずる、青年は戰爭條件に對する適應性強く、旺盛な精力と勇猛心を持つてゐる、また技術方面では、今後の戰爭の新技術を習得する能力ある比較的若い青年を特に多數必要とする、故に時代に卽して訓練された青年を市民豫備軍に加へることは正當であるのみならず、必要なことである、さもなければ未訓練の犯罪青年を召集するか、若くは率の不公平になることを無視して既に義務を果した成年男子を召集するのだが、いづれの場合においてもわれわれは青年諸君の間にのみ發見し得る訓練された技術專門家から成る部隊をつくることは出來ないだらう

米國の軍備力は我々が戰ひとつた平和を維持するための最大の保障である、余が他の聯合國指導者と交つたところによれば彼等は強力な米國軍を維持せんとする我々の動機について何ら恐怖を抱いてゐない、これこそ國際聯合の目的と意圖の達成に逆行するのだが、國際聯合機構の成功をみるための基本條件でなければならないと考へるのである」

對日爆擊の戰後調査

(ワシントン二十六日)二十四日發表された米陸軍航空隊の戰後調査によれば米軍爆擊隊は日本の重要六十二都市の平均五十六パーセントを破壞したことが明らかになつた、破壞の大部分は第二十航空隊所屬のB29が日本々土に對する二萬六千以上の出擊によつてなされたものである、破壞の右歩合は尼ケ崎の十一パーセントから富山の九九・五パーセントに至るまでの日本主要都市の破壞程度を平均したものであるが、十二都市は七十五パーセント以上、十九都市は五十パーセント以上が破壞されてゐる、B29は三百三十八回の攻擊を加へ、六萬五千八十二瓲の高性能爆彈と十萬五千九百七十八瓲の燒夷彈を投下した、四百十四機のB29を戰鬪において喪失し、八十三機を作戰事故において失つた、B29乘組員は戰鬪において三千四百四十一名の死傷者を出した、對日戰勝利二週間後において太平洋戰域には戰鬪可能狀態に在るB29が一千四十二機あつた

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和二年三月廿日第三種郵便物認可
昭和二十年十一月三十日(金)　編輯兼発行人　池田倫三　東京都千代田区丸の内二ノ四
總二四號

時事通信　海外電報　(24)

第十九艦隊を編成

（サンフラシスコ二十八日）米國海軍省は九百六十隻の艦艇より成る第十九艦隊が編成された旨發表した、同艦隊は不活動の狀態で西海岸に保持され、乘組員は基幹定員によつて構成される

【目　次】

イラン叛亂軍更に進擊……二三八
獨賠償支拂來週開始……〃
アメリーの息死刑……〃
佛、銀行國營案採擇……〃
オルランド、組閣を辭退……〃
米英經濟交涉不調か……二三九
米、華比で十二億弗費消……〃
デンプシー除隊……〃
食肉割當制廢止……〃
印度方面に大地震……〃
【中　國】
ハーレー大使突如辭職……二四〇
國務省、辭職に關し聲明……〃
米兵撤收を提案……〃
國際通貨協定批准……〃
【米　國】
輸出入銀行理事長任命……〃
除隊點數切下げ……〃
上院議員からも世界政府案……〃
【英　帝　國】
印度騷擾は革命運動の新烽火……二四一
ブレーミイ退役……〃
【原子エネルギー】
原子法案審議愼重……〃
五割以上國際機構に信賴……〃
【資　料】
米國のドイツ管理政策……二四二

國際海事會議の決議

（コペンハーゲン二十八日）目下當地に開催中の國際海事會議は海員に對する恩給、傷病者保險の增額を要求する決議案を採決、之を同會議が作成すべき國際議定書草案中に挿入することになつた

國務省のリデルベルシヤー局長の演說に應酬するかの如く、米國の外交政策協會は十一月二十六日聯合軍のドイツ占領政策に關する報告を發表した、報告は特に未解決の懸案として次の諸項を上げてゐる

一、ドイツに對するポツダム計畫には各部分相互に矛盾するところあり、特定の時期に一定條項を執行すれば必ず他の條項の施行を阻害する場合が少くない

一、各占領地區における聯合各國の政策が、益々乖離する傾向があるため、ドイツ全體に對する統合的政策が仲々纏らない

一、ナチ主義破摧の結果出來た間隙を埋めるため聯合各國が相協調して對策を講じてゐないのは聯合國施策の最も重大な缺陷である

一、究局においてドイツ國内に民主々義體制を確立しようといふ三大國の目標はドイツ國内現在の經濟事情が改善されない限り實現出來ぬことは明白だ、非ナチ化の過程もまたドイツ人が平時における最少限度の所要を充すことを或る程度阻害してゐる

一、ドイツ人の再教育について今までのところ實行された積極的政策は小學校並びに高級學校の再開その他比較的少く、民主々義の線に沿ふてドイツ人を再教育しようといふ聯合國の長射程目標を實現する施策は殆ど見られない

リデルベルシヤー局長も、ドイツ問題の協調的解決こそ聯合國團結の試金石だといつてゐるが、外交政策協會の報告も

一、ソヴエト政府が地主農民とよく訓練された勞働組合を基礎に左翼政權を育成しようとしてゐるのに、米英兩國はワイマール共和國の再建を企圖してゐるし

一、聯合國はドイツを統一體として維持する方針だが、現實にはドイツ國内は軍事占領の目的に基き四區畫に分斷されてゐる、行き詰り打開のためには、ライン、ルール兩地方に關して和協案を纏めることが先決要件だ

と論じてゐる

イラン叛亂軍更に進撃

テヘランからのAP電報によれば、イラン政府は二十七日、アゼルバイジヤン地區の叛亂軍が首都テヘランに向つて進撃を開始、イラン軍司令部は首都の防衛準備を下令したと傳へられるが、爾後の報道によれば、叛亂軍は既に首都を去る西方七十五哩のタキスタンを占領したといはれる

但しロイター通信社の外交記者は二十七日、當局筋の觀測として次の通り述べてゐる

英國外務省の公電によれば、叛亂軍がアゼルバイジヤン州の境界線を越え南下してゐることは事實だが、首都には相當有力なイラン軍が控えてゐるし、カズヴインとテヘランとの中間に位するシヤリフアバードには戰闘隊も駐屯してゐるから、叛亂軍が直接首都を目指して進撃することはあるまい

ロイター電報によれば、英國政府當局は依然叛亂を局地的な問題と解してゐる様子だが、叛亂が内亂に發展して、イラン現内閣を脅威する場合の措置についても、或る程度考慮を加へてゐる様子だ

問題は叛亂を繞る米英ソ三國の關係だが、パリ放送局は

モロトフ外務人民委員がモハメド大使に對し、ソヴエト政府はイラン國の權限を尊重し、イラン軍の合法的移駐には反對しないと語つた旨報道してゐるが、ロイター電報は

外交上の情勢は過去二十四時間少しも變つてゐない、英國大使が週末モロトフ外務人民委員に手交した書翰に對し、何分の回答があるまで外交情勢に動きがあるまいと報道してゐる、英國政府の書翰と相前後し、米國のバーンズ國務長官もまたソヴエト政府に對しイラン駐屯三國軍の撤收を提案したが、クレムリンは未だ何等の反應をも示してゐない、ロイター電報に結論として

英國政界筋ではイラン國内現在の情勢については地方的な騒擾程度にしか見てをらず、首都と北部地區の種族との敵對關係は、ペルシヤ政治史上では昔からのことで、別段驚くことはないとみてゐる、但し現下の情勢について本當に重大な部面は、モスクワが少くともラジオと新聞とを通じて公然叛亂軍の政治的要求に同情を表明してゐるのに對し、同じくイラン國内に兵力を駐屯して英國政府がテヘラン政權の主張を支持してゐる事實に由來すると述べてゐる

賠償支拂來週開始

（ベルリン二十八日）ドイツ管理々事會の英國代表は二十七日UP特派員に對し次の通り洩らした

聯合國に對するドイツの第一回賠償支拂ひは一週間以内に始る見込みだ、三十以上のドイツ工場が聯合各國に移管されようが、第一回の分前ではソヴエト政府が特別の考慮を受けることとならう

アメリーの息死刑

（ロンドン二十八日）アメリー前印度相の息ジョン・アメリーは大逆罪並びに賣國行爲により告發され有罪と決定、二十八日遂に死刑を宣告されたこの間の手續き僅か六分、ドイツ側宣傳放送者の死刑宣告はアメリーが二人目で、かれより前には有名なホーホー卿ウイリアム・ジョイスが同じ罪名で絞首刑に處せられてゐる

佛、銀行國營案採擇

（パリ二十八日）フランス臨時政府は二十八日五時間に亘る長時間の閣議の後、議會に提出すべき銀行國營案の最後案を採擇、三十日議會に提出する運びとなつた

オルランド、組閣を辭退

（ローマ二十八日）イタリア國監ウンベルト殿下から新内閣組織の下命をうけたヴイツトリオ・エマヌエーレ・オルランドはその後六大政黨代表と協議をつづけてゐたが、左翼共産、社會兩黨方面がオルランド内閣に反對の意向であることが明らかになつたので、二十七日ウンベルト殿下に對して組閣辭退を申出た、六大政黨側は同日オルランド組閣辭退後の收拾策協議のため會合する豫定である

昭和二十年十一月三十日(金)
第二四號

時事通信 海外電報

米英經濟交涉不調か

(ロンドン二十八日)二十八日の「デイリー・スケツチ」紙によれば、英國政府はワシントンの米英經濟會談において、米國側の提出した米國の對英財政援助案を拒否、米英經濟交涉は最後の段階に至つて危機に陷つたといはれる、英國政府は米國案を拒否すると共にこれに代る英國案をワシントンに傳達した模樣だが、この代案は英國の「最後の案」であり、米國がこれを受諾しない時は英國政府は交涉中止もやむなしとの强硬な態度をとつてゐる模樣である

米、華比で十二億弗費消

(ワシントン二十八日)ウオレス商務長官は米國が今次大戰中、中國及びフイリツピンで費消した金額につき次の通り發表した
米國は一九四〇年七月から四五年六月までの期間に中國において九億八千六百萬弗、フイリツピンで二億四千五百萬弗を費消した、これに對し米國の受取額は中國から一億四千九百萬弗、フイリツピンから一億三千八百萬弗だが、これは主として駐屯米國軍の費用である、以上の數字には金の受授勘定は含まれてゐない

デンプシー除隊

(ニューヨーク二十八日)沿岸警備隊中佐として四年近く召集されてゐた前世界重量拳鬪選手權保持者ジヤツク・デンプシーは無事召集解除となつて市民生活に復歸した

食肉割當制廢止

(ワシントン二十八日)アンダソン農務長官は二十三日夜半をもつて食肉類全部、罐詰魚類、脂肪植物油の割當制を撤廢する旨發表した、かくて米國民は二年半ぶりで以上の食糧を自由に購入することができるやうになつたが、これ等食糧の海外輸出を確保するために必要な規定は當分存續される筈で、アンダソン長官によれば救濟用食肉一週三千萬封度、商業輸出用食肉四千萬封度が海外供給用として留保される事となつてゐる、今回の割當制廢止の結果、米國で依然割當てを受けてゐる物資は、砂糖及びゴムタイヤの二品目のみとなつた

印度方面に大地震

(ボンベイ二十八日)グリニチ標準時二十七日二十二時二十九分、ボンベイ及びニューデリーの觀測所はオマン灣附近の激震を記錄した、震源地は海中だと信じられてゐる、ニューデリーの地震計はニューデリー西方約千四百哩の地點に「極めて激烈なる」震動を記錄した、カラチでは家具がガタガタいひ、天井の電燈が搖れる程だつた
(シドニー二十八日)リヴアヴユー觀測所は二十八日八時十一分同所としては空前の大地震を記錄した、これは一九〇九年以來最大の地震とみられてゐるが最初の震動は十三時に至るも依然地震計に感ぜられてゐた、震源地はシドニー西方約六千六百哩の地點と信ぜられる
(ニューヨーク二十八日)米國の東西兩岸の地震觀測所は二十七日午後、一齊に米國を去る八千乃至八千五百哩の地點に大激震が起つた徵候を記錄した、まだ情報は全然入らないながら、震源地が恐らく南支那海、ビルマ、北印度、或ひは蘭印邊りだらうとみる點では各觀測所とも一致してゐる最初の激動が記錄されたのはグリニチ標準時二十二時十七分七秒だつた、三分後と五分後に大きな搖り返しがあり、以後も餘震は續いてゐた、カリフオルニア州パサデントのカリフオルニア技術研究所、ニューヨークのフオーダム大學、マサチユセツツ州ウエストン大學等の研究室の記錄は全く一致してをり、職員は齊しく記錄に出た位置では地震により、甚大な損害を生じたらうと述べてゐる
(ロンドン二十八日)ウエスト・ブロミツチ研究所はグリニチ標準時二十二時六分激震を記錄したが、同研究所の地震學者J・J・ショーは次の通り述べてゐる
地震計の針は震幅十二吋以上を示してゐたが震源地は北印度乃至西支那と考へられる

【中　國】

ハーレー大使突如辭職

（ワシントン二十七日）ホワイト・ハウスは二十七日、トルーマン大統領が中國駐劄米國大使パトリツク・ハーレーの辭表を受理した旨發表、同時に前參謀總長ジョージ・マーシヤルが大統領の個人的代表として大使の資格をもつて中國に赴くこととなつた旨併せて發表した、ハーレーは辭表提出にあたり、米國の海外任務にある官吏が極東における米國の目的達成に失敗してゐることを非難する聲明を發した

國務省、辭職に關し聲明

（ワシントン二十七日）駐華米國大使ハーレーは二十七日中國駐屯米國軍の政策に不滿を表明して突如辭職したが、國務省は同日ハーレー辭職の經緯に關し左の聲明を發表した

「國務長官はハーレー大使が辭表を提出したとの發表に接して驚愕した、大使が中國から歸國したとき、彼はその健康上の理由から辭職したい旨申出たが、後になつて大統領並びに國務長官に對して米國で休養の後再び中國に歸任する旨言明したこれは十月九日のことであつた、然るに去る二十六日に至つてハーレー大使は國務長官を訪問して大統領宛の辭表を提出したがこの辭職の手紙のうちにはかれが今回新聞に發表した聲明の內容が記載されてあつた、國務長官はこれに對し、現在中國における重大なる事態を指摘、ハーレーに對し辭職する代りに至急中國に歸任するやう慫慂した大使は同日午後再び國務長官を訪問、中國における事態に關し意見を交換した後、中國に歸任する旨約束した、しかしこの時、大使は二十八日にナショナル・プレス・クラブで演說する約束があり中國歸任はその後にしたいと述べた、勿論國務長官はそれに少しも異議はないと述べ、次いで大統領に對してハーレー大使は遲滯なく任地に歸還することとなつたと報告した」

米軍撤兵を提案

（ワシントン二十七日）ワシントン州選出民主黨下院議員ヒュー・ドレーシトは二十六日下院に米國兵の中國撤兵決議案を上程した、決議案の要旨次の通り

大統領は輸送機關並びに軍需資材を含め現在中國にある米國軍隊を直ちに中國から撤兵する指令を發すべきである、しかして米國は中國に對し同國が二つの軍事的勢力によつて兩分される事態に對し深甚の遺憾の意を表明し、一方中國が偉大且つ繁榮した民主々義的統一國家として世界に正當な地位を占め得るやうあらゆる支援を與ふべきである

國際通貨協定批准

（ワシントン二十七日）ヴインソン財務長官は二十三日、「ワシントン駐劄中國大使館から中國政府がブレトン・ウツヅの聯合國財政會議で成立した國際通貨安定並びに國際復興銀行協定に批准した旨の通告に接した」と發表した、因みに中國は米國に次ぎ同協定を批准した第二の國である

【米　國】

輸出入銀行理事長

（ワシントン二十七日）トルーマン大統領は二十六日、元ニューヨーク株式取引所理事長ウイリアム・マーチンを輸出入銀行理事長に指名した

除隊點數切下げ

（ワシントン二十七日）海軍省はつぎの通り發表した

徵兵除隊の資格點數は十二月一日には現在の四十一點から三十八點になり、同月十五日には三十七點、明年一月一日には三十六點となる、これによつてさらに約十五萬の除隊有資格者が生れる

上院議員からも世界政府案

（ワシントン二十七日）ミネソタ州選出共和黨上院議員ボール、アーカンソー州選出民主黨フルブライト、アイダホ州選出民主黨テイラーの三氏は二十七日國際聯合には原子戰爭防止の力なしとの見解を表明、米國政府は今一步進めて世界政府に加盟すべきだと提案した

昭和二十年十一月三十日(金)
第二四號
時事通信
海外電報
第三種郵便物認可

【英帝國】

印度騷擾は革命運動の新烽火

(ニューデリー二十七日)目下續開されてゐるチヤンドラー・ボース麾下印度國民軍指導者の公判に反對し、その釋放を要求する學生團の示威運動に端を發したカルカツタの總罷業は、市の水道從業員が罷業のため同市が水飢饉に陷ることを憂慮して復業した結果、一應解決平靜狀態を取戻しつつあるが、一方ニューデリー市においては市民はカルカツタ市の反英示威運動に際し、警官隊のとつた行動を不當として、印度國民軍の公判が行はれてゐるレド・フオートの裁判所から僅か一哩離れたところで民衆大會を開催した、「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙特派員A・T・スチールは今次のカルカツタ騷擾を批評して次の通り報じてゐる

「カルカツタにおける今次の煽動行爲はもともと反英運動であることは明らかだが、米國の自動車に乘つた米國の軍隊に對する彼等の襲撃も極めて頻繁でその盡くが單なる間違に過ぎないと解釋する譯にはゆかぬ、印度における最近の國家主義者の煽動行爲に見られる一つの特色は、有色人種が白色人種に對し自由要求のための鬪爭を展開、アジアの革命運動開始の傾向が增大してゐるといふ事實だ、印度の國家主義者達は歐洲、米國からの援助に期待を失ひ、アジアの他國と平行する獨立運動に依存するやうになつてきた、「白い犬を印度から驅逐せよ」といふが如き貼札がカルカツタ市の街頭に見られる、英國側では指導者による國家主義者の言動を非難してゐるが、最近の暴動には指導者は存在せず、指導者達はその關係を否認してをり、むしろ民衆に對して今時の騷擾は適當でないから止めるやう要請してゐる、カルカツタにおける今次の烽火は決して消へ去つたのではなくむしろ絶へることなき印度の政治的騷擾の新樣相が始つたといふことが出來よう、その兆候は廣汎的であり且つ間違ひのないところである」

ブレーミイ退役

(メルボルン二十七日)濠洲陸相フランシス・フオードは二十六日、濠洲軍司令官トーマス・ブレーミイ大將が十二月一日をもつて軍務を退いて實業界に復歸し、V・A・T・スターデイ中將が司令官代理を務める旨發表した

【原子エネルギー】

原子法案審議愼重

(ワシントン二十七日)上院原子力管理法案委員會は二十六日十一名の委員を集めて第一回公聽會を開催したが、劈頭マクメーホン議長は

本特別委員會は原子エネルギーが人類の脅威でなく福音となることを期して焦らず審議を進めるつもりである

と聲明した、第一回の證言者はルーズヴエルト大統領に「原子爆彈の構想を賣り渡した」本人と目されてゐるアレクサンダー・ザツクス並びに二十億弗計畫の委員長たりしレスリー・グローヴ少將だつた、委員の一人コロラド州選出民主黨ジョンソン議員はかう述べてゐる

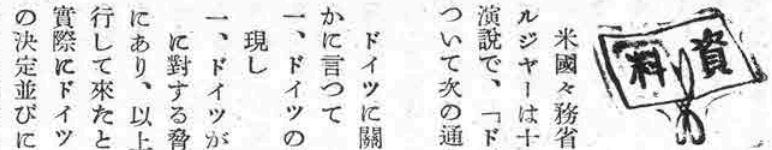
我々はまづ歷史的背景から調査するつもりでゐる、自分の聞いた所ではザツクスは原子爆彈の構想をアルベルト・アインシユタイン敎授から買ひ取り、それをルーズヴエルト大統領に賣り渡したものだといふ

五割以上國際機構に信賴

(ワシントン二十七日)デンヴアー大學輿論研究所の全國的調査によると原子爆彈に關する國民の意見は次のやうに色別けされる

兵器競爭で世界に打ち勝たうとするより原子爆彈の軍用禁止に關して國際機構に信賴せよといふ者　五三%

原子爆彈生產競爭における米國の實力に信賴せよといふ者　四七%



米國のドイツ管理政策

米國々務省の中歐洲局長ジエームズ・リデルベルジヤーは十一月二十四日、カンサス市における演説で、「ドイツ取扱ひに關する米國の政策」について次の通り述べた

ドイツに關する米國政府の基本的諸目標は大まかに言つて

一、ドイツの無條件降伏とその軍事力の破摧を實現し

一、ドイツが再び米國の安全保障乃至世界の平和に對する脅威とならぬことを確實にすることにあり、以上の目標達成のため米國政府は逐次遂行して來たところをここに檢討しよう、右政策は實際にドイツに關する無數の部面についての特定の決定並びに協定の集大成である、しかして私の決定と協定とは最高政策の考慮とドイツ問題の一切の部面を檢討した幾多專門委員の專門的知識の反映である、それは至上の支配的目標と原則とにあらゆる部面において合致する點で、確乎不動の政策と言へようが、同時に新な事態が起る毎に、細目については修正が出來るといふ意味で充分彈力性を持つてゐる

△領土劃定

一、目標＝ドイツに關する米國並びに聯合國の政策の目標はポツダム宣言に再確言されてゐる

二、國境＝ドイツの國境線は、差し當り一九三八年一月一日（即ちヒトラーが最初に領土を武力併合した以前）の國境線とする、占領並びに管理の目的のためにオーデル河並びにナイセ河以東の舊ドイツ領土は、占領四ケ國に所屬せず（ソヴエト聯邦の管理下に入る東プロイセンのケーニヒスベルヒ地區を除き）ポーランド國の行政下におく、これ等東部領域は永久にドイツから分離されるだらうと有力に推定されてゐるが、ドイツ國境線の最終的劃定は明確な平和處理まで持ち越されねばならない、オーストリアは永久にドイツから分離され、自由且つ獨立な國家を構成するであらう

三、ドイツ人口の移管＝將來における危險な少數民族問題を最少限度に食止めるため、ドイツ人口またはドイツ人分子をポーランド、チエコスロヴアキア並びにハンガリーからドイツへ移管する必要が認められてゐる、右移管はドイツ管理各國と關係諸國との取極めにより、秩序正しく且つ人情ある樣式で實施されねばならない

四、ドイツの占領並びに管理占領の目的のためにドイツは四地區に分たれる、一切の地區における政策を調整し、ドイツ全般に影響ある諸事項について政策を決定するため、占領四ケ國の最高司令官から成る管理部がベルリンに設置されてゐる、ドイツの占領と管理とは聯合國の諸目的達成に必要だと判明する期限繼續する

五、領土的行政的機構＝ドイツは差し當り統體（entity）として維持されるが、行政は政治的機構の地方分權化と、地方責任制度の發展を目標として指向される、現在までの推移に徵すればプロイセンが數個の自治的州に分割されねばならず、他の諸州の大半が新聯邦の構成單位として、修正された形で恐らく生き殘るだらうことが明瞭である

六、ドイツは現實的にも潛在的にも一切の軍事力を全的に剝奪されねばならない、將來の戰爭の準備に指向され得るあらゆる形式の全國的活動は、聯合國の監視下におかれる

△ナチ對策と經濟管理

七、非ナチ化（Denazification）ナチ黨並びにその一切の附屬組織は解體され、如何なる形式たるを問はず、これの復活は禁壓されねばならない、ナチ觀念またはナチ制度の復活に對してはあらゆる警戒を加へねばならず、戰爭並びに戰爭がドイツに對し破局的結果を來たしたことに對するナチ黨の責任について、ドイツ人が肝に銘ずるやう、力强い樣式で叩き込まなければならない

八、戰爭犯罪人＝戰爭犯罪の嫌疑あるものならびにナチ黨の事業を企畫し乃至實行し、殘虐行爲または戰爭犯罪を惹起、もしくは結束したすべ

ての人々を逮捕し裁判に附する

九、經濟上金融上の管理＝ドイツの經濟的金融的生活に對しては、聯合國の諸目標達成に絶對必要と解されるやうな統制を加へる、ドイツ工業の再建は占領の諸要請に應じ、且つ平時生産を目的とするドイツ經濟を支持するに必要な限度においてのみ許容される、現在のところではドイツ人の生活標準は、歐洲大陸西部の平均標準を越えてはならない

一〇、賠償並びに償還＝ドイツは掠奪した資産またはその等價物を全的に償還しなければならない、戰時中ドイツが聯合各國に與へた損害については、ドイツは可能な最高限度まで現實をもつて補償せねばならぬ、賠償の諸要求はドイツ軍によつて荒らされた領域と、出來るだけ速かに復興する目的に出てゐるが、ドイツを長期に亘つて財政上の隷屬狀態におくことは趣旨ではない、かかることは實行も出來ぬかも知れず、且つ世界貿易の復興に對する障碍となるからである

△行政機關の再建

一一、ドイツの行政＝ドイツ行政のあらゆる部面は聯合國當局の管理下におかれ、差し當りドイツの中央政權は存在しない、しかし先づ地方において、後にはより高い水準において、その政治的道德的資質に鑑み、ドイツ國内に純眞な民主々義體制を發展させるのに力になれると考へられる人々をもつて、ドイツ人の行政諸機關を再建することがわれらの政策であり、現在においては益々然りである

一二、政治的活動＝自由な政治的勞働組合的活動の再開を促進し、言論、出版並びに集會の自由を基調とする代議政治の速かな復活を期するのが聯合國現在の政策である、ドイツの脅威が再現するのを阻止する永續的保障は、ドイツ社會を化成して殆んど一世紀に亘りドイツ國家を支配してきた反動的極端な國家主義的諸勢力を抹殺し、ドイツ人のうちにおける法律を遵奉し、平和を愛好する民主々義的な分子に活潑な行動を許す以外にないといふのが、米國政府の確信である、ドイツが内部より肅清された時、初めて世界における平和の鐵壁となるであらう

△民主々義的再教育

一三、再教育＝方向轉換（reorientation）の積極策を實施し民主々義理念を着々發展させる目的をもつてドイツ管理の調整された體系を確立せねばならない、ヒトラーの力が由つて來るところは、主としてヒトラーがドイツ人の心を征服したことにあり、われ等の任務はドイツ人の考へ方を人間的且つ基督教的文明の倫理に轉向させ、ドイツ自身の文化的傳統のうちから上等の要素を發展させるやう便宜を圖つてやることである

一四、宗教＝信教並びに宗教機關の自由は軍事上の安全に基く諸要請の制限のもとに許容される各宗派の學校並びに宗教教育に關する統制を存續させるかどうかの問題は、民主々義的に決定されるドイツ人の意思に委ねねばならない

△政策遂行の諸困難

以上ドイツ處理に關する政策の輪廓をみれば、われらがとり上げた仕事が如何に困難であるかが明かであらう、獨りナチ軍國主義を破摧することを公約してゐるばかりでなく、暫らくの間ドイツ國並びにドイツ人の生活のあらゆる部面に對して全的な權威を行使しなければならない、新たなドイツを完全に化成して、再び世界の平和を脅威しないことを確保せねばならぬ、しかも獨り米國政府だけがドイツに對し、單獨に權限を行使してゐるのでなく、右權限には他の聯合國の大國も、當然なことではあるが、參劃してゐることを決して忘れてはならない、意見一致した諸政策の適用に當つてすらも、見解の相違が現に起つてをり、今後も起るだらうことを匿くしてはならぬ、しかしかかる相違にも拘らず、我々は聯合各國と相携へて、基本的決定的諸政策について、相當な程度までの合意とこれ等諸施策の適用における成功を實現した、ドイツこそは聯合國の團結に關する主要な試金石であり、しかしてドイツ管理について協力してゐる他の國々と合作し、ドイツ問題の國際

的解決に内在する一切の諸困難を克服する事こそ米國政府の決心である、ドイツの經濟的な戰爭潛在力を取除き、賠償を搾取する相關聯する事業には、先づ各地區について平和經濟の要請を越えて如何なる工場と施設とが過剩かを決定するため廣汎な調査を必要とするので、事業の遂行は自ら遲遲たらざるを得ない、聯合國の目的はドイツを掠奪したり、歐洲の經濟を毀損するには存せず、ドイツを戰爭遂行について無力化した上で、ドイツ軍侵略の諸犧牲に補償を與へるための必要と、ドイツ人の努力によつて合法的な所要を滿足させることが出來るやうなドイツ經濟の再建といふ双方の間に正しい均衡を圖るにあり、ドイツは脅威となつてもならず諸隣邦に對する重荷となつてもならない

△解決の途は四國協力

米國政府は以上の任務に近付くに當つて、ドイツ問題を永續的平和に對する我等の希望と密接に結び付ける一定の至上の考慮を決して看却してゐない、卽ち將來の平和に對する最大の脅威は、ドイツを征服した諸强國の間における團結の崩壞にあり、曾つてナチ黨はこれを待望したが、今日においてもドイツ戰力の復活を冀ふドイツ國内における反動分子の唯一の希望たるに變りはない、しかもこの問題の最も微妙な部面が、西方各國とソ聯との關係から起つて來ることをわれわれは承知してゐる、現在ドイツは諸大國間の協力に關する試金石に他ならない、われわれはドイツに關し、自ら健全と信ずる基本的政策について、ソ聯とともに公約を與へてゐる、われ等は歐洲の心臟部、東と西との接合點たるドイツの土地において、いま右政策を相携へて實施する任務に從つてゐる、ここで失敗することは悲劇的であり、獨りドイツの脅威が再現するばかりでなく、歐洲が相對立する二つの勢力圈に分割される結果とならう、かかるが故に我等はドイツの管理に當つて四ケ國の團結を維持する決意である、そのためには一切の重要事項についての繼續的な歸一的政策が必要であり、必要な限り且つ聯合國が承認し、同意し得るやうなドイツ政府を究局において共同で承認するまで、統一あり且つ各部門の整備した管理機構が必要である、ドイツの共同管理に成功すれば、四國間の協力について先例が確定され、現在國際關係を惱ましてゐる諸懸案の友好的解決に資するところが少くないであらう、ドイツの管理は現實的な事業である、意見一致した諸政策を適用し、具體的な事態に對處するに當つて必然的に持ち上る諸障碍を克服すれば、我等はここに歐洲と世界とにおける平和の機構を一段堅實に打ち建てることとならう

フエザーからライトへ

（デトロイト二十七日）ニューヨークの前米國フエザーウエイト級拳鬪選手權保持者フイル・デラノヴアはミシガン出身のライトウエイト級選手權保持者ビル・エデイとの十回戰に審判官全員一致の判定勝を得た、體重はテラノヴア百二十六・五封度、エデイ百三十二・二五封度である

ルーズヴエルト・カレツヂ創設

（シカゴ二十七日）故ルーズヴエルト大統領が生涯をかけて實現しようと努力した理念を記念するため、今回ルーズヴエルト・カレツヂがシカゴに開設される事となつた、同校は本年四月民間有志の支持によつて計畫され、理事會は經營側、勞資協調團體、新聞及び教職員代表をもつて構成される、教職員は教科書の選擇とか教授方法及び教授内容に關する一切の決定に役割を演じたわけで、學生は本年のハイ・スクール卒業者、働き乍ら學ぶ勤勞人、學業中止を餘儀なくされた年長者、專門家、復員兵など多種多樣である

ルーズヴエルト夫人及び學長エドワード・スパーリング博士は最近眞理の絕えざる探究を通じて人間精神を啓蒙し知識、理解、善意を通じて人間精神の向上を計る事業に同校を捧げる旨明かにした

黴知らずのパン

（ニューヨーク二十七日）米國製パン業試驗長ウイリアム・H・カスカート博士は二十日次の通り發表した

今日では電子學の利用により決して黴の生えぬパンを作ることが出來るやうになつた、從來パンの黴は米國の製パン業者にとつて一年一億五千萬封度のパンを失はせるほどだつたが、もう電子竈の使用によつてそんなことはなくなつた黴の豫防のためには燒いたパンの包裝の上から高周波電子流を透す、するとパンを竈の中に發生した高周波熱に當ててから五秒位で立派に黴知らずのパンが出來るのである